

原田英語の

英熟語・イディオム問題集

Vol.3　難関編　ADVANCED

難関大の 4 択・会話文で差がつく熟語

選択肢ごとの解説　紛らわしい表現の見分け方　書き込み確認テスト　赤シート対応　索引つき

対象　早慶上智・難関国公立

レベル　難関大で差をつける

1,255 問

FEATURES

この問題集の特長

1 入試に出る熟語を、出る順に全部

原田英語の英熟語・イディオム大全の出る順ランク B（早慶上智・難関国公立レベル）の熟語 1255 個を、分類ごと・出る順に並べました。

2 意味ではなく「使い方」を問う 4 択

入試で本当に問われる前置詞の選択・紛らわしい表現との選び分け・語法の誤りを、すべてオリジナルの問題で。

3 なぜ他の選択肢はダメなのかまで解説

正解の理由だけでなく、ひっかけの選択肢がなぜ入らないかまで。紛らわしい表現との「見分け方」も付けました。

4 同じ熟語を 2 回、違う形で確かめる

各章の最後に、例文の空所に 1 語を書き込む確認テスト。4 択で選べても書けない熟語をなくします。

5 赤シートで何度でも

正解と答えの熟語は赤字。赤シートを重ねればそのまま繰り返し使えます。チェック欄は 3 回分。

1255	1255	7	B
4 択問題	書き込み問題	章	出る順ランク

シリーズ全 4 巻（レベル別）

Vol.1	Vol.2	Vol.3	Vol.4
基礎編	標準編	難関編	発展編
共通テスト・日東駒専・中堅国公立	GMARCH・関関同立・国公立	早慶上智・難関国公立	最難関・長文・会話文
ランク S	ランク A	この本	ランク C

各熟語の語源・イメージ・会話例・音声は、サイト「原田英語の英熟語・イディオム大全」（haradaeigo.com/eijukugo/）で、索引の熟語名から探せます。問題と例文はすべてオリジナルで、過去問をそのまま載せたものではありません。

HOW TO USE

この本の使い方

ページの左に問題、右に解答と解説があります。右側を赤シートや手で隠して解きましょう。

◂問題（右を隠して解く）

0026 □□□

Our lawyer will draw ＿＿＿ a new contract by Monday.

① out　② in
③ on　④ up

解答・解説▸

④ draw up ~

（計画・文書など）を作成する；（車が）止まる

訳 弁護士が月曜日までに新しい契約書を作成してくれる。

解説 「（契約書などを）作成する」は draw up。draw out は「引き出す・長引かせる」、draw in は「引き込む」、draw on は「（経験などを）活用する」で、文書を作る意味にならない。

区別 **draw up ~ ⇔ draw out ~** draw out は「（お金を）引き出す」「（話・時間を）長引かせる」。draw up は「（文書を）作成する」。見分け方：計画・契約書を作るなら up。

0001 通し番号（索引から引ける）
赤字 正解・熟語・意味（赤シートで消える）
解説 正解の理由と、他の選択肢がダメな理由
注意 入試での出方（区別がない熟語）

□□□ 解けたら印。3 回分
訳 問題文の日本語訳
区別 紛らわしい表現との意味の違いと見分け方

1. **1 回目：1 章ずつ解く。**迷った問題は、当たっても □ に印を付けずに残す。
2. **解説を読む。**正解の理由より「他の選択肢がダメな理由」を声に出して説明できるかを確かめる。
3. **章の最後の確認テスト。**例文の空所に 1 語を書き込む。書けなかった熟語の番号に戻る。
4. **2 回目・3 回目。**□ に印が付いていない問題だけを解き直す。3 つ全部に印が付けば合格。

学習の目安

1 日のペース	10 問	20 問	30 問
1 周にかかる日数	**126** 日	**63** 日	**42** 日
3 周（2・3 周目は半分の時間）	**251** 日	**126** 日	**84** 日

準拠アプリ

この本と同じ番号の問題を、スマホで解けます（無料）

haradaeigo.com/eijukugo/book/3/　4 択・書き込みテスト・苦手だけの復習・3 回正解で「合格」のチェック表

CONTENTS

目次

1 **句動詞（動詞＋前置詞・副詞）** No.0001〜0229
look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。

2 **動詞が中心の熟語・語法** No.0230〜0443
take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。

3 **be＋形容詞＋前置詞** No.0444〜0531
be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。

4 **前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語** No.0532〜0691
in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。

5 **会話文で出るイディオム** No.0692〜0867
Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。

6 **比喩のイディオムとことわざ** No.0868〜1240
break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。

7 **口語・スラング（原田英語 用語集）** No.1241〜1255
海外ドラマや SNS で毎日のように使われる口語。入試の会話文や長文に出るものだけを選んでいます。

＋ **確認テスト（書き込み式）**
各章の最後。例文の空所に 1 語を書き込む

＋ **索引（アルファベット順）**
熟語から問題番号を引く

CHAPTER 1

句動詞（動詞＋前置詞・副詞）

look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。 No.0001〜0229（229 問）

問題

0001 □□□

Good coaches know how to draw _____ the hidden abilities of each player.

① out ② up
③ in ④ back

解答・解説（赤シートで隠せます）

① draw out ~ ～を引き出す；（話など）を聞き出す

訳 優れたコーチは、選手一人一人の隠れた能力を引き出す方法を知っている。

解説 隠れた能力を「引き出す」ので draw out。draw up は「（書類など）を作成する」、draw in は「引き込む・誘い込む」、draw back は「後ずさりする・手を引く」で、どれも能力を引き出す意味にならない。

区別 **draw out ~ ⇔ draw up ~** draw out は「引き出す・長引かせる」、draw up は「（計画・契約書など）を作成する」。見分け方：目的語がお金・能力・話なら out、plan / contract / list なら up。

0002 □□□

His story doesn't add _____; he said he was at home all evening, but his car was seen downtown.

① on ② to
③ up ④ in

③ add up つじつまが合う（否定文で多い）；計算が合う

訳 彼の話はつじつまが合わない。一晩中家にいたと言ったのに、彼の車が繁華街で目撃されているのだ。

解説 家にいたと言いながら車が繁華街で目撃されているので「つじつまが合わない」の doesn't add up。add on は「付け足す」、add to ~ は「～を増す」で目的語が必要。add in は「加える・含める」。どれも目的語なしで話の矛盾を表せない。

区別 **add up ⇔ add to ~** add to ~ は「～を増す・～に加わる」（The rain added to our problems）で、目的語が必要。add up は目的語なしで「つじつまが合う」。見分け方：後ろに何も続かず話の筋なら add up。

0003 □□□

The bill for dinner came _____ 5,000 yen, so each of the five of us paid 1,000 yen.

① up ② to
③ across ④ out

② come to （合計が）～になる；意識を取り戻す

訳 夕食の勘定は合計 5,000 円になったので、私たち 5 人はそれぞれ 1,000 円ずつ払った。

解説 「（合計が）～になる」は come to ~。5 人で 1,000 円ずつ払ったという計算とも合う。come up は「（話題が）持ち上がる」、come out は「出る・発売される」、come across は「偶然見つける」で、後ろに金額を続けて合計の意味にならない。

区別 **come to ⇔ amount to ~** amount to ~ も「合計～になる」だが、「結局～と同じことになる」（That amounts to a lie）の意味もある硬い表現。come to は会計の合計に日常的に使う。

0004 ☐☐☐

When I got to the airport, it suddenly dawned _____ me that I had left my passport at home.

① to　② at
③ for　④ on

④ dawn on ~

（考え・事実が）～に分かり始める；～に思い当たる

訳 空港に着いたとき、パスポートを家に置いてきたことに突然気づいた。

解説 「（事実が）～にふと分かる」は dawn on ＋ 人で、前置詞は on。to は occur to ~（～の心に浮かぶ）と混同したひっかけで、dawn to とは言わない。at / for も dawn と組まない。空港でパスポートを忘れたと気づいた場面に合う。

区別 **dawn on ~ ⇔ occur to ~** occur to ~ も「（考えが）～の心に浮かぶ」で同じ形（It occurred to me that ~）。dawn on は「だんだん（またはやっと）真相が分かってくる」感じが強い。どちらも人は前置詞の後ろ。

0005 ☐☐☐

Don't fall _____ his sad stories. He tells the same lies to everyone to borrow money.

① into　② in
③ on　④ for

④ fall for ~　～に夢中になる・ほれ込む；～にだまされる

訳 彼の悲しい話にだまされてはいけない。お金を借りるために誰にでも同じうそをついているんだから。

解説 「（うそ）にだまされる」は fall for ~。後ろの「誰にでも同じうそをつく」とつながる。fall into ~ は「（状態・わな）に陥る」で、話そのものを目的語にしてだまされる意味にはならない。fall in は「崩れ落ちる」、fall on ~ は「（日付が）～に当たる・～に降りかかる」で意味が合わない。

区別 **fall for ~ ⇔ fall in love with ~** fall in love with ~ は恋愛に限る。fall for ~ は恋愛のほか「だまされる」の意味もある口語。見分け方：目的語が trick / lie / scam ならだまされる。

0006 ☐☐☐

He worked hard for years but failed _____ his attempt to start his own company.

① in　② of
③ on　④ to

① fail in ~　～に失敗する；～を怠る

訳 彼は何年も懸命に働いたが、自分の会社を起こす試みに失敗した。

解説 fail in ~ で「～に失敗する」。後ろの his attempt は名詞なので in を使う（succeed in と同じ）。to は fail to do の形で、後ろに動詞の原形が来る。of / on は fail と組んで「失敗する」の意味にならない。

区別 **fail in ~ ⇔ fail to do** fail in ~ は名詞・動名詞を続けて「～に失敗する」、fail to do は動詞の原形を続けて「…しない・できない」。見分け方：後ろが名詞・~ing なら in、動詞の原形なら to。fail an exam（試験に落ちる）は前置詞なし。

0007 ☐☐☐

He liked her for months and finally worked up the courage to ＿＿＿＿ to dinner.

① ask out her　② ask her out
③ ask out to her　④ ask her off

② ask A out （人）をデートに誘う；（人）を外出に誘う

訳 彼は何か月も彼女のことが好きで、ついに勇気を出して彼女を夕食に誘った。

解説 代名詞が目的語のときは ask her out の語順（動詞＋代名詞＋副詞）。ask out her は代名詞が副詞の後ろにあり誤り。ask her off という句動詞はない。ask out to her は her が to の目的語になり、誘う相手がいなくなる。

区別 **ask A out ⇔ ask A in** ask A in は「A を家の中に招き入れる」。ask A out は「外に誘い出す・デートに誘う」。見分け方：家の中へなら in、外出・デートなら out。

0008 ☐☐☐

My sister is really ＿＿＿＿ K-pop these days. She listens to it all the time.

① onto　② into
③ on　④ in

② be into ~ ～に夢中だ；～にはまっている

訳 姉は最近 K-POP にすっかりはまっている。いつも聞いているのだ。

解説 「～に夢中だ」は be into ~。in だと be in K-pop は「K-pop の業界にいる」の意味になり、聞いているだけの姉には合わない。onto / on は be と組んで夢中の意味にならない（be on は「出演している・飲んでいる」など）。

区別 **be into ~ ⇔ be in ~** be in ~ は「～の中にいる・～に所属している」（be in the soccer club / be in business）。be into ~ は「～に夢中だ」。見分け方：into は「中へ入り込む」→のめり込む、in は単に中にある。

0009 ☐☐☐

After three days of rain, the sun finally broke ＿＿＿＿ the clouds.

① through　② down
③ up　④ into

① break through ~
～を突破する；（困難）を乗り越える

訳 3 日間雨が続いた後、ついに太陽が雲間から顔を出した。

解説 雲を突き抜けて太陽が現れるので break through。break into は「押し入る・急に～し始める」、break down は「故障する・崩れる」、break up は「解散する・別れる」で、どれも雲間から現れる意味にならない。

区別 **break through ~ ⇔ break into ~** break into は「～に押し入る・急に～し始める（break into tears）」。break through は「～を突き抜ける」。見分け方：建物に侵入するなら into、壁や障害を突き抜けて向こう側へ出るなら through。

0010 ☐☐☐

I'm going to stay home this weekend and catch up _____ some sleep.

① with ② to
③ for ④ on

④ catch up on ~
（遅れ・不足しているもの）を取り戻す；（最新情報）を知る

訳 今週末は家にいて、不足している睡眠を取り戻すつもりだ。

解説 不足している睡眠を取り戻すのは catch up on。catch up with は人・集団・水準に追いつくときに使い、sleep には使わない。to / for も catch up と組んで「取り戻す」の意味にならない。

区別 **catch up on ~ ⇔ catch up with ~** catch up with の後ろは追いつく相手（人・集団・水準）。catch up on の後ろは取り戻す物事（sleep / work / homework）。見分け方：人に追いつくなら with、たまった物を片付けるなら on。

0011 ☐☐☐

My doctor told me to cut _____ sugar completely, not just eat less of it.

① down on ② back
③ out ④ in

③ cut out ~ ～を切り抜く；～をやめる

訳 医者は私に、ただ量を減らすのではなく、砂糖を完全に断つように言った。

解説 「少し減らすのではなく完全にやめる」なので cut out。cut down on / cut back (on) は「量を減らす」で、not just eat less of it（減らすだけでなく）と矛盾する。cut in は「割り込む」で、sugar を目的語にできない。

区別 **cut out ~ ⇔ cut down on ~** cut down on は「（量を）減らす」で、少しは続ける。cut out は「完全にやめる・取り除く」。見分け方：ゼロにするなら cut out、控えめにするなら cut down on。

0012 ☐☐☐

I don't understand what you're getting _____. Could you say it more clearly?

① to ② on
③ over ④ at

④ get at ~ ～を言おうとする；～に手が届く

訳 君が何を言おうとしているのか分からない。もっとはっきり言ってくれる？

解説 「言おうとすること」は what S is getting at。get to は「到着する・取りかかる」、get on は「乗る・うまくやる」、get over は「乗り越える・立ち直る」で、どれも言いたいことの意味にならない。

区別 **get at ~ ⇔ get to ~** get to ~ は「～に着く・（話題に）取りかかる」。get at ~ は「～を言おうとする・～に手が届く」。見分け方：言いたいことを尋ねるなら get at、場所に到着するなら get to。

0013 ☐☐☐

I don't have time to go _____ detail now, but there are some problems with the plan.

① in ② to
③ into ④ for

③ go into ~
～を詳しく調べる・論じる；（職業・分野）に入る

訳 今は詳しく説明する時間はないが、その計画にはいくつか問題がある。

解説 「詳しく述べる」は go into detail。in は in detail（詳しく）の形で副詞句になるが、go in detail とは言わない（explain in detail なら可）。to / for も go と組んで detail を続けられない。

注意 go into detail（詳しく述べる）の形が頻出。＝ investigate ~ / enter ~。

0014 ☐☐☐

My son has grown _____ all the clothes he wore last year, so we need to buy new ones.

① up　② into
③ over　④ out of

④ grow out of ~
大きくなって（服など）が合わなくなる；成長して（習慣）をやめる

訳 息子は大きくなって去年着ていた服が全部合わなくなったので、新しいのを買う必要がある。

解説 大きくなって服が着られなくなったので grow out of ~。grow up は自動詞で目的語を取れない。grow into は「成長して服が合うようになる」で逆の意味。grow over は「（植物が）～を覆う」で、服には使わない。

区別 **grow out of ~ ⇔ grow into ~** grow into は「成長して（服など）が合うようになる」で、grow out of と反対。また「成長して～になる」の意味もある。見分け方：大きくなって着られなくなるなら out of、ぴったりになるなら into。

0015 ☐☐☐

Someday he will have to answer _____ what he has done to his family.

① to　② with
③ for　④ back

③ answer for ~　～の責任を負う；～の報いを受ける

訳 いつか彼は、家族にしたことの報いを受けなければならないだろう。

解説 自分の行いの「責任を負う・報いを受ける」は answer for ~。answer to は後ろに人（上司など）が来て「～に報告義務がある」の意味。answer back は「口答えする」で目的語を取らない。with は answer と組まない。

区別 **answer for ~ ⇔ answer to ~** answer to ~ は「～に（説明・報告の）責任がある・～の指示に従う」で、to の後ろは上司などの人。answer for ~ は「（行い）の責任を取る」。見分け方：後ろが人なら to、行い・事柄なら for。

0016 ☐☐☐

I got _____ away at the sale and spent all my money on clothes I didn't need.

① taken　② carried
③ put　④ brought

② be carried away　夢中になる；我を忘れる

訳 セールで夢中になってしまい、必要のない服に有り金を全部使ってしまった。

解説 「夢中になる・我を忘れる」は get carried away。get taken away は「連れ去られる」で、セールで買いすぎた理由にならない。bring away / put away はこの意味の受け身にならない（put away は「片付ける」）。

注意 get carried away の形が会話に多い。carry away ~（運び去る）の受け身から。

0017 □□□

Please bear _____ me for a moment while I find your file.

① for　② on
③ with　④ by

③ bear with ~ ～を辛抱する；～に我慢して付き合う

訳 お客様のファイルを探しますので、少々お待ちください。

解説 「辛抱して付き合う・少し待つ」は bear with ~。for / on / by は bear と組んでこの意味にならない。bear in mind（心に留める）など別の表現と混同させる選択肢。

区別 **bear with ~ ⇔ put up with ~** put up with は「（嫌なこと・人）を我慢する」で、不満を抱えながら耐える。bear with は「（少しの間）辛抱して付き合う」で、相手に待ってもらう丁寧な依頼に多い。見分け方：お願いで「少々お待ちを」なら bear with me。

0018 □□□

The government plans to bring _____ a new law to protect children online.

① up　② back
③ in　④ over

③ bring in ~ ～を導入する；（利益）をもたらす

訳 政府は、インターネット上の子どもを守るための新しい法律を導入する予定だ。

解説 「（法律・制度を）導入する」は bring in。bring up は「（話題を）持ち出す・育てる」で、法律を作る意味にならない。bring back は「元に戻す・復活させる」で、a new law（新しい法律）と矛盾する。bring over は「持ってくる・連れてくる」で、法律には使わない。

区別 **bring in ~ ⇔ bring about ~** bring about は「（変化・結果）を引き起こす」で、目的語は change / war / an accident など。bring in は「（制度・人・お金）を持ち込む」。見分け方：結果を生じさせるなら about、外から新しく入れるなら in。

0019 □□□

If you keep working 80 hours a week, you'll soon burn _____.

① up　② down
③ off　④ out

④ burn out 燃え尽きる；（働きすぎで）疲れ果てる

訳 週 80 時間働き続けたら、すぐに燃え尽きてしまうよ。

解説 働きすぎて「疲れ果てる」は burn out。burn up は「焼き尽くす・高熱が出る」、burn down は「（建物が）全焼する」、burn off は「焼き払う」で、人が疲れ果てる意味にならない。

区別 **burn out ⇔ burn down** burn down は「（建物が）全焼する・焼け落ちる」。burn out は「燃え尽きる・疲れ果てる」。見分け方：建物が焼けるなら down、人が疲れ果てるなら out。

0020 □□□

He sometimes comes _____ as rude, but he's actually very shy.

① across　② about
③ around　④ along

① come across as ~
～という印象を与える；～のように見える

訳 彼は時々失礼な人だという印象を与えるが、実はとても恥ずかしがり屋なのだ。

解説 「～という印象を与える」は come across as ~。come along は「一緒に来る・はかどる」、come about は「起こる」、come around は「立ち寄る・意識が戻る・考えを変える」で、as rude と組んで印象の意味にならない。

区別 **come across as ~ ⇔ come across ~** come across ~（as なし）は「～に偶然出会う・見つける」で、後ろは人・物。come across as ~ は「～という印象を与える」。見分け方：as があれば印象、なければ偶然の出会い。

0021 ☐☐☐

How is your science project coming _____? Do you need any help?

① over ② across
③ along ④ about

③ come along 一緒に来る；（偶然）やって来る

訳 理科の課題は進んでいる？ 何か手伝おうか。

解説 進み具合を聞く「はかどる」は come along。come over は「やって来る・遊びに来る」、come across は「偶然見つける・印象を与える」、come about は「起こる」で、課題の進み具合を尋ねる意味にならない。

区別 **come along ⇔ come about** come about は「（出来事が）起こる」（How did the accident come about?）。come along は「進む・一緒に来る」。見分け方：進み具合を聞くなら along、原因・経緯を聞くなら about。

0022 ☐☐☐

There are many reasons people give, but in the end, it all comes down _____ money.

① with ② on
③ for ④ to

④ come down to ~
結局～ということになる；～に帰着する

訳 人はいろいろな理由を挙げるが、結局はすべてお金の問題になる。

解説 「結局～ということになる」は come down to ~。with / on / for は come down と組んでこの意味にならない。come down with は「（病気）にかかる」で、money とは結び付かない。

注意 ＝ boil down to ~。it comes down to ~ の形が長文・会話に出る。

0023 ☐☐☐

I'm so tired after that long meeting. I could do _____ a cup of coffee.

① without ② for
③ with ④ on

③ could do with ~ ～が欲しい；～があるとありがたい

訳 長い会議の後でとても疲れた。コーヒーが一杯欲しいな。

解説 疲れているので「コーヒーが欲しい」の could do with ~。could do without は「～はなくてもいい」で、疲れているという前半と合わない。for / on は could do と組んで「欲しい」の意味にならない。

区別 **could do with ~ ⇔ could do without ~** could do without ~ は「～はない方がいい・なくても困らない」で、正反対。見分け方：with は欲しい、without は要らない。

0024 ☐☐☐

The police are cracking down _____ drunk driving during the holiday season.

① in ② at
③ on ④ with

③ crack down on ~ ～を厳しく取り締まる

訳 警察は休暇シーズンの間、飲酒運転を厳しく取り締まっている。

解説 「～を厳しく取り締まる」は crack down on ~。in / at / with は crack down と組まない。名詞 crackdown も a crackdown on ~ と on を取る。

注意 名詞 crackdown（取り締まり）が新聞・長文頻出。＝ clamp down on ~。

0025 ☐☐☐

It's rude to cut ＿＿＿＿ while someone else is talking.

① in　② off
③ down　④ out

① cut in 割り込む；口をはさむ

訳 ほかの人が話している途中で口をはさむのは失礼だ。

解説 目的語なしで「（話に）口をはさむ」は cut in。cut out は「切り抜く・やめる」、cut off は「遮る・切断する」で目的語が必要。cut down も「切り倒す・減らす」で目的語が要り、話に割り込む意味にならない。

区別 **cut in ⇔ cut off ~** cut off は他動詞で「（話・電話・供給を）遮る・切る」（cut him off）。cut in は目的語なしで「割り込む」。見分け方：目的語がなく人の会話に入ってくるなら cut in。

0026 ☐☐☐

Our lawyer will draw ＿＿＿＿ a new contract by Monday.

① out　② in
③ on　④ up

④ draw up ~
（計画・文書など）を作成する；（車が）止まる

訳 弁護士が月曜日までに新しい契約書を作成してくれる。

解説 「（契約書などを）作成する」は draw up。draw out は「引き出す・長引かせる」、draw in は「引き込む」、draw on は「（経験などを）活用する」で、文書を作る意味にならない。

区別 **draw up ~ ⇔ draw out ~** draw out は「（お金を）引き出す」「（話・時間を）長引かせる」。draw up は「（文書を）作成する」。見分け方：計画・契約書を作るなら up。

0027 ☐☐☐

This year, Christmas falls ＿＿＿＿ a Sunday, so many people will have Monday off.

① in　② at
③ to　④ on

④ fall on ~
（日付が）～に当たる；（責任・負担が）～にかかる

訳 今年はクリスマスが日曜日に当たるので、多くの人が月曜日を休みにするだろう。

解説 「（日付が）～に当たる」は fall on ~ で、曜日の前は on。in は月・年、at は時刻の前置詞で、曜日には使わない。to も fall と組んで日付が当たる意味にならない。

注意 fall on＋曜日・日付が定番。The responsibility fell on me.（責任が私にかかった）。fall upon も同じ。

0028 ☐☐☐

If you want to get ＿＿＿＿ in this company, you need to work hard and build good relationships.

① away　② across
③ over　④ ahead

④ get ahead 出世する；成功する

訳 この会社で出世したいなら、懸命に働いてよい人間関係を築く必要がある。

解説 「出世する・成功する」は get ahead。get away は「逃げる・休暇を取る」、get across は「（考えを）伝える」、get over は「乗り越える・立ち直る」で、会社での成功を表さない。

区別 **get ahead ⇔ get along** get along は「仲よくやる（with ~）」「何とかやっていく」。get ahead は「出世する・抜きん出る」。見分け方：人間関係なら along、成功・昇進なら ahead。

0029 □□□

I want to start my own business, but I don't know how to go _____ it.

① about ② with
③ by ④ for

① go about ~ ～に取りかかる；～をどう進めるか

訳 自分で事業を始めたいが、どう取りかかればいいのか分からない。

解説 「～にどう取りかかるか」は how to go about ~。go for は「～を選ぶ・目指す」、go with は「～と合う・～に決める」、go by は「（時が）過ぎる・～に従う」で、やり方を尋ねる意味にならない。

区別 **go about ~ ⇔ set about ~** set about も「～に取りかかる」で、実際に始めること。go about は how と一緒に「どう進めるか」というやり方を考える場面に多い。見分け方：やり方を問うなら go about。

0030 □□□

Cheating on a test goes _____ everything I believe in, so I would never do it.

① with ② by
③ against ④ over

③ go against ~ ～に反する；～に逆らう

訳 試験でカンニングするのは私の信じることすべてに反するので、決してしない。

解説 「～に反する」は go against ~。go with は「～と合う」で意味が逆。go by は「～に従う・（時が）過ぎる」、go over は「見直す」で、信念に反する意味にならない。

区別 **go against ~ ⇔ go with ~** go with は「～と合う・～に同調する・～に決める」で、go against の反対。見分け方：一致・賛成なら with、反対・矛盾なら against。

0031 □□□

Our parcel must have gone _____; it was sent two weeks ago but hasn't arrived yet.

① stray ② wrongly
③ astray ④ lose

③ go astray 道に迷う；（物が）行方不明になる

訳 小包は行方不明になったに違いない。2 週間前に送ったのに、まだ届いていない。

解説 go astray で「（物が）行方不明になる」。astray は副詞で go の後ろに置ける。stray は形容詞・動詞で go stray とは言わない。wrongly は副詞だが、go wrong（うまくいかない）は形容詞 wrong を使い、荷物が届かない意味にもならない。lose は原形で go の後ろに置けない（get lost なら可）。

区別 **go astray ⇔ lead A astray** go astray は主語自身が迷う・外れる。lead A astray は誰か・何かが A を迷わせる。見分け方：迷う本人が主語なら go astray、迷わせる側が主語で目的語に人が来れば lead A astray。

0032 □□□

I don't really go in _____ sports; I prefer reading and listening to music.

① with　② for
③ to　④ at

② go in for ~
（趣味として）～を好んでやる；（試験・競技）に参加する

訳 私はスポーツはあまりやらない。読書や音楽を聞く方が好きだ。

解説 「（趣味として）～を好んでやる」は go in for ~。with / at / to は go in と組んでこの意味にならない。go in with は「～と協力する」で、sports とは組まない。

区別 **go in for ~ ⇔ go for ~** go for は「～を選ぶ・～を取りに行く・～を目指す」（I'll go for the fish.）。go in for は「（趣味として）好んでやる・参加する」。見分け方：注文・選択なら go for、習慣的な趣味・参加なら go in for。

0033 □□□

Have you _____ the fire at the station last night? It was all over the news this morning.

① heard about　② heard from
③ listened to　④ told about

① hear about ~ ～について（詳しく）聞く

訳 昨夜の駅の火事のことを聞いた？　今朝のニュースはその話ばかりだったよ。

解説 ニュースで流れた火事の「中身」を聞いたかと尋ねているので heard about。heard from は連絡をくれる人を後ろに置く表現で、火事は連絡の送り手になれない。listened to は意識して耳を傾ける対象（音楽・話）に使い、出来事の火事には合わない。told は他動詞で人の目的語が必要（told you about）なので文が成り立たない。

区別 **hear about ~ ⇔ hear of ~** hear of ~ は「～の存在・名前・うわさを耳にする」程度、hear about ~ は「～の中身・詳細を聞く」。見分け方：存在を知っているかどうかなら of（never heard of ~）、出来事の詳しい話なら about。

0034 □□□

The small town held _____ against the army for two months before it finally surrendered.

① off　② back
③ out　④ down

③ hold out 持ちこたえる；（手など）を差し出す

訳 その小さな町は 2 か月間軍に抵抗して持ちこたえ、ついに降伏した。

解説 against ~ と期間が続き「降伏するまで持ちこたえた」ので held out。held off は「（敵など）を寄せつけない」という他動詞で、against の前には置けない（held off the army なら可）。held back は「控える・ためらう」、held down は「抑えつける」で、抵抗し続ける意味にならない。

区別 **hold out ⇔ hold on** hold on は「（電話などで）待つ」「しっかりつかまる」。hold out は「（攻撃・困難に）屈せず持ちこたえる」「（物資が）もつ」。見分け方：against ~ や期間（for three weeks）が続き、抵抗・耐久の話なら hold out。

0035 ☐☐☐

A good leader never shies away from ＿＿＿＿ difficult questions.

① answer　② to answer
③ answered　④ answering

④ shy away (from ~)

（～を）避ける；（～に）尻込みする

訳 良いリーダーは、難しい質問に答えることから決して逃げない。

解説 shy away from ~ の from は前置詞なので、後ろに動詞を置くときは動名詞にする。よって answering。answer（原形）/ to answer（不定詞）は前置詞の後ろに置けない。answered も不可。avoid ~ing と同じく、避ける対象は ~ing。

区別 **shy away (from ~) ⇔ run away (from ~)** shy away from は困難・責任などに「尻込みして避ける」と心理的なためらい。run away from は「（場所・人から）逃げ出す」と実際の移動にも使う。見分け方：問題や挑戦を避けるなら shy away、家や危険から走って逃げるなら run away。

0036 ☐☐☐

Be careful! You almost ＿＿＿＿ over the vase with your elbow.

① fell　② knocked
③ ran　④ took

② knock over ~ ～をひっくり返す；（車が人を）はねる

訳 気をつけて！　ひじで花瓶を倒すところだったよ。

解説 「ひじで花瓶を倒しそうになった」ので knock over（ぶつけて倒す）。fell over ~ は「～につまずいて転ぶ」で、with your elbow（ひじで）と合わない。ran over は「（車で）ひく」。took over は「引き継ぐ・乗っ取る」で、花瓶を倒す意味にならない。

区別 **knock over ~ ⇔ knock down ~** knock down は「（建物を）取り壊す」「（人を）殴り倒す」と、立っている物を強い力で倒す・壊す。knock over は「うっかりぶつかって横倒しにする」。見分け方：解体・暴力なら down、うっかり倒してこぼすなら over。

0037 ☐☐☐

In the weeks leading ＿＿＿＿ to the election, the candidates gave speeches every day.

① up　② on
③ out　④ off

① lead up to ~

（出来事など）へと至る；（話を）～に持っていく

訳 選挙までの数週間、候補者たちは毎日演説をした。

解説 「選挙までの数週間」は the weeks leading up to ~。lead on は「（人を）だます・その気にさせる」、lead off は「（～で）始める」で、どちらも to ~ と組んで期間を表さない。lead out は「（外へ）連れ出す」で、to the election とつながらない。

区別 **lead up to ~ ⇔ lead to ~** lead to ~ は「～を引き起こす・～につながる」と原因→結果の関係。lead up to ~ は「～に至るまでの経過・直前の時期」に焦点がある。見分け方：原因と結果なら lead to、ある出来事までの準備期間なら lead up to。

0038 □□□

After hours of argument, neither side was willing to _____ down.

① put ② let
③ back ④ turn

③ back down （主張・要求を）引っ込める；譲歩する

訳 何時間も議論した後でも、どちらの側も譲歩しようとしなかった。

解説 何時間も議論して「どちらも折れようとしなかった」ので back down（自動詞）。put down（書き留める・けなす）、let down（失望させる）、turn down（断る）はどれも目的語が必要な他動詞なので、後ろに何もないこの文では使えない。

区別 **back down ⇔ back out (of ~)** back out of ~ は「（いったん約束・契約したこと）から手を引く」。back down は「（議論・対立で）主張を引っ込めて折れる」。見分け方：約束を取り消すなら out of、言い争いで負けを認めるなら down。

0039 □□□

In the end, the whole argument boils down _____ one question: who will pay for it?

① into ② for
③ to ④ with

③ boil down to ~

要するに～ということになる；結局～に帰着する

訳 結局のところ、この議論全体は一つの問題に行き着く。誰がその費用を払うのか、だ。

解説 「結局は一つの問題に行き着く」は boil down to ~（= come down to）。into は「～の中へ・～に変化して」で、boil down とは組まない。for / with も boil down と組んで行き着く先を表さない。

注意 = come down to ~。it all boils down to ~ の形が長文・会話に出る。

0040 □□□

Young artists in the 1910s wanted to break away _____ traditional styles of painting.

① from ② of
③ against ④ with

① break away from ~ ～から逃げる；～から離脱する

訳 1910 年代の若い芸術家たちは、伝統的な画風から脱却したいと考えていた。

解説 「伝統的な画風から脱却する」は break away from ~。away の後ろは離れる起点を示す from。break with ~（決別する）という表現はあるが away を挟んだ break away with とは言わない。of / against も break away と組まない。

区別 **break away from ~ ⇔ break off ~** break off ~ は「（交渉・婚約・関係）を打ち切る・（話を）急にやめる」で他動詞的にも使う。break away from ~ は「（集団・伝統）から離れていく」。見分け方：関係や会話をやめるなら off、集団から抜け出すなら away from。

0041 □□□

The new factory helped bring _____ the price of electric cars.

① up　② about
③ down　④ out

③ bring down ~ ～を下げる；～を倒す

訳 新しい工場のおかげで電気自動車の価格が下がった。

解説 新工場のおかげで電気自動車の価格が「下がった」ので bring down。bring up は「育てる・持ち出す」で、価格を上げる意味では普通使わない。bring about は「引き起こす」で the price を目的語にしても意味が通らない。bring out は「（新製品を）出す・引き出す」で、価格には合わない。

区別 **bring down ~ ⇔ bring up ~** bring up ~ は「（子ども）を育てる」「（話題）を持ち出す」で、値段を上げる意味では使わない（値上げは raise）。bring down は「下げる・倒す」。見分け方：bring down の反対は raise であって bring up ではない点が要注意。

0042 □□□

My father didn't like the idea of my studying abroad at first, but he eventually came _____ to it.

① around　② about
③ along　④ across

① come around 考えを変える；意識を取り戻す

訳 父は最初、私が留学するという考えを気に入らなかったが、最終的には賛成してくれた。

解説 最初は反対だった父が「最終的に考えを変えて同意した」ので come around to ~。come about は「起こる」で、主語が人のこの文に合わない。come along は「一緒に来る・はかどる」、come across は「偶然出会う・（印象を）与える」で、to it と組んで同意の意味にならない。

区別 **come around ⇔ come about** come about は「（出来事が）起こる」（How did the accident come about?）で主語は出来事。come around は「（人が）考えを変える・意識が戻る」で主語は人が多い。見分け方：主語が人で意見が変わるなら around。

0043 □□□

The police have asked anyone who saw the accident to come _____ with information.

① across　② along
③ apart　④ forward

④ come forward 名乗り出る；（援助などを）申し出る

訳 警察は、事故を目撃した人に情報を持って名乗り出るよう求めている。

解説 警察が目撃者に「情報を持って名乗り出る」よう求めているので come forward。come across は「偶然見つける」、come along は「一緒に来る・はかどる」、come apart は「ばらばらになる」で、どれも名乗り出る意味にならない。

区別 **come forward ⇔ put forward ~** put forward ~ は「（案・意見）を提出する・提案する」という他動詞。come forward は「（人が自ら）名乗り出る」という自動詞。見分け方：目的語の案があれば put forward、人が出てくるなら come forward。

0044 □□□

In writing the novel, the author drew _____ her own experiences as a nurse during the war.

① up　② back
③ in　④ on

④ draw on ~ （経験・知識など）を利用する；～に頼る

訳 その小説を書くにあたって、作者は戦時中に看護師だった自分の経験を活用した。

解説 小説を書くのに「看護師としての自分の経験を活用した」ので draw on ~。draw up は「（文書を）作成する」で、経験を目的語にしても意味が通らない。draw back は「後ずさりする・手を引く」、draw in は「引き込む・（日が）短くなる」で、経験を利用する意味にならない。

区別 **draw on ~ ⇔ draw up ~** draw up ~ は「（計画・契約書）を作成する」。draw on ~ は「（経験・知識）を活用する」。見分け方：書類を作るなら up、自分の中の蓄えを使うなら on。

0045 □□□

News of their engagement soon got _____, and everyone in the office was talking about it.

① away　② over
③ around　④ by

③ get around 動き回る；（うわさが）広まる

訳 二人の婚約のうわさはすぐに広まり、職場の全員がその話をしていた。

解説 婚約のうわさが「すぐに広まった」ので get around。get away は「逃げる」、get over は「克服する・立ち直る」、get by は「何とかやっていく」で、うわさが広まる意味にならない。

区別 **get around ⇔ get around to ~ing** get around to ~ing は「（ずっと後回しにしていたことを）やっとする」。get around は「動き回る・広まる・回避する」。見分け方：to ~ing が続いていれば「やっと取りかかる」。

0046 □□□

We're hoping to get _____ for a few days and relax by the sea.

① away　② along
③ over　④ by

① get away 逃げる；（休暇などで）出かける

訳 数日出かけて、海辺でのんびりしたいと思っている。

解説 「数日出かけて海辺でのんびりする」ので get away（休暇で出かける）。get along は「仲良くやる・何とかやる」、get over は「乗り越える」、get by は「何とか暮らす」で、どれも休暇に出かける意味にならない。

区別 **get away ⇔ get away with ~** get away with ~ は「（悪いこと）をしてもばれない・罰を受けずに済む」。get away は「逃げる・休暇に出る」。見分け方：with ＋悪事が続けば罰を逃れる。

0047 □□□

Thanks for lending me this book. I'll give _____ tomorrow.

① it back　② back it
③ back to it　④ it to back

① give back ~ ～を返す

訳 この本を貸してくれてありがとう。明日返すね。

解説 目的語が代名詞 it のときは give it back の語順（句動詞の真ん中に挟む）。back it は代名詞を副詞の後ろに置いた誤り。back to it は「それに戻る」で、本を返す意味にならない。it to back は語順が崩れていて意味をなさない。

区別 **give back ~ ⇔ give away ~** give away ~ は「～をただであげる・寄付する」「（秘密を）漏らす」。give back ~ は「（持ち主に）返す」。見分け方：元の持ち主に戻すなら back、手放して人にあげるなら away。

0048 □□□

There isn't enough pizza to go ＿＿＿＿, so some of us will have to eat sandwiches.

① over　② around
③ through　④ by

② go around
（全員に）行き渡る；（病気・うわさが）広まる

訳 全員に行き渡るだけのピザがないので、何人かはサンドイッチを食べなければならない。

解説 「全員に行き渡るほどピザがない」は enough ~ to go around。go over は「調べる・見直す」、go through は「経験する・通り抜ける」、go by は「（時が）過ぎる」で、どれも全員に行き渡る意味にならない。

注意 There's a cold going around.（風邪がはやっている）。イギリス英語は go round。

0049 □□□

The success of the event ＿＿＿＿ far beyond our expectations.

① exceeded　② surpassed
③ went　④ overcame

③ go beyond ~ ～を超える；～の範囲を超える

訳 そのイベントの成功は、私たちの予想をはるかに超えた。

解説 後ろに前置詞 beyond があるので、自動詞 go を使った went beyond ~（～を超えた）。exceed / surpass は「～を超える」という他動詞で、目的語を直接取るため beyond は不要（exceeded our expectations なら可）。overcame は「（困難を）乗り越えた」で他動詞なうえ意味も合わない。

区別 **go beyond ~ ⇔ exceed ~** exceed ~ は他動詞で、目的語を直接取る（exceed our expectations）。go beyond ~ は go が自動詞なので前置詞 beyond が必要。意味は同じで、前置詞の有無が問われる。

0050 □□□

Her proposal went ＿＿＿＿ well with the other members, and it was accepted immediately.

① up　② out
③ down　④ in

③ go down 下がる；（太陽が）沈む

訳 彼女の提案はほかのメンバーに好評で、すぐに採用された。

解説 提案が「ほかのメンバーに好評で」すぐ採用されたので go down well with ~。go up は「上がる」で well with ~ と組まない。go out は「外出する・（火が）消える」、go in は「中に入る」で、好評の意味にならない。

区別 **go down ⇔ go up** go up は「上がる・（建物が）建つ」で go down の反対。ただし go down well with ~（好評だ）や go down in history（歴史に残る）は go up に置き換えられない、go down だけの決まった言い方。

0051 □□□

The price of gasoline has gone up ＿＿＿＿ ten percent since last year.

① to　② by
③ for　④ with

② go up 上がる；（建物が）建つ

訳 ガソリンの値段は去年から 10% 上がった。

解説 「10% 値上がりした」と上がった幅（差）を示すので by。to を入れると「10% という値に達した」になり、ガソリンの値段（金額）には合わない。for / with は増減の幅を表さない。

注意 ＝ rise / increase。by は「差」を表す（by five percent）。go down の反対。

0052 ☐☐☐

The police rounded _____ all the members of the gang in one night.

① out ② down
③ up ④ away

③ round up ~ ～を寄せ集める；～を一斉に逮捕する

訳 警察は一晩でギャングのメンバー全員を一斉に逮捕した。

解説 「一斉に逮捕する・寄せ集める」は round up。up は「1か所にまとめて」の意味。round down は数を「切り捨てる」で人には使わない。round out は「仕上げる」、round away という句動詞はない。

区別 **round up ~ ⇔ round down ~** 数について、round up は「切り上げる」（3.2 → 4）、round down は「切り捨てる」（3.8 → 3）、round off は「四捨五入する」。見分け方：up は上の数へ、down は下の数へ。人や動物を集める意味は round up だけ。

0053 ☐☐☐

Learning a language takes time, but if you keep _____ it, you'll improve.

① out ② off
③ back ④ at

④ keep at ~ ～を根気よく続ける

訳 語学の習得には時間がかかるが、根気よく続ければ上達するだろう。

解説 「根気よく続ければ上達する」は keep at it。keep out of ~ は「～に入らない・関わらない」、keep off ~ は「～に近づかない」、keep back は「控える・隠す」で、どれも続ける意味にならない。

区別 **keep at ~ ⇔ keep on ~ing** keep on ~ing は「～し続ける・何度も～する」と動作の継続・反復で、後ろは動名詞。keep at ~ は「（難しい課題）に粘り強く取り組む」で、後ろは名詞・it。見分け方：動名詞なら keep on、課題の名詞なら keep at。

0054 ☐☐☐

The lights came _____ automatically when it got dark.

① on ② up
③ in ④ out

① come on
（会話）さあ・頑張れ・いいかげんにして；（明かり・番組が）つく・始まる

訳 暗くなると、明かりが自動的についた。

解説 「明かりがついた」は come on（スイッチが入る on）。come up は「（話題が）出る・（太陽が）昇る」、come in は「入る」で、明かりがつく意味にならない。come out は「（星などが）出る・公表される」で、照明には使わない。

区別 **come on ⇔ go off** go off は「（明かり・電気が）消える」「（警報が）鳴る」「（爆弾が）爆発する」。come on は「（明かりが）つく」。明かりについては on / off で反対になる。

0055 ☐☐☐

The movie didn't come up _____ my expectations; the story was boring.

① with ② to
③ for ④ against

② come up to ~ （期待・基準）に達する；～に近づく

訳 その映画は期待外れだった。話が退屈だったのだ。

解説 「期待に届かなかった」は come up to one's expectations。with は come up with ~（思いつく）と混同させるひっかけ。for / against も come up と組んで期待に達する意味にならない。

区別 **come up to ~ ⇔ come up with ~** come up with ~ は「（考え・案）を思いつく」。come up to ~ は「（期待・基準）に達する」。見分け方：アイデアなら with、期待・水準なら to。

0056 ☐☐☐

She tried hard to keep ＿＿＿＿ her tears during the farewell speech.

① back　② up
③ off　④ on

① keep back ~ ～を隠しておく；～を押しとどめる

訳 お別れのスピーチの間、彼女は涙をこらえようと必死だった。

解説 「涙をこらえる」は keep back one's tears。keep up は「維持する」で、涙を保つ意味になってしまう。keep off は「（雨など）を防ぐ・～に近づかない」、keep on は「～し続ける」で、どれも涙を抑える意味にならない。

区別 **keep back ~ ⇔ keep up ~** keep up ~ は「（今の調子・努力）を維持する」（keep up the good work）。keep back ~ は「（感情・情報）を抑える・隠す」。見分け方：続けるなら up、抑え込むなら back。

0057 ☐☐☐

Take this medicine. It should kick ＿＿＿＿ in about twenty minutes.

① off　② on
③ out　④ in

④ kick in
（薬などが）効き始める；（装置などが）作動し始める

訳 この薬を飲んで。20 分ほどで効き始めるはずだよ。

解説 薬が「効き始める」は kick in。kick off は「（試合などが）始まる」で、薬には使わない。kick on / kick out は「効き始める」の意味がない（kick out は「追い出す」）。

区別 **kick in ⇔ wear off** wear off は「（薬・痛み・効果が）次第に消える・切れる」で、kick in の反対。見分け方：効き始めなら kick in、効果がなくなっていくなら wear off。

0058 ☐☐☐

He fell off the stage, but he just laughed it ＿＿＿＿ and kept singing.

① off　② at
③ down　④ over

① laugh off ~ ～を笑い飛ばす；～を一笑に付す

訳 彼はステージから落ちたが、笑い飛ばして歌い続けた。

解説 ステージから落ちたのを「笑い飛ばして」歌い続けたので laugh it off。laugh at は「～をあざ笑う」で前置詞なので laughed at it の語順になり、laughed it at とは言わない。laugh down / laugh over は決まった言い方ではない。

区別 **laugh off ~ ⇔ laugh at ~** laugh at ~ は「（人・物）を見て笑う・ばかにして笑う」。laugh off ~ は「（自分に起きた困ったこと）を笑って済ませる」。見分け方：他人を笑うなら at、自分の災難を軽く流すなら off。

0059 ☐☐☐

The two parties agreed to lay ＿＿＿＿ their differences and work together.

① off　② aside
③ out　④ up

② lay aside ~ ～を取っておく；～をわきに置く

訳 両党は意見の違いを棚上げして協力することで合意した。

解説 「意見の違いを棚上げして協力する」は lay aside one's differences。lay off は「解雇する」、lay out は「並べる・設計する」、lay up は「蓄える・（病気で）寝込ませる」で、違いを脇に置く意味にならない。

区別 **lay aside ~ ⇔ lay off ~** lay off ~ は「（従業員）を一時解雇する」。lay aside ~ は「わきに置く・取っておく・棚上げする」。見分け方：目的語が従業員なら off、お金・考え・違いなら aside。

0060 □□□

We'll go for a walk when the rain lets ＿＿＿＿.

① down　② up
③ out　④ off

② let up　（雨・嵐などが）弱まる；やむ

訳 雨が弱まったら散歩に行こう。

解説 「雨が弱まったら」は the rain lets up。let down は「（人を）がっかりさせる」という他動詞で、雨が主語の自動詞として使えない。let out は「（声を）出す・解放する」、let off は「（罰を）免除する・（乗客を）降ろす」で、雨の弱まりを表さない。

区別 **let up ⇔ let down ~** let down ~ は「（人）を失望させる・期待を裏切る」という他動詞。let up は「（雨などが）弱まる」という自動詞。見分け方：人を目的語に取るなら let down、雨・嵐が主語なら let up。

0061 □□□

The train passes ＿＿＿＿ three tunnels before it reaches the coast.

① through　② by
③ over　④ across

① pass through ~
～を通過する；（困難な時期）を経験する

訳 その電車は海岸に着くまでに三つのトンネルを通り抜ける。

解説 電車はトンネルの「中を通り抜ける」ので pass through。pass by は「そばを通り過ぎる」でトンネルの横を通ることになり不自然。over は「上を越えて」、across は「横切って」で、トンネルの中を通る意味にならない。

区別 **pass through ~ ⇔ pass by ~** pass by ~ は「～のそばを通り過ぎる」と横を通る。pass through ~ は「～の中を通り抜ける」と内部を通る。見分け方：トンネル・町の中を抜けるなら through、店や家の前を通るなら by。

0062 □□□

In the interview, try to play ＿＿＿＿ your experience abroad; it's your biggest strength.

① down　② up
③ off　④ out

② play up ~　～を強調する；（子どもが）騒ぐ

訳 面接では海外での経験を強調するようにしなさい。それが一番の強みだから。

解説 一番の強みなので「強調する」＝ play up。play down は「控えめに言う」で、強みを目立たなくしてしまう。play off は「（二者を）張り合わせる」、play out は「（最後まで）展開する」で、どちらも強調の意味にならない。

区別 **play up ~ ⇔ play down ~** play down ~ は「（問題・重要性）を軽く見せる・控えめに言う」で、play up の反対。見分け方：大きく見せるなら up、小さく見せるなら down。

0063 ☐☐☐

The doctors weren't sure he would survive the operation, but he pulled ＿＿＿＿.

① through　② over
③ up　④ off

① pull through　（病気・危機を）乗り切る；回復する

訳 医者たちは彼が手術を乗り切れるか確信がなかったが、彼は持ち直した。

解説 手術を「乗り切った・持ち直した」は pull through。pull over は「車を路肩に寄せる」、pull up は「（車を）止める」で、病気には使わない。pull off は「（難しいこと）をやってのける」で目的語が必要。

区別 **pull through ⇔ pull over** pull over は「（車を）路肩に寄せて止める」。pull through は「（病気・危機を）乗り切る」。見分け方：車の話なら over、病気・危機の話なら through。

0064 ☐☐☐

The workers are pushing ＿＿＿＿ higher wages and shorter hours.

① to　② for
③ on　④ at

② push for ~　~を強く求める；~を要求する

訳 労働者たちは賃上げと労働時間の短縮を強く求めている。

解説 「~を強く求める」は push for ~（ask for / call for と同じ for）。push to は push A to do（A に~するよう迫る）の形で、名詞の要求の前には置かない。push on は「（休まず）進み続ける」、push at は「~を押す」で、要求の意味にならない。

注意 ＝ press for ~ / demand ~ / call for ~。

0065 ☐☐☐

She's a good teacher because she can put ＿＿＿＿ difficult ideas in a simple way.

① off　② aside
③ across　④ up

③ put across ~　（考えなど）をうまく伝える

訳 彼女は難しい考えを分かりやすく伝えられるので、良い先生だ。

解説 難しい考えを「分かりやすく伝えられる」ので put across。put off は「延期する」、put aside は「わきに置く」、put up は「掲げる・建てる」で、考えを伝える意味にならない。

区別 **put across ~ ⇔ come across** come across は「（人が）~という印象を与える」（come across as shy）、「~に偶然出会う」。put across ~ は「（考え）を伝える」と目的語を取る。見分け方：考えを目的語に取って伝えるなら put across。

0066 ☐☐☐

Please read ＿＿＿＿ the contract carefully before you sign it.

① up　② off
③ into　④ through

④ read through ~　~を通読する；~に一通り目を通す

訳 署名する前に、契約書を注意して最後まで読んでください。

解説 署名する前に契約書を「最初から最後まで読む」ので read through。read up は read up on ~（~について下調べする）の形で使う。read off は「（数値などを）読み取る」、read into ~ は「~を深読みする」で、注意して通読する意味にならない。

区別 **read through ~ ⇔ look through ~** look through ~ は「~にざっと目を通す」と流し読み。read through ~ は「~を最初から最後まで読む」。見分け方：じっくり全部読むなら read through、ざっと見るなら look through。

0067 □□□

If you want to enter the contest, send _____ your photo by the end of May.

① out　② in
③ back　④ down

② send in ~　～を提出する；～を送る

訳 コンテストに参加したいなら、5 月末までに写真を送ってください。

解説 コンテストに参加するため写真を「提出する」ので send in。send out は「（大勢に）発送する」で、応募作品の提出には使わない。send back は「送り返す」、send down は「（下へ）送る・退学させる」で、どちらも応募の意味にならない。

区別 **send in ~ ⇔ send out ~**　send out ~ は「（招待状・案内）を大勢に発送する」「（信号・光）を出す」と外へ広く送る。send in ~ は「（主催者・会社など）に提出する」と中央へ送る。見分け方：応募・提出なら in、配布・発送なら out。

0068 □□□

The weather got so bad that the climbers had to turn _____ before reaching the top.

① down　② back
③ up　④ over

② turn back　引き返す；（～を）追い返す

訳 天候がひどく悪くなったので、登山者たちは頂上に着く前に引き返さなければならなかった。

解説 悪天候で頂上の手前で「引き返した」ので turn back。turn down は「断る・（音量を）下げる」で目的語が必要。turn up は「現れる」、turn over は「ひっくり返る」で、どれも引き返す意味にならない。

区別 **turn back ⇔ turn down ~**　turn down ~ は「（申し出・音量）を断る・下げる」で目的語が必要。turn back は「引き返す」と自動詞でも使える。見分け方：後ろに目的語がなく、来た道を戻るなら turn back。

0069 □□□

He promised to help us move, but he backed _____ of it at the last minute.

① down　② off
③ up　④ out

④ back out of ~
（約束・契約）から手を引く；～を取りやめる

訳 彼は引っ越しを手伝うと約束したが、直前になって取りやめた。

解説 約束を「直前に取りやめた」ので back out of ~。back down は「主張を引っ込める」で、of it と組まない。back off は「引き下がる・手を引く」だが of を取らない。back up は「支持する・後退する」で、約束を破る意味にならない。

区別 **back out of ~ ⇔ back down**　back down は「（議論・対立で）主張を引っ込める・折れる」。back out of ~ は「（いったん約束したこと）をやめる」。見分け方：約束・契約の取り消しなら out of、言い争いで負けを認めるなら down。

0070 □□□

After a week as a waiter, I realized I wasn't cut ＿＿＿＿ for working in a restaurant.

① off　② out
③ up　④ down

② be cut out for ~ ～に向いている；～の素質がある

訳 ウェイターとして１週間働いて、自分はレストランの仕事に向いていないと分かった。

解説 「レストランの仕事に向いていない」は be cut out for ~。cut off は「遮断される・孤立する」、cut up は「細かく切る・（ひどく）悲しむ」、cut down は「減らす・切り倒す」で、for と組んで適性を表さない。

区別 **be cut out for ~ ⇔ be cut off** be cut off は「（電気・電話・道路が）止められる・遮断される」「孤立する」。be cut out for ~ は「～に向いている」。見分け方：for ＋仕事が続けば適性、通信・交通の話なら cut off。

0071 □□□

There was a lot of food ＿＿＿＿ over after the party, so we gave some to our neighbors.

① left　② leaving
③ leave　④ remained

① be left over 残っている；余っている

訳 パーティーの後たくさん料理が余ったので、近所の人に少しおすそ分けした。

解説 料理は「残された」側なので過去分詞 left（food left over＝余った料理）。leaving は「残している」と能動になり、料理が何かを残す意味になってしまう。leave は原形で名詞を後ろから修飾できない。remained は自動詞の過去形・過去分詞で、remained over という言い方はない。

注意 名詞 leftovers（残り物）が頻出。There is ~ left.（～が残っている）の形とあわせて覚える。

0072 □□□

His headaches were brought ＿＿＿＿ by stress and lack of sleep.

① up　② back
③ out　④ on

④ bring on ~ （病気・悪いこと）を引き起こす

訳 彼の頭痛は、ストレスと睡眠不足によって引き起こされたものだった。

解説 頭痛が「ストレスと睡眠不足によって引き起こされた」は be brought on by ~。bring up は「育てる・話題に出す」、bring back は「戻す・思い出させる」、bring out は「引き出す・出版する」で、病気を引き起こす意味にならない。

区別 **bring on ~ ⇔ bring about ~** bring about ~ は「（変化・改革・事故）を引き起こす」と幅広く使う。bring on ~ は「（病気・発作・悪い状態）を引き起こす」と体調・悪い事態に多い。

0073 ☐☐☐

The new coach hopes to build ＿＿＿＿ last year's success and win the championship.

① on　② up
③ in　④ over

① build on ~ ～を基礎にする；～を足場にして発展させる

訳 新しいコーチは、昨年の成功を足場にして優勝を目指したいと考えている。

解説 「昨年の成功を土台にしてさらに伸ばす」は build on ~。build up は「積み上げる・強める」で、すでに終わった昨年の成功を目的語にすると意味が通らない。build in は「（設備を）作り付ける」、build over は「～の上に建物を建てる」で、成功を土台にする意味にならない。

区別 **build on ~ ⇔ build up ~** build up ~ は「（体力・自信・評判）を少しずつ積み上げる・強める」。build on ~ は「（すでにある成功）を土台にしてさらに伸ばす」。見分け方：土台となる成果が目的語なら on、増やしていく力なら up。

0074 ☐☐☐

When the computer system broke down, the company had to call ＿＿＿＿ an expert from outside.

① off　② down
③ in　④ back

③ call in ~ （専門家など）を呼ぶ；立ち寄る

訳 コンピューターのシステムが故障したとき、その会社は外部から専門家を呼ばなければならなかった。

解説 システム故障で「外部から専門家を呼んだ」ので call in。call off は「中止する」で、専門家を目的語にしても意味が通らない。call down という言い方でこの意味は表せない。call back は「折り返し電話する・呼び戻す」で、from outside と合わない。

区別 **call in ~ ⇔ call on ~** call on ＋人 は「（人）を訪問する」、call on A to do は「A に～するよう求める」。call in ~ は「（専門家）を呼び入れる」。見分け方：自分が出かけて会うなら call on、人を呼んで来てもらうなら call in。

0075 ☐☐☐

My mother calls me every night to check up ＿＿＿＿ me.

① with　② for
③ at　④ on

④ check up on ~ ～を調べる；（人）の様子を確かめる

訳 母は毎晩電話をかけてきて、私の様子を確かめる。

解説 「（人）の様子を確かめる」は check up on ~。check with ~ は「～に問い合わせる・相談する」で up とは組まない。for / at も check up と組んで人の様子を確かめる意味にならない。

区別 **check up on ~ ⇔ check out ~** check out ~ は「（ホテルを）チェックアウトする」「（店・物）を見てみる」「（本を）借り出す」。check up on ~ は「（人の様子・事実）を確かめる」。見分け方：人の様子を気にかけるなら up on。

0076 ☐☐☐

The new law will come ＿＿＿＿ effect next April.

① in　② to
③ on　④ into

④ come into ~

（遺産など）を受け継ぐ；（ある状態）に入る

訳 その新しい法律は来年の 4 月に施行される。

解説 「施行される」は come into effect（効力という状態の中へ入る）。come in effect / come to effect / come on effect とは言わない（in effect は「事実上」、take effect なら前置詞なし）。

区別 **come into ~ ⇔ take effect** take effect は「（法律・薬が）効力を発する・効き始める」で前置詞なし。come into effect は「（法律が）施行される」で into が必要。意味はほぼ同じで、形の取り違えが問われる。

0077 ☐☐☐

A button came ＿＿＿＿ my coat while I was on the train.

① off　② out
③ down　④ up

① come off 取れる；外れる

訳 電車に乗っている間に、コートのボタンが一つ取れた。

解説 ボタンが「コートから取れた」は come off ~。come out は「（中から）出てくる」で、out of が必要になり my coat を直接続けられない。come down は「下りてくる」、come up は「上がる・話題に出る」で、ボタンが外れる意味にならない。

区別 **come off ⇔ come out** come out は「（中から）出てくる」「（本・製品が）出る」「（しみが）落ちる」。come off は「（くっついていた物が）表面から取れる」。見分け方：ボタン・ラベルのように付いていた物が外れるなら off。

0078 ☐☐☐

I was worried, but my best friend came ＿＿＿＿ for me and lent me the money.

① across　② through
③ along　④ about

② come through

（困難）を切り抜ける；（知らせが）届く

訳 心配していたが、親友が期待に応えてくれて、お金を貸してくれた。

解説 親友が「期待に応えてくれた」は come through for ~。come across は「偶然出会う・（印象を）与える」、come along は「一緒に来る・はかどる」、come about は「起こる」で、for me と組んで期待に応える意味にならない。

区別 **come through ⇔ go through ~** go through ~ は「（つらいこと）を経験する」と経験している最中に焦点。come through ~ は「（つらいこと）を切り抜けて出てくる」と無事に抜け出した結果に焦点。

0079 ☐☐☐

The lecture was so boring that several students in the back row ＿＿＿＿.

① fell sleep　② dozed off
③ slept off　④ went sleeping

② doze off うとうとする；居眠りする

訳 講義があまりに退屈だったので、後ろの列の学生の何人かは居眠りをした。

解説 退屈な講義で「居眠りした」は dozed off（自動詞で目的語不要）。fell sleep は asleep（形容詞）を使って fell asleep としなければならない。slept off は「（二日酔いなど）を眠って治す」で後ろに目的語が必要。went sleeping という言い方はなく、「寝に行く」なら went to sleep / went to bed。

区別 **doze off ⇔ fall asleep** fall asleep は「眠りに落ちる」全般で、ぐっすり眠る場合にも使う。doze off は「うとうとする・居眠りする」で、短く浅い眠り。見分け方：授業中・テレビの前などでついうとうとなら doze off、寝付く・ぐっすり眠るなら fall asleep。× fall sleep（asleep は形容詞）。

0080 ☐☐☐

Your argument sounds convincing, but it falls ＿＿＿＿ when you consider how much the plan would cost.

① down　② off
③ out　④ through

① fall down 倒れる；転ぶ

訳 あなたの主張は説得力があるように聞こえるが、その計画にどれだけ費用がかかるかを考えると成り立たなくなる。

解説 議論・理屈が「（ある点で）破綻する・通用しない」は fall down。fall off は「（数量が）減る」、fall out は「仲たがいする・（毛などが）抜ける」、fall through は「（計画・取引が）実現せずに終わる」で、主語が argument（議論）の場合には合わない。費用を考えると理屈が崩れる、という流れ。

区別 **fall down ⇔ fall through** fall through は「（計画・取引が）実現せずに終わる・流れる」。fall down は議論・説明が「（ある点で）破綻する・通用しない」。見分け方：計画や契約が結局行われなかったなら fall through、理屈が成り立たない・欠点があるなら fall down。

0081 ☐☐☐

Sales of the magazine began to fall ＿＿＿＿ soon after the price was raised.

① through　② out
③ over　④ off

④ fall off 落ちる；（数量・質が）減る

訳 値上げの後すぐに、その雑誌の売上は落ち始めた。

解説 売上が「減る・落ち込む」は fall off。fall through は「（計画が）流れる」、fall out は「仲たがいする・抜け落ちる」、fall over は「（立っている物が）倒れる」で、売上が主語の文には合わない。値上げの後に売上が減ったという因果関係とも合う。

区別 **fall off ⇔ fall out** fall out は「（歯・毛が）抜け落ちる」「（fall out with A で）A と仲たがいする」。fall off は「（表面・乗り物から）落ちる」「（数量が）減る」。見分け方：売上・人数が減るなら off、人間関係のけんかなら out (with)。

0082 □□□

Ms. Sato is sick today, so Mr. Kato will fill _____ her in the math class.

① in on　② in for
③ out for　④ up with

② fill in for ~ ～の代わりを務める

訳 佐藤先生は今日病気なので、加藤先生が数学の授業で彼女の代わりを務める。

解説 病欠の佐藤先生の「代わりを務める」は fill in for ~。fill in on は fill A in on B（A に B を詳しく教える）の形で使い、her の後ろに話題が必要。fill out for という言い方はなく、fill out は「（書類）に記入する」。fill up with は「～でいっぱいにする・満たす」で、代役の意味にならない。

区別 **fill in for ~ ⇔ fill A in on B** fill A in on B は「A（人）に B（事情）を詳しく知らせる」（Fill me in on the meeting）。fill in for A は「A の代わりを務める」。見分け方：人の後ろに on ＋ 話題が来れば「教える」、for ＋ 人なら「代わりをする」。

0083 □□□

The new student found it hard to fit _____ the rest of the class at first, but now he has many friends.

① up with　② out with
③ in with　④ on to

③ fit in with ~ ～と調和する；～に合う

訳 その転校生は最初、クラスのほかの生徒になじむのに苦労したが、今では友達がたくさんいる。

解説 クラスの仲間に「なじむ」は fit in with ~。fit up with は fit A up with B（A に B を備え付ける）の形で使い、人になじむ意味はない。fit out with も fit A out with B（A に装備を与える）の形。fit on to という形でなじむ意味にはならない。今は友達が多いという後半と合う。

区別 **fit in with ~ ⇔ fit into ~** fit into は「～の中に（物理的に）収まる」（The box fits into the drawer）が基本で、集団・型に「はまる」にも使う。fit in with は人や予定と「うまく合う・なじむ」で、with の後ろに合わせる相手が来る。見分け方：容器・空間なら into、人・計画との相性なら in with。

0084 □□□

It's easy to make promises, but it's much harder to follow _____ on them.

① through　② off
③ away　④ along

① follow through (on ~) （～を）最後までやり遂げる

訳 約束するのは簡単だが、それを最後までやり遂げるのはずっと難しい。

解説 「（約束を）最後までやり遂げる」は follow through on ~。through は「最後まで通り抜けて」。follow off / follow away という句動詞はない。follow along は「（話などに）ついていく」で、約束を果たす意味にならない。

区別 **follow through (on ~) ⇔ follow up (on ~)** follow through は始めたこと・約束を「最後までやり遂げる」。follow up は「（その後に）追加で対応する・確認する」（follow up on a complaint）。見分け方：約束を守って実行し切るなら through、後から連絡・確認するなら up。

0085 □□□

I really don't know how we would get _____ without your help. Thank you so much.

① over　② along
③ across　④ off

② get along （何とか）やっていく；暮らす

訳 あなたの助けがなかったら、私たちはどうやってやっていけたか本当に分かりません。本当にありがとう。

解説 get along without ~ で「～なしでやっていく」。get over は「（困難・病気）を乗り越える」で目的語が必要、get across は「（考えを）伝える・渡る」、get off は「降りる・（罰を）免れる」で、どれも without your help と組んで「助けなしでやっていく」の意味にならない。

区別 **get along ⇔ get by** get by は「（少ないお金・能力で）何とか暮らす・切り抜ける」（get by on a small salary）で、on ＋ 収入、with ＋ 手段が続く。get along は人間関係や物事の進み具合まで広く使う。どちらも without ~ を取れるが、get along with ＋ 人「仲よくする」は get by にない。

0086 □□□

I've been meaning to answer her letter for weeks, but I haven't got around to _____ it yet.

① answer　② have answered
③ be answering　④ answering

④ get around to ~
ようやく～する時間を見つける；やっと～に取りかかる

訳 何週間も彼女の手紙に返事を書こうと思っているのだが、まだ返事を書くところまで手が回っていない。

解説 get around to ~ の to は前置詞なので、後ろは動名詞 answering。不定詞と勘違いして原形 answer を選ぶのが典型的な誤り。have answered / be answering も前置詞の後ろには置けない。「ずっと返事を書くつもりでいたが、まだ手が回らない」という先延ばしの流れ。

区別 **get around to ~ ⇔ come around to ~** come around to は「（意見）に考えを変えて同意する」（He came around to my view）。get around to は「やっと～に手をつける」。見分け方：後ろが意見・考え方で「考え直して同意」なら come around to、後回しにしていた作業なら get around to。

0087 □□□

Our flight was delayed because of the storm, so we didn't get _____ until midnight.

① at　② to
③ in　④ by

③ get in （車などに）乗り込む；到着する

訳 嵐のせいで飛行機が遅れたので、私たちは真夜中まで到着しなかった。

解説 飛行機・電車が「到着する」は自動詞の get in で、後ろに目的語がなくてよい。get at / get to は前置詞なので後ろに場所の名詞が必要（get to the airport）。get by は「何とかやっていく・そばを通る」で、到着の意味にならない。嵐で遅れて真夜中に着いた、という流れ。

区別 **get in ⇔ get on** get on は立って乗れる大きな乗り物（バス・電車・飛行機・船）や、またがる乗り物（自転車・馬）に「乗る」。get in は身をかがめて乗り込む乗用車・タクシー。見分け方：車内で立てる・またがるなら on、座席に潜り込むなら in。get on は「進む・仲よくする」の意味もある。

0088 ☐☐☐

This festival is said to go back _____ the Edo period, when it began as a prayer for a good harvest.

① from ② to
③ for ④ at

② go back 戻る；（go back to）～にさかのぼる

訳 この祭りは江戸時代にさかのぼると言われ、当時は豊作を願う祈りとして始まった。

解説 「～にさかのぼる」は go back to ＋ 時代。from は date from（～にさかのぼる）の形で使う前置詞で、go back from では起源の意味にならない。for は期間（go back for ten years は不自然）、at は時点を表すが go back と組まない。江戸時代に始まったという起源の話。

区別 **go back ⇔ date from ～** date from も「～にさかのぼる」だが前置詞は from（date back to も可）。go back は to だけで、× go back from。見分け方：動詞が date なら from / back to のどちらも可、go back なら to。

0089 ☐☐☐

Don't _____ in front of the convenience store late at night. The owner may call the police.

① hang back ② hang up
③ hang on ④ hang around

④ hang around ぶらぶらする；うろつく

訳 夜遅くにコンビニの前でたむろしてはいけない。店主が警察を呼ぶかもしれない。

解説 店の前に夜遅く「たむろする・うろつく」は hang around。hang back は「尻込みする・後ろに下がる」、hang up は「電話を切る・（服を）掛ける」、hang on は「ちょっと待つ・しがみつく」で、店の前にたむろする意味にならない。店主が警察を呼ぶという後半と合う。

区別 **hang around ⇔ hang on** hang on は「ちょっと待つ」（Hang on a minute）、「しっかりつかまる」。hang around は「目的なくその辺にいる・うろつく」。見分け方：電話や会話で少し待ってもらうなら hang on、場所にたむろするなら hang around。

0090 ☐☐☐

You should _____ that old guitar; it may be worth a lot of money someday.

① hang on to ② hang up on
③ hang out with ④ hang back from

① hang on to ～ ～にしがみつく；～を手放さない

訳 その古いギターは手放さずに持っておくべきだ。いつか大きな値打ちが出るかもしれない。

解説 いずれ値打ちが出るかもしれないので「手放さずに持っておく」は hang on to ～。hang up on は「～の電話を一方的に切る」で、後ろは人。hang out with は「（人）とつるむ」、hang back from は「～をためらう・尻込みする」で、ギターを取っておく意味にならない。

区別 **hang on to ～ ⇔ hang up on ～** hang up on ＋ 人は「（話の途中で）～の電話を一方的に切る」。hang on to は「～を手放さない」。見分け方：電話の相手が来れば hang up on、持ち物・希望が来れば hang on to。

0091 □□□

Our new neighbor rarely talks to anyone in the building; he mostly keeps ＿＿＿＿.

① to himself　② by himself
③ for himself　④ himself

① keep to oneself

人付き合いを避ける；（keep A to oneself で）A を人に言わずにおく

訳 新しい隣人は建物の誰ともめったに話さない。たいてい人付き合いを避けている。

解説 人と話さず「人付き合いを避ける」は keep to oneself。by himself は「一人で」で live / do などと使い、keep の後ろに置いて性格を表す形にはならない。for himself は「自分のために・独力で」、himself だけでは keep が他動詞になり意味が通らない。

区別 **keep to oneself ⇔ by oneself** by oneself は「一人で・独力で」（live by oneself）で、副詞句として動詞を修飾する。keep to oneself は「人と交わらない」という性格・態度を表す決まった形。見分け方：keep の後ろなら to oneself、live / do などの後ろで「一人で」なら by oneself。

0092 □□□

The police officer let the driver ＿＿＿＿ with a warning instead of giving him a ticket.

① down　② in
③ off　④ out

③ let off ～ ～を罰せずに許す；（花火など）を打ち上げる

訳 警官はその運転手に違反切符を切らず、注意だけで見逃した。

解説 違反切符を切らずに「注意だけで見逃した」は let A off with a warning。let A down は「A を失望させる」、let A in は「A を中に入れる」、let A out は「A を（閉じ込めた所から）外に出す」で、罰を免除する意味にならない。instead of giving him a ticket が見逃したことを示している。

区別 **let off ～ ⇔ let down ～** let A down は「A をがっかりさせる・期待を裏切る」。let A off は「A を罰せずに許す」。見分け方：期待を裏切るなら down、罰・義務から解放するなら off。

0093 □□□

Nobody knows what ＿＿＿＿ behind her sudden decision to quit the team.

① lays　② lies
③ laid　④ lying

② lie behind ～ ～の背後にある；～の原因となっている

訳 彼女がチームを辞めると突然決めた裏に何があるのか、誰も知らない。

解説 「～の背後にある」は自動詞 lie を使った lie behind ～。主語 what は三人称単数で現在の話なので lies。lays は他動詞 lay（横たえる）の三単現で目的語が必要。laid は lay の過去・過去分詞で、自動詞の意味にならない。lying は動詞の形として節の述語になれない。

区別 **lie behind ～ ⇔ lie in ～** lie in は「（本質・原因が）～にある」（The problem lies in the design）で、in の後ろは問題の所在。lie behind は「（表に見えない動機・理由が）裏にある」。見分け方：「～の中にこそある」と所在を示すなら lie in、隠れた裏の原因なら lie behind。

0094 □□□

My grandmother _____ the war and often tells us how hard life was in those days.

① lived on　② lived by
③ lived up to　④ lived through

④ live through ~
（困難な時期）を生き抜く；～を経験する

訳 祖母は戦争を生き抜き、当時の暮らしがどれほど苦しかったかをよく私たちに話してくれる。

解説 戦争という苦しい時期を「生き抜いた」は live through ~。lived on は「～を食べて生きた・（収入）で暮らした」、lived by は「（信条・規則）に従って生きた」、lived up to は「（期待・評判）に応えた」で、どれも the war を目的語にして意味が通らない。

区別 **live through ~ ⇔ live by ~** live by は「（信条・規則）に従って生きる」（live by one's principles）。live through は「（困難な時期）を生き抜く」。見分け方：後ろが信念・ルールなら by、戦争・災害・不況など時期なら through。

0095 □□□

Many young people still look _____ their parents for financial help even after they graduate.

① into　② to
③ after　④ over

② look to ~ ～に頼る；～に期待する

訳 多くの若者は、卒業した後もなお、経済的な援助を親に頼っている。

解説 look to A for B で「A に B を求めて頼る」。look into は「～を調べる」、look after は「～の世話をする」、look over は「～にざっと目を通す」で、どれも for financial help と組んで「援助を頼る」の意味にならない。卒業後も親に経済的に頼るという内容。

区別 **look to ~ ⇔ look up to ~** look up to は「～を尊敬する」で、for ＋ 求める物は続かない。look to A for B は「A に B を求めて頼る」。見分け方：後ろに for help / for advice があれば look to、手本として仰ぐなら look up to。

0096 □□□

Our neighbors moved away _____ the town last year, and we haven't heard from them since.

① of　② out
③ from　④ off

③ move away （遠くへ）引っ越す；離れる

訳 隣の家の人たちは昨年この町から遠くへ引っ越し、それ以来音沙汰がない。

解説 move away from ~ で「～から遠くへ引っ越す」。away は from と組む副詞。of は move out of（～から出て行く）の形で使い、away の後ろには来ない。out / off は away の後ろに重ねて場所を続ける形にならない。

区別 **move away ⇔ move out (of ~)** move out は「（家・部屋から）出て行く・退去する」で、離れる場所は of で示す。move away は「遠くへ引っ越す・離れる」で、from を使う。見分け方：前置詞が of なら move out、from なら move away。

0097 □□□

Our contract ends in March, so we have to move _____ of this apartment by the end of the month.

① away ② out
③ off ④ over

② move out 引っ越していく；退去する

訳 契約が 3 月で切れるので、私たちは月末までにこのアパートから退去しなければならない。

解説 部屋から「退去する」は move out of ~。away は move away from ~ の形で from と組み、of とは組まない。off / over も of を続けて「アパートから出る」の意味にならない（move over は「席を詰める」）。契約が切れて退去しなければならないという流れ。

区別 **move out ⇔ move in** move in は「（新しい家に）入居する・引っ越してくる」、move in with ＋ 人で「～と同居を始める」。move out は「出て行く」。見分け方：入るなら in / into、出るなら out / out of。

0098 □□□

The company decided to pull _____ of the Chinese market because of poor sales.

① back ② away
③ off ④ out

④ pull out (of ~)
（～から）撤退する；（～から）手を引く

訳 売上不振のため、その会社は中国市場から撤退することを決めた。

解説 市場から「撤退する」は pull out of ~。pull back は「後退する・手を引っこめる」だが of は続かない（pull back from）。pull away は「離れていく」で from と組む。pull off は「（難しいこと）をやってのける」で、of を続けて撤退の意味にならない。

区別 **pull out (of ~) ⇔ pull through** pull through は「（病気・危機を）乗り切る・持ちこたえる」。pull out は「手を引く・撤退する」。見分け方：重病やピンチから回復するなら through、事業や計画から抜けるなら out of。

0099 □□□

The meeting has been put _____ to next Friday because the president is sick.

① away ② up
③ aside ④ back

④ put back ~ ～を元の場所に戻す；～を延期する

訳 社長が病気なので、会議は来週の金曜日に延期された。

解説 会議を「延期する」は put back（to ＋ 日時で延期先）。put away は「片付ける・しまう」、put up は「掲げる・泊める・（値段）を上げる」、put aside は「脇に置く・（お金を）取っておく」で、どれも予定を後ろへずらす意味にならない。社長の病気で会議が延びたという内容。

区別 **put back ~ ⇔ put away ~** put away は「（使った物）を片付けてしまう・しまい込む」で、元の場所かどうかより「見えない所へしまう」。put back は「元の場所に戻す」「延期する」。見分け方：予定の延期なら put back、収納なら put away。

0100 ☐☐☐

He reached _____ the salt on the other side of the table, but it was too far away.

① up　② for
③ at　④ on

② reach for ~ ～を取ろうと手を伸ばす；～を目指す

訳 彼はテーブルの向こう側にある塩を取ろうと手を伸ばしたが、遠すぎて届かなかった。

解説 塩を「取ろうと手を伸ばした」は reach for ~。for は「～を求めて」で、まだ届いていないことを表す（後半の「遠すぎた」と合う）。reach up は「上に手を伸ばす」で the salt を続けられない。at / on は reach と組んでこの意味にならない。

区別 **reach for ~ ⇔ reach（他動詞）** reach は他動詞で、着く場所・届く物を前置詞なしで続ける（reach the top）。reach for は「取ろうとして手を伸ばす」で、まだ届いていない。見分け方：到着・到達なら reach ＋ 目的語、手を伸ばす動作なら reach for。× reach to the station。

0101 ☐☐☐

The teacher read _____ the names of the winners so that everyone in the hall could hear them.

① over　② through
③ into　④ out

④ read out ~ ～を読み上げる

訳 先生は会場の全員に聞こえるように、受賞者の名前を読み上げた。

解説 会場の全員に聞こえるように「読み上げた」は read out ~。read over は「読み返す」、read through は「通読する」で、どちらも声に出して聞かせる意味はない。read into は「（言葉に）深読みする」で、名前を読み上げる意味にならない。

区別 **read out ~ ⇔ read over / read through ~** read over は「（間違いがないか）読み返す」、read through は「最初から最後まで目を通す」で、どちらも声に出す必要はない。read out は「人に聞こえるように読み上げる」。見分け方：周りの人が聞くなら out、自分で確認するなら over / through。

0102 ☐☐☐

We have ten minutes left. Let's run _____ the main points once more before the presentation.

① through　② into
③ across　④ out of

① run through ~
～にざっと目を通す；～をおさらいする・通し稽古する

訳 あと 10 分ある。発表の前にもう一度要点をざっとおさらいしよう。

解説 発表前に要点を「ざっとおさらいする」は run through ~。run into は「偶然出会う・（問題に）ぶつかる」、run across は「偶然見つける」、run out of は「～を使い果たす」で、要点を通して確認する意味にならない。

区別 **run through ~ ⇔ run into ~** run into は「～に偶然出会う」「（困難）にぶつかる」「～に衝突する」。run through は「さっと通して確認する」。見分け方：人やトラブルに出くわすなら into、内容を最初から最後まで確認するなら through。

0103 ☐☐☐

We sent ＿＿＿＿ wedding invitations to more than two hundred guests last week.

① out　② for
③ in　④ back

① send out ～ ～を発送する；（信号・光など）を出す

訳 私たちは先週、200 人を超える招待客に結婚式の招待状を発送した。

解説 招待状を大勢に「発送した」は send out。send for は「（人）を呼びにやる・取り寄せる」、send in は「（書類）を提出する」、send back は「送り返す・返品する」で、招待状を客に送り出す意味にならない。

区別 **send out ～ ⇔ send for ～** send for は「（医者・救急車など）を呼びにやる・取り寄せる」で、来てもらう方向。send out は外へ送り出す方向。見分け方：人を呼んで来させるなら for、手紙・信号を外へ出すなら out。

0104 ☐☐☐

When you come to Kyoto, I'll be happy to show you ＿＿＿＿ the city.

① off　② up
③ out of　④ around

④ show A around (~) A に（～を）案内して回る

訳 京都に来たら、喜んで町を案内して回りますよ。

解説 京都の町を「案内して回る」は show A around ＋ 場所。show off は「見せびらかす」、show up は「現れる」で、どちらも you の後ろに the city を続けて案内の意味にならない。show A out of ~ は「A を～から送り出す」で、町の外へ出す意味になってしまう。

区別 **show A around (~) ⇔ show off ～** show off は「～を見せびらかす・自慢する」。show A around は「A を案内して回る」。見分け方：人を連れて場所を見せて回るなら around、持ち物や能力を自慢するなら off。

0105 ☐☐☐

The noisy kids wouldn't stop talking, so the angry man finally told them to shut ＿＿＿＿.

① up　② down
③ off　④ in

① shut up (~) 黙る；～を黙らせる

訳 騒がしい子どもたちがおしゃべりをやめようとしなかったので、怒った男性はついに黙れと言った。

解説 しゃべり続ける子どもたちに「黙れ」と言うのは shut up。shut down は「（機械・工場）を停止・閉鎖する」、shut off は「（水・電気など）を止める」、shut in は「閉じ込める」で、自動詞で「黙る」の意味にならない。

区別 **shut up (~) ⇔ shut down** shut down は「（工場・機械・店）を閉鎖する・停止させる」。shut up は「黙る・黙らせる」。見分け方：人が話すのをやめるなら up、機械・会社の停止なら down。

0106 ☐☐☐

I waited at the café for two hours, but she stood me ＿＿＿＿. She didn't even call.

① by　② out
③ off　④ up

④ stand up (~) 立ち上がる；（約束の相手）をすっぽかす

訳 私はカフェで 2 時間待ったが、彼女にすっぽかされた。電話さえくれなかった。

解説 約束の相手を「すっぽかす」は stand A up。stand A by という形はなく、stand by A は「A を支持する」で味方になる意味。stand out は「目立つ」、stand off は「離れている・距離を置く」で、待たせて来ないという意味にならない。

区別 **stand up (~) ⇔ stand by ~** stand by は「～を支持する・見捨てない」「待機する」。stand A up は「A をすっぽかす」。見分け方：味方でいるなら stand by、来るはずの約束を破って来ないなら stand A up。

0107 ☐☐☐

When the two boys started fighting in the hallway, a teacher stepped ＿＿＿＿ to stop them.

① in　② down
③ aside　④ back

① step in 介入する；（代わりに）乗り出す

訳 廊下で 2 人の男の子がけんかを始めたとき、先生が止めに入った。

解説 けんかを止めるために「割って入った・介入した」は step in。step down は「辞任する」、step aside は「脇へよける・身を引く」、step back は「後ろへ下がる・距離を置く」で、どれもけんかを止めに入る意味にならない。to stop them が介入の目的を示している。

区別 **step in ⇔ step down** step down は「（地位から）退く・辞任する」。step in は「中に入って介入する」。見分け方：社長・大臣が職を辞めるなら down、もめごとに割って入るなら in。

0108 ☐☐☐

Don't stick your tongue ＿＿＿＿ at people. It's very rude.

① up　② off
③ in　④ out

④ stick out (~) 突き出る；（～を）突き出す

訳 人に向かって舌を出してはいけない。とても失礼だ。

解説 舌を「突き出す」は stick out one's tongue / stick one's tongue out。stick up は「上に突き出る・（銃で）強盗する」、stick in は「差し込む・（記憶に）残る」、stick off という熟語はない。人に向かって舌を出すのは失礼だ、という内容。

区別 **stick out (~) ⇔ stand out** stand out は「（よい意味で）目立つ・際立つ」ことが多い。stick out は「（場違いに・不格好に）飛び出して目立つ」こともあり、物理的に「突き出る」意味が中心。見分け方：舌・くぎなど物が飛び出すなら stick out。

0109 ☐☐☐

The old school building will be torn _____ next year to make room for a new library.

① down ② up
③ off ④ out

① tear down ~ ～を取り壊す

訳 新しい図書館の場所を作るため、古い校舎は来年取り壊される。

解説 古い校舎を「取り壊す」は tear down（受動態で be torn down）。torn up は「ずたずたに破られる・（契約が）破棄される」で建物には使わない。torn off は「（表面から）はぎ取られる」、torn out は「（ページなどが）引き抜かれる」で、建物の取り壊しにならない。

区別 **tear down ~ ⇔ tear up ~** tear up は「（紙など）をずたずたに破る」「（契約）を破棄する」。tear down は「（建物）を取り壊す」。見分け方：建物・壁なら down、紙・手紙・契約なら up。

0110 ☐☐☐

The judge threw _____ the case because there was not enough evidence against the man.

① up ② out
③ off ④ away

② throw out ~ ～を捨てる；～を追い出す

訳 その男に不利な証拠が十分になかったので、裁判官は訴えを却下した。

解説 裁判官が訴えを「却下した」は throw out。throw away は「捨てる・（機会を）無駄にする」で、訴えを退ける意味では使わない。throw up は「吐く・投げ上げる」、throw off は「（服を）脱ぎ捨てる・（追っ手を）振り切る」で、裁判の文脈に合わない。証拠不十分という理由とも合う。

区別 **throw out ~ ⇔ throw away ~** throw away は「捨てる」「（機会・お金）を無駄にする」（throw away a chance）。throw out も「捨てる」だが、人を「追い出す」、案を「却下する」は throw out だけ。見分け方：提案・訴え・人を退けるなら out、チャンスを無駄にするなら away。

0111 ☐☐☐

The sea was very rough, and I felt so sick on the boat that I threw _____ twice.

① up ② out
③ off ④ away

① throw up (~) 吐く；（～を）投げ上げる

訳 海がとても荒れていて、船の上でひどく気分が悪くなり、2回吐いた。

解説 船酔いで「吐いた」は自動詞の throw up。throw out / throw away は「捨てる」で目的語が必要、throw off は「脱ぎ捨てる・振り切る」で、どれも体調が悪くてもどす意味にならない。felt so sick ~ that の因果とも合う。

区別 **throw up (~) ⇔ throw out ~** throw out は「捨てる・追い出す・却下する」。throw up は「吐く」「投げ上げる」。見分け方：体調が悪くてもどすなら up、不要な物・人を外へ出すなら out。

0112 ☐☐☐

I'm sorry I can't talk right now. I'm tied _____ in a meeting until three o'clock.

① down ② in
③ on ④ up

④ tie up ~

～を縛る；（be tied up で）忙しくて手が離せない

訳 ごめんなさい、今は話せません。3 時まで会議で手が離せないんです。

解説 「（会議で）手が離せない」は be tied up。be tied down は「（家庭・仕事の責任に）縛られて自由がない」という長期的な束縛で、今会議中で話せないという一時的な忙しさには使わない。tied in は「関連している（with）」、tied on は熟語にならない。

区別 **tie up ~ ⇔ be tied down** be tied down は「（家族・仕事などの責任に）縛られて自由がない」と、長期的に身動きが取れない状態。be tied up は「今は忙しくて手が離せない」という一時的な状態。見分け方：今この瞬間の忙しさなら up、生活全体の束縛なら down。

0113 ☐☐☐

The new president managed to turn the company _____ in just two years, and it is now making a profit.

① over ② back
③ down ④ around

④ turn around (~) 振り向く；（～を）好転させる

訳 新社長はわずか 2 年で会社を立て直すことに成功し、今では会社は利益を上げている。

解説 会社を「立て直す・好転させる」は turn A around。turn A over は「ひっくり返す・（to ~）譲り渡す」、turn A back は「追い返す・引き返させる」、turn A down は「断る・（音量を）下げる」で、利益が出るようになったという内容に合わない。

区別 **turn around (~) ⇔ turn over ~** turn over は「ひっくり返す」「（仕事・会社）を譲り渡す（to ~）」。turn around は「好転させる」。見分け方：赤字の会社を立て直すなら around、経営権を人に渡すなら over to。

0114 ☐☐☐

If you keep spending money like that, you'll wind up _____ all your savings by summer.

① lose ② to lose
③ losing ④ lost

③ wind up (~) 結局～になる；（～を）終わりにする

訳 そんなふうにお金を使い続けたら、夏までに貯金を全部失う羽目になるよ。

解説 wind up は end up と同じく「結局～することになる」で、後ろは動名詞 losing。to lose（不定詞）は wind up / end up の後ろには使わない。原形 lose や過去分詞 lost も wind up の直後に置けない。浪費を続けると貯金を失う羽目になる、という警告。

区別 **wind up (~) ⇔ end up** end up とほぼ同じで、どちらも後ろは ~ing・前置詞句・as ~（× to do）。wind up はややくだけた言い方で、会議を「締めくくる」など他動詞の意味も持つ。見分け方：意味は同じなので、後ろの形（~ing）が問われる。

0115 ☐☐☐

This legend has come ＿＿＿ to us from ancient times, passed from parents to children.

① up　② over
③ down　④ about

③ come down　下がる；降りてくる

訳 この伝説は親から子へと受け継がれ、古代から私たちに伝わってきた。

解説 伝説が昔から今に「伝わってきた」は come down (to ~)。come up は「（話題が）出る・近づく」、come over は「やって来る・（感情が）襲う」、come about は「起こる」で、昔から受け継がれてきた意味にならない。from ancient times と親から子へ、が伝承を示す。

区別 **come down ⇔ hand down ~**　hand down は他動詞で「（伝統・物）を伝える・残す」、受動態 be handed down が多い。come down は自動詞で、伝統や話が主語になって「伝わってくる」。見分け方：受動態なら hand down、主語が伝統で能動なら come down。

0116 ☐☐☐

The teacher kept him ＿＿＿ after school because he hadn't done his homework.

① out　② in
③ off　④ away

② keep in ~　～を閉じ込めておく；（罰で）居残りさせる

訳 宿題をしてこなかったので、先生は彼を放課後に居残りさせた。

解説 罰として「居残りさせる」は keep A in。keep A out は「A を中に入れない」で、放課後に残らせる意味と逆。keep A off は「A を近づけない（off the grass など）」、keep A away は「A を遠ざける」で、居残りの意味にならない。

区別 **keep in ~ ⇔ keep out ~**　keep A out は「A を中に入れない・締め出す」（Keep Out＝立入禁止）。keep A in は「A を中にとどめる」。見分け方：外へ出さないなら in、中へ入れないなら out。

0117 ☐☐☐

My father has always lived ＿＿＿ one simple rule: never tell a lie.

① by　② on
③ through　④ with

① live by ~　（信条・規則）に従って生きる

訳 父は常に一つの単純な決まりに従って生きてきた。それは「決してうそをつかない」ということだ。

解説 「（信条・規則）に従って生きる」は live by ~。live on は「～を食べて・（収入）で暮らす」、live through は「（困難な時期）を生き抜く」、live with は「～と同居する・（嫌なこと）を我慢して受け入れる」で、規則に従う意味にならない。

区別 **live by ~ ⇔ live on ~**　live on は「～を主食にする・（収入）で暮らす」（live on a pension）。live by は「（信条）に従って生きる」。見分け方：食べ物・お金なら on、ルール・信念なら by。

0118 ☐☐☐

I left my key on the kitchen table and locked myself ＿＿＿ of the house.

① up　② in
③ out　④ off

③ lock out ~ ～を締め出す

訳 台所のテーブルに鍵を置いたまま、家から自分を締め出してしまった。

解説 鍵を中に置いたまま「自分を家から締め出した」は lock oneself out of ~。lock oneself in は「中に閉じこもる」で、鍵を持たずに外にいる状況と逆。lock up は「戸締まりする・閉じ込める」で of the house と組まない。lock off は熟語にならない。

区別 **lock out ~ ⇔ lock in ~ / lock up ~** lock A in は「A を閉じ込める」、lock up は「戸締まりする・閉じ込める・しまい込む」。lock A out は「中に入れないように締め出す」。見分け方：外にいて入れないなら out、中から出られないなら in。

0119 ☐☐☐

Could you look in ＿＿＿ my grandmother while I'm away? She lives alone.

① for　② at
③ to　④ on

④ look in on ~ （様子を見に）～をちょっと訪ねる

訳 私の留守中、祖母の様子をちょっと見に行ってもらえますか。一人暮らしなので。

解説 人の「様子を見に訪ねる」は look in on ＋ 人。look in at は場所に立ち寄るときに使い、人には使わない。look in to / look in for は熟語にならない（look into は「調べる」）。一人暮らしの祖母を見てきてほしいという依頼。

区別 **look in on ~ ⇔ drop in on ~** drop in on も「（人を）ちょっと訪ねる」だが、予告なしにふらっと寄る感じ。look in on は「様子を確かめるために」訪ねる意味が強い。どちらも on ＋ 人、at ＋ 場所。

0120 ☐☐☐

Our hotel room looked out ＿＿＿ the beautiful sea, so we could watch the sunset from bed.

① on　② for
③ of　④ in

① look out on ~
（窓・部屋などが）～に面している；～を見渡す

訳 ホテルの部屋は美しい海に面していたので、ベッドから夕日を眺めることができた。

解説 部屋が「～に面している」は look out on ~（onto / over も可）。look out for は「～に気をつける・探す」で主語は人、look out of は「（人が窓など）から外を見る」で、部屋が主語の文に合わない。look out in は熟語にならず、部屋の向きを表さない。

区別 **look out on ~ ⇔ look out for ~** look out for は「～に気をつける・～を探す」で、主語は人。look out on は「（部屋・窓が）～に面している」で、主語は建物の部分。見分け方：主語が部屋・窓なら on、人が注意するなら for。

0121 ☐☐☐

While I was looking at the map, a thief made _____ with my bag.

① off ② out
③ up ④ over

① make off (with ~) （～を持って）急いで逃げる

訳 私が地図を見ている間に、泥棒が私のバッグを持ち逃げした。

解説 「～を持ち逃げする」は make off with ~。make out with は（くだけた米語で）「～といちゃつく」、make up with は「～と仲直りする」で、泥棒には合わない。make over は「（財産を）譲渡する・作り直す」で with と組まない。

区別 **make off (with ~) ⇔ make up with ~** make up with ＋ 人は「（けんかの後）～と仲直りする」。make off with は「～を持ち逃げする」。見分け方：後ろが物で泥棒の話なら off、人で仲直りなら up。

0122 ☐☐☐

This is a big job, but if we all pull _____, we can finish it by tonight.

① together ② through
③ over ④ off

① pull together 協力する；力を合わせる

訳 これは大仕事だが、皆で力を合わせれば今夜までに終えられる。

解説 皆で「力を合わせる」は pull together。pull through は「（危機を）乗り切る」で、we all と組んで協力の意味にならない。pull over は「（車を）道の端に止める」、pull off は目的語を取って「（難しいこと）をやってのける」で、目的語なしでは使えない。

区別 **pull together ⇔ pull through** pull through は「（病気・危機を）乗り切る」。pull together は「協力する」。見分け方：複数の人が力を合わせるなら together、重病や困難を乗り越えるなら through。

0123 ☐☐☐

I'll see _____ getting tickets for the concert. I think they're still available.

① through ② into
③ off ④ about

④ see about ~ ～を手配する；～について考えてみる

訳 コンサートのチケットを手配してみるよ。まだ買えると思うから。

解説 チケットを「手配する」は see about ~（後ろは動名詞も可）。see into は「～を調べる・見通す」、see off は「（人）を見送る」、see through は「（うそ）を見抜く・最後までやり通す」で、チケットを手に入れる手配の意味にならない。

区別 **see about ~ ⇔ see off ~** see A off は「A を見送る」（see him off at the airport）。see about は「～を手配する」。見分け方：人を駅・空港で送り出すなら off、用事の手配なら about。

0124 ☐☐☐

The soup was cold when it arrived, so I sent it _____ to the kitchen.

① out　② back
③ off　④ up

② send back ~ ～を送り返す；～を返品する

訳 スープは運ばれてきたとき冷めていたので、私はそれを厨房に返した。

解説 冷めたスープを厨房に「返した」は send back。send out は「発送する・（信号を）出す」、send off は「発送する・見送る」、send up は「上に送る・（英国で）からかう」で、届いた料理を戻す意味にならない。to the kitchen が戻し先を示す。

区別 **send back ~ ⇔ send off ~** send off は「（手紙・荷物）を発送する」「（人）を見送る」「（選手）を退場させる」。send back は「（受け取った物）を送り返す」。見分け方：元の送り主に戻すなら back、新しく発送するなら off。

0125 ☐☐☐

Her excellent English sets her _____ from the other applicants for the job.

① back　② aside
③ apart　④ down

③ set apart ~ ～を際立たせる；～を区別する

訳 優れた英語力によって、彼女はその仕事のほかの応募者とは一線を画している。

解説 能力がほかの人から「際立たせる・区別する」は set A apart from B。set aside は「取っておく・脇に置く」、set back は「遅らせる・（費用が）かかる」、set down は「書き留める・下に置く」で、from the other applicants と組んで際立つ意味にならない。

区別 **set apart ~ ⇔ set aside ~** set aside は「（お金・時間）を取っておく」「（問題）を脇に置く」。set apart は「際立たせる・区別する」が中心。見分け方：from ＋ 比べる相手があり「目立たせる」なら apart、貯金や保留なら aside。

0126 ☐☐☐

The heavy curtains shut _____ the light from the street, so I could sleep well.

① out　② up
③ down　④ in

① shut out ~ ～を締め出す；（光・音）を遮る

訳 厚いカーテンが通りの明かりを遮ってくれたので、私はよく眠れた。

解説 外の光を「遮る」は shut out。shut up は「黙る・閉じ込める」、shut down は「（工場・機械を）閉鎖・停止する」、shut in は「閉じ込める」で、外からの光を入れない意味にならない。よく眠れたという結果とも合う。

区別 **shut out ~ ⇔ shut in ~** shut A in は「A を閉じ込める」。shut A out は「A を外に締め出す」。見分け方：中にいるものを出さないなら in、外のものを入れないなら out。光・音を遮るのは外から入れないので out。

0127 ☐☐☐

The performance is about to begin. Just sit _____ and enjoy the show.

① up　② back
③ out　④ over

② sit back　くつろぐ；（何もせず）傍観する

訳 まもなく公演が始まります。どうぞ楽にしてショーをお楽しみください。

解説 「（いすにもたれて）くつろぐ」は sit back で、sit back and enjoy ~ が決まり文句。sit up は「背筋を伸ばす・寝ずに起きている」でくつろぐ意味と逆。sit out は「（ダンス・試合に）参加しないでいる」、sit over は熟語にならない。

区別 **sit back ⇔ sit up**　sit up は「背筋を伸ばして座る」「（寝た状態から）起き上がる」「遅くまで起きている」。sit back は「背にもたれてくつろぐ・傍観する」。見分け方：姿勢を正すなら up、もたれて楽にするなら back。

0128 ☐☐☐

Since the head coach was sick, his assistant stood _____ him at the final game.

① out for　② up for
③ by for　④ in for

④ stand in for ~　～の代わりを務める

訳 監督が病気だったので、決勝戦ではアシスタントコーチが彼の代わりを務めた。

解説 病気の監督の「代わりを務めた」は stand in for ~。stand up for は「～を擁護する」で、病気の監督を守る意味になり文脈に合わない。stand by for という代役の形はなく（stand by は「待機する・支持する」）、stand out for は「～を要求して譲らない」という別の意味になる。

区別 **stand in for ~ ⇔ stand up for ~**　stand up for は「～を擁護する・～のために立ち上がる」（stand up for one's rights）。stand in for は「～の代わりを務める」。見分け方：味方として守るなら up for、本人の代わりに仕事をするなら in for。

0129 ☐☐☐

She started _____ as a waitress, and now she owns three restaurants in Tokyo.

① out　② up
③ down　④ away

① start out　（人生・仕事を）始める；出発する

訳 彼女はウエートレスとして仕事を始め、今では東京に 3 軒のレストランを持っている。

解説 「（仕事人生を）～として始める」は start out as ~（start off as も可）。start up は「（事業）を始める・（機械を）始動させる」で、人が as a waitress と組んで出発点を表す形にならない。start down / start away は熟語にならない。今は 3 軒の店を持つという変化と対比している。

区別 **start out ⇔ start over**　start over は「最初からやり直す」で、一度始めたことを白紙に戻す。start out は「（初めて）始める」。見分け方：やり直しなら over、キャリアや旅の出発点なら out。

0130 □□□

It was raining heavily all day, so we stayed _____ and played board games.

① off　② out
③ in　④ behind

③ stay in 家にいる；外出しない

訳 一日中激しく雨が降っていたので、私たちは家にいてボードゲームをした。

解説 雨なので「外出せず家にいた」は stay in。stay out は「外にいる・帰らない」で、雨だから（so）という因果に合わない。stay off は「（仕事・学校を）休む・（物を）控える」で目的語が必要。stay behind は「（ほかの人が去った後も）残る」で、家でゲームをした文脈に合わない。

区別 **stay in ⇔ stay up** stay up は「（夜遅くまで）寝ずに起きている」。stay in は「家の中にいる」。見分け方：寝る時間の話なら up、外出するかどうかなら in。

0131 □□□

She was so angry that she tore _____ his letter without even reading it.

① up　② down
③ off　④ away

① tear up ~ ～をずたずたに破る；（契約など）を破棄する

訳 彼女はとても腹を立てていたので、彼の手紙を読みもせずにずたずたに破った。

解説 手紙を「ずたずたに破った」は tear up。tear down は「（建物を）取り壊す」、tear off は「（一部を）はぎ取る」、tear away は「引き離す・（人が）急いで去る」で、手紙を細かく破る意味にならない。怒りの強さとも合う。

区別 **tear up ~ ⇔ tear down ~** tear down は「（建物）を取り壊す」。tear up は「（紙・契約）を破る」。見分け方：建物なら down、紙や約束なら up。

0132 □□□

You should think the plan _____ carefully before you decide to quit your job.

① back　② through
③ of　④ about

② think through ~ ～を十分に考え抜く

訳 仕事を辞めると決める前に、その計画を慎重に考え抜くべきだ。

解説 計画を「十分に考え抜く」は think A through。think back は「振り返る」で on / to が必要、the plan を間に挟む形にならない。think of / think about は前置詞なので、目的語 the plan の後ろに置けない（think about the plan の語順なら可）。

区別 **think through ~ ⇔ think up ~** think up は「（案・言い訳）を考え出す・思いつく」で、新しい物を作り出す。think through は「すでにある案を最後まで検討する」。見分け方：アイデアを生み出すなら up、計画の結果を検討するなら through。

0133 ☐☐☐

The flood washed _____ several houses near the river, but luckily no one was hurt.

① over　② up
③ away　④ on

③ wash away ~ ～を押し流す；～を洗い流す

訳 洪水で川の近くの家が何軒も押し流されたが、幸いけが人はいなかった。

解説 洪水が家を「押し流した」は wash away。wash up は「（物を岸に）打ち上げる・食器を洗う」で、家を流し去る意味にならない。wash over は「（波・感情が）～に押し寄せる」で、家を消し去る意味ではない。wash on は熟語にならない。

区別 **wash away ~ ⇔ wash up ~** wash up は「（食器を）洗う」「（波が物を）岸に打ち上げる」。wash away は「押し流して持ち去る」。見分け方：流されて消えるなら away、岸に打ち上げられるなら up。

0134 ☐☐☐

Somebody told the newspapers about the singer's marriage, so the secret is _____ now.

① out　② off
③ over　④ up

① be out 外出している；（本・製品が）出ている

訳 誰かがその歌手の結婚について新聞に話したので、秘密は今や知れ渡っている。

解説 秘密が「知られている・明るみに出ている」は be out。be off は「（予定が）中止だ・（電気が）切れている」、be over は「終わっている」で、秘密が知れ渡った意味にならない。be up は「起きている・（時間が）尽きた」で、The secret is up とは普通言わない（The game is up なら「たくらみがばれた」）。

区別 **be out ⇔ be off** be off は「（電気・機械が）切れている」「（予定が）中止だ」「（人が）出発する」。be out は「外に出ている・明るみに出ている・消えている」。秘密が知られたなら out、イベントの中止なら off。

0135 ☐☐☐

I was completely taken _____ by her rude question and didn't know how to answer.

① back　② aback
③ away　④ apart

② be taken aback びっくりする；面食らう

訳 私は彼女の失礼な質問にすっかり面食らってしまい、どう答えればいいか分からなかった。

解説 「びっくりする・面食らう」は be taken aback（a- の付く aback）。back だと be taken back で「連れ戻される・取り消される」になり、驚きの意味にならない。be taken away は「連れ去られる」、be taken apart は「分解される・酷評される」で文意に合わない。

区別 **be taken aback ⇔ take back ~** take back は「（言ったこと）を取り消す」「～を返品する・連れ戻す」。be taken aback は「びっくりする」。見分け方：aback（a- が付く）なら驚き、back なら返す・取り消す。

0136 □□□

Happy birthday! Now make a wish and blow _____ the candles!

① away ② off
③ up ④ out

④ blow out ~ （火）を吹き消す；（タイヤが）パンクする

訳 誕生日おめでとう！ さあ、願い事をしてろうそくを吹き消して！

解説 ろうそくを「吹き消す」は blow out。blow off は「（風で）吹き飛ばす・（約束を）すっぽかす」、blow up は「爆破する・ふくらませる」、blow away は「吹き飛ばす・圧倒する」で、火を消す意味にならない。

区別 **blow out ~ ⇔ blow up ~** blow up は「～を爆破する」「（風船など）をふくらませる」「（怒って）かっとなる」。blow out は「吹き消す」。見分け方：火を消すなら out、空気を入れる・爆発させるなら up。

0137 □□□

Because the president will be away on Friday, the meeting has been brought _____ to Wednesday.

① about ② back
③ forward ④ out

③ bring forward ~ ～を提案する；（予定）を早める

訳 社長が金曜日に不在になるため、会議は水曜日に繰り上げられた。

解説 金曜から水曜へ「早める・繰り上げる」は bring forward。bring back は「戻す・思い出させる」で日程を早める意味はない（延期なら put back）。bring about は「引き起こす」、bring out は「（製品を）出す・引き出す」で、会議の日程変更にならない。

区別 **bring forward ~ ⇔ put back ~ / put off ~** put back / put off は「延期する（後ろへずらす）」。bring forward は「前倒しにする（早める）」で正反対。見分け方：日付が早くなるなら forward、遅くなるなら back / off。

0138 □□□

Every summer, the music festival brings _____ people from many different countries.

① together ② about
③ off ④ round

① bring together ~ ～を集める；～をまとめる

訳 毎年夏、その音楽祭には多くのさまざまな国から人々が集まる。

解説 音楽祭が人々を「一か所に集める」は bring together。bring about は「（変化など）を引き起こす」で人を目的語にしない。bring off は「（難しいこと）をやり遂げる」、bring round は「（人）を説得する・意識を回復させる」で、多くの国の人を集める意味にならない。

区別 **bring together ~ ⇔ come together** come together は自動詞で「（人々が）集まる・まとまる」。bring together は他動詞で「（人々）を集める」。見分け方：集める主体と目的語があれば bring、集まる人が主語なら come。

0139 □□□

Someone in the crowd called _____ my name, but I couldn't see who it was.

① off　② out
③ on　④ up

② call out　大声で呼ぶ；～を大声で言う

訳 人混みの中で誰かが大声で私の名前を呼んだが、それが誰なのか見えなかった。

解説 人混みの中で名前を「大声で呼んだ」は call out。call off は「中止する」、call on は「（人）を訪ねる・（人）に頼む」、call up は「電話をかける・呼び起こす」で、my name を目的語にしてその場で叫ぶ意味にならない。

区別 **call out ⇔ call off ～** call off は「（予定・イベント）を中止する」。call out は「大声で呼ぶ・出動させる」。見分け方：取りやめるなら off、声を出す・呼び出すなら out。

0140 □□□

The government has come _____ heavy criticism for raising taxes again.

① across　② into
③ under　④ over

③ come under ～
（攻撃・批判）を受ける；～の管轄・部類に入る

訳 政府は再び増税したことで、激しい批判を浴びている。

解説 「（批判）を受ける」は come under criticism。come into は「（財産を）相続する・（状態に）入る」、come across は「偶然出会う・（印象を）与える」、come over は「やって来る・（感情が）襲う」で、criticism と組んで批判を受ける意味にならない（come in for なら可）。

区別 **come under ～ ⇔ come in for ～** come in for も「（批判など）を受ける」で、come in for criticism の形。come under は attack / pressure / control など広く使え、管轄の意味もある。どちらも批判を受ける意味で使えるが、前置詞の組み合わせが違う。

0141 □□□

When we started the business, we came up _____ many problems, such as a lack of money.

① against　② with
③ to　④ for

① come up against ～　（困難・反対）に直面する

訳 事業を始めたとき、私たちは資金不足など多くの問題に直面した。

解説 「（困難）に直面する」は come up against ～。come up with は「（案）を考え出す」で、問題を自分で作り出す意味になってしまう。come up to は「～に近づく・（期待）に達する」、come up for は「（審議・選挙に）かけられる」で、問題にぶつかる意味にならない。

区別 **come up against ～ ⇔ come up with ～** come up with は「（案・答え）を思いつく・考え出す」。come up against は「（困難）に直面する」。見分け方：アイデアを生み出すなら with、問題にぶつかるなら against。

0142 ☐☐☐

The soup is very hot. Wait for it to cool _____ before you eat it.

① over　② up
③ down　④ away

③ cool down 冷える；～を冷ます

訳 スープはとても熱い。食べる前に冷めるのを待ちなさい。

解説 スープが「冷める」は cool down（cool off も可）。cool up は熟語にならず、温度が上がる意味なら warm up。cool over / cool away も決まった形にならない。熱いので冷めるまで待つ、という内容。

区別 **cool down ⇔ calm down** calm down は「（人が）落ち着く」で、温度には使わない。cool down は温度が下がる意味と、怒りが静まる意味の両方。見分け方：スープなど物の温度なら cool down。

0143 ☐☐☐

The baby woke up in the night and started crying _____ milk.

① at　② of
③ by　④ for

④ cry for ～ ～を求めて叫ぶ［泣く］；～を強く必要とする

訳 赤ちゃんは夜中に目を覚まし、ミルクを欲しがって泣き出した。

解説 cry for ～で「～を求めて泣く」。ミルクは赤ちゃんが欲しいものなので for。cry at は「（知らせなど）を聞いて泣く」、by / of は cry と組んで欲しいものを表さない。

区別 **cry for ～ ⇔ cry over ～** cry over は「（過ぎたこと）を嘆く」（It is no use crying over spilt milk.）。cry for は「～を求めて泣く・叫ぶ」。見分け方：欲しいものなら for、悲しんでいる出来事なら over。

0144 ☐☐☐

The reporter dug _____ some interesting facts about the politician's past.

① up　② in
③ off　④ over

① dig up ～ ～を掘り起こす；（情報・事実）を探り出す

訳 その記者は政治家の過去について興味深い事実を探り出した。

解説 隠れていた事実を「探り出した」は dig up。dig in は「（食べ始める・塹壕を掘って）踏ん張る」で目的語の facts と組まない。dig off / dig over は熟語にならない（dig over は「（土）を掘り返す」の意味で事実には使わない）。

区別 **dig up ～ ⇔ dig into ～** dig into は「～を（深く）調べる」「（食べ物）にかぶりつく」で、後ろは調べる対象。dig up は「（事実）を掘り出して表に出す」。見分け方：見つけて表に出した結果に重点があれば up、調べる行為なら into。

0145 ☐☐☐

The new manager's rude attitude drove _____ many of the restaurant's regular customers.

① in　② up
③ down　④ away

④ drive away ～ ～を追い払う；車で走り去る

訳 新しい店長の失礼な態度のせいで、レストランの常連客の多くが離れていった。

解説 失礼な態度が常連客を「追い払った・遠ざけた」は drive away。drive up は「（価格を）押し上げる」、drive down は「（価格を）押し下げる」で、目的語が customers では意味が通らない。drive in は「（くぎを）打ち込む・車で乗り入れる」で文意に合わない。

区別 **drive away ～ ⇔ drive up ～** drive up は「（価格など）を押し上げる」「車で乗りつける」。drive away は「追い払う・走り去る」。見分け方：値段が上がるなら up、人を遠ざけるなら away。

0146 ☐☐☐

This old car eats _____ a lot of gas, so I'm thinking of buying a new one.

① up　② out
③ away　④ off

① eat up ~ ～を食べ尽くす；（時間・お金）を使い果たす

訳 この古い車はガソリンを大量に食うので、新しいのを買おうかと考えている。

解説 燃料を「大量に使う・食う」は eat up。eat out は「外食する」で目的語を取らない。eat away は at を伴って「少しずつ侵食する」で、ガソリンを大量に使う意味にならない。eat off は「（皿）から食べる」で文意に合わない。

区別 **eat up ~ ⇔ eat out** eat out は「外食する」という自動詞で、目的語を取らない。eat up は「食べ尽くす・使い果たす」で目的語を取る。見分け方：レストランで食べるなら out、全部食べる・大量に消費するなら up。

0147 ☐☐☐

Most of the animals in this zoo fall _____ three groups: mammals, birds, and reptiles.

① off　② on
③ into　④ to

③ fall into ~ ～に陥る；～に分類される

訳 この動物園のほとんどの動物は、哺乳類・鳥類・は虫類の 3 つのグループに分類される。

解説 「（いくつかのグループ）に分類される」は fall into ~。fall on は「（日付が）～に当たる・（責任が）～にかかる」、fall off は「落ちる・減る」、fall to は「（仕事が）～の役目になる」で、3 つのグループに分かれる意味にならない。

区別 **fall into ~ ⇔ fall under ~** fall under は「（ある部類・管轄）に入る」（fall under the category of ~）で、一つの部類に属すること。fall into は three groups のように「いくつかに分かれる」ときにも使える。見分け方：数詞＋ groups に分かれるなら into。

0148 ☐☐☐

I'm sorry, but I've had a headache all day, so I don't feel up _____ going out tonight.

① with　② to
③ on　④ at

② feel up to ~ ～できそうな気がする；～をする元気がある

訳 ごめんなさい、一日中頭が痛かったので、今夜は出かける元気がありません。

解説 「～をする元気がある・できそうな気がする」は feel up to ~ で、to は前置詞なので後ろに going が続く。with / on / at は feel up と組んでこの意味にならない。頭痛のせいで出かける元気がない、という内容。

区別 **feel up to ~ ⇔ be up to ~** be up to は「（人）次第だ」（It's up to you）、「～をたくらんでいる」（What are you up to?）、「～に耐えられる」。feel up to は「（体調・気分的に）～できそうだと感じる」。見分け方：体調や自信の話で feel があれば feel up to。

0149 □□□

I'm surprised that all my clothes fit _____ one small suitcase.

① into　② in with
③ on　④ up

① fit into ~ ～に収まる；～になじむ

訳 服が全部小さなスーツケース 1 つに収まったことに驚いている。

解説 スーツケースの「中に収まる」は fit into ~。fit in with は「（人・予定）とうまく合う」で、容器に入る意味ではない。fit on は「（ふたなどが）上にはまる・（服が）試着される」、fit up は「（設備を）備え付ける」で、服がかばんに入る意味にならない。

区別 **fit into ~ ⇔ fit in with ~** fit in with は「（人・予定）とうまく合う・なじむ」で、with の後ろに合わせる相手。fit into は「（空間・集団）の中に収まる」。見分け方：容器・場所・枠の中に入るなら into、相手と調和するなら in with。

0150 □□□

It has rained every day for two weeks. This weather is really getting me _____.

① off　② down
③ out　④ over

② get down （人）を落ち込ませる；降りる

訳 2 週間毎日雨が降っている。この天気には本当に気がめいる。

解説 天気が人を「落ち込ませる・気をめいらせる」は get A down。get A off は「A を降ろす・（罰を）免れさせる」、get A out は「A を外に出す」、get A over は「A を終わらせる・（考えを）伝える」で、気分が沈む意味にならない。

区別 **get down ⇔ get down to ~** get down to ＋ 名詞・~ing は「（仕事など）に本腰を入れて取りかかる」（get down to work）。get A down は「A を落ち込ませる」。見分け方：to ＋ 仕事なら取りかかる、人が間に入れば落ち込ませる。

0151 □□□

The sky was dark all afternoon, but fortunately the rain held _____ until the game was over.

① off　② on
③ down　④ back

① hold off （～を）延期する；（敵など）を寄せつけない

訳 午後はずっと空が暗かったが、幸い試合が終わるまで雨は降らずにもった。

解説 雨が「降らずにいる・もつ」は hold off。hold on は「待つ・しがみつく・持ちこたえる」で人が主語になるのが普通、hold down は「押さえつける・（仕事を）続ける」、hold back は「（感情を）抑える・ためらう」で、雨が主語の文に合わない。

区別 **hold off ⇔ hold on** hold on は「待つ」（Hold on a minute）、「しっかりつかまる・持ちこたえる」。hold off は「（雨が）降らずにいる・延期する」。見分け方：天気が崩れずにもつなら off、電話で待つ・つかまるなら on。

0152 □□□

She lives _____ her children and would do anything for them.

① on　② at
③ by　④ for

④ live for ～　～のために生きる；～を生きがいにする

訳 彼女は子どもたちを生きがいにしていて、子どもたちのためなら何でもするだろう。

解説 live for ～で「～を生きがいにする」。後半の「子どものためなら何でもする」が生きがいの意味と合う。live on は「～を食べて・～の収入で暮らす」、live by は「（信念など）に従って生きる」で、子どもを目的語にしてこの意味にはならない。at は live と組んで人を目的語にしない。

区別 **live for ～ ⇔ live on ～** live on は「～を常食とする・（収入）で暮らす」（live on rice / live on a small pension）。live for は「～を生きがいにする」。見分け方：食べ物・お金なら on、大切な目的なら for。

0153 □□□

You're the last one here tonight, so don't forget to lock _____ before you leave the office.

① up　② out
③ off　④ away

① lock up (~)　戸締まりをする；～を閉じ込める

訳 今夜は君が最後だから、事務所を出る前に戸締まりを忘れないように。

解説 目的語なしで「（建物の）戸締まりをする」は lock up。lock out は lock A out の形で目的語が必要、lock away も「（物を）しまい込む」で目的語が必要。lock off は熟語にならない。最後に帰る人への注意。

区別 **lock up (~) ⇔ lock out ~** lock A out は「A を締め出す」で、A は外に残される。lock up は「戸締まりをする・閉じ込める・しまう」で、目的語なしでも使える。見分け方：建物を閉めて帰るなら lock up、人が入れないなら lock out。

0154 □□□

Instead of worrying about past mistakes, we should look _____ and plan for the future.

① up　② back
③ over　④ ahead

④ look ahead　先のことを考える；前を見る

訳 過去の失敗をくよくよ考えるのではなく、先を見据えて将来の計画を立てるべきだ。

解説 将来の計画を立てるのだから「先のことを考える」の look ahead。look back は「振り返る」で、Instead of worrying about past mistakes と同じ方向になり対比にならない。look over は「目を通す」で目的語が必要、look up は「見上げる・（調べる）」で文意に合わない。

区別 **look ahead ⇔ look back (on ~)** look back は「（過去を）振り返る」で正反対。look ahead は「先を見る」。見分け方：将来の計画なら ahead、思い出や過去の反省なら back。

0155 ☐☐☐

The old theater was pulled _____ last year to make way for a parking lot.

① off　② down
③ out　④ over

② pull down ~ ～を取り壊す；～を引き下ろす

訳 古い劇場は駐車場を作るために昨年取り壊された。

解説 建物を「取り壊す」は pull down（受動態で be pulled down）。pull off は「（難しいこと）をやってのける・脱ぐ」、pull out は「撤退する・引き抜く」、pull over は「（車を）道の端に止める」で、劇場を壊して駐車場にする意味にならない。

区別 **pull down ~ ⇔ pull out (of ~)** pull out は「撤退する・引き抜く」。pull down は「取り壊す・引き下ろす」。見分け方：建物を壊すなら down、事業から手を引くなら out of。

0156 ☐☐☐

The project is behind schedule, so the deadline has been pushed _____ to next month.

① aside　② off
③ back　④ down

③ push back ~ ～を延期する；～を押し戻す

訳 プロジェクトが予定より遅れているので、締め切りは来月に延期された。

解説 締め切りを「延期する・後ろにずらす」は push back（to next month が延期先）。push off は「出発する・（舟を）押し出す」、push aside は「押しのける・無視する」、push down は「押し下げる」で、締め切りを遅らせる意味にならない。

区別 **push back ~ ⇔ bring forward ~** bring forward は「（予定）を早める」で正反対。push back は「遅らせる」。見分け方：日付が後ろへずれるなら push back、前へずれるなら bring forward。

0157 ☐☐☐

She put _____ a lot of time and effort to pass the entrance exam.

① in　② on
③ off　④ up

① put in ~ （時間・努力）を費やす；～を取り付ける

訳 彼女は入試に合格するために、たくさんの時間と努力をつぎ込んだ。

解説 時間と努力を「費やす・つぎ込む」は put in。put on は「着る・（体重が）増える・上演する」、put off は「延期する」、put up は「掲げる・泊める・（値段を）上げる」で、time and effort を目的語にして注ぎ込む意味にならない（put up a fight なら「抵抗する」）。

区別 **put in ~ ⇔ put on ~** put on は「（服）を着る」「（体重）が増える」「（劇）を上演する」。put in は「（時間・努力）を費やす・取り付ける」。見分け方：努力や時間を注ぎ込むなら in、身につける・上演するなら on。

0158 ☐☐☐

In the second half, the player was sent _____ for hitting an opponent.

① up　② off
③ in　④ over

② send off ~ ～を発送する；～を見送る

訳 後半、その選手は相手を殴ったために退場させられた。

解説 選手が「退場させられる」は be sent off。be sent up は「上に送られる・（英国で）からかわれる」、be sent in は「（交代で）送り込まれる・提出される」で退場の逆、be sent over は「派遣される」で、反則で退場する意味にならない。

区別 **send off ~ ⇔ send out ~** send out は「（多くの人に）発送する・（信号を）出す」。send off は「（一つの物を）発送する」「退場させる・見送る」。見分け方：選手の退場は off、大勢への一斉送付は out。

0159 ☐☐☐

We sat _____ all night talking about our dreams for the future.

① down ② back
③ up ④ out

③ sit up 寝ないで起きている；背筋を伸ばして座る

訳 私たちは将来の夢について語り合いながら、一晩中起きていた。

解説 「（夜通し）寝ないで起きている」は sit up (all night)。sit back は「くつろぐ・傍観する」、sit down は「座る」で、all night と組んで夜更かしの意味にならない。sit out は「（ダンス・試合などに）参加しないでいる」で文意に合わない。

区別 **sit up ⇔ stay up** stay up も「寝ずに起きている」だが、座っている姿勢は問わない。sit up は「座って（話したり看病したりしながら）起きている」感じ。どちらも all night / late と使える。sit up には「背筋を伸ばす」の意味もある。

0160 ☐☐☐

A: We're all tired of studying for exams. B: Speak _____ yourself! I'm enjoying it.

① to ② for
③ about ④ with

② speak for ~ ～を代弁する；～を支持する

訳 A：私たちはみんな試験勉強にうんざりしているよね。 B：一緒にしないで！ 私は楽しんでいるよ。

解説 「みんな～だ」という一般化に「それはあなたの場合でしょ・私を含めないで」と返すのは Speak for yourself!。Speak to yourself は「独り言を言え」、Speak about yourself は「自分について話して」、Speak with yourself は決まった表現にならず、反論の意味にならない。

区別 **speak for ~ ⇔ speak to ~** speak to は「～に話しかける・～と話す」で、for は「～の代わりに」。見分け方：話す相手なら to、代弁する相手なら for。

0161 ☐☐☐

I made too many mistakes in my drawing, so I had to throw it away and start _____.

① over ② up
③ by ④ in

① start over 最初からやり直す

訳 絵に間違いが多すぎたので、捨てて最初からやり直さなければならなかった。

解説 失敗して「最初からやり直す」は start over。start up は「（事業を）立ち上げる・（機械を）始動させる」、start by は「～から始める」で後ろに ~ing などが必要、start in は「（～に）取りかかる」で on などを伴い、捨ててやり直す意味にならない。

区別 **start over ⇔ start out** start out は「（人生・仕事を）始める・出発する」で、初めて始めること。start over は一度始めたことを「やり直す」。見分け方：失敗や中断の後なら over、キャリアの出発点なら out。

0162 □□□

Learning the piano is hard at first, but if you stick _____ it, you'll gradually improve.

① on　② with
③ out　④ up

② stick with ~ ～を（諦めずに）続ける；～から離れない

訳 ピアノを習うのは初めは難しいが、諦めずに続ければだんだん上達するよ。

解説 「（諦めずに）続ける」は stick with ~（stick at ~ も可）。stick on は「（ラベルなどを）貼る」、stick out は「突き出る」で it の前には置けない（耐え抜くなら stick it out の語順）。stick up は「突き出る・（強盗する）」で続ける意味にならない。

区別 **stick with ~ ⇔ stick to ~** stick to は「（規則・約束・計画）を守る」「（話題）から外れない」。stick with は「（人・物・活動）を見捨てずに続ける・そばにいる」。見分け方：決まり・方針を守るなら to、人や選んだ物に付き続けるなら with。

0163 □□□

My son took _____ the old radio to see how it worked, but he couldn't put it back together.

① apart　② aside
③ away　④ after

① take apart ~ ～を分解する；～を酷評する

訳 息子は仕組みを知るために古いラジオを分解したが、元どおりに組み立てられなかった。

解説 仕組みを見るためにラジオを「分解した」は take apart（後半の put it back together と対になる）。take aside は「（人を）脇へ連れて行く」、take away は「持ち去る」、take after は「（親）に似ている」で、機械をばらす意味にならない。

区別 **take apart ~ ⇔ put together ~** put together は「～を組み立てる・まとめる」で正反対。take apart は「ばらばらにする」。見分け方：部品にするなら apart、部品から作るなら together。

0164 □□□

Don't talk _____ to your mother like that! She's only trying to help you.

① out　② over
③ back　④ around

③ talk back (to ~) （～に）口答えする

訳 お母さんにそんなふうに口答えしてはいけません！ お母さんはあなたを助けようとしているだけよ。

解説 母親に「口答えする」は talk back to ~。talk over は「～について話し合う」で目的語が必要、talk out は「（問題を）徹底的に話し合う」、talk around は「（人を）説得する・遠回しに話す」で、to your mother と組んで口答えの意味にならない。

区別 **talk back (to ~) ⇔ talk down to ~** talk down to は「～を見下した話し方をする」で、目上が目下に対する態度。talk back to は「（目下が目上に）口答えする」。見分け方：言い返すなら back、子ども扱いして見下すなら down to。

0165 ☐☐☐

He thought _____ a clever excuse for being late, but his boss didn't believe it.

① up　② over
③ through　④ back

① think up ~ （案など）を考え出す

訳 彼は遅刻のうまい言い訳を考え出したが、上司は信じなかった。

解説 言い訳を「考え出した」は think up。think over / think through は「（すでにある案を）熟考する・考え抜く」で、言い訳を生み出す意味にならない。think back は「振り返る」で on / to が必要。上司が信じなかったという後半とも合う。

区別 **think up ~ ⇔ think over ~** think over は「～をじっくり考える・熟考する」で、すでにある提案を検討する。think up は「新しく考え出す」。見分け方：アイデアを生み出すなら up、出された話を検討するなら over。

0166 ☐☐☐

The restaurant was completely full, so they had to turn _____ dozens of customers.

① up　② off
③ over　④ away

④ turn away ~ ～を追い返す；～を入れない

訳 レストランは完全に満席だったので、何十人もの客を断らなければならなかった。

解説 満席で客を「追い返す・断る」は turn away。turn off は「（電気など）を消す・（人を）うんざりさせる」、turn over は「ひっくり返す・引き渡す」、turn up は「現れる・（音量を）上げる」で、客を入れない意味にならない。

区別 **turn away ~ ⇔ turn down ~** turn down は「（申し出・依頼）を断る」「（音量）を下げる」で、目的語は提案・招待が中心。turn away は「（来た人）を追い返す・入れない」で、目的語は人。見分け方：入口で人を入れないなら away、申し出を断るなら down。

0167 ☐☐☐

The police believe that a well-known gang is _____ the bank robbery.

① beyond　② behind
③ against　④ below

② be behind ~ ～の黒幕である；～を支持している

訳 警察は、有名な犯罪集団がその銀行強盗の黒幕だと考えている。

解説 強盗事件の「黒幕である・裏で関わっている」は be behind ~。be beyond は「～の範囲を超えている」、be against は「～に反対している」、be below は「～より下にある」で、犯罪集団が事件を起こした意味にならない。

区別 **be behind ~ ⇔ be beyond ~** be beyond は「～の範囲を超えている」（be beyond my understanding＝理解できない）。be behind は「～の背後にいる」。見分け方：能力や限度を超えるなら beyond、事件の裏にいる・支えるなら behind。

0168 ☐☐☐

We have to train hard because we're up ＿＿＿＿ a very strong team in the final.

① for　② to
③ against　④ with

③ be up against ~ （困難・強敵）に直面している

訳 決勝ではとても強いチームと対戦しなければならないので、私たちは厳しく練習する必要がある。

解説 「（強敵）に立ち向かわなければならない」は be up against ~。be up to は「～をたくらむ・～次第だ」、be up for は「～に乗り気だ・（売りに）出ている」、be up with は熟語として「～と同じ水準だ」などで、強いチームと対戦する意味にならない。

区別 **be up against ~ ⇔ be up to ~** be up to は「～をたくらんでいる」「（人）次第だ」「～できる」。be up against は「～に直面している」。見分け方：敵・困難と向き合っているなら against。

0169 ☐☐☐

These new facts bear directly ＿＿＿＿ the question we are discussing today.

① at　② with
③ to　④ on

④ bear on ~ ～に関係する；～に影響する

訳 これらの新しい事実は、今日私たちが話し合っている問題に直接関係している。

解説 「～に関係する・影響する」は bear on (upon) ~。bear with は「（人）を辛抱して待つ」で後ろは人。bear to / bear at は関係の意味の熟語にならない。新しい事実が議論中の問題に関わる、という内容。

区別 **bear on ~ ⇔ bear with ~** bear with ＋ 人は「（人）を辛抱して待つ・大目に見る」（Please bear with me＝少々お待ちください）。bear on は「～に関係する」。見分け方：人に我慢してもらうなら with、事柄の関連なら on。

0170 ☐☐☐

Whenever I have to speak in public, I break out ＿＿＿＿ a cold sweat.

① in　② with
③ on　④ at

① break out in ~ （発疹・汗など）が急に出る

訳 人前で話さなければならないときはいつも、私は冷や汗が出る。

解説 体に「（汗・発疹）が急に出る」は break out in ~。with / on / at は break out と組んで症状が出る意味にならない（break out of は「～から脱出する」）。人前で話すときの緊張の様子。

区別 **break out in ~ ⇔ break out** break out は自動詞で「（戦争・火事・伝染病が）勃発する・発生する」で、主語は出来事。break out in ~ は主語が人で、体に発疹・汗が出る。見分け方：主語が人で in ＋症状なら break out in。

0171 ☐☐☐

She broke ＿＿＿＿ tradition by wearing a bright red dress at her wedding.

① down　② off
③ out　④ with

④ break with ~ ～と絶交する；（伝統・習慣）を破る

訳 彼女は結婚式で真っ赤なドレスを着て、伝統を破った。

解説 「（伝統）を破る・決別する」は break with ~（break from も可）。break off は「（関係・話）を急にやめる・折り取る」で tradition を目的語にして伝統を破る意味にならない。break out は「勃発する」、break down は「故障する・分解する」で文意に合わない。

区別 **break with ~ ⇔ break up (with ~)** break up with ＋ 人は「（恋人）と別れる」。break with ＋ 人は「（政治的・思想的に）関係を断つ」で、恋人には普通使わない。見分け方：恋愛の別れなら break up with、伝統・組織との決別なら break with。

0172 ☐☐☐

Despite strong opposition, the government carried ＿＿＿＿ its plan to reform the tax system.

① away　② over
③ through　④ back

③ carry through ~
～をやり遂げる；（人）に困難を切り抜けさせる

訳 強い反対にもかかわらず、政府は税制改革の計画をやり遂げた。

解説 反対を押し切って計画を「やり遂げた」は carry through。carry over は「繰り越す・持ち越す」、carry away は「運び去る・（be carried away で）夢中になる」、carry back は「運び戻す・（記憶を）呼び起こす」で、計画を実行し抜く意味にならない。

区別 **carry through ~ ⇔ carry on (with ~)** carry on は「（中断せずに）続ける」。carry through は「最後までやり遂げる」。見分け方：続けている途中なら on、完了まで貫くなら through。

0173 ☐☐☐

We worked on the project for a year, but nothing came ＿＿＿＿ our efforts.

① at　② to
③ by　④ of

④ come of ~ ～から生じる；～の結果になる

訳 私たちは 1 年間そのプロジェクトに取り組んだが、努力は何の成果も生まなかった。

解説 「～から（結果が）生じる」は come of ~ で、Nothing came of ~ は「～は何の成果も生まなかった」。come to は「（合計が）～になる・意識が戻る」、come by は「手に入れる・立ち寄る」、come at は「襲いかかる」で、努力の結果を表さない。

区別 **come of ~ ⇔ come from ~** come from は「～の出身だ・～に由来する」が中心。come of は「（努力・計画）の結果として生じる」で、nothing / good などを主語にした結果の文に使う。結果の意味では Nothing came of ~ が定型。

0174 ☐☐☐

The bad harvest drove _____ the price of rice, and many families had trouble buying it.

① away　② on
③ up　④ out

③ drive up ~ （価格など）を押し上げる；車で乗りつける

訳 不作で米の値段が上がり、多くの家庭が米を買うのに苦労した。

解説 不作が米の値段を「押し上げた」は drive up。drive on は「（車で）進み続ける」、drive away は「追い払う」、drive out は「追い出す」で、価格を上げる意味にならない。多くの家庭が買うのに苦労した、という結果と合う。

区別 **drive up ~ ⇔ drive away ~** drive away は「～を追い払う・遠ざける」。drive up は「（値段）を押し上げる」。見分け方：目的語が価格・費用なら up / down、客・動物なら away。

0175 ☐☐☐

He never told anyone about the accident, but guilt was eating away _____ him.

① in　② on
③ at　④ for

③ eat away at ~
～を少しずつ侵食する；（心）をむしばむ

訳 彼はその事故について誰にも話さなかったが、罪悪感が彼の心をむしばんでいた。

解説 罪悪感が心を「少しずつむしばむ」は eat away at ~。on / in / for は eat away と組んでこの意味にならない（eat in は「家で食べる」）。誰にも話さず心の中で苦しんでいた、という内容。

区別 **eat away at ~ ⇔ eat up ~** eat up は「（一気に）食べ尽くす・（時間・お金）を大量に使う」。eat away at は「少しずつ削り取る・むしばむ」。見分け方：じわじわ進む損傷なら away at、大量に消費するなら up。

0176 ☐☐☐

He promised to lend us his car, but at the last minute he went back _____ his word.

① to　② on
③ from　④ off

② go back on ~ （約束・言葉）を破る；～を撤回する

訳 彼は車を貸してくれると約束していたが、土壇場で約束を破った。

解説 「（約束）を破る」は go back on one's word。go back to は「～に戻る」で、his word に戻ると約束を守る方向の意味になってしまう。go back from / go back off は熟語にならない。土壇場で約束を翻したという内容。

区別 **go back on ~ ⇔ go back to ~** go back to は「～に戻る」「（時代）にさかのぼる」。go back on は「（約束）を破る」。見分け方：後ろが word / promise なら on、場所・時代なら to。

0177 ☐☐☐

During the long recession, many small shops in the town went ＿＿＿＿.

① out　② over
③ under　④ off

③ go under 倒産する；沈む

訳 長い不況の間に、町の多くの小さな店がつぶれた。

解説 店が「倒産する・つぶれる」は go under。go over は「（向こうへ）行く・調べる」、go out は「外出する・（火・明かりが）消える」（倒産なら go out of business まで必要）、go off は「爆発する・（食べ物が）腐る」で、不況で店がつぶれる意味にならない。

区別 **go under ⇔ go out of business** go out of business も「倒産する・廃業する」だが、out of business まで言う必要がある。go under は短い口語的な言い方。× go out（だけでは「消える・外出する」）。

0178 ☐☐☐

I didn't like this band's music at first, but it has gradually grown ＿＿＿＿ me.

① to　② on
③ in　④ up

② grow on ～ （人が）だんだん～を好きになる

訳 最初はこのバンドの音楽が好きではなかったが、だんだん好きになってきた。

解説 物事が「だんだん（人に）好かれるようになる」は grow on ＋ 人。grow to は grow to do（～するようになる）の形で使い、to me では意味が通らない。grow in は「（数・力が）増す」、grow up は「成長する」で、音楽を好きになる意味にならない。

区別 **grow on ～ ⇔ grow up** grow up は「成長する・大人になる」。grow on は「（物事が人に）だんだん好かれる」。見分け方：on ＋ 人があれば好きになる話、人が主語で大人になるなら grow up。

0179 ☐☐☐

If you buy two jackets, I'll knock 20 percent ＿＿＿＿ the price.

① off　② out
③ down　④ over

① knock off (~)
（仕事を）切り上げる；（金額を）値引きする

訳 ジャケットを 2 着買ってくれたら、値段を 2 割引きにしますよ。

解説 「値段から～を値引きする」は knock A off B（20 percent off the price）。knock down は knock the price down（値段を下げさせる）の形で使い、20 percent down the price という語順にはならない。knock out は「気絶させる・敗退させる」、knock over は「ひっくり返す」で、値引きの意味にならない。

区別 **knock off (~) ⇔ knock down ～** knock down は「（建物）を取り壊す」「（人）を殴り倒す・はねる」「（値段）を下げさせる」（knock the price down）。knock A off B は「B から A を差し引く」の形。見分け方：値引き額を off ＋ 値段で示すなら knock off。

0180 ☐☐☐

I couldn't enter the exam room because my name had been left _____ the list by mistake.

① behind ② out
③ off ④ over

③ leave off (~) （～を）やめる；中断する

訳 名簿から私の名前が間違って抜けていたので、私は試験会場に入れなかった。

解説 「（名簿）から外す・載せ忘れる」は leave A off B で、受動態 be left off the list。out は leave A out of B と of が必要なので、out the list とは言えない。left behind は「置き去りにされた」で、名簿との関係を表せない。left over は「残った」で意味が合わない。

区別 **leave off (~) ⇔ leave out ~** leave out は「～を省く・仲間外れにする」で、場所を言うなら leave A out of B と of が必要。leave off は leave A off B と off がそのまま前置詞になる。見分け方：the list の前に of があれば out of、なければ off。

0181 ☐☐☐

He has worked hard for ten years, but he was passed _____ for promotion again.

① through ② out
③ off ④ over

④ pass over ~
～を見送る・（昇進などで）～を外す；～を無視する

訳 彼は 10 年間懸命に働いてきたのに、また昇進を見送られた。

解説 昇進で「外される・見送られる」は be passed over for promotion。pass out は「気絶する・配る」、pass off は「（偽物を）本物として通す」、pass through は「通り抜ける・経験する」で、for promotion と組んで昇進を飛ばされる意味にならない。

区別 **pass over ~ ⇔ pass up ~** pass up は「（自分が機会）を見送る・逃す」で、主語は機会を逃す本人。pass over は「（人）を（昇進などで）飛ばす」で、主語は選ぶ側、受動態なら外される人。見分け方：自分でチャンスを断るなら up、他人に外されるなら over。

0182 ☐☐☐

The water was shut _____ for two hours while the workers repaired the pipes.

① out ② off
③ down ④ up

② shut off ~
（水道・ガス・電気など）を止める；～を遮断する

訳 作業員が水道管を修理する間、水は 2 時間止められた。

解説 水道の供給を「止める」は shut off。shut out は「締め出す・遮る」、shut down は「（工場・機械）を閉鎖・停止する」で水の供給には普通使わない、shut up は「黙る・閉じ込める」で、水が止められる意味にならない。

区別 **shut off ~ ⇔ shut down ~** shut down は「（工場・店・機械・システム）を閉鎖する・停止させる」で、施設全体の稼働を止める。shut off は「（水・ガス・電気の供給）を止める」。見分け方：水道・電気の流れなら off、工場・会社なら down。

0183 □□□

After working for a big company for five years, he started ＿＿＿＿ his own business.

① over　② out
③ up　④ off

③ start up (~)

（事業など）を始める；（機械など）を始動させる

訳 大企業で 5 年間働いた後、彼は自分の会社を立ち上げた。

解説 「（会社）を立ち上げる」は start up ~。start out は自動詞で「（人生・仕事を）始める」なので his own business を目的語に取れない。start over は「やり直す」、start off は「始める・出発する」で、会社を設立する他動詞の決まった形にならない。

区別 **start up (~) ⇔ start out** start out は自動詞で「（人生・仕事を）始める」（start out as a clerk）で、会社を目的語に取らない。start up は「（会社）を立ち上げる」と目的語を取れる。見分け方：後ろに business / company があれば start up。

0184 □□□

After the storm, a lot of plastic trash was washed ＿＿＿＿ on the beach.

① up　② away
③ out　④ off

① wash up (~)　（食器を）洗う；（米国で）手や顔を洗う

訳 嵐の後、たくさんのプラスチックごみが浜に打ち上げられた。

解説 波でごみが浜に「打ち上げられた」は be washed up (on the beach)。washed away は「押し流された」で、on the beach（浜の上に）と矛盾する。washed out は「（道路などが）流された・色あせた」、washed off は「洗い落とされた」で、浜に打ち上げられる意味にならない。

区別 **wash up (~) ⇔ wash away ~** wash away は「押し流す・洗い流す」で、物が流されて消える。wash up は「（波が）打ち上げる」で、物が岸に残る。見分け方：流されて消えるなら away、岸に上がってくるなら up。

0185 □□□

The children kept asking for a puppy, and finally they wore their mother ＿＿＿＿.

① off　② down
③ away　④ up

② wear down ~

~をすり減らす；~を（根気よく）弱らせる

訳 子どもたちは子犬が欲しいと何度もねだり続け、ついに母親を根負けさせた。

解説 何度も頼んで相手を「根負けさせる・弱らせる」は wear A down。wear off は「（効果が）薄れる」で自動詞、wear away は「（物を）すり減らしてなくす」、wear up は熟語にならず、母親の抵抗をなくさせる意味にならない。

区別 **wear down ~ ⇔ wear off** wear off は「（効果・痛み・印象が）次第に薄れる」で自動詞。wear down は「（人・物）をすり減らす・弱らせる」で他動詞。見分け方：薬・痛みが消えていくなら off、人を根負けさせるなら down。

0186 □□□

Ms. Ito asked _____ your mother. She hopes she's feeling better after the operation.

① into　② for
③ on　④ after

④ ask after ~ ～の安否を尋ねる；～の様子を尋ねる

訳 伊藤さんがあなたのお母さんの様子を尋ねていましたよ。手術の後、具合がよくなっているといいと言っていました。

解説 人の「安否・様子を尋ねる」は ask after ＋ 人。ask for ＋ 人は「（人）に会いたいと言う」で、具合を気遣う後半と合わない。ask on は熟語にならず、ask into も一般的ではない（調べるなら inquire into / look into）。

区別 **ask after ~ ⇔ ask for ~** ask for ＋ 人は「（人）に会いたいと言う・（人）を呼ぶよう頼む」、ask for ＋ 物は「～を求める」。ask after ＋ 人は「（人）の様子を尋ねる」。見分け方：健康・近況を気遣うなら after、面会を求めるなら for。

0187 □□□

If you think the entrance exam will be easy, you're in _____ a big surprise.

① for　② to
③ on　④ at

① be in for ~ （嫌なこと・驚き）にきっと遭う

訳 入試が簡単だと思っているなら、あなたはきっとひどく驚くことになるよ。

解説 「（驚き・嫌なこと）にきっと遭う」は be in for ~。be in to / be in on / be in at は a surprise と組んでこの意味にならない（be in on ~ は「（秘密・計画）に関わっている」）。簡単だと思っていると痛い目にあう、という警告。

区別 **be in for ~ ⇔ be up for ~** be up for は「～に乗り気だ」（Are you up for a movie?）、「（売りに）出されている」。be in for は「（避けられない事態）が待ち受けている」。見分け方：本人がやる気なら up for、本人の意思と関係なく何かが待っているなら in for。

0188 □□□

Don't worry too much about the rumor. It will soon blow _____, and people will forget about it.

① up　② out
③ over　④ away

③ blow over （嵐が）静まる；（騒ぎが）収まる

訳 そのうわさをあまり気にしないで。すぐに収まって、みんな忘れてしまうよ。

解説 騒ぎ・うわさが「収まる」は blow over。blow out は「吹き消す・（タイヤが）パンクする」、blow up は「爆発する・（騒ぎが）大きくなる」で、Don't worry と忘れられるという流れに反する。blow away は「吹き飛ばす・圧倒する」で、うわさが収まる意味にならない。

区別 **blow over ⇔ blow up** blow up は「爆発する・（問題が）大きくなる・かっとなる」で、騒ぎが大きくなる方向。blow over は「収まる」で反対。見分け方：静まるなら over、激しくなるなら up。

0189 ☐☐☐

The manager brushed ＿＿＿＿ our concerns about safety and went ahead with the plan.

① aside　② up
③ down　④ in

① brush aside ~ ～を払いのける；～を無視する

訳 部長は安全についての私たちの懸念を取り合わず、計画を進めた。

解説 懸念を「払いのける・取り合わない」は brush aside。brush up は「（知識を）磨き直す」で、懸念を目的語にして無視する意味にならない。brush down は「（服などの）ほこりを払う」、brush in は熟語にならない。went ahead with the plan が無視したことを示す。

区別 **brush aside ~ ⇔ brush up (on) ~** brush up (on) は「（知識・技術）を磨き直す・復習する」（brush up on my English）。brush aside は「無視する」。見分け方：学び直すなら up、相手の意見を取り合わないなら aside。

0190 ☐☐☐

Although she was the youngest contestant, she carried ＿＿＿＿ the first prize in the speech contest.

① out　② off
③ on　④ over

② carry off ~ ～を運び去る；（賞）をさらう

訳 彼女は一番若い出場者だったが、スピーチコンテストで１等賞をさらった。

解説 賞を「さらう・獲得する」は carry off。carry out は「（計画を）実行する」で賞を目的語にしない。carry on は「続ける」、carry over は「持ち越す・繰り越す」で、１等賞を取る意味にならない。

区別 **carry off ~ ⇔ carry out ~** carry out は「（計画・実験・命令）を実行する」。carry off は「（賞）を勝ち取る・（難しいこと）をうまくやり遂げる」。見分け方：賞・勝利を取るなら off、計画を行うなら out。

0191 ☐☐☐

Thousands of fans lined the streets to cheer ＿＿＿＿ the marathon runners.

① out　② off
③ in　④ on

④ cheer on ~ ～に声援を送る

訳 何千人ものファンが沿道に並び、マラソン選手たちに声援を送った。

解説 選手に「声援を送る」は cheer on。cheer off / cheer in / cheer out は熟語にならない。走っている選手を沿道で応援する場面なので、前へ進むよう励ます on が合う（for を使って cheer for the runners も可）。

区別 **cheer on ~ ⇔ cheer up** cheer up は「（落ち込んだ人）を元気づける・元気を出す」。cheer on は「（頑張っている人）に声援を送る」。見分け方：励まして気分を明るくするなら up、競技中の応援なら on。

0192 □□□

Please clear _____ the dishes after dinner and put them in the sink.

① in　② over
③ away　④ through

③ clear away ~ ～を片付ける；～を取り除く

訳 夕食の後、食器を片付けて流しに入れてください。

解説 食器を「片付ける・運び去る」は clear away。clear over / clear in は熟語にならない。clear through は「（手続きを）通過する」などで、食器を下げる意味にならない。流しに入れるという後半と合う。

区別 **clear away ~ ⇔ clear up ~** clear up は「（部屋・散らかった物）を片付ける」「（天気が）晴れる」「（問題・誤解）を解く」。clear away は「（邪魔な物）を運び去る・取り除く」。見分け方：物をその場から持って行くなら away、誤解の解消・天気なら up。

0193 □□□

After the flood, people from all over the town came _____ to clean up the streets.

① apart　② about
③ across　④ together

④ come together 集まる；まとまる

訳 洪水の後、町中の人々が通りの片付けのために集まった。

解説 町中の人々が「集まる・団結する」は come together。come about は「（出来事が）起こる」、come across は「偶然見つける・（印象を）与える」、come apart は「ばらばらになる」で、片付けのために集まった意味にならない。

区別 **come together ⇔ come apart** come apart は「ばらばらになる・壊れる」で正反対。come together は「一つにまとまる」。見分け方：まとまるなら together、崩れるなら apart。

0194 □□□

While I was cleaning the attic, I came _____ an old diary that belonged to my grandfather.

① over　② up
③ upon　④ into

③ come upon ~ ～に偶然出会う；～を偶然見つける

訳 屋根裏部屋を掃除しているとき、私は祖父の古い日記を偶然見つけた。

解説 古い日記を「偶然見つけた」は come upon (on) ~（come across も可）。come up は「（話題が）出る・近づく」で目的語を取らない。come over は「やって来る」、come into は「（財産を）相続する・入ってくる」で、日記を偶然見つける意味にならない。

区別 **come upon ~ ⇔ come up with ~** come up with は「（案）を思いつく・考え出す」。come upon は「偶然見つける」。見分け方：アイデアを生み出すなら up with、たまたま見つけるなら upon。

0195 ☐☐☐

In this job, practical experience counts _____ a lot more than your university degree.

① on　② for
③ in　④ to

② count for ~
（much・little などと）価値がある・重要である

訳 この仕事では、大学の学位よりも実務経験のほうがはるかに重要だ。

解説 「（どれだけ）価値がある・重要である」は count for much / a lot。count on は「～を頼りにする」で、Experience counts on a lot では意味が通らない。count in は「（人を）仲間に入れる」、count to は「～まで数える」で、価値の大きさを表さない。

区別 **count for ~ ⇔ count on ~** count on は「～を当てにする・頼りにする」（You can count on me）。count for は「（どれだけ）価値がある」で、後ろは much / little などの程度の語。見分け方：人・助けを当てにするなら on、価値の大小なら for。

0196 ☐☐☐

The thief grabbed a woman's bag and ran, and a police officer immediately went _____ him.

① after　② over
③ through　④ by

① go after ~ ～を追いかける；～を手に入れようとする

訳 泥棒が女性のバッグをひったくって逃げ、警官がすぐにその後を追いかけた。

解説 逃げる泥棒を「追いかける」は go after ~。go over は「～を調べる・見直す」、go through は「～を経験する・通り抜ける」、go by は「（時が）過ぎる・そばを通る」で、逃げた泥棒を追う意味にならない。

区別 **go after ~ ⇔ go for ~** go for は「～を取りに行く・～を選ぶ」「～に襲いかかる」「～を目指す」。go after は「（逃げる人）の後を追う・（目標）を追い求める」。見分け方：逃げる相手を追いかけるなら after。

0197 ☐☐☐

She was very nervous about the surgery, but in the end she went through _____ it.

① for　② on
③ by　④ with

④ go through with ~ （計画など）を最後までやり遂げる

訳 彼女は手術がとても不安だったが、最後には手術を受ける決心を貫いた。

解説 不安があっても「（手術などを）最後までやり遂げる・実行する」は go through with ~。go through on / by / for は決まった形にならず、ためらいを乗り越えて実行する意味を表せない。in the end（最後には）が迷った末の実行を示す。

区別 **go through with ~ ⇔ go through ~** go through は「（困難）を経験する」「～に目を通す」「～を通り抜ける」。with を付けた go through with は「（予定していたこと）を最後までやり遂げる」。見分け方：計画の実行なら with が必要。

0198 ☐☐☐

I've been so busy at work. This weekend I just want to kick _____ and relax at home.

① out　② off
③ back　④ in

③ kick back　くつろぐ；のんびりする

訳 仕事でずっと忙しかった。今週末は家でのんびりくつろぎたい。

解説 「くつろぐ・のんびりする」は kick back。kick off は「（試合などを）始める」、kick out は「追い出す」で目的語が必要、kick in は「（薬などが）効き始める」で、週末に休む意味にならない。and relax と意味がそろう。

区別 **kick back ⇔ kick off**　kick off は「（試合・行事を）開始する」（The game kicks off at seven）。kick back は「くつろぐ」。見分け方：始まるなら off、休むなら back。

0199 ☐☐☐

You left the lights _____ all night! That's a waste of electricity.

① in　② on
③ over　④ by

② leave on ~
（電気など）をつけたままにする；（服）を着たままでいる

訳 一晩中電気をつけっぱなしにしていたね！ 電気の無駄だよ。

解説 電気を「つけたままにする」は leave A on（on＝電気がついて）。leave A in は「A を中に残しておく」、leave A over は「A を残す・持ち越す」、leave A by は熟語にならず、電気のつけっぱなしを表せない。電気の無駄という後半と合う。

区別 **leave on ~ ⇔ turn off ~**　turn off は「（電気・機械）を消す」という動作。leave A on は「つけた状態のままにしておく」。見分け方：スイッチを切る動作なら turn off、消し忘れ・つけっぱなしなら leave on。

0200 ☐☐☐

After retiring, my grandfather moved to the countryside and lived _____ his last years there peacefully.

① on　② through
③ by　④ out

④ live out ~　（余生など）を送る；（夢など）を実現する

訳 引退後、祖父は田舎に移り住み、そこで穏やかに晩年を送った。

解説 「（余生・晩年）を送る」は live out。live through は「（困難な時期）を生き抜く」で、穏やかな晩年には合わない。live by は「（信条）に従って生きる」、live on は「～で暮らす・生き続ける」で、his last years を目的語にして余生を過ごす意味にならない。

区別 **live out ~ ⇔ live through ~**　live through は「（困難な時期）を生き抜く」で、苦しみを通り抜けて生き延びる。live out は「（残りの人生）を送る」「（夢）を実現する」。見分け方：戦争・災害を乗り越えたなら through、余生や夢なら out。

0201 □□□

I'm really sorry I missed your birthday party. I promise I'll make it up ＿＿＿＿ you.

① to　② for
③ with　④ at

① make it up to A　A に埋め合わせをする；A に償う

訳 あなたの誕生日パーティーに行けなくて本当にごめんね。必ず埋め合わせをするから。

解説 迷惑をかけた相手に「埋め合わせをする」は make it up to ＋ 人。for は make up for ＋ 事柄の形で使い、it と人の you には合わない。make it up with ＋ 人は「（けんかの後）仲直りする」で、パーティーを欠席したお詫びの場面に合わない。at は組まない。

区別 **make it up to A ⇔ make up with ~**　make up with ＋ 人は「（けんかの後）～と仲直りする」。make it up to ＋ 人は「（迷惑をかけた）～に埋め合わせをする」。見分け方：けんかの仲直りなら make up with、償い・お返しなら make it up to。

0202 □□□

Stop messing ＿＿＿＿ and do your homework! It's already nine o'clock.

① over　② out
③ off　④ around

④ mess around　ぶらぶらする；ふざける

訳 ふざけていないで宿題をしなさい！ もう 9 時よ。

解説 「ふざける・だらだら過ごす」は mess around。mess out / mess off / mess over は決まった熟語にならない（mess up なら「台無しにする」）。宿題をしなさいと叱る場面なので、遊んでいる様子を表す around が合う。

区別 **mess around ⇔ mess up ~**　mess up は「～を台無しにする・散らかす」。mess around は「ふざける・だらだらする」。見分け方：結果をめちゃくちゃにするなら up、真面目にしないで時間をつぶすなら around。

0203 □□□

She worked very hard and moved ＿＿＿＿ to manager after only three years.

① down　② off
③ up　④ out

③ move up (~)　昇進する；（予定を）繰り上げる

訳 彼女は懸命に働き、わずか 3 年でマネージャーに昇進した。

解説 「（地位が）上がる・昇進する」は move up (to ~)。move off は「立ち去る・動き出す」、move down は「（地位・順位が）下がる」で努力の結果として逆、move out は「引っ越していく」で、マネージャーになる意味にならない。

区別 **move up (~) ⇔ move on**　move on は「（次の話題・場所・段階へ）移る・前に進む」。move up は「（地位・順位が）上がる」。見分け方：上の地位へ行くなら up、次へ進む・気持ちを切り替えるなら on。

0204 ☐☐☐

The teacher passed _____ some old photos so that everyone in the class could see them.

① up　② away
③ by　④ around

④ pass around ~ ～を順に回す；～を配る

訳 先生はクラスの全員が見られるように、古い写真を何枚か順に回した。

解説 写真を全員に「順に回す」は pass around。pass away は「亡くなる」で目的語を取らない。pass by は「そばを通り過ぎる」、pass up は「（機会を）見送る」で、写真を回して見せる意味にならない。

区別 **pass around ~ ⇔ pass out ~** pass out は「（プリントなど）を配る」（= hand out）、自動詞で「気絶する」。pass around は「（一つの物を）順番に回して見せる・回し配る」。どちらも配る意味があるが、pass out には気絶の意味がある点に注意。

0205 ☐☐☐

My uncle is 40, but he looks so young that he could easily pass _____ 25.

① by　② for
③ over　④ through

② pass for ~ ～として通る；～で通用する

訳 おじは 40 歳だが、とても若く見えるので、25 歳でも簡単に通るだろう。

解説 「～として通る・～に見える」は pass for ~。pass by は「通り過ぎる」、pass over は「（昇進で）外す・無視する」、pass through は「通り抜ける」で、どれも 25 歳に見えるという意味にならない。

区別 **pass for ~ ⇔ pass off A as B** pass off A as B は「A を B だと偽る・見せかける」で他動詞。pass for は「（主語が）～として通用する」で自動詞。見分け方：人がだます行為なら pass off ~ as、主語そのものがそう見えるなら pass for。

0206 ☐☐☐

He was offered a job in New York, but he passed it _____ because he didn't want to leave his family.

① up　② out
③ off　④ in

① pass up ~ （機会など）を見送る；～を断る

訳 彼はニューヨークでの仕事を持ちかけられたが、家族と離れたくなかったので断った。

解説 仕事の話を「見送る・断る」は pass up（代名詞は pass it up）。pass out は「配る・気絶する」、pass off は「（偽物を）本物として通す」、pass in は「提出する」で、申し出を断る意味にならない。家族と離れたくないという理由とも合う。

区別 **pass up ~ ⇔ pass over ~** pass over は「（人）を（昇進などで）外す」で、主語は選ぶ側。pass up は「（自分が機会）を見送る」。見分け方：本人が自分でチャンスを断るなら up、他人に外されるなら over（受動態が多い）。

0207 ☐☐☐

She puts ＿＿＿＿ a little money every month so that she can travel after she retires.

① off　② by
③ out　④ on

② put by ~ （お金）を貯えておく

訳 彼女は退職後に旅行できるよう、毎月少しずつお金を蓄えている。

解説 お金を「蓄えておく」は put by（put aside も可）。put off は「延期する」、put out は「（火を）消す・出す」、put on は「着る・（体重が）増える」で、お金を貯める意味にならない。退職後の旅行という目的と合う。

区別 **put by ~ ⇔ put off ~** put off は「延期する」「（人を）うんざりさせる」。put by は「（お金を）蓄える」。見分け方：お金を貯めるなら by（＝ aside）、予定を遅らせるなら off。

0208 ☐☐☐

Make sure you read ＿＿＿＿ your answers carefully before you hand in the test.

① over　② out
③ into　④ up

① read over ~ ～を読み返す；～を見直す

訳 テストを提出する前に、必ず答えを注意深く見直しなさい。

解説 答案を「見直す」は read over。read out は「声に出して読み上げる」で、試験中に答えを読み上げるのは不自然。read into は「深読みする」、read up は on を伴い「調べて勉強する」で、提出前の見直しにならない。

区別 **read over ~ ⇔ read up on ~** read up on は「（ある話題）について本などで詳しく調べる・勉強する」。read over は「（書いた物・書類）を見直す」。見分け方：知識を仕入れるなら up on、自分の答案や書類の確認なら over。

0209 ☐☐☐

I'm afraid she's out at the moment. Could you ring ＿＿＿＿ in about an hour?

① off　② back
③ out　④ down

② ring back ~
～に電話をかけ直す；～に折り返し電話する

訳 あいにく彼女は今外出中です。1 時間ほどしてからかけ直していただけますか。

解説 「電話をかけ直す」は ring back（米では call back）。ring off は「（英で）電話を切る」で、かけ直してほしいという依頼と逆。ring out は「（音が）鳴り響く」、ring down は熟語にならない（ring down the curtain は「幕を下ろす」）。

区別 **ring back ~ ⇔ ring up ~** ring up は「（人）に電話をかける」（英）、「（レジに）～を打ち込む」。ring back は「（もう一度・折り返し）電話をかける」。見分け方：かけ直し・折り返しなら back。

0210 ☐☐☐

The cashier rang ＿＿＿＿ all my items and told me the total was 3,000 yen.

① in　② back
③ off　④ up

④ ring up ~ ～に電話をかける；（レジに）～を打ち込む

訳 レジ係は私の品物をすべてレジに打ち込み、合計は 3,000 円だと言った。

解説 レジで品物を「打ち込む・会計する」は ring up。ring back は「折り返し電話する」、ring off は「（英で）電話を切る」で、品物を目的語にしてレジを打つ意味にならない。ring in は「（新年など）を鐘を鳴らして迎える」で文意に合わない。

区別 **ring up ~ ⇔ ring back ~** ring back は「折り返し電話する」。ring up は「電話をかける」「レジに打ち込む」。見分け方：レジの会計や最初の電話なら up、かけ直しなら back。

0211 ☐☐☐

Could you run ＿＿＿＿ twenty copies of this handout before the meeting starts?

① off　② out
③ up　④ over

① run off (~) 逃げ去る；（コピー）を取る・印刷する

訳 会議が始まる前に、この資料を 20 部コピーしてもらえますか。

解説 コピーを「取る・刷る」は run off。run out は「使い果たす・なくなる」で、copies を目的語にして作る意味にならない（run out of copies なら「コピーがなくなる」）。run up は「（借金を）ためる」、run over は「（車で）ひく・ざっと目を通す」で文意に合わない。

区別 **run off (~) ⇔ run out (of ~)** run out (of) は「（～を）使い果たす・切らす」。run off は「（コピー）を刷る」「逃げ去る」。見分け方：コピーを作るなら off、紙やインクがなくなるなら run out of。

0212 ☐☐☐

This new car doesn't use gas at all. It runs ＿＿＿＿ electricity.

① with　② by
③ on　④ in

③ run on ~ （燃料など）で動く；（話などが）長く続く

訳 この新しい車はガソリンをまったく使わない。電気で動くのだ。

解説 「（燃料・動力）で動く」は run on ~（live on と同じ「頼る on」）。by は be run by ~（～に運営される）の形で使い、燃料には使わない。with / in も run と組んで燃料を表す決まった形にならない。

区別 **run on ~ ⇔ run by ~** be run by ~ は「～によって経営・運営されている」（The shop is run by a family）。run on は「（燃料）で動く」。見分け方：燃料・動力なら on、経営者なら be run by。

0213 ☐☐☐

He ran ＿＿＿＿ huge debts on his credit card by buying expensive clothes.

① out　② up
③ off　④ over

② run up ~ （借金・請求額）をためる

訳 彼は高い服を買ってクレジットカードで莫大な借金をためた。

解説 借金を「ためる・かさませる」は run up。run out は「使い果たす・なくなる」で of が必要、debts を目的語にして増やす意味にならない。run off は「逃げる・刷る」、run over は「ひく・あふれる」で、借金が増える意味にならない。

区別 **run up ~ ⇔ run out of ~** run out of は「～を使い果たす」。run up は「（借金・請求）を積み上げる」。見分け方：お金がなくなるなら run out of money、借金・請求が増えるなら run up debts / a bill。

0214 ☐☐☐

The company had to sell _____ some of its factories to pay back its debts.

① out　② off
③ up　④ away

② sell off ~ ～を安く売り払う；～を処分する

訳 その会社は借金を返済するために、工場の一部を売り払わなければならなかった。

解説 借金返済のために資産を「売り払う・処分する」は sell off。sell out は「売り切れる・売り切る」で、some of its factories と組んで処分の意味にならない。sell up は（英）「（家・店など）全部を売り払う」で some of ~ と合わない。sell away は熟語にならない。

区別 **sell off ~ ⇔ sell out** sell out は「（商品が）売り切れる」「（主義を）売り渡す」で、be sold out（売り切れだ）が典型。sell off は「（一部の資産など）を処分して手放す」。見分け方：完売なら out、手放して処分するなら off。

0215 ☐☐☐

All the school rules are clearly set _____ in this handbook, so please read it carefully.

① down　② up
③ off　④ aside

① set down ~ ～を書き留める；（規則など）を定める

訳 校則はすべてこの手引きにはっきりと定められているので、注意深く読んでください。

解説 規則が文書に「定められている・書かれている」は be set down (in ~)。set up は「設立する・準備する」で規則が手引きに書かれている意味にならない。set off は「出発する・引き起こす」、set aside は「取っておく・脇に置く」で文意に合わない。

区別 **set down ~ ⇔ set up ~** set up は「～を設立する・準備する・組み立てる」。set down は「書き留める・（規則を）定める・下に置く」。見分け方：組織や装置を立ち上げるなら up、文書に書いて決めるなら down。

0216 ☐☐☐

A: How is your new school? Have you settled _____ yet? B: Yes, I've already made some friends.

① down　② in
③ on　④ at

② settle in （新しい環境に）慣れる；落ち着く

訳 A：新しい学校はどう？ もう慣れた？ B：うん、もう何人か友達ができたよ。

解説 新しい環境に「慣れる・落ち着く」は settle in。settle down は「身を固める・静まる」で、転校先になじんだかを尋ねる場面には合わない。settle on は「～に決める」で目的語が必要、settle at は熟語にならない。

区別 **settle in ⇔ settle down** settle down は「（結婚・定職で）身を固める」「（騒ぎ・人が）静まる・落ち着く」。settle in は「新しい環境になじむ」。見分け方：新居・新しい職場に慣れるなら in、結婚して落ち着く・静かになるなら down。

0217 □□□

After a long discussion, our family finally settled ＿＿＿＿ the name "Hana" for our new puppy.

① at　② in
③ down　④ on

④ settle on ~ ～に決める

訳 長い話し合いの末、私たち家族はついに新しい子犬の名前を「ハナ」に決めた。

解説 選択肢の中から「～に決める」は settle on (upon) ~。settle in は「（新しい環境に）慣れる」、settle down は「落ち着く・身を固める」で、名前を目的語にとれない。settle at は熟語にならない。

区別 **settle on ~ ⇔ settle for ~** settle for は「（本当はもっとよい物が欲しいが）～で我慢する・手を打つ」。settle on は「（よく考えて）～に決める」で妥協の意味はない。見分け方：妥協・我慢なら for、選んで決定するなら on。

0218 □□□

Tomorrow is Sunday and I don't have to get up early, so I'm going to sleep ＿＿＿＿.

① in　② over
③ off　④ out

① sleep in 朝寝坊する；ゆっくり寝ている

訳 明日は日曜日で早起きしなくていいので、ゆっくり朝寝坊するつもりだ。

解説 早起きしなくていいので「朝寝坊する」は sleep in。sleep over は「（よその家に）泊まる」で早起きの話と合わない。sleep off は「（二日酔いなどを）眠って治す」で目的語が必要、sleep out は「外で寝る・外泊する」で文意に合わない。

区別 **sleep in ⇔ oversleep** oversleep は「（うっかり）寝過ごす」で、予定に遅れる失敗。sleep in は「（わざと）ゆっくり寝ている」。見分け方：遅刻の原因なら oversleep、休日の楽しみなら sleep in。

0219 □□□

Mom, can I sleep ＿＿＿＿ at Mika's house tonight? Her parents said it's OK.

① on　② in
③ out　④ over

④ sleep over （友達の家などに）泊まる

訳 お母さん、今夜ミカの家に泊まってもいい？ ミカの両親はいいって言っているよ。

解説 友達の家に「泊まる」は sleep over。sleep in は「朝寝坊する」、sleep out は「（テントなどで）外で寝る」、sleep on は sleep on it の形で「一晩考える」で、友達の家に泊まる意味にならない。at Mika's house が泊まる場所を示す。

区別 **sleep over ⇔ sleep on ~** sleep on it は「（決める前に）一晩よく考える」。sleep over は「よその家に泊まる」。見分け方：決断を翌日まで延ばすなら on it、友達の家に泊まるなら over。

0220 □□□

Please stand ＿＿＿＿! The fireworks are about to go off.

① for　② out
③ back　④ in

③ stand back 後ろに下がる；（一歩引いて）客観的に見る

訳 後ろに下がってください！ 花火がもうすぐ打ち上がります。

解説 危険なので「後ろに下がる」は stand back。stand out は「目立つ」、stand for は「～を表す・支持する」で目的語が必要、stand in は「代役を務める（for）」で、花火から離れるよう促す意味にならない。

区別 **stand back ⇔ stand out** stand out は「目立つ」。stand back は「後ろに下がる」。見分け方：危険から離れる・距離を置くなら back、際立つなら out。

0221 □□□

Thank you for sticking up _____ me when everyone in the meeting was criticizing my idea.

① on ② to
③ with ④ for

④ stick up for ~ ～を擁護する；～をかばう

訳 会議でみんなが私の案を批判していたとき、かばってくれてありがとう。

解説 人を「かばう・擁護する」は stick up for ~。stick up to は熟語にならず（stand up to は「立ち向かう」）、stick up with / on もこの意味にならない。批判されているときにかばってくれたお礼。

区別 **stick up for ~ ⇔ stick to ~** stick to は「（規則・計画）を守る・（話題）から離れない」。stick up for は「（人）をかばう」。見分け方：人を守るなら up for、方針・ルールを守るなら to。

0222 □□□

When I think back _____ my high school days, I always remember my kind teachers.

① on ② at
③ for ④ with

① think back on ~ ～を振り返る；～を思い返す

訳 高校時代を振り返ると、いつも優しかった先生たちを思い出す。

解説 過去を「振り返る」は think back on ~（think back to も可）。at / for / with は think back と組んでこの意味にならない。look back on と同じ on。

区別 **think back on ~ ⇔ think ahead** think ahead は「先のことを考える」で正反対の時間の向き。think back on は「過去を振り返る」。見分け方：将来なら ahead、過去なら back。

0223 □□□

When the king broke his promises, the people turned _____ him and demanded a new ruler.

① into ② over
③ off ④ against

④ turn against ~ ～に反感を持つ；～を敵に回す

訳 王が約束を破ると、民衆は王に背き、新しい統治者を求めた。

解説 支持していた人に「背く・反感を持つ」は turn against ~。turn over は「ひっくり返す・引き渡す」、turn off は「消す・（人を）うんざりさせる」、turn into は「～に変わる」で、民衆が王に背く意味にならない。

区別 **turn against ~ ⇔ turn on ~** turn on ＋ 人は「（突然）～に襲いかかる・食ってかかる」で、急な攻撃。turn against は「（考えが変わって）～に反感を持つ・背く」で、態度の変化。見分け方：急に攻撃するなら on、支持をやめて敵になるなら against。

0224 □□□

I'll be home very late tonight, so don't wait _____ for me. Just go to bed.

① out ② on
③ up ④ over

③ wait up (for ~) （～の帰りを）寝ないで待つ

訳 今夜はとても遅く帰るから、寝ないで待っていなくていいよ。先に寝ていて。

解説 「（帰りを）寝ないで待つ」は wait up (for ~)。wait on は「給仕する・世話をする」、wait out は「（嵐などが）過ぎるのを待つ」で目的語が必要、wait over は熟語にならない。Just go to bed（先に寝て）と意味がつながる。

区別 **wait up (for ~) ⇔ wait on ~** wait on は「（客）に給仕する・～の世話をする」「（米口語で）～を待つ」。wait up は「寝ないで待つ」。見分け方：夜更かしして帰りを待つなら up、給仕するなら on。

0225 ☐☐☐

The mother sat beside the bed and watched ＿＿＿＿ her sick child all night.

① over　② out
③ for　④ up

① watch over ~ ～を見守る；～の番をする

訳 母親はベッドのそばに座り、病気の子どもを一晩中見守った。

解説 子どもを「見守る」は watch over ~。watch out は「気をつける」で for が必要、her sick child を直接目的語にとらない。watch for は「～が来るのを待ち構える」、watch up は熟語にならず、病気の子を見守る意味にならない。

区別 **watch over ~ ⇔ watch out (for ~)** watch out (for) は「（～に）気をつける・用心する」で、危険を避ける注意。watch over は「（大切な人・物）を見守る」で、守る注意。見分け方：危険に注意するなら out for、守り見張るなら over。

0226 ☐☐☐

After a long day at the office, I like to wind ＿＿＿＿ with a cup of tea and some music.

① off　② down
③ out　④ over

② wind down くつろぐ；（活動を）徐々に縮小する

訳 会社で長い一日を過ごした後は、紅茶と音楽でくつろぐのが好きだ。

解説 仕事の後に「くつろぐ・緊張をほぐす」は wind down。wind off / wind out / wind over は決まった熟語にならない（wind up は「結局～になる・終える」で別の意味）。紅茶と音楽という手段とも合う。

区別 **wind down ⇔ wind up** wind up は「結局～になる」「（会議など）を終える」「（ねじを）巻く」。wind down は「くつろぐ・徐々に縮小する」。見分け方：緊張をほどいて休むなら down、結局・締めくくりなら up。

0227 ☐☐☐

Running five kilometers before breakfast really worked ＿＿＿＿ my appetite.

① on　② out
③ up　④ off

③ work up ~ （食欲・勇気など）をかき立てる；（be worked up で）興奮する

訳 朝食前に 5 キロ走ったら、すっかり食欲が出た。

解説 食欲を「かき立てる」は work up。work out は「運動する・（問題を）解く」で my appetite を目的語にして高める意味にならない。work on は「～に取り組む」、work off は「（運動で体重などを）解消する」で、食欲を出す意味と逆になる。

区別 **work up ~ ⇔ work off ~** work off は「（運動などで体重・ストレス）を解消する・取り除く」。work up は「（食欲など）を生み出す・高める」。見分け方：消すなら off、高めるなら up。運動は食欲を work up し、カロリーを work off する。

0228 ☐☐☐

I sent her a long letter last month, but she never wrote ＿＿＿＿.

① back　② down
③ off　④ out

① write back 返事を書く

訳 先月彼女に長い手紙を送ったが、彼女から返事は来なかった。

解説 手紙に「返事を書く」は write back。write down は「書き留める」、write off は「帳消しにする・見限る」、write out は「（全部）書き出す・清書する」で、どれも目的語が必要で、返事を書く意味にならない。

区別 **write back ⇔ write down ~** write down は「～を書き留める」で目的語を取る。write back は「返事を書く」で目的語なし。見分け方：メモするなら down、手紙に返信するなら back。

0229 ☐☐☐

Everyone wrote him ＿＿＿＿ as a failure, but he later became a successful writer.

① back　② off
③ in　④ over

② write off ~ ～を帳消しにする；～を見限る

訳 誰もが彼を失敗者だと見限ったが、彼は後に成功した作家になった。

解説 人を「（～だと）見限る」は write A off as B。write back は「返事を書く」で目的語 him の後ろに as ~ を続けられない。write in は「投書する・書き込む」、write over は「上書きする」で、失敗者とみなす意味にならない。後半の but 以下の逆転と対比になっている。

区別 **write off ~ ⇔ write back** write back は「返事を書く」という自動詞。write off は「帳消しにする・見限る」で目的語を取る。見分け方：返信なら back、見切りをつけるなら off。

確認テスト1　句動詞｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0001 よい先生は、生徒一人一人の一番よいところを引き出す方法を知っている。
A good teacher knows how to **draw** out the best in every student.

0002 彼の話はどうもつじつまが合わないので、警察は疑っている。
His story just doesn't add **up**, so the police are suspicious.

0003 勘定は税込みで50ドルになった。
The bill came **to** fifty dollars, including tax.

0004 鍵を家に置いてきたことに突然気づいた。
It suddenly **dawned** on me that I had left my keys at home.

0005 ネットの売り手のそんな見え透いた手口にだまされてはいけない。
Don't fall **for** such an obvious trick by online sellers.

0006 彼は最初の事業に失敗したが、そこから多くを学んだ。
He **failed** in his first business, but he learned a lot from it.

0007 彼はついに勇気を出して彼女を夕食に誘った。
He finally found the courage to ask her **out** to dinner.

0008 兄は最近日本のアニメにすっかりはまっている。
My brother is really **into** Japanese anime these days.

0009 午後になって、ようやく雲の間から太陽が顔を出した。
The sun finally broke **through** the clouds in the afternoon.

0010 今週末は寝不足を取り戻すつもりだ。
I'm going to catch up **on** my sleep this weekend.

0011 彼女はその記事を切り抜いて壁に貼った。
She cut **out** the article and put it on the wall.

0012 話についていけないよ。いったい何が言いたいの？
I don't follow you. What exactly are you getting **at**?

0013 大学を卒業した後、彼女は政界に入った。
After graduating from college, she went **into** the world of politics.

0014 息子はもう新しい靴が小さくなってしまった。
My son has already grown **out** of his new shoes.

0015 いつかその会社は川を汚染した責任を取らなければならないだろう。
Someday the company will have to answer **for** polluting the river.

0016 夢中になって、セールでお金を全部使ってしまった。
I got carried **away** and spent all my money at the sale.

0017 ファイルを探す間、少々お待ちください。
Please bear **with** me while I look for your file.

0018 政府は子どもを守るための新しい法律を導入する予定だ。
The government plans to bring **in** new laws to protect children.

0019 休まずに働きすぎると、燃え尽きてしまうよ。
If you work too hard without rest, you will burn **out** .

0020 彼は内気に見えるが、実はとても面白い。
He comes **across** as shy, but he is actually very funny.

0021 私たち映画に行くんだけど、一緒に来ない？
We're going to the movies. Why don't you come **along** ?

0022 結局のところ、すべてはお金の問題だ。
In the end, it all comes **down** to money.

0023 今、熱いコーヒーが1杯欲しいところだ。
I could do **with** a cup of hot coffee right now.

0024 警察は運転中に携帯電話を使う運転者を厳しく取り締まっている。
The police are cracking **down** on drivers who use their phones.

0025 高速道路で車が急に私たちの前に割り込んできた。
A car suddenly cut **in** front of us on the highway.

0026 委員会は市内の交通量を減らす計画を作成した。
The committee drew **up** a plan to reduce traffic in the city.

0027 今年は誕生日が日曜日に当たるので、パーティーをする。
My birthday falls **on** a Sunday this year, so we'll have a party.

0028 人生で成功したいなら懸命に働く必要がある。
You need to work hard if you want to get **ahead** in life.

0029 履歴書をどう書き始めたらいいのか分からない。
I don't know how to go **about** writing a resume.

0030 テストで不正をするのは私の信条に反する。
Cheating on a test goes **against** my principles.

0031 私の手紙は郵便の途中で行方不明になり、祖母に届かなかった。
My letter went **astray** in the mail and never reached my grandmother.

0032 兄は団体スポーツをあまりやらない。
My brother doesn't go **in** for team sports very much.

0033 高速道路での事故のこと、聞いた？
Did you hear **about** the accident on the highway?

0034 兵士たちは3週間敵に抵抗して持ちこたえた。
The soldiers held ___out___ against the enemy for three weeks.

0035 難しい問題を避けてはいけない。それが成長させてくれるのだ。
Don't ___shy___ away from difficult questions; they help you grow.

0036 猫がテーブルの上の牛乳のコップを倒した。
The cat knocked ___over___ a glass of milk on the table.

0037 期末試験に至るまで、緊張した日々が続いた。
There were many tense days leading ___up___ to the final exam.

0038 市長は市民の強い抗議にもかかわらず、主張を曲げなかった。
The mayor refused to back ___down___ despite strong protests from citizens.

0039 その言い争いは要するに信頼の欠如に行き着く。
The whole argument ___boils___ down to a lack of trust.

0040 数人の議員が党を離れて新党を作った。
Several members broke ___away___ from the party to start a new one.

0041 新しい政策は基本的な食料の価格を下げるのに役立った。
The new policy helped bring ___down___ prices of basic food.

0042 最初は計画に反対していたが、彼は最終的に考えを変えた。
At first he opposed the plan, but he finally came ___around___ .

0043 警察は事故を目撃した人に名乗り出るよう求めた。
Police asked anyone who saw the accident to come ___forward___ .

0044 その作家は小説を書くのに自分の子ども時代の経験を生かした。
The writer drew ___on___ her own childhood for the novel.

0045 二人の婚約の知らせはすぐに職場中に広まった。
News of their engagement soon got ___around___ the office.

0046 休みの間に数日どこかへ出かけたいと思っている。
We're hoping to get ___away___ for a few days during the holidays.

0047 読み終わったら本を返してください。
Please give ___back___ the book when you've finished reading it.

0048 全員に行き渡るだけのケーキがない。
There isn't enough cake to go ___around___ for everyone.

0049 彼女の才能は私たちの予想をはるかに超えている。
Her talent goes far ___beyond___ what we expected.

0050 今月はガソリンの価格が少し下がった。
The price of gas has gone ___down___ a little this month.

0051 来年4月から電車の運賃が5パーセント上がる。
Train fares will go **up** by five percent next April.

0052 農場主は嵐が来る前に羊を集めた。
The farmer **rounded** up his sheep before the storm came.

0053 言語の学習は大変だが、根気よく続ければ上達する。
Learning a language is hard, but if you keep **at** it, you will improve.

0054 さあ、急がないと電車に乗り遅れるよ！
Come **on**, we'll miss the train if we don't hurry!

0055 その新作映画は私の高い期待にまったく届かなかった。
The new movie didn't come **up** to my high expectations at all.

0056 警察は群衆に火事から下がっているよう求めた。
The police asked the crowd to keep **back** from the fire.

0057 この薬を飲めば、30分以内に効いてくるはずだ。
Take this medicine, and it should kick **in** within thirty minutes.

0058 彼女はうわさを笑い飛ばし、笑顔のままだった。
She laughed **off** the rumor and kept smiling.

0059 意見の違いはわきに置いて、一緒に取り組もう。
Let's lay **aside** our differences and work together.

0060 雨は夜遅くまでやまなかった。
The rain didn't let **up** until late at night.

0061 列車は市内に着くまでにいくつかの長いトンネルを通る。
The train passes **through** several long tunnels before reaching the city.

0062 その広告は新しい携帯電話の安さを強調している。
The ad plays **up** the low price of the new phone.

0063 医師たちは、彼女は手術後に回復すると確信している。
The doctors are sure she will pull **through** after the operation.

0064 多くの生徒がもっと長い夏休みを強く求めている。
Many students are pushing **for** a longer summer vacation.

0065 彼は自分の考えを分かりやすく伝えるのが上手だ。
He is good at putting his ideas **across** clearly.

0066 始める前に指示をよく通して読みなさい。
Read **through** the instructions carefully before you start.

0067 今月末までに解答を送ってください。
Send **in** your answers by the end of this month.

0068 雪がひどくなったので、私たちは引き返すしかなかった。
The snow got so heavy that we had to turn **back** .

0069 2社のスポンサーが土壇場でそのイベントから手を引いた。
Two sponsors backed **out** of the event at the last minute.

0070 自分がそんなにストレスの多い仕事に向いているかは分からない。
I'm not sure I'm cut **out** for such a stressful job.

0071 パーティーの後、たくさんの料理が残った。
There was a lot of food left **over** after the party.

0072 彼の頭痛はストレスと睡眠不足が原因だった。
His headache was brought **on** by stress and lack of sleep.

0073 昨年の成功を土台にして、イベントをさらに良くできる。
We can build **on** last year's success to make the event even better.

0074 会社は問題を解決するために専門家を呼んだ。
The company called **in** experts to solve the problem.

0075 母はよく私の様子を確かめるために電話してくる。
My mother often calls to check **up** on me.

0076 おじが亡くなって、彼女は莫大な財産を相続した。
She came **into** a large fortune when her uncle died.

0077 会議中にシャツのボタンが取れた。
A button came **off** my shirt during the meeting.

0078 彼女は問題なく手術を乗り切った。
She came **through** the operation without any problems.

0079 夕食後、テレビの前でうとうとしてしまった。
I dozed **off** in front of the TV after dinner.

0080 その老人は氷で滑って転んだ。
The old man slipped on the ice and fell **down** .

0081 新しい税が導入された後、売り上げが急に落ちた。
Sales fell **off** sharply after the new tax was introduced.

0082 先生が病気の間、佐藤先生が代わりを務めた。
Mr. Sato filled in **for** our teacher while she was sick.

0083 残念ながら、あなたの計画は私たちの忙しい予定に合いません。
I'm afraid your plan doesn't fit in **with** our busy schedule.

0084 計画を立てるのは簡単だが、それを最後までやり遂げるのは難しい。
It is easy to make plans, but hard to follow **through** on them.

0085 新しい仕事はうまくいっていますか。
How are you getting **along** in your new job?

0086 先週末、ようやく部屋の掃除に取りかかった。
I finally got **around** to cleaning my room last weekend.

0087 早く車に乗って。雨が降り始めたよ。
Get **in** the car quickly. It's starting to rain.

0088 この祭りの伝統は12世紀にまでさかのぼる。
This festival tradition goes **back** to the 12th century.

0089 数人の10代の若者が店の外をうろついていた。
Some teenagers were hanging **around** outside the shop.

0090 ロープにしがみついて、離さないで！
Hang on **to** the rope, and don't let go!

0091 彼は昼休みにたいてい一人で過ごしている物静かな男の子だ。
He is a quiet boy who usually keeps to **himself** during lunch.

0092 警察官は彼を注意だけで見逃した。
The police officer let him **off** with a warning.

0093 彼の突然の決断の裏に本当は何があるのか、誰も知らない。
Nobody knows what really lies **behind** his sudden decision.

0094 祖母は子どもの頃に戦争を生き抜いた。
My grandmother lived **through** the war as a child.

0095 多くの生徒は助言を先生に求める。
Many students look **to** their teachers for advice.

0096 親友は去年の春、北海道へ引っ越していった。
My best friend moved **away** to Hokkaido last spring.

0097 卒業したら実家を出るつもりだ。
I'm going to move **out** of my parents' house after graduation.

0098 その会社は中国市場からの撤退を決めた。
The company decided to pull **out** of the Chinese market.

0099 終わったら本を棚に戻してください。
Please put the book **back** on the shelf when you're done.

0100 彼はテーブルの向こう側の塩に手を伸ばした。
He reached **for** the salt on the other side of the table.

0101 先生は受賞者の名前を読み上げた。
The teacher read **out** the names of the winners.

0102 会議の前にもう一度計画をおさらいしよう。
Let's run **through** the plan one more time before the meeting.

0103 会社はすべての顧客に招待状を送った。
The company sent **out** invitations to all its customers.

0104 授業が始まる前に学校を案内させてください。
Let me show you **around** our school before classes begin.

0105 彼は弟に黙って寝ろと言った。
He told his little brother to shut **up** and go to sleep.

0106 彼は最初のデートで私をすっぽかした。
He stood me **up** on our first date.

0107 先生がけんかを止めるために割って入らなければならなかった。
The teacher had to step **in** to stop the fight.

0108 彼のシャツのポケットからペンが突き出ていた。
A pen was sticking **out** of his shirt pocket.

0109 古い校舎は来年取り壊される。
The old school building will be torn **down** next year.

0110 母は私の古い漫画本を全部捨ててしまった。
My mother threw **out** all my old comic books.

0111 バスで気分が悪くなって、吐きそうになった。
I felt sick on the bus and almost threw **up** .

0112 すみませんが、午後はずっと会議で手が離せません。
I'm sorry, but I'm tied **up** with meetings all afternoon.

0113 新しい経営者はたった2年で会社を立て直した。
The new manager turned the company **around** in just two years.

0114 そんなふうにお金を使い続けたら、最後は一文無しになるよ。
If you keep spending money like that, you'll wind **up** broke.

0115 スマートフォンの価格はここ数年でかなり下がった。
The price of smartphones has come **down** a lot in recent years.

0116 宿題を忘れたので、先生は彼を放課後残らせた。
The teacher kept him **in** after school because he forgot his homework.

0117 父は「決して諦めるな」という単純な信条を守って生きている。
My father lives **by** one simple rule: never give up.

0118 鍵を中に入れたまま車をロックしてしまい、母に電話しなければならなかった。
I locked myself **out** of my car and had to call my mom.

0119 今日の午後、病気の祖母の様子をちょっと見に行ってくれない？
Could you look **in** on my sick grandmother this afternoon?

0120 私たちのホテルの部屋は美しい浜辺に面していた。
Our hotel room looked **out** on a beautiful beach.

0121 彼女が眠っている間に、泥棒がかばんを持ち逃げした。
The thief made **off** with her bag while she was sleeping.

0122 みんなで力を合わせれば、このプロジェクトを期限内に終えられる。
If we all pull **together**, we can finish this project on time.

0123 コンサートのチケットを取れるか手配してみるよ。
I'll see **about** getting tickets for the concert.

0124 シャツが小さすぎたので返品した。
The shirt was too small, so I sent it **back**.

0125 力強い声が彼女を他の歌手から際立たせている。
Her strong voice sets her **apart** from other singers.

0126 彼女は通りの騒音を遮るためにカーテンを閉めた。
She closed the curtains to shut **out** the noise from the street.

0127 今夜はゆったり座って、ショーを楽しんでください。
Just sit **back**, relax, and enjoy the show tonight.

0128 先生が病気の間、佐藤先生が代わりを務める。
Mr. Sato will stand **in** for our teacher while she is sick.

0129 彼女はウェイトレスから始めて、今ではレストランを3軒持っている。
She started **out** as a waitress and now owns three restaurants.

0130 雨だったので、家でテレビを見ていた。
It was raining, so we stayed **in** and watched TV.

0131 彼女はその手紙をびりびりに破って捨てた。
She tore **up** the letter and threw it away.

0132 大きな決断をする前に、よく考え抜くべきだ。
You should think things **through** before making a big decision.

0133 大雨で古い木の橋が流された。
The heavy rain washed **away** the old wooden bridge.

0134 すみません、彼女はただ今外出しております。伝言を承りましょうか。
Sorry, she is **out** at the moment. Can I take a message?

0135 彼の失礼な質問に面食らった。
I was taken **aback** by his rude question.

0136 彼女は願い事をして、ケーキのろうそくを全部吹き消した。
She made a wish and blew ___out___ all the candles on the cake.

0137 会議は月曜の朝に前倒しされた。
The meeting has been brought ___forward___ to Monday morning.

0138 その祭りには世界中から音楽家が集まる。
The festival brings ___together___ musicians from all over the world.

0139 人ごみの中で誰かが私の名前を大声で呼んだ。
Someone in the crowd called ___out___ my name.

0140 政府は対応の遅さで激しい批判を受けた。
The government came ___under___ heavy criticism for its slow response.

0141 その計画は地元住民の強い反対に直面した。
The project came up ___against___ strong opposition from local residents.

0142 スープが少し冷めるまで待ってから食べなさい。
Wait until the soup cools ___down___ a little before you eat it.

0143 迷子の子が混雑した駅で母親を呼んで泣いていた。
The lost child ___cried___ for his mother in the crowded station.

0144 記者はその政治家について興味深い事実を探り出した。
The reporter dug ___up___ some interesting facts about the politician.

0145 煙のにおいで蚊が追い払われた。
The smell of the smoke drove ___away___ the mosquitoes.

0146 子どもたちは10分でクッキーを全部平らげた。
The kids ate ___up___ all the cookies in ten minutes.

0147 その古城は戦後、荒れ果ててしまった。
The old castle fell ___into___ ruin after the war.

0148 まだ具合が悪いので、今夜は出かける元気がない。
I'm still sick, so I don't feel ___up___ to going out tonight.

0149 私の服は全部小さなスーツケース一つに収まる。
All my clothes fit ___into___ one small suitcase.

0150 雨の天気で気を落とさないで。
Don't let the rainy weather get you ___down___ .

0151 新しい車を買うのは来年まで延ばそう。
Let's hold ___off___ on buying a new car until next year.

0152 おじは音楽を生きがいにしていて、毎晩ギターを弾く。
My uncle lives ___for___ music and plays the guitar every night.

0153 家を出る前に戸締まりを忘れないで。
Don't forget to lock **up** before you leave the house.

0154 先を見据えて将来の計画を立てることが大切だ。
It is important to look **ahead** and plan for your future.

0155 古い駅は昨年取り壊された。
The old station was pulled **down** last year.

0156 会議は来週の月曜日に延期された。
The meeting was pushed **back** to next Monday.

0157 彼女はコンテストで勝つために大変な努力を注いだ。
She put **in** a lot of effort to win the contest.

0158 昨日、大学に願書を発送した。
I sent **off** my application form to the university yesterday.

0159 母は兄の帰りを待って一晩中起きていた。
My mother sat **up** all night waiting for my brother to come home.

0160 他の人のことは分からないが、私はあなたに賛成だ。
I can't speak **for** the others, but I agree with you.

0161 間違いが多すぎたので、最初からやり直すことにした。
I made too many mistakes, so I decided to start **over** .

0162 ランニングは最初はきついけれど、続けてみて。
Running is hard at first, but stick **with** it.

0163 兄は仕組みを知ろうと古い時計を分解した。
My brother took **apart** the old clock to see how it worked.

0164 私が口答えすると母は怒った。
My mother got angry when I talked **back** to her.

0165 新しいバンドの名前を考え出さなければならない。
We need to think **up** a name for our new band.

0166 何百人ものファンが入口で入場を断られた。
Hundreds of fans were turned **away** at the gate.

0167 そのウェブサイトへの攻撃の黒幕が誰なのか、誰も知らない。
Nobody knows who was **behind** the attack on the website.

0168 その小さなチームは国内最高の選手たちを相手にしていた。
The small team was up **against** the best players in the country.

0169 これらの新事実は裁判の結果に直接関わってくる。
These new facts bear directly **on** the outcome of the trial.

0170 エビを食べると、いつも発疹が出る。
Whenever I eat shrimp, I break out **in** a rash.

0171 その若いデザイナーは伝統を破って明るい色を使うことにした。
The young designer decided to break **with** tradition and use bright colors.

0172 彼女はいったん計画を始めたら、必ずやり遂げる。
Once she starts a project, she always carries it **through** .

0173 友達にうそをついても何も良いことはない。
Nothing good will come **of** telling lies to your friends.

0174 不作で米の価格が押し上げられた。
The bad harvest drove **up** the price of rice.

0175 潮風が少しずつ金属の橋を腐食した。
The salty sea air slowly ate **away** at the metal bridge.

0176 彼は手伝うと約束したのに、その約束を破った。
He promised to help us, but then he went **back** on his word.

0177 不況の間に多くの小さな企業が倒産した。
Many small businesses went **under** during the recession.

0178 最初はその歌が好きではなかったが、だんだん好きになってきた。
I didn't like the song at first, but it's growing **on** me.

0179 今日は早めに仕事を切り上げて、何か食べに行こう。
Let's knock **off** early today and go get something to eat.

0180 昨日やめたところから読み始めよう。
Let's start reading from where we left **off** yesterday.

0181 彼は今年も昇進を見送られた。
He was passed **over** for promotion again this year.

0182 出かける前に水道を止めるのを忘れないで。
Don't forget to shut **off** the water before you leave.

0183 彼は大学時代に小さなネット事業を立ち上げた。
He started **up** a small online business in college.

0184 今夜は私が夕食後の皿洗いの当番だ。
It's my turn to wash **up** after dinner tonight.

0185 客からの絶え間ない苦情で、彼女は少しずつ参っていった。
The constant complaints from customers slowly wore her **down** .

0186 電話すると、祖母はいつも君の様子を尋ねるよ。
My grandmother always asks **after** you when I call her.

0187 この仕事が簡単だと思っているなら、驚くことになるよ。
If you think this job is easy, you're **in** for a surprise.

0188 心配しないで。そのスキャンダルは数週間で収まるよ。
Don't worry. The scandal will blow **over** in a few weeks.

0189 支配人は安全面についての私たちの懸念を取り合わなかった。
The manager brushed **aside** our concerns about safety.

0190 私たちの学校の吹奏楽部がコンテストで1位をさらった。
Our school band carried **off** first prize in the contest.

0191 何千人ものファンがゴール地点で走者たちに声援を送った。
Thousands of fans cheered **on** the runners at the finish line.

0192 夕食後、子どもたちが食器を片付けた。
After dinner, the children cleared **away** the dishes.

0193 さまざまな国の人々が被災者を助けるために集まった。
People from different countries came **together** to help the victims.

0194 掃除をしているとき、祖父からの手紙を偶然見つけた。
While cleaning, I came **upon** a letter from my grandfather.

0195 この会社では、学歴より経験の方が重要だ。
In this company, experience counts **for** more than education.

0196 犬は庭に駆け込んできた猫を追いかけた。
The dog went **after** the cat that ran into the garden.

0197 結局、彼らは結婚式を取りやめることにした。
In the end, they decided not to go through **with** the wedding.

0198 試験が終わったら、のんびり映画を見たいだけだ。
After the exams, I just want to kick **back** and watch movies.

0199 あなたは一晩中、台所の電気をつけっぱなしにしていた。
You left the lights **on** in the kitchen all night.

0200 彼は晩年を海辺の小さな村で過ごした。
He lived **out** his final years in a small village by the sea.

0201 誕生日に行けなくてごめん。必ず埋め合わせするから。
Sorry I missed your birthday. I'll make it **up** to you.

0202 ふざけてないで、夕食までに宿題を終わらせなさい！
Stop messing **around** and finish your homework before dinner!

0203 会議は金曜日から水曜日に繰り上げられた。
The meeting has been moved **up** from Friday to Wednesday.

0204 先生はクラスにプリントを回した。
The teacher passed **around** the handouts to the class.

0205 彼女は英語がとても上手で、ネイティブで通るほどだ。
She speaks English so well that she could pass **for** a native speaker.

0206 留学のこのチャンスを逃してはいけない。
Don't pass **up** this chance to study abroad.

0207 祖父母は毎月少しずつお金を貯えている。
My grandparents put **by** a little money every month.

0208 提出する前に作文をもう一度読み返しなさい。
Read **over** your essay once more before you hand it in.

0209 彼女は今出かけています。後で折り返し電話させましょうか。
She's out right now. Can she ring you **back** later?

0210 空港に着いたら電話するね。
I'll ring you **up** when I arrive at the airport.

0211 男の子たちは窓を割って逃げていった。
The boys broke the window and ran **off** .

0212 この車はガソリンではなく電気で走る。
This car runs **on** electricity instead of gasoline.

0213 彼はクレジットカードで莫大な借金をためた。
He ran **up** huge debts on his credit card.

0214 その店は古い在庫を半額で売り払っている。
The store is selling **off** its old stock at half price.

0215 彼は小さなノートに自分の考えを書き留めた。
He set **down** his thoughts in a small notebook.

0216 新入生が慣れるまで数週間かかった。
It took the new students a few weeks to settle **in** .

0217 長い話し合いの末、犬の名前が決まった。
After a long discussion, we settled **on** a name for the dog.

0218 日曜日はたいてい10時まで寝ている。
On Sundays, I usually sleep **in** until ten.

0219 今夜、友達をうちに泊めてもいい？
Can my friend sleep **over** at our house tonight?

0220 ホームの端から下がってください。
Stand **back** from the edge of the platform.

0221 みんなの前でかばってくれてありがとう。
Thank you for sticking **up** for me in front of everyone.

0222 子ども時代を振り返ると、祖母の庭を思い出す。
When I think **back** on my childhood, I remember my grandmother's garden.

0223 不祥事の後、一番親しい友人たちでさえ彼に背を向けた。
Even his closest friends turned **against** him after the scandal.

0224 先に寝てて。帰りは遅くなるから。
Don't wait **up** for me. I'll be home late.

0225 母猫は一晩中子猫たちを見守った。
The mother cat watched **over** her kittens all night.

0226 仕事の後は熱いお風呂でくつろぐのが好きだ。
I like to wind **down** with a hot bath after work.

0227 そんな小さなことでそんなに興奮しないで。
Don't get so worked **up** about such a small thing.

0228 私の手紙を受け取るとすぐ、彼女は返事をくれた。
She wrote **back** to me as soon as she got my letter.

0229 多くの人が彼を見限ったが、彼はレースに勝った。
Many people wrote him **off**, but he won the race.

CHAPTER 2

動詞が中心の熟語・語法

take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。 No.0230〜0443（214 問）

問題

0230 □□□

After a long discussion, the committee accepted his proposal ＿＿＿ the final plan.

① to ② with
③ as ④ for

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ accept A as B A を B として受け入れる

訳 長い議論の末、委員会は彼の提案を最終案として受け入れた。

解説 「彼の提案を最終案として受け入れた」は accept A as B で、as が「A ＝ B」の関係を示す。to は受け入れる先の人・組織に使い（accept A to the club など）、最終案との関係を表さない。with は「〜と一緒に」、for は accept A for who A is（ありのままの A を受け入れる）の形で、ここでは不可。

区別 **accept A as B ⇔ accept A for B** accept A for who A is のように for を使うと「ありのままの A を受け入れる」の意味になる。役割・身分・事実として認めるなら as。見分け方：B が役割・身分・性質なら as。

0231 □□□

Local volunteers assisted the elderly residents ＿＿＿ evacuating to the shelter.

① to ② for
③ in ④ on

③ assist A in B A の B を手伝う

訳 地元のボランティアは、高齢の住民が避難所へ避難するのを手伝った。

解説 assist A in ~ing で「A が〜するのを手伝う」。後ろが動名詞 evacuating なので in。to は assist A to do の形なら可能だが、後ろが原形 evacuate でなければならない。for / on は assist と組んで手伝う動作を示さない。

区別 **assist A in B ⇔ help A with B** help A with B は B に名詞（仕事・荷物など）、help A (to) do は動作。assist A in ~ing は動作を in ＋動名詞で示す。help A in ~ing はあまり使わない。見分け方：assist なら in ~ing、help なら with 名詞か (to) do。

0232 □□□

Jim was so tired that he came near ＿＿＿ asleep while driving.

① to fall ② falling
③ fall ④ fell

② come near (to) ~ing もう少しで…しそうになる

訳 ジムはとても疲れていたので、運転中にもう少しで眠ってしまうところだった。

解説 come near (to) ~ing で「もう少しで…しそうになる」。to が省略された形で、near の後ろは動名詞の falling。to fall は to を不定詞と勘違いした誤り（この to は前置詞）。fall / fell は near の後ろに直接置けない。

区別 **come near (to) ~ing ⇔ come close to ~ing** 意味は同じ「もう少しで…しそう」で、どちらも to は前置詞なので後ろは ~ing。見分け方：close / near のどちらでも to の後ろは動名詞、と形で判断する。nearly は副詞なので、nearly lost のように過去形の動詞を続ける。

0233 □□□

Her parents were against it at first, but they finally consented ＿＿＿＿ her marriage.

① to　② on
③ for　④ with

① consent to ~　～に同意する；～を承諾する

訳 彼女の両親は最初は反対していたが、最後には彼女の結婚を承諾した。

解説 consent は自動詞で「～を承諾する」は consent to ~。with は agree with（～と同じ意見だ）と混同したひっかけで、consent with とは言わない。on は agree on（～について合意する）の形。for も consent と組まない。最初は反対だったが最後は承諾した、という流れに合う。

区別 **consent to ~ ⇔ agree with ~**　agree with ＋ 人・意見は「～と意見が同じ」。agree to / consent to ＋ 提案・計画は「～を承諾する」。consent with とは言わない。見分け方：相手の考えに賛成なら agree with、申し出を許すなら consent to。

0234 □□□

The tour guide tried to engage the shy children ＿＿＿＿ conversation by asking about their favorite animals.

① with　② to
③ on　④ in

④ engage A in B

A を B に参加させる；A を B（会話など）に引き込む

訳 ツアーガイドは、好きな動物について尋ねることで、恥ずかしがり屋の子どもたちを会話に引き込もうとした。

解説 「A を会話に引き込む」は engage A in conversation で、活動の中に入れる in。with は「～と」で、engage A with ~ は「A を～と関わらせる」意味になり、会話に引き込む決まった形ではない。to は be engaged to ＋ 人（婚約）の形。on も不可。

区別 **engage A in B ⇔ be engaged to ~**　be engaged to ＋ 人は「～と婚約している」。engage A in B は A を活動に引き込む。見分け方：in の後ろが活動・会話なら参加させる、to の後ろが人なら婚約。

0235 □□□

Although it was dark, the children managed to find ＿＿＿＿ way home.

① their　② them
③ they　④ theirs

① find one's way to ~

～にたどり着く；道を探しながら～へ行く

訳 暗かったが、子どもたちは何とか家にたどり着いた。

解説 find one's way の one's は主語に合わせた所有格にする。主語が the children なので their way。them（目的格）/ they（主格）は名詞 way の前に置けない。theirs は所有代名詞で後ろに名詞を取らない。home は副詞なので to は不要。

区別 **find one's way to ~ ⇔ make one's way to ~**　find one's way は「道を探しながらたどり着く」と、分からない道を見つける苦労が含まれる。make one's way は「（人混みなどを）進んでいく」と移動の過程。見分け方：迷いそうな道・暗い道を探り当てるなら find、前へ進む動きなら make。

0236 ☐☐☐

She impressed the interviewers ＿＿＿＿ her fluent English and positive attitude.

① on　② with
③ at　④ to

② impress A with B

A に B を印象づける；B で A を感心させる

訳 彼女は流ちょうな英語と前向きな態度で面接官たちを感心させた。

解説 直後に人（the interviewers）が来て「B で A を感心させる」なので impress A with B。on は impress B on A（考えを人に痛感させる）の形で、人の後ろに能力を続けるこの文には合わない。to / at も impress と組まない。流ちょうな英語で面接官を感心させた、という文意に合う。

区別 **impress A with B ⇔ impress B on A** impress B on (upon) A は「B（考え・大切さ）を A の心に刻み込む」（impress the importance of safety on the students）。impress A with B は「B で A を感心させる」。見分け方：人が直後に来れば with、考えが直後に来て人の前に on。

0237 ☐☐☐

First, mix the flour ＿＿＿＿ the eggs and milk until the batter is smooth.

① to　② with
③ at　④ by

② mix A with B　A を B と混ぜる

訳 まず、生地がなめらかになるまで小麦粉を卵と牛乳と混ぜます。

解説 「A を B と混ぜる」は mix A with B。to / by / at は mix と組んで混ぜる相手を示さない。小麦粉を卵と牛乳と混ぜてなめらかな生地にする、という料理の手順に合う。

区別 **mix A with B ⇔ mix up A with B** mix up A with B は「A を B と取り違える」（I always mix up his name with his brother's）。mix A with B は実際に物を混ぜ合わせる。見分け方：up があれば混同、なければ混ぜる。

0238 ☐☐☐

Scientists are trying to relate the rise in global temperatures ＿＿＿＿ human activity.

① for　② on
③ to　④ by

③ relate A to B　A を B と関係づける

訳 科学者たちは、世界の気温上昇を人間の活動と関係づけようとしている。

解説 「A を B と関係づける」は relate A to B で、前置詞は to。for / on / by は relate と組んで関係づける相手を示さない。気温上昇を人間の活動と結びつけて考える、という文意に合う。

区別 **relate A to B ⇔ relate to ～（自動詞）** relate to ＋ 人・気持ちは「～に共感する」（Teenagers can relate to the story）。relate A to B は目的語 A を取る他動詞。見分け方：relate の直後に目的語があるかどうか。

0239 ☐☐☐

The company rewarded her ＿＿＿＿ a big bonus for her hard work on the project.

① by　② with
③ of　④ to

② reward A with B　A に B で報いる

訳 会社は、そのプロジェクトでの彼女の努力に対して、多額のボーナスで報いた。

解説 ほうびの中身（a big bonus）を示すので reward A with B。by は手段・行為者を表すが、ほうびの中身には使わない。to / of も reward と組んでほうびを示さない。理由は後ろの for her hard work で示されている。

区別 **reward A with B ⇔ reward A for B**　for の後ろはほうびの「理由」（for her hard work）、with の後ろはほうびの「中身」（with a bonus）。両方を一文で使うこともある（reward her with a bonus for her hard work）。

0240 ☐☐☐

I traded my old bicycle ＿＿＿＿ a brand-new skateboard.

① with　② to
③ by　④ for

④ trade A for B　A を B と交換する

訳 私は古い自転車を新品のスケートボードと交換した。

解説 「A を B と交換する」は trade A for B で、for は「～と引き換えに」。with は交換の相手（人）を示す前置詞で、スケートボードという物には使わない。to / by も交換で手に入る物を示さない。古い自転車を新品のスケボーと交換した、という文意に合う。

区別 **trade A for B ⇔ trade with ＋人**　with の後ろは交換する相手の人・国（trade with China＝中国と貿易する）。for の後ろは手に入れる物。見分け方：物なら for、人・国なら with。

0241 ☐☐☐

My aunt always tries to interfere ＿＿＿＿ our family matters, which annoys my parents.

① to　② at
③ in　④ against

③ interfere in ~
（他人のこと）に干渉する；～に口出しする

訳 叔母はいつも私たちの家族の問題に口出ししようとするので、両親はいらいらしている。

解説 「（他人の家の問題）に口出しする」は interfere in ~。to / at / against は interfere と組んで干渉する対象を示さない。なお interfere with ~ は「（活動・機能）を妨げる」の意味が中心。両親を怒らせる叔母の口出しという文意に合う。

区別 **interfere in ~ ⇔ interfere with ~**　interfere with ~ は「（物事の進行）を妨げる」（Noise interferes with my study）、「（物）を勝手にいじる」。interfere in ~ は「（他人の問題）に首を突っ込む」。見分け方：邪魔されるのが活動・機能なら with、口出しされるのが事柄なら in。

0242 □□□

When the old king died, his eldest son succeeded _____ the throne.

① to　② at
③ for　④ in

① succeed to ~ （地位・財産など）を継ぐ；～の後を継ぐ

訳 老いた王が亡くなると、長男が王位を継いだ。

解説 「王位を継ぐ」は succeed to the throne で、前置詞は to。in を使うと succeed in ~（～に成功する）となり、王位に成功するという意味不明の文になる。at / for も succeed と組んで「継ぐ」の意味を作らない。王が亡くなり長男が後を継いだ、という文意に合う。

区別 **succeed to ~ ⇔ succeed in ~** succeed in ~ing / 名詞は「～に成功する」。succeed to ~ は「～を継ぐ」。前置詞で意味が全く違い、入試の定番のひっかけ。名詞も success（成功）と succession（継承）で分かれる。

0243 □□□

The manager assigned the new employee _____ the sales department.

① for　② at
③ to　④ with

③ assign A to B

A を B に割り当てる；A（人）を B に配属する

訳 部長は新入社員を営業部に配属した。

解説 「A を B（部署）に配属する」は assign A to B で、配属先を示す to。for / at / with は assign と組んで配属先を示さない。新入社員を営業部に配属した、という文意に合う。

区別 **assign A to B ⇔ assign B A** assign B A は「B（人）に A（仕事）を割り当てる」（The teacher assigned us homework）で、人が先、仕事が後。assign A to B は A が人なら配属、仕事なら割り当て。語順で前置詞の有無が決まる。

0244 □□□

The young singer _____ a famous pianist on her latest album.

① worked together　② collaborated
③ cooperated to　④ collaborated with

④ collaborate with ~

～と協力する；～と共同で作業する

訳 その若い歌手は、最新アルバムで有名なピアニストと共同制作した。

解説 collaborate は自動詞なので相手の前に with が必要で、collaborated with a famous pianist on ~ が正しい。with のない collaborated は目的語を直接取れない。cooperate も相手には with を使い、to は続かない。worked together は後ろに with がないと a famous pianist をつなげられない。

区別 **collaborate with ~ ⇔ cooperate with ~** cooperate は「（相手の求めに応じて）協力する・協調する」で、警察の捜査や規則に協力的に従う場面も含む。collaborate は「一緒に何かを作り上げる」共同制作・共同研究。見分け方：作品や研究の成果を共に生むなら collaborate、相手の言うことに応じて手を貸すなら cooperate。

0245 ☐☐☐

At the party, several guests ＿＿＿＿ my mother on her delicious homemade cake.

① praised　② complimented
③ admired　④ appreciated

② compliment A on B　B のことで A を褒める

訳 パーティーで、何人かの客が母の手作りのおいしいケーキを褒めた。

解説 「人 on 事」の形を取れるのは compliment で、「母の手作りケーキを褒めた」になる。praise は理由を for で示すので praised my mother on は不可。admire は「感心する」で人 on 事の形を取らない。appreciate は「（物事を）ありがたく思う」で人を目的語にして on を続けられない。

区別 **compliment A on B ⇔ praise A for B**　同じ「褒める」でも praise は理由を for で示す（praise A for B）。compliment は on を取り、日常の会話で外見や出来栄えを感じよく褒める響き。見分け方：前置詞が on なら compliment / congratulate、for なら praise / thank / blame。

0246 ☐☐☐

Heavy snow hindered the rescue team ＿＿＿＿ the village for two days.

① of reaching　② from reaching
③ for reaching　④ to reach

② hinder A from ~ing　A が～するのを妨げる

訳 大雪のため、救助隊は 2 日間その村にたどり着けなかった。

解説 hinder A from ~ing で「A が～するのを妨げる」。to reach は不定詞で、hinder A to do という形はない。of reaching は「奪う系」の rob A of B と混同させる誤り。for reaching も hinder と組まない。

区別 **hinder A from ~ing ⇔ prevent A from ~ing**　prevent は「（起こらないように）完全に防ぐ」、hinder は「邪魔して遅らせる・やりにくくする」で、完全に止めたとは限らない。見分け方：結局できなかったなら prevent、手間取ったが進んでいるなら hinder が合う。

0247 ☐☐☐

We will ＿＿＿＿ you of any changes to the schedule as soon as possible.

① announce　② notify
③ report　④ explain

② notify A of B　A に B を通知する

訳 日程に変更があれば、できるだけ早くお知らせします。

解説 人を目的語にして of で内容を続けられるのは notify（notify A of B）。announce / explain / report はいずれも内容を目的語にする動詞で、announce you of ~ のように人を直後に置けない（announce the changes to you の形になる）。

区別 **notify A of B ⇔ inform A of B**　inform も notify も「A に B を知らせる」の同じ型。notify は役所・会社などが正式に通知する硬い語で、inform はより広く情報を伝える。見分け方：意味の差は小さいので、どちらも人が目的語・of で内容、という型を優先して覚える。

0248 □□□

She didn't want to part ＿＿＿＿ the old piano her grandmother had given her.

① with　② of
③ off　④ from

① part with ~ ～を手放す

訳 彼女は祖母にもらった古いピアノを手放したくなかった。

解説 物（祖母にもらったピアノ）を手放すのは part with。part from は人と別れるときに使う。part of は「～の一部」で動詞の part とはつながらない。part off という句動詞はない。

区別 **part with ~ ⇔ part from ~** part from は「（人と）別れる」、part with は「（物を）手放す」。見分け方：後ろが人なら from、物（お金・思い出の品）なら with。ただし with＋人もまれにあるので、入試では物 with／人 from で判断する。

0249 □□□

Successful people know how to profit ＿＿＿＿ their mistakes instead of repeating them.

① to　② from
③ at　④ for

② profit from ~ ～から利益を得る；～から学ぶ

訳 成功する人は、失敗を繰り返すのではなく、失敗から学ぶ方法を知っている。

解説 「～から学ぶ・利益を得る」は profit from（by も可）。to / for は「～のために」の方向で、profit と組んで利益の出どころを表せない。at も profit と組まない。

区別 **profit from ~ ⇔ benefit from ~** benefit from も「～から恩恵を受ける」で、profit from とほぼ同じ。profit はお金のもうけを連想させ、benefit は健康・教育など広く「ためになる」。見分け方：意味より形を優先し、どちらも from を取ると押さえる。

0250 □□□

Japan has to win this match to qualify ＿＿＿＿ the World Cup finals.

① for　② to
③ in　④ as

① qualify for ~ ～の資格を得る；～の出場権を得る

訳 日本はワールドカップ本大会の出場権を得るために、この試合に勝たなければならない。

解説 大会の出場権を得るのは qualify for。qualify as は「～としての資格を得る」で、後ろに職業・身分が来る。qualify to の後ろは動詞の原形（be qualified to do）で、名詞の finals は続かない。in も qualify と組んで出場権を表さない。

区別 **qualify for ~ ⇔ qualify as ~** qualify as の後ろは職業・身分（a lawyer, a teacher）で「～になる資格を得る」。qualify for の後ろは手に入れるもの（the finals, a scholarship）。見分け方：「～として」なら as、「～を得る資格」なら for。

0251 ☐☐☐

At the meeting, each speech was restricted ＿＿＿＿ five minutes so that everyone could talk.

① in　② to
③ by　④ for

② restrict A to B　A を B に制限する

訳 会議では、全員が話せるよう、それぞれのスピーチは 5 分に制限された。

解説 restrict A to B（A を B に制限する）の受け身 be restricted to ~。in / for / by は restrict と組んで「～に制限する」の範囲を示せない。by は受け身の動作主を示すが、ここで制限している主体は five minutes ではない。

区別 **restrict A to B ⇔ confine A to B** confine も「A を B に限る」だが、「閉じ込める」意味が強く、be confined to bed（寝たきりだ）のように場所に縛る場面に多い。restrict は数量・範囲を規則で制限する。見分け方：規則で量・人数を限るなら restrict、場所に閉じ込めるなら confine。

0252 ☐☐☐

His explanation of why he was late ＿＿＿＿ me as rather strange.

① seemed　② struck
③ was struck　④ looked

② strike A as B　A に B という印象を与える

訳 彼が遅れた理由の説明は、私にはかなり奇妙に思えた。

解説 「物事が人に～という印象を与える」は strike A as B で、過去形 struck が入る。seem / look は S V C の自動詞で、me を目的語に置けない（seemed strange to me の形になる）。was struck は受け身で、後ろの me とつながらない。

区別 **strike A as B ⇔ seem / look** seem / look も「～に見える」だが S V C の形で、人を直接目的語に置けない（It seemed strange to me.）。strike は他動詞なので strike me as ~ と人が直後に来る。見分け方：動詞のすぐ後ろに人の目的語があるなら strike。

0253 ☐☐☐

The workers refused to submit ＿＿＿＿ the company's unfair demands and went on strike.

① for　② at
③ to　④ with

③ submit to ~　～に服従する；～に屈する

訳 労働者たちは会社の不当な要求に屈することを拒み、ストライキに入った。

解説 「～に屈する・服従する」は自動詞の submit to。for / at / with は submit と組んで服従の相手を表せない。直前の refused to と同じ to が続くので形に惑わされやすいが、後ろが名詞（demands）なので前置詞の to が入る。

区別 **submit to ~ ⇔ submit A to B** 他動詞 submit A to B は「A（書類など）を B に提出する」で、A が目的語。submit to ~ は目的語なしで「～に屈する」。見分け方：submit の直後に report / application などの物があれば提出、直後が to なら服従。

0254 □□□

Before starting the job, you should acquaint yourself ＿＿＿＿ the company's rules.

① with　② of
③ about　④ to

① acquaint A with B

A に B を知らせる；A を B に精通させる

訳 仕事を始める前に、会社の規則をよく知っておくべきだ。

解説 acquaint oneself with ~ で「～をよく知る・精通する」。to / of / about は acquaint と組まない。inform A of B / tell A about B などの型と混同させる選択肢。

区別 **acquaint A with B ⇔ be familiar with ~** be familiar with も「～をよく知っている」で、物事に精通している点で be acquainted with に近い。ただし be acquainted with＋人は「顔見知りだ」で、深く親しいわけではない。見分け方：意味の差より、どちらも with を取ると押さえる。

0255 □□□

After two years of hard work, she was finally admitted ＿＿＿＿ Kyoto University.

① for　② at
③ on　④ to

④ admit A to B　A に B への入場・入学を許可する

訳 2 年間の努力の末、彼女はついに京都大学への入学を許可された。

解説 「～への入学を許可される」は be admitted to ~。for / at / on は admit と組んで入学先を表さない。at は「～で」と場所を表すので、入学先を示す to と混同しやすい。

区別 **admit A to B ⇔ admit ~ing** admit ~ing / that S V は「（事実・過ちを）認める」。admit A to B は「A に入ることを許す」。見分け方：後ろに to＋場所・組織があれば入場・入学、動名詞や that 節なら認める。

0256 □□□

The man was arrested ＿＿＿＿ stealing a car from the parking lot.

① of　② with
③ for　④ by

③ arrest A for B　B の容疑で A を逮捕する

訳 その男は駐車場から車を盗んだ容疑で逮捕された。

解説 逮捕の理由は for で示し、be arrested for stealing ~。of は accuse A of B、with は charge A with B の前置詞で、arrest とは組まない。by は受け身の動作主で、後ろに人（the police）が来る。

区別 **arrest A for B ⇔ accuse A of B / charge A with B** accuse A of B は「A を B のことで非難・告訴する」で of、charge A with B は「A を B の罪で起訴する」で with。arrest は for。見分け方：前置詞を動詞ごとにセットで覚える（arrest for / accuse of / charge with）。

0257 □□□

Even a week after the accident, his family ＿＿＿＿ to the hope that he was still alive.

① clung　② clang
③ clinging　④ clinged

① cling to ~　～にしがみつく；～に執着する

訳 事故から 1 週間たっても、彼の家族は彼がまだ生きているという希望にしがみついていた。

解説 cling の過去形は clung（cling-clung-clung）。clinged は規則変化にした誤り。clang は「カランと鳴る」という別の動詞。clinging は進行形の be がないので述語動詞にならない。

区別 **cling to ~ ⇔ stick to ~** stick to は「～を守り通す・（計画など）を貫く」で、前向きな文脈にも使う。cling to は「手放したくなくてしがみつく」で、執着の否定的な響きがあることが多い。見分け方：信念を貫くなら stick to、手放せずにしがみつくなら cling to。

0258 □□□

I can't attend the meeting on Friday because it conflicts ＿＿＿ my doctor's appointment.

① to　② with
③ on　④ against

② conflict with ~ ～と対立する；～と矛盾する

訳 金曜日の会議は病院の予約と重なっているので出席できない。

解説 「（予定が）～と重なる」は自動詞 conflict with ~。to / against / on は conflict と組まない。against は「～に反対して」の意味から選びやすいが、conflict の相手は with で示す。

区別 **conflict with ~ ⇔ contradict ~** contradict は他動詞で「～と矛盾する・～に反論する」で、前置詞なしで目的語を取る。conflict は自動詞なので with が必要。見分け方：前置詞があれば conflict with、なければ contradict。

0259 □□□

First, wash the carrots and cut them ＿＿＿ thin slices.

① into　② by
③ off　④ onto

① cut A into B A を B に切る

訳 まず、にんじんを洗って薄切りにします。

解説 切った結果の形を示すのは into（cut A into B）。onto は「～の上へ」で移動先を表し、切った形にならない。by は by the slice（ひと切れ単位で）のように数え方を表し、cut ~ by thin slices とは言わない。off は cut off（切り離す）の副詞で、thin slices とつながらない。

区別 **cut A into B ⇔ cut A in half** cut A in half は「A を半分に切る」で、into ではなく in を使う決まった形。into の後ろは複数形の名詞（into halves / into pieces）。見分け方：half 単独なら in half、複数形なら into。

0260 □□□

The express train for Osaka departs ＿＿＿ Platform 3 at 9:15.

① from　② to
③ off　④ for

① depart from ~
～から出発する；（慣習など）から外れる

訳 大阪行きの特急列車は、9 時 15 分に 3 番線から出発する。

解説 出発するホーム（出発地）は from で示す。for は行き先を示す前置詞で、for Osaka はすでに train を説明している。to は depart と組まず、off も depart off とは言わない。

区別 **depart from ~ ⇔ depart for ~** depart for の後ろは行き先。depart from の後ろは出発地。見分け方：leave A for B（A を出て B へ向かう）と同じで、for は目的地、from は出どころ。

0261 □□□

Excuse me. Could you direct me ＿＿＿ the nearest post office?

① for　② at
③ to　④ on

③ direct A to B A を B に向ける；A に B への道を教える

訳 すみません。一番近い郵便局への行き方を教えていただけますか。

解説 「A に B への道を教える」は direct A to B。for / on は direct と組まない。at は be directed at（～に向けられる：批判などの対象）で使うが、道案内の行き先には to を使う。

区別 **direct A to B ⇔ tell A the way to B** tell A the way to B も道を教える表現で、the way が必要。direct A to B は the way なしで A（人）を直接目的語にする。見分け方：direct の後ろに way は入れない。

0262 □□□

Her parents strongly disapproved _____ her marrying a musician.

① with ② to
③ against ④ of

④ disapprove of ~ ～に反対する；～をよく思わない

訳 彼女の両親は、彼女がミュージシャンと結婚することに強く反対した。

解説 disapprove は自動詞で、反対する対象を of で示す（approve of の反対）。to は object to の前置詞、against は be against の前置詞で、disapprove とは組まない。with も使わない。

区別 **disapprove of ~ ⇔ object to ~** object to も「～に反対する」だが前置詞は to で、後ろに動名詞が来る（object to working late）。disapprove of は「よく思わない・感心しない」と評価の否定で、of を取る。見分け方：動詞ごとに前置詞を固める。

0263 □□□

The small room was furnished _____ a bed, a desk, and a sofa.

① with ② of
③ to ④ by

① furnish A with B
A に B を備え付ける；A に B を提供する

訳 その小さな部屋には、ベッドと机とソファが備え付けられていた。

解説 furnish A with B の受け身なので be furnished with ~。by は受け身の動作主を示し、家具を備え付けた人を表す前置詞になってしまう。of は consist of と、to は provide B to A の形と混同させる誤り。

区別 **furnish A with B ⇔ provide A with B** provide A with B は「A に B を与える」で、物・情報・サービスなど何にでも使う。furnish は部屋に家具を備え付けるのが中心で、硬い文では情報の提供にも使う。見分け方：どちらも A with B の型。部屋と家具なら furnish がぴったり。

0264 □□□

On weekends, I like to indulge _____ a big slice of chocolate cake.

① with ② on
③ in ④ to

③ indulge in ~ ～にふける；（ぜいたく）を楽しむ

訳 週末には、大きなチョコレートケーキを一切れ思う存分楽しむのが好きだ。

解説 「～を思う存分楽しむ・～にふける」は indulge in ~。with / on / to は indulge と組まない。be addicted to（～中毒だ）の to と混同させる選択肢に注意。

区別 **indulge in ~ ⇔ be absorbed in ~** be absorbed in は「～に夢中で没頭している」で、勉強・読書など集中している状態。indulge in は「（快楽・ぜいたくを）思う存分味わう」。見分け方：集中なら absorbed、楽しみに浸るなら indulge。

0265 ☐☐☐

The union is negotiating ＿＿＿ the management for higher wages and shorter hours.

① to　② against
③ for　④ with

④ negotiate with ~ ～と交渉する

訳 労働組合は、賃上げと労働時間の短縮を求めて経営陣と交渉している。

解説 交渉する相手は with で示す（negotiate with the management）。to / against は negotiate と組まない。for は求める内容（for higher wages）を示す前置詞なので、相手の前には置けない。

注意 negotiate with＋相手 for / about / over＋事柄。他動詞 negotiate a deal（交渉して取り決める）も。名詞 negotiation。

0266 ☐☐☐

Many people perceive him ＿＿＿ a kind and honest leader.

① like　② for
③ as　④ with

③ perceive A as B A を B と受け取る；A を B と認識する

訳 多くの人は彼を親切で正直な指導者だと受け止めている。

解説 perceive A as B（A を B と受け取る）の型なので as。like は「～のように」で、perceive A like B という形は取らない。for は take A for B（A を B と思い込む）の前置詞で、perceive とは組まない。with も使わない。

区別 **perceive A as B ⇔ regard A as B** regard A as B も「A を B と見なす」で同じ型。perceive は「（感覚や印象で）受け取る」で、実際とずれている含みを持つことがある。見分け方：意味の差は小さいので、どちらも as を取ると押さえる。

0267 ☐☐☐

At the ceremony, the mayor presented a medal ＿＿＿ the young hero who had saved a child.

① with　② for
③ at　④ to

④ present B to A A に B を贈る；A に B を提示する

訳 式典で、市長は子どもを救った若い英雄にメダルを贈った。

解説 物（a medal）を目的語にしているので、受け取る人は to で示す（present B to A）。with は present A with B の形で、人を目的語にしたときに物の前に置く前置詞。for / at は present と組んで受け取る相手を示さない。

区別 **present B to A ⇔ present A with B** present A with B は人が先で物を with で示す。present B to A は物が先で人を to で示す。見分け方：present の直後が人なら with、物なら to。provide A with B / B for A と同じ考え方。

0268 ☐☐☐

After ten hours, the hostages were finally released ＿＿＿ the building.

① of　② off
③ from　④ out

③ release A from B A を B から解放する

訳 10 時間後、人質たちはついに建物から解放された。

解説 release A from B の受け身で be released from ~。of は rid A of B / rob A of B など「奪う・取り除く」系の前置詞で、release とは組まない。off / out は副詞として使えても、後ろに the building を直接続けられない（out of なら可だが選択肢にない）。

区別 **release A from B ⇔ rid A of B** rid A of B は「A から B（不要な物）を取り除く」で、of を使う。release A from B は「A を B から自由にする」で from。見分け方：解放される人・物が目的語なら release ~ from、取り除かれる物を of で示すなら rid。

0269 □□□

The boy was rewarded ＿＿＿＿ finding the lost wallet and returning it to its owner.

① with　② for
③ of　④ by

② reward A for B

B のことで A に報いる；B の褒美として A に与える

訳 その少年は、なくした財布を見つけて持ち主に返したことで褒美をもらった。

解説 褒美の理由（財布を見つけて返したこと）は for で示す（reward A for B）。with は褒美の品を示す前置詞で、with finding とは言わない。by は受け身の動作主（褒美を与えた人）に使う。of は reward と組まない。

区別 **reward A for B ⇔ reward A with B** reward A with B の B は褒美の品・お金。reward A for B の B は褒められる理由。見分け方：理由（〜したこと）なら for、もらう物なら with。両方使うと reward A with B for C。

0270 □□□

Yesterday, the teacher ＿＿＿＿ the class into four groups for the project.

① split　② splits
③ spilt　④ splitted

① split A into B　A を B に分ける；A を B に割る

訳 昨日、先生はその課題のためにクラスを 4 つのグループに分けた。

解説 split の過去形は split（split-split-split）。splitted は規則変化にした誤り。splits は現在形で yesterday と合わない。spilt は spill（こぼす）の過去形で別の動詞。

区別 **split A into B ⇔ divide A into B** divide A into B は「（計画的に）分ける」で、split は「（裂くように）割る・分ける」。どちらも into を取る。見分け方：意味はほぼ同じ。split は活用が変化しない点に注意。

0271 □□□

The athlete was stripped ＿＿＿＿ his gold medal after failing a drug test.

① of　② off
③ away　④ from

① strip A of B　A から B を剥ぎ取る；A から B を奪う

訳 その選手は薬物検査で陽性となり、金メダルを剥奪された。

解説 strip A of B の受け身で be stripped of ~。from は「〜から」の意味で選びやすいが、strip では奪われる物を of で示す。off / away は副詞なので、後ろに his gold medal を目的語として続けられない。

区別 **strip A of B ⇔ rob A of B** rob A of B は「（暴力などで）A から B を奪う」で、お金・物を盗むときに多い。strip A of B は「（地位・資格を）剥奪する」。見分け方：どちらも A は奪われる人で of の後ろが奪われる物。

0272 ☐☐☐

The robber threatened the clerk ＿＿＿ a knife and took all the money.

① by　② of
③ to　④ with

④ threaten A with B　A を B で脅す

訳 強盗は店員をナイフで脅し、金を全部奪った。

解説 脅しの手段（ナイフ）は with で示す（threaten A with B）。by は受け身の動作主などに使い、道具の意味では with を使う。of は threaten と組まない。to は threaten to do の不定詞の形で、後ろは動詞の原形になる。

区別 **threaten A with B ⇔ threaten to do**　threaten to do は「～すると脅す」または「（悪いことが）起こるおそれがある」。threaten A with B は脅しの手段を with で示す。見分け方：後ろが動詞なら to do、道具・罰の名詞なら with。

0273 ☐☐☐

My father was transferred ＿＿＿ the company's Osaka office last year.

① to　② at
③ toward　④ for

① transfer A to B

A を B に移す；A を B に転勤・転校させる

訳 父は昨年、会社の大阪支社に転勤になった。

解説 転勤先は to で示す（be transferred to ~）。for は行き先を示す leave for ~ の前置詞で、transfer とは組まない。at は transfer at ~（～で乗り換える）の場所の前置詞。toward は「～の方向へ」で、到着点の支社を示さない。

注意 be transferred to（転勤・転校する）が多い。transfer at（～で乗り換える）の自動詞も。

0274 ☐☐☐

Most members voted ＿＿＿ the plan, so it was rejected.

① for　② to
③ against　④ on

③ vote for ~　～に賛成票を投じる；～に投票する

訳 ほとんどのメンバーがその案に反対票を投じたので、案は否決された。

解説 案が否決されたので、多数が「反対票を投じた」vote against。vote for は賛成票で、否決という結果と矛盾する。vote on は「～について採決する」で賛否を表さず、so it was rejected の理由にならない。vote to は後ろに動詞の原形が来る形。

区別 **vote for ~ ⇔ vote against ~**　vote against は「～に反対票を投じる」。vote for は「賛成票」。vote on は「～について採決する」。見分け方：案が可決されたなら for が多数、否決なら against が多数。

0275 ☐☐☐

All employees must adhere ＿＿＿ the safety rules while working in the factory.

① to　② with
③ on　④ by

① adhere to ~　～に固執する；（規則・計画）を守る

訳 全従業員は、工場で働いている間は安全規則を守らなければならない。

解説 adhere は to を取る（adhere to the rules）。by は abide by、with は comply with の前置詞で、adhere とは組まない。on も使わない。

区別 **adhere to ~ ⇔ abide by ~ / comply with ~**　abide by は by、comply with は with を取り、どれも「（規則に）従う」で意味は近い。adhere は to。見分け方：意味より前置詞を動詞ごとに固める（adhere to / abide by / comply with / conform to）。

0276 □□□

After the flood, the town appealed ＿＿＿ the government for financial help.

① for　② to
③ at　④ from

② appeal to A for B

A に B を求めて訴える；A に B を懇願する

訳 洪水の後、町は政府に財政援助を求めた。

解説 appeal to A for B で「A に B を求めて訴える」。訴える相手（the government）は to で示す。for は後ろの financial help（求めるもの）の前ですでに使われている。at / from は appeal と組んで訴える相手を示さない。

区別 **appeal to A for B ⇔ ask A for B** appeal は自動詞なので人の前に to が必要（appeal to A for B）、ask は他動詞なので人を直接目的語にする（ask A for B）。見分け方：appeal なら to ＋人、ask なら人を直接。

0277 □□□

The new rule bars visitors ＿＿＿ taking photos inside the museum.

① to　② from
③ of　④ against

② bar A from ~ing

Aが～するのを禁止する；Aを～から締め出す

訳 新しい規則により、来館者は館内で写真を撮ることを禁じられている。

解説 bar A from ～ing で「A が～するのを禁止する」。prevent A from ～ing と同じ型で、from の後ろに動名詞 taking が来る。to は後ろに原形が来る形で、taking と合わない。of / against は bar A と組んでこの意味を作らない。

区別 **bar A from ~ing ⇔ forbid A to do** forbid A to do は「A が～するのを禁じる」で、to 不定詞を取る（forbid A from ～ing も使われる）。bar A from ～ing は from ＋動名詞。同じ「禁止」でも後ろの形が違う点に注意。

0278 □□□

This old house has changed ＿＿＿ many times over the last hundred years.

① hand　② a hand
③ the hand　④ hands

④ change hands 持ち主が変わる；人手に渡る

訳 この古い家は、この 100 年で何度も持ち主が変わった。

解説 「持ち主が変わる」は change hands で、hands は必ず複数形で冠詞も付けない。売り手と買い手の手が関わるので複数になる。hand / a hand / the hand のような単数形ではこの意味にならない。change trains と同じ型。

区別 **change hands ⇔ change trains** change hands は物の持ち主が移ること、change trains は人が電車を乗り換えること。どちらも交換に 2 つ以上が関わるので複数形になる。見分け方：主語が物で所有者が変わるなら hands、主語が人で乗り物を移るなら trains。

0279 ☐☐☐

This year, my birthday coincides _____ the school festival, so I can celebrate with my friends.

① to ② on
③ at ④ with

④ coincide with ~ ～と同時に起こる；～と一致する

訳 今年は誕生日が学園祭と重なるので、友達と一緒にお祝いできる。

解説 「～と同時に起こる」は coincide with ~。to / on / at は coincide と組まない。日付の on（on Sunday）と混同させる選択肢に注意。

区別 **coincide with ~ ⇔ conflict with ~** conflict with は「（予定が）～とかち合って困る・対立する」で、都合が悪い含みがある。coincide with は「同時に起こる」で、よい悪いは問わない。見分け方：予定が重なって一方に出られないなら conflict、たまたま重なるなら coincide。

0280 ☐☐☐

The airline compensated the passengers _____ the long delay by giving them free meals.

① for ② of
③ to ④ with

① compensate A for B
A に B の補償をする；A に B の埋め合わせをする

訳 航空会社は、長時間の遅れの補償として乗客に無料の食事を提供した。

解説 補償の理由となる損失（長時間の遅れ）は for で示す（compensate A for B）。with は補償として与える物（with vouchers など）に使う前置詞で、the long delay には使えない。of / to は compensate と組まない。

区別 **compensate A for B ⇔ make up for ~** make up for は「～の埋め合わせをする」で、compensate for とほぼ同じ意味の口語的な言い方。見分け方：どちらも for を取る。人を目的語にして補償するなら compensate A for B。

0281 ☐☐☐

He has been confined _____ bed with a high fever for three days.

① at ② to
③ for ④ on

② confine A to B A を B に限定する；A を B に閉じ込める

訳 彼は高熱で 3 日間寝込んでいる。

解説 「（病気で）寝たきりだ」は be confined to bed。at / on / for は confined と組んでこの意味にならない。in bed（寝ている）の in と混同しないこと。

注意 be confined to（～に限られている・～に閉じこもっている：be confined to bed＝寝たきりだ）。＝ limit A to B / restrict A to B。

0282 ☐☐☐

The teacher demanded that every student _____ the essay by Friday.

① submits ② submit
③ to submit ④ submitted

② demand A of B B に A を強く要求する

訳 先生は、生徒全員が金曜日までに作文を提出するよう要求した。

解説 demand that S＋（should）動詞の原形（仮定法現在）なので submit。submits は三単現、submitted は過去形で、要求の that 節の形ではない。to submit は that 節の述語動詞にならない。

区別 **demand A of B ⇔ require A to do** require A to do / ask A to do は「A に～するよう求める」で、人を目的語にして to do を続けられる。demand はこの形を取らない。見分け方：人＋to do なら require / ask、demand なら that 節か demand A of B。

0283 ☐☐☐

She excels _____ mathematics and science and wants to be an engineer.

① on ② for
③ with ④ in

④ excel in ~ ～に秀でている；～で優れている

訳 彼女は数学と理科に秀でていて、技術者になりたいと思っている。

解説 「～に秀でている」は excel in ~（at も可）。on / for / with は excel と組まない。be good for（～に役立つ）の for と混同させる選択肢。

注意 excel at とも。形容詞 excellent、名詞 excellence。＝ be good at / stand out in。

0284 ☐☐☐

Koalas feed _____ eucalyptus leaves and sleep most of the day.

① on ② by
③ of ④ with

① feed on ~ ～を常食にする；～を餌にする

訳 コアラはユーカリの葉を常食にしていて、1 日の大半を寝て過ごす。

解説 「～を常食にする」は feed on ~。with は feed A with B（A に B を与える）の形で、自分が食べる物には使わない。by / of は feed と組まない。

区別 **feed on ~ ⇔ be fed up with ~** be fed up with は「～にうんざりしている」で、食べることとは無関係。feed on は「～を餌にする」。見分け方：動物の食べ物なら feed on、嫌気が差しているなら fed up with。

0285 ☐☐☐

Parents shouldn't force their own dreams _____ their children.

① to ② for
③ on ④ with

③ force A on B B に A を押しつける

訳 親は自分の夢を子どもに押しつけるべきではない。

解説 「B に A を押しつける」は force A on B。to は force A to do（A に～させる）の不定詞で、後ろに動詞が来る形になる。for / with は force と組んで押しつける相手を示せない。

区別 **force A on B ⇔ force A to do** force A to do は「A に無理やり～させる」で、A は人。force A on B は「A（物・考え）を B（人）に押しつける」。見分け方：force の直後が人で to do が続けば無理強い、物・考えなら on で押しつける相手。

0286 ☐☐☐

You should get the most _____ your time at university by trying many different things.

① off ② away
③ out of ④ over

③ get A out of B B から A を引き出す；B から A を得る

訳 いろいろなことに挑戦して、大学での時間を最大限に活用すべきだ。

解説 「～を最大限に活用する」は get the most out of ~。off / away / over は副詞・前置詞として get the most と組んでこの意味にならない。get over は「乗り越える」で別の句動詞。

注意 get the most out of（～を最大限に活用する）、get A out of one's head（A を忘れる）も。

0287 □□□

Many people tend to identify success ＿＿＿＿ wealth, but the two are not the same thing.

① as　② with
③ to　④ for

② identify A with B

A を B と同一視する；A を B と結びつけて考える

訳 成功を富と同一視しがちな人は多いが、その二つは同じものではない。

解説 後半の「二つは同じではない」から、本来別物の成功と富を「同一視する」identify A with B。as を使うと「成功が富だと特定する」となり、二つを混同する意味にならない。to は equate A to B など別の動詞からのひっかけで identify とは組まない。for も identify と組まない。

区別 **identify A with B ⇔ identify A as B** identify A as B は「A が B であると特定する・見分ける」（警察が犯人を特定するなど）。identify A with B は「本来別の A と B を同じものと見なす」。見分け方：正体を突き止めるなら as、二つを結びつけて混同するなら with。

0288 □□□

Many viewers could ＿＿＿＿ the young mother in the film because they had faced the same problems.

① identify with　② sympathize
③ relate　④ understand with

① identify with ~　~に共感する；~と一体感を持つ

訳 多くの観客は同じ問題を経験していたので、映画の若い母親に共感できた。

解説 「同じ問題を経験したので母親に共感できた」。名詞 the young mother が直後に続くので、前置詞まで含む identify with が正しい。sympathize は自動詞で sympathize with ~ が必要、relate も relate to ~ が必要で、前置詞が欠けている。understand は他動詞なので with は不要で、understand with は誤り。

区別 **identify with ~ ⇔ relate to ~** relate to ~ も「~に共感する」だが前置詞は to。identify with ~ は with。意味はほぼ同じなので、入試では前置詞の取り違えが問われる。sympathize with ~ は「~に同情する」で相手の不幸への気持ち。

0289 □□□

I'm calling to inquire ＿＿＿＿ the part-time job you advertised in the newspaper.

① about　② into
③ of　④ for

① inquire about ~　~について問い合わせる

訳 新聞に広告を出されていたアルバイトについてお問い合わせしたくお電話しました。

解説 電話で求人の情報を「問い合わせる」ので inquire about。inquire into は「（事件・原因）を調査する」で、求人の問い合わせには合わない。inquire of の後ろには尋ねる相手（人）が来るので、the job は置けない。inquire for は「（人）を訪ねる・面会を求める」という古い言い方で、ここには合わない。

区別 **inquire about ~ ⇔ inquire into ~** inquire into ~ は「（事件・原因）を詳しく調査する」で、主語は警察・委員会など。inquire about ~ は「（情報）を問い合わせる」。見分け方：電話やメールで情報を聞くなら about、原因や事件を調べるなら into。

0290 □□□

It ＿＿＿＿ to reason that if you don't sleep enough, you can't study well.

① makes ② takes
③ stands ④ gives

③ It stands to reason that ~

～ということは理にかなっている；当然～だ

訳 十分に眠らなければよく勉強できないのは、理にかなっている。

解説 It stands to reason that ~ で「～ということは理にかなっている」。動詞は stands が決まった形。makes / takes / gives は to reason と組んでこの意味にならない（make sense は「筋が通る」だが to reason とは組まない）。

区別 **It stands to reason that ~ ⇔ have every reason to do** It stands to reason that ~ は It が主語で、that 節に結論を置く。have every reason to do は人が主語で「...する十分な理由がある・...するのも当然だ」。見分け方：文頭が It で that が続けば stands to reason、人が主語なら have every reason。

0291 □□□

My parents kept the news of my grandfather's illness ＿＿＿＿ me because they didn't want me to worry before my exam.

① to ② from
③ off ④ with

② keep A from B

A を B に秘密にする；A を B に知らせない

訳 両親は、私が試験前に心配しないよう、祖父の病気の知らせを私に隠していた。

解説 心配させないよう祖父の病気の知らせを「私に隠した」ので keep A from B。to は keep A to oneself（A を人に言わない）の形でなら使うが、to me では「私に伝えた」に近くなり意味が通らない。off は keep off ~（～に近づかない）、with は keep A with B（A を B と一緒に置く）で、秘密にする意味にならない。

区別 **keep A from B ⇔ keep A from ~ing** keep A from ~ing は「A が～するのを妨げる」（= prevent A from ~ing）。keep A from B（B が人）は「A を B に隠す」。見分け方：from の後ろが動名詞なら妨害、人なら秘密。

0292 □□□

Please keep your dog ＿＿＿＿ of the kitchen while I'm cooking.

① out ② apart
③ away ④ free

① keep A out of B

A を B に入れない；A を B から遠ざける

訳 料理をしている間は、犬を台所に入れないでください。

解説 「料理中は犬を台所に入れないで」なので keep A out of B。away は keep A away from B と from が必要で、of とは組まない。apart は keep A apart from B（A を B から離しておく）と from を取る。free は keep A free of B（A に B が付かないようにする）で、場所に入れない意味にはならない。

区別 **keep A out of B ⇔ keep A from B** keep A from B（B が人）は「A を B に隠す」、keep A from ~ing は「A に～させない」。keep A out of B は「A を B（場所・範囲）の外に置く」と物理的・空間的に締め出す。見分け方：B が場所・範囲なら out of。

0293 □□□

I don't know him personally, but I know ＿＿＿＿ him; he's a famous writer in our town.

① to　② for
③ of　④ with

③ know of ~

～の存在を知っている；～について（間接的に）知っている

訳 彼と個人的な知り合いではないが、存在は知っている。私たちの町では有名な作家だ。

解説 「直接の知り合いではないが、有名作家として存在は知っている」の know of。to / for / with はどれも know の後ろで人を目的語に取る前置詞にならず、know to him / know for him / know with him はすべて誤り（be known for ~ の受け身は「～で有名」で別の形）。

区別 **know of ~ ⇔ know ~** know ＋人 は「（会ったことがあり）直接知っている」。know of ＋人 は「（会ったことはないが）存在・評判を知っている」。見分け方：I don't know him, but I know of him.（面識はないが名前は知っている）の対比。

0294 □□□

The children made a toy boat ＿＿＿＿ empty plastic bottles.

① into　② out of
③ by　④ onto

② make A out of B　B で A を作る；B から A を作り出す

訳 子どもたちは空のペットボトルでおもちゃの船を作った。

解説 製品 a toy boat が目的語で、材料が後ろに来るので make A out of B。into は make B into A と材料を目的語にする形なので、製品の後ろに材料を置くこの語順では使えない。by は作った人や方法を示し、材料には使わない。onto は「～の上へ」という移動で、材料を表せない。

区別 **make A out of B ⇔ make B into A** make B into A は材料 B を目的語にして「B を A に変える」。make A out of B は製品 A を目的語にする。見分け方：make の直後が製品なら out of、材料なら into。語順が逆になる点が問われる。

0295 □□□

Despite strong opposition from local residents, the city decided to proceed ＿＿＿＿ its plan to build a new highway.

① to　② for
③ at　④ with

④ proceed with ~

～を（引き続き）進める；～を続行する

訳 地元住民の強い反対にもかかわらず、市は新しい幹線道路を建設する計画を進めることにした。

解説 反対があっても「計画をそのまま進める」の proceed with。proceed to は「（次の場所・段階）へ移る」で、すでにある計画を続ける意味にならない。proceed for / proceed at という形で計画を目的語にすることはない。

区別 **proceed with ~ ⇔ proceed to ~** proceed to ＋場所・段階 は「～へ移動する・次の～に移る」（proceed to Gate 5 / to the next item）、proceed to do は「続いて～する」。proceed with ~ は「今の計画を引き続き進める」。見分け方：同じことを続けるなら with、次へ移るなら to。

0296 ☐☐☐

My sister and I used to quarrel _____ who would sit in the front seat of the car.

① with　② to
③ over　④ against

③ quarrel with ~ ～と口げんかする；～に異議を唱える

訳 姉と私は、車の助手席に誰が座るかでよく口げんかをしたものだ。

解説 けんかの「原因（誰が前の席に座るか）」を示すので quarrel over（about も可）。with はけんかの相手（人）を示す前置詞で、who 節の内容には使わない。quarrel は to や against を取らない。

区別 **quarrel with ~ ⇔ argue with ~** argue with ~ は「（理屈で）言い争う・議論する」で、感情的でない議論にも使う。quarrel with ~ は「（感情的な）口げんか」。どちらも with ＋人、about / over ＋事柄の形は同じ。

0297 ☐☐☐

Many teenagers rebel _____ their parents' rules at some point.

① to　② against
③ from　④ with

② rebel against ~ ～に反抗する；～に逆らう

訳 多くの十代の若者は、ある時期に親の決めた規則に反抗する。

解説 rebel は自動詞で、反抗する相手は against で示す。rebel to / rebel with という言い方はない。from は break away from ~（～から離脱する）などからのひっかけで、rebel とは組まない。

注意 against は「反対・対抗」：rebel / protest / discriminate / fight / react against。名詞 rebel（反逆者）、rebellion。動詞と名詞でアクセントが違う。

0298 ☐☐☐

The new secretary will relieve the manager _____ a lot of paperwork.

① off　② with
③ out　④ of

④ relieve A of B

A から B（重荷・苦痛など）を取り除く；A を B から解放する

訳 新しい秘書が部長の大量の事務仕事を肩代わりしてくれるだろう。

解説 「部長から大量の事務仕事を取り除く（肩代わりする）」ので relieve A of B。of は rob / deprive A of B と同じ分離の of。with は「～を与える」側の provide A with B などの型で、取り除く意味にならない。off / out は relieve の後ろに目的語を伴って B を示す形を作らない。

区別 **relieve A of B ⇔ rob A of B** rob A of B は「A から B を奪う」と相手に損をさせる。relieve A of B は「A を B（重荷・苦痛）から解放する」と相手が楽になる。形は同じ A of B で、意味の向きが逆。

0299 □□□

If you had acted _____ my advice, you wouldn't be in trouble now.

① as ② for
③ to ④ on

④ act on ~ ～に従って行動する；～に作用する

訳 もし私の助言に従っていたら、あなたは今ごろ困ったことになっていないだろう。

解説 「私の助言に従っていれば」は act on ~。act as ~ は「～の役を務める」で、助言の役を務めることはできない。act for ~ は「～の代理をする」で、助言の代理という意味は通らない。act to ~ という形で助言を受けることはない。

区別 **act on ~ ⇔ act as ~** act as ~ は「～の役を務める・～として機能する」（act as a guide）。act on ~ は「～に基づいて行動する・～に作用する」。見分け方：役割・肩書きが続くなら as、助言・情報・体の部分なら on。

0300 □□□

Visitors to this area should _____ of wild bears, especially in the early morning.

① bewares ② be beware
③ bewared ④ beware

④ beware of ~ ～に用心する；～に気をつける

訳 この地域を訪れる人は、特に早朝は野生のクマに用心すべきだ。

解説 助動詞 should の後ろは原形なので beware。beware は原形でしか使わない動詞で、bewares / bewared という形はない。be beware は be が二重になった誤り（beware の中にすでに be が入っている）。

区別 **beware of ~ ⇔ be aware of ~** be aware of ~ は「～に気づいている・～を知っている」と認識を表し、どの時制でも使える。beware of ~ は「～に用心せよ」と警告で、原形のみ。見分け方：is / was と活用するなら be aware、掲示や命令なら beware。

0301 □□□

New evidence has _____ doubt on the theory that the dinosaurs died out quickly.

① casted ② made
③ cast ④ given

③ cast doubt on ~ ～に疑いを投げかける

訳 新しい証拠によって、恐竜は短期間で絶滅したという説に疑いが投げかけられている。

解説 「その説に疑いを投げかけた」は cast doubt on ~。has の後ろの過去分詞も cast（cast-cast-cast）。casted は誤った活用。made / given は doubt と組んで on ~ を続ける決まった言い方にならない。

区別 **cast doubt on ~ ⇔ cast light on ~** cast light on ~ は「（謎・問題）を解明する・明らかにする」と良い方向。cast doubt on ~ は「（説・主張）を疑わしくする」。見分け方：分かるようになるなら light、信じられなくなるなら doubt。

0302 □□□

Although they live in the sea, whales are classified _____ mammals, not fish.

① into　② to
③ for　④ as

④ classify A as B　A を B に分類する

訳 クジラは海に住んでいるが、魚ではなく哺乳類に分類される。

解説 クジラを「哺乳類として」分類するので classify A as B。into は「複数のグループに分ける」ときに使い、クジラという一種類を哺乳類と判断する文には合わない。to / for は classify と組んで分類先を示さない。

区別 **classify A as B ⇔ classify A into B**　classify A into B は「A（たくさんの物）を B（いくつかのグループ）に分ける」で、B は複数のグループ。classify A as B は「A を B という一つの種類だと判断する」。見分け方：into の後は複数の分類、as の後は一つの種類。

0303 □□□

The goalkeeper came close to _____ the ball, but it slipped through his fingers.

① catching　② catch
③ caught　④ have caught

① come close to ~ing　危うく～しそうになる

訳 ゴールキーパーはもう少しでボールを捕るところだったが、ボールは指の間をすり抜けた。

解説 come close to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 catching。catch / have caught は to 不定詞と取り違えさせるひっかけで、前置詞の後ろには置けない。caught は過去形・過去分詞で、前置詞の目的語にならない。

区別 **come close to ~ing ⇔ be close to ~**　be close to ~ は「～の近くにいる」「（人と）親しい」。come close to ~ing は「危うく～しかける」と出来事が起こりかけたこと。見分け方：動名詞が続き、実際には起きなかったなら come close to ~ing。

0304 □□□

Thomas Edison is often credited _____ inventing the light bulb, but many others worked on it too.

① to　② with
③ as　④ by

② credit A with B

A に B の功績があると認める；A が B を持っていると思う

訳 トーマス・エジソンは電球を発明した人だとよく言われるが、ほかにも多くの人がその開発に取り組んでいた。

解説 人が主語の受け身「A は B の功績があるとされる」は be credited with B。to は attribute B to A の型で、人を主語にした受け身では使えない（The light bulb is credited to Edison のように物が主語なら可）。as は credited as the inventor のように名詞なら可だが動名詞は続かない。by は行為者を表し、inventing とは合わない。

区別 **credit A with B ⇔ attribute B to A**　attribute B to A は「B（結果・功績）を A のおかげ・せいにする」で、功績が先・人が後ろ。credit A with B は人が先・功績が後ろ。見分け方：動詞の直後が人なら credit ~ with、功績なら attribute ~ to。

0305 ☐☐☐

The doctor diagnosed the boy's skin problem ＿＿＿＿ a serious allergy.

① to　② for
③ as　④ by

③ diagnose A as B　A を B と診断する

訳 医者はその男の子の皮膚の症状を、重いアレルギーと診断した。

解説 症状を目的語にして「A を B と診断する」は diagnose A as B。regard A as B と同じ型。to / for / by は diagnose A の後ろでこの意味にならない。なお人を主語にした受け身なら The boy was diagnosed with ~ と with を使う。

区別 **diagnose A as B ⇔ be diagnosed with ~**　diagnose A as B は病気・症状を目的語にして「A を B と診断する」。人を主語にした受け身では be diagnosed with ＋ 病名（He was diagnosed with diabetes.）。見分け方：人が主語・目的語なら with ＋ 病名、症状・病気が目的語なら as。

0306 ☐☐☐

There's no point in dwelling ＿＿＿＿ your mistakes. Learn from them and move on.

① in　② at
③ on　④ with

③ dwell on ~　～をくよくよ考える；～について長々と話す

訳 失敗をくよくよ考えても意味がない。そこから学んで前に進もう。

解説 「失敗をくよくよ考えても意味がない」は dwell on ~。dwell in ~ は「～に住む」で、失敗の中に住むという意味になってしまう。at / with は dwell と組んで考え込む意味を作らない。

区別 **dwell on ~ ⇔ dwell in ~**　dwell in ~ は「～に住む」（live in の硬い言い方）。dwell on ~ は「～をくよくよ考える」。見分け方：場所が続くなら in、過去の出来事・問題なら on。名詞 dweller（住人）、dwelling（住居）は「住む」の方。

0307 ☐☐☐

The young band experimented ＿＿＿＿ different musical styles before finding their own sound.

① on　② with
③ by　④ to

② experiment with ~　～を試してみる；～で実験する

訳 その若いバンドは、自分たちの音を見つけるまで、いろいろな音楽のスタイルを試した。

解説 自分たちの音を見つけるまで「いろいろな音楽スタイルを試した」ので experiment with ~。on は動物など「実験台」に使い、スタイルを実験台にするとは言わない。by / to は experiment と組んで試す対象を表さない。

区別 **experiment with ~ ⇔ experiment on ~**　experiment on ~ は「～を実験台にして実験する」で、後ろは動物・人など実験される側。experiment with ~ は「～（方法・材料）を使っていろいろ試す」。見分け方：試される生き物なら on、試す道具・方法なら with。

0308 □□□

I've been trying to get hold ＿＿＿＿ Mr. Brown all morning, but his phone is always busy.

① on　② with
③ to　④ of

④ get hold of ~　~を手に入れる；~と連絡を取る

訳 午前中ずっとブラウンさんと連絡を取ろうとしているが、電話がいつも話し中だ。

解説 「ブラウンさんと連絡を取る」は get hold of ~。hold on は「待つ・しがみつく」で、Mr. Brown を後ろに置いて連絡の意味にならない。with / to は get hold と組まない。

区別 **get hold of ~ ⇔ take hold of ~**　take hold of ~ は「~を手でつかむ・握る」。get hold of ~ は「つかむ」に加え「入手する」「（人と）連絡がつく」。見分け方：電話・メールで人とつながるなら get hold of。

0309 □□□

The constant noise from the construction site is really getting ＿＿＿＿ my nerves.

① at　② in
③ on　④ to

③ get on one's nerves
~の神経に障る；~をいらいらさせる

訳 工事現場からの絶え間ない騒音が、本当に神経に障る。

解説 工事の騒音が「神経に障る」は get on one's nerves。get to ~ も「（人を）いらいらさせる」だが getting to me のように人を目的語にし、my nerves とは組まない。at / in も get と組んで「神経に障る」の意味を作らない。

区別 **get on one's nerves ⇔ lose one's nerve**　lose one's nerve は「怖じ気づく・気後れする」で nerve は単数（＝度胸）。get on one's nerves は複数 nerves（＝神経）で「いらいらさせる」。見分け方：単数なら度胸、複数なら神経。

0310 □□□

Please give my best ＿＿＿＿ to your family when you go home.

① regard　② greeting
③ hello　④ regards

④ give one's regards to ~　~によろしく伝える

訳 家に帰ったら、ご家族によろしくお伝えください。

解説 「ご家族によろしく」は give one's (best) regards to ~ で、regards は複数形。単数の regard は「考慮・関係」の意味で、挨拶にならない。greeting は数えられる名詞で単数のまま my best greeting とは言わない。hello は say hello to ~ の形で使い、give my best hello とは言わない。

区別 **give one's regards to ~ ⇔ with regard to ~**　with regard to ~ は「~に関して」で regard は単数。give one's regards to ~ は「よろしく」の意味で複数 regards。見分け方：s が付けば挨拶、付かなければ「関して」。

0311 □□□

First I missed the bus, and then it started to rain. Things went from bad to ＿＿＿＿.

① worst　② worse
③ bad　④ badly

② go from bad to worse　ますます悪くなる

訳 まずバスに乗り遅れ、それから雨が降り出した。事態はますます悪くなった。

解説 「悪い状態からさらに悪い状態へ」なので比較級 worse。worst は最上級で、この決まった形には入らない。bad を繰り返すと変化がなく意味が通らない。badly は副詞で、from bad to の後ろに置けない。

注意 ＝ get worse and worse。比較級 worse が問われる。

0312 □□□

Wash your hands often to guard yourself _____ colds.

① of ② with
③ over ④ against

④ guard A against B A を B から守る

訳 風邪から身を守るために、こまめに手を洗いなさい。

解説 「風邪から身を守る」は guard A against B。of は rob A of B など「奪う」系の型で、守る意味にならない。with は「～で（守る）」と手段を表すが、colds は手段ではない。over は guard over ~（～を見張る）の形で使い、守る相手から B を防ぐ意味にならない。

区別 **guard A against B ⇔ guard against ~** guard against ~ は目的語なしで「～を防ぐよう用心する」。guard A against B は A という守る対象がある。どちらも against を使う点は共通で、前置詞を問う問題が多い。

0313 □□□

Don't worry; I have complete faith _____ your ability to solve this problem.

① on ② to
③ in ④ at

③ have faith in ~ ～を信頼する；～を信じる

訳 心配しないで。この問題を解決するあなたの能力を、私は完全に信頼している。

解説 「あなたの能力を完全に信頼している」は have faith in ~。believe in ~ と同じ in。on / to / at は faith と組んで信頼する対象を表さない（形容詞 faithful なら to を取る点と区別する）。

注意 ＝ believe in ~ / trust。前置詞は in。

0314 □□□

This rule holds _____ for most English verbs, but there are some exceptions.

① true ② truly
③ truth ④ real

① hold true （規則・言葉が）当てはまる；有効である

訳 この規則はたいていの英語の動詞に当てはまるが、いくつか例外がある。

解説 「この規則はたいていの動詞に当てはまる」は hold true（hold は補語を取るので形容詞）。truly は副詞で補語になれない。truth は名詞で hold truth とは言わない。real は形容詞だが hold real という言い方はない。

区別 **hold true ⇔ come true** come true は「（夢・予言が）実現する」。hold true は「（法則・言葉が）当てはまる・依然として正しい」。見分け方：夢がかなうなら come、法則が通用するなら hold。

0315 □□□

The hotel's service was excellent and left nothing to be _____.

① desire ② desired
③ desiring ④ desirable

② leave nothing to be desired 申し分ない

訳 そのホテルのサービスはすばらしく、申し分なかった。

解説 「申し分なかった」は leave nothing to be desired。物（nothing）は望まれる側なので、受け身の不定詞 to be desired。desire は be の後ろに原形が来て意味をなさない。desiring は能動の意味になり誤り。desirable は「望ましい」という形容詞で、この決まった形には入らない。

区別 **leave nothing to be desired ⇔ leave much to be desired** leave much [a lot] to be desired は「望まれる点がたくさん残っている＝不十分だ」。leave nothing to be desired は「何も残っていない＝申し分ない」。nothing と much の違いで意味が正反対になる。

0316 □□□

As soon as he heard the news, he lost no time ＿＿＿ his parents.

① to call　② calling
③ call　④ called

② lose no time (in) ~ing　すぐに～する

訳 知らせを聞くとすぐに、彼は一刻も無駄にせず両親に電話した。

解説 lose no time (in) ~ing で「すぐに～する」。in が省略された形なので動名詞 calling。to call は不定詞で、この熟語では使えない（目的の「電話するために」と読んでも時間を失わないの意味とつながらない）。call は原形、called は過去形・過去分詞で、どちらも time の後ろに置けない。

区別 **lose no time (in) ~ing ⇔ take one's time**　take one's time は「ゆっくりやる・急がない」で、lose no time とほぼ反対。見分け方：急いですぐやるなら lose no time、時間をかけてよいなら take one's time。

0317 □□□

When I paint, I ＿＿＿ myself in my work and forget about time.

① miss　② leave
③ lose　④ drop

③ lose oneself in ~　～に夢中になる；～に没頭する

訳 絵を描いていると、私は作品に没頭して時間を忘れる。

解説 「作品に没頭して時間を忘れる」は lose oneself in ~。miss myself は「自分がいなくて寂しい」となり意味をなさない。leave myself / drop myself も in ~ と組んで夢中になる意味を作らない。

区別 **lose oneself in ~ ⇔ lose one's way**　lose one's way は「道に迷う」。lose oneself in ~ は「～に没頭する」。見分け方：oneself（再帰代名詞）＋ in なら夢中、one's way なら迷子。be lost も「道に迷っている」と「没頭している（in ~）」の両方があり、in の有無で区別する。

0318 □□□

He ＿＿＿ a fortune by selling his app to a big tech company.

① made　② did
③ took　④ kept

① make a fortune　財産を築く；大もうけする

訳 彼は自分のアプリを大手 IT 企業に売って大もうけした。

解説 「財産を築く・大もうけする」は make a fortune。did a fortune / took a fortune という言い方はない。kept a fortune は「財産を保った」となり、売って大もうけした意味にならない。

区別 **make a fortune ⇔ make a living**　make a living は「生計を立てる・暮らしていけるだけ稼ぐ」。make a fortune は「巨額の財産を築く」。見分け方：生活費を稼ぐなら living、大金持ちになるなら fortune。

0319 ☐☐☐

Her parents hoped to make a doctor _____ her, but she became an artist.

① from　② into
③ out　④ of

④ make A of B　B を A にする；B で A を作る

訳 両親は彼女を医者にしたいと願っていたが、彼女は芸術家になった。

解説 完成形の a doctor が目的語なので make A of B（B を A にする）で of。into は make B into A と元の人を目的語にする型なので、make her into a doctor の語順なら可だが、ここでは逆。from は原料が変化するときの make A from B で、人には使わない。out は out of と of が必要。

区別 **make A of B ⇔ make B into A**　make B into A は材料・元の物 B を目的語にして「B を A に変える」。make A of B は作られる A が目的語。見分け方：make の直後が完成形（a doctor）なら of、元の物なら into。

0320 ☐☐☐

The famous player decided to retire _____ professional tennis at the age of 35.

① of　② out
③ off　④ from

④ retire from ~　~を引退する；~から退く

訳 その有名な選手は 35 歳でプロテニスから引退することを決めた。

解説 「（競技）から引退する」は retire from ~。of / off は retire と組まない。out は retire out of ~ という言い方をせず、from で起点を示すのが正しい。

区別 **retire from ~ ⇔ resign (from) ~**　resign は「（任期・定年の途中で）辞職する・辞任する」。retire は「（年齢・区切りで）引退する・退職する」。見分け方：不祥事や不満で途中で辞めるなら resign、年齢や一区切りで身を引くなら retire。

0321 ☐☐☐

After that terrible experience, I'll never set _____ in that restaurant again.

① feet　② a foot
③ foot　④ my foot

③ set foot in ~　~に足を踏み入れる

訳 あのひどい経験の後、あのレストランには二度と足を踏み入れない。

解説 「足を踏み入れる」は set foot in ~ で、foot は単数・無冠詞の決まった形。feet と複数にしたり、a foot / my foot と冠詞・所有格を付けたりすると、この熟語にならない。

区別 **set foot in ~ ⇔ set foot on ~**　set foot on ~ は「（月・島・陸地など）の上に降り立つ」。set foot in ~ は「（建物・国など）の中に入る」。見分け方：表面に立つなら on、囲まれた空間・国なら in。

0322 □□□

Please sort the trash _____ three groups: paper, plastic, and glass.

① as ② into
③ by ④ with

② sort A into B　A を B に分類する；A を B に仕分ける

訳 ごみを紙・プラスチック・ガラスの三つに分別してください。

解説 ごみを「三つのグループに仕分ける」ので sort A into B。as は classify A as B のように一つの種類と見なす形で、複数のグループへの振り分けには使わない。by は sort by color のように分ける基準を示し、three groups（分け先）には使わない。with は分類先を表さない。

区別 **sort A into B ⇔ sort out ~**　sort out ~ は「（問題）を解決する・（散らかった物）を整理する」で、分ける先を示さない。sort A into B は「A を B のグループに仕分ける」と分け先を into で示す。

0323 □□□

Our team doesn't _____ a chance against the champions, but we'll do our best.

① take ② stand
③ make ④ keep

② stand a chance (of ~ing)　（~する）見込みがある

訳 私たちのチームは王者には勝ち目がないが、全力を尽くすつもりだ。

解説 「王者相手には勝ち目がない」は not stand a chance against ~。take a chance は「思い切ってやってみる」で、doesn't take a chance against では意味が通らない。make / keep a chance は決まった言い方ではない。

区別 **stand a chance (of ~ing) ⇔ take a chance**　take a chance は「一か八かやってみる・賭けてみる」と自分から危険を冒す行動。stand a chance は「見込みがある」と可能性の有無。見分け方：可能性の話なら stand、思い切って行動するなら take。

0324 □□□

It stands to _____ that people who exercise regularly are healthier.

① reason ② logic
③ sense ④ cause

① stand to reason　理にかなっている；当然である

訳 定期的に運動する人の方が健康だというのは当然だ。

解説 「~なのは当然だ」は It stands to reason that S V。reason は「道理」の意味で冠詞を付けない決まった形。logic / sense は意味が近くても stand to と組まない（sense は make sense の形で使う）。cause も不可。

区別 **stand to reason ⇔ make sense**　stand to reason は It stands to reason that S V の形で「~は当然だ」と結論を述べる。make sense は「意味が通じる・理にかなう」で、主語に物事を直接置ける（Your idea makes sense.）。見分け方：It ... that 節の形なら stand to reason。

0325 □□□

Many scientists do not subscribe _____ the theory that the universe will end soon.

① for ② with
③ to ④ on

③ subscribe to ~　~を定期購読する；（意見）に賛同する

訳 宇宙はまもなく終わるという説に賛同しない科学者は多い。

解説 「（説・考え）に賛同する」は subscribe to ~（定期購読・登録と同じ to）。for / with / on は subscribe と組んで賛同の意味を作らない。説を目的語にしているので、「購読する」ではなく「賛同する」の意味だと見抜くのがポイント。

注意 動画サービスの「登録」でもおなじみ。「（意見）に賛同する」の意味は難関大の長文で出る。名詞 subscription。

0326 ☐☐☐

The sudden announcement of the president's resignation took everyone ＿＿＿＿ surprise.

① with　② by
③ in　④ to

② take ~ by surprise ～を不意に襲う；～を驚かせる

訳 社長の突然の辞任発表は、皆の不意をついた。

解説 「皆の不意をついた」は take ~ by surprise。to は to everyone's surprise（皆が驚いたことに）からのひっかけで、take ~ to surprise とは言わない。with / in も take ~ と組んで不意をつく意味にならない。

区別 **take ~ by surprise ⇔ to one's surprise** to one's surprise は「（人が）驚いたことに」と文頭・文末に置く副詞句。take ~ by surprise は「～を驚かせる」と目的語を取る動詞句。見分け方：take と組むなら by、文の飾りなら to one's surprise。

0327 ☐☐☐

Ladies and gentlemen, please ＿＿＿＿ your seats; the show is about to begin.

① take　② sit
③ seat　④ stand

① take a seat 座る；着席する

訳 皆様、席にお着きください。まもなくショーが始まります。

解説 「席に着いてください」は take your seats（take a seat の複数）。sit は自動詞で sit your seats とは言わない（sit in your seats なら可）。seat は「座らせる」なので seat your seats は意味をなさない。stand は「立つ」で、ショーの開始前の案内に合わない。

区別 **take a seat ⇔ be seated** seat は「座らせる」という他動詞なので、自分が座るときは be seated（Please be seated.）や seat oneself。take a seat は名詞 seat を使った言い方。見分け方：seat を動詞で使うなら受け身・再帰、名詞なら take / have a seat。

0328 ☐☐☐

I was going to tell her the secret, but I thought ＿＿＿＿ of it and kept quiet.

① well　② much
③ highly　④ better

④ think better of ~ ～を考え直してやめる

訳 彼女に秘密を話すつもりだったが、考え直して黙っていた。

解説 秘密を話すつもりだったが黙っていたので、「考え直してやめた」の think better of ~。well / much / highly は think ~ of で「～を良く［高く］思う」の意味になり、「黙っていた」という結果と合わない。

区別 **think better of ~ ⇔ think well of ~** think better of ~ing は「...するのを考え直してやめる」、think well of ~ は「～を良く思う・高く評価する」。見分け方：後ろが自分がしようとしていた行為（~ing / it）ならやめる意味の think better of、人の評価なら think well of。

0329 □□□

After losing the final game, he threw _____ into practice for the next season.

① him ② himself
③ his ④ he

② throw oneself into ~ ～に打ち込む；～に没頭する

訳 決勝戦に負けた後、彼は来シーズンに向けて練習に打ち込んだ。

解説 throw oneself into ～で「～に打ち込む」。主語 he と同じ人を目的語にするので再帰代名詞 himself が必要。him だと主語とは別の人を投げ込む意味になる。his / he は目的語の位置に置けない。

区別 **throw oneself into ~ ⇔ devote oneself to ~** devote oneself to は「～に身をささげる・専念する」で、長い期間をかける響き。to の後ろは名詞・動名詞（to ～ing）。throw oneself into は「勢いよく飛び込むように打ち込む」と、取りかかる勢いに重点がある。

0330 □□□

The man tricked the old woman _____ giving him her bank card.

① to ② out of
③ into ④ for

③ trick A into ~ing A をだまして～させる

訳 その男は老婦人をだまして銀行のカードを渡させた。

解説 「だましてカードを渡させた」は trick A into ~ing。to は to 不定詞と混同させるひっかけで、to giving とは言わない。out of は trick A out of B（A から B をだまし取る）の形で、後ろは名詞（her bank card）。動名詞 giving は続かない。for は trick と組まない。

区別 **trick A into ~ing ⇔ trick A out of B** trick A out of B は「A をだまして B（金・物）を巻き上げる」で、B は名詞。trick A into ~ing は「A をだまして～させる」で、後ろは動名詞。見分け方：into ＋行動なら「させる」、out of ＋物なら「奪う」。

0331 □□□

As a child, she always wished _____ a dog of her own.

① for ② to
③ that ④ on

① wish for ~ ～を願う；～を欲しがる

訳 子どもの頃、彼女はいつも自分の犬が欲しいと願っていた。

解説 後ろが名詞 a dog なので「～を願う」は wish for ~。to は wish to do と動詞の原形が続く形で、名詞は置けない。that は後ろに S V の文が必要。on は wish on a star（星に願いをかける）のように願いをかける対象に使い、欲しい物には使わない。

区別 **wish for ~ ⇔ wish (that) S V** wish の後ろに文を続けると「（現実と違って）～ならいいのに」という仮定法になり、動詞は過去形・過去完了。wish for ＋名詞は「～を願う」。見分け方：名詞なら for、文なら仮定法。

0332 ☐☐☐

The boy bears a strong resemblance _____ his grandfather.

① for ② of
③ to ④ at

③ bear a resemblance to ~ ～に似ている

訳 その少年は祖父によく似ている。

解説 「～に似ている」は bear a resemblance to ~。似ている相手を to で示す。for / at は resemblance と組まない。of は the resemblance of A to B（A の B への類似）のように A を示すときの of で、似ている相手には使わない。

区別 **bear a resemblance to ~ ⇔ resemble ~** resemble は他動詞なので前置詞を付けずに目的語を取る（resemble his father）。bear a resemblance to ~ は名詞 resemblance を使うので to が必要。見分け方：動詞なら前置詞なし、名詞なら to。

0333 ☐☐☐

The truck skidded on the ice and collided _____ a bus.

① to ② at
③ with ④ for

③ collide with ~ ～と衝突する

訳 トラックが氷の上で滑り、バスと衝突した。

解説 「～と衝突する」は collide with ~。collide は自動詞で、ぶつかる相手を with で示す。to / at / for は collide と組まない。crash into ~ と前置詞を取り違えないこと。

区別 **collide with ~ ⇔ crash into ~** crash into ~ は「（勢いよく）～に突っ込む」で前置詞 into。collide with ~ は「～とぶつかり合う」で前置詞 with。意味は近いが前置詞が違う点が問われる。

0334 ☐☐☐

The children decorated the classroom _____ colorful paper flowers.

① by ② of
③ from ④ with

④ decorate A with B A を B で飾る

訳 子どもたちは色とりどりの紙の花で教室を飾った。

解説 「A を B で飾る」は decorate A with B。by は行為者（受け身の by the children）を示し、飾りには使わない。of / from は decorate と組んで飾りの材料を表さない。

注意 be decorated with（～で飾られている）。名詞 decoration。

0335 ☐☐☐

If each of us _____ our part, we can make the town cleaner.

① does ② takes
③ makes ④ gives

① do one's part 自分の役目を果たす

訳 私たち一人一人が自分の役目を果たせば、町をもっときれいにできる。

解説 「一人一人が自分の役目を果たせば」は do one's part。take one's part は「～の味方をする」で、町をきれいにする話とつながらない。make / give one's part という決まった言い方はない。

区別 **do one's part ⇔ take A's part** take A's part は「A の味方をする・A の肩を持つ」。do one's part は「自分の役目を果たす」。見分け方：誰かをかばうなら take、自分の分担をこなすなら do。take part in ~（参加する）とも区別する。

0336 ☐☐☐

The witness gave a detailed account ＿＿＿＿ what she had seen.

① for　② of
③ on　④ with

② give an account of ~ ～を説明する

訳 目撃者は自分が見たことを詳しく説明した。

解説 名詞 account を使って「～を説明する」は give an account of ~。for は動詞の account for ~（理由を説明する・占める）と混同させるひっかけで、give an account の後ろには来ない。on は on account of ~（～のために）からのひっかけ。with は account と組まない。

区別 **give an account of ~ ⇔ account for ~** account for ~ は動詞で「～の理由を説明する」「（割合）を占める」（account for 30%）。give an account of ~ は名詞 account を使って「～の経過・様子を話す」。見分け方：give an の後ろは名詞なので of、動詞の account なら for。

0337 ☐☐☐

Bell-bottom jeans went ＿＿＿＿ of fashion in the 1980s, but they have recently come back.

① off　② away
③ down　④ out

④ go out of fashion 流行遅れになる

訳 ベルボトムのジーンズは 1980 年代に流行遅れになったが、最近また復活した。

解説 「流行遅れになった」は go out of fashion。off / away / down は of fashion と組まない（go off は「腐る・鳴る」、go down は「下がる」）。後半の come back（復活した）から、一度廃れたことが分かる。

区別 **go out of fashion ⇔ come into fashion** come into fashion は「流行し始める」で go out of fashion の反対。見分け方：流行の中へ入ってくるなら come into、流行の外へ出ていくなら go out of。

0338 ☐☐☐

Making jokes is fine, but calling him stupid in front of everyone was going too ＿＿＿＿.

① much　② far
③ long　④ over

② go too far やりすぎる；言いすぎる

訳 冗談を言うのは構わないが、みんなの前で彼をばか呼ばわりしたのは言いすぎだった。

解説 「度を越した・言いすぎだ」は go too far。go too much / go too long / go too over は決まった言い方ではない（too much は名詞や形容詞の後で「多すぎる」の意味）。

区別 **go too far ⇔ go so far as to do** go so far as to do は「（驚いたことに）～までする」と程度の大きさを述べる（He went so far as to call me a liar.）。go too far は「限度を越えている」と非難する。見分け方：to do が続けば程度の描写、続かず責めるなら too far。

0339 □□□

I have no intention _____ apologizing to him; he was the one who lied.

① to　② for
③ of　④ in

③ have no intention of ~ing
～するつもりはまったくない

訳 彼に謝るつもりはまったくない。うそをついたのは彼の方なのだから。

解説 名詞 intention の後ろで「～するつもり」は of ~ing。to は動詞 intend to do と混同させるひっかけで、to apologizing とは言えない。for / in は intention と組んで意志の内容を表さない。

区別 **have no intention of ~ing ⇔ intend to do** 動詞 intend は to 不定詞を取る（intend to apologize）。名詞 intention は of ~ing を取る（have no intention of apologizing）。品詞で後ろの形が変わる点が問われる。

0340 □□□

She agreed to sell her house, but now she's having second _____ about it.

① thoughts　② thought
③ thinking　④ minds

① have second thoughts (about ~)
（～について）考え直す；迷う

訳 彼女は家を売ることに同意したが、今になって考え直している。

解説 「考え直している・迷っている」は have second thoughts で、thoughts は複数。単数の thought は on second thought の形で使う。thinking は second thinking とは言わない。minds は be in two minds（迷っている）からのひっかけで、second とは組まない。

区別 **have second thoughts (about ~) ⇔ on second thought** on second thought は「考え直してみると・やっぱり」と文頭に置く副詞句で、thought は単数（イギリスでは thoughts も）。have second thoughts は「迷い始める」という動詞句で、必ず複数。

0341 □□□

Everyone held their _____ as the gymnast prepared for her final jump.

① breathe　② breathing
③ breath　④ air

③ hold one's breath 息を止める；かたずをのむ

訳 その体操選手が最後の跳躍に備える間、全員がかたずをのんだ。

解説 「かたずをのんだ」は hold one's breath。breath は名詞「息」。breathe は動詞「呼吸する」で、their の後ろに置けない。breathing は「呼吸（すること）」で、hold one's breathing とは言わない。air は「空気」で、hold one's air という言い方はない。

区別 **hold one's breath ⇔ catch one's breath** catch one's breath は「（激しい運動の後に）息を整える・一息つく」。hold one's breath は「息を止める・かたずをのむ」。見分け方：呼吸を戻すなら catch、止めるなら hold。

0342 ☐☐☐

The United Nations decided to intervene _____ the conflict to stop the fighting.

① to ② in
③ with ④ on

② intervene in ~ ～に介入する；～に割って入る

訳 国連は戦闘を止めるため、その紛争に介入することを決めた。

解説 「紛争に介入する」は intervene in ~。with は interfere with ~（邪魔をする）と混同させるひっかけ。to / on は intervene と組んで介入先を表さない。

区別 **intervene in ~ ⇔ interfere with ~** interfere with ~ は「～を邪魔する・妨げる」（Noise interferes with my sleep.）、interfere in ~ は「（他人のことに）口出しする」と否定的。intervene in ~ は「（問題を止めるため）介入する」で、良い目的のことが多い。

0343 ☐☐☐

Can you _____ a secret? Don't tell anyone, but I'm getting married.

① tell ② keep
③ have ④ make

② keep a secret 秘密を守る

訳 秘密を守れる？ 誰にも言わないでほしいんだけど、私、結婚するの。

解説 「誰にも言わないで」と続くので「秘密を守れる？」＝keep a secret。tell a secret は「秘密を話す」で、後半と正反対。have a secret は「秘密がある」で、相手に守れるか聞く文にならない。make a secret という言い方はない（make a secret of ~ は「～を隠す」で of が必要）。

区別 **keep a secret ⇔ keep ~ secret** keep ~ secret は「～を秘密にしておく」で、secret は形容詞の補語（keep O C）。keep a secret は「秘密を守る」で、secret は名詞の目的語。見分け方：目的語の後に secret が来れば補語、a secret なら名詞。

0344 ☐☐☐

The food was delicious, but the service left _____ to be desired; we waited an hour for our meal.

① nothing ② little
③ much ④ few

③ leave much to be desired 不満な点が多い

訳 料理はおいしかったが、サービスは不満な点が多かった。料理が来るまで 1 時間待たされたのだ。

解説 1 時間も待たされたので、サービスは「不満な点が多い」＝left much to be desired。nothing と little は「（ほとんど）申し分ない」となり、but と 1 時間待ったことに矛盾する。few は数えられる名詞に使うので、この形には入らない。

区別 **leave much to be desired ⇔ leave nothing to be desired** leave nothing to be desired は「望まれる点が何も残っていない＝申し分ない」。leave much to be desired は「望まれる点が多く残っている＝不十分」。much / nothing で意味が正反対になる。

0345 □□□

Life is often likened _____ a journey with many ups and downs.

① with ② as
③ to ④ for

③ liken A to B　A を B にたとえる

訳 人生はよく、浮き沈みの多い旅にたとえられる。

解説 liken A to B（A を B にたとえる）の受け身 A is likened to B なので to。liken は with を取らない（compare は with で「比較する」になるが、liken にその用法はない）。as は regard A as B の型で、liken とは組まない。for も不可。

区別 **liken A to B ⇔ compare A to / with B**　liken A to B は「たとえる」だけ。compare A to B は「たとえる」、compare A with B は「比較する」と前置詞で意味が分かれる。見分け方：liken なら必ず to、compare は意味によって to / with。

0346 □□□

More than a hundred people lost their _____ in the earthquake.

① life ② living
③ lives ④ lifes

③ lose one's life　命を落とす

訳 その地震で 100 人を超える人が命を落とした。

解説 主語が 100 人を超える人々（複数）なので lose their lives。life は単数で、複数の人の命には合わない。living は「生計・暮らし」で lose one's living では命の意味にならない。lifes は誤ったつづり（life の複数は lives）。

注意 主語が複数のとき lives になる語形が狙われる。＝ be killed / die。

0347 □□□

We couldn't afford a new sofa, so we had to make _____ with the old one.

① use ② it
③ good ④ do

④ make do with ~　～で間に合わせる

訳 新しいソファーを買う余裕がなかったので、古いもので間に合わせなければならなかった。

解説 「古いもので間に合わせる」は make do with ~。make use of ~（～を利用する）は of を取るので、make use with とは言わない。make it は「うまくいく・間に合う（到着）」で with the old one と組まない。make good は「成功する・償う」で、この意味にならない。

区別 **make do with ~ ⇔ do without ~**　do without ~ は「～なしで済ませる」。make do with ~ は「（不十分だが）～で間に合わせる」。見分け方：物が足りないが手元の物を使うなら make do with、その物を使わずに我慢するなら do without。

0348 □□□

Please step aside and make _____ for the ambulance.

① a way ② the way
③ way ④ ways

③ make way for ~　～に道を譲る；～に取って代わられる

訳 救急車のために道を空けてください。

解説 「～のために道を空ける」は make way for ~ で、way は無冠詞・単数の決まった形。a way / the way と冠詞を付けたり ways と複数にしたりすると、この熟語にならない（make one's way は「進む」で別の表現）。

区別 **make way for ~ ⇔ give way to ~**　give way to ~ は「～に屈する・～に取って代わられる」「（車が）～に道を譲る」で、前置詞は to。make way for ~ は前置詞 for。意味が近く、前置詞の取り違えが問われる。

0349 ☐☐☐

The surgeon operated ＿＿＿＿ my father for a heart problem.

① for　② to
③ on　④ at

③ operate on ~　~に手術をする

訳 その外科医は心臓の病気で父の手術をした。

解説 「（人）に手術をする」は operate on ~。for は病名を示す側（for a heart problem）で、手術される人には使わない。to / at は operate と組まない。前置詞なしの operate my father だと「父を操作する」になってしまう。

区別 **operate on ~ ⇔ operate ~（他動詞）** 他動詞の operate ~ は「（機械）を操作する」「（店・会社）を経営する」で前置詞なし。operate on ~ は「~に手術をする」。見分け方：on があれば手術、なければ操作・経営。

0350 ☐☐☐

The success of the plan rests ＿＿＿＿ the support of local people.

① with　② in
③ on　④ at

③ rest on ~　~に頼る；~に基づく

訳 その計画の成功は、地元の人々の支持にかかっている。

解説 成功が「地元の支持にかかっている」は rest on ~。rest with ~ は「（決定・責任が）~にある」で後ろは人なので、the support（支持）には合わない。in / at は rest と組んで「~次第」の意味を作らない。

区別 **rest on ~ ⇔ rest with ~** rest with ~ は「（責任・決定・選択が）~にある」で、後ろは人。rest on ~ は「~に基づく・かかっている」で、後ろは根拠・条件。見分け方：決める人なら with、土台・条件なら on。

0351 ☐☐☐

Nobody knew what to do, so Mary took the ＿＿＿＿ and called the police.

① initial　② initiation
③ initially　④ initiative

④ take the initiative　率先して行う；主導権を握る

訳 誰もどうすればいいか分からなかったので、メアリーが率先して警察に電話した。

解説 「率先して」は take the initiative。initial は「最初の・頭文字」、initiation は「入会（式）・開始」で、take the ~ で率先する意味にならない。initially は副詞「最初は」で、the の後ろに置けない。

区別 **take the initiative ⇔ on one's own initiative** on one's own initiative は「（人に言われず）自分の判断で・自発的に」と副詞句。take the initiative は「（ほかの人より先に）行動を起こす・主導権を取る」と動詞句。

0352 ☐☐☐

The company turned a ＿＿＿＿ ear to the workers' complaints.

① blind　② closed
③ dumb　④ deaf

④ turn a deaf ear to ~ ～に耳を貸さない

訳 その会社は労働者たちの苦情に耳を貸さなかった。

解説 苦情に「耳を貸さなかった」は turn a deaf ear to ~。blind は turn a blind eye（見て見ぬふり）と混同させるひっかけで、ear とは組まない。closed / dumb も ear と組んだ決まった言い方ではない。

区別 **turn a deaf ear to ~ ⇔ turn a blind eye to ~** turn a blind eye to ~ は「（不正・違反）を見て見ぬふりをする」と目の話。turn a deaf ear to ~ は「（忠告・頼み）に耳を貸さない」と耳の話。見分け方：聞く物（忠告・不満）なら deaf ear、見る物（不正）なら blind eye。

0353 ☐☐☐

Because of a knee injury, the player had to withdraw ＿＿＿＿ the tournament.

① out　② of
③ from　④ off

③ withdraw from ~ ～から撤退する；～から手を引く

訳 ひざのけがのため、その選手は大会を棄権しなければならなかった。

解説 「大会から撤退する（棄権する）」は withdraw from ~。out は pull out of ~ など別の動詞の形からのひっかけで、withdraw out とは言わない。of / off も withdraw と組まない。

区別 **withdraw from ~ ⇔ withdraw ~（他動詞）** 他動詞の withdraw ~ は「（お金）を引き出す」「（発言・申し出）を撤回する」で前置詞なし。withdraw from ~ は「～から撤退する・身を引く」。見分け方：from があれば撤退、目的語が直接来れば引き出す・撤回。

0354 ☐☐☐

Online shopping is here to ＿＿＿＿; it isn't just a passing trend.

① stay　② keep
③ live　④ rest

① be here to stay 定着している；一時的なものではない

訳 オンラインショッピングは定着している。一時的な流行ではない。

解説 「定着している」は be here to stay で、stay を使う決まった形。後半の it isn't just a passing trend（一時的な流行ではない）とも合う。keep は目的語や補語が必要で、here to keep とは言わない。live / rest もこの意味の決まった形にならない。

区別 **be here to stay ⇔ a passing fad** be here to stay は「（今後も）定着する」、a passing fad は「すぐに消える一時的な流行」と反対の意味。見分け方：「これからも残る」なら here to stay、「すぐ廃れる」なら passing fad。対比させる文がよく出る。

0355 □□□

I went to bed at ten, but I couldn't _____ until after two because of the noise from next door.

① go to bed　② go to the sleep
③ go to sleep　④ go sleeping

③ go to sleep 眠りにつく；寝る

訳 私は 10 時に床についたが、隣の部屋からの騒音のせいで 2 時過ぎまで眠れなかった。

解説 床に入った後「眠りにつけなかった」は go to sleep。go to bed はすでに 10 時にしているので、もう一度言うと話が通らない。sleep は無冠詞で使うので go to the sleep は誤り。go sleeping という形はない（go ~ing は go shopping など娯楽の活動）。

区別 **go to sleep ⇔ go to bed** go to bed は「床につく（寝床に入る）」という行動で、実際に眠ったかは問わない。go to sleep は「眠りに落ちる」。見分け方：「ベッドに入ったが眠れなかった」のように 2 つを分けて言える。bed にも冠詞を付けない。

0356 □□□

A: My grandfather just won the lottery! B: You've _____ to be joking! How much did he win?

① had　② got
③ been　④ gotten

② have got to do ～しなければならない

訳 A：祖父が宝くじに当たったんだ！　B：冗談でしょう！ いくら当たったの？

解説 You've got to be joking. は have got to の推量用法で「冗談に決まっている・まさか」。have got to は口語で must と同じ働きをする。You've had to にすると「～しなければならなかった」で推量にならない。been to be は文法的に成り立たず、You've gotten to は米語で「～するようになった・～できた」の意味になる。

区別 **have got to do ⇔ have to / must** have to はどの時制にも使え、have got to は現在形だけ。must は話し手の判断による義務。見分け方：昨日・来週など時制が現在でなければ had to / will have to。否定の don't have to（必要がない）と mustn't（禁止）は意味が違う。

0357 □□□

Please don't _____ a noise. The baby has just fallen asleep.

① make　② do
③ give　④ raise

① make a noise 音を立てる；騒ぐ

訳 音を立てないでください。赤ちゃんがちょうど寝ついたところです。

解説 「音を立てる」は make a noise。do は家事・仕事・義務などと組み、noise とは組まない。give は give a cry / give a laugh など声を発する名詞と組むが a noise とは普通言わない。raise は raise one's voice / raise a fuss とは言うが raise a noise とは言わない。

区別 **make a noise ⇔ make a fuss** make a fuss は「（つまらないことで）大騒ぎする・文句を言う」で、実際の音より態度の騒がしさ。make a noise は物理的に音を立てる。見分け方：静かにしてほしい場面なら noise、大げさに騒ぎ立てる態度なら fuss。

0358 ☐☐☐

Don't make _____ of his remark; he was only joking.

① the most ② too many
③ too much ④ too well

③ make much of ~ ～を重視する；～をちやほやする

訳 彼の発言を大げさに考えすぎないで。彼は冗談を言っただけだよ。

解説 make too much of ~ で「～を大げさに考えすぎる」。冗談なのだから気にしすぎるな、という流れに合う。make the most of は「～を最大限に活用する」で、冗談を気にする話に合わない。much は数えられない量を表すので too many は不可。too well は副詞で、make A of B の A（名詞の働き）に入らない。

区別 **make much of ~ ⇔ make the most of ~** make the most of は「（機会・時間）を最大限に活用する」。make much of は「重視する・大げさに扱う」。見分け方：チャンス・休暇などを生かすなら the most、出来事や発言を重く受け止めるなら much / too much。

0359 ☐☐☐

My aunt always asks how much money I make. I wish she would mind her own _____.

① concern ② business
③ problem ④ work

② mind one's own business
余計なお世話をしない；自分のことだけ考える

訳 おばはいつも私の収入を聞いてくる。余計な口出しをしないでくれたらいいのに。

解説 「他人のことに口を出さない」は mind one's own business で決まった形。concern / problem / work は business の代わりに入れても決まり文句にならず、「余計な口出しをしない」の意味にならない。収入を詮索するおばへの不満を表す文。

区別 **mind one's own business ⇔ It's none of your business.** none of your business は「あなたには関係ない」と事柄を主語にした言い方。mind your own business は「自分のことをしていろ」と相手の行動を命じる言い方。意味は近いが、文の形が違う（It's ~ ／命令文）。

0360 ☐☐☐

On April Fools' Day, my brother played a joke _____ me by hiding all my shoes.

① to ② with
③ on ④ at

③ play a joke on ~
～をからかう；～に冗談でいたずらする

訳 エイプリルフールに、兄は私の靴を全部隠して私をからかった。

解説 play a joke on ＋ 人で「～をからかう・～にいたずらする」。to は「～に向かって」だが、play a joke とは組まない。with は「～と一緒に」になり、いたずらの標的を表せない。at は laugh at（あざ笑う）などと組むが、play a joke の後ろには使わない。

区別 **play a joke on ~ ⇔ make a joke about ~** make a joke about ~ は「～について冗談を言う」で、言葉による冗談、about の後ろは話題。play a joke on ~ は「（人）にいたずらを仕掛ける」。見分け方：人を標的にしたいたずらなら play ~ on、話題を冗談のネタにするなら make ~ about。

0361 ☐☐☐

She finally had a chance to put her English ＿＿＿＿ when she worked at a hotel in London.

① to use　② on use
③ for use　④ with use

① put ~ to use ～を使う；～を役立てる

訳 彼女はロンドンのホテルで働いたとき、ようやく自分の英語を役立てる機会を得た。

解説 「A を使う・役立てる」は put A to use で、前置詞は to に決まっている。on use / with use という形はなく、for use は「使用のために」という目的の言い方で put A for use とは言わない。ロンドンのホテルで英語を役立てた、という内容。

区別 **put ~ to use ⇔ make use of ~** make use of A は「A を利用する」で、use は名詞、A は of の後ろ。put A to use は A を put と to use の間に挟む。見分け方：of の後ろに目的語なら make use of、A を挟んで to で終わるなら put A to use。どちらも good を use の前に入れられる。

0362 ☐☐☐

When the speaker came onto the stage, the audience quickly ＿＿＿＿ themselves.

① seated　② sat
③ sit　④ seating

① seat oneself 座る；着席する

訳 講演者が舞台に上がると、聴衆はすぐに席に着いた。

解説 後ろに themselves があるので他動詞の seated（seat oneself で「座る」）。sat は自動詞 sit の過去形で、themselves を目的語に取らない（sat down なら可）。sit は時制が合わず、seating だけでは文の動詞にならない。

区別 **seat oneself ⇔ sit down** sit は自動詞なのでそのまま「座る」、seat は他動詞なので oneself か受け身が必要。見分け方：空所の後ろに再帰代名詞などの目的語があれば seat、何もなければ sit。seat oneself / be seated は改まった言い方。

0363 ☐☐☐

We spent the whole day seeing the ＿＿＿＿ of Kyoto.

① sight　② sightseeing
③ sights　④ seen

③ see the sights (of ~)
（～の）観光をする；名所を見物する

訳 私たちは京都の名所を見物して丸一日過ごした。

解説 「名所を見物する」は see the sights で、名所の意味の sights は必ず複数形。sight（単数）は「視力・光景」で、この形にならない。sightseeing は名詞で、seeing the sightseeing とは言わない（go sightseeing の形で使う）。seen は名詞ではない。

区別 **see the sights (of ~) ⇔ go sightseeing** see the sights は動詞 see ＋ 名所の名詞で、of ＋ 場所が続けられる。go sightseeing は go ＋ ~ing の形で、場所は in で示す（go sightseeing in Kyoto）。見分け方：the sights of ~ と名詞なら see、~ing なら go。

0364 ☐☐☐

At the age of 19, she _____ a new world record in the 100-meter race.

① made ② broke
③ set ④ won

③ set a record 記録を樹立する

訳 19 歳のとき、彼女は 100 メートル走で世界新記録を樹立した。

解説 新しい世界記録を「樹立した」は set a new record。made は日本語の「記録を作る」からの誤りで、英語では使わない。broke は古い記録を破る動詞なので、目的語は a new record ではなく the (old) record になる。won は賞や試合に使い、記録とは組まない。

区別 **set a record ⇔ break a record** break は既存の記録を「破る」で、目的語は古い記録（break the world record）。set は新しい記録を「打ち立てる」（set a new record）。見分け方：new record なら set、the record（それまでの記録）なら break。× break a new record。

0365 ☐☐☐

You look nervous. Take a deep _____ and try to relax before the interview.

① breathe ② breathing
③ breath ④ breathes

③ take a deep breath 深呼吸する

訳 緊張しているようだね。面接の前に深呼吸して、リラックスするようにしてごらん。

解説 take a deep ( ) の空所は形容詞 deep の後ろで、名詞が入るので breath（息）。breathe は動詞で名詞の位置に置けない。breathing は動名詞・名詞としても使うが、決まった形は take a deep breath。breathes は動詞の三単現で不可。

区別 **take a deep breath ⇔ hold one's breath** hold one's breath は「息を止める・（結果を）固唾をのんで待つ」。take a deep breath は「大きく息を吸う」。見分け方：吸うなら take、止めるなら hold。どちらも名詞 breath。

0366 ☐☐☐

My grandfather usually _____ a short nap after lunch.

① takes ② makes
③ does ④ sleeps

① take a nap 昼寝をする；仮眠をとる

訳 祖父はたいてい昼食後に短い昼寝をする。

解説 「昼寝をする」は take a nap（have a nap も可）。make / do は nap と組まない。sleeps は動詞で、後ろに名詞 a short nap を目的語として置くと「昼寝を眠る」のような重複になり不可（動詞なら naps だけで足りる）。

区別 **take a nap ⇔ take a rest / take a break** take a rest は「休息をとる（体を休める）」、take a break は「一休みする・休憩する」で、眠るとは限らない。take a nap は「短く眠る」。見分け方：実際に眠るなら nap。

0367 □□□

When my parents argue, I try not to take _____ because I love them both.

① side　② the sides
③ sided　④ sides

④ take sides (with ~)　（～の）味方をする

訳 両親が言い争うとき、私はどちらの味方もしないようにしている。2 人とも大好きだから。

解説 「どちらかの味方をする」は take sides で、sides は無冠詞の複数形に決まっている。side（単数・無冠詞）や the sides は決まった形にならない（単数なら take A's side）。sided は形容詞・過去分詞で take の目的語にならない。

区別 **take sides (with ~) ⇔ side with ~**　side with は side を動詞にした形で、with の後ろに味方する相手。take sides with も同じ意味だが、sides は名詞で複数形。見分け方：動詞 take があれば sides（複数）、なければ動詞 side。

0368 □□□

The boy was punished for calling his classmate _____ during the break.

① names　② by name
③ name　④ the names

① call A names　A の悪口を言う

訳 その男の子は休み時間にクラスメートの悪口を言ったことで罰を受けた。

解説 罰を受けたのだから「悪口を言った」の call A names（複数形・無冠詞）。call A by name は「A を名前で呼ぶ」で、罰を受ける理由にならない。name（単数・無冠詞）や the names は決まった形にならない。

区別 **call A names ⇔ call A by name**　call A by name は「A を名前で呼ぶ」。call A names は「A の悪口を言う」。見分け方：by があれば名前で呼ぶ、by がなく names（複数）なら悪口。

0369 □□□

Don't get me _____. I like your idea; I just think it's too expensive.

① wrong
② wrongly
③ mistaken
④ misunderstood

① get ~ wrong　～を誤解する；～を間違える

訳 誤解しないで。あなたのアイデアは気に入っているの。ただ、費用がかかりすぎると思うだけ。

解説 「誤解しないで」は Don't get me wrong. で、get A ＋ 形容詞の形。副詞 wrongly は get A の後ろで補語にならない。mistaken / misunderstood は意味は近いが、get me mistaken / get me misunderstood という決まった言い方はない。批判と取られないよう前置きする定番表現。

区別 **get ~ wrong ⇔ go wrong**　go wrong は自動詞で「（物事が）うまくいかない・（機械が）故障する」。get A wrong は他動詞的に「A を誤解する・間違える」。見分け方：目的語（me / the answer）があれば get A wrong。

0370 □□□

Hurry up and _____! We're leaving for school in five minutes.

① put on　② wear
③ be dressing　④ get dressed

④ get dressed　服を着る

訳 早く服を着なさい！ あと 5 分で学校に出発するよ。

解説 目的語なしで「服を着る（身支度する）」は get dressed。put on と wear は他動詞で、着る服を目的語に取らなければならない（put on your uniform）。be dressing は命令文の形として不自然で、dress は「（人）に服を着せる」なので目的語も足りない。

区別 **get dressed ⇔ put on ~ / wear ~** put on は「（服）を身につける」動作、wear は「着ている」状態で、どちらも服を目的語に取る。get dressed は目的語を取らない（× get dressed a shirt）。見分け方：空所の後ろに服がなければ get dressed。

0371 □□□

Please give me _____ chance. I promise I won't make the same mistake again.

① other　② the other
③ others　④ another

④ give A a chance　A に機会を与える

訳 どうかもう一度チャンスをください。同じ間違いは二度としないと約束します。

解説 「もう一度チャンスを与える」は give A another chance。another は an ＋ other で、単数の可算名詞 chance の前に置ける。other は単独で単数可算名詞の前に置けない。the other は「（2 つのうち）もう一方の」で、残りが 1 つに決まっている場面で使う。others は代名詞で名詞の前に置けない。

区別 **give A a chance ⇔ take a chance** take a chance は「（失敗を覚悟で）思い切ってやってみる・賭ける」。give A a chance は「A に機会を与える」。見分け方：人に機会をあげるなら give、自分が危険を冒すなら take。

0372 □□□

She has a good eye _____ color, so the clothes she chooses always look nice.

① on　② to
③ for　④ with

③ have an eye for ~　～を見る目がある

訳 彼女は色を見る目があるので、彼女が選ぶ服はいつもすてきに見える。

解説 「～を見る目がある」は have an eye for ~。on は keep an eye on（～を見張る）の形で使い、センスの意味にならない。to / with も eye と組んで「見る目がある」の意味にならない。いつも素敵な服を選ぶという後半と合う。

区別 **have an eye for ~ ⇔ keep an eye on ~** keep an eye on は「～から目を離さない・見張る」。have an eye for は「～を見る目（鑑識眼）がある」。見分け方：見張る・注意して見るなら keep ~ on、センス・判断力があるなら have ~ for。

0373 ☐☐☐

The spoiled child cries whenever he can't have his own ＿＿＿＿.

① road　② way
③ path　④ rule

② have one's own way　思いどおりにする；我を通す

訳 その甘やかされた子は、思いどおりにならないといつも泣く。

解説 「思いどおりにする・我を通す」は have one's own way で、way（やり方）に決まっている。road / path は道そのもので決まった表現にならず、rule も have one's own rule では「自分の規則を持つ」になって我を通す意味にならない。わがままな子の話。

区別 **have one's own way ⇔ go one's own way**　go one's own way は「（人に従わず）自分の思う道を行く・独自の生き方をする」で、必ずしも悪い意味ではない。have one's own way は「（周りを押し切って）自分の思いどおりにする」。見分け方：他人を従わせるなら have、自分が独自の道を選ぶなら go。

0374 ☐☐☐

Nobody had the courage ＿＿＿＿ the boss that his plan would not work.

① telling　② to tell
③ of telling　④ for telling

② have the courage to do　～する勇気がある

訳 社長の計画はうまくいかないと本人に言う勇気のある人は誰もいなかった。

解説 have the courage to do で「～する勇気がある」。courage の後ろは to ＋ 原形で、どんな勇気かを説明する。telling を直接続けることはできず、of telling / for telling も courage の後ろでこの意味を表す形として使わない。

区別 **have the courage to do ⇔ have the nerve to do**　have the nerve to do は「ずうずうしくも～する」の非難、または「～する度胸がある」。have the courage to do は「勇気がある」でほめる意味。形は同じなので、文脈のよし悪しで区別する。

0375 ☐☐☐

The police are inquiring ＿＿＿＿ the cause of the fire that destroyed the old warehouse.

① after　② of
③ for　④ into

④ inquire into ～　～を調べる；～を調査する

訳 警察は、古い倉庫を焼き尽くした火事の原因を調べている。

解説 火事の原因を「調査している」は inquire into ~。inquire after は「（人の健康）を尋ねる」、inquire of は「（人）に尋ねる」で後ろは人、inquire for は「（人に面会を）求める」という古い言い方で、原因を調べる意味にならない。

区別 **inquire into ~ ⇔ inquire after ~**　inquire after は「（人の健康・様子）を尋ねる」（inquire after his health）。inquire into は「（原因・事件）を調査する」。見分け方：後ろが人・健康なら after、原因・事件なら into。

0376 □□□

Don't worry. I'll stay here and keep you _____ until your mother comes back.

① company ② companion
③ companies ④ the company

① keep A company　A の相手をする；A と一緒にいる

訳 心配しないで。お母さんが戻ってくるまで、ここにいて一緒にいてあげるから。

解説 「一緒にいてあげる」は keep A company で、company は「同伴」の意味の不可算名詞なので無冠詞・単数。companion は「仲間（人）」で keep you companion とは言わない。companies は「会社」の複数形、the company は「その会社」になり意味が通らない。

区別 **keep A company ⇔ company（会社）** company は「会社」なら可算名詞（a company / companies）だが、「一緒にいること・仲間」の意味では不可算。keep A company の company は後者。見分け方：会社の意味でなければ冠詞・複数形を付けない。

0377 □□□

Reading the news every day helps you keep _____ of what is happening in the world.

① away ② about
③ abreast ④ aside

③ keep abreast of ~
～に遅れずについていく；～の最新情報を知っている

訳 毎日ニュースを読むことは、世界で起きていることに遅れずについていくのに役立つ。

解説 keep abreast of ~ で「～に遅れずについていく・最新情報を知っている」。ニュースを読んで世界の出来事を知る文脈に合う。keep away は from と組んで「近づかない」、keep aside は「取っておく」で、keep about of という形もない。どれも of と組んで「最新を知る」の意味にならない。

区別 **keep abreast of ~ ⇔ keep up with ~** keep up with は人・物の速さに「遅れずについていく」全般（keep up with the class）。keep abreast of は主に情報・知識・変化について「最新を知っている」。見分け方：人や速さについていくなら keep up with、ニュース・技術の最新情報なら abreast of。

0378 □□□

I read a magazine to kill _____ while I was waiting for my flight.

① a time ② time
③ times ④ timing

② kill time　時間をつぶす

訳 私は飛行機を待つ間、時間つぶしに雑誌を読んだ。

解説 「時間をつぶす」は kill time で、time は「時間」の意味の不可算名詞なので無冠詞。a time は「一時期・一回」、times は「回数・時代」になり、時間つぶしの意味にならない。timing は「タイミング」で意味が違う。

区別 **kill time ⇔ waste time** waste time は「時間を無駄にする」と悪い評価を含む。kill time は「（予定までの空き時間を）つぶす」で、空いた時間を埋める行為そのもの。見分け方：本来すべきことをせず損をしたなら waste、待ち時間の暇つぶしなら kill。

0379 □□□

Don't lose _____ just because you failed the test once. Try again next time.

① your heart　② hearts
③ the heart　④ heart

④ lose heart 落胆する；気を落とす

訳 一度試験に落ちたくらいで落ち込まないで。次にまた挑戦しよう。

解説 「落胆する」は無冠詞の lose heart。your heart を入れると lose one's heart (to ~)「心を奪われる・恋をする」の形になり、試験の失敗の話に合わない。hearts（複数）や the heart も決まった形にならない。もう一度挑戦しよう、と励ます文。

区別 **lose heart ⇔ lose one's heart to ~** 所有格を付けて lose one's heart to ~ にすると「～に恋をする・心を奪われる」。無冠詞の lose heart は「落胆する」。見分け方：所有格と to ＋ 相手があれば恋、何もなければ落胆。

0380 □□□

He is only six years old, so you should make allowances _____ his age.

① of　② for
③ to　④ with

② make allowances for ~
～を考慮する；～を大目に見る

訳 彼はまだ 6 歳なのだから、年齢を考えて大目に見てあげるべきだ。

解説 「～を考慮して大目に見る」は make allowances for ~。for は「～のために・～を考えて」。of / to / with は allowances と組んで「考慮する」の意味にならない。6 歳なのだから年齢を考えてあげて、という内容。

区別 **make allowances for ~ ⇔ allow for ~** allow for は「（遅れ・費用など）を見込んでおく・考慮に入れる」で、計画を立てるときに使うことが多い（allow for delays）。make allowances for は人の事情を考えて「大目に見る」意味が強い。どちらも前置詞は for。

0381 □□□

In the argument between the two classmates, most of the students sided _____ Mika.

① by　② for
③ with　④ on

③ side with ~ ～の側につく；～に味方する

訳 2 人のクラスメートの言い争いで、ほとんどの生徒はミカの味方をした。

解説 動詞 side は with を伴って「～に味方する」。by / for / on は side の後ろに置いて味方の意味にならない（on は be on A's side の形なら可）。言い争いでミカの側についた、という内容。

区別 **side with ~ ⇔ take sides (with ~)** take sides は名詞 sides（複数）を使う。side with は動詞 side ＋ with。意味はほぼ同じ。見分け方：動詞が take なら sides、side 自体が動詞なら with が直後に来る。

0382 □□□

Japan took the _____ in the first half, but they lost the game in the end.

① front ② head
③ top ④ lead

④ take the lead 先頭に立つ；主導権を握る

訳 日本は前半でリードを奪ったが、結局その試合に負けた。

解説 試合で「リードを奪う・先行する」は take the lead。take the front / take the head / take the top は決まった言い方にならない（be at the top of ~ なら「首位にいる」）。but 以下の「結局負けた」との対比から、一時は先行していたと分かる。

区別 **take the lead ⇔ take the initiative** take the initiative も「率先して行う」だが、競技で「リードする（得点で上回る）」意味はない。take the lead は競争・試合の先行にも使える。見分け方：スコアで先行するなら take the lead。

0383 □□□

In his speech, the prime minister only touched _____ the economic problems and talked mostly about education.

① at ② in
③ with ④ on

④ touch on ~ ～に（簡単に）触れる；～に言及する

訳 演説の中で、首相は経済問題に軽く触れただけで、主に教育について話した。

解説 話題に「軽く触れる・言及する」は touch on (upon) ~。at / in / with は touch と組んで「言及する」の意味にならない。only と、主に教育について話したという後半から、経済問題は少し触れただけと分かる。

区別 **touch on ~ ⇔ go into detail** go into detail は「詳しく述べる」で、touch on は「軽く触れる程度に述べる」。見分け方：深く掘り下げるなら go into、少しだけ言及するなら touch on。

0384 □□□

It took me several months to accustom myself to _____ on the left side of the road.

① drive ② have driven
③ driving ④ be driving

③ accustom oneself to ~ ～に慣れる

訳 道路の左側を運転することに慣れるのに、私は数か月かかった。

解説 accustom oneself to ~ の to は前置詞なので、後ろは動名詞 driving。不定詞と勘違いして原形 drive を選ぶのが典型的な誤り。have driven / be driving も前置詞の後ろには置けない。get used to driving と同じ形。

区別 **accustom oneself to ~ ⇔ used to do** used to do は「以前はよく～した」で、to の後ろは原形。accustom oneself to / be used to の to は前置詞で、後ろは ~ing。見分け方：「慣れる」の意味なら ~ing、過去の習慣なら原形。

0385 □□□

She works hard, but for her, her family always comes _____.

① the first ② firstly
③ at first ④ first

④ come first 一番大事である；最優先である

訳 彼女は熱心に働くが、彼女にとっては常に家族が一番大事だ。

解説 「最優先である」は come first で、first は副詞なので冠詞なし。the first は名詞的な形で come の後ろの決まった言い方にならない。firstly は「第一に（列挙）」、at first は「初めのうちは」で、どちらも「最も大事だ」の意味を表せない。

区別 **come first ⇔ at first** at first は「最初は（後で変わった）」という副詞句（At first I didn't like him）。come first は「最優先である・1位になる」。見分け方：come の後ろなら first、時間の流れで「初めのうちは」なら at first。

0386 □□□

In Japan, people now come _____ age at eighteen instead of twenty.

① to ② at
③ in ④ of

④ come of age 成人する；成熟する

訳 日本では、人は今では 20 歳ではなく 18 歳で成人する。

解説 「成人する」は come of age で、前置詞は of に決まっている（of age＝成年に達して）。come to age / at age / in age は決まった形にならない。at eighteen が成人の年齢を示す。

区別 **come of age ⇔ grow up** grow up は「（体・心が）大人になる・成長する」という過程。come of age は「法的に成人の年齢になる」という時点を指す。見分け方：年齢の区切りなら come of age、育つ過程なら grow up。

0387 □□□

We have done business _____ that company for more than twenty years.

① to ② by
③ at ④ with

④ do business with ~ ～と取引する

訳 私たちはあの会社と 20 年以上取引をしている。

解説 「～と取引する」は do business with ~ で、相手は with で示す。to / by / at は do business と組んで取引相手を表せない。for more than twenty years が現在完了の継続を表している。

区別 **do business with ~ ⇔ on business** on business は「仕事で・商用で」（go to Osaka on business）と目的を表す副詞句。do business with は「取引する」という動詞句。見分け方：出張・用事の目的なら on business、取引相手があるなら do business with。

0388 □□□

Every year, many elderly people fall _____ to phone scams.

① the victim ② victimized
③ victimize ④ victim

④ fall victim to ~ ～の犠牲になる

訳 毎年、多くのお年寄りが電話詐欺の被害にあっている。

解説 「～の犠牲になる」は fall victim to ~ で、victim は無冠詞。the victim では「その犠牲者」と特定の人を指して決まった形にならない。victimize は動詞「犠牲にする」、victimized はその過去分詞で、fall の補語として使わない（be victimized なら可）。

区別 **fall victim to ~ ⇔ become a victim of ~** become を使うと a victim of ~ と冠詞と of が付く。fall victim to は無冠詞で to。見分け方：動詞が fall なら無冠詞＋ to、become なら a ＋ of。

0389 □□□

To get the most _____ your study time, turn off your phone and put it in another room.

① of ② out of
③ out from ④ from out

② get the most out of ~ ～を最大限に活用する

訳 勉強時間を最大限に活用するには、スマホの電源を切って別の部屋に置こう。

解説 「～を最大限に活用する」は get the most out of ~（get the most from ~ も可）。of だけにすると make the most of ~ の形で、get とは組まない。out from / from out という語順はこの表現にない。勉強時間を有効に使うための助言。

区別 **get the most out of ~ ⇔ make the most of ~** make the most of ~ は of だけで、out は入らない。get the most out of ~ は out of。意味は同じ「最大限に生かす」。見分け方：動詞が make なら of、get なら out of（または from）。

0390 □□□

We don't have much time left, so please stop talking about the weather and get ＿＿＿＿ the point.

① at　② to
③ on　④ in

② get to the point　本題に入る；要点を言う

訳 もうあまり時間がないので、天気の話はやめて本題に入ってください。

解説 「本題に入る」は get to the point。get at は「（言いたいことを）ほのめかす」（What are you getting at?）の意味で、the point と組んで本題に入る意味にはならない。on / in も get と組んでこの意味にならない。

区別 **get to the point ⇔ beside the point**　beside the point は「的外れで・本題と関係なく」で反対の意味。get to the point は「本題に入る」。見分け方：話が要点に近づくなら get to、要点から外れているなら beside。

0391 □□□

I give you my ＿＿＿＿ that I will pay you back by Friday.

① words　② word
③ speech　④ talk

② give A one's word　A に約束する

訳 金曜日までにお金を返すと約束します。

解説 「約束する」は give A one's word で、word は単数。words（複数）は「言葉」の意味になり、have words with（口論する）のように別の表現になる。speech / talk は「演説・話」で、give you my speech では約束の意味にならない。

区別 **give A one's word ⇔ have words with ~**　have words with ~ は複数形 words で「～と口論する」。give A one's word は単数 word で「約束する」。見分け方：単数なら約束、複数なら口論・言葉。

0392 □□□

You should give some thought ＿＿＿＿ what you want to do after graduation.

① at　② for
③ to　④ with

③ give some thought to ~　～をよく考える

訳 卒業後に何をしたいかについて、よく考えておくべきだよ。

解説 「～についてよく考える」は give some thought to ~。thought を向ける先を to で示す（give attention to と同じ）。for / at / with は give thought と組んで考える対象を表さない。to の後ろに what 節が続いている。

区別 **give some thought to ~ ⇔ think about ~**　think about は動詞＋ about。give some thought to は名詞 thought を使い、前置詞は to。見分け方：thought が名詞として出てくれば to、動詞 think なら about / of。

0393 ☐☐☐

I'm afraid I don't have time to go into _____ now, so I'll explain the rest tomorrow.

① detail　② detailed
③ detailing　④ a detail

① go into detail 詳しく述べる

訳 残念ながら今は詳しく話す時間がないので、残りは明日説明します。

解説 「詳しく述べる」は go into detail で、detail は無冠詞（details も可）。detailed は形容詞で前置詞の後ろに単独では置けない。detailing は「詳しく述べること」という動名詞だが、決まった形ではない。a detail は「一つの細かい点」になり、詳しく話す意味にならない。

区別 **go into detail ⇔ in detail** in detail は「詳しく」という副詞句で、explain ~ in detail のように動詞の後ろに付く。go into detail は「詳しく述べる」という動詞句そのもの。見分け方：動詞 go の後ろなら into、explain などの後ろなら in。

0394 ☐☐☐

I have _____ a diary every day since I was ten years old.

① done　② written
③ made　④ kept

④ keep a diary 日記をつける

訳 私は 10 歳のときから毎日日記をつけている。

解説 習慣として「日記をつける」は keep a diary で、継続を表す現在完了 have kept。written は日本語の「日記を書く」からの誤りで、習慣を表すなら keep を使う（一回分を書くなら write in my diary）。made / done は diary と組まない。

区別 **keep a diary ⇔ write in one's diary** write in one's diary は「（その日の）日記を書く」という一回の動作。keep a diary は「日記をつける習慣がある」。見分け方：毎日続けている習慣なら keep、今夜書くという動作なら write in。

0395 ☐☐☐

The room next door was so noisy that I made a _____ to the hotel manager.

① complain　② complaint
③ complaining　④ complained

② make a complaint (about ~)
（~について）苦情を言う

訳 隣の部屋があまりにうるさかったので、私はホテルの支配人に苦情を言った。

解説 make a ＋ 名詞の形なので、名詞 complaint（苦情）。complain は動詞で、冠詞 a の後ろに置けない。complaining（動名詞）や complained（過去形・過去分詞）も make a の後ろの名詞にならない。動詞を使うなら I complained to ~ となる。

区別 **make a complaint (about ~) ⇔ complain about ~** complain は動詞で、make と一緒には使わない（× make a complain）。名詞は complaint。見分け方：make a の後ろなら名詞 complaint、主語の直後の動詞なら complain。

0396 □□□

He _____ a mess of his life by gambling away all his money.

① took ② did
③ made ④ got

③ make a mess (of ~)
（～を）散らかす；（～を）台無しにする

訳 彼はギャンブルで全財産を失い、人生をめちゃくちゃにした。

解説 「～を台無しにする」は make a mess of ~ で、動詞は make。do は仕事・家事などの名詞と組み、a mess とは組まない。take / get も a mess of と組んで「台無しにする」の決まった形にならない。gambling away（ギャンブルで使い果たす）が原因を示す。

区別 **make a mess (of ~) ⇔ mess up ~** mess up は動詞 mess を使い「～を台無しにする・散らかす」（mess up the room）。make a mess of は名詞 mess を使う。意味はほぼ同じ。見分け方：make a があれば名詞、なければ動詞 mess up。

0397 □□□

If you don't study now, you'll pay the _____ when you take the entrance exam.

① tax ② fee
③ fare ④ price

④ pay the price (for ~) （～の）代償を払う

訳 今勉強しないと、入試を受けるときにその代償を払うことになるよ。

解説 「（怠けた）代償を払う・報いを受ける」は pay the price。fee は「（専門職への）報酬・手数料」、fare は「（乗り物の）運賃」、tax は「税金」で、どれも比喩の「代償」の決まった表現にならない。勉強しない報いが入試で来る、という内容。

区別 **pay the price (for ~) ⇔ at the cost of ~** at the cost of ~ は「～を犠牲にして」という副詞句（at the cost of his health）。pay the price for ~ は「（自分の行いの）代償を払う」という動詞句。見分け方：犠牲にした物を示すなら at the cost of、報いを受けるなら pay the price。

0398 □□□

The weather forecast says it might rain, so I'll play it _____ and take an umbrella.

① safely ② safe
③ safety ④ save

② play it safe 大事をとる；慎重にやる

訳 天気予報では雨が降るかもしれないと言っているので、念のため傘を持っていこう。

解説 「大事をとる」は play it safe で、safe は it の状態を表す補語なので形容詞。safely は副詞で決まった形にならない。safety は名詞「安全」、save は動詞「救う・節約する」で、play it の後ろに置けない。

区別 **play it safe ⇔ take a risk** take a risk は「危険を冒す・思い切ってやる」で正反対。play it safe は「安全策をとる」。見分け方：用心するなら play it safe、賭けに出るなら take a risk。

0399 □□□

Before you leave, please put these documents in _____ by date.

① the order　② orders
③ order　④ an order

③ put ~ in order ～を整理する

訳 帰る前に、これらの書類を日付順に整理してください。

解説 「整理する」は put A in order で、order は「順序」の意味の無冠詞・単数。orders は「命令・注文」の複数、an order は「一つの注文・命令」で、整理の意味にならない。the order も put A in order の決まった形ではない。by date が並べる基準を示す。

区別 **put ~ in order ⇔ in order to do** in order to do は「～するために」で、目的を表す。put A in order の in order は「整った状態に」。見分け方：後ろに to ＋ 動詞が続けば目的、put の後ろで「整理」なら状態。

0400 □□□

After he became rich and famous, he turned his _____ on his old friends.

① eye　② face
③ head　④ back

④ turn one's back on ~ ～に背を向ける；～を見捨てる

訳 金持ちで有名になった後、彼は昔の友人たちを見捨てた。

解説 「～を見捨てる・～に背を向ける」は turn one's back on ~ で、back に決まっている。turn one's face は「顔を向ける」、turn one's head は「振り向く」で、on と組んで見捨てる意味にならない。turn one's eye も決まった表現ではない（turn a blind eye to は「見て見ぬふり」）。

区別 **turn one's back on ~ ⇔ turn against ~** turn against は「～に反感を持つ・敵に回る」で、積極的に敵対する。turn one's back on は「見捨てる・関わりを断つ」で、背を向けて離れていく。見分け方：攻撃する側に回るなら against、見捨てて去るなら back on。

0401 □□□

Three members of the committee abstained _____ voting on the new rule.

① from　② of
③ to　④ on

① abstain from ~ ～を控える；～を慎む

訳 委員会のメンバーのうち 3 人は、新しい規則の投票を棄権した。

解説 「（投票）を棄権する・控える」は abstain from ~。of / to は abstain と組まない。on は abstain on ~（～についての採決で棄権する）という使い方もあるが、後ろに動名詞 voting を置いて「投票を控える」とするのは from の形。

区別 **abstain from ~ ⇔ refrain from ~** refrain from も「～を控える」で、from ＋ ~ing。abstain from は飲酒・食べ物・投票など、自分の意思で長く断つ場合に多い。refrain from は「その場で～するのを控える」（Please refrain from smoking）。どちらも from。

0402 ☐☐☐

The scientist ascribed her success ＿＿＿＿ years of hard work rather than to luck.

① for　② to
③ with　④ on

② ascribe A to B　A を B のせいにする；A を B に帰する

訳 その科学者は、自分の成功は運ではなく長年の努力によるものだとした。

解説 「A を B のせいにする・B に帰する」は ascribe A to B。後半の rather than to luck とも to がそろう。for / with / on は ascribe と組んで原因を示さない（blame A for B と混同しないこと）。

区別 **ascribe A to B ⇔ owe A to B**　owe A to B は「A は B のおかげだ」で、感謝の気持ちが入る（I owe my success to you）。ascribe A to B は「A の原因を B に帰する」と原因の説明。どちらも A to B の語順で、B が原因・恩人。

0403 ☐☐☐

High fines deter many people ＿＿＿＿ parking illegally in the city center.

① to　② from
③ against　④ of

② deter A from ~ing　A に～するのを思いとどまらせる

訳 高額の罰金によって、多くの人が都心での違法駐車を思いとどまっている。

解説 deter A from ~ing で「A に～するのを思いとどまらせる」。to にすると encourage A to do（～するよう勧める）の型で意味が逆になり、後ろも原形が必要。against / of は deter A の後ろでこの型をとらない（warn A against ~ing, rob A of ~ と混同しないこと）。

区別 **deter A from ~ing ⇔ encourage A to do**　encourage A to do は「A に～するよう勧める」で正反対、後ろは to do。deter / discourage A from ~ing は「思いとどまらせる」で from ~ing。見分け方：後押しなら to do、止めるなら from ~ing。

0404 ☐☐☐

At first, most scientists dismissed his theory ＿＿＿＿ nonsense, but later it was proved correct.

① by　② for
③ to　④ as

④ dismiss A as B　A を B だと（軽く）退ける

訳 当初、ほとんどの科学者は彼の理論をばかげたものとして退けたが、後にそれは正しいと証明された。

解説 「A を B だとして退ける」は dismiss A as B。for は mistake A for B（A を B と間違える）の型で、dismiss とは組まない。to / by も dismiss A の後ろで「～として」の意味にならない。後に正しいと証明されたという対比が分かりやすい。

区別 **dismiss A as B ⇔ regard A as B**　regard A as B は「A を B とみなす」で評価は中立。dismiss A as B は「A を B だと決めつけて退ける」で、相手にしない否定的な態度。どちらも as を取る型。

0405 ☐☐☐

We're all friends here, so let's dispense _____ the formalities and start the meeting.

① with　② of
③ from　④ without

① dispense with ~ ～なしで済ませる；～を省く

訳 ここにいるのは皆友人なのだから、堅苦しいことは抜きにして会議を始めよう。

解説 「～なしで済ませる・～を省く」は dispense with ~。without にすると do without と混同した誤りで、dispense の後ろには使わない。of / from も dispense と組んでこの意味にならない。皆友人だから形式は省こう、という内容。

区別 **dispense with ~ ⇔ do without ~** do without は「～なしで済ます」の日常的な言い方で、前置詞は without。dispense with は硬い語で with。意味は同じなので、前置詞の取り違えに注意（× dispense without）。

0406 ☐☐☐

Your idea sounds interesting. Could you elaborate _____ it a little more?

① at　② on
③ in　④ to

② elaborate on ~ ～について詳しく述べる

訳 あなたのアイデアは面白そうですね。もう少し詳しく説明してもらえますか。

解説 「～について詳しく述べる」は elaborate on ~（upon も可）。elaborate は自動詞なので前置詞が必要で、at / in / to はこの意味で elaborate と組まない。アイデアの詳細を求める丁寧な依頼。

区別 **elaborate on ~ ⇔ explain ~** explain は他動詞で前置詞なしに目的語を取る（explain the plan）。elaborate は自動詞なので on が必要（elaborate on the plan）。見分け方：動詞が elaborate なら on、explain なら目的語を直接。× explain about は避ける。

0407 ☐☐☐

Before going abroad, she entrusted her house keys _____ her neighbor.

① with　② to
③ for　④ by

② entrust B to A B を A に任せる；B を A に預ける

訳 海外に行く前に、彼女は家の鍵を隣人に預けた。

解説 動詞の直後が物（her house keys）なので、人は to の後ろに置く entrust B to A の型。with は entrust A with B（A＝人）の型で使うため、物が先に来たこの語順では使えない（her neighbor with her keys なら可）。for / by は entrust と組んで「預ける相手」を示さない。

区別 **entrust B to A ⇔ entrust A with B** entrust A with B は人 A が目的語で、任せる物 B は with の後ろ。entrust B to A は物 B が目的語で、人 A は to の後ろ。見分け方：動詞の直後が人なら with、物なら to。provide A with B / provide B for A と同じ発想。

0408 □□□

Before you start working in the lab, please familiarize yourself ＿＿＿＿ the safety rules.

① in　② to
③ with　④ about

③ familiarize A with B

A を B に慣れさせる；A に B をよく知らせる

訳 実験室で作業を始める前に、安全規則をよく理解しておいてください。

解説 「～をよく知るようにする」は familiarize oneself with ～で、前置詞は with。to は be familiar to ＋ 人（物事が人に知られている）の形で使い、familiarize とは組まない。in / about も familiarize の後ろには使わない。

区別 **familiarize A with B ⇔ be familiar to ～** be familiar to ＋ 人は「（物事が）～によく知られている」で主語は物事。be familiar with ～ / familiarize A with B は人が主語・目的語で、知る対象が with の後ろ。見分け方：知っている人が主語なら with、知られている物が主語なら to。

0409 □□□

He was fined 10,000 yen ＿＿＿＿ speeding on the highway.

① for　② of
③ by　④ with

① fine A for B　B のことで A に罰金を科す

訳 彼は高速道路でスピード違反をして 1 万円の罰金を科された。

解説 罰金の理由（違反）は for で示す（fine A for B）。of / with は fine と組んで違反の理由を表さない。by は受動態の行為者（by the police）には使えるが、speeding の前に置くと意味が通らない。punish A for B と同じ「理由の for」。

区別 **fine A for B ⇔ charge A for B** charge A for B は「B の代金を A に請求する」で、罰ではなく料金。fine A for B は違反への「罰金」。見分け方：違反なら fine、商品・サービスの代金なら charge。前置詞はどちらも for。

0410 □□□

Thank you for your suggestions. We incorporated many of your ideas ＿＿＿＿ the new design.

① by　② from
③ into　④ at

③ incorporate A into B

A を B に取り入れる；A を B に組み込む

訳 ご提案ありがとうございました。あなたのアイデアの多くを新しいデザインに取り入れました。

解説 「A を B に取り入れる」は incorporate A into B（in も可）。from を入れると「新しいデザインから取り入れた」となり、取り入れる先が逆になる。by / at は incorporate A の後ろで取り入れる先を示さない。

区別 **incorporate A into B ⇔ integrate A into B** integrate A into B は「A を B に統合する・溶け込ませる」で、全体を一つにまとめる意味が強い（移民を社会に溶け込ませる）。incorporate A into B は「A を（一部として）取り入れる」。前置詞はどちらも into。

0411 □□□

The school tries to integrate students from abroad _____ regular classes as soon as possible.

① at ② onto
③ from ④ into

④ integrate A into B

A を B に統合する；A を B に溶け込ませる

訳 その学校は、海外から来た生徒をできるだけ早く通常のクラスに溶け込ませようと努めている。

解説 「A を B に溶け込ませる・統合する」は integrate A into B。onto は「～の上へ」で、クラスの中に入る意味にならない。from は「～から」で溶け込む先を表せない。at も integrate A の後ろで行き先を示さない。

区別 **integrate A into B ⇔ incorporate A into B** incorporate A into B は「A（アイデア・要素）を B に取り入れる」。integrate A into B は「A（人・組織）を B に溶け込ませて一体にする」。前置詞はどちらも into なので、意味と目的語の種類で区別する。

0412 □□□

It's only a tiny scratch on the car. Don't make such a _____ about it.

① mistake ② mess
③ trouble ④ fuss

④ make a fuss (about ~)　（～のことで）騒ぎ立てる

訳 車にほんの小さな傷がついただけだよ。そんなに大騒ぎしないで。

解説 小さな傷くらいで「大騒ぎしないで」は make a fuss about ~。make a mess は「散らかす・台無しにする」で about it と組んで騒ぐ意味にならない。trouble は不可算で such a trouble とは言わず、make trouble は「もめごとを起こす」。make a mistake は「間違える」で文意に合わない。

区別 **make a fuss (about ~) ⇔ make a mess (of ~)** make a mess は「散らかす・台無しにする」。make a fuss は「大騒ぎする・文句を言う」。見分け方：部屋や物事がめちゃくちゃになるなら mess、人が大げさに騒ぐなら fuss。

0413 □□□

We spent the whole day seeing the _____ of Rome, including the Colosseum.

① sight ② scene
③ sightseeing ④ sights

④ see the sights of ~　～を見物する；～の名所を見て回る

訳 私たちはコロッセオを含め、一日中ローマの名所を見て回った。

解説 「名所」の意味の sight は複数形 sights にする（see the sights of ~）。単数の sight は「視力・光景」で名所の意味にならない。sightseeing は「観光」で、see the ~ of Rome の形に入らない（go sightseeing in Rome なら可）。scene は「場面・光景」で名所見物の決まった言い方ではない。

区別 **see the sights of ~ ⇔ go sightseeing in ~** see the sights の後ろは of ＋地名、go sightseeing の後ろは in ＋地名（× go sightseeing to Kyoto）。見分け方：名詞 sights の後ろなら of、sightseeing の後ろなら in。

0414 □□□

Parents cannot shield their children _____ every danger in the world.

① of ② from
③ to ④ off

② shield A from B　A を B から守る；A を B からかばう

訳 親は子どもを世の中のあらゆる危険から守ることはできない。

解説 「A を B から守る」は shield A from B（protect A from B と同じ型）。of は rob A of B などの型で、shield とは組まない。to は「～へ」で守る意味と逆向き。off は前置詞として shield A の後ろで危険を示す形にならない。

区別 **shield A from B ⇔ protect A from B** protect A from [against] B は「A を B から守る」で最も一般的。shield A from B は盾のように「覆ってかばう」感じ。型は同じ A from B。prevent A from ~ing（A が～するのを妨げる）とは意味が違う。

0415 □□□

Don't take his words to _____; he was just in a bad mood yesterday.

① the heart ② mind
③ heart ④ hearts

③ take ~ to heart
～を真剣に受け止める；～を深く気にする

訳 彼の言葉を気にしないで。昨日はただ機嫌が悪かっただけだから。

解説 「（言葉）を深く気にする・真剣に受け止める」は take A to heart で、heart は無冠詞・単数。to mind は決まった形にならない（bring A to mind なら「思い出させる」）。the heart / hearts も決まった形ではない。

区別 **take ~ to heart ⇔ take ~ seriously** take A seriously は「A を真剣に受け止める・本気にする」で、気に病む意味は弱い。take A to heart は「心にしみて深く受け止める（気に病む）」。見分け方：感情的に傷つく・気にするなら to heart。

0416 □□□

After weeks of meetings, our plans for the school festival are finally beginning to take _____.

① care ② place
③ part ④ shape

④ take shape　形をなす；具体化する

訳 何週間も話し合った結果、文化祭の計画がようやく形になり始めている。

解説 計画が「形をなす・具体化する」は take shape。take place は「（行事が）行われる」で計画そのものが主語では使わない、take part は in を伴い「参加する」、take care は「気をつける」で、どれも計画が具体化する意味にならない。

区別 **take shape ⇔ take place** take place は「（行事が）行われる・（出来事が）起こる」。take shape は「（計画などが）形になる」。見分け方：開催・発生なら place、具体化・完成に近づくなら shape。

0417 ☐☐☐

If you apply yourself ＿＿＿＿ your studies, I'm sure you'll pass the exam.

① to　② for
③ with　④ on

① apply oneself to ~　～に専念する；～に打ち込む

訳 勉強に打ち込めば、きっと試験に合格するよ。

解説 「～に専念する」は apply oneself to ~。for は apply for ~（～に応募する）の形で使い、oneself の後ろでは専念の意味にならない。with / on も apply oneself と組まない。devote oneself to と同じ to。

区別 **apply oneself to ~ ⇔ apply for ~** apply for は「（仕事・ビザ・奨学金）に応募する・申し込む」。apply oneself to は「～に打ち込む」。見分け方：oneself があれば専念、for ＋ 求める物なら応募。

0418 ☐☐☐

Her dog died while she was abroad. Who's going to break the news ＿＿＿＿ her?

① with　② for
③ at　④ to

④ break the news (to ~)　（～に）悪い知らせを伝える

訳 彼女が海外にいる間に彼女の犬が死んでしまった。誰がその知らせを彼女に伝えるのだろう。

解説 「（人）に悪い知らせを伝える」は break the news to ＋ 人で、伝える相手は to。for は「～のために」、at / with は伝える相手を表さない。飼い犬の死という言いにくい知らせの場面。

区別 **break the news (to ~) ⇔ tell A the news** tell A the news は知らせ一般を「伝える」で、よい知らせにも使う。break the news to A は「（悪い・重大な）知らせを打ち明ける」。前置詞の位置も違い、tell は A を直後に、break は to A。

0419 ☐☐☐

We've been climbing for two hours. Let's stop for a minute and catch our ＿＿＿＿.

① breaths　② breath
③ breathe　④ breathing

② catch one's breath　一息つく；息を整える

訳 もう 2 時間登り続けている。少し止まって息を整えよう。

解説 「息を整える・一息つく」は catch one's breath で、名詞 breath の単数（our breath）。breaths にはしない（各自でも決まった形は単数）。breathe は動詞で目的語の位置に置けない。breathing も決まった形ではない。

区別 **catch one's breath ⇔ hold one's breath** hold one's breath は「息を止める・固唾をのんで待つ」。catch one's breath は「乱れた息を整える・一息つく」。見分け方：止めるなら hold、回復させるなら catch。

0420 ☐☐☐

Skill is important in this card game, but luck also comes ＿＿＿＿ play.

① on　② to
③ in　④ into

④ come into play　作用し始める；影響する

訳 このトランプゲームでは技術が大切だが、運も関わってくる。

解説 「作用し始める・関わってくる」は come into play。come to play では「遊びに来る」の意味になり、要因が働く意味にならない。come in play / come on play は決まった形ではない。技術に加え運も影響する、という内容。

区別 **come into play ⇔ come into effect** come into effect は「（法律・規則が）施行される・効力を発する」。come into play は「（要因が）作用し始める」。見分け方：法律・ルールの開始なら effect、運・経験などの要因が働くなら play。

0421 □□□

As our car turned the corner, the beautiful blue sea suddenly came _____ view.

① at ② into
③ on ④ by

② come into view 見えてくる

訳 車が角を曲がると、美しい青い海が突然視界に入ってきた。

解説 「見えてくる・視界に入る」は come into view。at / on / by は view と組んでこの意味にならない（on view は「展示されて」で come とは組まない）。角を曲がって海が見えた、という場面。

区別 **come into view ⇔ in view of ~** in view of ~ は「～を考慮して・～から見て」という前置詞句（in view of the situation）。come into view は「見えてくる」。見分け方：動詞 come があり、主語が見える物なら come into view。

0422 □□□

The train came _____ a sudden stop, and many passengers almost fell over.

① to ② at
③ in ④ on

① come to a stop 止まる

訳 電車が急停車し、多くの乗客が倒れそうになった。

解説 「止まる」は come to a stop で、到達点を表す to に決まっている（come to an end と同じ）。at / in / on は come と a stop をつないで停止の意味にならない。急停車で乗客が倒れそうになった、という内容。

区別 **come to a stop ⇔ come to an end** come to an end は「終わる」で、行事・期間などに使う。come to a stop は「（動いていた物が）止まる」。見分け方：動きの停止なら stop、物事の終了なら end。どちらも前置詞は to。

0423 □□□

The town is quiet during the day, but it comes _____ life at night when the markets open.

① in ② into
③ to ④ on

③ come to life 生き生きとしてくる；活気づく

訳 その町は昼間は静かだが、夜に市場が開くと活気づく。

解説 「活気づく・生き生きとしてくる」は come to life で、前置詞は to。come into life / come in life / come on life は決まった形にならない（come into existence は「生まれる」で別の表現）。昼は静かで夜はにぎやか、という対比。

区別 **come to life ⇔ come alive** come alive も「生き生きとする・活気づく」でほぼ同じ意味だが、alive は形容詞なので前置詞は不要。come to life は名詞 life の前に to が必要。見分け方：life なら to、alive なら前置詞なし。

0424 □□□

He was going to quit his job on impulse, but he finally came to his _____ and stayed.

① sense ② senses
③ mind ④ feelings

② come to one's senses 正気に戻る；目が覚める

訳 彼は衝動的に仕事を辞めようとしていたが、最後には目が覚めて思いとどまった。

解説 「正気に戻る・目が覚める」は come to one's senses で、senses は複数形。単数の sense では決まった形にならない。came to his mind は「（考えが）思い浮かんだ」の意味になり主語が合わない。feelings も決まった表現ではない。

区別 **come to one's senses ⇔ make sense** make sense は「意味が通じる・道理にかなう」で単数 sense。come to one's senses は複数 senses で「正気に戻る」。見分け方：複数形 senses なら正気、単数 sense なら意味・分別。

0425 ☐☐☐

My husband works late on weekdays, so I _____ the shopping on Saturdays.

① do　② make
③ go　④ take

① do the shopping 買い物をする

訳 夫は平日遅くまで働くので、土曜日に私が買い物をする。

解説 家庭の「買い物をする」は do the shopping（家事は do the ~ing）。make は shopping と組まない。go は go shopping（無冠詞）の形で、the shopping は目的語にできない。take も the shopping と組んで買い物をする意味にならない。

区別 **do the shopping ⇔ go shopping** go shopping は「買い物に出かける」で、無冠詞の shopping。do the shopping は「（家庭の）買い物を済ませる」。見分け方：動詞が go なら the なし、do なら the（または some）。× go to shopping。

0426 ☐☐☐

The new software was confusing at first, but I'm finally getting the _____ of it.

① hang　② hold
③ catch　④ touch

① get the hang of ~ ～のこつをつかむ

訳 新しいソフトは最初は分かりにくかったが、ようやく使い方のこつがつかめてきた。

解説 「～のこつをつかむ」は get the hang of ~ で、hang に決まっている。get hold of は「～を手に入れる・つかまえる」で the を付けた the hold of の形にならない。catch / touch も get the ~ of の形でこつの意味にならない（get in touch with は「連絡を取る」）。

区別 **get the hang of ~ ⇔ get the knack of ~** get the knack of もほぼ同じ「～のこつをつかむ」。get the hang of は練習してやり方に慣れる感じ、knack は生まれつきの才能やちょっとした要領を言うことも多い。どちらも of ＋ 名詞・~ing。

0427 ☐☐☐

A: Why haven't you finished the report yet? B: Give me a _____! I've only been here for five minutes.

① rest　② break
③ pause　④ gap

② give A a break A を大目に見る；A に休みを与える

訳 A：どうしてまだ報告書を終えていないの？　B：勘弁してよ！ここに来てまだ 5 分しかたっていないんだ。

解説 来たばかりで責められて「勘弁してよ」と返すのは Give me a break!。Give me a rest は普通言わず、休みを求める意味でもこの決まり文句にならない。pause は「一時停止」、gap は「すき間・差」で、どれも give me a ~ で「勘弁して」の意味にならない。

区別 **give A a break ⇔ take a break** take a break は「（自分が）一休みする」。give A a break は「（相手を）大目に見る・休ませる」。見分け方：自分が休むなら take、相手に猶予を与える・勘弁してと言うなら give。

0428 □□□

We're going to _____ a party next Saturday to celebrate her birthday.

① give ② make
③ open ④ take

① give a party パーティーを開く

訳 私たちは来週の土曜日に、彼女の誕生日を祝ってパーティーを開く予定だ。

解説 「パーティーを開く」は give a party（have / throw / hold も可）。make a party / open a party は日本語の「パーティーを作る・開く」からの誤りで、英語では使わない。take a party もパーティーを開く意味にならない。

区別 **give a party ⇔ throw a party** throw a party はくだけた言い方で、特に気軽なパーティーに使う。give a party はやや改まった感じ。どちらも「主催する」側の表現。参加するなら go to / attend a party。

0429 □□□

Even a small donation will _____ a long way toward helping the victims of the earthquake.

① go ② come
③ take ④ make

① go a long way 大いに役立つ；成功する

訳 少額の寄付でも、地震の被災者を助けるのに大いに役立つ。

解説 物事が「大いに役立つ」は go a long way (toward ~ing)。come a long way は「（これまでに）大きく進歩した」で、寄付が被災者支援に役立つという未来の効果を表せない。take a long way / make a long way は決まった表現にならない。

区別 **go a long way ⇔ come a long way** come a long way は「大きく進歩した・遠くから来た」で、現在完了 have come a long way が典型。go a long way は「（これから）大いに役立つ・成功する」。見分け方：これまでの進歩なら come、効果・将来の成功なら go。

0430 □□□

She went to great _____ to make sure that her daughter's birthday party was perfect.

① length ② lengths
③ longs ④ distances

② go to great lengths to do ～するためにどんなことでもする

訳 彼女は娘の誕生日パーティーを完璧なものにするために、あらゆる手を尽くした。

解説 「～するためにどんなことでもする」は go to great lengths to do で、lengths は複数形。単数の length では決まった形にならない。longs という名詞はなく、distances も決まった表現ではない（keep one's distance は「距離を置く」）。

区別 **go to great lengths to do ⇔ go out of one's way to do** go out of one's way to do は「わざわざ（手間をかけて）～する」で、親切・配慮の場面が多い。go to great lengths to do は「あらゆる手段を尽くして～する」で、努力の度合いがより大きい。どちらも to do が続く。

0431 □□□

Students should have a ＿＿＿＿ in how the school rules are made.

① talk　② say
③ speech　④ tell

② have a say in ~ ～に発言権がある

訳 生徒は校則の作り方について発言権を持つべきだ。

解説 「～に発言権がある」は have a say in ~ で、名詞 say に決まっている。have a talk は「話をする」、have a speech は普通言わず（give a speech）、tell は名詞として使わない。どれも in ~ と組んで発言権の意味にならない。

区別 **have a say in ~ ⇔ have one's say** have one's say は「（自分の）言いたいことを言う」（Everyone will have their say）。have a say in ~ は「～に（決定に関わる）発言権がある」。見分け方：所有格なら言いたいことを言う、a ＋ in ~ なら発言権。

0432 □□□

He broke his promise again. You have every reason ＿＿＿＿ angry with him.

① of being　② be
③ to be　④ being

③ have every reason to do ～するのも当然だ

訳 彼はまた約束を破った。あなたが彼に腹を立てるのも当然だ。

解説 「～するのも当然だ」は have every reason to do で、reason の内容を to 不定詞が説明するので to be。原形 be だけ、動名詞 being を reason の直後に置くことはできない。of being も reason と組む形ではない。

区別 **have every reason to do ⇔ may well do** may well do も「～するのももっともだ」（He may well be angry）。have every reason to do は「十分な理由がある」と名詞 reason を使う。意味は近いが、may well は助動詞なので後ろは原形だけ。

0433 □□□

He refused to admit his mistake in front of his staff because he didn't want to lose ＿＿＿＿.

① the face　② his face
③ faces　④ face

④ lose face 面目を失う

訳 彼は面目を失いたくなかったので、部下の前で自分の間違いを認めようとしなかった。

解説 「面目を失う」は lose face で、face は無冠詞。his face にすると「顔（そのもの）を失う」という文字どおりの意味になり不自然。faces / the face も決まった形にならない。部下の前で間違いを認めたくない理由として合う。

区別 **lose face ⇔ save face** save face は「面目を保つ」で正反対。lose face は「面目を失う」。どちらも face は無冠詞。face-saving（面目を保つための）という形容詞もある。

0434 □□□

She lost her ＿＿＿＿ on the icy road and fell, but luckily she wasn't hurt.

① foot　② weight
③ step　④ balance

④ lose one's balance バランスを失う；よろける

訳 彼女は凍った道でバランスを崩して転んだが、幸いけがはなかった。

解説 「バランスを失う・よろける」は lose one's balance。lose weight は「体重が減る」で、転ぶ原因にならない。lose one's step / lose one's foot は決まった表現にならない（足を滑らせるなら lose one's footing）。

区別 **lose one's balance ⇔ lose one's footing** lose one's footing は「足を踏み外す・足場を失う」で、足元が滑る原因に重点。lose one's balance は「体の釣り合いを失う」で、原因は問わない。どちらもよろける場面で使う。

0435 ☐☐☐

She worked as a nurse for years before she made a name for ＿＿＿＿ as a novelist.

① herself　② her
③ hers　④ she

① make a name for oneself 名を上げる；有名になる

訳 彼女は何年も看護師として働いた後、小説家として名を上げた。

解説 「名を上げる」は make a name for oneself で、主語 she と同じ人なので再帰代名詞 herself。her にすると別の女性のために名を作る意味になる。hers（彼女のもの）や主格 she は前置詞 for の後ろの形として合わない。

区別 **make a name for oneself ⇔ call A names** call A names は「A の悪口を言う」で、names は複数。make a name for oneself は「名を上げる」で a name は単数。見分け方：悪口なら call ~ names、評判を得るなら make a name。

0436 ☐☐☐

My English teacher paid me a ＿＿＿＿ on my essay, and I felt very proud.

① comment　② complement
③ complaint　④ compliment

④ pay A a compliment A をほめる

訳 英語の先生が私の作文をほめてくれたので、私はとても誇らしく感じた。

解説 「A をほめる」は pay A a compliment で、compliment（賛辞）。complement は「補うもの」で、つづりの似たひっかけ。complaint は「苦情」で、誇らしく感じた理由にならない。comment は make a comment とは言うが pay A a comment とは言わない。

区別 **pay A a compliment ⇔ complement** complement は「補うもの・補完する」（The wine complements the dish）。compliment は「ほめ言葉」。発音は同じでつづりが e と i で違う。見分け方：ほめるなら compliment（i）。

0437 ☐☐☐

She put her heart ＿＿＿＿ the school play, and everyone said it was the best one ever.

① at　② on
③ into　④ for

③ put one's heart into ~ ～に心を込める；～に打ち込む

訳 彼女は学校の劇に心を込めて取り組み、誰もがこれまでで最高の劇だと言った。

解説 「～に心を込める・打ち込む」は put one's heart into ~。心を注ぎ込む先は into（中へ）で示す。on / at / for は put one's heart と組んでこの意味にならない（set one's heart on ~ は「～を強く望む」で別の表現）。

区別 **put one's heart into ~ ⇔ learn ~ by heart** learn ~ by heart は「～を暗記する」で、heart は無冠詞・by と組む。put one's heart into ~ は「心を込める」で所有格＋ into。見分け方：暗記なら by heart、熱意を注ぐなら put one's heart into。

0438 □□□

Sorry, I'm running _____ because of heavy traffic. I'll be there in about ten minutes.

① late ② lately
③ later ④ latest

① run late （予定より）遅れる

訳 ごめんなさい、渋滞のせいで遅れています。10 分くらいで着きます。

解説 「（予定より）遅れている」は be running late。lately は「最近」という副詞で遅れの意味がない。later は「後で」で、running later では遅刻の連絡にならない。latest は「最新の」で意味が合わない。

区別 **run late ⇔ lately** lately は「最近」という副詞で、遅れの意味はない（I haven't seen him lately）。run late の late は「遅れて」。見分け方：遅れを言うなら late、「近ごろ」なら lately。

0439 □□□

The secret meeting between the two leaders set the _____ for a peace agreement.

① step ② floor
③ stage ④ stand

③ set the stage for ~
～の準備を整える；～のお膳立てをする

訳 2 人の指導者の秘密会談が、和平合意への準備を整えた。

解説 「～の準備を整える・お膳立てをする」は set the stage for ~ で、stage に決まっている。set the floor / set the step / set the stand は決まった表現にならない（take the floor は「発言する」、take a stand は「立場をとる」で別の表現）。

区別 **set the stage for ~ ⇔ pave the way for ~** pave the way for もほぼ同じ「～への道を開く・～を容易にする」。set the stage for は「（舞台を用意するように）条件を整える」。どちらも for ＋後に起こる出来事で、言い換えられることが多い。

0440 □□□

Dinner is almost ready. Could you _____ the table, please?

① set ② make
③ put ④ do

① set the table 食卓の用意をする

訳 夕食はもうすぐできるよ。食卓の用意をしてくれる？

解説 「食卓の用意をする」は set the table（英国では lay the table も可）。make は make the bed（ベッドを整える）と混同した誤り。put the table では「テーブルを置く」になり、食器を並べる意味にならない。do the table も決まった言い方ではない。

区別 **set the table ⇔ clear the table** clear the table は「食卓を片付ける」で、食後の動作。set the table は食前の準備。見分け方：並べるなら set、片付けるなら clear。

0441 ☐☐☐

The custom of giving chocolate on Valentine's Day took ＿＿＿＿ in Japan in the 1970s.

① root　② seed
③ part　④ care

① take root　根づく；定着する

訳 バレンタインデーにチョコレートを贈る習慣は、1970 年代に日本で定着した。

解説 習慣が「定着する・根づく」は take root。take seed は決まった表現ではない。take part は in を伴い「参加する」、take care は「気をつける・世話をする」で、習慣が定着する意味にならない。

区別 **take root ⇔ put down roots**　put down roots は「（人が）その土地に落ち着く・定住する」で、主語は人、roots は複数。take root は「（習慣・考えが）定着する」で、主語は物事、root は単数無冠詞。

0442 ☐☐☐

I have corresponded ＿＿＿＿ a pen pal in Canada since I was in junior high school.

① at　② to
③ with　④ for

③ correspond with ~　（人）と文通する；～と一致する

訳 私は中学生のときから、カナダのペンフレンドと文通している。

解説 人と「文通する」は correspond with ~。correspond to は「～に相当する・対応する」で、後ろに人を置いて文通の意味にならない。at / for は correspond と組まない。中学生のときから続いている文通の話。

区別 **correspond with ~ ⇔ correspond to ~**　correspond to は「～に相当する・～に対応する」で、別の物と同じ役割を持つこと。correspond with ＋ 人は「文通する」。見分け方：後ろが人で手紙のやりとりなら with、物と物の対応・相当なら to。

0443 ☐☐☐

＿＿＿＿ heart. Your English is getting better every day, and you'll pass next time.

① Have　② Lose
③ Take　④ Give

③ take heart　元気を出す；勇気づけられる

訳 元気を出して。あなたの英語は日に日に上達しているから、次はきっと合格するよ。

解説 励まして「元気を出して」は Take heart.。Lose heart は「落胆する」で、上達しているという励ましと逆。Have heart は決まった形ではなく（have a heart は「思いやりを持って」）、Give heart も普通言わない。

区別 **take heart ⇔ lose heart**　lose heart は「落胆する・やる気をなくす」で正反対。take heart は「元気を出す」。見分け方：気持ちを奮い立たせるなら take、沈むなら lose。どちらも heart は無冠詞。

確認テスト 2　動詞の熟語｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0230 村人たちはすぐに新しく来た人を仲間として受け入れた。
The villagers soon **accepted** the newcomer as one of them.

0231 ボランティアが職員の公園の清掃を手伝った。
Volunteers **assisted** the staff in cleaning the park.

0232 時計が遅れていたので、私はもう少しで終電に乗り遅れるところだった。
I came **near** to missing the last train because my watch was slow.

0233 両親は彼女の留学に同意した。
Her parents **consented** to her studying abroad.

0234 先生はおとなしい生徒たちを議論に引き込もうとした。
The teacher tried to **engage** the quiet students in discussion.

0235 地図なしでようやくホテルにたどり着いた。
We finally found our **way** to the hotel without a map.

0236 彼女は美しい歌声で審査員を感心させた。
She **impressed** the judges with her beautiful voice.

0237 小麦粉に卵 2 個と牛乳少々を混ぜなさい。
Mix the flour with two eggs and some milk.

0238 学んだことを自分の経験と結びつけてみよう。
Try to **relate** what you learn to your own experience.

0239 会社は彼女の頑張りにボーナスで報いた。
The company **rewarded** her with a bonus for her hard work.

0240 彼は古い自転車を中古のスケートボードと交換した。
He **traded** his old bike for a used skateboard.

0241 両親は私の友だち選びに決して口を出さない。
My parents never interfere **in** my choice of friends.

0242 王子は 20 歳で王位を継いだ。
The prince succeeded **to** the throne at the age of twenty.

0243 先生は生徒を一人ずつ別々のグループに振り分けた。
The teacher **assigned** each student to a different group.

0244 その歌手は新しいアルバムで有名なアーティストと共作した。
The singer **collaborated** with a famous artist on her new album.

0245 彼は私の新しい髪型を褒めてくれた。
He **complimented** me on my new hairstyle.

0246 失敗への恐れは新しいことに挑戦する妨げになりうる。
Fear of failure can **hinder** you from trying new things.

0247 学校は全保護者に予定の変更をメールで知らせる。
The school will **notify** all parents of the schedule change by email.

0248 古い自転車を手放す気にはなれなかった。
I couldn't bear to **part** with my old bicycle.

0249 よい本を読めば誰でも得るものがある。
Everyone can **profit** from reading good books.

0250 私たちのチームは全国大会の出場権を得た。
Our team **qualified** for the national tournament.

0251 図書館の利用者は 2 時間までに制限されている。
Visitors are **restricted** to two hours in the library.

0252 彼の説明は少し変だと私には思えた。
His explanation **struck** me as a little strange.

0253 囚人たちは看守の命令に服従するのを拒んだ。
The prisoners refused to **submit** to the guards' orders.

0254 ガイドは城の歴史を私たちに教えてくれた。
The guide **acquainted** us with the history of the castle.

0255 その課程には毎年 50 人しか入学を許されない。
Only fifty students are **admitted** to the course each year.

0256 警察はその男を飲酒運転で逮捕した。
The police **arrested** the man for drunk driving.

0257 人混みの中、女の子は母親の腕にしがみついた。
The little girl **clung** to her mother's arm in the crowd.

0258 彼の話は目撃者の証言と食い違っている。
His story **conflicts** with what the witness said.

0259 ケーキを 8 つに切ってください。
Cut the cake into eight pieces.

0260 列車は 10 時 15 分に 3 番線から発車する。
The train **departs** from Platform 3 at 10:15.

0261 最寄りの駅への道を教えていただけますか。
Could you **direct** me to the nearest station?

0262 両親は彼女が学校を辞めるつもりなのをよく思わなかった。
Her parents **disapproved** of her plan to quit school.

0263 ホテルの部屋には快適なベッドが備えてある。
The hotel rooms are **furnished** with comfortable beds.

0264 休日は一日中漫画を読みふける。
On holidays, I **indulge** in reading comics all day.

0265 組合は賃上げを求めて会社と交渉した。
The union **negotiated** with the company for higher wages.

0266 数学を難しくて退屈だと受け取る生徒もいる。
Some students **perceive** math as difficult and boring.

0267 市長は優勝者に賞を贈った。
The mayor **presented** a prize to the winner.

0268 人質は 1 週間後に解放された。
The hostages were **released** from captivity after a week.

0269 両親は彼女の合格のご褒美をくれた。
Her parents rewarded her **for** passing the exam.

0270 費用を 3 等分しよう。
Let's **split** the cost into three equal parts.

0271 その選手は薬物使用のため金メダルを剝奪された。
The athlete was **stripped** of his gold medal for using drugs.

0272 男はナイフで店員を脅した。
The man **threatened** the clerk with a knife.

0273 父は大阪支社に転勤になった。
My father was **transferred** to the Osaka office.

0274 クラスの大半が学級委員長にミカを選んだ。
Most of the class voted **for** Mika as class president.

0275 チームは当初の予定を厳格に守った。
The team strictly **adhered** to the original schedule.

0276 洪水の後、町は政府に援助を求めた。
The town **appealed** to the government for help after the flood.

0277 新しい規則で、生徒は授業中に携帯を使うことを禁じられている。
The new rule **bars** students from using phones during class.

0278 この古い家は 50 年で 3 回持ち主が変わった。
This old house has changed **hands** three times in fifty years.

0279 今年は私の誕生日が文化祭と重なる。
This year, my birthday **coincides** with the school festival.

0280 航空会社は大幅な遅れについて乗客に補償した。
The airline **compensated** the passengers for the long delay.

0281 スピーチは 5 分以内にしてください。
Please **confine** your speech to five minutes.

0282 先生はその少年に説明を求めた。
The teacher **demanded** an explanation of the boy.

0283 彼女は理科にもスポーツにも秀でている。
She **excels** in both science and sports.

0284 コアラは主にユーカリの葉を食べている。
Koalas **feed** mainly on eucalyptus leaves.

0285 おじはいつも自分の意見を人に押しつける。
My uncle always **forces** his opinions on others.

0286 その会議から役に立つ助言をたくさん得た。
I **got** a lot of useful advice out of the meeting.

0287 多くの人は幸せをお金をたくさん持つことと同じだと考えている。
Many people **identify** happiness with having a lot of money.

0288 多くの読者がその物語の内気な主人公に共感する。
Many readers **identify** with the shy hero of the story.

0289 部屋の料金を問い合わせるためにホテルに電話した。
I called the hotel to **inquire** about room prices.

0290 給料が多ければ人がもっと熱心に働くのは当然のことだ。
It stands to **reason** that people work harder when they are paid more.

0291 何も隠さないで。本当のことを言って。
Don't **keep** anything from me. Tell me the truth.

0292 薬は子どもの手の届かない所に保管してください。
Keep medicines out of the reach of children.

0293 この辺りでいい歯医者を知りませんか。
Do you know **of** a good dentist near here?

0294 子どもたちは空き瓶で船を作った。
The children **made** a boat out of empty bottles.

0295 雨にもかかわらず、試合を続行することになった。
Despite the rain, they decided to **proceed** with the game.

0296 彼はささいなことで兄とよく口げんかする。
He often **quarrels** with his brother about small things.

0297 多くの十代はどこかの時点で親に反抗する。
Many teenagers **rebel** against their parents at some point.

0298 この薬で頭痛が楽になりますよ。
This medicine will **relieve** you of your headache.

0299 先生の助言に従って行動すべきだ。
You should **act** on your teacher's advice.

0300 猛犬注意！
Beware of the dog!

0301 新しい証拠がその古い説に疑問を投げかけている。
New evidence has cast **doubt** on the old theory.

0302 トマトは科学者によって果物に分類されている。
Tomatoes are **classified** as fruits by scientists.

0303 危うく終電に乗り遅れるところだった。
I came **close** to missing the last train.

0304 強いチームを作ったのはそのコーチの功績だとされている。
The coach is **credited** with building a strong team.

0305 医者は彼の病気をインフルエンザと診断した。
The doctor **diagnosed** his illness as the flu.

0306 失敗をくよくよ考えないで。そこから学んで前に進もう。
Don't **dwell** on your mistakes. Learn from them and move on.

0307 そのシェフは新しいレシピを試すのが好きだ。
The chef likes to **experiment** with new recipes.

0308 ついにその珍しい本を１冊手に入れた。
I finally got **hold** of a copy of the rare book.

0309 工事の絶え間ない騒音に私はいらいらした。
The constant noise from the construction got on my **nerves** .

0310 お帰りになったら、ご両親によろしくお伝えください。
When you get home, please give my **regards** to your parents.

0311 旅行中、天気はますます悪くなった。
The weather went from bad to **worse** during our trip.

0312 風邪から身を守るためにこまめに手を洗いなさい。
Wash your hands often to **guard** yourself against colds.

0313 君ならこの問題を解決できると信じている。
I have **faith** in your ability to solve this problem.

0314 この規則は世界のほぼすべての言語に当てはまる。
This rule holds **true** for almost all the languages in the world.

0315 その演奏は申し分なかった。完璧だった。
The performance left **nothing** to be desired; it was perfect.

0316 彼女はすぐに両親によい知らせを伝えた。
She lost no **time** in telling her parents the good news.

0317 彼女は小説に夢中になって夕食のことを忘れた。
She lost **herself** in the novel and forgot about dinner.

0318 彼は人気のスマホゲームを開発して一財産築いた。
He made a **fortune** by developing a popular smartphone game.

0319 父親は彼を医者にしたがっていた。
His father wanted to **make** a doctor of him.

0320 祖父は 65 歳で教職を退いた。
My grandfather **retired** from teaching at sixty-five.

0321 私はその店に一度も足を踏み入れたことがない。
I have never set **foot** in that shop.

0322 ごみを燃えるものと燃えないものに分別してください。
Please **sort** the garbage into burnable and non-burnable items.

0323 練習しなければ、我々のチームに勝ち目はない。
Without practice, our team doesn't stand a **chance** of winning.

0324 そんなに少ししか寝なければ疲れるのは当然だ。
It stands to **reason** that you'll feel tired if you sleep so little.

0325 父は新聞 2 紙と科学雑誌を定期購読している。
My father **subscribes** to two newspapers and a science magazine.

0326 突然の大雨にピクニックの人たちはみんな驚いた。
The sudden heavy rain took everyone at the picnic by **surprise** .

0327 お名前が呼ばれるまで、座ってお待ちください。
Please take a **seat** and wait until your name is called.

0328 彼は仕事を辞めたかったが、考え直してやめた。
He wanted to quit his job, but he thought **better** of it.

0329 試験の後、彼はアルバイトに打ち込んだ。
After the exam, he **threw** himself into his part-time job.

0330 男は老婦人をだましてお金を渡させた。
The man **tricked** the old woman into giving him her money.

0331 何でも願えるとしたら、何を願う？
If you could **wish** for anything, what would it be?

0332 その男の子は祖父によく似ている。
The boy bears a strong **resemblance** to his grandfather.

0333 高速道路でトラックがバスと衝突した。
A truck **collided** with a bus on the highway.

0334 子どもたちは教室を紙の花で飾った。
The children **decorated** the classroom with paper flowers.

0335 皆が自分の役目を果たせば、計画は予定どおりに終わる。
If everyone does their **part**, we can finish the project on time.

0336 目撃者は事故の状況をはっきりと説明した。
The witness gave a clear **account** of the accident.

0337 この靴は何年も前に流行遅れになった。
These shoes went out of **fashion** years ago.

0338 冗談はいいけど、今回はやりすぎだよ。
Joking is fine, but you went too **far** this time.

0339 夢をあきらめるつもりはまったくない。
I have no **intention** of giving up my dream.

0340 演劇部に入ることを考え直している。
I'm having **second** thoughts about joining the drama club.

0341 最後の走者がゴールに近づくと、皆がかたずをのんだ。
Everyone held their **breath** as the last runner neared the finish line.

0342 先生は 2 人の少年の口論に割って入った。
The teacher **intervened** in the argument between the two boys.

0343 あることを話したら、秘密を守ってくれる？
Can you keep a **secret** if I tell you something?

0344 そのホテルのサービスには不満な点が多かった。
The service at the hotel left much to be **desired**.

0345 その作家は人生を長い旅にたとえた。
The writer **likened** life to a long journey.

0346 多くの人がその地震で命を落とした。
Many people lost their **lives** in the earthquake.

0347 パンがなかったのでクラッカーで間に合わせた。
We had no bread, so we made **do** with crackers.

0348 新しい公園を造るため、古い家々が取り壊された。
The old houses were pulled down to make **way** for a new park.

0349 外科医はけがをした選手を 3 時間かけて手術した。
The surgeon **operated** on the injured player for three hours.

0350 計画の成功はみんなの協力にかかっている。
The success of the plan **rests** on everyone's cooperation.

0351 ケンは率先して浜辺の清掃活動を企画した。
Ken took the **initiative** in organizing the beach cleanup.

0352 彼は両親の忠告に耳を貸さなかった。
He turned a **deaf** ear to his parents' advice.

0353 けがをした走者はレースを棄権しなければならなかった。
The injured runner had to **withdraw** from the race.

0354 オンライン授業は、パンデミックの後も定着している。
Online classes are here to **stay**, even after the pandemic.

0355 私は平日はたいてい 11 時ごろに寝る。
I usually go to **sleep** around eleven on weeknights.

0356 明日までにこのレポートを終わらせなければならない。
I've **got** to finish this report by tomorrow.

0357 図書館では音を立てないでください。
Please don't make a **noise** in the library.

0358 マスコミはその歌手の突然の引退を大きく取り上げた。
The media made **much** of the singer's sudden retirement.

0359 余計なお世話だ。これは君には関係ない。
Mind your own **business**; this has nothing to do with you.

0360 エイプリルフールに先生をからかった。
We played a **joke** on our teacher on April Fools' Day.

0361 彼女は語学力をツアーガイドとして大いに役立てた。
She put her language skills to good **use** as a tour guide.

0362 客たちは大きなテーブルの周りに座って話し始めた。
The guests **seated** themselves around the large table and began to talk.

0363 私たちは丸1日かけて京都の名所を観光した。
We spent the whole day seeing the **sights** of Kyoto.

0364 彼女は 100 メートル走で世界新記録を出した。
She set a new world **record** in the 100-meter race.

0365 スピーチの前、彼女は落ち着くために深呼吸をした。
Before the speech, she took a **deep** breath to calm down.

0366 祖父はたいてい昼食後に昼寝をする。
My grandfather usually takes a **nap** after lunch.

0367 先生は 2 人の生徒の口論でどちらの味方もしなかった。
The teacher refused to take **sides** in the argument between the two students.

0368 クラスメートに悪口を言われて、男の子は泣いた。
The boy cried because his classmates called him **names** .

0369 誤解しないで。君のアイデアは本当に気に入っているんだ。
Don't get me **wrong** ; I really like your idea.

0370 早く服を着ないとバスに乗り遅れるよ。
Hurry up and get **dressed** , or you'll miss the bus.

0371 何があったのか説明する機会をもう一度ください。
Please give me one more **chance** to explain what happened.

0372 彼女はよいデザインを見る目があるので、意見を聞いた。
She has an **eye** for good design, so I asked her opinion.

0373 その男の子は思いどおりにならないといつも泣く。
The little boy cries whenever he can't have his **own** way.

0374 彼女には真実を話す勇気があった。
She had the **courage** to tell the truth.

0375 警察は火事の原因を調べている。
The police are **inquiring** into the cause of the fire.

0376 具合の悪い妹のそばにいてあげようと家にいた。
I stayed at home to keep my sick sister **company** .

0377 医師は新しい治療法に遅れないよう専門誌を読まなければならない。
Doctors must read journals to keep **abreast** of new treatments.

0378 空港で時間をつぶすために雑誌を読んだ。
I read a magazine to **kill** time at the airport.

0379 がっかりしないで。来年また挑戦できるよ。
Don't lose **heart** ; you can try again next year.

0380 彼の年齢を考慮してあげるべきだ。まだ 6 歳なんだから。
We should make **allowances** for his age; he is only six.

0381 けんかすると、母はいつも妹の味方をする。
My mother always **sides** with my little sister when we argue.

0382 我々のチームは試合の後半でリードを奪った。
Our team took the **lead** in the second half of the game.

0383 講演者は気候変動の問題に軽く触れただけだった。
The speaker only **touched** on the problem of climate change.

0384 新しい予定に慣れる必要がある。
You need to accustom **yourself** to the new schedule.

0385 彼女にとっては、仕事よりもいつも家族が一番大事だ。
For her, family always comes **first**, even before her job.

0386 日本では今、18 歳で成人になる。
In Japan, people now come of **age** at eighteen.

0387 当社は多くの国の企業と取引している。
Our company does **business** with firms in many countries.

0388 多くの高齢者が電話詐欺の被害にあう。
Many elderly people fall **victim** to phone scams.

0389 勉強時間を最大限に生かすこつを紹介しよう。
Here are some tips to get the **most** out of your study time.

0390 本題に入ってください。あまり時間がありません。
Please get to the **point**; we don't have much time.

0391 来週必ずお金を返すと約束します。
I give you my **word** that I'll pay you back next week.

0392 何を勉強したいのかよく考えるべきだ。
You should give some **thought** to what you want to study.

0393 今は詳しく述べる時間がない。
I don't have time to go into **detail** now.

0394 私は 2 年間英語で日記をつけている。
I have kept a **diary** in English for two years.

0395 何人かの客がパーティーの騒音について苦情を言った。
Several guests made a **complaint** about the noise from the party.

0396 クッキーを焼いている間に子どもたちは台所を散らかした。
The kids made a **mess** of the kitchen while baking cookies.

0397 十分に眠らないと、後でその代償を払うことになる。
If you don't sleep enough, you'll pay the **price** later.

0398 大事をとって早めに家を出よう。
Let's play it **safe** and leave home early.

0399 これらのファイルを日付順に整理してください。
Please put these files in **order** by date.

0400 彼は困っている友人を決して見捨てなかった。
He never turned his **back** on a friend in trouble.

0401 医者は彼に 1 か月酒を控えるように言った。
The doctor told him to **abstain** from alcohol for a month.

0402 犯罪の増加を貧困のせいだとする人もいる。
Some **ascribe** the rise in crime to poverty.

0403 高い罰金で人々は違法駐車をやめる。
High fines **deter** people from parking illegally.

0404 初め、科学者たちは彼の考えをばかげたものとして退けた。
At first, scientists **dismissed** his idea as nonsense.

0405 堅苦しい挨拶は抜きにして、会議を始めましょう。
Let's **dispense** with the formalities and start the meeting.

0406 あなたの考えをもう少し詳しく説明してもらえますか。
Could you **elaborate** on your idea a little more?

0407 彼女は貯金を銀行に預けた。
She **entrusted** her savings to the bank.

0408 新しいソフトに慣れるために少し時間を取りなさい。
Take some time to **familiarize** yourself with the new software.

0409 彼は歩道に駐車して罰金を科された。
He was **fined** for parking his car on the sidewalk.

0410 先生は英語の授業にゲームを取り入れた。
The teacher **incorporated** games into her English lessons.

0411 その学校は留学生が日本社会に溶け込めるよう支援している。
The school helps foreign students **integrate** into Japanese society.

0412 そんな小さな間違いで騒ぎ立てるな。
Don't make a **fuss** about such a small mistake.

0413 私たちは地元のガイドと一緒に 3 日間パリの名所を見物した。
We spent three days seeing the **sights** of Paris with a local guide.

0414 彼女は日差しから目を守ろうと手をかざした。
She raised her hand to **shield** her eyes from the sun.

0415 彼女はコーチの助言を心に刻み、毎朝練習した。
She took her coach's advice to **heart** and practiced every morning.

0416 何か月もの話し合いの末、新しい図書館の計画が具体化し始めた。
After months of discussion, the plan for the new library began to take **shape** .

0417 勉強に打ち込めば試験に受かるよ。
If you apply **yourself** to your studies, you will pass the exam.

0418 その知らせを彼女にどう伝えればいいか分からなかった。
I didn't know how to break the **news** to her.

0419 階段を駆け上がった後、立ち止まって息を整えた。
After running up the stairs, I stopped to catch my **breath** .

0420 仕事を選ぶとき、多くの要因が関わってくる。
When choosing a job, many factors come into **play** .

0421 角を曲がると海が見えてきた。
As we turned the corner, the ocean came into **view** .

0422 バスは交差点で急停車した。
The bus came to a sudden **stop** at the crossing.

0423 その静かな町は夏祭りの間活気づく。
The quiet town comes to **life** during the summer festival.

0424 彼はようやく正気に戻って謝った。
He finally came to his **senses** and apologized.

0425 父はたいてい土曜日に買い物をする。
My father usually does the **shopping** on Saturdays.

0426 一輪車は難しいけど、そのうちこつがつかめるよ。
Riding a unicycle is hard, but you'll get the **hang** of it.

0427 勘弁してよ。一日中働いていたんだから。
Give me a **break** ; I've been working all day.

0428 ブラウン先生の退職パーティーを開く予定だ。
We are going to give a **party** for Mr. Brown's retirement.

0429 ちょっとした親切が新しい友達を作るのに大いに役立つ。
A little kindness can go a **long** way in making new friends.

0430 両親は迷子の犬を見つけるためにあらゆる手を尽くした。
The parents went to great **lengths** to find their lost dog.

0431 生徒は校則について発言権を持つべきだ。
Students should have a **say** in the school rules.

0432 君が自分の作品を誇りに思うのももっともだ。
You have **every** reason to be proud of your work.

0433 彼はチームの前で面目を失いたくなかった。
He didn't want to lose **face** in front of his team.

0434 彼女は凍った道でバランスを崩して転んだ。
She lost her **balance** on the icy road and fell.

0435 彼女は児童書作家として名を上げた。
She made a **name** for herself as a children's book writer.

0436 先生は私の字をほめてくれた。
The teacher paid me a **compliment** on my handwriting.

0437 彼は書いた歌の 1 曲 1 曲に心を込めた。
He put his **heart** into every song he wrote.

0438 ごめん、遅れてる。10 分で着くよ。
Sorry, I'm running **late** ; I'll be there in ten minutes.

0439 蒸気機関の発明は産業革命の下地を作った。
The invention of the steam engine set the **stage** for the Industrial Revolution.

0440 私が料理している間に夕食の食卓の準備をしてくれる？
Could you set the **table** for dinner while I cook?

0441 バレンタインデーにチョコレートを贈る習慣はずっと前に日本に根づいた。
The custom of giving chocolate on Valentine's Day took **root** in Japan long ago.

0442 彼女はオーストラリアのペンフレンドと 3 年間文通している。
She has corresponded **with** a pen pal in Australia for three years.

0443 元気を出して。次のテストではもっとできるよ。
Take **heart** ; you will do better on the next test.

CHAPTER 3

be＋形容詞＋前置詞

be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。 No.0444〜0531（88 問）

問題

0444 □□□

Mozart was gifted ＿＿＿＿ an extraordinary talent for music from early childhood.

① to ② for
③ with ④ by

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ be gifted with ~ 〜（才能など）に恵まれている

訳 モーツァルトは幼いころから、並外れた音楽の才能に恵まれていた。

解説 be gifted with ~ で「〜に恵まれている」。持っている才能を with で示す（be blessed with と同じ）。to は give A to B の形で使う前置詞で gifted とは組まない。by は受け身の行為者を表すが、才能は行為者ではない。for は a talent for music のように talent の後ろで使う。

区別 **be gifted with ~ ⇔ be blessed with ~** どちらも with を取り「〜に恵まれている」。gifted は主に才能・能力、blessed は才能のほか家族・天気・健康・幸運など幅広い。見分け方：才能なら両方可、天気や子どもなど才能以外なら blessed。

0445 □□□

Don't judge people by their looks. A person should be known ＿＿＿＿ what he does, not by what he wears.

① by ② as
③ to ④ for

① be known by ~ 〜で分かる；〜で判断される

訳 人を見た目で判断してはいけない。人は着ているものではなく、何をするかで判断されるべきだ。

解説 「何をするかで判断されるべきだ」と判断の基準を示すので by。後ろの not by what he wears と対になっている。to の後ろには知っている人が来る。as は「〜として」で、主語と後ろの名詞が同じものになる場合に使う。for は「〜で有名」の意味になり、not by と対にならない。

区別 **be known by ~ ⇔ be known to ~** be known to ＋ 人 は「（人）に知られている」で、to の後ろは知っている人。by の後ろは判断の手がかり。見分け方：知っている人なら to、何から判断されるかなら by。

0446 □□□

Excuse me, is this the train bound ＿＿＿＿ Osaka?

① to ② at
③ for ④ in

③ be bound for ~ 〜行きである

訳 すみません、これは大阪行きの電車ですか。

解説 「〜行き」は be bound for ~ で、行き先を示す方向の for（leave for ~ と同じ）。to は be bound to do（きっと〜する）の形で、後ろは動詞の原形になる。at / in は場所そのものを表し、行き先を示せない。

区別 **be bound for ~ ⇔ be bound to do** be bound to do は「きっと〜する」（He is bound to win）、「〜する義務がある」。be bound for ＋ 場所は「〜行き」。見分け方：for の後ろが地名なら行き先、to の後ろが動詞の原形なら「きっと〜する」。

0447 ☐☐☐

She is certain ＿＿＿＿ passing the exam; she has studied hard every day for a year.

① of　② at
③ for　④ to

① be certain of ～　～を確信している

訳 彼女は試験に合格すると確信している。1年間毎日一生懸命勉強してきたのだ。

解説 後ろが動名詞 passing なので、前置詞 of を使った be certain of ~ing（～を確信している）。to は be certain to do の形で後ろが原形 pass になるので、passing とは組まない。at / for は certain と組まない。1年間毎日勉強したという理由とも合う。

区別 **be certain of ~ ⇔ be certain to do**　He is certain of winning. は「彼（本人）が勝利を確信している」。He is certain to win. は「彼はきっと勝つ（と話し手が思っている）」。確信しているのが主語か話し手かが違う。

0448 ☐☐☐

The students are eager ＿＿＿＿ the summer vacation to begin.

① for　② of
③ at　④ to

① be eager for ～　～を熱望している

訳 生徒たちは夏休みが始まるのを待ちわびている。

解説 be eager for A to do で「A が～することを熱望する」。ここでは A ＝ the summer vacation、to do ＝ to begin。to を入れると eager to the summer vacation となり、to の後ろに名詞が来て形が崩れる（eager to do の to は不定詞）。of / at は eager と組まない。

区別 **be eager for ~ ⇔ be eager to do**　for の後ろは名詞、to の後ろは動詞の原形。be eager for A to do は「A が～することを強く望む」。見分け方：空所の後ろが名詞（＋ to do）なら for、原形なら to。

0449 ☐☐☐

My brother is very keen ＿＿＿＿ take part in the national speech contest this year.

① on　② for
③ at　④ to

④ be keen to do　しきりに～したがる

訳 兄は今年、全国スピーチコンテストにぜひ出場したいと思っている。

解説 後ろが動詞の原形 take なので、be keen to do（しきりに～したがる）。on は前置詞なので keen on taking のように動名詞が必要で、原形は続かない。for / at も原形の前に置けない。全国スピーチコンテストに出たがっているという文意に合う。

区別 **be keen to do ⇔ be keen on ~**　keen on の後ろは名詞・動名詞（keen on tennis / keen on going）。keen to の後ろは原形。見分け方：空所の後ろが原形なら to、~ing や名詞なら on。

0450 ☐☐☐

She is blessed _____ a wonderful talent for music and plays three instruments.

① by ② of
③ with ④ in

③ be blessed with ~ ～に恵まれている

訳 彼女は素晴らしい音楽の才能に恵まれていて、3 つの楽器を演奏する。

解説 「～に恵まれている」は be blessed with ~ で、恵みとして持っているものを with で示す。by は祝福する行為者（神など）を示す前置詞で、才能そのものには使わない。of / in も blessed と組んでこの意味を作らない。音楽の才能に恵まれ 3 つの楽器を弾く、という文意に合う。

区別 **be blessed with ~ ⇔ be endowed with ~** be endowed with ~ も「（才能など）に恵まれている」で、生まれつきの資質に使う硬い表現。be blessed with はより広く、天気・家族などにも使う。どちらも with。

0451 ☐☐☐

Doctors say this new medicine is almost completely free _____ side effects.

① to ② of
③ at ④ for

② be free of ~ ～がない；～を免れている

訳 医師たちによると、この新薬には副作用がほとんどまったくないそうだ。

解説 「副作用がない」は be free of ~ で、of は「～から離れて」。to は be free to do（自由に～してよい）の形で、後ろが動詞の原形になる。for / at は free と組んで「～がない」の意味を作らない（free for ~ は「～にとって無料・暇な」）。

区別 **be free of ~ ⇔ be free to do** be free to do は「自由に～してよい」（You are free to leave）。be free of ~ は「～がない」。見分け方：to の後ろが動詞なら許可、of の後ろが名詞なら「～がない」。

0452 ☐☐☐

This type of rice is specific _____ the northern part of the country.

① of ② from
③ to ④ with

③ be specific to ~ ～に特有である；～に限られる

訳 この種類の米は、その国の北部に特有のものだ。

解説 be specific to ~ で「～に特有である」。前置詞は to（peculiar to / unique to と同じ）。of は characteristic of で使う前置詞で specific には合わない。from / with も specific と組んで「特有の」の意味にならない。

区別 **be specific to ~ ⇔ be characteristic of ~** 意味はほぼ同じ「～に特有の」だが、前置詞が違う。specific / peculiar / unique は to、characteristic は of。見分け方：形容詞を確かめてから前置詞を選ぶ。

0453 ☐☐☐

The police officer was suspicious ＿＿＿＿ the man's story because it kept changing.

① of　② with
③ to　④ at

① be suspicious of ~　～を疑っている；～を怪しいと思う

訳 その男の話が何度も変わるので、警察官はそれを怪しいと思った。

解説 「～を怪しいと思う」は be suspicious of ~ で、気持ちの対象を示す of。at / with / to は suspicious と組んで疑う対象を示さない。話が何度も変わるので怪しいと思った、という理由とも合う。

区別 **be suspicious of ~ ⇔ suspect / doubt**　suspect that ~ は「～ではないかと疑う（そうだと思う）」、doubt that ~ は「～ではないと思う」。be suspicious of ~ は人・物を信用していない状態。見分け方：「怪しい・信用できない」なら suspicious of。

0454 ☐☐☐

The new government is confronted ＿＿＿＿ many serious problems, such as rising prices and unemployment.

① to　② at
③ for　④ with

④ be confronted with ~
～に直面している；～を突きつけられる

訳 新政府は、物価の上昇や失業など、多くの深刻な問題に直面している。

解説 「（問題）に直面している」は be confronted with ~ で、直面する問題を with で示す。to / at / for は confronted と組んで直面する対象を示さない。物価上昇や失業など多くの問題を抱えている、という文意に合う。

区別 **be confronted with ~ ⇔ be faced with ~**　be faced with ~ も「（困難）に直面している」で、意味はほぼ同じ。confront は「（問題や相手に）正面から向き合わせる」という対決の響きがやや強い。どちらも with で問題を示す。

0455 ☐☐☐

The result of the experiment was contrary ＿＿＿＿ what most scientists had expected.

① with　② to
③ against　④ from

② be contrary to ~　～に反している

訳 その実験の結果は、ほとんどの科学者が予想していたことと正反対だった。

解説 「～に反している」は be contrary to ~ で、前置詞は to。with / from / against は contrary と組まない（different from と混同した from、反対の意味から連想した against はひっかけ）。実験結果が多くの科学者の予想と反対だった、という文意に合う。

区別 **be contrary to ~ ⇔ on the contrary**　on the contrary は「それどころか・とんでもない」と、前の発言を強く否定して反対のことを言う副詞句。後ろに名詞は取らない。contrary to ~ は「～に反して」と前置詞句。

0456 ☐☐☐

She is very enthusiastic ＿＿＿＿ her new job and often stays late to learn more.

① with　② about
③ at　④ to

② be enthusiastic about ~
～に熱心である；～に夢中である

訳 彼女は新しい仕事にとても熱心で、もっと学ぶためによく遅くまで残っている。

解説 「～に熱心である」は be enthusiastic about ~ で、気持ちの対象を about で示す。with / to / at は enthusiastic と組んで熱心な対象を示さない。新しい仕事に熱心で遅くまで残って学ぶ、という文意に合う。

区別 **be enthusiastic about ~ ⇔ enthusiasm for ~** 名詞の enthusiasm は for を取ることが多い（her enthusiasm for music）。形容詞 enthusiastic は about を取る。品詞で前置詞が変わる点が狙われる。

0457 ☐☐☐

This old house is so badly damaged that it is not fit ＿＿＿＿ people to live in.

① to　② with
③ of　④ for

④ be fit for ~ ～に適している；～にふさわしい

訳 この古い家はひどく傷んでいて、人が住むのに適していない。

解説 be fit for A to do で「A が～するのに適している」。ここでは A ＝ people、to do ＝ to live in。to は be fit to do の形なら直後に動詞が来るが、ここは people という名詞なので不可。with / of は fit と組んで適している対象を示さない。

区別 **be fit for ~ ⇔ (as) fit as a fiddle** fit as a fiddle の fit は「健康な」。be fit for ~ の fit は「適した」。同じ fit でも、後ろに for が来れば「適した」と判断できる。

0458 ☐☐☐

She was so lost ＿＿＿＿ thought that she didn't even hear me call her name.

① in　② at
③ with　④ on

① be lost in ~ ～にふけっている；～に夢中になっている

訳 彼女はすっかり物思いにふけっていて、私が名前を呼んでも気づきさえしなかった。

解説 「物思いにふける」は be lost in thought で、前置詞は in。on / at / with は lost と組んで没頭の意味を作らない。名前を呼ばれても気づかないほど考え込んでいた、という文意に合う。

区別 **be lost in ~ ⇔ be absorbed in ~** be absorbed in ~ も「～に夢中になっている」で、作業・読書などへの集中。be lost in ~ は thought（考え）と組む「ぼんやり物思いにふける」が典型。どちらも in。

0459 ☐☐☐

This road is notorious ＿＿＿＿ its terrible traffic jams during rush hour.

① as　② with
③ for　④ by

③ be notorious for ~ ～で悪名高い

訳 この道路は、ラッシュアワーのひどい渋滞で悪名高い。

解説 「～で悪名高い」は be notorious for ~ で、悪名の理由を for で示す。as は be notorious as ~ で「～として悪名高い」となり、主語の道路と後ろの名詞が同じものになる場合に使うので、its traffic jams には合わない。with / by も notorious と組まない。

区別 **be notorious for ~ ⇔ be famous for ~** be famous / well-known for ~ はよい意味・中立的な「有名」。be notorious for ~ は悪い意味で有名。前置詞はどちらも for（理由）。

0460 □□□

Clean water is vital _____ the health of everyone in the village.

① with ② of
③ to ④ at

③ be vital to ~ ～に不可欠である

訳 きれいな水は、村のすべての人の健康に欠かせない。

解説 「～に不可欠である」は be vital to ~ で、「～にとって」を to で示す（be vital for ~ も可）。with / of / at は vital と組んで重要な対象を示さない。きれいな水が村人の健康に欠かせない、という文意に合う。

区別 **be vital to ~ ⇔ be indispensable to ~** be indispensable to / for ~ も「～に欠かせない」で同じ意味。vital は「命に関わるほど重要」という強さがある。どちらも to / for を取る。

0461 □□□

Regular exercise is beneficial _____ both body and mind.

① of ② with
③ at ④ to

④ be beneficial to ~ ～に有益である；～のためになる

訳 定期的な運動は、体と心の両方に有益である。

解説 be beneficial to ~ で「～に有益だ」（for も可）。of は be of benefit to（名詞 benefit を使う形）と混同させる選択肢で、beneficial of とは言わない。with / at も beneficial と組まない。

区別 **be beneficial to ~ ⇔ be of benefit to ~** be of benefit to は「of＋抽象名詞＝形容詞」の形で、be beneficial to と同じ意味。見分け方：of が付くなら名詞 benefit、付かないなら形容詞 beneficial。of beneficial のように混ぜない。

0462 □□□

His statement to the police was not consistent _____ the evidence found at the scene.

① to ② with
③ of ④ for

② be consistent with ~ ～と一致している；～と矛盾しない

訳 警察に対する彼の供述は、現場で見つかった証拠と一致していなかった。

解説 「～と一致している」は be consistent with ~。to / for / of は consistent と組んで比較の相手を示せない。be similar to の to や、be typical of の of と混同させる選択肢。

区別 **be consistent with ~ ⇔ be consistent in ~** be consistent in ~ は「～において一貫している」で、態度や行動にぶれがないこと。be consistent with ~ は「～と一致する・食い違わない」と二つの物を比べる。見分け方：比べる相手があれば with。

0463 □□□

Many experts are critical _____ the government's new energy policy.

① to ② of
③ at ④ for

② be critical of ~ ～に批判的である

訳 多くの専門家が、政府の新しいエネルギー政策に批判的である。

解説 「～に批判的だ」は be critical of ~。to を使うと be critical to ~（～に不可欠だ）になり、意味が変わる。for / at は critical と組んで批判の対象を示せない。

区別 **be critical of ~ ⇔ be critical to ~** be critical to ~ は「～にとって極めて重要だ・不可欠だ」（= be crucial to）。be critical of ~ は「～を批判している」。見分け方：前置詞 of なら批判、to なら重要。

0464 □□□

She is dedicated to ＿＿＿＿ children in poor countries get a good education.

① help　② helped
③ helping　④ be helped

③ be dedicated to ~
～に打ち込んでいる；～にささげられている

訳 彼女は、貧しい国の子どもたちがよい教育を受けられるよう手助けすることに打ち込んでいる。

解説 be dedicated to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 helping。help（原形）は不定詞の to と混同させる誤り。helped は過去形・過去分詞で前置詞の後ろに置けない。be helped は受け身の原形で、後ろの children とつながらない。

区別 **be dedicated to ~ ⇔ be devoted to ~** be devoted to も「～に打ち込む・献身的だ」で、人への愛情（a devoted mother）にもよく使う。dedicated は仕事・目的への真剣な取り組み。見分け方：意味はほぼ同じで、どちらも to＋名詞・動名詞と型をそろえて覚える。

0465 □□□

All his classmates were envious ＿＿＿＿ his success in the national contest.

① of　② with
③ for　④ to

① be envious of ~　～をうらやましく思う

訳 クラスメートはみんな、全国大会での彼の成功をうらやましく思った。

解説 「～をうらやむ」は be envious of ~。to / with / for は envious と組んで感情の対象を示せない。be angry with / be grateful for などほかの感情の形容詞の前置詞と混同させる選択肢。

区別 **be envious of ~ ⇔ be jealous of ~** jealous も「うらやむ」意味で使えるが、恋人などを取られるのではと心配する「嫉妬」の意味がある。envious は「他人の持っているものを欲しがる」だけ。見分け方：自分の物を奪われる不安なら jealous。

0466 □□□

This bag looks identical ＿＿＿＿ the one I lost on the train last week.

① from　② as
③ than　④ to

④ be identical to ~　～とまったく同じである

訳 このバッグは、先週電車でなくしたものとまったく同じに見える。

解説 be identical to ~ で「～とまったく同じ」（with も可）。from は different from の前置詞、as は the same as の as、than は比較級の後ろに置く語で、どれも identical とは組まない。

区別 **be identical to ~ ⇔ the same as ~** the same as は「～と同じ」で as を使う。identical は to [with] を使う。見分け方：same なら as、identical / similar なら to。different は from、と比較の形容詞ごとに前置詞を固める。

0467 □□□

Our school basketball team was no _____ for the national champions. We lost 98 to 40.

① game ② match
③ contest ④ rival

② be no match for ~ ～にはかなわない

訳 私たちの学校のバスケットボール部は、全国王者にはまったくかなわなかった。98 対 40 で負けた。

解説 「～にはかなわない」は be no match for ~。game / rival / contest も試合や競争相手に関係するが、be no ~ for の形で「かなわない」の決まった意味にはならない。

区別 **be no match for ~ ⇔ be a match for ~** be a match for は「～と互角だ・～に匹敵する」。no が付くと「かなわない」。見分け方：no の有無で意味が反対になる。

0468 □□□

In this word game, you must say a word that means the _____ of the word your partner says.

① against ② opposite
③ contrary to ④ opposed

② be opposite to ~ ～の反対側にある；～と正反対である

訳 この言葉遊びでは、相手が言った言葉と反対の意味の言葉を言わなければならない。

解説 冠詞 the の後ろで of が続くので名詞の opposite（the opposite of ~ で「～の反対のもの」）。opposed は形容詞で be opposed to ~ の形で使う。contrary to は前置詞句で the の後ろに置けない。against は前置詞で名詞にならない。

区別 **be opposite to ~ ⇔ the opposite of ~** be opposite to ~ / opposite ~ は形容詞・前置詞で位置や性質の反対、the opposite of ~ は名詞で「～の反対のもの」。見分け方：冠詞 the が付いて名詞になっていれば of、be 動詞の後ろで場所を言うなら to（または前置詞の opposite だけ）。

0469 □□□

Despite the poor economy, the president remains optimistic _____ the company's future.

① about ② with
③ to ④ of

① be optimistic about ~ ～に楽観的である

訳 景気は悪いが、社長は会社の将来について楽観的なままだ。

解説 「～について楽観的だ」は be optimistic about ~。of / with / to は optimistic と組まない。be afraid of / be satisfied with など、ほかの形容詞の前置詞と混同させる選択肢。

区別 **be optimistic about ~ ⇔ be pessimistic about ~** pessimistic は「悲観的な」で optimistic の反対。どちらも about を取る。見分け方：前置詞は同じなので、文脈で明るい見通しか暗い見通しかを判断する。

0470 □□□

Sorry, I can't talk right now. I'm a little pressed _____ time.

① with ② of
③ for ④ by

③ be pressed for time 時間に追われている

訳 ごめんなさい、今は話せないんです。ちょっと時間に追われていて。

解説 「時間に追われている」は be pressed for time。of は be short of time の前置詞で、pressed とは組まない。with / by も pressed と組んで時間不足の意味にならない。

区別 **be pressed for time ⇔ be short of ~** be short of も「～が足りない」で、time / money に使える。be pressed for は「～に追い立てられている」で、切迫感が強い。見分け方：前置詞が for なら pressed、of なら short。

0471 □□□

Because of its location, this area is especially prone ＿＿＿ earthquakes and floods.

① for　② with
③ of　④ to

④ be prone to ~ ～しがちである；～になりやすい

訳 その位置のため、この地域は特に地震や洪水が起こりやすい。

解説 be prone to ~ で「～が起こりやすい」。for / with / of は prone と組まない。名詞（earthquakes and floods）が続いても to は前置詞として使えるのがこの熟語の特徴。

区別 **be prone to ~ ⇔ tend to do** tend to do は「～する傾向がある」で、よいことにも悪いことにも使い、後ろは動詞の原形だけ。be prone to は悪いことが中心で、名詞も続けられる。見分け方：病気・災害・失敗など名詞が続くなら prone to。

0472 □□□

We were deeply ＿＿＿ at the news of his sudden death.

① shocking　② shock
③ shocked　④ to shock

③ be shocked at ~ ～にショックを受ける

訳 私たちは彼の突然の死の知らせに大きなショックを受けた。

解説 主語 we はショックを「受けた」側なので過去分詞 shocked。shocking は「（物事が）衝撃的な」で、人が主語だと「私たちが人を驚かせる存在だ」の意味になる。shock は be の後ろに原形が来てしまい、to shock も be shocked at の形にならない。

区別 **be shocked at ~ ⇔ shocking** shocking は物事が「衝撃を与える」性質。shocked は人が「衝撃を受けた」状態。見分け方：主語が人で気持ちなら -ed、主語が出来事なら -ing。surprised / surprising、amazed / amazing と同じ。

0473 □□□

Young children and older people are especially vulnerable ＿＿＿ heat stroke in summer.

① to　② from
③ of　④ against

① be vulnerable to ~ ～に弱い；～の被害を受けやすい

訳 幼い子どもや高齢者は、夏には特に熱中症にかかりやすい。

解説 「～に弱い・～の被害を受けやすい」は be vulnerable to ~。against は protect against（～から守る）の前置詞で、vulnerable とは組まない。from / of も vulnerable と組まない。

区別 **be vulnerable to ~ ⇔ be immune to ~** be immune to は「～に免疫がある・影響を受けない」で、vulnerable to の反対。どちらも to を取る。見分け方：同じ to なので、影響を受けやすいか受けないかを文脈で判断する。

0474 □□□

We were ＿＿＿ at how quickly the little boy solved the difficult puzzle.

① amazing　② amazed
③ amazement　④ amaze

② be amazed at ~ ～にびっくりする

訳 私たちは、その小さな男の子が難しいパズルをあっという間に解いたことにびっくりした。

解説 主語 we は驚かされた側なので過去分詞 amazed（be amazed at ~）。amazing は「驚くべき」で、私たちが人を驚かせる存在になってしまう。amaze は原形で be の後ろに置けない。amazement は名詞で、be amazement at とは言わない（in amazement なら可）。

区別 **be amazed at ~ ⇔ amazing** amazing は物事が「驚くべき」、amazed は人が「驚いた」。見分け方：主語が驚かせる側か、驚かされる側か。surprising / surprised と同じ使い分け。

0475 ☐☐☐

This kind of spicy food is characteristic ＿＿＿ the southern part of the country.

① of　② for
③ with　④ to

① be characteristic of ~
～に特有である；～の特徴である

訳 このような辛い料理は、その国の南部に特有のものだ。

解説 「～に特有だ」は be characteristic of ~。to は be peculiar to ~ の前置詞で、characteristic とは組まない。for / with も characteristic と組まない。

区別 **be characteristic of ~ ⇔ be peculiar to ~** be peculiar to ~ も「～に特有だ」だが前置詞は to。be characteristic of / be typical of は of。見分け方：形容詞ごとに前置詞を固める。

0476 ☐☐☐

She was delighted ＿＿＿ the birthday present her children gave her.

① for　② with
③ on　④ of

② be delighted with ~ ～を大いに喜んでいる

訳 彼女は子どもたちがくれた誕生日プレゼントを大いに喜んだ。

解説 「～を大いに喜ぶ」は be delighted with ~（at も可）。for / of / on は delighted と組まない。be proud of / be grateful for など、ほかの感情の形容詞の前置詞と混同させる選択肢。

注意 be delighted with [at] ~ / be delighted to do の形。pleased より喜びが強い。

0477 ☐☐☐

One mile is equivalent ＿＿＿ about 1.6 kilometers.

① with　② to
③ for　④ as

② be equivalent to ~ ～に相当する；～と同等である

訳 1 マイルは約 1.6 キロメートルに相当する。

解説 「～に相当する」は be equivalent to ~。with / as / for は equivalent と組まない。as は the same as の as と混同させる選択肢で、equivalent では to を使う。

区別 **be equivalent to ~ ⇔ the equivalent of ~** 名詞の equivalent は the equivalent of ~（～に相当するもの）と of を取る。形容詞なら be equivalent to ~。見分け方：the が付いた名詞なら of、be＋形容詞なら to。

0478 ☐☐☐

My little sister is frightened ＿＿＿ dogs, so she never goes near them.

① with　② about
③ of　④ for

③ be frightened of ~ ～を怖がる

訳 妹は犬を怖がっているので、決して犬に近づかない。

解説 「（いつも）～を怖がる」は be frightened of ~。with / about / for は frightened と組まない。be worried about（～を心配する）の about と混同させる選択肢。

区別 **be frightened of ~ ⇔ be frightened at [by] ~** at / by は「（その時の物音・出来事に）驚いておびえる」。of は「（性質として）～を怖がる」。見分け方：いつも怖いなら of、一回の出来事なら at / by。

0479 □□□

I'm not in the _____ to go out tonight. I'd rather stay home and relax.

① feeling ② spirit
③ mood ④ mind

③ be in a good mood 機嫌がよい

訳 今夜は出かける気分じゃない。家でのんびりしていたい。

解説 「～したい気分だ」は be in the mood to do。feeling / spirit / mind は in the ~ to do の形でこの意味にならない（be in no mind などとは言わない）。日本語の「気分」に引かれて feeling を選ばないこと。

区別 **be in a good mood ⇔ be in the mood for ~ / to do** be in the mood for ~ / to do は「～したい気分だ」で、the を使う。be in a good mood は「機嫌がよい」で a を使う。見分け方：何をしたいかが続けば the mood、機嫌の良し悪しなら a good / bad mood。

0480 □□□

I haven't exercised for months, so I'm really out of _____. I get tired after climbing the stairs.

① shape ② figure
③ body ④ health

① be in good shape 体調がよい；よい状態である

訳 何か月も運動していないので、すっかり体がなまっている。階段を上るだけで疲れてしまう。

解説 「体がなまっている」は be out of shape。out of health / figure / body という決まった言い方はない。figure は「体型」の意味があるが、keep one's figure（体型を保つ）の形で使い、out of figure とは言わない。

区別 **be in good shape ⇔ be out of shape** be out of shape は「体がなまっている・形が崩れている」で、in good shape の反対。見分け方：運動不足なら out of shape、鍛えているなら in shape。

0481 □□□

The use of this room is limited _____ teachers. Students cannot enter without permission.

① for ② to
③ by ④ in

② be limited to ~ ～に限られている

訳 この部屋の使用は先生に限られている。生徒は許可なく入れない。

解説 「～に限られている」は be limited to ~。for は「～のための」で、This room is for teachers. なら言えるが、limited とは組まない。in / by も limited と組んで範囲を示せない（by は受け身の動作主）。

注意 ＝ be restricted to ~ / be confined to ~。not limited to ~（～に限らない）の形も長文で出る。

0482 □□□

Kyoto is noted _____ its many old temples and beautiful gardens.

① as ② to
③ of ④ for

④ be noted for ~ ～で有名である；～で知られている

訳 京都は多くの古い寺や美しい庭園で知られている。

解説 有名な理由（寺や庭園）を示すのは for（be noted for ~）。as は「～として有名」で、Kyoto＝its temples にはならないので不可。to / of は noted と組まない。

区別 **be noted for ~ ⇔ be noted as ~** be noted as の後ろは「何者として」（a writer, a city of temples）。be noted for の後ろは有名な理由（its temples）。見分け方：主語＝後ろの名詞なら as、主語が持つ特徴なら for。

0483 □□□

He is obsessed _____ his weight and checks it five times a day.

① with ② on
③ at ④ of

① be obsessed with ~
～に取りつかれている；～に夢中である

訳 彼は体重のことで頭がいっぱいで、1 日に 5 回も量っている。

解説 「～に取りつかれている」は be obsessed with ~（by も可）。of / on / at は obsessed と組まない。be keen on（～に熱心だ）の on と混同させる選択肢。

区別 **be obsessed with ~ ⇔ be crazy about ~** be crazy about は「～に夢中だ・大好きだ」で、前向きな熱中。be obsessed with は「頭から離れない・取りつかれている」で、やりすぎの含みがある。見分け方：健全な好みなら crazy about、度を越した執着なら obsessed。

0484 □□□

No cake for me, thanks. I'm _____ a diet.

① in ② at
③ under ④ on

④ be on a diet ダイエット中である；食事制限をしている

訳 私にケーキはいりません、ありがとう。ダイエット中なんです。

解説 「ダイエット中である」は be on a diet。in / at / under a diet という形はない。under は under construction などで「～中」を表すが、ダイエットには on を使う。

注意 a balanced diet（バランスのよい食事）のように「日常の食事」の意味で長文に頻出。go on a diet（ダイエットを始める）も出る。

0485 □□□

She is always quick _____ the mistakes of others but never admits her own.

① to point out ② for pointing out
③ point out ④ pointing out

① be quick to do すぐに～する

訳 彼女はいつも他人の間違いはすぐに指摘するのに、自分の間違いは決して認めない。

解説 「すぐに～する」は be quick to do なので to point out。pointing out は quick の後ろに直接置けない。for pointing out も quick と組まない。point out（原形）は to がないので形容詞の後ろに続けられない。

区別 **be quick to do ⇔ be quick at ~** be quick at ~ は「～（の作業）が速い・得意」で、能力を表す（be quick at math）。be quick to do は「すぐに～する」で、反応の早さ・性質を表す。見分け方：すぐ行動に出るなら to do。

0486 □□□

Sorry I'm late. I was stuck _____ traffic for an hour.

① with ② on
③ at ④ in

④ be stuck in ~ ～から抜け出せない；～で動けない

訳 遅れてごめんなさい。1 時間渋滞にはまっていたんです。

解説 「渋滞にはまる」は be stuck in traffic。with は be stuck with ~（～を押しつけられる）で、渋滞の中にいる意味にならない。on / at も traffic と組んでこの意味にならない。

区別 **be stuck in ~ ⇔ be stuck with ~** be stuck with ~ は「（嫌な物・人）を押しつけられる・抱え込む」。be stuck in ~ は「（場所・状況）から抜け出せない」。見分け方：場所・状況なら in、押しつけられた物なら with。

0487 □□□

Are you through _____ the newspaper? Can I read it?

① of ② with
③ at ④ in

② be through with ~ ～を終えている；～と縁を切る

訳 新聞はもう読み終わった？ 私が読んでもいい？

解説 「～を終えている」は be through with ~。of / in / at は through と組んでこの意味にならない。be done with / be finished with と同じ with を使う。

注意 = be done with ~ / be finished with ~。人を目的語にすると「～と別れる・関係を断つ」の意味になる。

0488 □□□

He is always true _____ his word; he has never broken a promise.

① of ② with
③ to ④ for

③ be true to ~ ～に忠実である；～どおりである

訳 彼はいつも約束を守る。一度も約束を破ったことがない。

解説 「約束を守る」は be true to one's word。of は be true of ~（～に当てはまる）の前置詞で、意味が変わる。with / for は true と組んでこの意味にならない。

区別 **be true to ~ ⇔ be true of ~** be true of ~ は「～に当てはまる」（The same is true of Japan.）。be true to ~ は「～に忠実だ」。見分け方：「同じことが～にも言える」なら of、約束・信念・自分に忠実なら to。

0489 □□□

She was very _____ about failing the exam and didn't want to talk to anyone.

① upset ② upsets
③ to upset ④ upsetting

① be upset about ~
～に動揺している；～に腹を立てている

訳 彼女は試験に落ちたことにとても動揺していて、誰とも話したがらなかった。

解説 主語 she が動揺「させられた」側なので過去分詞 upset（原形と同じ形）。upsetting は「（物事が）動揺させるような」で、人の気持ちの状態にならない。upsets は三単現で was の後ろに置けない。to upset も was の後ろで about とつながらない。

注意 心の動揺にも怒りにも使う。upset one's stomach（胃の調子を悪くする）の意味もある。

0490 □□□

Because of rising prices, many families are worse _____ now than they were ten years ago.

① out ② off
③ away ④ down

② be worse off
暮らし向きがより悪い；より悪い状態にある

訳 物価の上昇のため、多くの家庭は 10 年前より暮らし向きが悪くなっている。

解説 「暮らし向きがより悪い」は be worse off。worse out / worse down / worse away という決まった形はない。well-off（裕福な）の比較級に当たる形だと考えれば off を選べる。

区別 **be worse off ⇔ be better off** be better off は「（経済的に）より豊かだ・～した方がよい」（You'd be better off staying home.）。be worse off は「より悪い状態だ」。見分け方：比較級の better / worse で反対の意味になる。

0491 □□□

You should be careful ＿＿＿＿ pickpockets when you travel abroad.

① with　② to
③ of　④ at

③ be careful of ~　~に気をつける

訳 海外旅行のときはスリに気をつけるべきだ。

解説 スリ（危険な人）に「用心する」は be careful of（about も可）。with は「（物）を慎重に扱う」で、スリを手で扱うわけではない。to は be careful to do（忘れずに～する）と動詞の原形が続く形。at は careful と組まない。

区別 **be careful of ~ ⇔ be careful with ~**　be careful with ~ は「（壊れやすい物・刃物・お金）を慎重に扱う」と手で扱う物に注意する。be careful of ~ は「（危険な物・人）に用心する」。見分け方：扱う物なら with、近づくと危ない物なら of。

0492 □□□

After several recent failures, investors are becoming more ＿＿＿＿ about putting money into new companies.

① conscious
② cautious
③ curious
④ conscientious

② be cautious about ~
~に慎重である；~に用心している

訳 最近いくつも失敗が続いたので、投資家は新しい会社にお金を投じることに慎重になってきている。

解説 相次ぐ失敗の後なので投資家は新会社への投資に「慎重になっている」＝ cautious。conscious は「意識している」で of を取るのが普通で、失敗後の慎重さを表さない。curious は「興味がある」で文脈と逆。conscientious は「良心的な・真面目な」で、投資を控える気持ちを表さない。

区別 **be cautious about ~ ⇔ be conscious of ~**　be conscious of ~ は「～を意識している・～に気づいている」。be cautious about ~ は「～に慎重だ・用心している」。見分け方：つづりが似ているが、危険を避けて慎重なら cautious、気づいているなら conscious。

0493 □□□

The film is very faithful ＿＿＿＿ the original novel; almost nothing has been changed.

① with　② for
③ of　④ to

④ be faithful to ~　~に忠実である

訳 その映画は原作の小説にとても忠実で、ほとんど何も変えられていない。

解説 「原作に忠実だ」は be faithful to ~。忠実さが向かう相手を to で示す（be loyal to / be true to と同じ）。with / for / of は faithful と組んで忠実な対象を表さない。

注意 ＝ be loyal to ~ / be true to ~。原作への忠実さ、約束や人への忠実さの両方に使う。

0494 □□□

A: I failed again. I'm so stupid. B: Don't be so hard ＿＿＿＿ yourself. Everybody makes mistakes.

① on　② with
③ to　④ at

① be hard on ~　~につらく当たる；~に厳しい

訳 A：また失敗しちゃった。私って本当にばかだ。　B：そんなに自分を責めないで。誰でも間違いはするよ。

解説 自分を責める A に「自分を責めすぎないで」と言っているので be hard on oneself。with は be strict with ~ と混同させるひっかけで、hard とは組まない。to / at も hard と組んで「つらく当たる」の意味を作らない。

区別 **be hard on ~ ⇔ be strict with ~**　be strict with ~ は「（規則やしつけで）~に厳しい」。be hard on ~ は「~に（不当に）つらく当たる・負担をかける」。意味は近いが前置詞が違う（with / on）点が問われる。

0495 □□□

I'm sorry I'm so slow. I'm still new ＿＿＿＿ this kind of work.

① to　② of
③ from　④ by

① be new to ~

~に不慣れである；~にとって初めてである

訳 手際が悪くてすみません。この種の仕事にまだ慣れていないんです。

解説 「この種の仕事にまだ不慣れだ」は be new to ~。of / from / by は new と組んで「不慣れ」の意味を作らない。be unfamiliar with ~ や be used to ~ と前置詞を比べて覚えておくとよい。

区別 **be new to ~ ⇔ be unfamiliar with ~**　意味はほぼ同じだが、be unfamiliar with ~ は前置詞 with、be new to ~ は to。人が主語なら be new to ~ ＝ be unfamiliar with ~ と言い換えられる。前置詞の取り違えが問われる。

0496 □□□

Our manager is always open ＿＿＿＿ new ideas, so don't be afraid to share yours.

① about　② for
③ with　④ to

④ be open to ~

~を受け入れる用意がある；~を受けやすい

訳 うちの部長はいつも新しい考えを快く受け入れるから、遠慮せずに自分の考えを話していいよ。

解説 「新しい考えを快く受け入れる」は be open to ~。open about ~ は「（自分のこと）を隠さず話す」。open for は open for business（営業中）のように使う。be open with ~ は「（人）に率直だ」で、後ろには人が来る。

区別 **be open to ~ ⇔ be open about ~**　be open about ~ は「（自分のこと）を隠さず話す」（be open about one's illness）。be open to ~ は「（外からの意見）を受け入れる」。見分け方：自分の秘密を話すなら about、他人の提案を歓迎するなら to。

0497 □□□

Teachers need to be patient ＿＿＿ students who learn more slowly than others.

① for　② with
③ to　④ of

② be patient with ~　~に辛抱強く接する

訳 教師は、ほかの人よりゆっくり学ぶ生徒に辛抱強く接する必要がある。

解説 「（人）に辛抱強く接する」は be patient with ~。for / to は patient と組んで接する相手を表さない。be patient of ~ は「~に耐える」という古い言い方で、現代英語では人に接する意味では使わない。

注意 形容詞 patient（我慢強い）と名詞 patient（患者）の両方の意味を問う問題が出る。反対は be impatient with ~。

0498 □□□

If you are serious ＿＿＿ becoming a pilot, you should start studying physics now.

① with　② for
③ about　④ to

③ be serious about ~
~に本気である；~を真剣に考えている

訳 パイロットになることに本気なら、今すぐ物理の勉強を始めるべきだ。

解説 「パイロットになることに本気なら」は be serious about ~（about の後ろは動名詞）。with / for は serious と組んで本気の対象を表さない。to を入れると to の後ろの becoming と合わず、be serious to do という形もない。

区別 **be serious about ~ ⇔ take ~ seriously**　take ~ seriously は「（人の話・問題）を真剣に受け止める」で、副詞 seriously を使う他動詞の形。be serious about ~ は「（自分の目標・計画）に本気だ」と形容詞。見分け方：be 動詞なら serious about、take なら seriously。

0499 □□□

I'm sick and tired ＿＿＿ hearing the same excuses every day.

① of　② from
③ with　④ at

① be sick and tired of ~　~にすっかりうんざりしている

訳 毎日同じ言い訳を聞かされるのには、もううんざりだ。

解説 「同じ言い訳を聞かされるのにうんざりだ」は be sick and tired of ~。from は be tired from ~（~で体が疲れる）の形で、うんざりする気持ちには使わない。with / at は sick and tired と組まない。

区別 **be sick and tired of ~ ⇔ be tired from ~**　be tired from ~ は「（運動・仕事）で体が疲れている」と原因を from で示す。be (sick and) tired of ~ は「~に飽き飽きしている」と気持ちの問題。見分け方：体の疲れなら from、うんざりなら of。

0500 □□□

I was really ＿＿＿＿ with my brother for borrowing my bike without asking.

① annoying ② annoy
③ annoyed ④ annoyance

③ be annoyed with ~ ～にいらいらしている

訳 兄が断りもなく私の自転車を借りたので、本当に腹が立った。

解説 いらいらしているのは主語の I なので、過去分詞 annoyed（with ＋人）。annoying は「（人を）いらいらさせる」で、I が人をいらいらさせる側になってしまう。annoy は動詞の原形で be 動詞の後に置けない。annoyance は名詞「いら立ち」で、was annoyance with とは言わない。

区別 **be annoyed with ~ ⇔ annoying** annoying は「（人を）いらいらさせる」で、原因の物・人が主語（The noise is annoying.）。annoyed は「いらいらしている」で、感情を持つ人が主語。見分け方：いらいらしている本人なら -ed、原因なら -ing。

0501 □□□

He promised to pay me back on Friday, and he was as good as his ＿＿＿＿; the money arrived that morning.

① words ② promise
③ saying ④ word

④ be as good as one's word 約束を守る

訳 彼は金曜日に返すと約束し、約束どおりにした。その朝にお金が届いたのだ。

解説 「約束を守った」は be as good as one's word で、word は単数で「約束」の意味。words と複数にすると「言葉」になり、この決まった形にならない。promise / saying に入れ替えても決まった言い方にならない（keep one's promise なら可）。

区別 **be as good as one's word ⇔ be as good as ~** be as good as ＋形容詞・過去分詞は「～も同然だ」（The car is as good as new.）。be as good as one's word は「約束どおりの人だ＝約束を守る」で、word は「約束」。見分け方：one's word が続けば約束。

0502 □□□

The host's warm smile made the nervous guests feel ＿＿＿＿ ease.

① with ② at
③ in ④ on

② be at ease くつろいでいる；気楽である

訳 主催者の温かい笑顔で、緊張していた客たちはくつろいだ気分になった。

解説 「くつろいだ気分になる」は feel at ease。with ease は「簡単に」で、feel の後ろで気持ちを表せない。in ease / on ease という言い方はない。

区別 **be at ease ⇔ with ease** with ease は「簡単に・楽々と」（＝easily）で、動詞を修飾する。at ease は「くつろいで」で、be / feel の後ろで気持ちの状態を表す。見分け方：楽に何かをこなすなら with、気持ちが楽なら at。

0503 □□□

After he lost his job, his family was much worse _____ than before.

① off ② down
③ out ④ up

① be badly off 暮らし向きが悪い；貧しい

訳 彼が仕事を失ってから、家族の暮らし向きは以前よりずっと悪くなった。

解説 be badly off の比較級 be worse off で「（前より）暮らし向きが悪い」。off がこの表現の一部。worse out / worse down / worse up という言い方はない。than before が比較級の手がかり。

区別 **be badly off ⇔ be well off** be badly off は「貧しい」、be well off は「裕福だ」と反対。比較級は well → better、badly → worse に変わる。見分け方：生活が苦しいなら badly / worse、豊かなら well / better。

0504 □□□

Traffic jams are a problem common _____ all large cities.

① to ② with
③ in ④ by

① be common to ~ ～に共通している

訳 交通渋滞は、すべての大都市に共通する問題だ。

解説 「すべての大都市に共通する問題」は common to ~。with は in common with ~（～と共通して）の形でなら使うが、common with all cities とは言わない。in は have ~ in common の in からのひっかけ。by は common と組まない。

区別 **be common to ~ ⇔ have ~ in common** have ~ in common は「（人・物どうしが）～を共通に持っている」で、持っている側が主語（We have a lot in common.）。be common to ~ は特徴が主語で、持つ側は to の後ろ。見分け方：主語が特徴なら common to、持ち主なら have in common。

0505 □□□

My sister is engaged _____ a doctor, and they are getting married next spring.

① with ② in
③ to ④ for

③ be engaged to ~ ～と婚約している

訳 姉は医師と婚約していて、来年の春に結婚する。

解説 「医師と婚約している」は be engaged to ＋人。with は日本語の「～と」につられたひっかけで、婚約・結婚の相手には使わない（be married to も同じ）。in は be engaged in ~（～に従事している）で、人の前には置かない。for は engaged と組まない。

区別 **be engaged to ~ ⇔ be engaged in ~** be engaged in ~ は「（仕事・研究・活動）に従事している」。be engaged to ~ は「（人）と婚約している」。見分け方：後ろが人なら to（婚約）、活動なら in（従事）。

0506 □□□

All employees are entitled _____ two weeks of paid vacation each year.

① for ② with
③ of ④ to

④ be entitled to ~ ～の権利がある

訳 全従業員は毎年 2 週間の有給休暇を取る権利がある。

解説 「有給休暇を取る権利がある」は be entitled to ＋名詞。for は be qualified for ~（～の資格がある）と混同させるひっかけで、entitled とは組まない。with / of も entitled と組んで権利の対象を表さない。

注意 be entitled to 名詞（～の権利がある）と be entitled to do（～する権利がある）の両方の形がある。＝ have the right to ~。

0507 □□□

She would make an excellent kindergarten teacher; she's very good ＿＿＿ small children.

① at　② for
③ with　④ in

③ be good with ~　～の扱いがうまい

訳 彼女なら優秀な幼稚園の先生になるだろう。小さな子どもの扱いがとても上手だから。

解説 幼稚園の先生向きなのは「小さな子どもの扱いが上手」だから＝ be good with ~。at は技能・科目に使い、人を後ろに置けない。for は「～のためになる」で、彼女が子どもの役に立つ意味になり、扱いの上手さを表さない。in は good と組んで人の扱いを表さない。

区別 **be good with ~ ⇔ be good at ~**　be good at ~ は「（技能・科目・動名詞）が得意」（good at math / at cooking）。be good with ~ は「（人・道具）をうまく扱う」。見分け方：科目・技術なら at、接する相手・使う道具なら with。

0508 □□□

The kids were impatient ＿＿＿ go to the beach.

① for　② with
③ to　④ of

③ be impatient to do
しきりに～したがる；～したくてたまらない

訳 子どもたちは浜辺に行きたくてたまらなかった。

解説 be impatient to do で「～したくてたまらない」。後ろが動詞の原形 go なので to が入る。for は名詞（for summer など）、with は人（with him など）を後ろに置くので、原形の go の前には置けない。of は impatient と組まない。

区別 **be impatient to do ⇔ be impatient with ~**　be impatient with 人は「（人）にいらいらしている・我慢できない」と怒りの気持ち。be impatient to do は「早く～したい」と期待の気持ち。見分け方：後ろが人なら with、動詞なら to。

0509 □□□

He has been loyal ＿＿＿ the same company for thirty years.

① to　② for
③ with　④ at

① be loyal to ~　～に忠実である；～に誠実である

訳 彼は 30 年間同じ会社に忠実に勤めてきた。

解説 「同じ会社に忠実だ」は be loyal to ~。忠実さが向かう相手を to で示す。for は for thirty years のように期間で使い、忠実な相手には使わない。with / at も loyal と組まない。

注意 ＝ be faithful to ~ / be true to ~。名詞 loyalty（忠誠）も出る。customer loyalty（顧客の愛着）は長文頻出。

0510 □□□

With ten years of experience, she is well qualified ＿＿＿ the position of manager.

① to　② for
③ of　④ with

② be qualified for ~　～の資格がある；～に適任である

訳 10 年の経験があるので、彼女は部長職に十分ふさわしい。

解説 後ろが名詞 the position なので「～の資格がある」は be qualified for ~。to は be qualified to do と動詞の原形が続く形で、名詞の前には置かない。of / with は qualified と組んで資格の対象を表さない。

注意 be qualified for 名詞 ／ be qualified to do。＝ be eligible for ~ / be fit for ~。名詞 qualification（資格）も頻出。

0511 □□□

We stayed in the basement, where we were safe _____ the storm.

① of ② with
③ by ④ from

④ be safe from ~ ～の危険がない

訳 私たちは地下室にいて、嵐から身を守ることができた。

解説 「嵐から守られていた」は be safe from ~。with は be safe with ＋人（～に預ければ安全）の形で、危険の前には置かない。of / by も safe と組んで危険から守られる意味を作らない。

区別 **be safe from ~ ⇔ be safe with ~** be safe with ~ は「（人に）預けておけば安全」（Your secret is safe with me.＝秘密は守る）。be safe from ~ は「（危険）から守られている」。見分け方：危険が続けば from、預け先の人なら with。

0512 □□□

We are looking for someone who is skilled _____ using design software.

① on ② for
③ to ④ in

④ be skilled in ~ ～に熟練している

訳 デザイン用ソフトの扱いに熟練した人を探しています。

解説 「（動名詞）に熟練している」は be skilled in ~（at も可）。on / for は skilled と組まない。to を入れると to の後ろの using と合わず、be skilled to ~ という形もない。

注意 be skilled in [at] ~ の両方を使う。＝ be good at ~ / be experienced in ~。skilled worker（熟練労働者）も出る。

0513 □□□

The baby was _____ asleep, so we talked quietly.

① very ② sound
③ strong ④ much

② be sound asleep ぐっすり眠っている

訳 赤ちゃんがぐっすり眠っていたので、私たちは小声で話した。

解説 「ぐっすり眠っている」は be sound asleep（fast asleep も可）。asleep は程度を表す形容詞ではないので、very asleep / much asleep とは言わない。strong は asleep を修飾できず、決まった言い方ではない。

区別 **be sound asleep ⇔ fall asleep** fall asleep は「寝入る・眠りに落ちる」と眠り始める瞬間。be sound asleep は「ぐっすり眠っている」という状態。見分け方：眠り始めなら fall、深く眠っている状態なら be sound。

0514 □□□

Most voters are _____ to the idea of lowering taxes.

① sympathetic ② sympathize
③ sympathy ④ sympathizing

① be sympathetic to ~
～に同情的である；～に共感している

訳 ほとんどの有権者は減税という考えに好意的だ。

解説 be 動詞の後ろで to を取り「（考えに）好意的だ」となるのは形容詞 sympathetic。sympathize は動詞の原形で be 動詞の後ろに置けず、前置詞も with を取る。sympathy は名詞で、are sympathy to とは言わない。sympathizing は進行形になり、to とも合わない。

区別 **be sympathetic to ~ ⇔ sympathize with ~** 動詞 sympathize は前置詞 with を取る（sympathize with the victims）。形容詞 sympathetic は to / toward を取る。品詞で前置詞が変わる点が問われる。

0515 □□□

Volunteering at the hospital was a very ＿＿＿＿ experience.

① worthwhile　② worth
③ worthing　④ worthily

① be worthwhile ~ing　～する価値がある

訳 病院でのボランティアは、とても価値のある経験だった。

解説 名詞 experience の前に置いて「価値のある」を表せるのは形容詞 worthwhile。worth は後ろに名詞・動名詞が必要で、名詞の前には置けない（a very worth experience は誤り）。worthing という語はない。worthily は副詞「立派に」で、名詞を修飾できない。

区別 **be worthwhile ~ing ⇔ be worth ~ing**　worth は前置詞のような働きで、必ず後ろに名詞・動名詞が必要（worth reading / worth the money）で名詞の前に置けない。worthwhile は普通の形容詞で、a worthwhile experience と名詞の前にも置ける。

0516 □□□

The man was arrested and charged ＿＿＿＿ robbery.

① of　② with
③ for　④ about

② be charged with ~
～の罪で告発される；～を任されている

訳 その男は逮捕され、強盗の罪で起訴された。

解説 「～の罪で起訴される」は be charged with ~。of は be accused of ~ と混同させるひっかけ。charge A for B は「B の代金を A に請求する」で、罪には使わない。about は charged と組まない。

区別 **be charged with ~ ⇔ be accused of ~**　be accused of ~ も「～で訴えられる・責められる」だが前置詞は of。be charged with ~ は with。意味が近く、前置詞の取り違えが頻出。

0517 □□□

It was very ＿＿＿＿ of you to call me when I was sick.

① considerable
② considering
③ considerate
④ consideration

③ be considerate of ~　～に思いやりがある

訳 私が病気のとき電話をくれるなんて、とても思いやりがありましたね。

解説 It is ＋形容詞＋ of you to do は人の性格を評価する形で、「思いやりがある」は considerate。considerable は「（量が）かなりの」で人の性格を表さない。considering は「～を考慮すると」という前置詞・接続詞。consideration は名詞で、very の後ろに置けない。

区別 **be considerate of ~ ⇔ considerable**　considerable は「（量・程度が）かなりの」（a considerable amount）。considerate は「（人が）思いやりのある」。見分け方：人の性格なら considerate、量・程度なら considerable。

0518 ☐☐☐

The tiny island has no airport, so it is accessible only _____ boat.

① by ② to
③ for ④ with

① be accessible to ~

～が利用できる；～にとって近づきやすい

訳 その小さな島には空港がないので、船でしか行けない。

解説 「（交通手段）で行ける」は be accessible by ＋ 手段で、無冠詞の boat が続く。to は be accessible to ＋ 人（～が利用できる）の形で使い、交通手段には使わない。for boat / with boat も手段を表す形にならない（with なら with a boat になるが意味も合わない）。

区別 **be accessible to ~ ⇔ be accessible by ~** by の後ろは交通手段（by car / by train）で「～で行ける」。to の後ろは利用する人で「～が利用できる」。見分け方：後ろが乗り物・手段なら by、人・利用者なら to。

0519 ☐☐☐

The cherry blossoms in this park are at _____ best in early April, so many people visit then.

① the ② its
③ our ④ their

④ be at one's best 最もよい状態にある

訳 この公園の桜は 4 月上旬に一番の見頃を迎えるので、その時期には多くの人が訪れる。

解説 be at one's best の one's は主語に合わせる。主語 The cherry blossoms は複数なので their。its は単数の主語用で、複数の blossoms と一致しない。the を入れた at the best という決まった形はない。our は「私たちの」で、花が最高の状態という意味にならない。

区別 **be at one's best ⇔ at best** at best は「せいぜい・よくても」と見積もりの上限を示す副詞句（He'll get 50 points at best）。be at one's best は「最高の状態にある」。見分け方：one's が入っていれば最高の状態、なければ「せいぜい」。

0520 ☐☐☐

Despite his parents' advice, Ken was bent on _____ a professional soccer player.

① becoming ② to become
③ become ④ became

① be bent on ~

～しようと心に決めている；～に熱中している

訳 両親の忠告にもかかわらず、ケンはプロのサッカー選手になろうと心に決めていた。

解説 be bent on ~ の on は前置詞なので、後ろは動名詞の becoming。to become は be determined to do の形で使う。become / became は前置詞の後ろに置けない。

区別 **be bent on ~ ⇔ be determined to do** 意味は近いが形が違う。be bent on は on ＋名詞・動名詞、be determined は to ＋動詞の原形。見分け方：空所の前が on なら ~ing、determined なら to do。

0521 ☐☐☐

They say love is blind; she seems to be completely blind ＿＿＿ her boyfriend's faults.

① of　② to
③ at　④ about

② be blind to ~　～に気づかない；～が見えていない

訳 恋は盲目と言うが、彼女は恋人の欠点にまったく気づいていないようだ。

解説 「～に気づかない・～が見えていない」は be blind to ~。to は「～に対して」と対象を示す。of / at / about は blind と組んでこの意味にならない。恋をしていて恋人の欠点に気づかない、という内容。

区別 **be blind to ~ ⇔ turn a blind eye to ~**　turn a blind eye to は「（気づいているのに）わざと見逃す」。be blind to は「（本当に）気づいていない・見えていない」。見分け方：わざと見ないふりなら turn a blind eye to、気づいていない状態なら be blind to。

0522 ☐☐☐

The high fever kept him confined ＿＿＿ bed for almost two weeks.

① in　② on
③ at　④ to

④ be confined to ~
～に限られている；～に閉じ込められている

訳 高熱のため、彼はほぼ 2 週間寝たきりだった。

解説 病気で「寝たきりである」は be confined to bed（bed は無冠詞）。confine A to B の形なので前置詞は to。in / on / at は confined と組んで「床に伏せる」の決まった形にならない（in bed / on the bed だけなら場所の意味）。

区別 **be confined to ~ ⇔ be limited to ~**　be limited to も「～に限られている」だが、主に数・量・範囲の制限で、「閉じ込められる」意味はない。be confined to は bed / one's room / a wheelchair など場所に閉じ込められる意味まで含む。見分け方：病気で寝たきりなら confined to bed。

0523 ☐☐☐

Are you done ＿＿＿ the scissors? I need them to wrap this present.

① by　② for
③ with　④ of

③ be done with ~　～を終えている；～とは縁を切っている

訳 はさみはもう使い終わった？ このプレゼントを包むのに使いたいの。

解説 はさみを「使い終わった？」は be done with ~。be done for は「もうだめだ」で、後ろに物を続けない。by / of は done と組んで「使い終わる」の意味にならない。自分も使いたいから、と頼む流れ。

区別 **be done with ~ ⇔ be done for**　be done for は「（人が）もうだめだ・破滅だ」（If we miss the train, we're done for）。be done with は「～を使い終わった・～と縁を切った」。見分け方：後ろに使い終わった物・縁を切る相手があれば with。

0524 □□□

Many students are hesitant _____ questions in class for fear of making mistakes.

① asking　② to ask
③ ask　④ for asking

② be hesitant to do ～するのをためらう

訳 多くの生徒は、間違いを恐れて授業中に質問するのをためらう。

解説 be hesitant to do で「～するのをためらう」。to の後ろは原形なので to ask。asking を直接続けることはできない（about asking なら可）。原形 ask だけ、for asking も hesitant の後ろの形として不可。間違いを恐れて質問できない、という内容。

区別 **be hesitant to do ⇔ be reluctant to do** be reluctant to do は「（気が進まず）～したがらない」で、嫌々ながらの気持ちが強い。be hesitant to do は「（迷い・不安で）ためらう」。形はどちらも to do で同じなので、空所では形（to ＋ 原形）が問われやすい。

0525 □□□

She was so occupied _____ her research that she forgot to eat lunch.

① for　② at
③ of　④ with

④ be occupied with ～ ～で忙しい；～に従事している

訳 彼女は研究に没頭するあまり、昼食を食べるのを忘れた。

解説 「～で忙しい・～に没頭している」は be occupied with ~。for / at / of は occupied と組んでこの意味にならない。so ~ that の構文で、研究に没頭しすぎて昼食を忘れたという内容。in を使うなら be occupied in ~ing の形になる。

区別 **be occupied with ~ ⇔ be occupied（使用中）** 主語が席・トイレ・部屋なら「使用中・ふさがっている」で with は付かない。主語が人で with があれば「～で忙しい」。見分け方：主語が人か場所かを見る。占領される場合は be occupied by ~（The town was occupied by the army）。

0526 □□□

It was already past midnight, but the excited children were still wide _____.

① awaken　② waking
③ awake　④ woken

③ be wide awake すっかり目が覚めている

訳 もう真夜中を過ぎていたが、興奮した子どもたちはまだすっかり目が覚めていた。

解説 「すっかり目が覚めている」は be wide awake で、awake は形容詞。awaken は動詞「目覚めさせる」で be 動詞の補語にならない。waking は進行形なら were waking (up)（目覚めつつある）となるが wide と組まない。woken は wake の過去分詞で、受動の意味になり不自然。

区別 **be wide awake ⇔ be fast asleep** be fast asleep は「ぐっすり眠っている」で正反対。fast も「しっかり」と asleep を強める副詞。見分け方：起きているなら wide awake、眠っているなら fast / sound asleep。どちらも a- で始まる形容詞を副詞が強める同じ型。

0527 □□□

I'm allergic _____ cats, so I can't visit my friend who has three of them.

① for ② with
③ to ④ of

③ be allergic to ~

～にアレルギーがある；～が大嫌いである

訳 私は猫アレルギーなので、猫を 3 匹飼っている友達の家には行けない。

解説 「～にアレルギーがある」は be allergic to ~。名詞でも have an allergy to ~ と to を使う。with / for / of は allergic と組まない。猫アレルギーなので猫のいる家に行けない、という内容。

区別 **be allergic to ~ ⇔ have an allergy to ~** 名詞 allergy を使う形で、前置詞は同じ to。be allergic to と言い換え可能。見分け方：be 動詞なら形容詞 allergic、have なら名詞 an allergy。前置詞はどちらも to。

0528 □□□

The morning train was packed _____ commuters, and I couldn't even move my arms.

① in ② by
③ of ④ with

④ be packed with ~

～でぎっしり詰まっている；～で満員である

訳 朝の電車は通勤客でぎっしりで、腕を動かすことさえできなかった。

解説 「～でぎっしり詰まっている・満員だ」は be packed with ~。by は受動態の行為者だが、packed では中身を with で示すのが決まった形。of は full of の形で使い、packed とは組まない。in を使うと「～の中に詰め込まれた」となり、commuters を中身として続けられない。

区別 **be packed with ~ ⇔ be full of ~** be full of は前置詞 of。be packed with / be crowded with / be filled with は with。見分け方：形容詞 full なら of、過去分詞（packed / crowded / filled）なら with。

0529 □□□

This new type of rice is resistant _____ disease, so farmers can use fewer chemicals.

① to ② of
③ from ④ for

① be resistant to ~ ～に強い；～に抵抗する

訳 この新しい品種の米は病気に強いので、農家は農薬を減らすことができる。

解説 「～に強い・抵抗力がある」は be resistant to ~。抵抗する相手を to で示す（名詞でも resistance to）。of / from / for は resistant と組まない。病気に強いので農薬が少なくて済む、という因果。

区別 **be resistant to ~ ⇔ resist ~（動詞）** 動詞 resist は他動詞で前置詞なしに目的語を取る（resist change）。形容詞 resistant は to が必要（be resistant to change）。見分け方：be 動詞の後ろなら resistant to、動詞として使うなら resist ＋ 目的語。× resist to。

0530 □□□

Ms. Tanaka is three years senior ＿＿＿＿ me, but we joined the company at the same time.

① for　② than
③ to　④ of

③ be senior to ~

～より年上である；～より地位が上である

訳 田中さんは私より 3 歳年上だが、私たちは同時に入社した。

解説 senior はラテン語由来の比較の形容詞なので、比べる相手は than ではなく to（be senior to ~）。than は older などの普通の比較級に使う。for / of は senior と組んで比較の相手を表さない。three years が年の差を表す。

区別 **be senior to ~** ⇔ **be older than ~** older は普通の比較級で than を使う。senior / junior / superior / inferior は -or で終わるラテン語由来の比較の形容詞で to を使う。見分け方：-er なら than、-or なら to。

0531 □□□

Sorry I haven't called you. I've been tied up ＿＿＿＿ work all week.

① with　② for
③ of　④ to

① be tied up with ~ ～で手が離せない；～で忙しい

訳 電話しなくてごめんね。今週はずっと仕事で手が離せなかったんだ。

解説 「～で手が離せない」は be tied up with ~ で、忙しさの原因を with で示す（be busy with と同じ）。for / of / to は tied up と組んで忙しさの原因を表さない。電話できなかった理由を述べている。

区別 **be tied up with ~** ⇔ **be busy with ~** be busy with も「～で忙しい」で前置詞は同じ with。be tied up with はくだけた言い方で、「身動きが取れないほど」忙しい感じが強い。どちらも with ＋ 仕事、busy は ~ing も取れる。

確認テスト３　形容詞の熟語｜日本語に合うように、空所に１語を書き込もう（答えは赤字）

0444 彼女は美しい声に恵まれていて、合唱団で歌っている。
She is **gifted** with a beautiful voice and sings in a choir.

0445 人は付き合う友を見れば分かる。
A man is known **by** the company he keeps.

0446 この急行列車は東京行きで、名古屋に止まる。
This express train is bound **for** Tokyo and stops at Nagoya.

0447 コーチは試合が始まる前から勝利を確信していた。
The coach was certain **of** victory before the game started.

0448 ファンたちはバンドの新しいアルバムの知らせを待ち望んでいた。
The fans were eager **for** news about the band's new album.

0449 息子は新しい学校でサッカー部に入りたがっている。
My son is **keen** to join the soccer team at his new school.

0450 この地域は豊かな土壌と豊富な雨に恵まれている。
This region is blessed **with** rich soil and plenty of rain.

0451 このクッキーは砂糖をまったく使っておらず、健康志向の人々に人気だ。
These cookies are completely free **of** sugar and are popular with health-conscious people.

0452 この種類の鳥は、太平洋のいくつかの小さな島にしかいない。
This kind of bird is **specific** to a few small islands in the Pacific.

0453 店主はサングラスをかけたその男を怪しいと思った。
The shop owner was suspicious **of** the man in dark glasses.

0454 証拠を突きつけられると、彼は自分の誤りを認めた。
When he was confronted **with** the evidence, he admitted his mistake.

0455 実験の結果は私たちの予想に反していた。
The result of the experiment was contrary **to** our expectations.

0456 生徒たちは新しい科学クラブに熱心だった。
The students were enthusiastic **about** the new science club.

0457 この古い井戸の水は飲むのに適していない。
This old water from the well is not fit **for** drinking.

0458 彼は何時間も物思いにふけって窓辺に座っていた。
He sat by the window for hours, lost **in** thought.

0459 この道路はひどい渋滞で悪名高い。
This road is notorious **for** its terrible traffic jams.

0460 定期的な運動と十分な睡眠は健康に不可欠だ。
Regular exercise and enough sleep are vital ___to___ good health.

0461 第二言語を学ぶことは脳によい影響を与える。
Learning a second language is beneficial ___to___ the brain.

0462 彼の話は事実と食い違っている。
His story is not consistent ___with___ the facts.

0463 新しい校則に批判的な親もいる。
Some parents are critical ___of___ the new school rules.

0464 その博物館は鉄道の歴史を専門に扱っている。
The museum is dedicated ___to___ the history of trains.

0465 多くの同級生が彼女の優れた英語力をうらやましく思っている。
Many classmates are envious ___of___ her excellent English skills.

0466 彼女のかばんは私のものとまったく同じなので、よく取り違える。
Her bag is identical ___to___ mine, so we often mix them up.

0467 私たちのチームは優勝チームにはかなわなかった。
Our team was no ___match___ for the champions.

0468 彼の意見は、ほとんどすべての問題で私と正反対だ。
His opinion is ___opposite___ to mine on almost every issue.

0469 部長は会社の将来について楽観的だ。
The manager is optimistic ___about___ the future of the company.

0470 時間がないので、後でかけ直します。
I'm ___pressed___ for time, so I'll call you back later.

0471 この地域は地震が起こりやすいので、建物はとても頑丈でなければならない。
This area is prone ___to___ earthquakes, so buildings must be very strong.

0472 私たちはチケットの値段の高さにショックを受けた。
We were shocked ___at___ the high price of the tickets.

0473 高齢者は冬にインフルエンザにかかりやすい。
Elderly people are more vulnerable ___to___ the flu in winter.

0474 観客はその少女の腕前にびっくりした。
The audience was amazed ___at___ the young girl's skill.

0475 暑い夏と寒い冬がこの地域の特徴だ。
Hot summers and cold winters are characteristic ___of___ this region.

0476 子どもたちは新しい遊び場に大喜びだった。
The children were delighted ___with___ the new playground.

0477 当時、1ドルは約150円に相当した。
One dollar was equivalent ___to___ about 150 yen at that time.

0478 その子は大きな雷の音を怖がった。
The child was frightened ___of___ the loud thunder.

0479 応援しているチームが勝ったので、父は機嫌がよい。
Dad is in a good ___mood___ because his team won.

0480 祖母は毎日歩いているので、体調がよい。
My grandmother walks every day, so she's in good ___shape___ .

0481 参加者の人数は30人に限られている。
The number of participants is limited ___to___ thirty.

0482 その地方は上質なワインとチーズで有名だ。
The region is noted ___for___ its fine wine and cheese.

0483 兄はテレビゲームに夢中で、ほとんど勉強しない。
My brother is obsessed ___with___ video games and rarely studies.

0484 ケーキはいらないよ、ありがとう。ダイエット中なんだ。
No cake for me, thanks. I'm on a ___diet___ .

0485 政府は地震に素早く対応した。
The government was ___quick___ to respond to the earthquake.

0486 私たちは高速道路で2時間渋滞につかまった。
We were stuck ___in___ traffic for two hours on the highway.

0487 新聞は読み終わった？私も読みたいんだけど。
Are you through ___with___ the newspaper? I'd like to read it.

0488 彼は約束を守り、期限どおりにお金を返した。
He was true ___to___ his word and returned the money on time.

0489 彼女はお気に入りのネックレスをなくして動揺していた。
She was upset ___about___ losing her favorite necklace.

0490 多くの家庭が10年前より暮らし向きが悪くなっている。
Many families are ___worse___ off now than they were ten years ago.

0491 入り口付近の滑りやすい床に気をつけてください。
Be careful ___of___ the slippery floor near the entrance.

0492 ネット上で知らない人に住所を教えることには慎重になるべきだ。
You should be cautious ___about___ giving your address to strangers online.

0493 その映画は原作の小説に忠実だ。
The movie is faithful ___to___ the original novel.

0494 そんなに自分を責めないで。誰でも間違いはするのだから。
Don't be so hard ___on___ yourself; everyone makes mistakes.

0495 この町に来たばかりなので、よいレストランを知らないんです。
I'm new ___to___ this town, so I don't know any good restaurants.

0496 私たちの先生は生徒からの新しい考えをいつも受け入れてくれる。
Our teacher is always open ___to___ new ideas from students.

0497 よい先生はゆっくり学ぶ生徒にも辛抱強く接する。
Good teachers are patient ___with___ students who learn slowly.

0498 来月仕事を辞めるって、本気なの？
Are you really serious ___about___ quitting your job next month?

0499 彼女は遅れているバスを待つことにすっかりうんざりしていた。
She was ___sick___ and tired of waiting for the late bus.

0500 彼は終電を逃した自分にいらいらしていた。
He was annoyed ___with___ himself for missing the last train.

0501 彼は約束どおり、土曜日に私の引っ越しを手伝ってくれた。
He was as good as his ___word___ and helped me move on Saturday.

0502 優しい先生のおかげで、新入生たちはくつろいだ気分になった。
The kind teacher made the new students feel at ___ease___ .

0503 工場が閉鎖された後、多くの家族は生活に困っていた。
Many families were ___badly___ off after the factory closed.

0504 この問題はすべての大都市に共通している。
This problem is common ___to___ all big cities.

0505 姉は大阪出身の医者と婚約している。
My sister is engaged ___to___ a doctor from Osaka.

0506 すべての正社員は毎年有給休暇をとる権利がある。
All full-time workers are entitled ___to___ paid holidays every year.

0507 新しい先生は小さい子どもの扱いがとても上手だ。
Our new teacher is very good ___with___ small children.

0508 子どもたちはプレゼントを開けたくてたまらなかった。
The children were ___impatient___ to open their presents.

0509 その犬は最後まで飼い主に忠実だった。
The dog remained loyal ___to___ its owner until the very end.

0510 経験があるので、彼女はその仕事に十分適任だ。
With her experience, she is well qualified ___for___ the job.

0511 丘の上の村は洪水の被害を受けずにすんだ。
The village on the hill was safe ___from___ the flood.

0512 彼女はコンピュータのプログラミングとウェブデザインに熟練している。
She is highly skilled ___in___ computer programming and web design.

0513 赤ちゃんは母親の腕の中でぐっすり眠っていた。
The baby was ___sound___ asleep in her mother's arms.

0514 先生は家を失った生徒たちに同情を寄せていた。
The teacher was sympathetic **to** the students who had lost their homes.

0515 時間があるなら、その古い城を訪れる価値がある。
It is **worthwhile** visiting the old castle if you have time.

0516 警察がお金を見つけた後、その男は強盗の罪で起訴された。
The man was charged **with** robbery after the police found the money.

0517 彼女は忙しいときでも、いつも他人への思いやりを忘れない。
She is always **considerate** of others, even when she is busy.

0518 その図書館は車いすの人も利用できる。
The library is accessible **to** people in wheelchairs.

0519 今週、桜が見頃を迎えている。
The cherry blossoms are at their **best** this week.

0520 その若者は有名な俳優になろうと心に決めていた。
The young man was **bent** on becoming a famous actor.

0521 彼は自分の欠点には気づかないのに、他人の欠点にはすぐ気づいた。
He was **blind** to his own faults but quick to see others'.

0522 事故の後、彼は2週間寝たきりだった。
After the accident, he was confined **to** bed for two weeks.

0523 宿題は終わった？じゃあ出かけよう。
Are you done **with** your homework? Then let's go out.

0524 授業中に質問するのをためらう生徒もいる。
Some students are **hesitant** to ask questions in class.

0525 彼女は午後ずっとパーティーの準備で忙しかった。
She was occupied **with** preparations for the party all afternoon.

0526 真夜中なのに、子どもたちはまだすっかり目が覚めていた。
It was midnight, but the children were still **wide** awake.

0527 友達は猫アレルギーなので、私の家に来られない。
My friend is allergic **to** cats, so she can't visit my house.

0528 今朝の電車は通勤客で満員だった。
The train was packed **with** commuters this morning.

0529 この新しい品種の米は寒さに強い。
This new type of rice is resistant **to** cold weather.

0530 彼女は会社で私より3年先輩だ。
She is three years senior **to** me at the company.

0531 すみません、3時まで会議で手が離せません。
Sorry, I'm **tied** up with a meeting until three.

CHAPTER 4

前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語

in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。
No.0532〜0691（160 問）

問題

0532 ☐☐☐

The company will pay for your travel expenses _____ you submit all the receipts within a week.

① provided　② unless
③ even though　④ lest

解答・解説（赤シートで隠せます）

① provided (that) ~　もし〜ならば；〜という条件で

訳 1 週間以内に領収書を全部提出するという条件で、会社は旅費を支払います。

解説 「1 週間以内に領収書を全部出すという条件で費用を払う」なので provided。unless は「〜しない限り」で、領収書を出さないと払うという逆の意味になる。even though は「〜にもかかわらず」で条件を表さない。lest は「〜しないように（目的）」で、後ろは (should) ＋ 原形になり文意も合わない。

区別 **provided (that) ~ ⇔ as long as ~**　条件の意味ではほぼ同じだが、as long as は会話でも使う口語寄りで、「〜する間は」という期間の意味も持つ。provided (that) は条件専用で硬い。見分け方：契約・規則の文なら provided、期間の「〜する間」なら as long as だけが使える。

0533 ☐☐☐

I thought the woman next to me was a stranger, but it turned out that she had known my father _____.

① so far　② at all
③ all along　④ all at once

③ all along　最初からずっと

訳 隣の女性は知らない人だと思っていたが、実は最初からずっと私の父を知っていたことが分かった。

解説 「（私は知らなかったが）実は最初からずっと父を知っていた」という真相なので all along。so far は現在完了と組む「今までのところ」で、過去完了の文に合わない。at all は否定・疑問を強める語で肯定文では使えない。all at once は「突然」で、状態動詞 know の継続と合わない。

区別 **all along ⇔ along with ~**　along with ~ は「〜と一緒に・〜に加えて」という前置詞句で、後ろに名詞が来る。all along は後ろに何も取らない副詞。見分け方：後ろに名詞が続けば along with、文末で「最初からずっと」なら all along。

0534 □□□

If it's all the same _____ you, I'd rather stay home and rest tonight.

① for ② with
③ at ④ to

④ all the same それでもやはり；どちらでも同じ

訳 もし差し支えなければ、今夜は家で休んでいたいのですが。

解説 「～にとってどちらでも同じ」は all the same to ＋ 人で、If it's all the same to you は「差し支えなければ」という丁寧な前置き。for を使って all the same for you とは言わない。with / at も all the same と組んで人の判断を示せない。断りを和らげる流れに合う。

区別 **all the same ⇔ at the same time** at the same time は「同時に」のほか「しかしまた一方で」と別の面を付け加える。all the same は前の内容を認めつつ「それでもやはり」と結論を変えない。見分け方：反対の事実があっても気持ち・行動が変わらないなら all the same。

0535 □□□

_____ a few spelling mistakes, your essay is excellent.

① Except ② Beside
③ Aside from ④ Instead of

③ aside from ～ ～を除いて；～は別として

訳 いくつかのつづりの誤りを除けば、あなたの作文は素晴らしい。

解説 「いくつかのつづりの誤りを除けば」と文頭で部分的な欠点を除くので Aside from。Except は文頭で単独では使いにくく、この意味なら Except for とする必要がある。Beside は「～のそばに」で場所。Instead of は「～の代わりに」で、誤りの代わりに素晴らしいという意味不明の文になる。

区別 **aside from ～ ⇔ except ～** except は文頭に置きにくく、普通は all / every / no などの後ろに置く（everyone except me）。文頭や「部分的な欠点を除けば」の意味では except for / aside from を使う。また except には「～に加えて」の意味はない。

0536 □□□

_____, I don't think your plan will work, but I'm willing to listen to the details.

① Frank to speak
② Frankly spoken
③ Speaking of frankly
④ Frankly speaking

④ frankly speaking 率直に言えば

訳 率直に言えば、あなたの計画はうまくいかないと思いますが、詳しい話を聞く気はあります。

解説 本音を切り出す慣用的な分詞構文は Frankly speaking で、副詞 frankly ＋ 現在分詞 speaking の形。過去分詞 spoken は「話された」と受け身になり不可。Speaking of ～ は「～と言えば」で後ろに名詞を取るので、副詞 frankly は続かない。Frank to speak という語順はなく、不定詞なら To be frank / To speak frankly となる。

区別 **frankly speaking ⇔ strictly speaking** strictly speaking は「厳密に言えば」で、定義・分類の正確さにこだわるときに使う（Strictly speaking, a tomato is a fruit）。frankly speaking は遠慮せず本音を言うとき。見分け方：正確な定義の話なら strictly、本音・率直な意見なら frankly。

0537 □□□

_____ your timely advice, I would have made a terrible mistake in the interview.

① If it were not for
② Had it not been for
③ Were it not for
④ Unless it had been

② if it had not been for ～
（あのとき）もし～がなかったら

訳 あなたのタイミングのよい助言がなかったら、私は面接でひどい失敗をしていただろう。

解説 主節が would have made（過去の事実に反する仮定）なので、仮定法過去完了の倒置 Had it not been for が正しい。If it were not for / Were it not for は仮定法過去で「今～がなければ」を表し、would have done の主節と時制が合わない。Unless it had been は後ろに for がなく、your advice につながらない。

区別 **if it had not been for ～ ⇔ if it were not for ～** if it were not for は仮定法過去で現在の事実に反する「（今）～がなければ」、主節は would ＋ 原形。if it had not been for は過去の事実に反し、主節は would have ＋ 過去分詞。見分け方：主節の形（would do か would have done）で決める。

0538 □□□

The manager waited until the others had left, and then asked if he could talk to me _____ about my mistake.

① in advance　② in turn
③ in public　④ in private

④ in private 内緒で；人のいない所で

訳 部長はほかの人たちが出て行くまで待ってから、私のミスについて二人だけで話せないかと尋ねた。

解説 ほかの人が出て行くのを待ってから話したいと頼んだので「二人きりで・内密に」の in private。in public は「人前で」で、人がいなくなるのを待った流れと逆。in advance は「前もって」、in turn は「順番に・今度は」で、ミスについて話す場面の様子を表せない。

区別 **in private ⇔ in public** in public は「人前で・公然と」で正反対。in private は他人に聞かれない場所・状況で。見分け方：大勢の前なら in public、二人きり・内々なら in private。どちらも冠詞なしの in。

0539 □□□

Humans differ from other animals _____ they can use language to share abstract ideas.

① in that　② in which
③ so that　④ in what

① in that ～ ～という点で；～なので

訳 人間は、言語を使って抽象的な考えを共有できるという点で、ほかの動物と異なる。

解説 「言語で抽象的な考えを共有できるという点で」動物と違う、と違いの観点を示すので in that。in which は関係代名詞で先行詞の名詞が要るが、直前の animals を受けると「動物の中で人間が言語を使える」となり意味が通らない。so that は目的「～するように」で違いの説明にならない。in what は what 節が名詞節で、that 節の働きをしない。

区別 **in that ～ ⇔ in which ～** in which は関係代名詞で、前に先行詞（名詞）が必要（the house in which he lives）。in that は先行詞なしで「～という点で」と理由・観点を示す接続詞。見分け方：直前が名詞で「その中で」なら in which、文全体に「という点で」をつなぐなら in that。

0540 □□□

A whale is no ＿＿＿＿ a fish than a horse is.

① less　② longer
③ more　④ other

③ no more A than B

Bがそうでないのとちょうど同じようにAでない

訳 鯨が魚でないのは、馬が魚でないのと同じである。

解説 「馬が魚でないのと同じように鯨も魚でない」なので no more A than B。no less にすると「馬と同じく鯨も魚だ」と肯定になり、馬も鯨も魚ではない事実に反する。no longer は「もはや～ない」で than と組まない。other は no other ~ than の形で名詞が続くが、a fish の前に置いて比較の構文は作れない。

区別 **no more A than B ⇔ no less A than B** no less A than B は「B と同じように A だ」と肯定を強める。no more A than B は両方を否定する。見分け方：than 以下が明らかに正しいなら no less、明らかに誤りなら no more。

0541 □□□

Nobody ＿＿＿＿ the manager knew the password to the safe.

① rather than　② as well as
③ instead of　④ other than

④ other than ~ ～以外の；～とは違って

訳 店長以外には誰も金庫の暗証番号を知らなかった。

解説 否定語 nobody と組んで「店長以外誰も知らなかった」と例外を示すので other than。rather than は「～よりむしろ」で 2 つから選ぶ比較なので、nobody の例外にならない。instead of は「～の代わりに」で意味が合わない。as well as は「～と同様に」で、nobody と組むと店長も知らなかったことになり文意が崩れる。

区別 **other than ~ ⇔ rather than ~** rather than は「～よりむしろ・～ではなく」で、2 つを比べてどちらかを選ぶ。other than は「～以外は」と例外を除く。見分け方：選ぶ・好むの比較なら rather than、否定語と組んで例外を示すなら other than。

0542 □□□

＿＿＿＿ he saw the police officer, the boy dropped the bag and ran away.

① At the moment　② For the moment
③ The moment　④ In a moment

③ the moment ~ ～するとすぐに；～した瞬間

訳 警官を見た瞬間、少年はかばんを落として逃げ去った。

解説 後ろに he saw という S V が続き「警官を見た瞬間に」なので、接続詞として働く The moment。At the moment は「今のところ」、For the moment は「差し当たり」、In a moment は「すぐに（これから）」で、どれも副詞句なので S V を従えられず、過去の文の「～した瞬間」も表せない。

区別 **the moment ~ ⇔ at the moment** at the moment は「今のところ・現在」（＝ now）という副詞句で、後ろに文を続けて「～した瞬間」の意味にはならない。the moment S V は前置詞なしで接続詞。見分け方：後ろに S V が続き「すぐに」なら the moment。

0543 □□□

Everyone thought the match was _____ over, so many fans had already left the stadium.

① anything but　② all but
③ nothing but　④ but for

② all but ~ ほとんど；～以外はすべて

訳 試合はほとんど終わったと誰もが思ったので、多くのファンはすでにスタジアムを後にしていた。

解説 ファンが帰り始めたのは試合が「ほとんど終わった」と思ったからなので all but（＝ almost）。anything but は「決して～でない」で、終わっていないと思ったのに帰るという矛盾になる。nothing but は「～だけ」で over の前に置いて意味を成さない。but for は「～がなければ」で後ろに名詞が要る。

区別 **all but ~ ⇔ anything but ~** anything but は「決して～でない」（＝ not at all）と強い否定。all but は「ほとんど～」とほぼ肯定。見分け方：anything but easy は「全然簡単でない」、all but impossible は「ほとんど不可能」。

0544 □□□

The rules of the speech contest are as _____: each speaker has five minutes, and slides are not allowed.

① follows　② following
③ follow　④ followed

① as follows 次のとおり

訳 スピーチコンテストの規則は次のとおりです。各発表者の持ち時間は 5 分で、スライドの使用は認められません。

解説 「次のとおり」は主語が複数（rules）でも as follows で、形は変わらない。主語に合わせて follow にするのが典型的なひっかけ。following は the following ~ の形で使い、as following とは言わない。followed（過去分詞）も as の後ろでこの意味にならない。

区別 **as follows ⇔ the following ~** the following は形容詞・名詞として「以下の（もの）」で、the following points / the following is ~ のように使う。as follows は be 動詞の後ろや文末に置く副詞的な決まり文句。見分け方：名詞の前や主語なら the following、be の後ろなら as follows。

0545 □□□

After the repair, my old bicycle looks as _____ as new.

① well　② much
③ better　④ good

④ as good as ~ ～も同然；ほとんど～

訳 修理の後、私の古い自転車は新品同様に見える。

解説 「新品同様」は as good as new で決まっている。well を入れると as well as（～だけでなく）と混同した誤りで、look の補語としても形容詞 good が必要。better は比較級で as ~ as の間に置けない。much は as much as（量）の形で、new の状態を表せない。

区別 **as good as ~ ⇔ as well as ~** as well as は「～と同様に・～だけでなく」（A as well as B）。as good as は「～も同然」。見分け方：2 つのものを並べるなら as well as、ある状態に「ほぼ等しい」なら as good as。

0546 □□□

_____ 3,000 people attended the free concert in the park last Sunday.

① As much as　② So long as
③ As many as　④ As far as

③ as many as ~ ～もの（数）

訳 この前の日曜日、3,000 人もの人が公園の無料コンサートに来た。

解説 「3,000 人もの人が」と人数（数えられる名詞）の多さを強調するので As many as。As much as は金額・量に使い、people には合わない。So long as は「～する限り」、As far as は「～まで・～の範囲では」の接続詞で、数詞の前で多さを強調する働きはない。

区別 **as many as ~ ⇔ as much as ~** as much as は金額・重さ・時間などの量に使う（as much as 10 kilos）。as many as は人・物の個数。見分け方：後ろの名詞が数えられる複数形なら many、金額・量なら much。

0547 □□□

I could tell _____ a glance that something was wrong with her; she looked pale and tired.

① with　② by
③ at　④ on

③ at a glance 一目で；ちらっと見ただけで

訳 一目見て彼女の様子がおかしいと分かった。顔色が悪く、疲れているようだった。

解説 「一目で分かる」は tell at a glance で、前置詞は at に決まっている（at first sight と同じ「その時点で」の at）。with / by / on は a glance と組んでこの意味を作らない。青白く疲れた様子から一目で異変に気づいた、という流れに合う。

区別 **at a glance ⇔ at first sight** at first sight は「一目見て（すぐに）」「最初に見たときは（実は違う）」。fall in love at first sight（一目惚れ）が定番。at a glance は「ちらっと見ただけで分かる」という見分けの速さ。

0548 □□□

I'm not sure whether the plan will succeed. _____, it's worth trying.

① At this rate　② In vain
③ In no way　④ At any rate

④ at any rate とにかく；少なくとも

訳 その計画が成功するかどうかは分からない。とにかく、やってみる価値はある。

解説 成功するか分からないが「とにかく」やる価値はある、と話をまとめるので At any rate。At this rate は「この調子では」で予測を述べる表現。In vain は「無駄に」で、やる価値があるという内容と矛盾する。In no way は「決して～ない」で、後ろの肯定文と合わない（文頭なら倒置も必要）。

区別 **at any rate ⇔ at this rate** at this rate は「この調子では・このペースだと」で、後ろに予測が続く（At this rate, we'll be late）。at any rate は「とにかく」。見分け方：今のペースが続いた場合の予測なら at this rate。

0549 ☐☐☐

At the risk of _____ rude, I have to say your speech was a little too long.

① sound ② sounding
③ being sounded ④ to sound

② at the risk of ~ ～の危険を冒して；～を覚悟で

訳 失礼に聞こえるのを覚悟で言いますが、あなたのスピーチは少し長すぎました。

解説 at the risk of ~ の of は前置詞なので後ろは動名詞で、「失礼に聞こえる危険を冒して」は sounding rude。原形 sound や不定詞 to sound は前置詞の後ろに置けない。sound は自動詞「～に聞こえる」なので受け身の being sounded は誤り。言いにくい意見の前置きとして定番の形。

区別 **at the risk of ~ ⇔ at risk** at risk は「危険にさらされて」で、be at risk of ~（～の危険がある）の形で主語が被害を受ける側。at the risk of ~ は主語が自分から危険を引き受ける。見分け方：あえて覚悟するなら at the risk of。

0550 ☐☐☐

_____ I visit my grandmother, she gives me some homemade cookies to take home.

① Every time ② At times
③ All the time ④ Each other

① every time ~ ～するたびに

訳 祖母を訪ねるたびに、祖母は手作りのクッキーを持たせてくれる。

解説 後ろに I visit という S V があり「訪ねるたびに」なので、接続詞として働く Every time。All the time は「いつも」、At times は「時々」という副詞句で S V を従えられない。Each other は「お互い」という代名詞で意味も形も合わない。

区別 **every time ~ ⇔ all the time** all the time は「いつも・その間ずっと」という副詞句で、後ろに S V を従えない。every time は接続詞として「～するたびに」と S V を導く。見分け方：後ろに S V が続けば every time。

0551 ☐☐☐

I have a lot in common _____ my older sister; we both love reading and hiking.

① to ② with
③ for ④ of

② in common with ~ ～と同様に；～と共通して

訳 私には姉と共通点がたくさんある。2 人とも読書とハイキングが大好きだ。

解説 have A in common with B で「B と A を共通に持つ」。共通点を持つ相手は with で示す。to / for / of は in common と組んで相手を表せない。後半の「2 人とも読書とハイキングが好き」が共通点の中身になっている。

区別 **in common with ~ ⇔ in comparison with ~** in comparison with は「～と比べて」で違いを際立たせる。in common with は「～と共通して・同様に」と共通点を示す。見分け方：差を言うなら comparison、同じ点を言うなら common。

0552 □□□

Please be quiet in the hallway. An entrance exam is ＿＿＿＿ progress in this room.

① on　② under
③ at　④ in

④ in progress 進行中で

訳 廊下では静かにしてください。この部屋では入学試験が行われています。

解説 「進行中で」は in progress で前置詞は in に決まっている。under は under way / under construction の形で使い、under progress とは言わない（よくある誤り）。on / at も progress と組んで進行中を表さない。試験中なので静かにという流れに合う。

区別 **in progress ⇔ make progress** make progress は「進歩する・はかどる」で、主語は人や作業。in progress は「進行中」という状態。progress は数えられない名詞なので × make a progress / × make progresses。

0553 □□□

＿＿＿＿ the course of his research in the Amazon, he discovered a new species of beetle.

① Of　② On
③ For　④ In

④ in the course of ~ ～の間に；～の過程で

訳 アマゾンでの研究の過程で、彼は新種の甲虫を発見した。

解説 「研究の過程で」は in the course of ~ で、前置詞は in。Of を入れると Of the course of ~ となり文の形を作らない（of course は「もちろん」で別物）。On / For も the course of と組んで「～の間に」の意味にならない。研究中に新種を見つけた流れに合う。

区別 **in the course of ~ ⇔ of course** of course は「もちろん」。in the course of は後ろに名詞を取る前置詞句で「～の間に」。見分け方：後ろに of ＋ 名詞が続くなら in the course of。

0554 □□□

The new system sounds perfect in theory, but it may not work well in ＿＿＿＿.

① advance　② practice
③ principle　④ general

② in theory 理論上は

訳 その新しいシステムは理論上は完璧に聞こえるが、実際にはうまくいかないかもしれない。

解説 in theory（理論上は）と対になるのは in practice（実際には）。but で対比しているので「理論ではよいが実際はうまくいかない」となる。in advance は「前もって」で、理論と実際の対比にならない。in principle は「原則として」で theory と同じ側の意味なので対比にならない。in general は「一般に」で対比にならない。

区別 **in theory ⇔ in principle** in principle は「原則として・基本的には」で、細部はともかく大筋で賛成・可能だという意味（agree in principle）。in theory は「理屈の上では（実際は違うかも）」。見分け方：大筋の合意なら in principle、実際と対比するなら in theory。

0555 ☐☐☐

The museum allows ＿＿＿＿ twenty visitors in this small room at a time, so we had to wait outside.

① not more than　② no less than
③ not less than　④ no fewer than

① not more than ~ 多くても～；せいぜい～

訳 その美術館は、この小さな部屋に一度に多くても 20 人しか入れないので、私たちは外で待たなければならなかった。

解説 部屋に入れる人数の上限を示し、だから外で待ったという流れなので「多くても 20 人」の not more than。not less than は「少なくとも 20 人」、no less than / no fewer than は「20 人もの」で、どれも下限や多さを表すので、待たされた理由にならない。上限か下限かを文脈で判断する問題。

区別 **not more than ~ ⇔ no more than ~** no more than は「わずか～（それだけしかない）」（＝ only）で、少ないという気持ちを込める。not more than は「多くても～」（＝ at most）で上限の客観的な表示。見分け方：only に置き換えられれば no more than、at most なら not more than。

0556 ☐☐☐

Not until I got home ＿＿＿＿ that I had left my umbrella on the train.

① I realized　② had realized I
③ I did realize　④ did I realize

④ not until ~ ～して初めて…する

訳 家に着いて初めて、電車に傘を置き忘れたことに気づいた。

解説 否定語を含む Not until ~ が文頭に出ると、主節は疑問文と同じ倒置の語順になるので did I realize。I realized / I did realize は普通の語順で倒置になっていない。had realized I は語順が崩れており、時制も「気づいた」時点の過去形が合う。It was not until I got home that I realized ~ と書き換えられる。

区別 **not until ~ ⇔ only after ~** Only after ~ も「～して初めて」で、文頭に置くと同じく主節を倒置する（Only after he left did I notice）。not until は「～までは…しなかった」が元の形。どちらも倒置は主節側。

0557 ☐☐☐

This pocket dictionary will be of great ＿＿＿＿ to you when you study abroad.

① useful　② using
③ use　④ used

③ of use 役に立つ

訳 この小型の辞書は、留学するときにとても役に立つだろう。

解説 of ＋ 抽象名詞で形容詞の働きをするので、of great use（＝ very useful）。great は名詞 use を修飾している。形容詞 useful は of の後ろに置けない（be very useful なら可）。using（動名詞）や used（過去分詞）も of great の後ろでこの意味を作らない。

区別 **of use ⇔ in use** in use は「使用中で・使われて」（The room is in use）。of use は「役に立つ」。見分け方：今使われているかなら in use、役立つかどうかなら of use。

0558 □□□

He opened the strange box ＿＿＿＿ curiosity, even though he had been told not to touch it.

① because　② out of
③ in spite of　④ instead of

② out of ～（動機・原因）　～から；～のために

訳 触らないように言われていたのに、彼は好奇心からその奇妙な箱を開けてしまった。

解説 「好奇心から（箱を開けた）」と行動の動機となる気持ちを示すので out of。because は接続詞で後ろに S V が必要（because of なら可）。in spite of は「～にもかかわらず」で、好奇心に逆らって開けたという意味になり不自然。instead of は「～の代わりに」で意味が合わない。

区別 **out of ～（動機・原因）⇔ because of ～** because of は原因一般（天候・事故など外的な原因も含む）。out of は「人の内側の気持ち」が動機になる場合に限られる。見分け方：好奇心・親切・恐怖などの感情なら out of、雨・病気などなら because of。

0559 □□□

Since the car factory closed last year, half the people in this town have been ＿＿＿＿.

① out of order　② out of date
③ out of work　④ out of place

③ out of work　失業して

訳 去年自動車工場が閉鎖されて以来、この町の人の半数が失業している。

解説 工場が閉鎖されて町の人々が「失業している」ので out of work。out of order は機械の「故障」、out of date は「時代遅れ」、out of place は「場違い」で、工場閉鎖の結果として人々の状態を表せない。同じ out of ＋ 名詞の形なので、何から外れているかで判断する。

区別 **out of work ⇔ out of order** out of order は「（機械が）故障して」「順番が狂って」。out of work は人が失業している状態。見分け方：主語が機械なら out of order、人なら out of work。同じ out of ＋ 無冠詞名詞の仲間でよく並べて出題される。

0560 □□□

The little girl loved the movie so much that she watched it over and ＿＿＿＿ again.

① again　② over
③ more　④ once

② over and over (again)　何度も繰り返して

訳 その女の子はその映画が大好きで、何度も繰り返して見た。

解説 「何度も繰り返して」は over and over (again) で、over を重ねる形。again を入れると over and again again となり形が崩れる（again and again なら可）。more は more and more（ますます）の形で、回数を表さない。once は「一度」で、何度も見たという文意と合わない。

区別 **over and over (again) ⇔ over again** over again は「もう一度（最初から）」で、繰り返しは 1 回（do it over again＝やり直す）。over and over は何度も何度も。見分け方：やり直しなら over again、何回も続けるなら over and over。

0561 ☐☐☐

Mr. Sato is extremely honest. He is the _____ man to tell a lie.

① first ② least
③ only ④ last

④ the last ~ to ... 最も…しそうにない～

訳 佐藤さんはとても正直だ。彼は決してうそをつくような人ではない。

解説 とても正直なので「決してうそをつかない人」となる the last man to tell a lie。first や only を入れると「最初に／ただ一人うそをついた人」となり、前の文と矛盾する。least は副詞・形容詞の最上級で、the least man という形では使えない（the least likely man なら可）。

区別 **the last ~ to ... ⇔ the first ~ to ...** the first ~ to do は「最初に…した～」で、文字どおりの順番を表す（the first woman to win the prize）。the last ~ to do は順番の「最後」から「最もありそうにない」の意味に広がる。見分け方：人の性格・意外性の話なら the last。

0562 ☐☐☐

Repairing this old washing machine could cost _____ 50,000 yen, so you should consider buying a new one.

① as many as ② as well as
③ as long as ④ as much as

④ as much as ~ ～も（の量・額）；～と同じくらい

訳 この古い洗濯機の修理には 5 万円もかかるかもしれないので、新しいのを買うことも考えた方がいい。

解説 金額の多さを強調して「5 万円もの」なので as much as。金額は数字でも量として扱うので as many as は不可。as long as は条件「～する限り」か期間の長さに使う。as well as は「～だけでなく」で、cost の後ろで金額を強調できない。

区別 **as much as ~ ⇔ as many as ~** as many as は人・物の個数（as many as 100 people）。as much as は金額・重さ・時間など量。見分け方：後ろに数えられる名詞の複数形が来るなら many、金額・量なら much。

0563 ☐☐☐

I prefer to travel by train, as opposed _____ flying, because I can enjoy the scenery.

① from ② against
③ to ④ with

③ as opposed to ~ ～とは対照的に；～ではなく

訳 景色を楽しめるので、私は飛行機ではなく電車で旅行する方が好きだ。

解説 「飛行機ではなく（とは対照的に）」は as opposed to ~ で、to は前置詞なので後ろの flying（動名詞）とつながる。from は different from と混同した誤り。against は be against ~（反対する）の形で、opposed とは組まない。with も不可。

区別 **as opposed to ~ ⇔ be opposed to ~** be opposed to ~ は「～に反対している」（＝ object to）で、主語は人。as opposed to は「～とは対照的に」と対比するだけで、賛否は言わない。どちらも to は前置詞で後ろは ~ing。

0564 □□□

This old car will last two more years ＿＿＿＿; it could break down any day.

① at least　② at worst
③ at best　④ at last

③ at (the) best　せいぜい；よくても

訳 この古い車はよくてもあと 2 年しかもたないだろう。いつ壊れてもおかしくない。

解説 「いつ壊れてもおかしくない」と続くので、「よくてもあと 2 年」の at best。at least（少なくとも 2 年）や at worst（最悪でも 2 年）にすると、2 年は確実に持つことになり、後半と矛盾する。at last は「ついに」で、未来の見積もりには使えない。

区別 **at (the) best ⇔ at least**　at least は「少なくとも」で下限を示す。at best は「よくても」で上限を示し、それ以下になる可能性を含む。見分け方：「もっと悪いかもしれない」なら at best、「もっと多いかもしれない」なら at least。

0565 □□□

Always keep a flashlight close ＿＿＿＿ hand in case of a sudden power cut.

① by　② from
③ with　④ at

④ at hand　手近に；間近に

訳 突然の停電に備えて、懐中電灯をいつも手近に置いておきなさい。

解説 「すぐ手の届く所に」は close at hand で、前置詞は at。by hand は「手作業で・手渡しで」で、懐中電灯を置く場所を表せない。from / with も hand と組んで「手近に」の意味にならない。停電に備えて手元に置くという文意に合う。

区別 **at hand ⇔ by hand**　by hand は「（機械でなく）手で・手作業で」（made by hand）、「手渡しで」。at hand は場所や時間が近いこと。見分け方：作り方・届け方なら by hand、近さなら at hand。

0566 □□□

There were a few problems with the sound system, but ＿＿＿＿ and large, the concert was a success.

① far　② by
③ on　④ at

② by and large　概して；全体的に見て

訳 音響設備にはいくつか問題があったが、全体的に見れば、コンサートは成功だった。

解説 「概して・全体的に見て」は by and large で、語の組み合わせは固定。far は far and wide（至る所に）と混同した誤り。on は on the whole（概して）とは言うが on and large とは言わない。at も不可。小さな問題はあったが全体としては成功、という流れに合う。

区別 **by and large ⇔ far and wide**　far and wide は「至る所に・広く」（search far and wide）で、範囲の広さを表す。by and large は全体の評価。見分け方：場所の広がりなら far and wide、総合的な判断なら by and large。

0567 □□□

Nobody taught her how to fix computers; she learned everything _____ trial and error.

① with ② for
③ in ④ by

④ by trial and error 試行錯誤によって

訳 誰も彼女にパソコンの直し方を教えなかった。彼女はすべて試行錯誤で覚えたのだ。

解説 「試行錯誤によって」は by trial and error で、手段を表す by。with は道具を使う「～で」で、この決まった形には使わない。in / for も trial and error と組んで学び方を表さない。誰にも教わらず自分で試して覚えた、という前半と合う。

区別 **by trial and error ⇔ by chance** by chance は「偶然に」で、狙ってではなく出会ったり見つけたりする場合。by trial and error は意図的に何度も試してたどり着く。見分け方：努力して見つけたなら trial and error、たまたまなら by chance。

0568 □□□

He sent her a bunch of flowers by way _____ apology for forgetting her birthday.

① for ② to
③ as ④ of

④ by way of ~ ～経由で；～として

訳 彼は誕生日を忘れたおわびとして、彼女に花束を贈った。

解説 「おわびとして」は by way of apology で、前置詞は of に決まっている。for は後ろの for forgetting her birthday（～したことの）にはあるが、by way の直後には置かない。to / as も by way と組んで「～として」の意味にならない。誕生日を忘れたおわびに花を贈る、という文意に合う。

区別 **by way of ~ ⇔ on one's way (to ~)** on one's way は「～へ行く途中で」で、移動の最中を表す。by way of は「～を通って（経由）」と道筋を表す。見分け方：途中で何かが起きたなら on the way、どこを通るかなら by way of。

0569 □□□

The plan has some serious risks. _____, I still think we should give it a try.

① Even if ② Even though
③ Even so ④ So that

③ even so たとえそうでも；それでも

訳 その計画には深刻なリスクがいくつかある。それでも、やはり試してみるべきだと思う。

解説 前の文を受けて「たとえそうでも」と新しい文を始めるので副詞句 Even so。Even if / Even though は接続詞なので、後ろの I still think ~ が主節としてもう 1 つ必要になり、この形では文が成り立たない。So that は「～するように」で目的を表し、意味も合わない。

区別 **even so ⇔ even if / even though** even if / even though は接続詞で、後ろに S V を従えて 1 つの文にする（Even though it rained, we went out）。even so は副詞で、前の文を受けて「それでも」と新しい文を始める。見分け方：後ろの節が主節そのものなら even so。

0570 □□□

We usually eat at home, but let's go out to a restaurant for a ＿＿＿＿.

① chance　② changing
③ change　④ exchange

③ for a change　気分転換に；たまには

訳 いつもは家で食べるけれど、たまには気分転換にレストランへ行こう。

解説 「いつも家で食べるが、たまには外食しよう」なので for a change（気分転換に）。chance は形が似たひっかけで、for a chance では「機会を求めて」となり文意に合わない。changing（動名詞）は a の後ろで決まり文句にならない。exchange は in exchange for ~（～と交換に）の形で使う。

区別 **for a change ⇔ in exchange (for ~)** in exchange for ~ は「～と交換に・～の代わりに」で、物や行為をやり取りする。for a change は「いつもと違って」。見分け方：何かを渡す代わりなら in exchange、気分を変えるなら for a change。

0571 □□□

Scientists warn that nobody knows for ＿＿＿＿ when the next big earthquake will hit Tokyo.

① certainly　② certain
③ certainty　④ truth

② for certain　確かに；確実に

訳 次の大地震がいつ東京を襲うのか、確実に分かる人は誰もいないと科学者たちは警告している。

解説 「確実に知る」は know for certain で、for の後ろは形容詞 certain（for sure と同じ形）。副詞 certainly は前置詞の後ろに置けない。名詞 certainty は with certainty（確信をもって）の形で使い、for certainty とは言わない。for truth も決まり文句ではない。

区別 **for certain ⇔ certainly** certainly は「確かに・きっと・もちろん」で、文全体や返事に使える（Certainly, sir.）。for certain は know / say など知る・言う動詞の後ろで「確実に」。見分け方：前置詞 for の後ろは形容詞 certain、副詞 certainly は単独で使う。

0572 □□□

The research project was canceled for ＿＿＿＿ of funds.

① lack　② short
③ lacking　④ lacks

① for lack of ~　～が不足しているために

訳 その研究プロジェクトは資金不足のために中止された。

解説 「資金不足のために」は for lack of ~ で、lack は名詞。lacking は形容詞・分詞で、for lacking of とは言わない。short は be short of ~（不足している）の形で使い、for short は「略して」の意味になる。lacks は動詞の 3 人称単数で前置詞の後ろに置けない。

区別 **for lack of ~ ⇔ be lacking in ~** be lacking in ~ は「（性質など）が欠けている」（He is lacking in common sense）で、主語の状態を言う。for lack of ~ は理由を示す前置詞句。動詞 lack は他動詞で前置詞なしに目的語を取る（He lacks money）。

0573 ☐☐☐

We don't need any more staff _____ the moment, but we may hire more people next year.

① in　② by
③ on　④ for

④ for the moment 差し当たり；今のところ

訳 今のところこれ以上の人手は必要ないが、来年はもっと雇うかもしれない。

解説 「今のところは（将来は変わるかも）」は for the moment で、期間の for。in the moment は「その瞬間に没頭して」の意味で、人手の必要性には使わない。by the moment / on the moment という決まった形はない。来年は雇うかもという後半と、「差し当たり」の意味が合う。

区別 **for the moment ⇔ the moment ~** 前置詞のない the moment は接続詞で、後ろに S V を続けて「～するとすぐに」。for the moment は後ろに文を取らない副詞句。見分け方：後ろに S V が続けば the moment。

0574 ☐☐☐

_____ that he started playing the piano only a year ago, his performance was remarkable.

① Given　② Unless
③ Provided　④ In case

① given (that) ~ ～を考慮すると；～と仮定すると

訳 ほんの 1 年前にピアノを始めたばかりであることを考えると、彼の演奏は見事だった。

解説 「1 年前に始めたばかりであることを考えると、演奏は見事だった」と事実を判断の前提にするので Given。Provided は「～という条件で」で、すでに起きた事実を前提に評価する文には合わない。Unless は「～でない限り」、In case は「～の場合に備えて」で、どちらも意味が通らない。

区別 **given (that) ~ ⇔ provided (that) ~** provided は「～という条件で・～ならば」で、これから満たすべき条件を示す。given は「（すでにある事実）を考えると」で判断の前提。見分け方：if に置き換えられれば provided、considering に置き換えられれば given。

0575 ☐☐☐

You can call me at home on the weekend, if _____.

① necessity　② necessary
③ necessarily　④ needing

② if necessary 必要なら

訳 必要なら、週末に家へ電話してくれてもいいですよ。

解説 if (it is) necessary の省略形で、補った is の後ろに置けるのは形容詞 necessary。necessity は名詞、necessarily は副詞「必ずしも」で、どちらも is の補語にならない。needing は if needed / if need be と混同したひっかけで、決まった形ではない。

区別 **if necessary ⇔ if possible** if possible は「できれば・可能なら」で、相手への控えめな頼み。if necessary は「必要になったら」で、条件がそろえば行う。見分け方：希望を言うなら if possible、必要に応じてなら if necessary。

0576 □□□

He didn't actually say no, but his long silence was, ＿＿＿＿, a refusal.

① in effect　② in turn
③ in vain　④ in case

① in effect　事実上；実際には

訳 彼ははっきりと断ったわけではないが、長い沈黙は事実上の拒否だった。

解説 はっきり断ってはいないが、長い沈黙は「事実上」断りだった、なので in effect。in vain は「無駄に」で、沈黙が断りだったという判断に合わない。in turn は「順番に・今度は」で、ここに入れても意味が通らない。in case は「～の場合に備えて」で、挿入句としてこの位置に置けない。

区別 **in effect ⇔ in fact**　in fact は「実は・実際に」で、前の内容を補強したり、意外な事実で訂正したりする。in effect は「名目はどうであれ実質的には」と結果・実態を言う。見分け方：「つまり実質的に～と同じ」なら in effect。

0577 □□□

This study examines students' stress levels ＿＿＿＿ relation to the amount of sleep they get.

① for　② on
③ in　④ at

③ in relation to ~　～に関して；～と比べて

訳 この研究は、学生のストレスの度合いを睡眠時間との関係で調べている。

解説 「～との関係で・～に関して」は in relation to ~ で、前置詞は in。for / on / at は relation と組んでこの決まった形を作らない。ストレスの度合いを睡眠時間との関係で調べる、という研究の内容に合う。

区別 **in relation to ~ ⇔ in contrast to ~**　in contrast to ~ は「～とは対照的に」と違いを際立たせる。in relation to は「～との関係で・比べて」と相対的な位置づけを示す。見分け方：反対の性質を強調するなら contrast、割合・関係を見るなら relation。

0578 □□□

In the event ＿＿＿＿ an earthquake, stay away from windows and get under a table.

① to　② that
③ for　④ of

④ in the event of ~　～の場合には；万一～のときは

訳 万一地震が起きたら、窓から離れてテーブルの下に入りなさい。

解説 後ろが名詞 an earthquake なので in the event of ~。that は in the event that S V と後ろに文が来るときの形で、名詞だけでは使えない。for / to は in the event と組まない。地震のときの行動を指示する掲示らしい文。

区別 **in the event of ~ ⇔ in case ~**　in case S V は「～するといけないから（備えて）」が基本で、in case of ＋ 名詞は「～の場合は」。in the event of / that は「万一～が起きたら」で、備えの意味はない。見分け方：Take an umbrella in case it rains.（備え）には in the event は使わない。

0579 □□□

Please don't talk about her health problems _____ the presence of her young children.

① at　② with
③ in　④ under

③ in the presence of ~ ～の面前で；～がある所で

訳 彼女の幼い子どもたちのいる前で、彼女の病気の話はしないでください。

解説 「～のいる前で」は in the presence of ~ で、前置詞は in。at / with / under は the presence of と組んで「面前で」の意味を作らない。幼い子どもの前で病気の話をしないで、という気づかいの文に合う。

区別 **in the presence of ~ ⇔ in the absence of ~** in the absence of ~ は「～がいない間に・～がない場合に」で正反対。in the presence of ~ は「～がいる前で」。見分け方：その人の目の前なら presence、留守中・欠けているなら absence。

0580 □□□

Could you move your suitcase, please? It's _____ the way, and people can't get through.

① on　② in
③ under　④ by

② in the way 邪魔になって

訳 スーツケースをどかしていただけますか。邪魔になっていて、人が通れないんです。

解説 通り道をふさいで人が通れないので「邪魔になって」の in the way。on the way は「途中で」で、スーツケースが邪魔という意味にならない。by the way は「ところで」と話題を変える言葉。under the way という決まった形はない。

区別 **in the way ⇔ on the way** on the way (to ~) は「（～へ行く）途中で」、「（赤ちゃん・荷物などが）向かっている」。in the way は「邪魔で」。見分け方：通り道をふさいでいるなら in、移動の途中なら on。

0581 □□□

Nobody asked him to do it; he cleaned up the whole classroom of his own _____.

① according　② accord
③ record　④ account

② of one's own accord 自発的に；ひとりでに

訳 誰も頼んでいないのに、彼は自分から進んで教室全体を掃除した。

解説 「自発的に」は of one's own accord で、名詞は accord。according は according to ~（～によれば）の形で使う語で名詞ではない。account は on one's own account（自分のために・独力で）の形で使い、of とは組まない。record（記録）も決まり文句ではない。誰にも頼まれずにという前半と合う。

区別 **of one's own accord ⇔ in accordance with ~** in accordance with ~ は「～に従って・～に一致して」（in accordance with the rules）。of one's own accord は「自発的に」。見分け方：規則・指示に合わせるなら in accordance with、自分の意志なら of one's own accord。

0582 ☐☐☐

The manager was so impressed by her interview that he offered her the job on the _____.

① spot ② place
③ point ④ site

① on the spot 即座に；その場で

訳 部長は彼女の面接にとても感心して、その場で採用を申し出た。

解説 「その場で即座に」は on the spot。on the place とは言わない（in place なら「所定の位置に」）。on the point of ~ing は「まさに～しようとして」で、後ろに of が必要。on site（the なし）は「現場で」で、即座に採用した意味にならない。面接の印象がよくてすぐ採用した場面に合う。

区別 **on the spot ⇔ on the dot** on the dot は「（時刻）ちょうどに」（at six on the dot）で、時間の正確さ。on the spot は「その場ですぐに」。見分け方：時刻の後ろなら on the dot、決定・行動の速さなら on the spot。

0583 ☐☐☐

We've argued about this for weeks. Let's settle it once and _____ all.

① at ② in
③ for ④ by

③ once and for all きっぱりと；これを最後に

訳 このことでもう何週間も言い争ってきた。これを最後に、きっぱりと決着をつけよう。

解説 「きっぱりと・これを最後に」は once and for all で、前置詞は for に決まっている。at / in / by に変えると決まり文句にならない（once in a while は「時々」で別の表現）。何週間も続いた議論に決着をつける、という文意に合う。

区別 **once and for all ⇔ once in a while** once in a while は「時々・たまに」（＝ occasionally）。once and for all は「これっきり・きっぱり」。見分け方：頻度なら once in a while、最終的な決着なら once and for all。

0584 ☐☐☐

I ran all the way from my house to the station, so I was completely out of _____ when I got on the train.

① breathe ② breathing
③ breaths ④ breath

④ out of breath 息を切らして

訳 家から駅までずっと走ったので、電車に乗ったときにはすっかり息が切れていた。

解説 「息を切らして」は out of breath で、breath は名詞（息）。breathe は動詞（呼吸する）で前置詞 of の後ろに置けない。breathing は動名詞で、決まり文句の形ではない。breaths は複数形で、この表現では使わない。駅まで走り続けたという状況に合う。

区別 **out of breath ⇔ take one's breath away** take one's breath away は「（美しさ・驚きで）息をのませる」で、主語は景色・出来事。out of breath は運動で息が切れた状態。見分け方：感動なら take one's breath away、体の疲れなら out of breath。

0585 □□□

_____, he is talented, but he is not the right person to lead the team.

① Make sure　② To be sure
③ Surely not　④ Be sure to

② to be sure 確かに（～だが）

訳 確かに彼には才能があるが、チームを率いるのにふさわしい人物ではない。

解説 「確かに才能はあるが、リーダーには向かない」と、後ろの but と組んで譲歩を表すのは To be sure。Make sure は「確かめなさい」、Be sure to は「必ず～しなさい」という命令で、後ろに原形が必要。Surely not は「まさか」で、才能があることを認める流れと矛盾する。

区別 **to be sure ⇔ be sure to do** be sure to do は「必ず～する（だろう）」「必ず～しなさい」（Be sure to call me）。to be sure は独立して譲歩を表す。見分け方：命令・確信なら be sure to do、文頭でコンマ付き＋後ろに but なら to be sure。

0586 □□□

If you have a complaint about him, say it to _____ instead of talking behind his back.

① his face　② face to face
③ the face　④ face

① to one's face ～の面と向かって；～の面前で

訳 彼に不満があるなら、陰で言うのではなく、本人に面と向かって言いなさい。

解説 「本人に面と向かって」は to one's face で、ここでは him のことなので to his face。face to face は to の後ろに置けない。the face や face だけでは誰の顔か分からず成り立たない。behind his back（陰で）との対比が手がかり。

区別 **to one's face ⇔ behind one's back** to one's face は「本人の前で」、behind one's back は「本人のいない所で（陰で）」。見分け方：本人が聞いているなら to one's face、陰口なら behind one's back。

0587 □□□

Under no circumstances _____ open this door without the teacher's permission.

① you should　② you shouldn't
③ should you　④ shouldn't you

③ under no circumstances
どんな事情があっても～ない

訳 どんな事情があっても、先生の許可なくこのドアを開けてはいけません。

解説 否定語を含む Under no circumstances が文頭に出ているので、後ろは疑問文と同じ倒置の語順 should you。you should は倒置になっていない。you shouldn't / shouldn't you は no とさらに否定が重なり、「開けなければならない」という逆の意味になる。

区別 **under no circumstances ⇔ in no time** in no time は「すぐに」で、no を含むが否定の意味はなく、文頭に出しても倒置しない。under no circumstances は文全体を否定するので倒置が起きる。見分け方：「決して～ない」と文を否定するかどうか。

0588 ☐☐☐

He knows the meaning of almost every word. He is, ＿＿＿＿, a walking dictionary.

① as it were　② as if
③ as such　④ as it is

① as it were いわば

訳 彼はほとんどあらゆる単語の意味を知っている。彼はいわば歩く辞書だ。

解説 人を「歩く辞書」にたとえているので、比喩の断りを入れる as it were（いわば）。as it is は「実際は・そのままで」で、たとえの断りにならない。as if は接続詞で後ろに S V が必要。as such は「それ自体として・そういうものとして」で意味が合わない。

区別 **as it were ⇔ as it is** as it is は文頭で「（ところが）実際は」、文尾で「そのままで」。as it were は「いわば」と比喩の断り。見分け方：仮定と現実の対比なら as it is、たとえの前後に挟むなら as it were。

0589 ☐☐☐

The future of the company is ＿＿＿＿ stake, so we must make the right decision today.

① on　② at
③ under　④ in

② at stake 危機にひんして；かかって

訳 会社の将来がかかっているので、私たちは今日、正しい決断をしなければならない。

解説 「（将来が）かかっている・危機にひんしている」は at stake で、前置詞は at に決まっている。on / in / under は stake と組んでこの意味を作らない。正しい決断をしなければならないという後半と合う。

区別 **at stake ⇔ at risk** at risk は「危険にさらされて」で、被害を受ける可能性を言う。at stake は「（勝負・決定に）かかっている」で、結果次第で得たり失ったりする含み。見分け方：決断・勝負の結果次第なら at stake。

0590 ☐☐☐

The nervous father kept walking back and ＿＿＿＿ in the hospital hallway.

① fourth　② force
③ front　④ forth

④ back and forth 前後に；行ったり来たり

訳 落ち着かない父親は、病院の廊下を行ったり来たりし続けた。

解説 「行ったり来たり」は back and forth で、forth は「前へ」という副詞。fourth は発音が同じ「4 番目」で意味が合わない。force（力）も発音が似たひっかけ。front は名詞「前部」で、副詞として back と並べる決まり文句にならない。

区別 **back and forth ⇔ to and fro** to and fro も「あちこちに・行ったり来たり」で意味はほぼ同じだが、やや文語的。back and forth の方が日常的で、意見のやり取りにも使える。

0591 □□□

Thanks to the new medicine, the patient's condition is improving day _____ day.

① for　② by
③ in　④ off

② day by day　日ごとに；日に日に

訳 新しい薬のおかげで、患者の容態は日に日によくなっている。

解説 「日に日に（少しずつ）よくなっている」と変化を表すのは day by day。by は step by step と同じ「～ずつ」。day for day / day in day という決まった形はない（day in, day out は「明けても暮れても」でコンマで区切る別の表現）。day off は「休日」で副詞にならない。

区別 **day by day ⇔ day after day**　day after day は「来る日も来る日も（同じことが続く）」で、単調さやうんざりする気持ちを込めることが多い。day by day は「日ごとに少しずつ（変化する）」。見分け方：変化・成長なら by、繰り返しなら after。

0592 □□□

I don't want to go on that trip. For one _____, it's too expensive; for another, I have exams that week.

① time　② way
③ part　④ thing

④ for one thing　一つには

訳 その旅行には行きたくない。一つには高すぎるし、もう一つにはその週は試験があるからだ。

解説 理由を並べる「一つには」は for one thing で、後ろの for another と対になる。for one time / for one way という決まった形はない。for one's part は「～としては」で、one と所有格の形が違い、理由を並べる働きもない。

区別 **for one thing ⇔ for one**　I, for one, ~ は「少なくとも私は（ほかの人はともかく）」と自分の立場を強調する。for one thing は理由の 1 つ目。見分け方：人の後ろに挟むなら for one、理由を並べるなら for one thing。

0593 □□□

His report was written very carefully. There are few, if _____, mistakes in it.

① ever　② any
③ none　④ some

② if any　もしあれば；たとえあっても

訳 彼の報告書はとても丁寧に書かれている。間違いはたとえあってもごくわずかだ。

解説 few（ほとんどない）と組んで「たとえあってもごくわずか」と名詞 mistakes の数を言うので if any。if ever は seldom / rarely と組んで頻度を表す形。some は if some とは言わない。none は否定語で、if none では「なければ」となり few と合わない。

区別 **if any ⇔ if ever**　if ever は seldom / rarely と組んで「たとえあるとしても（めったに～ない）」と頻度を言う（He seldom, if ever, comes）。if any は名詞の数・量。見分け方：前が few / little なら if any、seldom / rarely なら if ever。

0594 ☐☐☐

We got lost, it rained all day, and the hotel was dirty. The trip was, _____ a word, a disaster.

① in ② with
③ at ④ by

① in a word 一言で言えば；要するに

訳 道に迷い、一日中雨が降り、ホテルは汚かった。一言で言えば、その旅行は大失敗だった。

解説 「一言で言えば」は in a word で、前置詞は in に決まっている。by / with / at は a word と組んでこの意味を作らない（by word of mouth は「口コミで」で別の表現）。いろいろな不運を「大失敗」と一言でまとめる流れに合う。

区別 **in a word ⇔ in other words** in other words は「言い換えれば」で、同じ内容を別の分かりやすい言葉で言い直す。in a word は内容を一言に短くまとめる。見分け方：長さを縮めて結論を言うなら in a word。

0595 ☐☐☐

The police questioned three men in connection _____ the bank robbery.

① of ② for
③ at ④ with

④ in connection with ~ ～に関連して；～について

訳 警察は銀行強盗事件に関連して 3 人の男を取り調べた。

解説 「～に関連して」は in connection with ~ で、connect A with B と同じ with。of / for / at は connection と組んでこの意味を作らない。銀行強盗事件に関連して 3 人を取り調べた、という警察の文の典型。

区別 **in connection with ~ ⇔ in relation to ~** in relation to ~ は「～に関して」のほか「～と比べて」の意味がある。in connection with ~ は「～と関わりがある」ことを示し、比較の意味はない。前置詞も with と to で違う。

0596 ☐☐☐

The architect designed the house to be in harmony _____ the surrounding forest.

① to ② for
③ with ④ at

③ in harmony with ~ ～と調和して；～と仲よく

訳 その建築家は、家が周りの森と調和するように設計した。

解説 「～と調和して」は in harmony with ~ で、調和する相手を with で示す。to / for / at は harmony と組んでこの意味を作らない。家を周りの森と調和するように設計した、という文意に合う。

区別 **in harmony with ~ ⇔ in conflict with ~** in conflict with ~ は「～と対立して・矛盾して」で正反対。in harmony with は「～と調和して」。どちらも with を使う。

0597 ☐☐☐

The company announced that salaries would be raised in line _____ inflation.

① to ② for
③ with ④ on

③ in line with ~ ～に沿って；～と一致して

訳 その会社は、物価上昇に合わせて給料を上げると発表した。

解説 「～に合わせて・沿って」は in line with ~ で、前置詞は with。to / for / on は in line と組んでこの意味を作らない。物価上昇に合わせて給料を上げる、という文意に合う。

区別 **in line with ~ ⇔ out of line** out of line は「（言動が）度を越して・ふさわしくない」（Your comment was out of line）。in line with ~ は「～に沿って」。前置詞 in / out で意味が反対方向になる。

0598 □□□

We agree with your proposal in _____, but we still need to discuss the budget and schedule.

① principal ② practice
③ particular ④ principle

④ in principle 原則として；理論上は

訳 原則としてはあなたの提案に賛成ですが、予算と日程についてはまだ話し合う必要があります。

解説 「大筋では賛成だが、細かい点はまだ話し合う必要がある」なので in principle（原則として）。principal は発音が同じ「主要な・校長」でつづりのひっかけ。in practice は「実際には」で、細部を後で話し合う流れに合わない。in particular は「特に」で、but 以下と対比にならない。

区別 **in principle ⇔ in theory** in theory は「理屈の上では（実際は違うかも）」で、in practice と対比する。in principle は「大筋では・原則として」で、合意・賛成の文脈で多い。

0599 □□□

_____ the absence of the principal, the vice principal will lead today's meeting.

① At ② In
③ By ④ On

② in the absence of ~ ～がない場合に；～の不在中に

訳 校長不在のため、今日の会議は教頭が進行します。

解説 「～の不在中に」は in the absence of ~ で、前置詞は in に決まっている。At / On / By は the absence of と組んでこの意味を作らない。校長がいないので教頭が会議を進める、という文意に合う。

区別 **in the absence of ~ ⇔ in the presence of ~** in the presence of ~ は「～の面前で・～がある所で」で正反対。in the absence of ~ は「～がいない・ない状況で」。どちらも in the ___ of の同じ形。

0600 □□□

He moved to Tokyo in the hope _____ finding a better-paying job.

① of ② for
③ that ④ to

① in the hope of ~ing
～することを期待して；～を望んで

訳 彼はもっと給料のよい仕事を見つけることを期待して東京へ引っ越した。

解説 後ろが動名詞 finding なので in the hope of ~ing。that は in the hope that S V の形で、後ろに主語と動詞が必要。to は in the hope to find とは普通言わず、後ろが ~ing なので形も合わない。for も hope と組んで動名詞を続けるこの形にならない。

区別 **in the hope of ~ing ⇔ in the hope that ~** in the hope that の後ろは S V（that 節）。in the hope of の後ろは名詞・動名詞。見分け方：空所の後ろが ~ing なら of、主語と動詞が続けば that。

0601 □□□

Sorry, you can't use this meeting room now. It's _____ use until three o'clock.

① of ② on
③ in ④ under

③ in use 使用中で；使われて

訳 すみません、今はこの会議室は使えません。3 時まで使用中です。

解説 「3 時まで使用中だ」なので in use。of use は「役に立つ」で、部屋が使えない理由にならない。on / under は use と組んで使用中の意味を作らない。今は使えないという前の文と合う。

区別 **in use ⇔ of use** of use は「役に立つ」（＝ useful）。in use は「使用中で」。見分け方：今使われているかどうかなら in use、役立つかどうかなら of use。

0602 ☐☐☐

I'd like to thank my coach, my teammates, and, last but not ———— , my parents.

① least ② last
③ little ④ less

① last but not least 最後に大事なことを一つ

訳 コーチとチームメイト、そして最後になりましたが大切な両親に感謝したいと思います。

解説 決まった形は last but not least で、least は little の最上級「最も重要でない」。less は比較級で、決まり文句にならない。last を重ねると「最後だが最後ではない」と意味が崩れる。little（原級）も不可。お礼を述べる人を並べた最後に両親を挙げる場面に合う。

区別 **last but not least ⇔ at last** at last は「ついに・やっと」で、待ち望んだことが実現したときに使う。last but not least は列挙の最後を示す。見分け方：「とうとう」なら at last、「最後に（大事な）」なら last but not least。

0603 ☐☐☐

Climate change is a serious problem ———— a global scale.

① in ② by
③ on ④ with

③ on a ~ scale ～の規模で

訳 気候変動は地球規模の深刻な問題だ。

解説 「～の規模で」は on a ~ scale で、前置詞は on。目盛りの上に乗っているイメージで、on a global scale は「地球規模で」。in / by / with は scale と組んでこの意味にならない。to scale（縮尺どおりに）と区別する。

区別 **on a ~ scale ⇔ to scale** on a ~ scale は「～の規模で」と大きさ・広がりを表す。to scale は「（地図・模型が）縮尺どおりに・正しい比率で」（draw a map to scale）。見分け方：前に large / global など規模の形容詞があれば on a ~ scale、縮尺の正確さなら to scale。

0604 ☐☐☐

He turned down the job offer ———— the grounds that the salary was too low.

① in ② on
③ by ④ for

② on the grounds that ~ ～という理由で

訳 彼は給料が低すぎるという理由で、その仕事の申し出を断った。

解説 「～という理由で」は on the grounds that ~ で、根拠の上に立つ on。in / for / by は the grounds that と組んでこの意味を作らない。給料が低すぎるという理由で仕事の申し出を断った、という文意に合う。

区別 **on the grounds that ~ ⇔ on the grounds of ~** of の後ろは名詞（on the grounds of poor health）、that の後ろは文。見分け方：空所の後ろに主語と動詞があれば that。

0605 ☐☐☐

The project failed not because of bad luck but because of a lack of effort on the _____ of the team members.

① behalf ② piece
③ point ④ part

④ on the part of ~ ～の側の；～による

訳 そのプロジェクトが失敗したのは運が悪かったからではなく、チームメンバーの努力が足りなかったからだ。

解説 「チームメンバーの側の努力不足」と、誰による不足かを示すので on the part of ~。behalf は on behalf of ~（～を代表して）と the なしで使い、意味も合わない。on the point of ~ は「まさに～しようとして」で後ろは ~ing。piece は決まり文句を作らない。

区別 **on the part of ~ ⇔ on behalf of ~** on behalf of ~ は「～を代表して・～の代わりに」。on the part of ~ は「～の側による」。見分け方：誰かの代理として行動するなら on behalf of、誰の行為・責任かを示すなら on the part of。

0606 ☐☐☐

The number of foreign tourists visiting Japan is on the _____ again.

① raise ② arise
③ rise ④ rising

③ on the rise 増加して；上昇中で

訳 日本を訪れる外国人観光客の数が、再び増えている。

解説 「増加して」は on the rise で、rise は名詞「上昇」。raise は他動詞「上げる」（名詞だと「昇給」）で、この決まり文句には使わない。arise は「生じる」という動詞。rising は ~ing 形で、the の後ろに置いて決まった形にならない。

区別 **on the rise ⇔ raise** raise は他動詞「～を上げる」（raise prices）、名詞では「昇給」（a pay raise）。rise は自動詞「上がる」・名詞「上昇」。on the rise の rise を raise にしないこと。

0607 ☐☐☐

I felt out of _____ at the party because everyone else was wearing formal clothes.

① order ② place
③ date ④ sight

② out of place 場違いで；不適当で

訳 ほかのみんなは正装していたので、パーティーで私は場違いな感じがした。

解説 自分だけ服装が違って浮いていたので「場違いで」の out of place。out of order は「故障して・順番が乱れて」で人の気持ちを表さない。out of sight は「見えない所に」、out of date は「時代遅れの」で、服装が周りと合わず居心地が悪い場面に合わない。

区別 **out of place ⇔ in place** in place は「所定の場所に・準備が整って」（Everything is in place for the party）。out of place は「場違いで」。in place of ~ は「～の代わりに」で別の表現。

0608 ☐☐☐

I'm sorry, but that model is out of _____ right now. We'll get more in next week.

① order ② store
③ sale ④ stock

④ out of stock 在庫切れで；品切れで

訳 申し訳ありませんが、そのモデルはただ今在庫切れです。来週入荷します。

解説 来週入荷するということは今は「在庫切れ」なので out of stock。out of order は「故障して」で、入荷を待つ理由にならない。out of store / out of sale という決まった形はない（on sale は「販売中・特売中」）。

区別 **out of stock ⇔ in stock** in stock は「在庫があって」で正反対。Do you have this in stock?（在庫はありますか）は買い物の定番の質問。

0609 □□□

_____ you won a million dollars in the lottery, what would you buy first?

① Unless　② Even
③ Suppose　④ Though

③ suppose (that) ~
もし～だとしたら；～したらどうだろう

訳 もし宝くじで 100 万ドル当たったとしたら、まず何を買いますか。

解説 「もし宝くじで 100 万ドル当たったとしたら」と仮定するので Suppose（＝ If）。主節の would buy と仮定法過去の won が合う。Unless は「～しない限り」で意味が合わない。Even は副詞で接続詞の働きをしない（Even if なら可）。Though は「～だけれども」で、事実でない仮定には使わない。

区別 **suppose (that) ~ ⇔ be supposed to do** be supposed to do は「～することになっている・～するはずだ」（You're supposed to wear a uniform）。文頭の suppose は「もし～なら」。見分け方：be 動詞＋ supposed to なら予定・義務。

0610 □□□

I'm going to tell you something important, but please keep it _____ yourself.

① by　② to
③ of　④ in

② to oneself 自分だけに；心の中で

訳 大事なことを話すけれど、誰にも言わないでね。

解説 「（秘密を）人に言わずに自分だけにとどめる」は keep A to oneself。by yourself は「一人で・独力で」で、秘密を守る意味にならない。in yourself / of yourself は keep A と組んだ決まった形ではない。大事な話を人に言わないでと頼む場面に合う。

区別 **to oneself ⇔ by oneself** by oneself は「一人で・独力で」（＝ alone / without help）。to oneself は「自分だけに（とどめて）・心の中で」。見分け方：誰の助けもなく行うなら by、秘密や考えを自分の中にとどめるなら to。

0611 □□□

We are going to have a barbecue in the park tomorrow, weather _____.

① permitting　② permits
③ to permit　④ permitted

① weather permitting 天気がよければ

訳 天気がよければ、明日は公園でバーベキューをする予定です。

解説 if the weather permits を分詞構文にした独立分詞構文なので、能動の現在分詞 permitting。天気は「許す」側なので過去分詞 permitted（許された）にはならない。permits は述語動詞の形で、コンマの後ろに単独で置けない。to permit も決まった形ではない。

区別 **weather permitting ⇔ if possible** if possible は「できれば」と話し手側の都合・希望。weather permitting は天候という外的な条件。どちらも省略された条件の表現。

0612 □□□

To make a promise is one thing; to keep it is ＿＿＿＿.

① other　② another
③ the other　④ others

② A is one thing, B is another　AとBは別のことだ

訳 約束をすることと、それを守ることは別だ。

解説 A is one thing, B is another で「A と B は別のことだ」という決まった形。one thing に対して another（別の 1 つ）で受ける。other は単独では補語にならず、the other は 2 つのうちの残り 1 つ、others は複数で、この成句には使わない。

区別 **A is one thing, B is another ⇔ one ～, the other ...** one ～, the other ...は「（2 つのうち）1 つは～、もう 1 つは...」と、決まった 2 つを指す。A is one thing, B is another の another は「別の 1 つのこと」で、the other にはしない。

0613 □□□

He finished the report, and ＿＿＿＿ in only two hours.

① that　② which
③ it　④ so

① and that　しかも；それも

訳 彼は報告書を仕上げた。しかもたった 2 時間で。

解説 前の内容（報告書を仕上げたこと）を受けて「しかもたった 2 時間で」と強調する and that。後ろは語句だけで動詞はない。which は and の直後で前の文全体を受ける関係代名詞として使えない。it や so も語句だけを続けて「しかも」の意味を作れない。

区別 **and that ⇔ and what is more**　どちらも「しかも」と付け加えるが、and that は前の内容を that で受けて短い語句で強調する（and that a big one）。and what is more は後ろに完全な文を続けて新しい情報を加える。見分け方：後ろが語句だけなら and that、S V が続けば what is more。

0614 □□□

We would be grateful if you could reply at your earliest ＿＿＿＿.

① convenient　② comfort
③ conveniently　④ convenience

④ at one's convenience　（人の）都合のよいときに

訳 ご都合がつき次第、できるだけ早くご返信いただければ幸いです。

解説 at one's earliest convenience で「都合がつき次第できるだけ早く」。所有格と形容詞 earliest の後ろなので名詞が必要で、convenience が入る。convenient は形容詞、conveniently は副詞。comfort は名詞だがこの成句は作らない。

区別 **at one's convenience ⇔ if it is convenient for you**　同じ意味を節で言う形。convenient の主語は時間・場所・事柄で、人は for ～で表す。×If you are convenient は典型的な誤り。at one's convenience は名詞 convenience を使った句。

0615 □□□

Without an engine, the small boat was at the ＿＿＿＿ of the wind and waves.

① cost　② mercy
③ merit　④ risk

② at the mercy of ~ ～のなすがままに；～に左右されて

訳 エンジンのない小舟は、風と波のなすがままだった。

解説 エンジンがない小舟は風と波の「なすがまま」なので at the mercy of ~。at the cost of ~ は「～を犠牲にして」、at the risk of ~ は「～の危険を冒して」で、どちらも主語が自分から代価・危険を引き受ける意味になる。merit（長所）は決まり文句を作らない。

区別 **at the mercy of ~ ⇔ at the cost of ~** at the cost of ~ は「～を犠牲にして」（at the cost of his health）。at the mercy of ~ は「～の思うままに」。同じ at the ~ of の形のひっかけに注意。

0616 □□□

We enjoyed our trip to Hokkaido to the ＿＿＿＿.

① fully　② fuller
③ full of　④ fullest

④ to the fullest 存分に；最大限に

訳 私たちは北海道旅行を存分に楽しんだ。

解説 to the fullest で「存分に」。最上級なので the の後ろは fullest。fully は副詞なので the の後ろには置けない。full of は後ろに名詞が必要。fuller は比較級で、the と組んでこの成句にならない。

区別 **to the fullest ⇔ at (the) most** at most は「多くても・せいぜい」と上限を示す（at most ten people）。to the fullest は「最大限まで」と程度の大きさを強める。同じ最上級でも意味の向きが違う。

0617 □□□

This beautiful old bridge will be used for many years to ＿＿＿＿.

① coming　② came
③ come　④ comes

③ ~ to come
（名詞の後ろで）これから先の～；来たるべき～

訳 この美しい古い橋は、これから先何年も使われるだろう。

解説 名詞の後ろに to come を置いて「これから先の」。不定詞なので to の後ろは原形の come。coming / came / comes は to の後ろに置けない。for many years to come で「これから何年もの間」という決まった形。

区別 **~ to come ⇔ coming ~** the coming week のように coming は名詞の前に置いて「次の・近づいている」とすぐ先の時を表す。~ to come は名詞の後ろに置き、for years to come のように長く続く未来を表すことが多い。見分け方：名詞の後ろなら to come、前なら coming。

0618 ☐☐☐

The hotel was a bit old and the food was nothing special, but ＿＿＿＿, we had a great time.

① above all　② at all
③ all at once　④ all in all

④ all in all 全体的に見て；概して

訳 ホテルは少し古く料理も大したことはなかったが、全体的に見れば、とても楽しい時間を過ごせた。

解説 ホテルの古さや料理の欠点を挙げた後に「全体的に見て楽しかった」と総合評価を述べるので all in all。above all は「何よりも」と一つを強調する語で、欠点の後のまとめにならない。at all は否定・疑問を強める語で肯定文に置けない。all at once は「突然」で意味が合わない。

区別 **all in all ⇔ after all** after all は「結局（予想に反して）」「何しろ～だから」。all in all は全体を総合した評価。見分け方：細かい点を差し引いて総合判断するなら all in all。

0619 ☐☐☐

I would buy that car if I had enough money, but ＿＿＿＿, I can't even afford a new bike.

① as it were　② as it is
③ as such　④ as if

② as it is （文頭で）実際は；（文尾で）そのままで

訳 お金が十分あればあの車を買うのだが、実際は新しい自転車さえ買えない。

解説 仮定法で「お金があれば買うのに」と言った後、「ところが実際は」と現実に切り替えるので as it is。as it were は「いわば」で比喩の断り。as if は接続詞で後ろに S V が必要で、ここではコンマで区切られた挿入句にならない。as such は「それ自体として」で意味が合わない。

区別 **as it is ⇔ as it were** as it were は「いわば」で、比喩の前後に挟む。as it is は「実際は・そのままで」。is と were の 1 語の違いで意味が全く変わる。

0620 ☐☐☐

Our coach seems strict and scary, but he's very kind ＿＿＿＿ heart.

① by　② in
③ from　④ at

④ at heart 心の底では；本当は

訳 うちのコーチは厳しくて怖そうに見えるが、本当はとても優しい。

解説 「見た目は怖いが本当は優しい」と本当の性格を言うので at heart。by heart は「暗記して」で性格の話に合わない。in heart という決まった形はない。from the heart は「心から」で the が必要、意味も「本当は」にならない。

区別 **at heart ⇔ by heart** by heart は「暗記して」（learn a poem by heart）。at heart は「本当は・心の底では」。見分け方：覚える動詞と組むなら by heart、性格の話なら at heart。

0621 ☐☐☐

The professor discussed the new theory at ＿＿＿＿, spending almost the whole class on it.

① long　② large
③ length　④ lengthy

③ at length 詳しく；長々と

訳 教授はその新しい理論を詳しく論じ、授業のほとんどをそれに費やした。

解説 授業のほとんどを使って「詳しく・長々と」論じたので at length。at long だけでは決まり文句にならない（at long last なら「やっと」）。at large は「逃走中で・全体として」で意味が合わない。lengthy は形容詞「長ったらしい」で、at の後ろに置けない。

区別 **at length ⇔ at last** at last は「（待ち望んだ末に）ついに」で日常的。at length の「ついに」は長い時間がかかった末という硬い表現で、主に文頭。「詳しく」の意味は at length だけ。

0622 ☐☐☐

We ＿＿＿＿ for ages, but the bus still hasn't come.

① are waiting　② had been waiting
③ have been waiting　④ will wait

③ for ages 長い間；何年も

訳 私たちはずいぶん長い間待っているのに、バスはまだ来ない。

解説 「ずっと待っているのにまだ来ない」と今まで続く動作なので、現在完了進行形 have been waiting。are waiting は現在進行形で for ages（今までの期間）と合わない。had been waiting は過去のある時点までの話で、後半の still hasn't come（現在）と時制がずれる。will wait は未来で文意に合わない。

区別 **for ages ⇔ for good** for good は「永久に・これを最後に」で、期間の長さではなく「二度と戻らない」こと。for ages は「（これまで）長い間」。見分け方：完了形で長く続いた期間なら for ages、去って戻らない・やめてしまうなら for good。

0623 ☐☐☐

My brother is usually the last one to arrive, but yesterday, ＿＿＿＿, he got to the station before everyone else.

① at once　② once and for all
③ once upon a time　④ for once

④ for once 今度だけは；たまには

訳 兄はいつもは最後に着くのに、昨日は珍しく誰よりも先に駅に着いた。

解説 いつも最後に来る兄が、昨日は「今回に限って」一番に着いたという対比なので for once。at once は「すぐに・同時に」で、いつもとの対比を表さない。once and for all は「これを最後にきっぱり」で一回の到着には使わない。once upon a time は昔話の「昔々」。

区別 **for once ⇔ at once** at once は「すぐに（＝ immediately）」または「同時に」。for once は「今回に限って」。見分け方：いつもと違う珍しい行動なら for once、すぐ・一度にの意味なら at once。

0624 □□□

On the application form, please write your name ＿＿＿＿, not just your initials.

① to the full　② at full
③ in full　④ with full

③ in full 全部；全額

訳 申込書には、頭文字だけでなく名前を省略せずに書いてください。

解説 「省略せずに書く」は in full。to the full は「心ゆくまで・最大限に」で、名前の書き方には使わない。at full は at full speed（全速力で）のように後ろに名詞が要る。with full も後ろに名詞が必要で、単独では使えない。

区別 **in full ⇔ to the full** to the full は「心ゆくまで・最大限に」で、enjoy / live / use などと使う。in full は「全額・全部・省略なしで」。見分け方：量や中身を欠けなく示すなら in full、楽しみ・能力を目いっぱいなら to the full。

0625 □□□

Every year, many young people move to big cities in ＿＿＿＿ of their dreams.

① pursue　② pursuing
③ chase　④ pursuit

④ in pursuit of ～ ～を追い求めて；～を追跡して

訳 毎年、多くの若者が夢を追い求めて大都市へ移り住む。

解説 in と of にはさまれる位置には名詞が必要なので pursuit。pursue は動詞で前置詞 in の後ろに置けない。pursuing は動名詞だが、in pursuing of のように of を続けられない。chase は名詞にもなるが in chase of という決まった言い方はない（in hot pursuit などは pursuit を使う）。

区別 **in pursuit of ～ ⇔ in search of ～** in search of は「～を探して」で、失くした物・行き先・仕事などを見つけようとする場面。in pursuit of は「（目標を）追い求めて・（逃げる者を）追いかけて」。見分け方：見つけることが目的なら search、達成や捕まえることを目指して追うなら pursuit。

0626 □□□

The workers were kept in the ＿＿＿＿ about the plan to close the factory until the last minute.

① shade　② dark
③ black　④ night

② in the dark 暗がりで；知らされずに

訳 工場を閉鎖する計画について、従業員たちは最後の最後まで知らされていなかった。

解説 「知らされずにおかれる」は be kept in the dark。in the shade は「日陰で」で情報とは関係ない。in the night は「夜に」。in the black は「黒字で（↔ in the red 赤字で）」で会計の表現。

区別 **in the dark ⇔ in the know** in the know は「内情に通じて」で、in the dark の反対。見分け方：情報を持っているなら in the know、持っていない・知らされていないなら in the dark。

0627 □□□

Cutting prices may increase sales in the short _____, but it could hurt the company's image over the years.

① run ② way
③ distance ④ race

① in the short run 短期的には；目先は

訳 値下げは短期的には売り上げを伸ばすかもしれないが、長年のうちに会社のイメージを傷つけかねない。

解説 「短期的には」は in the short run（または in the short term）。in the short way / distance / race という決まった言い方はない。後半の over the years（長年のうちに）と対比されていることも、短期・長期の run の表現だと判断する手がかりになる。

区別 **in the short run ⇔ in the long run** in the long run は「長い目で見れば・結局は」。in the short run は「短期的には」。見分け方：今すぐの影響なら short、将来の結果なら long。両方そろった文では but の前後で対比されることが多い。

0628 □□□

Her paintings will be _____ display at the city museum until the end of May.

① on ② at
③ under ④ in

① on display 展示されて；陳列されて

訳 彼女の絵は 5 月末まで市立美術館に展示される。

解説 「展示されて」は on display（on show / on exhibition も同じ）。in display / at display / under display とは言わない。under は under construction（建設中）のように使うが、展示には on を使う。

注意 ＝ on show / on exhibition。お知らせ文や美術館の会話に出る。

0629 □□□

Sorry, I can't talk right now. I'm _____ the phone with a client.

① by ② on
③ at ④ in

② on the phone 電話中で；電話で

訳 ごめんなさい、今は話せません。お客様と電話中なんです。

解説 「電話中で」は on the phone。by the phone は「電話のそばで」の意味になる（手段の by phone は冠詞なし）。in the phone は「電話機の中に」、at the phone も通話中の意味にはならない。

区別 **on the phone ⇔ by phone** by phone は「電話という手段で」で冠詞なし（by bus, by email と同じ）。on the phone は「電話に出て・電話で話している状態」。見分け方：連絡手段を言うなら by phone、今通話中なら on the phone。by the phone だと「電話のそばで」になる。

0630 □□□

Only if you finish your homework _____ watch TV tonight.

① can you ② you will
③ do you can ④ you can

① only if ~ ～の場合に限り

訳 宿題を終わらせた場合に限り、今夜テレビを見てもいいよ。

解説 Only if ~ が文頭に出ると主節は疑問文の語順に倒置するので can you watch が正しい。you can / you will は倒置していない。do you can は助動詞 can があるのに do を重ねており誤り。

区別 **only if ~ ⇔ if only ~** if only は「～でありさえすれば（いいのに）」という願望で、仮定法の過去・過去完了が続く（If only I were rich!）。only if は「～の場合に限り」の条件。見分け方：後ろが仮定法で願望なら if only、条件の限定なら only if。

0631 □□□

The picture on the wall is ＿＿＿＿ down. Please turn it the right way up.

① inside　② outside
③ underside　④ upside

④ upside down 逆さまに；ひっくり返って

訳 壁の絵が逆さまだ。正しい向きに直してください。

解説 後ろの the right way up（正しい向きに）から、絵の上下が逆になっていると分かるので upside down。inside は inside out（裏返し）の形で使い、down とは組まない。outside down / underside down という表現はない。

区別 **upside down ⇔ inside out** upside down は上下が逆、inside out は内と外が逆。比ゆでは turn ~ upside down が「（生活・社会などを）大混乱させる」、know ~ inside out が「知り尽くす」と意味が離れる。見分け方：上下の向きなら upside down、表裏なら inside out。

0632 □□□

＿＿＿＿ as he was, the boy carried the heavy bag all the way home.

① A small boy　② Smaller
③ Smallness　④ Small

④ 形容詞 + as S V ～だけれども（譲歩）

訳 その男の子は小さかったけれども、重いかばんを家までずっと運んだ。

解説 形容詞を文頭に出した譲歩の形で、Small as he was ＝ Though he was small（小さかったけれども）。名詞を前に出すときは冠詞を落とすので A small boy は誤り。Smaller は比較級で比べる相手がない。Smallness は名詞で、ここには形容詞が必要。

区別 **形容詞 + as S V ⇔ Though S V** 意味は同じ「～だけれども」だが語順が違う。Though he is young は普通の語順、Young as he is は形容詞を文頭に出し as を後ろに置く倒置的な形。見分け方：文頭が形容詞で as が続いていれば譲歩。名詞を出すなら冠詞なし。

0633 □□□

All things ＿＿＿＿, the school trip was a great success.

① considered　② to consider
③ consider　④ considering

① all things considered すべてを考慮すると

訳 すべてを考慮すると、修学旅行は大成功だった。

解説 all things が「考慮される」側なので、受け身の意味の過去分詞を使った独立分詞構文 all things considered。considering は能動の意味になり、all things が考える主体になってしまう。to consider / consider は分詞構文の形にならない。

区別 **all things considered ⇔ considering ~** considering ~ は前置詞・接続詞的に「～を考えると・～の割には」で、後ろに名詞・節を置く（considering his age）。all things considered は後ろに何も続けない独立した句。見分け方：後ろに考える対象が続くなら considering。

0634 ☐☐☐

Tom told me about his trip. Among _____ things, he visited a castle and a famous temple.

① others ② another
③ the others ④ other

④ among other things とりわけ；中でも

訳 トムが旅行の話をしてくれた。いろいろある中でも、彼は城と有名な寺を訪れたそうだ。

解説 among other things で「とりわけ・数ある中で」。things は複数名詞なので、前に置けるのは形容詞の other。another は単数名詞にしか付かない。others / the others は代名詞で、後ろに名詞を置けない（人について among others と言うときは名詞なし）。

区別 **among other things ⇔ above all** among other things は「他にもいろいろある中の 1 つとして」と例を挙げるだけ、above all は「何よりも・一番大事なのは」と順位を付ける。見分け方：一番大事だと強調するなら above all、数ある中の例を示すなら among other things。

0635 ☐☐☐

Police say the prisoner who escaped last week is still _____ large.

① at ② in
③ on ④ by

① at large 逃走中で；一般の

訳 警察によると、先週脱走した囚人はまだ逃走中だという。

解説 「逃走中で」は at large。by は by and large（概して）の形でしか使わず、by large とは言わない。in large / on large もこの意味の決まった形ではない（in large numbers なら「大勢で」）。

区別 **at large ⇔ by and large** by and large は「概して・全体的に見て」で、文頭に置く副詞句。at large は「逃走中で」または名詞の後ろで「全体の」。見分け方：文頭で「概して」なら by and large。

0636 ☐☐☐

He is French _____ birth, but he has lived in Japan for thirty years.

① by ② of
③ with ④ at

① by birth 生まれは；生まれながらの

訳 彼は生まれはフランス人だが、日本に 30 年間住んでいる。

解説 「生まれは～」は by birth。at birth は「生まれたときに（の）」で、weight at birth（出生時の体重）のように使い、国籍を言う形にならない。of birth は「生まれの」で place of birth（出生地）のように名詞の後ろに置く。with も birth と組まない。

区別 **by birth ⇔ by nature** by nature は「生まれつきの性格・性質は」（He is shy by nature.）。by birth は国籍・家柄など「どこで・どんな家に生まれたか」。見分け方：性格なら nature、出自なら birth。

0637 ☐☐☐

In this company, your salary increases in proportion _____ your years of experience.

① for ② by
③ at ④ to

④ in proportion to ～ ～に比例して；～の割には

訳 この会社では、給料は勤続年数に比例して上がる。

解説 「～に比例して」は in proportion to ～。for / by / at は in proportion と組んで比べる相手を示せない。by は「～の差で」（rise by 10%）の意味から選びやすいが、比例の基準は to で示す。

区別 **in proportion to ～ ⇔ out of proportion to ～** out of proportion to は「～と不釣り合いな・度を越した」で、in proportion to の反対。見分け方：つり合っていれば in、度を越していれば out of。

0638 □□□

Good news! The shoes you wanted are back _____ stock, so you can order them today.

① on　② at
③ in　④ into

③ in stock 在庫があって

訳 よい知らせです！　お求めの靴が再入荷したので、今日注文できますよ。

解説 「在庫があって」は in stock で、再入荷は be back in stock。on stock / at stock とは言わない。into は動きを表す前置詞で、be back の後ろで状態を表す形にならない。

区別 **in stock ⇔ out of stock**　out of stock は「在庫切れで」で in stock の反対。見分け方：買えるなら in、買えないなら out of。

0639 □□□

We have looked at the cost, speed, and safety of both systems. _____, the new one is better in every way.

① In all　② In sum
③ In addition　④ At all

② in sum 要するに；要約すると

訳 両方のシステムの費用・速さ・安全性を検討してきた。要するに、新しいシステムの方があらゆる点で優れている。

解説 それまでの検討をまとめて結論を述べるので In sum（要するに）。In all は「全部で」で数の合計に使う。At all は否定・疑問を強める「全く」で文頭のつなぎにならない。In addition は「さらに」で情報を付け加える表現なので、結論の前置きに合わない。

区別 **in sum ⇔ in all**　in all は「全部で・合計で」で、数や量を合計するときに使う（There were 30 people in all.）。in sum は「要約すると」で、議論をまとめる。見分け方：数の合計なら in all、話のまとめなら in sum。

0640 □□□

The country is in the _____ of an economic crisis, and many people have lost their jobs.

① mid　② midway
③ amid　④ midst

④ in the midst of ~ ～の真っ最中に；～の真ん中に

訳 その国は経済危機の真っただ中にあり、多くの人が職を失っている。

解説 in the ~ of の形に入るのは名詞 midst（in the midst of ~）。mid は形容詞・接頭語で、名詞として the の後ろに置けない。midway は副詞・形容詞「途中で」で、in the midway of とは言わない。amid は 1 語の前置詞なので、the と of にはさめない。

区別 **in the midst of ~ ⇔ amid ~**　amid は前置詞 1 語で「～の真っただ中で」（amid the chaos）。in the midst of と同じ意味だが、the や of を付けない。見分け方：in the ~ of の形なら midst、1 語の前置詞なら amid。

0641 □□□

Many terrible things have been done in the _____ of religion throughout history.

① title ② name
③ cause ④ sake

② in the name of ~ ～の名において；～の名目で

訳 歴史を通じて、宗教の名のもとに多くのひどいことが行われてきた。

解説 「～の名目で」は in the name of ~。sake は for the sake of の形でしか使わず、in the sake of とは言わない。title は「題名・肩書き」、cause は「大義・原因」で、in the ~ of の形でこの意味にならない。

区別 **in the name of ~ ⇔ for the sake of ~** for the sake of は「～のために（利益・目的）」で、批判の含みはない。in the name of は「～の名目で」で、口実にしているという響きがあることが多い。見分け方：純粋な目的なら for the sake of、名目・大義名分なら in the name of。

0642 □□□

You're wearing your sweater _____ out. I can see the label on the outside.

① inside ② outside
③ upside ④ back

① inside out 裏返しに；すっかり

訳 セーターを裏返しに着ているよ。外側にタグが見えている。

解説 タグが外側に見えるのは服が裏返しになっているから。内側が外に出た状態は inside out。upside は upside down（逆さま）の形で使い、out とは組まない。outside out とは言わない。back は back to front（前後逆）の形で使う。

区別 **inside out ⇔ upside down** inside out は内側と外側が逆（服の裏返し）、upside down は上と下が逆（逆さま）、back to front は前と後ろが逆。見分け方：服の縫い目やタグが外に見えるなら inside out、上下が逆なら upside down。

0643 □□□

The work is just about _____. We'll finish it in five minutes.

① doing ② done
③ to do ④ do

② just about ほとんど；ほぼ

訳 仕事はほとんど終わっている。あと 5 分で済むよ。

解説 just about は「ほとんど」で、主語 the work は「される」側なので過去分詞 done（終わった）を続けて「ほぼ終わった」。to do にすると be about to do（～するところ）になるが、仕事が自分で何かをするわけではないので不可。doing / do も意味が成り立たない。

区別 **just about ⇔ be about to do** just about は「ほとんど」と程度を表す。be about to do は「まさに～しようとしている」と直前の未来を表し、just を付けると強まる（be just about to do）。見分け方：後ろが to do なら「～するところ」、形容詞や過去分詞なら「ほとんど」。

0644 □□□

I've been taking the medicine for a week, but I'm none the ＿＿＿＿ for it.

① better　② good
③ well　④ best

① none the + 比較級 (for ~)
（～だからといって）少しも…ない；それでもなお

訳 1週間その薬を飲んでいるが、それで少しも良くなっていない。

解説 none the ＋比較級で「少しも…ない」。the の後ろに比較級が必要なので better。「薬を飲んでも少しも良くならない」という意味になる。best は最上級、good / well は原級で、この形には入らない。

区別 **none the + 比較級 (for ~) ⇔ all the + 比較級**　all the 比較級 for ～は「～だから一層…」と程度が増す。none the 比較級は「～だからといって少しも…ない」と程度が変わらない。none と all で意味が正反対。

0645 □□□

She speaks French and German fluently, ＿＿＿＿ English.

① not to speak of　② much less
③ still less　④ let alone

① not to speak of ~　～は言うまでもなく

訳 彼女はフランス語とドイツ語を流ちょうに話す。英語は言うまでもない。

解説 前の文が肯定文なので、「～は言うまでもなく」の not to speak of。let alone / much less / still less は否定文の後ろで「～はなおさら～ない」を表し、肯定文の後ろには使えない。

区別 **not to speak of ~ ⇔ let alone ~**　let alone は否定文の後ろで「～はなおさら（～ない）」（He can't read, let alone write.）。not to speak of は肯定文の後ろで「～は言うまでもなく（～だ）」。見分け方：前の文が否定なら let alone、肯定なら not to speak of。

0646 □□□

Be on your guard ＿＿＿＿ pickpockets when you visit crowded places.

① to　② with
③ against　④ at

③ on (one's) guard　警戒して；用心して

訳 人混みに行くときは、すりに用心しなさい。

解説 警戒する相手は against で示し、be on one's guard against ~ で「～を警戒する」。against は「～に対抗して」の意味。to / with / at は on guard の後ろで警戒の相手を表さない。off guard（油断して）との対比も確認。

区別 **on (one's) guard ⇔ off guard**　on guard は「見張りに就いている＝警戒している」、off guard は「見張りから外れている＝油断している」。catch / take A off guard で「A の不意を突く」。見分け方：注意している状態なら on、驚かされる・不意を突かれるなら off。

0647 □□□

It rained for days ＿＿＿＿ end, and the river finally overflowed.

① in　② at
③ on　④ to

③ on end　立て続けに；直立して

訳 何日も続けて雨が降り、ついに川が氾濫した。

解説 「何日も続けて」は for days on end。in the end は「結局」で、the もなく days の後ろに置けない。at an end は「終わって」、to the end は「最後まで」で、どちらも冠詞が必要な上、連続の意味にならない。

区別 **on end ⇔ in the end**　in the end は「結局・最後には」。on end は「続けて」または「直立して」。見分け方：期間の後ろで連続を表すなら on end、最終的な結果なら in the end。

0648 □□□

I'll have the steak, please. Oh, _____, I'll have the fish instead.

① at first thought　② for a second
③ in a second　④ on second thought

④ on second thought 考え直して；やっぱり

訳 ステーキをお願いします。あ、やっぱり、代わりに魚にします。

解説 いったん頼んだステーキを魚に言い直すので「考え直して」の on second thought。at first thought という決まった言い方はない（at first なら「最初は」）。for a second は「一瞬」、in a second は「すぐに」で、考えを変える意味にならない。

区別 **on second thought ⇔ at first** at first は「最初は（後で変わった）」で、過去の状況の変化を述べる。on second thought は話している最中に考えを変えるとき。見分け方：今その場で言い直すなら on second thought。

0649 □□□

The bus drivers went _____ strike for higher pay, so I had to walk to school.

① in　② on
③ to　④ at

② on strike ストライキ中で

訳 バスの運転手たちが賃上げを求めてストライキに入ったので、私は歩いて学校に行かなければならなかった。

解説 「ストライキに入る」は go on strike。in strike / at strike / to strike という形はない。go to ~ は行き先、go in ~ は「中に入る」で、ストライキの状態を表さない。

注意 go on strike（ストライキに入る）。

0650 □□□

Let's get the boring work out of _____ first, and then we can enjoy the rest of the day.

① a way　② ways
③ one's way　④ the way

④ out of the way 邪魔にならない所に；片付いて

訳 退屈な仕事を先に片付けてしまおう。そうすれば残りの一日を楽しめる。

解説 get ~ out of the way で「～を片付ける」。the way が決まった形。a way / ways は冠詞・数が合わない。one's way は go out of one's way to do（わざわざ…する）で使う形で、ここでは意味が合わない。

区別 **out of the way ⇔ go out of one's way to do** out of the way は「邪魔にならない所に・片付いて」、go out of one's way to do は「わざわざ…する（手間をかけて親切にする）」。見分け方：所有格 one's と to do があれば「わざわざ」、the way なら場所・片付け。

0651 □□□

Roughly _____, about 30 percent of the students come to school by bike.

① spoken　② speaking
③ to speak　④ speak

② roughly speaking 大ざっぱに言えば；おおよそ

訳 大ざっぱに言えば、生徒の約30パーセントが自転車で通学している。

解説 Roughly speaking で「大ざっぱに言えば」という独立分詞構文。~ly speaking の形で使うので現在分詞 speaking。spoken（過去分詞）・to speak（不定詞）・speak（原形）はこの形を作らない。

区別 **roughly speaking ⇔ strictly speaking** strictly speaking は「厳密に言えば」で、正確さを求める。roughly speaking は「大ざっぱに言えば」で、細かい点を省く。about / around などのおおよその数と組むのは roughly speaking。

0652 ☐☐☐

The restaurant is popular, but the food there is not ＿＿＿＿ my taste.

① with　② at
③ in　④ to

④ to one's taste ～の好みに合って

訳 そのレストランは人気があるが、そこの料理は私の好みに合わない。

解説 be to one's taste で「～の好みに合う」。一致を表す to を使う（to one's liking も同じ）。with / in / at は taste と組んでこの意味にならない。なお too sweet for my taste のように too と組むときは for を使うので区別する。

区別 **to one's taste ⇔ to one's surprise** 同じ to one's ~ でも、to one's taste は be 動詞の後ろで「好みに合って」、to one's surprise は文頭・文末で「驚いたことに」と話し手の感情を添える。見分け方：好みの話なら taste、出来事への感情なら surprise / joy / disappointment。

0653 ☐☐☐

＿＿＿＿ all his money, he isn't happy. He says he has no real friends.

① By　② With
③ Of　④ In

② with all ~ ～があるにもかかわらず；～があるので

訳 あれほどお金があるにもかかわらず、彼は幸せではない。本当の友達が一人もいないと言っている。

解説 「～があるにもかかわらず」は with all ~（for all ~ も可）。by all は by all means（ぜひ）などの形になり、譲歩の意味にならない。in all は「全部で」、of all は of all people（よりによって）などで、どれもこの文に合わない。

区別 **with all ~ ⇔ for all ~** for all ~ も「～にもかかわらず」で、譲歩の意味では with all とほぼ同じ。with all は理由の意味（With all this work, I can't go out.）にもなる。見分け方：前後が逆接なら譲歩、順接なら理由。

0654 ☐☐☐

The store sells apples, oranges, bananas, and the ＿＿＿＿.

① likes　② alike
③ same　④ like

④ ~ and the like ～など

訳 その店では、りんご、オレンジ、バナナなどを売っている。

解説 ～ and the like で「～など」。the like は「同類のもの」を表し、s は付けない。likes は「好きなもの」の意味（likes and dislikes）。the same は「同じもの」で列挙の締めくくりにならない。alike は形容詞・副詞で the の後ろには置けない。

区別 **~ and the like ⇔ such as ~** such as は例を挙げる前に置く（fruits such as apples and oranges）。and the like は例を挙げた後に置いて締めくくる（apples, oranges, and the like）。見分け方：位置が例の前か後か。

0655 ☐☐☐

I was just going to bed, ＿＿＿＿ the doorbell rang.

① when　② since
③ while　④ that

① ~, when ... ～すると、そのとき…

訳 ちょうど寝ようとしていたら、玄関のチャイムが鳴った。

解説 be just doing, when ...で「ちょうど～しようとしていたら…」。コンマ＋when で突然の出来事を表す。while は「～している間」で、チャイムが鳴る一瞬の出来事には合わない。since は理由・起点、that はこの形でつなげない。

区別 **~, when ... ⇔ hardly [scarcely] ~ when ...** hardly ～ when ...は「～するとすぐに…」（had hardly done ～ when ...）で、2 つの出来事がほぼ同時。~, when ...は「～していたら、そこへ…」で、前半の動作が途中で邪魔される。

0656 ☐☐☐

I hadn't seen her for ten years, but she was as cheerful as ＿＿＿＿.

① never　② always
③ once　④ ever

④ as ever 相変わらず；いつものように

訳 10 年間会っていなかったが、彼女は相変わらず明るかった。

解説 「相変わらず～」は as ~ as ever。as ~ as never とは言わない。always は as ~ as の後ろに置いて比較の基準にならない（as always は単独で「いつものように」）。once も as ~ as once という形にならない。

区別 **as ever ⇔ as usual** as usual も「いつものように」だが、as ~ as usual の形より単独で使うことが多い。as ~ as ever は「（時がたっても）相変わらず～」と年月を超えて変わらない様子に向く。見分け方：長い年月の後でも変わらないなら as ~ as ever。

0657 ☐☐☐

Please note: ＿＿＿＿ April 1, the store will open at 9 a.m. every day, not 10 a.m. as before.

① As of　② As for
③ By　④ Since

① as of ~ ～現在で；～から（以降）

訳 お知らせ：4 月 1 日から、当店は以前のように午前 10 時ではなく、毎日午前 9 時に開店いたします。

解説 4 月 1 日を境にした変更なので「～から」の As of。Since は「～以来（ずっと）」で現在完了と使い、未来の will とは合わない。As for は「～に関しては」で時点を示さない。By は「～までに」と期限を表し、毎日の開店時刻の変更には合わない。

区別 **as of ~ ⇔ as for ~** as for ~ は「～に関しては（話題の転換）」で、時点を表さない（As for me, I'm happy.）。as of ~ は「～現在で・～から」と日付・時点を示す。見分け方：後ろが日付・時刻なら as of。

0658 ☐☐☐

During your stay, a car and a driver will be ＿＿＿＿ your disposal.

① in　② on
③ at　④ for

③ at one's disposal ～の自由になる；～が自由に使える

訳 ご滞在中は、車と運転手を自由にお使いいただけます。

解説 「～が自由に使える」は at one's disposal。in / on / for one's disposal という形はない。for は「～のために」の意味から選びやすいが、この熟語では at を使う。

区別 **at one's disposal ⇔ dispose of ~** dispose of ~ は「～を処分する・捨てる」。名詞 disposal は「処分」と「自由に使えること」の両方の意味を持ち、at one's disposal は後者。見分け方：at one's が付けば「自由に使える」。

0659 □□□

After the operation, his health improved _____ degrees.

① in ② by
③ with ④ to

② by degrees 徐々に；少しずつ

訳 手術の後、彼の健康は徐々に回復した。

解説 「徐々に」は by degrees。to a degree（ある程度）は冠詞 a が必要で、変化の速さを表さない。in / with degrees という決まった形はない。

区別 **by degrees ⇔ to a degree** to a degree / to some degree は「ある程度は」で、程度を表す。by degrees は「徐々に」で、変化の速さを表す。見分け方：変化がゆっくり進むなら by degrees。

0660 □□□

I know the new teacher by _____, but I've never actually met her.

① name ② heart
③ face ④ sight

① by name 名前で；名前だけは

訳 新しい先生のことは名前だけは知っているが、実際に会ったことはない。

解説 会ったことはないので「名前だけは知っている」の know ~ by name。by sight は「顔は知っている」で、会ったことがないという後半と矛盾する。by heart は「暗記して」。by face という決まった言い方はない。

区別 **by name ⇔ by sight** by sight は「顔だけは（見て知っている）」。by name は「名前だけは」。見分け方：会ったことがなく名前だけ知っているなら by name、見たことはあるが話したことがないなら by sight。

0661 □□□

She got the job by _____ of her excellent language skills.

① value ② virtue
③ way ④ merit

② by virtue of ~ ～のおかげで；～によって

訳 彼女は優れた語学力のおかげでその仕事を得た。

解説 「～のおかげで」は by virtue of ~。by way of は「～経由で・～として」で理由を表さない。value / merit も「価値・長所」の意味だが、by ~ of の形の熟語にはならない。

区別 **by virtue of ~ ⇔ by way of ~** by way of ~ は「～経由で」または「～として（の手段で）」。by virtue of ~ は「～のおかげで」。見分け方：通る場所・手段なら way、理由なら virtue。

0662 □□□

I'm sorry, but I can't _____ come to the party tonight; I have to work late.

① probably ② possibly
③ perhaps ④ maybe

② cannot possibly do
どうしても～できない；とても～できない

訳 ごめんね、今夜のパーティーにはどうしても行けないんだ。遅くまで働かないといけなくて。

解説 can't possibly do で「どうしても～できない」。possibly は否定を強める働きをする。probably は can't の後ろではなく前に置き（probably can't）、perhaps / maybe も can't と come の間には置かない。どれも「多分」で、断る強さが出ない。

区別 **cannot possibly do ⇔ cannot help ~ing** cannot help ～ing は「～せずにはいられない」と、してしまう方の意味。cannot possibly do は「どうしても～できない」と、できない方の意味。見分け方：後ろが ing 形なら help、原形なら possibly。

0663 ☐☐☐

My grandfather is eighty, but he is very healthy _____ his age.

① to ② at
③ in ④ for

④ for one's age 年の割には

訳 祖父は 80 歳だが、年の割にはとても元気だ。

解説 「～の割には」は for（for one's age）。at は at one's age（その年齢で）で、「割には」の比較の意味にならない。to / in も his age と組んでこの意味にならない。

注意 for は「～の割には」（He is tall for a ten-year-old.）。considering ~ と言い換えられる。

0664 ☐☐☐

Since he started university, he has changed for the _____. He's much more responsible now.

① good ② best
③ well ④ better

④ for the better よい方へ

訳 大学に入ってから、彼はよい方へ変わった。今ではずっと責任感がある。

解説 「よい方へ」は for the better で、比較級を使う決まった形。good は原級で for the good だと「～のために（for the good of ~）」の意味になる。best は最上級で for the best は「結局はよかった」の意味。well は副詞で the の後ろに置けない。

区別 **for the better ⇔ for the worse** for the worse は「悪い方へ」で、for the better の反対。見分け方：状況がよくなったなら better、悪くなったなら worse。

0665 ☐☐☐

If you are going to do the job _____ all, do it properly.

① in ② for
③ after ④ at

④ if ~ at all いやしくも～するなら；仮に～するとしても

訳 どうせその仕事をやるのなら、ちゃんとやりなさい。

解説 if ～ at all で「いやしくも～するなら・どうせ～するなら」。条件節の中で at all が「そもそも」と条件を強めている。in all は「全部で」、after all は「結局」、for all は「～にもかかわらず」で、条件を強める働きはない。

区別 **if ~ at all ⇔ not ~ at all** not ～ at all は「全く～ない」と否定を強める。if ～ at all は条件節の中で「そもそも～するのなら」と条件を強める。同じ at all でも、否定文か条件節かで働きが違う。

0666 ☐☐☐

You should be careful _____ choosing your words when you speak to an angry customer.

① on ② at
③ in ④ by

③ in ~ing ～するときに；～する際に

訳 怒っているお客様と話すときは、言葉を選ぶのに注意すべきだ。

解説 「言葉を選ぶ際には注意すべきだ」と行為の最中を表すので in ~ing。on ~ing は「～するとすぐに」で、注意を払う場面に合わない。at ~ing は be good at ~ing のように得意・不得意に使う。by ~ing は「～することによって」と手段を表すので、be careful by choosing では意味が通らない。

区別 **in ~ing ⇔ on ~ing** on ~ing は「～するとすぐに・～と同時に」（= as soon as）で、一瞬の動作の直後を表す。in ~ing は「～する過程で・～する際に」。見分け方：「着くとすぐ」など直後なら on、「選ぶときは注意」など行為の最中なら in。

0667 □□□

After a short break, the negotiations began in _____ on Monday morning.

① an earnest　② earnest
③ earnestly　④ earnestness

② in earnest 本気で；真剣に

訳 短い休憩の後、月曜の朝に交渉が本格的に始まった。

解説 「本格的に始まった」は begin in earnest。in の後ろは名詞の earnest で、冠詞を付けない決まった形。an earnest は冠詞が余分。earnestly は副詞なので前置詞 in の後ろに置けない。earnestness は「真面目さ」という名詞だが、in earnestness という言い方はしない。

区別 **in earnest ⇔ in jest** in jest は「冗談で・ふざけて」で、in earnest の反対。見分け方：本気なら earnest、冗談なら jest。said in jest（冗談で言った）と said in earnest（本気で言った）の対比で出る。

0668 □□□

The two proposals look different on the surface, but _____ essence they both aim to cut costs.

① in　② by
③ at　④ of

① in essence 本質的に；要するに

訳 二つの案は表面上は違って見えるが、本質的にはどちらも経費削減を目指している。

解説 「表面上は違うが本質的には同じ」なので in essence。of essence は冠詞の付いた be of the essence（極めて重要だ）の形でしか使わず、ここには入らない。by essence / at essence という言い方はない。on the surface と in essence の対比が手がかり。

区別 **in essence ⇔ of the essence** of the essence は be 動詞の後で「きわめて重要で」（Time is of the essence.＝時間が何より大事）。in essence は副詞句で「本質的には・要するに」。見分け方：前置詞 of ＋ the なら「重要」、in で冠詞なしなら「要するに」。

0669 □□□

Good intentions _____ are not enough; you also need a realistic plan.

① in itself　② in themselves
③ by itself　④ in them

② in itself それ自体（は）；本来

訳 善意はそれ自体では十分ではない。現実的な計画も必要だ。

解説 主語 Good intentions は複数なので、「それ自体は」は in themselves に数を合わせる。in itself は単数の主語に使う形。by itself も単数で、意味も「ひとりでに・単独で」になる。in them は再帰代名詞でないため「それら自体」の意味にならず、主語を指して使えない。

区別 **in itself ⇔ by itself** by itself は「ひとりでに・誰の力も借りずに」「それだけで（単独で）」。in itself は「（ほかと切り離して）それ自体の性質としては」。見分け方：勝手に動く・単独なら by、本質・性質の評価なら in。

0670 ☐☐☐

The students are studying hard in preparation _____ the entrance exam.

① for ② to
③ of ④ with

① in preparation (for ~) 準備中で；（～に）備えて

訳 生徒たちは入試に備えて一生懸命勉強している。

解説 準備をする目的・対象は for で示し、in preparation for ~ で「～に備えて」。to は「～へ」で preparation とは組まない。preparation of は「～を作ること」（the preparation of food＝料理を作ること）で、試験に備える意味にならない。with も不可。

区別 **in preparation (for ~) ⇔ be prepared for ~** in preparation for は「～に備えて（準備をしながら）」と準備の途中・目的を表す副詞句。be prepared for は「～の準備・覚悟ができている」と準備が済んだ状態。見分け方：動作の目的なら in preparation for、心構えや状態なら be prepared for。

0671 ☐☐☐

Our team won the championship five years in _____, which had never happened before.

① success ② successive
③ row ④ succession

④ in succession 連続して

訳 私たちのチームは 5 年連続で優勝した。それはかつてなかったことだ。

解説 「5 年連続で」は in succession。success は「成功」で succeed の別の意味の名詞なので連続の意味にならない。successive は形容詞（successive years）で前置詞 in の後ろに置けない。row は in a row と冠詞 a が必要で、in row は誤り。

区別 **in succession ⇔ in turn** in turn は「順番に・交代で」「その結果今度は」。in succession は「切れ目なく連続して」。見分け方：人が一人ずつ順に何かするなら in turn、同じことが何回も続くなら in succession。

0672 ☐☐☐

The little girl was _____ tears after losing her balloon at the park.

① into ② with
③ in ④ on

③ in tears 泣いて；涙を浮かべて

訳 その小さな女の子は公園で風船をなくして泣いていた。

解説 was の後ろで「泣いている状態」なので in tears。into は burst into tears のように「泣き出す」動作で使い、be 動詞の後には置けない。with tears は with tears in her eyes（目に涙を浮かべて）のような形でなら使えるが、was with tears とは言わない。on tears という言い方はない。

区別 **in tears ⇔ burst into tears** burst into tears は「急に泣き出す」と変化の瞬間を表し、into（中へ入る）を使う。in tears は「泣いている最中」の状態で、be 動詞や come home などの後に置く。見分け方：急に泣き出すなら into、状態なら in。

0673 □□□

All applicants will be treated equally, _____ of their age, gender, or nationality.

① respective ② irrelevant
③ regarding ④ irrespective

④ irrespective of ~ ～に関係なく

訳 応募者は全員、年齢・性別・国籍に関係なく平等に扱われます。

解説 「年齢・性別・国籍に関係なく平等に扱う」ので irrespective of。respective は「それぞれの」で of を伴わない。irrelevant は「無関係な」という形容詞で irrelevant to ~ と to を取り、of は続かない。regarding は「～に関して」という前置詞で、それだけで目的語を取るので of は不要。

区別 **irrespective of ~ ⇔ respective** respective は「それぞれの」という形容詞（their respective homes）、respectively は副詞「それぞれ」。irrespective of ~ は「～に関係なく」。見分け方：of が続き「無関係に」の意味なら irrespective、名詞の前で「各自の」なら respective。

0674 □□□

My grandfather can hardly use a smartphone, _____ a computer.

① much less ② much more
③ even more ④ not to say

① much less ~ （否定文の後で）まして～ない

訳 祖父はスマートフォンもほとんど使えない。ましてパソコンなど使えない。

解説 前に hardly という否定があり「スマホもほとんど使えない、ましてパソコンは無理」なので much less。much more は肯定文の後で「まして～だ」と使う形で、否定の後には合わない。even more は「さらに一層」で、文が「パソコンはもっと使える」と逆の意味になる。not to say は「～とは言わないまでも」で、程度の強い形容詞を続ける表現。

区別 **much less ~ ⇔ let alone ~** let alone ~ も「まして～ない」で意味は同じ。let alone の方が口語的で現在はよく使い、much less / still less は硬い。どれも前に否定が必要。入試では三つを言い換えとして選ばせる。

0675 □□□

Fire extinguishers should always be kept _____ hand in the kitchen.

① by ② on
③ out of ④ from

② on hand 手元に；出席して

訳 消火器は常に台所の手元に置いておくべきだ。

解説 消火器は「いつでも使えるよう手元に」置いておくので on hand。by hand は「手で（機械を使わず）」と方法を表す。out of hand は「手に負えない」で、保管の仕方には合わない。from hand という言い方はない（from hand to hand「手から手へ」なら可）。

区別 **on hand ⇔ at hand** at hand は「すぐ近くに」「（時期が）間近に迫って」（The exam is close at hand.）。on hand は「いつでも使えるよう手元に用意して」「（人が）待機して」。見分け方：時期が迫るなら at hand、備えとして手元にあるなら on hand。

0676 ☐☐☐

The famous quiz show first went _____ the air in 1985 and is still broadcast every Sunday.

① in　② into
③ on　④ up

③ on the air　放送中で

訳 その有名なクイズ番組は 1985 年に放送が始まり、今でも毎週日曜日に放送されている。

解説 「1985 年に放送が始まった」は go on the air。in the air は「気配が漂って」で、went in the air とは言わない。into the air は「空中へ」と物理的な移動を表し、放送の意味にならない。up は up in the air（未定で）のように使い、went up the air は誤り。

区別 **on the air ⇔ in the air**　in the air は「（雰囲気・うわさが）広まって」（Spring is in the air.）。on the air は「電波に乗って＝放送中」。見分け方：番組・放送なら on、気配なら in。up in the air は「計画が未定で」。

0677 ☐☐☐

Many species of frogs are now on the brink _____ extinction because of habitat loss.

① of　② to
③ for　④ with

① on the brink of ~　~の瀬戸際で；今にも~しそうで

訳 多くの種類のカエルが、生息地の減少によって今や絶滅の瀬戸際にある。

解説 「絶滅の瀬戸際にある」は on the brink of。brink の後ろは「何の瀬戸際か」を of で示す決まった形で、to / for / with は使わない。to は on the way to ~（~への途中）など方向の表現からのひっかけで、brink とは組まない。

区別 **on the brink of ~ ⇔ on the verge of ~**　意味はほぼ同じだが、brink は「崖っぷち」で重大な危機（戦争・破産・絶滅）の響きが強い。verge は「縁」で on the verge of tears（泣き出しそう）など日常的な場面にも広く使う。どちらも of ＋名詞・動名詞。

0678 ☐☐☐

Japan's rice consumption _____ capita has fallen sharply since the 1960s.

① by　② for
③ per　④ each

③ per capita　一人当たり（の）

訳 日本の一人当たりの米の消費量は、1960年代から大きく減っている。

解説 per capita で「一人当たり」という決まった形。per は「~につき」の意味で、by / for / each は capita と組まない。グラフ問題では per capita が「総量」ではなく「人口で割った値」であることに注意する。

区別 **per capita ⇔ per person**　意味はほぼ同じだが、per person は値段・量など日常の場面（The tour costs 50 dollars per person.）、per capita は統計・経済の数字に使う。見分け方：国や地域全体の数字を人口で割った値なら per capita。

0679 ☐☐☐

My grandmother is 85, but she still believes in living life to the ＿＿＿＿.

① fully　② full
③ filled　④ fill

② to the full 十分に；心ゆくまで

訳 祖母は 85 歳だが、今でも人生を思い切り楽しむことを大切にしている。

解説 「人生を思い切り楽しむ」は live life to the full。the の後ろには名詞の働きをする語が来るので、形容詞を名詞として使った full が正しい。fully は副詞で the の後ろに置けない。filled / fill も to the の後ろでこの意味にならない。

区別 **to the full ⇔ in full** to the full は「（楽しむ・生かすなどを）最大限に」、in full は「全部・省略せずに」（pay in full＝全額払う / write your name in full）。見分け方：楽しむ・生かす程度なら to the full、支払いや記入を全部するなら in full。

0680 ☐☐☐

This vase is very old and easy to break, so please handle it with ＿＿＿＿.

① careful　② carefully
③ care　④ caring

③ with care 注意して；慎重に

訳 この花瓶はとても古くて割れやすいので、注意して扱ってください。

解説 前置詞 with の後ろは名詞なので care（with care ＝ carefully）。careful は形容詞、carefully は副詞で、前置詞の後ろに置けない。caring は「思いやりのある」などの意味で、この決まった形ではない。

区別 **with care ⇔ take care of ~** with care は「注意して」と動作の仕方を表す副詞句、take care of は「～の世話をする・～を引き受ける」という動詞句。見分け方：すでに動詞があってその様子を添えるなら with care、care を中心に動詞を作るなら take care of。

0681 ☐☐☐

After three years of hard work, the end of the project is finally ＿＿＿＿ sight.

① at　② on
③ in　④ by

③ in sight 見えて；視界に入って

訳 3 年間の努力の末、ついにプロジェクトの終わりが見えてきた。

解説 「終わりが見えてきた（近づいた）」は in sight。視界の中にあるという状態を in で表す。at sight は「見てすぐに」、on sight は「見つけ次第」と見た瞬間の行動を表し、be 動詞の後ろで終わりが近いという意味にならない。by sight は「顔だけは（知っている）」。

区別 **in sight ⇔ on sight** in sight は「見える範囲にある」という状態。on sight は「見てすぐに・見つけ次第」（shoot on sight）で、見た瞬間の行動を表す。at first sight は「一目で」。見分け方：何かが見えている・近づいているなら in sight、見た瞬間に何かするなら on sight。

0682 □□□

Nobody knows what the future has in ＿＿＿＿ for us.

① store　② shop
③ time　④ case

① in store (for ~)
（～を）待ち受けて；（～に）起ころうとして

訳 未来が私たちに何を用意しているのか、誰にも分からない。

解説 have ~ in store for A で「A のために～を用意している（待ち受けている）」。未来に起こることを言う決まった形で store を使う。in shop / in time / in case は「待ち受ける」の意味にならない（in time は「間に合って」、in case は「念のため」）。

区別 **in store (for ~) ⇔ at the store** in store は「待ち受けて」と未来の出来事を表す熟語で冠詞なし。at [in] the store は「店で」と場所を表す。見分け方：冠詞がなく、for ＋人が続いて未来の話なら熟語の in store。

0683 □□□

The little girl was found safe in the ＿＿＿＿ of her grandmother.

① company　② accompany
③ companion　④ compassion

① in the company of ~ ～と一緒に

訳 その少女は祖母と一緒にいるところを無事に見つかった。

解説 in the company of ～で「～と一緒に」。company は「一緒にいること」の名詞。companion は「仲間（人）」で in the companion of とは言わない。accompany は動詞、compassion は「同情」で、この成句にはならない。

区別 **in the company of ~ ⇔ keep A company** keep A company は「A に付き合う・A のそばにいてあげる」で、動詞の形。in the company of は前置詞句で「～と一緒に」。company は「同席・仲間」の意味で、冠詞を付けない点に注意（keep me company）。

0684 □□□

The two countries fought for years, but now they are ＿＿＿＿ peace with each other.

① in　② for
③ on　④ at

④ at peace (with ~)
（～と）平和で；（～と）仲良くして

訳 その 2 国は何年も戦ったが、今は互いに平和な関係にある。

解説 be at peace with ~ で「～と平和な関係にある」。状態を表す at を使い、at war（戦争中）と対になる。in peace は leave / rest などと使って「静かに・安らかに」の意味で、be 動詞＋ with ~ の形には使わない。on / for は peace と組まない。

区別 **at peace (with ~) ⇔ in peace** at peace は「平和な状態にある」と状態、in peace は「静かに・邪魔されずに」と動作の様子。見分け方：be 動詞の後ろで国・人の関係や心の状態なら at peace、leave / rest などの後ろで「静かに」なら in peace。

0685 ☐☐☐

Mr. Ito lives in the countryside _____, not because he has to; he simply loves nature.

① by chance ② by choice
③ by force ④ by turns

② by choice 自分で選んで；好きで

訳 伊藤さんは、そうしなければならないからではなく、自分で選んで田舎に住んでいる。ただ自然が大好きなのだ。

解説 「そうしなければならないからではなく、自然が好きだから」なので「自分で選んで」の by choice。by chance は「偶然」、by force は「力ずくで・無理に」、by turns は「代わる代わる」で、どれも後ろの理由の説明と合わない。

区別 **by choice ⇔ have no choice but to do** by choice は「自分の意思で選んで」、have no choice but to do は「...するしか選択肢がない（仕方なく）」と反対の気持ち。見分け方：自分で望んだなら by choice、仕方なくなら no choice but。

0686 ☐☐☐

At the buffet, you can eat to your heart's _____ for just 2,000 yen.

① content ② contest
③ context ④ contact

① to one's heart's content 心ゆくまで；思う存分

訳 そのビュッフェでは、たった2,000円で心ゆくまで食べられる。

解説 to one's heart's content で「心ゆくまで」。content は「満足」の意味の名詞。contest（競技）・context（文脈）・contact（接触）は形が似ているが、この成句にはならない。

区別 **to one's heart's content ⇔ to the fullest** to the fullest は「最大限に」で、能力や機会を使い切る響き（live life to the fullest）。to one's heart's content は「満足するまで好きなだけ」と気持ちの満足に重点がある。

0687 ☐☐☐

She gave the poor boy _____ little money she had in her purse.

① what ② how
③ which ④ all

① what little ~ 少ないながらも全部の~

訳 彼女は財布の中にあったわずかなお金を全部、その貧しい少年にあげた。

解説 what little ＋名詞＋ＳＶで「少ないながらも持っている全部の~」。what が関係形容詞として money を修飾し、she had とつながる。which little money とは言わない。how little は「どれほど少ないか」と程度を表し、意味が合わない。all little という形もない（all the little money なら可）。

区別 **what little ~ ⇔ what few ~** what little の後ろは数えられない名詞（money / time / knowledge）、what few は数えられる名詞の複数形（friends / books）。見分け方：後ろの名詞が複数形なら few、数えられない名詞なら little。

0688 □□□

As often _____ not, my sister forgets to bring her keys and has to wait outside.

① than ② so
③ as ④ but

③ as often as not たいてい；しばしば

訳 姉［妹］はしばしば鍵を持って行くのを忘れて、外で待つはめになる。

解説 As often as not で「しばしば」。先頭の As と対になる as が必要（as ～ as の同等比較）。than は more often than not の形で使い、As often と組まない。so / but ではこの成句にならない。

区別 **as often as not ⇔ more often than not** more often than not は比較級で「半分を超えて」＝たいてい。as often as not は同等比較で「同じくらい」＝半分程度。見分け方：形が as ～ as なら as often as not。

0689 □□□

Our joy at the good news was _____ words.

① among ② across
③ beyond ④ behind

③ beyond words 言葉では言い表せない（ほど）

訳 その良い知らせを聞いた私たちの喜びは、言葉では言い表せないほどだった。

解説 be beyond words で「言葉では言い表せない」。beyond は「～の範囲を超えて」の意味。among（～の間で）・across（～を横切って）・behind（～の後ろに）は words と組んでこの意味を作らない。

区別 **beyond words ⇔ in other words** in other words は「言い換えれば」で、前の内容を言い換える。beyond words は「言葉で表せないほど」と程度を強める。同じ words でも前置詞で意味が全く違う。

0690 □□□

Not a _____ people were against the plan to build a new airport.

① few ② lot
③ many ④ little

① not a few ～ かなり多くの～；少なからぬ～

訳 新しい空港を建設する計画には、かなり多くの人が反対していた。

解説 people は可算名詞の複数なので not a few で「かなり多くの」。not a little は不可算名詞に使う。not a lot people は of がないので誤り。not a many という形はない（many の前に a は付かない）。

区別 **not a few ～ ⇔ not a little ～** not a little は不可算名詞に使い「かなり多くの～」、または副詞で「少なからず」（I was not a little surprised.）。not a few は可算名詞の複数に使う。few / little の区別と同じ。

0691 □□□

She packed her bag in _____ and forgot to take her passport.

① hasty ② hastily
③ haste ④ hasten

③ in haste 急いで；慌てて

訳 彼女は慌てて荷物を詰めて、パスポートを持って行くのを忘れた。

解説 in haste で「慌てて」。前置詞 in の後ろなので名詞の haste が入る。hasty は形容詞、hastily は副詞、hasten は動詞で、前置詞の後ろには置けない。hastily を使うなら in を取って packed her bag hastily とする。

区別 **in haste ⇔ in a hurry** in a hurry は口語的で「急いでいる」状態にも使う（I'm in a hurry.）。in haste は硬い言い方で、慌てて何かをした様子を表す。冠詞の有無（a hurry / haste）にも注意。

確認テスト 4　前置詞句・構文｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0532 すぐに返してくれるなら、その本を貸してあげる。
I'll lend you the book **provided** that you return it soon.

0533 彼がうそをついていることは最初から分かっていた。
I knew all **along** that he was lying.

0534 雨が降っていた。それでもやはり、私たちは出かけた。
It was raining. All the **same**, we went out.

0535 天気を除けば、北海道旅行は本当に楽しかった。
Aside from the weather, we really enjoyed our trip to Hokkaido.

0536 率直に言って、君の計画はうまくいかないよ。
Frankly speaking, your plan won't work.

0537 もしあの地図がなかったら、私たちは道に迷っていただろう。
If it had not **been** for the map, we would have gotten lost.

0538 ちょっと二人だけで話せる？
Can I talk to you in **private** for a minute?

0539 人間は言語を使うという点でほかの動物と異なる。
Humans differ from other animals in **that** they use language.

0540 馬が魚でないのと同じように、クジラも魚ではない。
A whale is no **more** a fish than a horse is.

0541 君以外に友達はいない。
I have no friends **other** than you.

0542 私を見た瞬間、彼女は泣き出した。
The **moment** she saw me, she started crying.

0543 私たちが着いたとき、試合はほとんど終わっていた。
The game was **all** but over when we arrived.

0544 ゲームのルールは次のとおりです。
The rules of the game are as **follows**.

0545 私の古い車は新品同様だ。
My old car is as **good** as new.

0546 300人もの人が列に並んで待っていた。
As **many** as 300 people were waiting in line.

0547 何かがおかしいと一目で分かった。
I could tell at a **glance** that something was wrong.

0548 うまくいくか分からないが、とにかくやってみよう。
I'm not sure it will work, but at any **rate**, let's try.

0549 彼は自分の命の危険を冒してその子を救った。
He saved the child at the **risk** of his own life.

0550 京都を訪れるたびに、何か新しい発見がある。
Every **time** I visit Kyoto, I find something new.

0551 多くの10代と同じように、息子はテレビゲームが大好きだ。
In **common** with many teenagers, my son loves video games.

0552 静かにしてください。試験中です。
Please be quiet. An exam is in **progress**.

0553 話し合いの間に、新しいアイデアがいくつか出た。
In the **course** of the discussion, several new ideas came up.

0554 理論上は、新しい仕組みで多くのエネルギーが節約できるはずだ。
In **theory**, the new system should save a lot of energy.

0555 作文は多くても300語以内にすること。
The essay should be not **more** than 300 words.

0556 健康を失って初めてその大切さに気づいた。
Not **until** I lost my health did I realize its value.

0557 この情報がお役に立てばうれしいです。
I hope this information will be of **use** to you.

0558 好奇心からその箱を開けた。
I opened the box **out** of curiosity.

0559 おじは去年の春から失業している。
My uncle has been out of **work** since last spring.

0560 その子は同じ質問を何度も繰り返した。
The child asked the same question over **and** over.

0561 彼はうそをつくような人では決してない。
He is the **last** person to tell a lie.

0562 修理には10万円もかかった。
The repair cost as **much** as 100,000 yen.

0563 私は田舎ではなく都会の方が好きだ。
I prefer cities, as **opposed** to the countryside.

0564 私たちが勝つ見込みは、よくても五分五分だ。
Our chances of winning are fifty-fifty at **best**.

0565 勉強するときは、いつも辞書を手元に置いておきなさい。
Always keep a dictionary at **hand** when you study.

0566 概して、生徒たちは修学旅行を楽しんだ。
By and **large**, the students enjoyed the school trip.

0567 彼は試行錯誤して料理を覚えた。
He learned how to cook by **trial** and error.

0568 私たちはドバイ経由でロンドンへ飛んだ。
We flew to London by **way** of Dubai.

0569 試験は難しかった。それでも彼女は満点を取った。
The test was hard. Even **so**, she got a perfect score.

0570 たまには今夜外食しよう。
Let's eat out tonight for a **change**.

0571 その夜何が起きたのか、確かなことは誰にも分からない。
Nobody knows for **certain** what happened that night.

0572 その計画は資金不足のために失敗した。
The plan failed for **lack** of money.

0573 今のところ、これ以上できることはない。
For the **moment**, there is nothing more we can do.

0574 彼がまだ15歳であることを考えると、その技術は驚異的だ。
Given that he is only fifteen, his skill is amazing.

0575 必要なら早めに来られます。
I can come early if **necessary**.

0576 彼の沈黙は事実上の拒否だった。
His silence was, in **effect**, a refusal.

0577 品質と比べて価格が高い。
The price is high in **relation** to the quality.

0578 地震の場合には、窓から離れなさい。
In the **event** of an earthquake, stay away from windows.

0579 子どもの前でそんなことを言うな。
Don't say such things in the **presence** of children.

0580 かばんが邪魔です。どかしてもらえますか？
Your bag is in the **way**. Could you move it?

0581 彼は自分から進んで謝った。
He apologized of his own **accord**.

0582 彼はその場で採用された。
He was offered the job on the **spot** .

0583 この問題をきっぱりと解決しよう。
Let's settle this problem **once** and for all.

0584 彼女は階段を駆け上がって息を切らしていた。
She was out of **breath** after running up the stairs.

0585 確かに彼は賢いが、あまり親切ではない。
To be **sure** , he is clever, but he is not very kind.

0586 彼は面と向かってはいいことを言うが、陰では私の文句を言う。
He says nice things to my **face** but complains about me behind my back.

0587 どんな事情があってもパスワードを人に教えてはいけない。
Under no **circumstances** should you tell anyone the password.

0588 彼はいわば生き字引だ。
He is, as it **were** , a walking dictionary.

0589 何千人もの命がかかっている。
The lives of thousands of people are at **stake** .

0590 犬は塀に沿って行ったり来たりした。
The dog ran back and **forth** along the fence.

0591 日に日に暖かくなっている。
It is getting warmer day **by** day.

0592 行けないよ。一つには、お金がないんだ。
I can't go. For one **thing** , I have no money.

0593 君の作文には、間違いはあってもほとんどない。
There are few, if **any** , mistakes in your essay.

0594 一言で言えば、その映画は退屈だった。
In a **word** , the movie was boring.

0595 警察はその強盗事件に関連して二人の男を事情聴取した。
The police questioned two men in **connection** with the robbery.

0596 この人々は自然と調和して暮らしている。
These people live in **harmony** with nature.

0597 新しい規則は政府の方針に沿っている。
The new rules are in **line** with government policy.

0598 原則としてあなたの計画に賛成だ。
I agree with your plan in **principle** .

0599 校長が不在のため、副校長がスピーチをした。
In the **absence** of the principal, the vice principal gave the speech.

0600 彼はよりよい仕事を見つけたいと思って東京へ行った。
He went to Tokyo in the **hope** of finding a better job.

0601 すみません、会議室は今使用中です。
Sorry, the meeting room is in **use** right now.

0602 最後になりましたが、両親に感謝したいと思います。
Last but not **least**, I'd like to thank my parents.

0603 その会社は太陽光パネルを大規模に生産している。
The company produces solar panels on a large **scale**.

0604 彼は不公平だという理由でその申し出を断った。
He refused the offer on the **grounds** that it was unfair.

0605 その事故は運転手の不注意によって起きた。
The accident was caused by carelessness on the **part** of the driver.

0606 外国人観光客の数は増加している。
The number of foreign tourists is on the **rise**.

0607 高級レストランで場違いな感じがした。
I felt out of **place** at the expensive restaurant.

0608 あいにくその型は品切れです。
I'm afraid that model is out of **stock**.

0609 もし宝くじに当たったら何を買う？
Suppose you won the lottery, what would you buy?

0610 彼は何年もその秘密を自分の胸にしまっていた。
He kept the secret to **himself** for years.

0611 天気がよければ、日曜日にバーベキューをする。
Weather **permitting**, we will have a barbecue on Sunday.

0612 英語を知っていることと、それを教えることは別だ。
Knowing English is one thing; teaching it is **another**.

0613 君はレポートを仕上げなければならない、しかも明日の朝までに。
You must finish the report, and **that** by tomorrow morning.

0614 ご都合のよいときに折り返しお電話ください。一日中家にいますので。
Please call me back at your **convenience**; I'll be home all day.

0615 小舟は大波のなすがままだった。
The small boat was at the **mercy** of the huge waves.

0616 彼女は高校最後の１年を存分に楽しんだ。
She enjoyed her last year of high school to the **fullest** .

0617 この歌はこれから先何年も愛されるだろう。
This song will be loved for many years to **come** .

0618 全体的に見て、すばらしい旅行だった。
All **in** all, it was a wonderful trip.

0619 彼女を手伝いたかった。だが実際は時間がない。
I wanted to help her. As it **is** , I have no time.

0620 彼は強面だが、根は優しい人だ。
He looks tough, but he is a gentle person at **heart** .

0621 先生はその規則を詳しく説明した。
The teacher explained the rule at **length** .

0622 ずいぶん久しぶりだね！
I haven't seen you for **ages** !

0623 珍しく兄が私より早く起きた。
For **once** , my brother got up earlier than me.

0624 用紙に名前を省略せずに書いてください。
Please write your name in **full** on the form.

0625 よりよい生活を求めて海外へ移る人は多い。
Many people move abroad in **pursuit** of a better life.

0626 彼らは計画について私たちに何も知らせなかった。
They kept us in the **dark** about their plans.

0627 値上げは短期的には会社の助けになるかもしれない。
Raising prices may help the company in the **short** run.

0628 生徒の絵がホールに展示されている。
Students' paintings are on **display** in the hall.

0629 姉は1時間も電話している。
My sister has been on the **phone** for an hour.

0630 慎重に運転する場合に限り、車を使ってもいい。
You can use the car **only** if you drive carefully.

0631 壁の絵が逆さまに掛かっていた。
The picture on the wall was hanging **upside** down.

0632 彼は若いけれども、とても腕のいいパイロットだ。
Young **as** he is, he is a very skilled pilot.

0633 すべてを考慮すると、それはよい決断だった。
All things **considered**, it was a good decision.

0634 その祭りは、とりわけ色鮮やかな花火で有名だ。
The festival is famous for, **among** other things, its colorful fireworks.

0635 脱走した囚人はまだ捕まっていない。
The prisoner who escaped is still at **large**.

0636 彼は日本生まれだが、カナダで育った。
He is Japanese by **birth** but grew up in Canada.

0637 給料は経験に比例して上がる。
Your salary will rise in **proportion** to your experience.

0638 このシャツの大きいサイズの在庫はありますか？
Do you have this shirt in **stock** in a larger size?

0639 要するに、その計画は大成功だった。
In **sum**, the project was a great success.

0640 混乱の真っ最中に、泥棒は逃げた。
In the **midst** of the confusion, the thief ran away.

0641 進歩の名のもとに多くの森が切り倒された。
Many forests were cut down in the **name** of progress.

0642 彼はとても眠かったので、セーターを裏返しに着た。
He was so sleepy that he put his sweater on **inside** out.

0643 荷造りはほぼ終わったので、10分後に出発できる。
I've just **about** finished packing, so we can leave in ten minutes.

0644 長い説明書を読んでも、少しも分からなかった。
I was **none** the wiser after reading the long instructions.

0645 彼は走るのはもちろん、歩くこともできない。
He can't walk, not to **speak** of running.

0646 ネット上の知らない人には常に用心すべきだ。
You should always be on your **guard** against strangers online.

0647 何日も立て続けに雨が降った。
It rained for days on **end**.

0648 コーヒーをください。やっぱり紅茶にします。
I'll have coffee. On **second** thought, make that tea.

0649 今日はバスの運転手がストライキ中だ。
The bus drivers are on **strike** today.

0650 車が通れるように、自転車を邪魔にならない所に動かしてください。
Please move your bike out of the **way** so the car can pass.

0651 大ざっぱに言うと、クラスの約半分が歩いて登校している。
Roughly speaking, about half of the class walks to school.

0652 新しいレストランの料理は、あまり私の好みではなかった。
The food at the new restaurant was not quite to my **taste** .

0653 欠点はあるが、それでも私は彼女を愛している。
With **all** her faults, I still love her.

0654 その店はノートやペンなどを安い値段で売っている。
The shop sells notebooks, pens, and the **like** at low prices.

0655 家を出ようとしていた、するとそのとき突然電話が鳴った。
I was about to leave the house, **when** the phone suddenly rang.

0656 彼女は相変わらず元気だった。
She was as cheerful as **ever** .

0657 来週の月曜から、図書館は6時に閉まる。
As **of** next Monday, the library will close at six.

0658 ご滞在中は車を自由にお使いいただけます。
A car will be at your **disposal** during your stay.

0659 患者は徐々に回復し始めた。
By **degrees** , the patient began to recover.

0660 先生はすべての生徒の名前を知っている。
The teacher knows every student by **name** .

0661 彼は経験のおかげでリーダーになった。
He became the leader by **virtue** of his experience.

0662 この宿題を全部明日の朝までに終わらせるなんて、とても無理だ。
I can't **possibly** finish all this homework by tomorrow morning.

0663 彼女は年の割にとても若く見える。
She looks very young for her **age** .

0664 引っ越してから彼女の生活はよい方へ変わった。
Her life changed for the **better** after she moved.

0665 いやしくもその仕事をやるなら、ちゃんとやるべきだ。
If you do the job at **all** , you should do it well.

0666 交通量の多い道を渡るときは注意しなければならない。
You must be careful in **crossing** a busy street.

0667 雨が本格的に降り出した。
It started to rain in **earnest** .

0668 本質的には、二つの理論は同じことを言っている。
In **essence** , the two theories say the same thing.

0669 お金それ自体が幸福をもたらすわけではない。
Money in **itself** does not bring happiness.

0670 生徒たちは演奏会に備えて毎日練習した。
The students practiced every day in **preparation** for the concert.

0671 5日間連続して雨が降った。
It rained for five days in **succession** .

0672 その男の子は泣きながら帰ってきた。
The little boy came home in **tears** .

0673 その規則は学年に関係なくすべての生徒に適用される。
The rules apply to all students **irrespective** of their grade.

0674 彼は英語をほとんど話せない。まして書くことなどできない。
He can hardly speak English, much **less** write it.

0675 マラソンの間は医者が待機している。
A doctor will be on **hand** during the marathon.

0676 彼女の新しいラジオ番組は来月から放送される。
Her new radio show will be on the **air** next month.

0677 その会社は倒産の瀬戸際にあった。
The company was on the **brink** of bankruptcy.

0678 その国の一人当たりの所得は、過去 20 年で 2 倍になった。
The country's income per **capita** has doubled over the past twenty years.

0679 彼女は高校最後の夏を心ゆくまで楽しんだ。
She enjoyed her last summer at high school to the **full** .

0680 これらの古いグラスは注意して扱わなければならない。
These old glasses must be handled with **care** .

0681 長いプロジェクトの終わりがようやく見えてきた。
The end of the long project is finally in **sight** .

0682 未来が私たちに何を用意しているのかは誰にも分からない。
Nobody knows what the future has in **store** for us.

0683 彼女は昔からの友人と一緒にいるとき、一番くつろげる。
She feels most relaxed in the **company** of her old friends.

0684 長い戦争の後、2 つの国はやっと平和になった。
After a long war, the two countries are finally at **peace** .

0685 彼は友達がいないからではなく、自分で選んで一人で暮らしている。
He lives alone by **choice** , not because he has no friends.

0686 週末には、子どもたちは心ゆくまでテレビゲームができる。
On weekends, the kids can play video games to their heart's **content** .

0687 彼女はポケットにあった少ないお金を全部その少年にあげた。
She gave the boy what **little** money she had in her pocket.

0688 私が学校へ出かけるとき、たいてい弟はまだ寝ている。
As **often** as not, my brother is still asleep when I leave for school.

0689 山頂からの眺めは言葉にできないほど美しかった。
The view from the top of the mountain was beautiful beyond **words** .

0690 少なからぬ生徒が、テストはいつもより難しかったと言った。
Not a **few** students said the test was harder than usual.

0691 彼は急いで部屋を出て、かばんを忘れた。
He left the room in **haste** and forgot his bag.

CHAPTER 5

会話文で出るイディオム

Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。
No.0692〜0867（176 問）

問題

0692 □□□

A: I'm going to quit my job and become a professional surfer. B: ＿＿＿＿ You're joking, right?

① Come again?　② Here you go.
③ Same here.　④ Go ahead.

解答・解説（赤シートで隠せます）

① Come again? 何て言ったの？；もう一度言って

訳 A：仕事を辞めてプロのサーファーになるつもりなんだ。 B：今何て言ったの？ 冗談だよね？

解説 突拍子もない話に耳を疑い「今何て言ったの？」と聞き返すので Come again?。後ろの「冗談でしょ？」とつながる。Same here. は「私も」で、自分も辞めると言いながら冗談かと聞くのは矛盾する。Here you go. は物を渡すときの言葉。Go ahead. は「どうぞ（やって）」と許可・賛成する言葉で、冗談かと疑う次の文と合わない。

区別 **Come again? ⇔ Come on.** Come on. は「さあ早く」「いい加減にして」「まさか」など相手を促したり非難したりする言葉で、聞き返す意味はない。Come again? は疑問の上がり調子で「もう一度言って」。見分け方：聞き取れなかった・耳を疑ったなら Come again?。

0693 □□□

A: Would you like to give a short speech at the wedding? B: I'd rather ＿＿＿＿. I get really nervous in front of people.

① not　② not to
③ don't　④ no

① I'd rather not. できれば遠慮したい

訳 A：結婚式で短いスピーチをしていただけませんか。 B：できれば遠慮したいです。人前だととても緊張してしまうので。

解説 would rather は助動詞のように後ろに原形を取るので、否定は would rather not（do 以下省略）。not to は prefer not to の形と混同した誤り。don't は would rather の直後に置けない。no は動詞を否定できず、I'd rather no とは言わない。人前で緊張するという理由とも合う。

区別 **I'd rather not. ⇔ I'd rather ~ than ...** would rather A than B は「B するよりむしろ A したい」で、A・B とも原形。I'd rather not. は比較を言わずに断る形。どちらも would rather の後ろは原形で、to は付けない（× I'd rather to stay）。

0694 □□□

A: So you mean we should start the project next month instead of now? B: ＿＿＿＿ That's what I've been trying to say.

① Exactly.　② Not exactly.
③ Never mind.　④ It depends.

① Exactly. その通り；まさにそれ

訳 A：つまり、今ではなく来月にプロジェクトを始めるべきだということですか。　B：その通りです。それをずっと言おうとしていたんです。

解説 後ろで「それをずっと言おうとしていた」と言っているので、相手の理解を全面的に認める Exactly.。Not exactly. は「ちょっと違う」で後ろの文と矛盾する。Never mind. は「気にしないで」で話を打ち切る言葉。It depends. は「場合による」で、言いたいことが伝わったと喜ぶ流れに合わない。

区別 **Exactly. ⇔ Not exactly.** Not exactly. は「正確にはそうではない」と部分的に否定して、言い直しの前置きになる。Exactly. は全面的な同意。見分け方：次に補足・訂正が続くなら Not exactly.、相手の理解を認めるなら Exactly.。

0695 □□□

A: What do you do in your free time? B: I'm really ＿＿＿＿ rock climbing these days. I go to the gym three times a week.

① onto　② in
③ into　④ for

③ I'm into ~. ～にはまっている

訳 A：暇なときは何をしているの？　B：最近はロッククライミングにすっかりはまっているんだ。週に 3 回ジムに行っているよ。

解説 口語で「～にはまっている」は be into ~。into は「中へ入り込む」で、趣味に夢中な状態を表す。onto は「～の上へ」で、be onto ~ は「～に気づいている」の意味になり合わない。in や for は be 動詞と組んでも熱中を表さない。週 3 回ジムに通うという後の文とも合う。

区別 **I'm into ~. ⇔ be interested in ~** be interested in は「～に興味がある」で書き言葉でも使える中立的な表現。be into は会話専用で「はまっている」と熱中の度合いが強い。見分け方：作文・面接なら interested in、友だちとの会話なら into。

0696 □□□

A: I don't think the store will give us a refund. B: Maybe not, but it's ＿＿＿＿ a try.

① worthy　② worthwhile
③ worth　④ worth of

③ It's worth a try. やってみる価値はある

訳 A：あの店が返金してくれるとは思えないな。　B：そうかもしれないけど、やってみる価値はあるよ。

解説 後ろに名詞 a try を直接続けて「試す価値がある」と言えるのは worth。worthy は worthy of ~ と of が必要。worthwhile は形容詞で後ろに名詞を取れない。worth of という形はない。返金は無理だろうという相手を励ます定番の返し。

区別 **It's worth a try. ⇔ worthwhile** worthwhile は形容詞で後ろに名詞を取らない（It's worthwhile to try / trying）。worth は後ろに名詞・動名詞を必ず取る。見分け方：後ろに a try などの名詞が続くなら worth、何も続かないなら worthwhile。

0697 ☐☐☐

A: We'd love you to join our company as a manager. B: Thank you, but it's a big decision. Let me sleep ＿＿＿＿ it.

① on　② off
③ in　④ through

① Let me sleep on it.　一晩考えさせて

訳 A：ぜひ部長として当社に来ていただきたいのです。　B：ありがとうございます。でも大きな決断なので、一晩考えさせてください。

解説 「一晩考えさせて」は sleep on it で、前置詞は on。sleep in は「朝寝坊する」で目的語を取らない。sleep off は「（酔い・疲れ）を寝て治す」。sleep through は「～の間も目を覚まさずに眠る」で、決断を考える意味にならない。大きな決断に即答しない流れに合う。

区別 **Let me sleep on it. ⇔ sleep in**　sleep in は「（わざと）遅くまで寝ている・朝寝坊する」で、考える意味はない。sleep on ~ は判断を翌日まで持ち越す。見分け方：前置詞 on の後ろに決めるべき事柄が来るなら sleep on。

0698 ☐☐☐

A: Don't worry. I'll finish the presentation slides by tomorrow morning. B: Great. I'm counting ＿＿＿＿ you.

① for　② at
③ in　④ on

④ I'm counting on you.　頼りにしているよ；よろしくね

訳 A：心配しないで。明日の朝までにプレゼンのスライドを仕上げるから。　B：よかった。頼りにしているよ。

解説 「あなたを頼りにしている」は count on ~ で、depend on / rely on と同じ「頼る」の on。count for ~ は「～の価値がある」（count for nothing）で人を頼る意味はない。count in は count me in（仲間に入れる）の形で、I'm counting in you とは言わない。at は count と組まない。

区別 **I'm counting on you. ⇔ Count me in.**　Count me in. は「私も仲間に入れて・参加するよ」。反対は Count me out.（私は抜ける）。I'm counting on you. は相手を頼る言葉。見分け方：前置詞 on なら頼る、in / out なら参加するかどうか。

0699 ☐☐☐

A: My piano playing still sounds terrible after three months. B: Don't give up. Keep ＿＿＿＿ it, and you'll get better.

① off　② away
③ at　④ out of

③ Keep at it.　根気よく続けて

訳 A：3 か月たっても、私のピアノはまだひどい音なの。　B：あきらめないで。根気よく続ければ上手になるよ。

解説 「あきらめずに根気よく続けて」は keep at it。前の Don't give up. と自然につながる。keep off ~ は「～に近寄らない」、keep away from ~ は「～から離れている」、keep out of ~ は「～に関わらない」で、どれも練習をやめる方向の意味になり、励ましの文と矛盾する。

区別 **Keep at it. ⇔ Keep it up.**　Keep it up. は「その調子で続けて」で、うまくいっている人への励まし。Keep at it. は苦労している人に「投げ出さずに続けて」。見分け方：結果が出ていればKeep it up.、まだ出ていなければ Keep at it.。

0700 ☐☐☐

A: Sorry, I forgot to bring back the book you lent me. B: ———— Just bring it next time.

① No worries.　② No way.
③ No wonder.　④ No kidding.

① No worries.　大丈夫；気にしないで

訳 A：ごめん、借りた本を返すのを忘れちゃった。　B：気にしないで。次のときに持ってきてくれればいいよ。

解説 借りた本を忘れた謝罪に「気にしないで」と答え、次回でいいと続けるので No worries.。No wonder. は「道理で」と理由に納得する言葉。No way. は「とんでもない・絶対いや」で、後ろの寛大な一言と矛盾する。No kidding. は「まさか・本当に？」と驚く言葉で、謝罪への返事にならない。

区別 **No worries. ⇔ No wonder.** No wonder. は「道理で・どうりでね」で、理由を聞いて納得したときの言葉。No worries. は相手を安心させる言葉。見分け方：謝罪・お礼への返事なら No worries.、理由を聞いて納得なら No wonder.。

0701 ☐☐☐

A: Let's meet at the station at ten and have lunch before the movie. B: ———— See you then.

① It's out of the question.
② That's not the point.
③ I'm afraid not.
④ Sounds like a plan.

④ Sounds like a plan.　それでいこう；いい考えだね

訳 A：10 時に駅で待ち合わせて、映画の前にお昼を食べよう。　B：それでいこう。じゃあその時に。

解説 待ち合わせの提案に賛成し「じゃあその時に」と続けるので Sounds like a plan.。It's out of the question. は「問題外だ」、I'm afraid not. は「残念ながらそうではない」で、どちらも断る言葉なので See you then. と矛盾する。That's not the point. は「そこは論点ではない」で提案への返事にならない。

区別 **Sounds like a plan. ⇔ Sounds good.** sound の後ろが形容詞なら like は付けない（Sounds good）。名詞なら like が要る（Sounds like a plan）。見分け方：後ろが a plan / a good idea などの名詞なら sound like、good / great なら sound だけ。

0702 ☐☐☐

A: Do you know why the boss is in such a bad mood today? B: ———— He hasn't said a word to me all morning.

① You can say that again.
② Your guess is as good as mine.
③ It's on me.
④ Suit yourself.

② Your guess is as good as mine.　私にも分からない

訳 A：今日はどうして上司があんなに機嫌が悪いのか知ってる？　B：私にも分からないよ。午前中ずっと一言も話しかけてこないし。

解説 上司の機嫌が悪い理由を聞かれ、自分も何も聞いていないと続くので「私にも分からない」の Your guess is as good as mine.。You can say that again. は「全くだ」と同意する言葉で、質問への答えにならない。It's on me. は「私がおごる」、Suit yourself. は「勝手にすれば」で、どれも文脈に合わない。

区別 **Your guess is as good as mine. ⇔ You can say that again.** You can say that again. は「全くその通り」と強く同意する言葉。Your guess is as good as mine. は答えを知らないと伝える言葉。見分け方：相手の意見に賛成なら say that again、質問に答えられないなら your guess。

0703 ☐☐☐

A: Thanks so much for helping me move last weekend. B: ＿＿＿＿ Just let me know if you need help again.

① Sometimes.　② Anytime.
③ Never again.　④ Any time soon.

② Anytime.　いつでもどうぞ；どういたしまして

訳 A：先週末は引っ越しを手伝ってくれて本当にありがとう。B：いつでもどうぞ。また手伝いが必要なら言ってね。

解説 手伝ったお礼に「いつでもどうぞ」と返し、また必要なら言ってと続けるので Anytime.。Sometimes.（時々）はお礼への返事にならない。Never again.（二度とごめんだ）は後ろの「また言って」と矛盾する。Any time soon は否定文・疑問文の中で使う副詞句で、単独の返事にはならない。

区別 **Anytime. ⇔ Any time soon**　any time soon は否定文・疑問文で「近いうちに（〜ない）」（He won't come any time soon）という副詞句で、お礼への返事にはならない。Anytime. は単独で返事になる。

0704 ☐☐☐

A: So first you press this button, and then you turn the key to the right. Are you ＿＿＿＿ me? B: Yes, I think I've got it.

① with　② for
③ on　④ by

① Are you with me?　（話に）ついてきていますか

訳 A：まずこのボタンを押して、それから鍵を右に回します。ついてきていますか。　B：はい、分かったと思います。

解説 説明の途中で「ついてきている？」と確かめるのは Are you with me?。B の「分かったと思う」という答えとつながる。Are you for me? は「私に賛成？」という意味になりうるが、説明の理解の確認にはならない。on / by は be 動詞と組んでこの意味を表さない。

区別 **Are you with me? ⇔ You lost me.**　You lost me. は「話についていけなくなった」と相手に伝える言葉で、Are you with me? への否定の答えになる。Are you with me? は説明する側が確認する言葉。立場が逆。

0705 ☐☐☐

A: Good evening. Do you have a ＿＿＿＿? B: Yes, a table for two under the name Tanaka.

① reservation　② receipt
③ reception　④ registration

① Do you have a reservation?
ご予約はされていますか

訳 A：いらっしゃいませ。ご予約はされていますか。　B：はい、田中の名前で 2 名の席を予約しています。

解説 店員が客に「ご予約は？」と聞き、名前で予約していると答えているので reservation。receipt は「領収書」、reception は「受付・歓迎会」、registration は「登録・（大学などの）手続き」で、どれも席の予約を表さない。a table for two という答えとも合う。

区別 **Do you have a reservation? ⇔ make a reservation**　make a reservation は「予約する」動作（客が電話などで）。Do you have a reservation? は予約がすでにあるかどうか（状態）の確認。見分け方：これから予約するなら make、店で確認されるなら have。

0706 ☐☐☐

A: How about meeting on Friday at three? Does that ＿＿＿＿ for you?
B: Friday's perfect.

① work　② suit
③ fit　④ match

① Does that work for you? それで都合はいいですか

訳 A：金曜日の 3 時に会うのはどうですか。ご都合はいいですか。　B：金曜日なら完璧です。

解説 「都合はいいですか」は Does that work for you? で、work は自動詞なので for が付く。suit は他動詞で Does that suit you? と目的語を直接取るので、for があると形が合わない。fit / match は「（大きさ・色などが）合う」で、予定の都合には使わない。

区別 **Does that work for you? ⇔ Does that suit you?** suit は他動詞なので目的語を直接取る（Does that suit you?）。work は自動詞なので for が必要（Does that work for you?）。意味はほぼ同じ。見分け方：for があれば work、なければ suit。

0707 ☐☐☐

A: I brought you some soup because I heard you were sick. B: Oh, how kind ＿＿＿＿ you!

① to　② for
③ of　④ with

③ How kind of you! なんてご親切に

訳 A：具合が悪いと聞いたので、スープを持ってきたよ。　B：まあ、なんて親切なの！

解説 kind は人の性質を評価する形容詞なので of ＋ 人で How kind of you!。for は easy / difficult など事柄の性質を言う形容詞で使う形で、kind には合わない。be kind to ~（〜に親切にする）の to は「親切にする相手」を示すが、感謝の感嘆文 How kind to you! とは言わない。with も不可。

区別 **How kind of you! ⇔ for ＋ 人（It is ~ for A to do）** It is easy / difficult / necessary for A to do のように、事柄の難易・必要性を言う形容詞は for ＋ 人。kind / nice / careless など人の性質を言う形容詞は of ＋ 人。見分け方：形容詞が人の性格を表すなら of。

0708 ☐☐☐

A: I'm so tired of working overtime every single day. B: I ＿＿＿＿ you. I've been doing the same thing all month.

① hear　② listen
③ sound　④ watch

① I hear you. 分かるよ；言いたいことは聞いた

訳 A：毎日残業ばかりで本当にうんざりだよ。　B：分かるよ。私も今月はずっと同じだもの。

解説 相手の愚痴に「分かるよ」と共感するのは I hear you.。後ろで「自分も同じ」と続く。listen は自動詞で、目的語を取るには listen to が必要。sound は「〜に聞こえる」で人を目的語に取らない。watch は「見る」で共感を表さない。

区別 **I hear you. ⇔ I see.** I see. は「なるほど・分かりました」と情報や説明を理解したときの相づち。I hear you. は相手の気持ち・不満に共感するときに使う。見分け方：説明を理解したなら I see、愚痴に共感するなら I hear you。

0709 ☐☐☐

A: Are you sure you locked the front door? B: Yes, I'm ＿＿＿＿. I checked it twice.

① possible　② probable
③ negative　④ positive

④ I'm positive. 絶対に間違いない；確信している

訳 A：玄関の鍵をかけたのは確かなの？　B：うん、絶対に間違いない。2 回確かめたから。

解説 念を押されて「絶対に間違いない」と答え、2 回確かめたと続くので positive。possible / probable は「（物事が）ありうる・ありそうだ」で、人を主語にして確信を表せない（× I'm possible）。negative は「否定的な」で、Yes と矛盾する。

区別 **I'm positive.** ⇔ **be positive about ~**（前向き）　positive には「前向きな・楽観的な」の意味もある（a positive attitude）。I'm positive. と単独で返事に使うと「確信している」。見分け方：Are you sure? への返事なら確信、態度・考え方の話なら前向き。

0710 ☐☐☐

A: I heard Ken failed the entrance exam. B: It ＿＿＿＿ be! He's the best student in our class.

① can't　② needn't
③ won't　④ mustn't

① It can't be. ありえない；そんなはずはない

訳 A：ケンが入試に落ちたって聞いたよ。　B：そんなはずはない！　彼はクラスで一番優秀な生徒なのに。

解説 一番優秀な生徒が落ちたと聞いて「そんなはずはない」と打ち消すのは can't（～のはずがない）。mustn't は「～してはいけない」という禁止で、推量の否定には使わない。needn't は「～する必要はない」。won't は「～しないだろう」と未来の予測で、すでに起きた話への強い打ち消しにならない。

区別 **It can't be.** ⇔ **It mustn't be ~**　must not は「～してはいけない（禁止）」で、推量「～のはずがない」の意味には普通使わない。推量の must（～に違いない）の否定は can't。見分け方：「ありえない」なら can't、「してはいけない」なら mustn't。

0711 ☐☐☐

A: He was late again today, and he didn't even call. B: That's the last ＿＿＿＿! I'm going to talk to the boss about him.

① stroke　② straw
③ step　④ drop

② That's the last straw. もう我慢の限界だ

訳 A：彼は今日もまた遅刻して、連絡さえしてこなかったよ。　B：もう我慢の限界だ！　彼のことを上司に話してくる。

解説 何度も遅刻した末の「もう我慢の限界だ」は That's the last straw.。ラクダの背を折る最後のわら 1 本のことわざから来ている。stroke（一撃）、drop（しずく）、step（一歩）はどれも「最後のひと押し」を連想させるひっかけだが、英語の決まり文句ではない。

区別 **That's the last straw.** ⇔ **I've had enough.**　I've had enough (of ~). は「もううんざりだ」と全体への嫌気を言う一般的な表現。That's the last straw. は直前の 1 つの出来事を「とどめ」として指す。見分け方：きっかけの出来事を that で指しているなら last straw。

0712 ☐☐☐

A: I'm going hiking tomorrow. B: You might want _____ a raincoat. It's supposed to rain in the afternoon.

① taking ② take
③ to taking ④ to take

④ You might want to ~. ～したほうがいいかもね

訳 A：明日はハイキングに行くんだ。 B：レインコートを持って行った方がいいかもね。午後は雨の予報だよ。

解説 want は want to do の形を取るので、You might want to take ~（～を持って行った方がいいかも）。taking は want ~ing となり、遠回しな助言の決まった形にならない。原形 take は want の直後に置けない。to taking は to が前置詞の場合の形で、want には合わない。

区別 **You might want to ~. ⇔ You had better ~** had better は「～しないとまずいことになる」という強い警告で、目上に使うと失礼になりうる。You might want to ~ は柔らかい提案。どちらも後ろは原形だが、had better は to なし、want は to あり。

0713 ☐☐☐

A: What would you like to drink? We have tea, coffee, and juice. B: Anything will _____. I'm just thirsty.

① make ② do
③ be ④ go

② Anything will do. 何でもいいです

訳 A：何を飲みますか。紅茶とコーヒーとジュースがありますよ。 B：何でもいいです。とにかく喉が渇いているので。

解説 「何でもいい（どれでも間に合う）」は Anything will do. で、do は自動詞「役に立つ・十分だ」。make は他動詞で目的語が要る。go は Anything goes.（何でもありだ）の形で使い、will go では意味が変わる。be は後ろに補語がなく文が完成しない。

区別 **Anything will do. ⇔ That will do.** That will do. は「それで十分だ」のほか、「もうたくさんだ・いい加減にしなさい」と相手をたしなめる意味にもなる。Anything will do. は選択を相手に任せる返事。

0714 ☐☐☐

Excuse me. Do you have this sweater _____ a smaller size? This one is too big for me.

① with ② at
③ in ④ by

③ Do you have this in a smaller size?
これの小さいサイズはありますか

訳 すみません。このセーターの小さいサイズはありますか。これは私には大きすぎるんです。

解説 服のサイズ・色は in で示し、Do you have this in a smaller size?。with は「～を伴って」で、セーターがサイズを持っているという意味になり不自然。at / by もサイズを表すのには使わない。大きすぎるので小さいのが欲しいという流れに合う。

区別 **Do you have this in a smaller size? ⇔ Can I try this on?** Can I try this on? は「試着してもいいですか」で、試着の許可を求める。Do you have this in ~? は別のサイズ・色の在庫を聞く。try on は「身につけて試す」で、目的語の代名詞は try it on の位置に置く。

0715 □□□

A: The results of the audition come out tomorrow. B: Fingers ＿＿＿＿＿! I really hope you get the part.

① crossing　② cross
③ to cross　④ crossed

④ Fingers crossed. うまくいくよう祈ってる

訳 A：オーディションの結果は明日出るんだ。　B：うまくいくよう祈ってる！　役がもらえるといいね。

解説 「うまくいくよう祈ってる」は Fingers crossed.。keep my fingers crossed の省略で、指は「交差された」状態なので過去分詞 crossed。crossing は指が自分で交差していく意味になり決まり文句ではない。cross / to cross も名詞 fingers の後ろでこの意味を作らない。

区別 **Fingers crossed. ⇔ Break a leg!** Break a leg! は「頑張って！」で、舞台・発表などに出る人への励まし（縁起かつぎの逆の言い方）。Fingers crossed. は結果がうまくいくよう祈る言葉で、自分のことにも使える。

0716 □□□

A: That box looks really heavy. Do you need a hand? B: Thanks, but I can ＿＿＿＿＿.

① handle　② deal
③ manage　④ afford

③ I can manage. 何とかできます；大丈夫です

訳 A：その箱、すごく重そうだね。手伝おうか？　B：ありがとう、でも自分で何とかできるよ。

解説 手伝いの申し出を「自分で何とかできる」と断るのは I can manage. で、manage は目的語なしで使える自動詞。handle と afford は他動詞で目的語（it など）が必要。deal は deal with ~ と前置詞が必要。文末に何も続かない形に合うのは manage だけ。

区別 **I can manage. ⇔ I can handle it.** handle は他動詞なので目的語 it が必要（I can handle it）。manage は自動詞として目的語なしで使える。意味はほぼ同じ「自分でできる」。見分け方：文末に目的語がなければ manage。

0717 □□□

A: You'll really quit if they don't raise your pay? B: Yes, I ＿＿＿＿＿ it. I'm not joking this time.

① mean　② think
③ take　④ say

① I mean it. 本気だよ

訳 A：給料を上げてくれなかったら、本当に辞めるの？　B：うん、本気だよ。今回は冗談じゃない。

解説 冗談ではなく「本気だ」と念を押すのは I mean it.。say it は「それを言う」で、本気かどうかを表さない。think は「考える」で it を目的語にしても本気の意味にならない。take it は「受け取る・我慢する」で文意に合わない。後ろの I'm not joking とつながる。

区別 **I mean it. ⇔ I didn't mean it.** I didn't mean it. は「本気じゃなかった・悪気はなかった」と謝る言葉で、I mean it. の否定。I mean it. は本気であることを強調する。

0718 ☐☐☐

A: Have you ever tried surfing? B: No, never. But I'll give it a ———— this summer.

① come ② run
③ move ④ go

④ I'll give it a go. やってみるよ

訳 A：サーフィンをしたことはある？ B：ううん、一度もない。でもこの夏やってみるよ。

解説 「やってみる」は give it a go で、go は「試み」という名詞。come / move は give it a ~ の形の決まり文句にならない。run は give A a run（A を走らせる）とは言えても「挑戦する」の意味にはならない。初めてだがこの夏挑戦するという文意に合う。

区別 **I'll give it a go. ⇔ Go for it.** Go for it. は「やってみなよ・頑張れ」と相手を励ます言葉。I'll give it a go. は自分が挑戦する意志を表す。見分け方：主語が自分なら give it a go、相手を後押しするなら go for it。

0719 ☐☐☐

A: I think we should leave now before the traffic gets bad. B: I'm ———— you. Let's go.

① to ② with
③ at ④ on

② I'm with you. 賛成だ；（話に）ついていっている

訳 A：道が混む前に今出発した方がいいと思う。 B：賛成。行こう。

解説 相手の提案に「賛成だ」と答え、Let's go. と続くので I'm with you.。with は「同じ側に」で賛成を表す。I'm on ~ は I'm on it（任せて）の形で、人を目的語にして賛成の意味にはならない。to / at も be 動詞と組んで賛成を表さない。

区別 **I'm with you. ⇔ I'm on it.** I'm on it. は「今やっています・任せて」と仕事を引き受ける言葉。I'm with you. は意見への賛成や理解。見分け方：頼まれた仕事に答えるなら on it、意見に答えるなら with you。

0720 ☐☐☐

A: Why would anyone pay $1,000 for a pair of sneakers? B: It's ———— me.

① out of ② beyond
③ over ④ into

② It's beyond me. 私には理解できない

訳 A：スニーカー 1 足に 1,000 ドルも払う人がいるなんて、どうしてだろう？ B：私には理解できないよ。

解説 「私には理解できない」は It's beyond me.。beyond は「理解の範囲を超えて」。out of me は意味を成さない（out of my hands なら「私の手を離れて」）。over me は over my head（理解できない）の形でないとこの意味にならない。into は I'm into ~（はまっている）の形で、理解できない意味とは逆。

区別 **It's beyond me. ⇔ go over one's head** go over one's head は「（話・冗談が）難しくて理解できない」で、主語は話・内容。It's beyond me. も同じく理解できないことを言うが、人の行動・理由が理解できない（なぜそんなことを）という意味でも使える。

0721 □□□

A: I don't know how to set up this printer. B: Come on, it's not rocket ＿＿＿＿. Just follow the instructions.

① scientist　② technology
③ brain　④ science

④ It's not rocket science. そんなに難しいことじゃない

訳 A：このプリンターの設定の仕方が分からないよ。　B：ほら、そんなに難しいことじゃないよ。説明書のとおりにやればいいんだ。

解説 「そんなに難しいことじゃない」は It's not rocket science.。主語 it はプリンターの設定という作業なので、学問・分野を表す science が合う。scientist は「科学者」で人になる。technology や brain はこの決まり文句に使わない（brain surgery なら同じ意味になる）。

区別 **It's not rocket science. ⇔ a piece of cake**　a piece of cake は「とても簡単なこと」と肯定的に簡単さを言う。It's not rocket science. は「難しいと思っているようだが、そうではない」と相手の思い込みを打ち消す含みがある。

0722 □□□

Hurry up! Time is running ＿＿＿＿, and we still have three questions left.

① out　② away
③ out of　④ off

① Time is running out. 時間がなくなってきた

訳 急いで！　時間がなくなってきたのに、まだ 3 問残っているよ。

解説 主語が time（尽きるもの）なので、自動詞の run out（尽きる）。out of は人が主語で「～を使い果たす」ときの形で、後ろに名詞が必要。run away は「逃げる」、run off は「走り去る・（液体が）流れ出る」で、時間がなくなる意味にならない。

区別 **Time is running out. ⇔ run out of ~**　run out of ~ は人が主語で「～を使い果たす」（We're running out of time）。run out は物が主語で「尽きる」（Time is running out）。見分け方：主語が time なら out だけ、主語が人なら out of。

0723 □□□

A: Mr. Smith, can I have a ＿＿＿＿ with you? B: Sure. What's on your mind?

① words　② word
③ say　④ speech

② Can I have a word with you?
ちょっとお話があるのですが

訳 A：スミスさん、ちょっとお話があるのですが。　B：いいですよ。何でしょう？

解説 「ちょっとお話があるのですが」は have a word with ~ で、a word（単数）。words にすると have words with ~（～と口論する）と混同した形で、a とも合わない。speech は「演説」、say は have a say（発言権がある）の形で使い、話を切り出す意味にならない。

区別 **Can I have a word with you? ⇔ have words with ~**　複数形の have words with ~ は「～と口論する」。単数の have a word with ~ は「～と少し話す」。s 1 つで意味が大きく変わる。

0724 □□□

A: I'm not sure if I can join the project yet. B: OK. Think about it and get back _____ me by Friday.

① at　② to
③ with　④ for

② Get back to me. あとで返事をちょうだい

訳 A：まだプロジェクトに参加できるかどうか分からないんだ。B：分かった。考えて、金曜日までに返事をちょうだい。

解説 「（後で）返事をする」は get back to ＋ 人。at を使うと get back at ～（～に仕返しする）になり意味が全く違う。for / with も get back と組んで返事の意味にならない。考えて金曜までに返事して、という流れに合う。

区別 **Get back to me.** ⇔ **get back at ～** get back at ＋ 人は「～に仕返しをする」。get back to ＋ 人は「～に返事をする」。前置詞 1 つで意味が大きく変わる。

0725 □□□

A: This is clearly the best movie of the year. B: I beg to _____. The story was too predictable.

① different　② difference
③ differ　④ differently

③ I beg to differ. 失礼ながら私は違う意見です

訳 A：これは明らかに今年一番の映画だね。　B：失礼ながら私は違う意見です。話の展開が読めすぎました。

解説 beg to do の形なので、to の後ろは動詞の原形 differ（意見が異なる）。different は形容詞、difference は名詞、differently は副詞で、どれも to の後ろに置いて動詞の働きをしない。後ろでストーリーを批判して反対意見を述べている流れに合う。

区別 **I beg to differ.** ⇔ **I couldn't agree more.** I couldn't agree more. は「これ以上ないほど賛成＝大賛成」で正反対。I beg to differ. は丁寧な反対。見分け方：後ろに反対の理由が続くなら beg to differ。

0726 □□□

A: You look pale. Are you OK? B: I think I have a _____. My temperature is 38.5 degrees.

① heat　② hot
③ warm　④ fever

④ I have a fever. 熱があります

訳 A：顔色が悪いよ。大丈夫？　B：熱があると思う。体温が 38.5 度あるんだ。

解説 「熱がある」は have a fever。heat は「暑さ・熱さ」で、病気の熱には使わない。hot / warm は形容詞なので a の後ろで名詞として使えない。38.5 度という体温の説明とも合う。

区別 **I have a fever.** ⇔ **I feel hot.** I feel hot. は「暑い・体がほてる」で、病気とは限らない。I have a fever. は病気で熱がある。hot や heat を使って × I have a heat とは言わない。

0727 □□□

A: Let's go out for dinner tonight. B: Sorry, I can't. I'm _____ until payday.

① broken　② break
③ broke　④ breaking

③ I'm broke. お金がない；金欠だ

訳 A：今夜、外で夕食を食べようよ。　B：ごめん、無理なんだ。給料日までお金がないんだよ。

解説 「お金がない」は I'm broke.。broken は「壊れた・けがをした」で、人が主語だと心や体が傷ついた意味になり、給料日までという金欠の話に合わない。break（原形）や breaking（進行形）は be 動詞の後ろでこの意味にならない。

区別 **I'm broke.** ⇔ **broken** broken は「壊れた・折れた」（a broken window / My phone is broken）。broke は人がお金を持っていない状態。見分け方：人が主語でお金の話なら broke、物が主語で故障なら broken。

0728 ☐☐☐

A: Should I accept the free upgrade to first class? B: Of course! It's a ＿＿＿＿.

① brain drain　② brainstorm
③ brainwash　④ no-brainer

④ It's a no-brainer. 考えるまでもない

訳 A：無料でファーストクラスにアップグレードしてもらうべきかな？　B：もちろん！　考えるまでもないよ。

解説 無料でファーストクラスに上げてもらえるなら迷う必要はないので「考えるまでもない」の no-brainer。brain drain は「頭脳流出」、brainstorm は「（アイデアを出し合う）話し合い」、brainwash は「洗脳する」で、迷わず決められる選択を表さない。

区別 **It's a no-brainer. ⇔ brain drain** brain drain は「頭脳流出（優秀な人材が国外へ出ていくこと）」。brainstorm は「アイデアを出し合う」。no-brainer だけが「簡単な決断」。brain を含む語のひっかけに注意。

0729 ☐☐☐

A: I didn't make the basketball team again this year. B: Keep your ＿＿＿＿ up. You'll get another chance next year.

① nose　② chin
③ mouth　④ eyes

② Keep your chin up. 元気を出して；くじけないで

訳 A：今年もバスケットボール部の選手に選ばれなかったんだ。B：元気を出して。来年もまたチャンスがあるよ。

解説 落ち込んでいる相手を励ます決まり文句は Keep your chin up.（あごを上げて＝元気を出して）。nose / eyes / mouth を up と組み合わせても励ましの決まり文句にならない（keep one's eyes open なら「注意している」）。来年もチャンスがあると続く励ましの流れに合う。

区別 **Keep your chin up. ⇔ Keep your nose to the grindstone.** keep one's nose to the grindstone は「こつこつ働き続ける」。Keep your chin up. は落ち込まずに元気を出すこと。体の部位を使った keep 表現の違いに注意。

0730 ☐☐☐

OK, everyone's here, and we've had our coffee. Let's get down ＿＿＿＿ business.

① on　② to
③ for　④ at

② Let's get down to business. さあ本題に入ろう

訳 よし、全員そろったし、コーヒーも飲んだ。さあ本題に入ろう。

解説 「本題に入る・取りかかる」は get down to ~ で、前置詞は to。on / at / for は get down と組んでこの意味を作らない。全員そろってコーヒーも飲んだので、いよいよ会議を始める場面に合う。

区別 **Let's get down to business. ⇔ get down** to のない get down は「降りる・かがむ」「（人を）落ち込ませる」（This weather gets me down）。get down to ~ は「～に取りかかる」。前置詞 to の有無で意味が変わる。

0731 □□□

A: It was so nice of you to come to our party. B: Thanks for ＿＿＿＿ me. I had a wonderful time.

① taking　② getting
③ having　④ holding

③ Thanks for having me. お招きいただきありがとう

訳 A：パーティーに来てくれて本当にうれしかったよ。　B：お招きいただきありがとう。とても楽しかったです。

解説 招かれた客が「お招きいただきありがとう」と言うのは Thanks for having me.。have は「（客として）迎える」。taking me は「連れて行ってくれて」、getting me は「手に入れて・迎えに来てくれて」、holding me は「抱いてくれて」で、パーティーに招かれたお礼にならない。

区別 **Thanks for having me. ⇔ Thanks for coming.** Thanks for coming. は招いた側（ホスト）が客に言う。Thanks for having me. は客がホストに言う。立場が逆になる点が会話問題で狙われる。

0732 □□□

A: We're going camping in the mountains this weekend. Want to join us? B: Count me ＿＿＿＿. I hate bugs.

① in　② off
③ out　④ down

③ Count me out. 私は遠慮しておく；私は抜けるよ

訳 A：今週末、山へキャンプに行くんだ。一緒に来ない？　B：私は遠慮しておく。虫が大嫌いなんだ。

解説 虫が大嫌いという理由を添えて誘いを断っているので Count me out.（私は抜ける）。Count me in. は「私も参加する」で、虫が嫌いという理由と矛盾する。off / down は count me と組んで参加・不参加の決まり文句にならない。

区別 **Count me out. ⇔ Count me in.** Count me in. は「私も参加する」で正反対。in / out の 1 語で答えが逆になる点が会話問題で狙われる。

0733 □□□

A: I failed the driving test again. I'm so useless. B: Don't be so hard ＿＿＿＿ yourself. You'll pass next time.

① with　② for
③ on　④ to

③ Don't be so hard on yourself.
自分を責めすぎないで

訳 A：また運転免許の試験に落ちちゃった。本当にだめだな、私。　B：自分を責めすぎないで。次は受かるよ。

解説 「自分を責めすぎないで」は be hard on oneself で、「～に厳しく当たる」の on。with は be strict with ~（～に厳しい）の形で使うが、hard とは組まない。for / to も hard と組んで「～につらく当たる」の意味にならない。

区別 **Don't be so hard on yourself. ⇔ be hard on ~ / be hard of hearing** be hard on ~ は「～に厳しい」。be hard of hearing は「耳が遠い」で全く別の表現。前置詞 on / of の違いに注意。

0734 □□□

I'm counting on you to score a goal in tomorrow's final. Don't let me ＿＿＿＿.

① down　② out
③ up　④ off

① Don't let me down. がっかりさせないでね

訳 明日の決勝ではゴールを決めてくれると期待しているよ。がっかりさせないでね。

解説 期待をかけた相手に「がっかりさせないで」と言うのは Don't let me down.。let me off は「降ろして・見逃して」、let me out は「外に出して」で、期待の話にならない。let up は「弱まる」という自動詞で、間に目的語を挟まない。

区別 **Don't let me down.** ⇔ **let up** let up は「（雨・痛みなどが）弱まる・やむ」。let A off は「A を（乗り物から）降ろす・罰を免除する」、let A out は「A を外に出す」。let ＋ 副詞の組み合わせで意味が大きく変わる。

0735 □□□

A: Do you want another piece of cake? B: I'll ＿＿＿＿, thanks. I'm really full.

① miss　② pass
③ leave　④ lose

② I'll pass. 私はやめておく；パスします

訳 A：ケーキをもう一切れどう？　B：やめておくよ、ありがとう。本当にお腹がいっぱいなんだ。

解説 勧めを「やめておく」と軽く断るのは I'll pass.。pass は目的語なしで使える。miss は「逃す・恋しく思う」、lose は「失う・負ける」、leave は「去る・残す」で、どれもおかわりを断る決まった言い方にならない。もう満腹だという理由とも合う。

区別 **I'll pass.** ⇔ **pass away** pass away は「亡くなる」の遠回しな言い方。I'll pass. は誘いを断る。pass by は「通り過ぎる」、pass out は「気絶する」。pass ＋ 副詞で意味が大きく変わる。

0736 □□□

A: May I speak to Mr. Brown in the sales department? B: Certainly. One moment, please. I'll put you ＿＿＿＿.

① off　② out
③ down　④ through

④ I'll put you through. （電話を）おつなぎします

訳 A：営業部のブラウンさんをお願いできますか。　B：かしこまりました。少々お待ちください。おつなぎします。

解説 電話の受付が「おつなぎします」と言うのは put A through。put off は「延期する・嫌にさせる」、put out は「（火を）消す・外に出す」、put down は「置く・書き留める・（電話を）切る」で、担当者に電話をつなぐ意味にならない。

区別 **I'll put you through.** ⇔ **put A on hold** put A on hold は「A（の電話）を保留にする」。put A through は「A をつなぐ」。電話の場面で前置詞・副詞が問われる。

0737 □□□

A: Can you help me fix the clasp on this necklace? B: Sorry, I'm all ＿＿＿＿. You should ask my sister.

① thumbs　② hands
③ ears　④ fingers

① I'm all thumbs. 私は不器用だ

訳 A：このネックレスの留め金を直すのを手伝ってくれる？　B：ごめん、私は不器用なんだ。妹に頼んだ方がいいよ。

解説 細かい作業ができないので「不器用だ」の I'm all thumbs.。fingers / hands は手に関係するひっかけだが、決まり文句ではない。I'm all ears. は「熱心に聞いている」で、手伝えない理由にならない。妹に頼んでと続く流れに合う。

区別 **I'm all thumbs.** ⇔ **I'm all ears.** I'm all ears. は「（体中が耳になるほど）熱心に聞いている・ぜひ聞かせて」。I'm all thumbs. は「不器用だ」。all ＋ 体の部分の形で意味が全く違う。

0738 □□□

Excuse me. Is this the right ＿＿＿＿ to the city museum?

① course ② method
③ means ④ way

④ Is this the right way to ~?

～へはこの道で合っていますか

訳 すみません。市立博物館へはこの道で合っていますか。

解説 道を尋ねて「博物館へはこの道で合っていますか」と言うのは the right way to ~。course は「進路・講座」で道案内には普通使わない。method / means は「方法・手段」で、場所への道を表さない。

区別 **Is this the right way to ~?** ⇔ **on the way to ~** on the way to ~ は「～へ行く途中で」で、移動の最中を表す。the right way to ~ は「～へ行く正しい道」。

0739 □□□

What's the name of that actor in the spy movie? Oh, it's on the ＿＿＿＿ of my tongue.

① top ② end
③ tip ④ edge

③ It's on the tip of my tongue.

喉まで出かかっているんだけど

訳 あのスパイ映画に出ている俳優の名前は何だっけ？　ああ、喉まで出かかっているんだけど。

解説 「喉まで出かかっている」は on the tip of one's tongue で、名詞は tip（先端）に決まっている。top（上）は日本語の「先」につられやすいひっかけ。end（端・終わり）や edge（縁）も決まり文句ではない。俳優の名前が思い出せない場面に合う。

区別 **It's on the tip of my tongue.** ⇔ **slip one's mind** slip one's mind は「（すっかり）忘れる・うっかりする」（It slipped my mind.）。on the tip of one's tongue はもう少しで思い出せそうな状態。

0740 □□□

A: How are you doing these days? B: Never been ＿＿＿＿! I just got my dream job.

① good ② better
③ well ④ best

② Never been better. 絶好調だよ

訳 A：最近調子はどう？　B：絶好調だよ！　ちょうど夢だった仕事に就けたんだ。

解説 I've never been better.（今ほど調子がよかったことはない）の省略で、比較級 better が「今が最高」の意味を作る。good / well（原級）では比較の意味が出ず、「元気だったことがない」と逆の意味になる。最上級 best は never been と組んだ決まり文句ではない。

区別 **Never been better.** ⇔ **Couldn't be better.** Couldn't be better. も「最高だ」で、仮定法の couldn't ＋ 比較級（これ以上よくなりようがない）。Never been better. は現在完了で「今までで一番よい」。どちらも最上級の意味。

0741 □□□

A: I won first prize in the national speech contest! B: No _____! That's amazing. Congratulations!

① kidding ② kids
③ kidded ④ kid

① No kidding. 冗談でしょ；まさか

訳 A：全国スピーチコンテストで優勝したよ！ B：本当に？ すごいね。おめでとう！

解説 驚いて「まさか・本当に？」と言うのは No kidding! で、No ＋ ~ing の形（No smoking と同じ）。kid / kids は名詞「子ども」と読めてしまい意味が通らない。kidded は過去形・過去分詞で No の後ろに置かない。

区別 **No kidding.** ⇔ **You're kidding.** You're kidding (me). は「冗談でしょ」と驚き・不信を表す。No kidding. は驚きのほか「当たり前だ」という皮肉にも使える。

0742 □□□

A: So you're quitting your job? B: Not _____. I'm just taking a year off to travel around the world.

① exact ② exactly
③ exacted ④ exactness

② Not exactly. 必ずしもそうではない；ちょっと違う

訳 A：じゃあ、仕事を辞めるの？ B：ちょっと違うんだ。1 年休んで世界を旅するだけだよ。

解説 「辞めるわけではなく 1 年休むだけ」と部分的に否定して言い直すので Not exactly.（必ずしもそうではない）。exact は形容詞で、Not exact. では返事の決まり文句にならない。exactness は名詞「正確さ」。exacted は動詞 exact（強要する）の過去分詞で、返事として意味を成さない。

区別 **Not exactly.** ⇔ **Exactly.** Exactly. は「その通り」と全面的な同意。Not exactly. は部分的な否定で、補足・訂正が続く。not が付くだけで同意が否定に変わる。

0743 □□□

A: Why don't we take the train instead of driving? B: That's not a bad _____. The roads will be really crowded today.

① opinion ② mind
③ idea ④ sense

③ That's not a bad idea. それは悪くない考えだね

訳 A：車で行く代わりに電車に乗らない？ B：それは悪くない考えだね。今日は道がすごく混むだろうから。

解説 提案に「悪くない考えだ」と賛成するのは That's not a bad idea.。後ろの「道が混むから」という賛成の理由とつながる。opinion（意見）は「提案」への返事として不自然で、a bad opinion は「悪い評価」の意味になる。mind（心）や sense（感覚・分別）も決まり文句ではない。

区別 **That's not a bad idea.** ⇔ **That's not the point.** That's not the point. は「それは論点ではない・問題はそこじゃない」と相手の話をそらす・否定する言葉。That's not a bad idea. は提案への賛成。

0744 □□□

A: Why do we have to wear a uniform every day? B: I don't make the rules. That's the ＿＿＿＿ it is.

① how　② what
③ way　④ thing

③ That's the way it is.

そういうものだ；決まりだから仕方ない

訳 A：どうして毎日制服を着なきゃいけないの？　B：規則を作っているのは私じゃないよ。決まりだから仕方ないの。

解説 「決まりだから仕方ない」は That's the way it is.。how は That's how it is. なら正しいが、the how とは言わない（the way と how は一緒に使えない）。what を入れると the what となり形が崩れる。thing も決まり文句を作らない。

区別 **That's the way it is. ⇔ That's the way to go.** That's the way to go. / That's the way! は「それでいい・その調子」とほめる言葉。That's the way it is. は変えられない現実を受け入れる言葉。

0745 □□□

A: Hi, Tom! I didn't expect to see you at this hospital. What ＿＿＿＿ you here? B: I'm visiting my grandmother.

① brings　② makes
③ gets　④ takes

① What brings you here? どうしてここに来たの？

訳 A：やあ、トム！　この病院で会うとは思わなかったよ。どうしてここに？　B：祖母のお見舞いに来たんだ。

解説 来た理由を柔らかく尋ねる決まり文句は What brings you here?。bring は「こちらへ連れてくる」で here と合う。take は「あちらへ連れて行く」で here と方向が合わない。make you here / get you here は形にならない（get you here は「ここまで連れてくる」と読めても理由を聞く文にならない）。

区別 **What brings you here? ⇔ What makes you think so?** What makes you ~? は「何があなたを～させるのか＝なぜ～なのか」（What makes you think so?）。What brings you here? は来た理由を聞く決まり文句で、brings を使う。

0746 □□□

A: Excuse me, do you have ＿＿＿＿ for a twenty-dollar bill? I need coins for the bus. B: Let me check. Yes, here you are.

① a change　② changes
③ exchange　④ change

④ Do you have change for ~? ～をくずせますか

訳 A：すみません、20 ドル札をくずせますか。バスに乗るのに硬貨が要るんです。　B：確かめてみますね。はい、どうぞ。

解説 「小銭」の change は数えられない名詞なので、冠詞も複数形の s も付けずに change for ~ とする。a change は「変化」の意味になり、changes も同様に変化の複数。exchange は「交換・両替（所）」で、do you have exchange for ~ とは言わない。

区別 **Do you have change for ~? ⇔ Can you break ~?** break も「（お札を）くずす」意味で、Can you break a ten? は Do you have change for a ten? とほぼ同じ。見分け方：break は他動詞なのでお札を直接目的語にし、change を使うときは名詞として for でつなぐ。

0747 □□□

Waiter: How's everything? Customer: _____

① Not much. What about you?
② Great, thanks. Could we have some more water?
③ Yes, everything, please.
④ I'd like the steak, please.

② How's everything? 調子はどう？；万事順調？

訳 店員：お料理はいかがですか。　客：とてもおいしいです、ありがとう。お水をもう少しいただけますか。

解説 食事中に店員が How's everything?（お料理はいかがですか）と聞いているので、「おいしいです」と答えて水を頼む返事が自然。Not much. は What's up? への返事。Yes, everything, please. は「全部ください」で質問に答えていない。I'd like the steak は注文で、注文前に聞かれる Are you ready to order? への返事。

区別 **How's everything? ⇔ What's up?** What's up? は「どうしたの・最近何かあった？」で、返事は Not much. / Nothing much. が定番。How's everything? は様子を聞くので Fine / Good で答える。見分け方：Not much で返すなら What's up?、Fine で返すなら How's everything?。

0748 □□□

A: She's moving to Canada tomorrow. Should I tell her how I feel? B: Yes! It's now or _____.

① later　② never
③ ever　④ not

② It's now or never.
今やらなければ二度とチャンスはない

訳 A：彼女は明日カナダに引っ越すんだ。気持ちを伝えた方がいいかな。　B：そうだよ！　今言わなければ二度とチャンスはないよ。

解説 「今言わないと二度とチャンスはない」と促す決まり文句は It's now or never.。now or later だと「今でも後でもいい」になり、背中を押す意味にならない。ever / not は or の後ろに置いても意味をなさない。

注意 決断を迫る表現。原田英語の口語表現リストに。

0749 □□□

A: I still think the movie was boring. B: Well, I loved it. I guess we'll have to agree _____.

① disagreeing　② on disagreeing
③ to disagree　④ with disagreement

③ Let's agree to disagree.
意見の違いは認め合おう；この話はここまでにしよう

訳 A：私はやっぱりあの映画は退屈だったと思う。　B：うーん、私は大好きだったけどね。意見の違いは認め合うしかなさそうだね。

解説 決まり文句は agree to disagree で、agree to do（～することに同意する）の形。agree は動名詞を目的語に取らないので disagreeing は不可。agree on は話題・内容（agree on the plan）に使い、on disagreeing とは言わない。with disagreement も agree と組まない。

注意 相手を説得するのをやめて議論を打ち切るときの決まり文句。会話文で「対立が続く場面の締め」の空所に入る。

0750 □□□

A: There are lots of fun things to do in this town. B: Really? ＿＿＿＿ A: Well, there's a great science museum and a big amusement park.

① What for?　② So what?
③ What is it like?　④ Like what?

④ Like what? 例えば？

訳 A：この町には楽しいことがたくさんあるよ。　B：本当？　例えば？　A：そうだね、すごい科学博物館と大きな遊園地があるよ。

解説 A は次に博物館や遊園地を具体例として挙げているので、例を求める Like what?。What for? は「何のために？」で目的を聞く。What is it like? は「それはどんな様子？」で単数の it が指すものもない。So what? は「だから何？」と突き放す返事。

区別 **Like what? ⇔ What is it like?** What is it like? は「それはどんな感じ？」と性質・様子を聞く。Like what? は「例えばどんな？」と具体例を求める。見分け方：次の発言が例の列挙なら Like what?、感想や様子の説明なら What is it like?。

0751 □□□

A: I'm sorry I had to turn down your proposal. No hard feelings? B: ＿＿＿＿

① Yes, please. That's very kind.
② Not at all. I understand.
③ Same to you. Have a nice day.
④ Good for you!

② No hard feelings. 恨みっこなし；気を悪くしないでね

訳 A：あなたの提案をお断りしなければならなくてごめんなさい。悪く思わないでね。　B：全然。分かっていますよ。

解説 No hard feelings?（悪く思わないでね）に対しては「全然。分かっているよ」と、わだかまりがないことを伝える返事が自然。Yes, please. は申し出を受けるときの返事。Same to you. は相手のあいさつを返す表現。Good for you! は相手の成功を喜ぶ言葉で、断られた側の返事に合わない。

区別 **No hard feelings. ⇔ No offense.** No offense. は相手が気を悪くしそうなことを言う前後に添える「悪気はないんだけど」で、返事は None taken.。No hard feelings. は勝負・断りの後で「恨まないで・恨んでいないよ」。見分け方：失礼な発言に添えるなら No offense、結果を受けた後の仲直りなら No hard feelings。

0752 □□□

A: Isn't it strange that Ken hasn't called anyone all week? B: Now that you ＿＿＿＿ it, he hasn't answered my emails either.

① mention　② are mentioned
③ mentioning　④ mention about

① Now that you mention it, ~. そう言われてみれば～

訳 A：ケンが 1 週間ずっと誰にも電話してこないなんて変じゃない？　B：そう言われてみれば、私のメールにも返事がないな。

解説 mention は他動詞なので Now that you mention it が正しい。mention about は前置詞が余分で、日本語の「～について言う」につられた誤り。are mentioned は受け身で、後ろの it とつながらない。mentioning は now that の後ろに必要な述語動詞にならない。

区別 **Now that you mention it, ~. ⇔ Come to think of it, ~.** Come to think of it は「考えてみると」で、自分で思い当たったときにも使える。Now that you mention it は相手の発言がきっかけになっている。見分け方：相手の言葉を受けて「そう言われると」なら Now that you mention it。

0753 ☐☐☐

A: The math test has been postponed until next week. B: ＿＿＿＿ I haven't studied for it at all yet.

① Good for you.
② Thank goodness.
③ Same to you.
④ What a pity.

② Thank goodness. ああ、よかった

訳 A：数学のテストが来週に延期になったよ。 B：ああ、よかった。まだ全然勉強していないんだ。

解説 まだ勉強していないので延期を聞いて「ああ、よかった」とほっとする場面で Thank goodness.。Good for you. は相手の成功を喜ぶ言葉で、延期は相手の手柄ではない。What a pity. は「残念だ」で喜ぶべき状況と逆。Same to you. は相手のあいさつを返す表現。

区別 **Thank goodness.** ⇔ **Thanks a lot.** Thanks a lot. は相手への「どうもありがとう」で、皮肉に「余計なことを」の意味にもなる。Thank goodness. は特定の相手ではなく状況への安心を表す。見分け方：相手に感謝するなら Thanks、自分がほっとしたなら Thank goodness。

0754 ☐☐☐

A: I'm so nervous about starting my new job next week. B: Don't worry. I'm sure things will ＿＿＿＿ out.

① turn
② work
③ find
④ come

② Things will work out. きっとうまくいくよ

訳 A：来週から新しい仕事が始まるので、とても緊張しているんだ。 B：心配しないで。きっとうまくいくよ。

解説 後ろに何も続けずに「うまくいく」と言えるのは work out。turn out は「結局～になる」で、fine などの補語がないと意味が完結しない。come out は「出てくる・公表される」、find out は「（事実を）知る」で他動詞なので目的語が要る。

区別 **Things will work out.** ⇔ **turn out ～** turn out は「結局～になる」で、後ろに補語や to do が要る（turn out fine / turn out to be true）。work out は単独で「うまくいく」。見分け方：後ろに何も続かずに「うまくいく」なら work out。

0755 ☐☐☐

A: We're going out for dinner tonight. Would you care ＿＿＿＿ us? B: I'd love to. Thank you.

① for join
② for joining
③ joining
④ to join

④ Would you care for ~? ～はいかがですか

訳 A：今夜みんなで夕食に出かけるんだ。一緒にいかが？ B：ぜひ。ありがとう。

解説 動詞を続けるときは Would you care to do? の形なので to join。for の後ろには名詞が来るので for join は不可、for joining も勧誘の決まった形にならない。care は動名詞を直接目的語に取らないので joining も誤り。

区別 **Would you care for ~?** ⇔ **care for ～** 肯定文・否定文の care for は「～の世話をする」「～を好む（主に否定文：I don't care for coffee.）」。Would you care for ~? は勧誘。見分け方：Would you で始まる疑問文なら勧誘、平叙文なら世話・好みを考える。

0756 □□□

A: I'm really sorry I broke your umbrella. B: Don't _____ it. It was an old one anyway.

① sweat　② care
③ mind　④ worry

① Don't sweat it.　気にするな；心配いらないよ

訳 A：あなたの傘を壊してしまって本当にごめんなさい。　B：気にしないで。どうせ古い傘だったから。

解説 謝る相手に「気にするな」と言うくだけた決まり文句は Don't sweat it.。worry は「心配する」の意味では about が必要で Don't worry about it. の形になる。care も Don't care it とは言わない。mind は Never mind. とは言うが、Don't mind it. は自然な英語ではない。

区別 **Don't sweat it.** ⇔ **No sweat.** No sweat. は「お安いご用・楽勝だよ」で、頼まれごとやお礼への返事。Don't sweat it. は謝罪や心配に対して「気にするな」。見分け方：Thank you への返事なら No sweat、Sorry への返事なら Don't sweat it。

0757 □□□

A: I'm moving to Osaka next week. B: Oh, I'll miss you. Drop me a _____ when you get settled.

① line　② point
③ sign　④ page

① Drop me a line.
連絡してね；手紙［メール］ちょうだい

訳 A：来週大阪に引っ越すんだ。　B：寂しくなるね。落ち着いたら連絡してね。

解説 「便りをちょうだい」は drop A a line。page / point / sign は drop me a ~ の形で連絡の意味にならない。line は「短い文面」で、an e-mail や a text と違い「ちょっと一筆」の決まった言い方。

区別 **Drop me a line.** ⇔ **drop by** drop by は「（ちょっと）立ち寄る」で、実際に訪ねてくること。drop me a line は便りを書くこと。見分け方：後ろに人＋a line の二つの目的語があるなら手紙、場所や副詞が続くなら訪問。

0758 □□□

Waiter: Here's your steak and salad. Enjoy your meal. Customer: _____

① You're welcome.　② Help yourself.
③ Thank you.　④ Me neither.

③ Enjoy your meal.
お食事をお楽しみください；ごゆっくりどうぞ

訳 店員：ステーキとサラダです。ごゆっくりどうぞ。　客：ありがとう。

解説 料理を出した店員の Enjoy your meal. には Thank you. と答える。You're welcome. はお礼を言われたときの返事。Help yourself. は相手に料理を勧める側の言葉で、客が店員に言うのは不自然。Me neither. は否定文への同意で、ここでは意味をなさない。

区別 **Enjoy your meal.** ⇔ **Help yourself.** Help yourself (to ~). は「（自分で取って）ご自由にどうぞ」と勧める言葉。Enjoy your meal. は出された料理を楽しんでというあいさつ。見分け方：大皿から自分で取るよう勧めるなら Help yourself。

0759 ☐☐☐

A: Do you know where Tom went after lunch? B: Sorry, I don't have the ＿＿＿＿ idea.

① slightest ② slightly
③ more slight ④ slight

① I don't have the slightest idea.
まったく見当もつかない

訳 A：トムが昼食の後どこに行ったか知ってる？ B：ごめん、まったく見当もつかないよ。

解説 the＋最上級で否定を強める the slightest idea（まったく見当もつかない）。slight は原級で the slight idea とは言わない。slightly は副詞で名詞 idea を修飾できない。more slight は比較級で、the の後ろで否定を強める形にならない。

注意 I don't have the faintest idea. も同じ。最上級を使った強調の否定。

0760 ☐☐☐

A: Could you get me a ticket for tonight's concert? B: It's almost sold out, but I'll see ＿＿＿＿ I can do.

① that ② how
③ what ④ which

③ I'll see what I can do. 何とかしてみます

訳 A：今夜のコンサートのチケットを取ってもらえないかな。B：ほとんど売り切れだけど、何とかしてみるよ。

解説 「自分にできること」は先行詞を含む関係代名詞 what を使って what I can do。that / which は先行詞が必要で、ここには先行詞がない。how I can do だと do に目的語がなく、「どうやってできるか」では意味も不完全になる。

注意 約束はできないが努力する、という返事。Leave it to me. ほど確実ではない。

0761 ☐☐☐

A: Should we wait a bit longer before we go out? B: No need. Look, the rain is ＿＿＿＿ up. Let's go now.

① picking ② letting
③ speeding ④ keeping

② It's letting up. （雨などが）小降りになってきた

訳 A：出かける前にもう少し待った方がいいかな。 B：その必要はないよ。ほら、雨が小降りになってきた。今出かけよう。

解説 「もう出かけよう」と言うので、雨が弱まってきた the rain is letting up。picking up は「強まる」で出かける理由にならない。keeping up は「（雨が）続く」でやはり出かける理由と逆。speeding up は「速度を上げる」で雨の強さには使わない。

区別 **It's letting up. ⇔ pick up** 天候について pick up は「（風・雨が）強まる」で、let up と反対。見分け方：let up は弱まる、pick up は勢いを増す。景気回復の pick up とも同じ「上向く」発想。

0762 ☐☐☐

A: Should we have Italian or Chinese for dinner tonight? B: I like both, so I don't mind. It's your ＿＿＿＿.

① phone ② call
③ line ④ ring

② It's your call. 君が決めることだ；あなた次第

訳 A：今夜の夕食はイタリア料理と中華、どっちにする？ B：どっちも好きだから構わないよ。君が決めて。

解説 「あなたが決めて」は It's your call. で、call は名詞「判断・決定」。phone / ring / line はどれも電話に関係する語だが、It's your ~ の形で「決めるのはあなた」の意味にはならない。電話の call と結び付けてしまう誤解を狙った選択肢。

区別 **It's your call. ⇔ It's your turn.** It's your turn. は「あなたの番だ」で、順番が回ってきたこと。It's your call. は決める権利があなたにあること。見分け方：ゲームや順番なら turn、判断を任せるなら call。

0763 ☐☐☐

I'm going to quit my job next month, but please keep it _____ yourself for now.

① for　② with
③ by　④ to

④ Keep it to yourself. 人には言わないで

訳 来月仕事を辞めるつもりなんだけど、今のところは誰にも言わないでね。

解説 「人に言わずにおく」は keep A to oneself。keep it for yourself は「自分用に取っておく」で、物をあげずに持っておく意味になる。by yourself は「一人で」、with yourself も秘密を守る意味の決まった形にはならない。

区別 **Keep it to yourself.** ⇔ **keep to oneself** keep to oneself は目的語を取らず「人と交わらない・一人でいる」。keep it to yourself は it（秘密）を自分の中にとどめる。見分け方：it などの目的語があれば秘密を守る、なければ人づきあいをしない。

0764 ☐☐☐

A: Do you think Mika will win the speech contest? B: _____ She's been practicing every day for months.

① I doubt it.　② No wonder.
③ No doubt.　④ Not really.

③ No doubt. 間違いない；きっとそうだ

訳 A：ミカはスピーチコンテストで優勝すると思う？　B：間違いないよ。何か月も毎日練習しているんだから。

解説 毎日練習しているという理由が続くので「間違いないよ」の No doubt.。I doubt it. は「どうかな（勝たないと思う）」で理由と合わない。No wonder. は「道理で」と既に起きたことに納得する表現で、これからの予想には使わない。Not really. も否定的な返事で理由と食い違う。

区別 **No doubt.** ⇔ **I doubt it.** I doubt it. は「それはどうかな（そうは思わない）」と否定的な推測。No doubt. は「間違いない」と肯定。見分け方：続く理由が肯定的なら No doubt、否定的なら I doubt it。

0765 ☐☐☐

A: I studied so hard, but I still failed the driving test. B: Oh well, _____. You can try again next month.

① that's it　② get a life
③ that's life　④ it's a deal

③ That's life. 人生ってそんなものさ；仕方ないね

訳 A：一生懸命勉強したのに、運転免許の試験にまた落ちちゃった。　B：まあ、人生そんなものさ。来月また受ければいいよ。

解説 不運を受け入れて「仕方ないよ、また受ければいい」と慰めるので that's life。that's it は「それで終わり・そのとおり」で慰めにならない。get a life は「もっと有意義に過ごせ」と相手を見下す表現。it's a deal は「それで決まり（取引成立）」。

区別 **That's life.** ⇔ **That's it.** That's it. は「それで全部だ・そのとおり・もうたくさんだ」で、不運を受け入れる意味はない。見分け方：不運に対して仕方ないと言うなら That's life。

0766 ☐☐☐

A: I just wanted to say that your speech was really inspiring. B: Thank you so much! You ———— my day.

① did ② had
③ took ④ made

④ You made my day. おかげで最高の一日になった

訳 A：あなたのスピーチは本当に心に響いたと、ひと言伝えたかったんです。 B：本当にありがとう！ おかげで最高の一日になりました。

解説 「おかげで最高の一日になった」は make one's day の過去形 You made my day.。did my day / had my day / took my day はこの意味の決まった形ではない。have one's day は「全盛期がある」（Every dog has its day.）で別の表現。

注意 That made my day. / You just made my day! の形も。原田英語の問題集でも出題。

0767 ☐☐☐

A: Do you have this sweater in a medium? B: You're ———— luck. We have just one left.

① out of ② in
③ by ④ with

② You're in luck. 運がいいですね

訳 A：このセーターの M サイズはありますか。 B：運がいいですね。ちょうど 1 着だけ残っています。

解説 最後の一着があるので「運がいいですね」の You're in luck.。out of luck は「あいにく」で、在庫があるという後半と矛盾する。with luck は「運がよければ」で文頭に置く副詞句、by luck は「運よく」で、You're ~ の形で使わない。

区別 **You're in luck. ⇔ You're out of luck.** out of luck は「運が悪い・あいにく」で、品切れや満席を伝えるときに使う。見分け方：望みのものがあるなら in luck、ないなら out of luck。

0768 ☐☐☐

A: Could you possibly give me a ride to the station? B: ————

① Yes, I could.
② I'm afraid I can't. My car is being repaired.
③ Possibly not, thank you.
④ No, you couldn't.

② Could you possibly ~? なんとか～していただけませんか

訳 A：何とか駅まで車で送っていただけませんか。 B：申し訳ないのですが、できません。車が修理中なんです。

解説 丁寧な依頼を断るときは I'm afraid I can't. と理由を添えるのが自然。Yes, I could. は could が丁寧さを表すだけなので、答えに過去形を使うのは不自然（Sure. / Of course. が普通）。No, you couldn't. は依頼した相手の能力を否定していて意味をなさない。Possibly not, thank you. は申し出を断る形で、依頼への返事にならない。

注意 疑問文の possibly は「なんとか」。否定文では I can't possibly ~（とても～できない）。

0769 □□□

A: I'm starving. I didn't eat lunch today. B: _____ Let's get something to eat.

① Ditto.　② So am not I.
③ Neither do I.　④ Me neither.

① Ditto. 同じく；同感

訳 A：お腹がぺこぺこだ。今日は昼ご飯を食べなかったんだ。 B：私も。何か食べに行こう。

解説 I'm starving.（肯定文）に「私も」と同意するので Ditto.。Me neither. / Neither do I. は否定文への同意で、肯定文には使わない（しかも be 動詞の文なら Neither am I.）。So am not I. は語順も形も誤り（肯定なら So am I.）。

区別 **Ditto. ⇔ Me neither.** Me neither. は否定文への「私も～ない」。Ditto. / Me too. は肯定文への「私も」。見分け方：相手の文が否定なら Me neither、肯定なら Ditto / Me too。

0770 □□□

A: My brother promised to pay me back tomorrow. B: Don't hold your _____. He never pays anyone back.

① breathe　② breathing
③ breaths　④ breath

④ Don't hold your breath. 期待しない方がいいよ

訳 A：兄が明日お金を返すと約束してくれたの。 B：期待しない方がいいよ。彼は誰にもお金を返したことがないんだから。

解説 hold one's breath（息を止める）の breath は名詞で単数形。breathe は動詞なので your の後ろに置けない。breathing は「呼吸すること」で、決まった形にならない。breaths は複数形で、この熟語では使わない。

区別 **Don't hold your breath. ⇔ Don't count on it.** Don't count on it. も「当てにしない方がいい」で意味はほぼ同じ。Don't hold your breath. は「息を止めて待つほど期待するな」という比喩で、皮肉が強い。見分け方：どちらも期待するなという返事として使える。

0771 □□□

A: The coach said my play was terrible today. B: Don't take it _____ heart. He says that to everyone.

① by　② to
③ in　④ at

② Don't take it to heart. 気にしないで；真に受けないで

訳 A：コーチに今日の僕のプレーはひどかったと言われた。 B：気にしないで。彼はみんなにそう言うんだから。

解説 「真に受ける・気に病む」は take A to heart。by heart は learn ~ by heart（暗記する）、at heart は「根は（He is kind at heart.）」で、どちらも take it と組んで「気にする」の意味にならない。in heart という決まった形もない。

区別 **Don't take it to heart. ⇔ learn ~ by heart** learn ~ by heart は「～を暗記する」。take ~ to heart は「～を真剣に受け止める・気に病む」。見分け方：前置詞が by なら暗記、to なら心に受け止める。

0772 □□□

A: You must be rich now that you've started your new job. B: ＿＿＿＿ I can barely pay my rent.

① Far from it.　② So far.
③ As far as I know.　④ By far.

① Far from it. とんでもない；まったく違う

訳 A：新しい仕事を始めたんだから、もうお金持ちでしょう。B：とんでもない。家賃を払うのがやっとだよ。

解説 家賃もやっと払えるので、相手の推測を強く否定する Far from it.（とんでもない）。By far. は最上級を強める「断然」で、単独の返事にならない。So far. は「今のところは」で、否定にならない。As far as I know. は「私の知る限り」で、自分のことを答えるのに不自然。

区別 **Far from it.** ⇔ **So far.** So far. は「今のところは」で、否定の返事ではない（So far, so good.）。Far from it. は「全然違う」。見分け方：相手の考えを否定するなら Far from it。

0773 □□□

A: Would you like another piece of cake? B: No, thank you. I'm ＿＿＿＿.

① starving　② stuffed
③ filling　④ stuffing

② I'm stuffed. お腹がいっぱいだ

訳 A：ケーキをもう一切れいかが？　B：いいえ、結構です。お腹がいっぱいなんです。

解説 勧めを断る理由なので「お腹がいっぱい」の I'm stuffed.（形容詞として使う過去分詞）。starving は「腹ぺこ」で断る理由と矛盾する。stuffing は「詰め物」、filling は「（お腹にたまる）中身・詰め物」で、I'm の後ろに置くと自分が詰め物だという意味になる。

区別 **I'm stuffed.** ⇔ **I'm starving.** I'm starving. は「お腹がぺこぺこだ」で正反対。見分け方：勧めを断る理由なら stuffed、食べたい理由なら starving。

0774 □□□

A: I failed my driving test again. B: Join the ＿＿＿＿. I've failed it three times.

① team　② group
③ class　④ club

④ Join the club. 私も同じだよ（仲間だね）

訳 A：また運転免許の試験に落ちちゃった。　B：私も同じだよ。私は 3 回落ちているもの。

解説 「私も同じだよ」と共感するくだけた決まり文句は Join the club.。team / group / class も人の集まりだが、この決まった表現では使わない。

区別 **Join the club.** ⇔ **I'm in the same boat.** I'm in the same boat. も「私も同じ（困った）状況だ」で意味は近い。Join the club. は「その仲間に入りなよ」とユーモアを込めて言う。見分け方：どちらも共感の返事。形を正確に覚える。

0775 ☐☐☐

A: No offense, but your singing isn't very good. B: _____ I know I'm not a great singer.

① You're welcome. ② None taken.
③ Same to you. ④ Me neither.

② No offense. 悪気はないんだけど

訳 A：悪気はないんだけど、あなたの歌はあまり上手じゃないね。 B：気にしてないよ。歌がうまくないのは分かっているから。

解説 No offense に対する決まった返事は None taken.（気にしていない）。You're welcome. はお礼への返事。Me neither. は否定文への同意で、「私も上手じゃない」の意味になり後半とつながらない。Same to you. は相手のあいさつを返す表現で、相手の歌も下手だと言い返すことになる。

区別 **No offense. ⇔ No hard feelings.** No hard feelings. は勝負や断りの後で「恨みっこなし・悪く思わないで」。No offense. は失礼な発言に添える「悪気はない」。見分け方：発言の前置きなら No offense、結果を受けた後なら No hard feelings。

0776 ☐☐☐

A: Thanks so much for helping me move. B: No _____. That's what friends are for.

① matter ② worry
③ sweat ④ doubt

③ No sweat. お安いご用；楽勝だよ

訳 A：引っ越しを手伝ってくれて本当にありがとう。 B：お安いご用だよ。友達だからね。

解説 お礼への「お安いご用」は No sweat.。No matter. は単独では使わず、no matter what ~（何が～しても）の形で使う。「心配いらない」の返事は No worries. と複数形で、No worry. とは言わない。No doubt. は「間違いない」で、お礼への返事にならない。

区別 **No sweat. ⇔ Don't sweat it.** Don't sweat it. は謝罪や心配に対する「気にするな」。No sweat. はお礼や依頼に対する「お安いご用」。見分け方：Thank you / Can you ~? への返事なら No sweat、Sorry への返事なら Don't sweat it。

0777 ☐☐☐

A: May I speak to Ms. Tanaka, please? B: I'm sorry, she's on another _____. Would you like to hold?

① way ② wire
③ line ④ road

③ She's on another line. 彼女は別の電話に出ています

訳 A：田中さんをお願いできますか。 B：申し訳ありません、田中は別の電話に出ております。お待ちになりますか。

解説 電話の取り次ぎで「別の電話に出ている」は on another line。way / road は道の意味で、on another way は「別の方法で」の方向になる。wire は「針金・電線」だが、電話中を表す決まった形では使わない。

区別 **She's on another line. ⇔ Hold the line.** Hold the line. は「切らずにお待ちください」で、待たせる側の言葉。She's on another line. は相手が別の電話に出ていると伝える。見分け方：状況の説明なら on another line、待つよう頼むなら hold the line。

0778 ☐☐☐

A: Is this restaurant really that good?
B: Take my word _____ it. You'll love it.

① for　② with
③ about　④ on

① Take my word for it.　本当だから信じて

訳 A：このレストランは本当にそんなにおいしいの？　B：本当だから信じて。きっと気に入るよ。

解説 「本当だから信じて」は Take my word for it.。on / with / about は take one's word と組まない。take A at A's word（言葉どおりに受け取る）など別の形と混同させる選択肢。

区別 **Take my word for it.** ⇔ **Mark my words.** Mark my words. は「私の言うことをよく覚えておけ（そのうち分かる）」と予言・警告する。Take my word for it. は「本当だから信じて」。見分け方：未来の予言なら Mark my words、今の話の保証なら Take my word。

0779 ☐☐☐

Excuse me, you look _____. Have we met somewhere before?

① similar　② familiar
③ familiarly　④ known

② You look familiar.
どこかでお会いしたような気がします

訳 すみません、どこかでお会いしたような気がします。以前どこかでお会いしましたか。

解説 「見覚えがある」は look familiar。similar は「似ている」で、何に似ているかの to ~ が必要。known は look known とは言わない（well-known なら「有名な」）。familiarly は副詞で、look の後ろの補語にならない。

区別 **You look familiar.** ⇔ **be familiar with ~** be familiar with ~ は人が主語で「～をよく知っている」。be familiar to A は物・人が主語で「A に見覚えがある・知られている」。You look familiar. は後者（to me が省略）。見分け方：主語が知っている側なら with、知られている側なら to。

0780 ☐☐☐

A: We can't give you a raise this year, but we can give you an extra week of vacation. B: OK, I can live _____ that.

① on　② by
③ for　④ with

④ I can live with that.
それで構わない；それなら我慢できる

訳 A：今年は昇給はできませんが、休暇を 1 週間増やすことはできます。　B：分かりました、それで構いません。

解説 妥協案を「受け入れる」は live with。live on は「～で生計を立てる・～を食べて生きる」、live by は「（信条）に従って生きる」、live for は「～を生きがいにする」で、提案を受け入れる返事にならない。

区別 **I can live with that.** ⇔ **live on ~** live on ~ は「～を食べて・～で生活する」（live on rice / live on a small income）。live with ~ は「～と暮らす・～を受け入れる」。見分け方：生活の手段なら on、受け入れるなら with。

0781 □□□

A: Guess what? Ken and Yumi are dating. B: I _____ it! I saw them together at the movies last week.

① know ② knew
③ was knowing ④ have known

② I knew it! やっぱり！；思ったとおりだ

訳 A：ねえ聞いて。ケンとユミが付き合っているんだって。 B：やっぱり！ 先週映画館で二人が一緒にいるのを見たんだ。

解説 予想が当たったときの決まり文句は I knew it!（前から分かっていた）。I know it は「それを知っている」の現在の事実で、「やっぱり」の意味にならない。have known は継続を表すが決まり文句の形ではない。know は状態動詞なので進行形 was knowing にしない。

注意 予想が当たったときの返事。

0782 □□□

A: Where are you going? B: Just to the convenience store. I won't be _____.

① longer ② long
③ lengthy ④ length

② I won't be long. すぐに戻ります；長くはかかりません

訳 A：どこに行くの？ B：コンビニまでちょっとね。すぐに戻るよ。

解説 「すぐ戻る」は I won't be long.。longer は比較級で、比べる対象がない。length は名詞「長さ」で be length とは言わない。lengthy は「（話・文書が）長ったらしい」で、人が出かける時間には使わない。

注意 ＝ I'll be right back. It won't be long before ~（まもなく～）の構文とも関連。

0783 □□□

If you don't mind my _____, how old are you?

① ask ② asking
③ asked ④ to ask

② If you don't mind my asking, ~?
差し支えなければお聞きしますが～

訳 差し支えなければお聞きしますが、おいくつですか。

解説 mind は動名詞を目的語に取るので my asking。ask は動詞の原形で所有格 my の後ろに置けない。mind は不定詞を目的語に取らないので to ask も不可。asked は過去形・過去分詞で、my の後ろで名詞の働きをしない。

区別 **If you don't mind my asking, ~? ⇔ Do you mind if I ask ~?** Do you mind if I ask ~? も同じ前置きだが、if 節（if I ask）を使う。If you don't mind my asking は mind の後ろに動名詞。見分け方：mind の直後に if があれば節、所有格＋~ing なら動名詞。

0784 □□□

Let me know how the job interview goes. Keep me _____.

① posted ② post
③ to post ④ posting

① Keep me posted. 随時知らせてね

訳 就職の面接がどうだったか知らせてね。随時連絡してよ。

解説 keep O C の C に、「（私が）知らされた状態」を表す過去分詞 posted を置く。posting だと私が投稿し続ける意味になる。post（原形）や to post は keep O の後ろに置けない。

注意 ＝ Let me know. / Keep me updated. keep A informed と同じ。

0785 ☐☐☐

A: How's your new business going? B: Very well so far, ———— .

① break a leg　② knock on wood
③ hit the road　④ break the ice

② Knock on wood.　（この幸運が続きますように）

訳 A：新しい事業の調子はどう？　B：今のところとても順調だよ、この調子が続きますように。

解説 順調だと言った後に、幸運が続くよう願って添えるのは knock on wood。break a leg は本番前の人に言う「頑張って」。break the ice は「緊張をほぐす」、hit the road は「出発する」で、どちらも幸運を願う言葉にならない。

区別 **Knock on wood.** ⇔ **Break a leg.** Break a leg. は舞台や発表の前の人に言う「頑張って（幸運を）」。Knock on wood. は自分の幸運が続くよう願う。見分け方：これから本番の人を励ますなら break a leg、うまくいっていることに添えるなら knock on wood。

0786 ☐☐☐

A: Can I borrow your new car this weekend? B: ———— You crashed my last one!

① By chance.　② Take a chance.
③ Not a chance.　④ Chances are.

③ Not a chance.　絶対ない；ありえない

訳 A：今週末、新しい車を貸してくれない？　B：絶対だめ！　前の車をぶつけたでしょう！

解説 前の車をぶつけた相手に強く断るので Not a chance.（絶対だめ）。By chance は「偶然に」、Take a chance は「一か八かやってみろ」で、断る返事にならない。Chances are は後ろに S V が続く形で、単独では返事にならない。

区別 **Not a chance.** ⇔ **Chances are ~** Chances are (that) S V は「たぶん～だろう」で、可能性が高いことを表す。Not a chance. は「可能性ゼロ」。見分け方：肯定の見込みなら Chances are、強い否定なら Not a chance。

0787 ☐☐☐

A: Well, I'd better get going. It was nice talking to you. B: You too. See you ———— .

① over　② around
③ across　④ along

② See you around.　またね

訳 A：さて、そろそろ行かないと。話せて楽しかったよ。　B：こちらこそ。またね。

解説 約束のない「またね」は See you around.。over / along / across は see you の後ろに置いて別れのあいさつにならない。come along（一緒に来る）、come over（遊びに来る）など別の句動詞と混同させる選択肢。

区別 **See you around.** ⇔ **See you then.** See you then. は「じゃあそのときに」で、会う日時が決まっているときに使う。See you around. は予定のない「またどこかで」。見分け方：具体的な約束があれば then。

0788 ☐☐☐

A: How old do you think my grandmother is? B: I have no idea. A: Come on, take a ＿＿＿＿. B: Seventy?

① look　② guess
③ break　④ chance

② Take a guess. 当ててみて

訳 A：私のおばあちゃんは何歳だと思う？　B：見当もつかないな。　A：ほら、当ててみて。　B：70 歳？

解説 年齢を当てさせる場面なので take a guess。take a look は「見る」で、推測を促す意味にならない。take a chance は「一か八かやる」、take a break は「休憩する」で、どれも年齢を当てる流れに合わない。

区別 **Take a guess.** ⇔ **Guess what!** Guess what! は「ねえ聞いて！」と話を始める合図で、相手は What? と返す。Take a guess. は本当に推測して答えるよう促す。見分け方：相手に答えを言わせたいなら Take a guess。

0789 ☐☐☐

I was out of work for months, but since I found a new job, things have been looking ＿＿＿＿.

① forward　② after
③ over　④ up

④ Things are looking up. 状況が良くなってきた

訳 何か月も失業していたが、新しい仕事が見つかってから状況が良くなってきた。

解説 「状況が良くなる」は自動詞の look up。look forward は to が必要で「楽しみに待つ」、look after は「世話をする」、look over は「ざっと目を通す」で、どれも目的語が要る上、好転の意味にならない。

区別 **Things are looking up.** ⇔ **look up to** ~　look up to ~ は「～を尊敬する」。自動詞の look up は「状況が良くなる」。見分け方：to＋人が続けば尊敬、主語が things / business なら好転。

0790 ☐☐☐

A: I'm back from my trip to London! B: Welcome ＿＿＿＿! How was it?

① back　② return
③ here　④ again

① Welcome back. おかえりなさい

訳 A：ロンドン旅行から戻ったよ！　B：おかえり！　どうだった？

解説 戻った人を迎える言葉は Welcome back!。Welcome again は決まったあいさつではない。return は動詞・名詞で、welcome の後ろに置いても「おかえり」にならない。Welcome here は「ここへようこそ」で、戻ってきたことを表さない。

注意 家に帰った人には Welcome home. も。日本語の「ただいま」に当たる決まった英語はなく、I'm home. / I'm back. を使う。

0791 ☐☐☐

A: Why the long ＿＿＿＿? B: I just found out that I failed my math exam.

① head　② nose
③ eye　④ face

④ Why the long face? なんで浮かない顔をしているの？

訳 A：なんで浮かない顔をしているの？　B：数学の試験に落ちたって分かったところなんだ。

解説 「浮かない顔」は a long face で、Why the long face? は理由を尋ねる決まり文句。head / nose / eye は long と組んで悲しい表情の意味にならない。

注意 ＝ What's wrong? / Why are you so sad? 「長い顔」と直訳しない。

0792 □□□

A: I ate three bowls of ramen, and now I have a terrible stomachache. B: Well, you asked ＿＿＿＿ it.

① for　② to
③ at　④ about

① You asked for it.　自業自得だよ

訳 A：ラーメンを 3 杯食べたら、ひどくお腹が痛くなった。　B：まあ、自業自得だね。

解説 「自業自得だ」は You asked for it.。ask about it は「それについて尋ねる」で、自分で招いたという意味にならない。ask to / ask at は it を目的語として続けられない。

区別 **You asked for it. ⇔ You asked me.** You asked me. は文字どおり「あなたが私に聞いた（頼んだ）」。You asked for it. は it（その結果）を自分から求めた＝自業自得。見分け方：for it があれば自業自得。

0793 □□□

A: You look really tired. B: Yeah, I could ＿＿＿＿ a cup of strong coffee right now.

① used　② use
③ using　④ have used

② could use ~　～があるとありがたい；～が欲しい

訳 A：本当に疲れているみたいだね。　B：うん、今すぐ濃いコーヒーが 1 杯欲しいよ。

解説 could use ~ で「～があるとありがたい」。助動詞 could の後ろは原形なので use。right now（今すぐ）があるので現在の気持ちを表す could use が合う。could have used は「あのとき～があればよかった」と過去の話になる。used / using は助動詞の後ろに置けない。

区別 **could use ~ ⇔ could have used ~** could use は「今～があるとありがたい」と現在の気持ち。could have used は「（あのとき）～があればよかった」と過去を振り返る。見分け方：right now など今の場面なら could use、yesterday など過去なら could have used。

0794 □□□

A: Wow, this all looks delicious! B: Thanks. Don't wait for me — dig ＿＿＿＿!

① out　② up
③ down　④ in

④ Dig in.　さあ食べて；召し上がれ

訳 A：わあ、どれもおいしそう！　B：ありがとう。私を待たずに、さあ食べて！

解説 「さあ食べて」は Dig in!。dig out は「掘り出す」、dig up は「掘り起こす・（情報を）探り出す」で、食事を勧める意味にならない。dig down も食卓の決まり文句ではない。

区別 **Dig in. ⇔ Help yourself.** Help yourself (to ~). は「（自分で取って）ご自由にどうぞ」で、食べ物以外にも使える。Dig in. は「さあ食べよう・食べて」と食べ始めるよう促す。見分け方：大皿から取るよう勧めるなら Help yourself、食べ始めの合図なら Dig in。

0795 □□□

A: I'm sorry to bother you with my problems all the time. B: ＿＿＿＿ That's what friends are for.

① Don't be silly.　② Same here.
③ Don't be shy.　④ You're welcome.

① Don't be silly.　ばかなこと言わないで

訳 A：いつも私の悩みで迷惑をかけてごめんね。　B：ばかなこと言わないで。友達なんだから当然だよ。

解説 謝る相手に「そんなこと言わないで」と遠慮を打ち消すので Don't be silly.。You're welcome. はお礼への返事で、謝罪への返事にならない。Same here. は「私も」で、自分も迷惑をかけているという意味になってしまう。Don't be shy. は「恥ずかしがらないで」で、謝罪とかみ合わない。

注意 相手の遠慮を打ち消す優しい返事としても使う。慶應（法）2025 の会話文でも出題。

0796 ☐☐☐

I know you had a bad day at work, but don't take it out ＿＿＿ me.

① at　② to
③ with　④ on

④ Don't take it out on me.　私に八つ当たりしないで

訳 仕事で嫌なことがあったのは分かるけど、私に八つ当たりしないで。

解説 「A に八つ当たりする」は take it out on A。at / to / with は take it out と組んで八つ当たりの相手を示せない。be angry at / with（〜に怒る）の前置詞と混同させる選択肢。

注意 take it out on A の語順と on を問う問題が出る。

0797 ☐☐☐

A: Let's book the hotel right now before the price goes up! B: ＿＿＿ We haven't even decided which city to visit yet.

① Go for it.　② Be my guest.
③ Suit yourself.　④ Hold your horses.

④ Hold your horses.　ちょっと待って；落ち着いて

訳 A：値段が上がる前に、今すぐホテルを予約しようよ！　B：まあ落ち着いて。まだどの町に行くかも決めていないじゃない。

解説 B は「行き先も決まっていない」と先走る A を止めているので Hold your horses.（まあ待って）。Go for it. は「やってみなよ」と背中を押す返事で後半と矛盾する。Be my guest. は「どうぞご自由に」と許可する返事。Suit yourself. は「勝手にしたら」と突き放す言い方で、後ろで反対理由を述べる流れに合わない。

区別 **Hold your horses. ⇔ Hold on.** Hold on. は「ちょっと待って」と単に待つよう頼む表現で、電話の「切らずにお待ちください」にも使う。Hold your horses. は焦っている相手に「早まるな」とブレーキをかける意味が強い。見分け方：相手が先走っているなら Hold your horses.

0798 ☐☐☐

A: There's plenty of cake left. Would you like another piece? B: ＿＿＿ It's delicious.

① Not at all.
② Go ahead.
③ Don't mention it.
④ I don't mind if I do.

④ I don't mind if I do.　それでは遠慮なくいただきます

訳 A：ケーキがたくさん残っているよ。もう一切れどう？　B：では遠慮なくいただきます。とてもおいしいですね。

解説 もう一切れ勧められ「おいしいから」と受けているので I don't mind if I do.（遠慮なくいただきます）。Not at all. は Would you mind ~? に「いいですよ」と答える、または否定する返事で、Would you like ~? への返事にすると「全然欲しくない」に近くなる。Go ahead. は相手に「どうぞ」と許可する言葉。Don't mention it. はお礼への返事。

区別 **I don't mind if I do. ⇔ I don't mind.** I don't mind. は相手の提案・依頼に「私は構わないよ」と許可や同意をする返事。I don't mind if I do. は自分が勧められた物を「いただきます」と受ける返事。見分け方：Would you like ~? と勧められたら if I do 付き。

0799 ☐☐☐

A: Just give me 100 dollars now, and I'll pay you back 1,000 next week. I promise. B: ———— Nobody makes that kind of money in a week.

① I'll take your word for it.
② You can say that again.
③ I wasn't born yesterday.
④ That's very kind of you.

③ I wasn't born yesterday.
そんなにうぶじゃないよ；だまされないよ

訳 A：今 100 ドルくれたら、来週 1000 ドル返すよ。約束する。 B：そんな手にはだまされないよ。1 週間でそんなに稼げる人なんていない。

解説 B は「1 週間でそんなに稼げるわけがない」とうまい話を疑っているので I wasn't born yesterday.（だまされないよ）。I'll take your word for it. は「あなたの言葉を信じる」で後半と正反対。You can say that again. は相手の発言に強く同意する表現。That's very kind of you. は親切への感謝で、怪しい話への返事にならない。

注意 うまい話を疑う返事。原田英語の BEST77 に。

0800 ☐☐☐

A: Thank you so much for helping me move all those boxes yesterday. B: ———— I was free anyway.

① Never mind.　② It was nothing.
③ Same to you.　④ It's up to you.

② It was nothing. 大したことないよ；どういたしまして

訳 A：昨日はあの箱を全部運ぶのを手伝ってくれて本当にありがとう。 B：大したことないよ。どうせ暇だったし。

解説 手伝いへのお礼に「大したことじゃない、どうせ暇だった」と謙遜しているので It was nothing.。Never mind. は相手が謝ったときや言い直すときの「気にしないで・もういいよ」で、お礼への返事ではない。Same to you. は Have a nice day. などに「あなたもね」と返す言葉。It's up to you. は「あなた次第」で文脈に合わない。

区別 **It was nothing. ⇔ It's nothing.** It's nothing. は What's wrong?（どうしたの？）と心配されたとき「何でもない」と答えることが多い。It was nothing. は手助けへのお礼に「お安い御用だった」と返す。見分け方：お礼への返事なら過去形 was。

0801 ☐☐☐

A: I bought this leather jacket for only thirty dollars at a flea market. B: Thirty dollars? ———— It must have cost hundreds when it was new.

① It's a rip-off.
② It's on me.
③ It's a long story.
④ It's a steal.

④ It's a steal. ただみたいに安い

訳 A：フリーマーケットでこの革のジャケットをたった 30 ドルで買ったんだ。 B：30 ドル？ ただみたいに安いね。新品のときは何百ドルもしたはずだよ。

解説 新品なら数百ドルのジャケットが 30 ドルなので It's a steal.（破格だ）。It's a rip-off. は「ぼったくりだ」で正反対。It's on me. は「私のおごりだ」で、すでに A が買った物に言うのは不自然。It's a long story. は「話せば長くなる」で、値段への感想にならない。

区別 **It's a steal. ⇔ It's a rip-off.** rip-off は「法外に高い・ぼったくり」。a steal は「盗んだも同然に安い掘り出し物」。見分け方：安くて得なら steal、高すぎて損なら rip-off。どちらも名詞として a を付ける。

0802 ☐☐☐

A: I failed my driving test again. B: ＿＿＿＿ You can take it again next month.

① It's not the end of the world.
② It serves you right.
③ That's the last straw.
④ It's not my day.

① It's not the end of the world.
この世の終わりじゃないよ；大したことないよ

訳 A：また運転免許の試験に落ちちゃった。　B：この世の終わりじゃないよ。来月また受けられるじゃない。

解説 落ち込む A に「来月また受けられる」と励ましているので It's not the end of the world.。It serves you right. は「自業自得だ」と突き放す言葉で、後半の励ましと合わない。That's the last straw. は「もう我慢の限界だ」。It's not my day. は「今日はついていない」と自分の不運を言う言葉で、相手への慰めにならない。

注意 慰めの表現。It's no big deal. と近い。

0803 ☐☐☐

A: Hey, that's my coffee, not yours! B: Oh, ＿＿＿＿ I'll get you a new one.

① my pleasure.　② be my guest.
③ my treat.　④ my bad.

④ My bad. ごめん；私のミスだ（軽い謝罪）

訳 A：ちょっと、それは私のコーヒーだよ、あなたのじゃない！　B：あ、ごめん。新しいのを買ってくるよ。

解説 他人のコーヒーを取り違えたミスを認めて謝っているので My bad.。My pleasure. はお礼への返事で、謝る場面に合わない。Be my guest. は「どうぞご自由に」と許可する言葉。My treat. は「私のおごり」で、取り違えを謝らずにいきなり言うと不自然。

区別 **My bad. ⇔ My pleasure.** My pleasure. はお礼への「どういたしまして（喜んで）」。My bad. は謝罪の「ごめん、自分のせい」。見分け方：直前がお礼なら pleasure、自分のミスなら bad。My ~. の形がそろうので会話問題で入れ替えのひっかけになる。

0804 ☐☐☐

A: You've been late three times this week. Please set an earlier alarm. B: ＿＿＿＿ It won't happen again.

① Point taken.
② Take your time.
③ That's beside the point.
④ I'll take a rain check.

① Point taken. 言いたいことは分かった；ごもっとも

訳 A：今週 3 回も遅刻しているよ。目覚ましをもっと早くセットしてね。　B：おっしゃるとおりです。二度とこんなことはしません。

解説 遅刻の注意を受け入れ「もう二度としない」と答えているので Point taken.。Take your time. は「ごゆっくり」と相手を急がせない言葉。That's beside the point. は「論点がずれている」と注意を退ける返事で、後半の反省と合わない。I'll take a rain check. は誘いを「また今度」と断る表現。

区別 **Point taken. ⇔ That's beside the point.** That's beside the point. は「それは論点がずれている・関係ない」と相手の指摘を退ける返事。Point taken. は指摘を受け入れる返事。見分け方：同じ point を使っても、受け入れるなら taken、はねつけるなら beside。

0805 □□□

A: Could you pick me up at the station at seven? B: ———— I'll be there.

① No way.　② Not again.
③ Sure thing.　④ So what?

③ Sure thing. いいとも；もちろん

訳 A：7 時に駅まで迎えに来てくれる？　B：いいとも。行くよ。

解説 迎えの依頼に「行くよ」と引き受けているので Sure thing.。No way. は「絶対に嫌だ・まさか」で、後半の I'll be there と矛盾する。Not again. は「またか」とうんざりする言葉。So what? は「だから何？」と突き放す言葉で、依頼への返事にならない。

注意 依頼への気軽な承諾。お礼への返事（Thanks. — Sure thing.）にも使える。＝ Of course. / No problem.

0806 □□□

A: Did you know the meeting has been moved to Friday? B: Really? ———— Nobody told me.

① That's old news.
② That's news to me.
③ You can say that again.
④ I told you so.

② That's news to me. それは初耳だ

訳 A：会議が金曜日に変更になったって知ってた？　B：本当？ それは初耳だ。誰も教えてくれなかったよ。

解説 「本当？誰も教えてくれなかった」と驚いているので That's news to me.（初耳だ）。That's old news. は「もう知っている」で正反対。You can say that again. は相手の意見に強く同意する言葉。I told you so. は「だから言ったでしょ」で、自分が知らなかった場面には合わない。

区別 **That's news to me. ⇔ That's old news.** That's old news. は「もう知ってるよ・今さらの話だ」。That's news to me. は「初めて聞いた」。見分け方：知らなかったなら news to me、とっくに知っていたなら old news。

0807 □□□

A: Do you think I can really become a professional designer? B: Of course! You're talented and hardworking. ————

① The sky is the limit.
② That's the limit.
③ Know your limits.
④ The sky is falling.

① The sky is the limit. 可能性は無限大だ；限界はない

訳 A：私、本当にプロのデザイナーになれると思う？　B：もちろん！　才能があって努力家なんだから。可能性は無限大だよ。

解説 才能も努力もあるから「可能性は無限だ」と励ましているので The sky is the limit.。That's the limit. は「もう我慢の限界だ」。Know your limits. は「身のほどを知れ」で励ましと逆。The sky is falling. は「大変だ（空が落ちてくる）」と根拠なく騒ぐ言葉で、文脈に合わない。

注意 励ましの決まり文句。会話文・英作文でも使える。

0808 □□□

A: I made so many mistakes at work today. I feel terrible. B: Go home and get some rest. ————

① Today is the day.
② Those were the days.
③ Tomorrow is another day.
④ Not today.

③ Tomorrow is another day. 明日は明日の風が吹く

訳 A：今日は仕事でたくさんミスをしちゃった。最悪の気分だ。B：家に帰って休みなよ。明日は明日の風が吹くさ。

解説 失敗続きで落ち込む A に「休んで、明日はまた新しい日だ」と慰めているので Tomorrow is another day.。Today is the day. は「いよいよ今日だ」と決戦の日を言う言葉。Those were the days. は「あの頃はよかった」と昔を懐かしむ言葉。Not today. は「今日は無理」と断る言葉で、慰めにならない。

注意 落ち込んだ人への慰め。原田英語の問題集で出題。

0809 □□□

A: I don't think you should apply for that job. B: ＿＿＿＿ I think I have all the skills they want.

① Why don't you?
② Why would you say that?
③ What do you say?
④ Say no more.

② Why would you say that?
どうしてそんなこと言うの？

訳 A：あの仕事には応募しない方がいいと思う。 B：どうしてそんなこと言うの？ 求められている能力は全部持っていると思うけど。

解説 応募をやめるよう言われ、「必要な能力はあるのに」と理由を問いただしているので Why would you say that?。Why don't you? は「あなたがすれば？」と提案する言葉。What do you say? は「どう思う？・どう？」と相手の意見や同意を求める言葉。Say no more. は「もう言わなくていい、分かった」で、反論の流れと合わない。

区別 **Why would you say that? ⇔ Why don't you ~?** Why don't you ~? は「～したらどう？」という提案で、理由を聞いていない。Why would you say that? は相手の発言の理由を問いただす。見分け方：相手に行動を勧めるなら Why don't you、発言に驚くなら Why would you say that?

0810 □□□

A: I want a job that I enjoy, not just one that pays well. You know what I ＿＿＿＿? B: Totally. Money isn't everything.

① tell ② speak
③ mean ④ talk

③ You know what I mean? 言っていること分かる？

訳 A：給料が良いだけじゃなくて、楽しめる仕事がしたいんだ。言っていること分かる？ B：まったくだよ。お金がすべてじゃないよね。

解説 自分の考えを言った後に「言いたいこと分かる？」と確認しているので You know what I mean?。tell は人を目的語に取るのが普通で what I tell では「私が言うこと」の意味にならず不自然。speak / talk は自動詞的に使い、what を目的語にして「言いたいこと」を表せない。

区別 **You know what I mean? ⇔ You know what?** You know what? は「ねえ、聞いて」と話を切り出す合図で、答えを求めていない。You know what I mean? は話した内容を相手が理解したか確認する。見分け方：話の最初なら You know what?、言い終わった後なら what I mean?

0811 □□□

A: I'm sure I won't win the speech contest. Everyone else is so good. B: ＿＿＿＿ Just do your best.

① You know what?
② You asked for it.
③ You'll never learn.
④ You never know.

④ You never know. 先のことは分からないよ

訳 A：スピーチコンテストではきっと勝てないよ。ほかの人はみんなすごく上手なんだ。 B：先のことは分からないよ。とにかく全力を尽くしなよ。

解説 弱気な A に「どうなるか分からないよ、全力を尽くして」と励ましているので You never know.。You know what? は「ねえ、聞いて」と話を切り出す言葉で、後に話題が続くはず。You asked for it. は「自業自得だ」。You'll never learn. は「懲りないね」とあきれる言葉で、励ましにならない。

区別 **You never know. ⇔ You know what?** You know what? は「ねえ、聞いて」と話を切り出す合図。You never know. は「どうなるか分からない（だから望みはある・備えておけ）」。見分け方：話題を始めるなら You know what?、可能性を残すなら You never know.

0812 □□□

A: Good evening. How many are in your party? B: ＿＿＿＿

① A table for two, please.
② Two tables, please.
③ I'll have two.
④ Two of them, please.

① A table for two, please. 2名でお願いします

訳 A：こんばんは。何名様でいらっしゃいますか。　B：2名でお願いします。

解説 何名様かと聞かれ「2名です」と答えるので A table for two, please.。Two tables, please. は「テーブルを二つ」で、人数ではなくテーブルの数になる。I'll have two. は料理や品物を「二つください」と注文する言い方。Two of them, please. も品物の数を言う表現で、人数を伝えられない。

注意 How many (people) in your party? への返事。party は「一行」の意味。

0813 □□□

A: Achoo! B: ＿＿＿＿ A: Thank you. I think I'm catching a cold.

① Excuse you.　② Get well soon.
③ Help yourself.　④ Bless you.

④ Bless you. お大事に（くしゃみをした人に）

訳 A：はくしょん！　B：お大事に。　A：ありがとう。風邪をひきかけているみたい。

解説 くしゃみの直後にかける言葉は Bless you.。Excuse you. は相手の無作法を皮肉ってとがめる言葉で、Thank you. と返す流れにならない。Get well soon. は病気と分かっている人に言う言葉で、風邪かもと言う前のくしゃみには早すぎる。Help yourself. は「ご自由にどうぞ」。

区別 **Bless you.** ⇔ **Get well soon.** Get well soon. は病気・けがの人に「早く良くなってね」と言う。Bless you. はくしゃみの直後に反射的に言う決まり文句で、病気かどうかは関係ない。見分け方：くしゃみの瞬間なら Bless you.

0814 □□□

A: The boss shouted at me in the meeting today. B: He shouts at everyone when he's stressed. Don't take it ＿＿＿＿.

① personal　② person
③ personally　④ in person

③ Don't take it personally.
個人攻撃だと思わないで；気を悪くしないで

訳 A：今日の会議で上司に怒鳴られたんだ。　B：あの人はストレスがたまると誰にでも怒鳴るんだよ。個人攻撃だと思わないで。

解説 「みんなに怒鳴るのだから個人攻撃と受け取らないで」なので take it personally。take A ＋副詞 の形なので副詞 personally が入る。personal は形容詞で動詞を修飾できない。person は名詞で文が成り立たない。in person は「直接・本人が」で、受け取り方を表さない。

区別 **Don't take it personally.** ⇔ **Don't take it to heart.** Don't take it to heart. は「気に病まないで・深刻に受け止めないで」と悩みすぎを止める。Don't take it personally. は「あなたが標的なのではない」と相手への攻撃ではないと伝える。見分け方：自分のせいだと思っている相手には personally。

0815 ☐☐☐

A: I missed yesterday's meeting. Could you fill me ＿＿＿＿ on what was decided? B: Sure.

① up　② in
③ out　④ with

② Fill me in. 詳しく教えて；事情を聞かせて

訳 A：昨日の会議に出られなかったんだ。何が決まったか詳しく教えてくれる？　B：いいよ。

解説 会議に出られなかったので「決まったことを詳しく教えて」と頼む fill me in on ~。fill me up は「満腹にする・（車を）満タンにする」。fill out は「（用紙に）記入する」で人を目的語にしない。fill me with ~ は「私を～で満たす」で、後ろに on が続く形にならない。

区別 **Fill me in.** ⇔ **fill in ~**　fill in ＋用紙・空欄 は「～に記入する」（fill in the form）。fill ＋人＋ in は「人に事情を詳しく教える」。見分け方：fill と in の間に人がいれば「教える」、用紙なら「記入」。

0816 ☐☐☐

A: Remember, the party starts at six, not seven. B: ＿＿＿＿ Six o'clock.

① Get out.　② Got lost.
③ Get real.　④ Gotcha.

④ Gotcha. 了解；分かった

訳 A：いい？　パーティーは 7 時じゃなくて 6 時に始まるからね。　B：了解。6 時ね。

解説 6 時開始という念押しに「了解、6 時ね」と答えているので Gotcha.。Get out. は「出て行け」または「まさか」と驚く言葉。Got lost. は「道に迷った」で返事にならない。Get real. は「現実を見ろ・ばかなことを言うな」で、念押しへの返事として失礼で文脈に合わない。

注意 Got it. のくだけた形。いたずらで「引っかかった！」と言うときにも使う。

0817 ☐☐☐

A: Is there anything else I can get for you? B: No, thanks. ＿＿＿＿ Just the check, please.

① I'm all ears.　② I'm on it.
③ I'm all set.　④ I'm all for it.

③ I'm all set. 準備万端です；もう大丈夫です

訳 A：ほかに何かお持ちしましょうか。　B：いいえ、結構です。もう十分です。お会計だけお願いします。

解説 店員に「ほかに何か？」と聞かれ「もう十分です、お会計を」と答えているので I'm all set.。I'm all ears. は「聞く準備はできている」。I'm on it. は「今やってるよ・任せて」と自分が取りかかる言葉。I'm all for it. は「大賛成だ」で、追加注文を断る返事にならない。

区別 **I'm all set.** ⇔ **I'm all ears.**　I'm all ears. は「しっかり聞いているよ、さあ話して」と聞く準備ができていることを表す。I'm all set. は「準備完了・もう何もいらない」。見分け方：相手の話を待つなら ears、用意や注文が済んだなら set。

0818 ☐☐☐

A: Do you think the new medicine will work? B: ———— We need to wait for more test results.

① It's too soon to tell.
② I told you so.
③ Don't tell me.
④ Tell me about it.

① It's too soon to tell. まだ何とも言えない

訳 A：新しい薬は効くと思う？　B：まだ何とも言えないね。もっと検査結果を待つ必要があるよ。

解説 「もっと結果を待つ必要がある」から、まだ判断できないという It's too soon to tell.。I told you so. は「だから言ったでしょ」と結果が出た後に言う言葉。Don't tell me. は「まさか（言わないで）」と嫌な予感を表す。Tell me about it. は「本当にそうだよね」と強く同意する言葉で、質問への答えにならない。

区別 **It's too soon to tell. ⇔ Time will tell.** Time will tell. は「時がたてば分かる」と未来に判断をゆだねる言い方。It's too soon to tell. は「今の時点では判断できない」と現在に焦点。意味は近く、続けて言うこともできる。

0819 ☐☐☐

A: My parents are taking me to Hawaii for the winter vacation. B: ———— I have to stay home and study.

① Good luck!
② Lucky me!
③ Lucky you!
④ Better luck next time!

③ Lucky you! いいなあ；運がいいね

訳 A：冬休みに両親がハワイに連れて行ってくれるんだ。　B：いいなあ！　私は家で勉強しなきゃいけないよ。

解説 ハワイ旅行が決まった A に、勉強の自分と比べて「いいなあ」と言っているので Lucky you!。Good luck! はこれからのことの成功を祈る言葉。Lucky me! は「私ってついてる」で、幸運なのは B ではない。Better luck next time! は失敗した相手に「次は頑張って」と言う慰め。

区別 **Lucky you! ⇔ Good luck!** Good luck! は「頑張って・うまくいくといいね」とこれからのことを祈る。Lucky you! は「（すでに決まった幸運が）羨ましい」。見分け方：結果がまだなら Good luck!、もう幸運が決まっているなら Lucky you!

0820 ☐☐☐

A: I can't stop crying. I don't know what to do. B: ———— Crying won't solve anything. Let's think about what to do next.

① Help yourself.
② Suit yourself.
③ Enjoy yourself.
④ Pull yourself together.

④ Pull yourself together.
しっかりしなさい；気を取り直して

訳 A：涙が止まらないの。どうしたらいいか分からない。　B：しっかりして。泣いても何も解決しないよ。次にどうするか考えよう。

解説 泣いて取り乱す A に「泣いても解決しない」と励ましているので Pull yourself together.。Help yourself. は「（食べ物を）ご自由にどうぞ」。Suit yourself. は「好きにしたら」と突き放す言葉。Enjoy yourself. は「楽しんで」で、泣いている相手への言葉として合わない。

区別 **Pull yourself together. ⇔ pull together** 再帰代名詞なしの pull together は「（みんなで）協力する・団結する」。pull oneself together は「（自分の）気を取り直す」。見分け方：yourself / myself があれば立ち直る、なければ協力。

0821 □□□

_____ I see it, the company needs to change its strategy before it's too late.

① The way how　② The way
③ By the way　④ On the way

② The way I see it, ~. 私の見方では～

訳 私の見方では、その会社は手遅れになる前に戦略を変える必要がある。

解説 「私の見方では」は The way I see it。the way how は the way と how を重ねた誤り（どちらか一方だけを使う）。By the way は「ところで」で、後ろに I see it を続けられない。On the way は「途中で」で、意見の前置きにならない。

区別 **The way I see it, ~.** ⇔ **By the way, ~.** By the way は「ところで」と話題を変える合図。The way I see it は「私の見方では」と意見を述べる合図。見分け方：後ろに I see it が続き意見を言うなら The way、別の話題に移るなら By the way。

0822 □□□

A: Tomorrow is my last day here. I'm moving to Osaka. B: Oh, I'll miss you.

_____

① All the best.
② All the same.
③ That's all.
④ All right already.

① All the best. ご多幸を祈ります；元気でね

訳 A：明日がここでの最後の日なんだ。大阪に引っ越すんだよ。B：寂しくなるね。元気でね。

解説 引っ越す同僚との別れなので「お元気で」＝ All the best.。All the same. は「それでもやはり・どちらでも同じ」で別れの言葉にならない。That's all. は「以上です」。All right already. は「もう分かったから」という立つ言葉で、別れの場面に合わない。

区別 **All the best.** ⇔ **All the same.** All the same. は「それでもやはり」「（どちらでも）同じことだ」。All the best. は「お元気で」と相手の幸せを願う。見分け方：別れの挨拶なら best、譲歩・どちらでもよいなら same。

0823 □□□

A: Mr. Smith, this is Ms. Tanaka. B: How do you do? C: _____

① I'm doing fine, thanks.
② Pretty good.
③ I do it well.
④ How do you do?

④ How do you do? 初めまして

訳 A：スミスさん、こちらは田中さんです。　B：初めまして。C：初めまして。

解説 紹介されて How do you do?（初めまして）と言われたら、同じ How do you do? を返すのが伝統的。I'm doing fine, thanks. や Pretty good. は How are you (doing)? に調子を答える返事で、初対面の挨拶には合わない。I do it well. は質問の文字どおりの意味に答えてしまった誤り。

区別 **How do you do?** ⇔ **How are you doing?** How are you doing? は「元気？」と知り合いの調子を聞く挨拶で、Good, thanks. などと答える。How do you do? は初対面の改まった挨拶で、調子は答えない。見分け方：初対面なら How do you do?

0824 □□□

A: Do you have a minute to look at my report? B: Sorry, I'm tied ＿＿＿＿ right now. Can we talk after lunch?

① down　② up
③ in　④ on

② I'm tied up right now. 今手が離せない

訳 A：私のレポートを見てもらう時間、ちょっとある？　B：ごめん、今手が離せないんだ。昼食の後に話せる？

解説 今は忙しくて手が離せないので、昼食後にしようと言っている。be tied up で「（忙しくて）手が離せない」。tied down は「（家庭・仕事に）縛られて自由がない」と長期的な不自由を表し、今だけの忙しさには使わない。tied in / tied on はこの意味にならない。

注意 ＝ I'm busy right now. be tied up with ~（～で忙しい）の形も。

0825 □□□

A: The train is delayed again, and there's nothing we can do about it. B: Well, ＿＿＿＿ Let's just get a coffee while we wait.

① what is it?　② here it is.
③ is it?　④ it is what it is.

④ It is what it is. 仕方ない；そういうものだ

訳 A：また電車が遅れている。どうすることもできないね。　B：まあ、仕方ないよ。待っている間にコーヒーでも飲もう。

解説 どうにもならない遅延を「仕方ない」と受け入れ、コーヒーでも飲もうと続けているので It is what it is.。What is it? は「何なの？・どうしたの？」と尋ねる言葉。Here it is. は「はい、どうぞ（ここにある）」と物を差し出す言葉。Is it? は「そうなの？」と相づちを打つ言葉で、文脈に合わない。

注意 諦め・受容を表す会話表現。＝ That's life. / It can't be helped. 会話文で出ることがある。

0826 □□□

A: I need you to finish this report, the presentation, and the budget by tomorrow. B: ＿＿＿＿ You want me to do three days' work in one night?

① Let me make myself clear.
② Let me sleep on it.
③ Let me get this straight.
④ Let me give you a hand.

③ Let me get this straight.
確認させてください；つまりこういうこと？

訳 A：このレポートと発表資料と予算案を、明日までに仕上げてほしいんだ。　B：確認させてください。3 日分の仕事を一晩でやれということですか？

解説 B は相手の指示を「一晩で 3 日分の仕事を？」と言い直して確認しているので Let me get this straight.。Let me make myself clear. は自分の考えをはっきり言う前置きで、相手の話の確認ではない。Let me sleep on it. は「一晩考えさせて」。Let me give you a hand. は「手伝うよ」で、不満を込めた確認と合わない。

区別 **Let me get this straight. ⇔ Let me make myself clear.** Let me make myself clear. は「（自分の考えを）はっきり言っておく」と自分の発言を明確にする。Let me get this straight. は「（相手の話を）正しく理解させて」と確認する。見分け方：自分が言うなら make myself clear、相手の話を確かめるなら get this straight。

0827 □□□

Let me make _____ clear: I will not accept any more late reports.

① me　② mine
③ I　④ myself

④ Let me make myself clear. はっきり言っておきます

訳 はっきり言っておきます。これ以上、提出の遅れたレポートは受け付けません。

解説 make oneself clear（自分の考えをはっきりさせる）。make の目的語は話し手自身なので再帰代名詞 myself。me は let me の me と重なり、make me clear では「私を明確にする」となり決まった形にならない。mine は所有代名詞、I は主格で目的語になれない。

区別 **Let me make myself clear. ⇔ make oneself understood** make oneself understood は「（外国語などで）自分の言うことを分かってもらう」で、understood は過去分詞。make oneself clear は「自分の考えをはっきり伝える」で、clear は形容詞。どちらも make ＋ oneself ＋補語の形。

0828 □□□

A: Mom, I think I'm too sick to go to school today. Cough, cough. B: _____ You were playing soccer outside an hour ago.

① Nice try.　② Get well soon.
③ Take care.　④ Good for you.

① Nice try. 惜しかったね；その手には乗らないよ

訳 A：お母さん、今日は具合が悪くて学校に行けないみたい。ゴホッ、ゴホッ。　B：その手には乗らないわよ。1 時間前には外でサッカーをしていたでしょう。

解説 1 時間前にサッカーをしていたと仮病を見抜いているので Nice try.（その手には乗らない）。Get well soon. は本当に病気の人への「早く良くなってね」で、後半と合わない。Take care. は「気をつけて・お大事に」。Good for you. は「よかったね」と褒める言葉で、うそを見抜く場面に合わない。

区別 **Nice try. ⇔ Good for you.** Good for you. は相手の成功・良い決断を「よかったね・偉い」と褒める。Nice try. は失敗に終わったことへのねぎらい、またはごまかしを見抜いた皮肉。見分け方：うまくいったなら Good for you.

0829 □□□

A: I copied my friend's homework and got a perfect score. B: _____ You should do your own work.

① Shame on you.　② What a shame.
③ Good for you.　④ Lucky you.

① Shame on you. 恥を知りなさい；みっともない

訳 A：友達の宿題を写して満点を取ったんだ。　B：恥を知りなさい。自分の力でやるべきでしょう。

解説 宿題を写したことを責め「自分でやるべきだ」と言っているので Shame on you.（恥を知りなさい）。What a shame. は「残念だね」で、責める意味にならない。Good for you. は「よかったね」と褒める言葉。Lucky you. は「いいなあ」と羨む言葉で、どちらも後半と矛盾する。

区別 **Shame on you. ⇔ What a shame!** What a shame! / That's a shame. は「それは残念だ」と同情・残念な気持ちを表す。Shame on you. は「恥を知れ」と相手を責める。見分け方：on you があれば非難、What a ~ なら残念。

0830 □□□

A: Did you finish your homework? B: ＿＿＿＿ I did most of it, but I still have one question left.

① Sort of.　② Of course.
③ Not at all.　④ Sure thing.

① Sort of. まあね；ちょっとね

訳 A：宿題は終わった？　B：まあね。ほとんどやったけど、まだ1問残っているんだ。

解説 「ほとんどやったが1問残っている」と完全には終わっていないので Sort of.（まあね）。Of course. は「もちろん（終わった）」で、残りがあることと矛盾する。Not at all. は「全然（やっていない）」で、ほとんどやった内容と合わない。Sure thing. は依頼を引き受ける返事で、質問の答えにならない。

注意 ＝ Kind of. はっきり Yes. と言えない時の返事。I'm sort of tired.（ちょっと疲れた）のように副詞的にも使う。

0831 □□□

A: We don't have any tape. Will this string work instead? B: Yes, that will ＿＿＿＿. Thanks.

① make　② go
③ get　④ do

④ That will do. それで十分だ；もういい

訳 A：テープがないんだ。代わりにこのひもでいいかな？　B：うん、それで十分だよ。ありがとう。

解説 代わりのひもで「間に合う」と答えているので That will do.（do＝足りる）。make / get は目的語が必要な他動詞として使うのが普通で、that will make / get では文が終わらない。that will go は「それは行く」となり、間に合う意味にならない。

注意 「それで足りる」と、叱るときの「もうやめなさい」の2つの用法。That'll do. と短縮も。

0832 □□□

A: I'll clean my room every day from now on. I promise. B: ＿＿＿＿ You said the same thing last month.

① That's right.　② Good for you.
③ All right.　④ Yeah, right.

④ Yeah, right. はいはい、そうでしょうね（信じてない）

訳 A：これからは毎日部屋を掃除するよ。約束する。　B：はいはい、どうだか。先月も同じことを言っていたよね。

解説 「先月も同じことを言った」と約束を信じていないので皮肉の Yeah, right.。That's right. は「その通り」と認める言葉で、後半の疑いと合わない。Good for you. は「偉いね」と褒める言葉。All right. は「分かった・いいよ」と受け入れる言葉で、どちらも疑う気持ちを表さない。

区別 **Yeah, right. ⇔ That's right.** That's right. は「その通り」と本当に正しいと認める。Yeah, right. は言葉の上では肯定でも「どうだか」と信じていない皮肉。見分け方：後ろに疑う根拠が続けば Yeah, right.

0833 ☐☐☐

A: The new phone has a better camera, and the battery lasts two days. And it's on sale! B: OK, _____ I'll buy it.

① you lost me.
② you convinced me.
③ you're telling me.
④ you asked for it.

② You convinced me. 納得したよ；その気になった

訳 A：新しい電話はカメラが良くなって、電池が 2 日もつんだ。しかも今セール中！　B：分かった、納得したよ。それを買うよ。

解説 説明を聞いて「買うよ」と決めたので You convinced me.（納得した）。You lost me. は「話についていけない」で、買う決心と合わない。You're telling me. は「言われなくても分かっている」。You asked for it. は「自業自得だ」で、説得された場面に合わない。

区別 **You convinced me. ⇔ You lost me.** You lost me. は「（話の途中で）分からなくなった」。You convinced me. は「（話を聞いて）納得した・その気になった」。見分け方：理解できなかったなら lost、説得されたなら convinced。

0834 ☐☐☐

A: I'm so nervous about my speech. What if I forget everything? B: Relax. You've practiced a lot. _____

① I've got this.　② You got me.
③ Got it?　④ You've got this.

④ You've got this. 君なら大丈夫

訳 A：スピーチがすごく不安なんだ。全部忘れちゃったらどうしよう。　B：落ち着いて。たくさん練習したじゃない。君なら大丈夫だよ。

解説 不安な A を「たくさん練習したから大丈夫」と励ましているので You've got this.。I've got this. は「（私が）任せて」で、スピーチをするのは B ではない。You got me. は「参った・分からない」。Got it? は「分かった？」と相手の理解を確かめる言葉で、励ましにならない。

区別 **You've got this. ⇔ I've got this.** I've got this. は「（自分で）できるから任せて・大丈夫」と自分のことを言う。You've got this. は相手を励ます。見分け方：励ます相手が主語なら You。

0835 ☐☐☐

A: Congratulations on your new job! Let's drink to your success. B: Thank you! _____

① Cheers!　② Bless you!
③ Help yourself!　④ Watch out!

① Cheers! 乾杯；ありがとう

訳 A：就職おめでとう！　君の成功を祝って乾杯しよう。　B：ありがとう！　乾杯！

解説 「成功に乾杯しよう」と言われて応じる掛け声は Cheers!。Bless you! はくしゃみをした人への言葉。Help yourself! は「ご自由にどうぞ」。Watch out! は「危ない！」で、乾杯の場面に合わない。

区別 **Cheers! ⇔ Here's to ~!** Here's to ~! は「～に乾杯！」と乾杯の対象（人・成功）を示す。Cheers! は対象を言わずにグラスを合わせるときの掛け声。見分け方：何に乾杯するかを言うなら Here's to ~。

0836 □□□

A: Why is the train stopping here? B: _____ I'm as confused as you are.

① Don't mention it.
② Don't get me wrong.
③ Don't ask me.
④ Don't let me down.

③ Don't ask me. 私に聞かないで；知らないよ

訳 A：どうして電車はここで止まっているの？　B：私に聞かないでよ。あなたと同じくらい分からないんだから。

解説 「あなたと同じくらい分からない」と答えを知らないので Don't ask me.。Don't mention it. はお礼への「どういたしまして」。Don't get me wrong. は「誤解しないで」。Don't let me down. は「がっかりさせないで」で、質問への答えにならない。

注意 ＝ I have no idea. / Beats me.

0837 □□□

A: Do you think the bus will come on time today? B: _____ It's been late every day this week.

① Count on it.
② Don't mention it.
③ Don't worry about it.
④ Don't count on it.

④ Don't count on it. あまり期待しないで

訳 A：今日はバスが時間どおりに来ると思う？　B：あまり期待しない方がいいよ。今週は毎日遅れているから。

解説 今週は毎日遅れているので「期待しない方がいい」＝ Don't count on it.。Count on it. は「当てにしていい」で、後半と矛盾する。Don't mention it. はお礼への返事。Don't worry about it. は「気にしないで」で、時間どおりに来るかという問いへの答えにならない。

区別 **Don't count on it.** ⇔ **Count on it.** Count on it. は「当てにしていいよ・任せて」と確実に実行すると約束する。Don't count on it. は「期待しないで」。見分け方：否定の Don't があれば望み薄。

0838 □□□

A: I only came in third in the contest. B: _____ Third place out of fifty is amazing!

① Don't take it so hard.
② Don't take it for granted.
③ Don't take my word for it.
④ Take it or leave it.

① Don't take it so hard. そんなに気にしないで

訳 A：コンテストで 3 位にしかなれなかった。　B：そんなに気にしないで。50 人中 3 位なんてすごいよ！

解説 3 位で落ち込む A を「50 人中 3 位はすごい」と慰めているので Don't take it so hard.。Don't take it for granted. は「当然だと思わないで」。Don't take my word for it. は「私の言うことをうのみにしないで（自分で確かめて）」。Take it or leave it. は「嫌ならやめて（これ以上は譲らない）」で、慰めにならない。

区別 **Don't take it so hard.** ⇔ **Don't take it personally.** Don't take it personally. は「（批判・冷たい態度を）個人攻撃だと受け取らないで」。Don't take it so hard. は「（結果を）そんなに深刻に受け止めないで」。見分け方：誰かの言動に傷ついたなら personally、結果に落ち込んでいるなら hard。

0839 □□□

A: I missed the deadline again because I was playing games. B: You need to get your ＿＿＿＿ together, or you'll lose your job.

① action　② act
③ acts　④ actor

② Get your act together.
しっかりしなさい；ちゃんとしなさい

訳 A：ゲームをしていて、また締め切りに遅れちゃった。　B：しっかりしないと、仕事を失うよ。

解説 だらしない A に「ちゃんとしなさい」は get your act together で、act は単数・無冠詞の決まった形。action / acts / actor に変えるとこの熟語にならない。

区別 **Get your act together.** ⇔ **Pull yourself together.** Pull yourself together. は「（取り乱した人に）落ち着いて・気を取り直して」。Get your act together. は「（だらしない人に）ちゃんとしなさい・生活や仕事を立て直せ」。見分け方：感情の動揺なら pull、だらしなさなら act。

0840 □□□

A: Dad's going to tell us about his school days for the hundredth time. B: Oh no. ＿＿＿＿

① Here you are.　② There you go.
③ Here we go again.　④ Here it is.

③ Here we go again. また始まった

訳 A：お父さんがまた学生時代の話を始めるよ。もう 100 回目だ。　B：ああ、また始まった。

解説 100 回目の昔話に「またか」とうんざりしているので Here we go again.。Here you are. と Here it is. は物を渡すときの「はい、どうぞ」。There you go. は「ほらね・その調子」で、うんざりする気持ちを表さない。

区別 **Here we go again.** ⇔ **Here we go.** Here we go. は「さあ始めるぞ・いよいよだ」と期待や気合いを表す。Here we go again. は again が付き「またか」とうんざりを表す。見分け方：繰り返しへの不満なら again 付き。

0841 □□□

A: You're the best player on the team. B: Oh, ＿＿＿＿ Tom is much better than I am.

① I couldn't agree more.
② you can say that again.
③ that's what I said.
④ I wouldn't say that.

④ I wouldn't say that. そうとは言えないな

訳 A：君はチームで一番の選手だね。　B：いや、そこまでではないよ。トムの方が私よりずっと上手だから。

解説 褒められて「トムの方が上手だ」と謙遜しているので I wouldn't say that.。I couldn't agree more. と You can say that again. はどちらも「大賛成だ」で、自分を褒める言葉に同意することになり後半と矛盾する。That's what I said. は「だから私もそう言ったじゃない」で文脈に合わない。

区別 **I wouldn't say that.** ⇔ **I couldn't agree more.** I couldn't agree more. は「これ以上ないほど賛成だ＝大賛成」。I wouldn't say that. は「そうとは言えない」とやんわり反対・謙遜。見分け方：賛成なら couldn't agree more、控えめな否定なら wouldn't say that。

0842 □□□

A: Do you want to go out for dinner? B: Sorry, I worked for twelve hours today. ———— I just want to go to bed.

① Beats me.　② I'm beat.
③ I'm game.　④ I'm all ears.

② I'm beat. くたくただ

訳 A：夕食を食べに出かけない？　B：ごめん、今日は 12 時間働いたんだ。くたくたで、とにかく寝たいよ。

解説 12 時間働いて「とにかく寝たい」ので I'm beat.（くたくた）。Beats me. は「さっぱり分からない」。I'm game. は「乗った・やるよ」と誘いに乗る言葉で、断る流れと矛盾する。I'm all ears. は「しっかり聞いている」で疲れを表さない。

区別 **I'm beat. ⇔ Beats me.** Beats me. は「さっぱり分からない」（= I have no idea.）。I'm beat. は「くたくただ」。見分け方：主語が I で be 動詞があれば疲れ、Beats me. なら分からない。

0843 □□□

A: Why are you wearing your brother's shoes? B: ———— I'll tell you later.

① It's a small world.
② It's a deal.
③ It's a long story.
④ It's on me.

③ It's a long story. 話せば長くなるよ

訳 A：どうしてお兄さんの靴を履いているの？　B：話せば長くなるんだ。後で話すよ。

解説 理由を聞かれ「後で話す」と説明を後回しにしているので It's a long story.。It's a small world. は「世間は狭いね」と偶然の出会いに言う言葉。It's a deal. は「それで決まり・手を打とう」。It's on me. は「私のおごり」で、理由の説明にならない。

区別 **It's a long story. ⇔ to make a long story short** to make a long story short は「手短に言えば・要するに」と、結論だけ話すときの前置き。It's a long story. は「話せば長い（だから今は話さない）」。見分け方：結論を言うなら to make ~ short。

0844 □□□

A: Do you want to go to the beach or the mountains this summer? B: ———— You choose.

① It's all the same to me.
② It's all Greek to me.
③ It's my turn.
④ It's out of the question.

① It's all the same to me. 私にはどちらでも同じだ

訳 A：今年の夏は海と山、どっちに行きたい？　B：私はどちらでもいいよ。あなたが決めて。

解説 「あなたが決めて」とどちらでもよいので It's all the same to me.。It's all Greek to me. は「ちんぷんかんぷん」で、選択の質問への答えにならない。It's my turn. は「私の番だ」。It's out of the question. は「論外だ」で、どちらかを強く拒む意味になり後半と合わない。

区別 **It's all the same to me. ⇔ It's all Greek to me.** It's all Greek to me. は「ちんぷんかんぷんだ」と理解できないことを表す。It's all the same to me. は「どちらでもいい」と選択にこだわらないことを表す。形が似ているので会話問題のひっかけになる。

0845 □□□

A: Maybe the store will lower the price tomorrow. B: ———— We can't afford that car, even with a discount.

① Let's call it a day.
② Let's face it.
③ Let's get started.
④ Let's play it by ear.

② Let's face it. 現実を直視しよう

訳 A：明日になれば店が値下げするかもしれないよ。 B：現実を見ようよ。値引きされたって、あの車は私たちには買えない。

解説 楽観的な A に「値引きされても買えない」と厳しい現実を切り出しているので Let's face it.。Let's call it a day. は「今日はこれで終わりにしよう」。Let's get started. は「始めよう」。Let's play it by ear. は「成り行きに任せよう」で、現実を認める前置きにならない。

区別 **Let's face it. ⇔ face the music** face the music は「（自分のしたことの）責任を取る・報いを受ける」。Let's face it. は「（厳しい）現実を認めよう」と事実を切り出す前置き。見分け方：後ろに事実の文が続くなら Let's face it.

0846 □□□

A: I don't care what you say. I'm going to quit school and become a rock star. B: Fine, ———— But don't come crying to me later.

① have it your way.
② have a seat.
③ have a heart.
④ have a nice trip.

① Have it your way. 好きにしなさい；勝手にすれば

訳 A：何と言われようと構わない。学校を辞めてロックスターになるんだ。 B：分かったよ、勝手にすれば。でも後で泣きついてこないでね。

解説 聞く耳を持たない A に「勝手にすれば、後で泣きつくな」と突き放しているので Have it your way.。Have a seat. は「座って」。Have a heart. は「情けをかけてよ・勘弁して」。Have a nice trip. は「良い旅を」で、言い争いの締めくくりに合わない。

区別 **Have it your way. ⇔ Be my guest.** Be my guest. は「どうぞご自由に」と好意的に許可する。Have it your way. は「（反対だけど）勝手にすれば」と突き放す。見分け方：快く許すなら Be my guest.、あきれて引き下がるなら Have it your way.

0847 □□□

A: I'm applying for a job at your company. B: Great! I know the manager well, so I'll put ———— a good word for you.

① on
② up
③ in
④ off

③ I'll put in a good word for you.
あなたのことを口添えしておきます

訳 A：あなたの会社の仕事に応募するんだ。 B：いいね！ 部長とは親しいから、あなたのことを口添えしておくよ。

解説 「口添えしておく」は put in a good word for A。put on は「身に着ける」、put up は「掲げる・泊める」、put off は「延期する」で、a good word と組んで推薦の意味にならない。

注意 put in a good word for A（A のために口をきく）。原田英語の問題集で出題。

0848 ☐☐☐

A: Trust me, this shortcut will save us twenty minutes. B: ———— But it looks longer to me.

① If you say so.
② I couldn't agree more.
③ You're absolutely right.
④ That's what I thought.

① If you say so. あなたがそう言うなら（まあいいけど）

訳 A：信じて。この近道なら 20 分短縮できるよ。 B：あなたがそう言うならね。でも私には遠回りに見えるけど。

解説 後半で「遠回りに見える」と疑いながらも従っているので、渋々の If you say so.。I couldn't agree more. と You're absolutely right. は強い賛成で、後半の疑いと矛盾する。That's what I thought. は「私もそう思っていた」で、やはり後半と合わない。

区別 **If you say so. ⇔ I'll take your word for it.** I'll take your word for it. は「（確かめないけど）あなたの言葉を信じるよ」と相手を信用する。If you say so. は「あなたが言うならそうなんでしょう（疑わしいけど）」と疑いが残る。

0849 ☐☐☐

A: Do you want to watch a movie tonight? B: Maybe another time. ———— I just want to take a bath and sleep.

① The night is young.
② It's a big day.
③ Those were the days.
④ It's been a long day.

④ It's been a long day. 長い一日だった

訳 A：今夜映画を見ない？ B：また今度にするよ。長い一日だったんだ。お風呂に入って寝たいよ。

解説 誘いを断り「お風呂に入って寝たい」と疲れを伝えているので It's been a long day.。The night is young. は「夜はまだこれからだ」と遊びを続けたいときの言葉で正反対。It's a big day. は「大事な日だ」。Those were the days. は「昔はよかった」で、疲れを表さない。

区別 **It's been a long day. ⇔ It's not my day.** It's not my day. は「（嫌なことが続いて）今日はついていない」と不運を嘆く。It's been a long day. は「（忙しくて）疲れた一日だった」と疲労を伝える。見分け方：運の悪さなら not my day、忙しさ・疲れなら long day。

0850 ☐☐☐

First I overslept, then I spilled coffee on my shirt, and now my train is delayed. ————

① It's my lucky day.
② It's my treat.
③ It's not my day.
④ It's a deal.

③ It's not my day. 今日はついてない

訳 まず寝坊して、次にシャツにコーヒーをこぼし、今度は電車が遅れている。今日はついてないな。

解説 寝坊・コーヒー・電車の遅れと悪いことが続いたので It's not my day.（ついてない）。It's my lucky day. は「ついている」で正反対。It's my treat. は「私のおごり」、It's a deal. は「それで決まり」で、不運を嘆く言葉にならない。

区別 **It's not my day. ⇔ It's my lucky day.** It's my lucky day. は「今日はついている」で、It's not my day. の反対。見分け方：良いことが続くなら lucky day、悪いことが続くなら not my day。

0851 ☐☐☐

A: I don't understand why you don't like my plan. B: Let me _____ it this way: it's too expensive and too risky.

① tell　② talk
③ speak　④ put

④ Let me put it this way. こう言えば分かるかな

訳 A：どうして私の計画が気に入らないのか分からない。 B：こう言えば分かるかな。費用がかかりすぎるし、危険すぎるんだ。

解説 「こう言えば分かるかな」は Let me put it this way.（put＝言い表す）。tell は人を目的語に取るのが普通で tell it this way とは言わない。talk / speak は自動詞的に使い、it を目的語にしてこの意味を表せない。

区別 **Let me put it this way. ⇔ Let me get this straight.** Let me get this straight. は「（相手の話を）確認させて」と相手の発言を整理する。Let me put it this way. は「（自分の考えを）こう言い直そう」と自分の説明を言い換える。見分け方：相手の話なら get this straight、自分の言い直しなら put it this way。

0852 ☐☐☐

A: Is there a post office near here? B: Not that I know _____. You'd better ask someone else.

① of　② it
③ so　④ that

① Not that I know of. 私の知る限りではそうではない

訳 A：この近くに郵便局はありますか。 B：私の知る限りではないですね。ほかの人に聞いた方がいいですよ。

解説 「私の知る限りではない」は Not that I know of.（know of ~ の of が残った形）。it を入れると「それを知っている」となり決まった形にならない。so は I think so. などの形で、know so とは言わない。that は文中にすでにあり、重ねられない。

区別 **Not that I know of. ⇔ As far as I know, ~.** As far as I know, ~ は「私の知る限りでは～だ」と後ろに文を続ける前置き。Not that I know of. は単独で「知る限りではない」と否定の返事になる。どちらも自分の知識の範囲に限って答える言い方。

0853 ☐☐☐

A: My brother puts ketchup on his rice. B: Really? Well, _____

① the more, the merrier.
② to each his own.
③ first come, first served.
④ so far, so good.

② To each his own. 好みは人それぞれ

訳 A：兄はご飯にケチャップをかけるんだ。 B：本当？ まあ、好みは人それぞれだね。

解説 変わった食べ方に驚きつつ「好みは人それぞれ」と認めているので To each his own.。The more, the merrier. は「多いほど楽しい」、First come, first served. は「先着順」、So far, so good. は「今のところ順調」で、好みの違いの話に合わない。

注意 ＝ Each to their own. / There's no accounting for taste. 原田英語の問題集で出題。

0854 □□□

A: You wore my sweater without asking! B: ———— I'll wash it and give it back.

① What's the matter with me?
② What's up?
③ What's the big deal?
④ What a deal!

③ What's the big deal?

何を大騒ぎしているの？；それがどうしたの

訳 A：断りもなく私のセーターを着たでしょう！　B：何をそんなに騒いでいるの？　洗って返すよ。

解説 怒る A に「洗って返すから」と軽く受け流しているので What's the big deal?。What's the matter with me? は「私のどこが悪いの？」と自分のことを聞く形で不自然。What's up? は「どうしたの・元気？」という挨拶。What a deal! は「お買い得だ！」で文脈に合わない。

区別 **What's the big deal? ⇔ It's no big deal.** It's no big deal. は「大したことじゃない」と事実を軽く述べる（お礼や謝罪への返事にも使う）。What's the big deal? は「何をそんなに騒いでいるの」と相手の反応に疑問を投げる。

0855 □□□

A: That noisy neighbor finally moved out yesterday. B: ———— He used to play loud music every night.

① Good riddance!　② Good for you!
③ Good luck!　④ Good job!

① Good riddance.

せいせいした；いなくなってくれてよかった

訳 A：あのうるさい隣人がやっと昨日引っ越していったよ。　B：せいせいしたね！ 毎晩大音量で音楽をかけていたもの。

解説 毎晩騒いでいた隣人がいなくなったことを喜んでいるので Good riddance!（せいせいした）。Good for you! と Good job! は相手の成功や行いをほめる言葉で、A は何もしていない。Good luck! は「幸運を祈る」で、去った人を喜ぶ場面に合わない。

区別 **Good riddance. ⇔ Good for you!** Good for you! は相手のよい知らせ・行動に対して「よかったね・よくやったね」とほめる言葉。Good riddance は嫌な人・物が去ったことを喜ぶ言葉。見分け方：相手の成功を祝うなら Good for you、厄介なものが消えた安心なら Good riddance。

0856 □□□

A: How was the soup? B: It really hit the ————. I was so cold and hungry after skiing.

① point　② nail
③ place　④ spot

④ hit the spot

（飲食物が）まさに欲しかったものだ；申し分ない

訳 A：スープはどうだった？　B：本当に最高だったよ。スキーの後で、すごく寒くておなかがすいていたから。

解説 寒くて空腹のときのスープが「申し分なかった」は hit the spot。hit the point という決まった言い方はない（「要点を言う」なら get to the point）。hit the nail は on the head まで付けて「核心を突く」で、食べ物には使わない。hit the place も熟語にならない。

区別 **hit the spot ⇔ hit the nail on the head** hit the nail on the head は「（発言が）核心を突く・図星だ」で、主語は人・発言。hit the spot は飲食物が「ちょうどよい」。見分け方：食べ物・飲み物の満足なら spot、意見・指摘が的確なら nail on the head。

0857 □□□

How dare you _____ my diary without asking me!

① to read ② reading
③ read ④ be read

③ How dare you! よくもそんなことを！

訳 私に断りもなく日記を読むなんて、よくもそんなことができるね！

解説 How dare you ~! の dare は助動詞なので、後ろは動詞の原形 read。助動詞の後ろに to を付けた to read は不可。reading（動名詞）も助動詞の後ろに置けない。be read は受動態で「あなたが読まれる」になり意味が通らない。勝手に日記を読まれたことへの怒り。

区別 **How dare you! ⇔ Don't you dare (do)!** Don't you dare ~! は「絶対に～するなよ」とこれからの行動を禁じる脅し。How dare you ~! はすでにされた言動を非難する。見分け方：まだしていないことを止めるなら Don't you dare、した後で怒るなら How dare you。

0858 □□□

A: You're the best singer in our club. Would you sing at my wedding? B: Oh, I'm _____. I'd be happy to.

① flattering ② flattered
③ flattery ④ flatter

② I'm flattered. 光栄です；お世辞でもうれしいです

訳 A：あなたはうちのクラブで一番の歌い手よ。私の結婚式で歌ってくれない？ B：まあ、光栄だわ。喜んで。

解説 ほめられて誘われた側の気持ちは「うれしく思わされた」なので過去分詞 flattered。flattering は「（物事が人を）うれしがらせる・実物よりよく見せる」側で、I'm flattering だと「私はお世辞を言っている」の意味になる。flattery は名詞「お世辞」、flatter は動詞で、I'm の補語にならない。

区別 **I'm flattered. ⇔ flattering** flattering は「（物事が）うれしがらせる」「（服・写真が）実物よりよく見せる」（a flattering photo）。flattered は「（人が）うれしく思う」。見分け方：主語が人で気持ちなら flattered、主語が服・ほめ言葉など物事なら flattering。

0859 □□□

A: Excuse me. Do you have this jacket in a larger size? B: _____ Please wait a moment.

① Let me think it over.
② Let me get that straight.
③ Let me check that for you.
④ Let me have it.

③ Let me check that for you. お調べします

訳 A：すみません。このジャケットの大きいサイズはありますか。 B：お調べします。少々お待ちください。

解説 大きいサイズがあるかという客の質問に、店員が「お調べします」と応じる場面なので Let me check that for you.。Let me think it over. は返事を保留する客側の言葉、Let me get that straight. は「話を整理させて（確認させて）」、Let me have it. は「それをちょうだい」で、在庫を調べる係の応対にならない。

区別 **Let me check that for you. ⇔ Let me think it over.** Let me think it over. は「（決める前に）よく考えさせて」で、提案や商品を勧められた客・相手が返事を保留するときの言葉。Let me check that for you. は係が相手のために事実を調べる言葉。見分け方：決断を先延ばしにするなら think it over、在庫・予定を確認するなら check。

0860 ☐☐☐

A: You're always late. You should leave home earlier. B: _____ You were thirty minutes late this morning!

① Talk about luck!
② Look who's talking!
③ Mind your language!
④ Who's calling, please?

② Look who's talking! 人のこと言えないでしょ

訳 A：あなたはいつも遅刻するね。もっと早く家を出るべきだよ。 B：人のこと言えないでしょ！ 今朝 30 分遅れてきたじゃない！

解説 いつも遅刻すると責めてきた A 自身が今朝 30 分遅れていたので、「人のこと言えないでしょ」の Look who's talking!。Talk about luck! は「なんて運がいいんだ」、Mind your language! は「言葉遣いに気をつけて」、Who's calling, please? は電話で相手の名前を尋ねる言葉で、言い返しにならない。

区別 **Look who's talking! ⇔ Talk about ~!** Talk about luck! は「～とはまさにこのこと・なんて～だ」と強調する表現で、相手を言い返す意味はない。Look who's talking! は批判した相手に「あなたこそ」と返す。見分け方：批判への反撃なら Look who's talking。

0861 ☐☐☐

Waiter: What would you like to drink? A: I'll have an iced coffee, please. B: _____

① Make that two.
② Make it so.
③ That makes two of us.
④ Take two.

① Make that two. 私も同じ物を（2 つにして）

訳 店員：お飲み物は何になさいますか。 A：アイスコーヒーをお願いします。 B：私も同じ物を（それを 2 つにしてください）。

解説 前の人と同じ物を頼むので Make that two.（それを 2 つにして）。That makes two of us. は相手の気持ちや状況に「私もだ」と共感する表現で、注文には使わない。Make it so. は「そのようにせよ」という命令、Take two. は「2 つ取って」で、店員への注文にならない。

区別 **Make that two. ⇔ That makes two of us.** That makes two of us. は「私も同じだ・同感だ」で、相手の気持ちや状況（I'm tired. など）に同意する。Make that two. は注文を 2 つにしてもらう言葉。見分け方：注文なら Make that two、感想・状況への共感なら That makes two of us。

0862 ☐☐☐

A: How did your presentation go? B: I _____ it! The boss loved it, and I'm going to lead the new project.

① blew ② missed
③ nailed ④ dropped

③ Nailed it. 完璧！；うまくいった

訳 A：プレゼンはどうだった？ B：完璧だったよ！ 上司がとても気に入ってくれて、新しいプロジェクトを任されることになったんだ。

解説 上司に気に入られ、新しい仕事を任されたので「完璧にやった」の nailed it。blew it は「しくじった」で、後半の内容と正反対。missed it は「逃した・見落とした」、dropped it は「落とした・やめた」で、発表がうまくいった意味にならない。

区別 **Nailed it. ⇔ blew it** blew it（blow it）は「しくじった・台無しにした」で正反対。nailed it は「見事に決めた」。見分け方：うまくいったなら nailed、失敗したなら blew。

0863 □□□

A: Oh, I'm so sorry! I almost spilled coffee on your laptop. B: Don't worry. No _____ done.

① harm ② deal
③ problem ④ worry

① No harm done. 何の被害もないよ；大丈夫

訳 A：ああ、本当にごめんなさい！ もう少しであなたのノートパソコンにコーヒーをこぼすところでした。 B：気にしないで。何の被害もないから。

解説 謝られて「何の被害もない」と許すのは No harm done.（do harm の受け身）。No big deal. は「大したことない」だが deal done とは言わない。No problem. / Don't worry. の problem / worry は done と組んで決まった言い方にならない。

区別 **No harm done. ⇔ No hard feelings.** No hard feelings. は「恨みっこなし・悪く思わないで」で、口論・競争・断りの後に気持ちのわだかまりがないことを伝える。No harm done. は「実害がない」。見分け方：物理的な被害がなかったなら harm、感情のしこりの話なら hard feelings。

0864 □□□

A: The train has stopped again because of the snow. B: _____ That's the third time this week!

① Never again! ② Once again!
③ Not again! ④ Again and again!

③ Not again! またなの！

訳 A：雪のせいで電車がまた止まったよ。 B：またなの！ 今週これで 3 回目だよ！

解説 電車がまた止まったことにうんざりしているので Not again!（またなの！）。Never again! は「二度とするものか」という自分の決意で、電車の停止への嘆きにならない。Once again! は「もう一度」と繰り返しを求める言葉、Again and again は「何度も」という副詞句で、返事として不自然。

区別 **Not again! ⇔ Never again!** Never again! は「（自分は）二度とするものか」という決意。Not again! は「また起きたの」と繰り返しへの不満。見分け方：これからの自分の行動を誓うなら Never again、また起きた出来事に嘆くなら Not again。

0865 □□□

_____ I dropped my pen under your desk. Could you pick it up for me?

① Ouch! ② Phew!
③ Cheers! ④ Oops!

④ Oops! おっと！；しまった！

訳 おっと！ あなたの机の下にペンを落としちゃった。拾ってもらえますか。

解説 ペンを落とすという小さな失敗をしたときの声なので Oops!。Ouch! は体の痛みを表す声で、ペンを落としても痛くはない。Phew! は安心やほっとした気持ち、Cheers! は乾杯・感謝（英国）の言葉で、失敗の場面に合わない。

区別 **Oops! ⇔ Ouch!** Ouch! は「痛っ！」で、体の痛みに使う。Oops! は小さな失敗に使う。見分け方：ぶつけた・切ったなど痛みなら Ouch、落とした・こぼしたなど失敗なら Oops。

0866 ☐☐☐

A: Can't I go to the concert, Mom? Everyone's going! B: I said no, and ＿＿＿＿. No more discussion.

① that's right　② that's too bad
③ that's that　④ that's a deal

③ That's that. それで終わり；それで決まりだ

訳 A：お母さん、コンサートに行っちゃだめなの？ みんな行くんだよ！ B：だめと言ったでしょう、それで終わり。もう話し合いはなし。

解説 だめと言ったらだめ、と話を打ち切るので that's that（それで終わり）。that's right は「その通り」と同意する言葉、that's too bad は「それは残念だ」と同情する言葉、that's a deal は「それで決まり（取引成立）」と合意する言葉で、反対を押し切る母親の言い渡しにならない。

区別 **That's that.** ⇔ **That's right.** That's right. は「その通り」と相手の発言を肯定する。That's that. は「これで話は終わり」と打ち切る。見分け方：同意なら right、議論の終了宣言なら that。

0867 ☐☐☐

＿＿＿＿ I left my umbrella on the train, and now it's starting to rain.

① Good for you!　② Darn it!
③ Thank goodness!　④ Here you are!

② Darn it! しまった！；ちぇっ！

訳 しまった！ 電車に傘を置き忘れたのに、雨が降り出してきた。

解説 傘を置き忘れて雨が降り出したという不運に「しまった！」と言うのは Darn it!。Good for you! は「よかったね」と相手をほめる言葉、Thank goodness! は「助かった」と安心する言葉で、不運の場面と逆。Here you are! は物を手渡すときの言葉。

区別 **Darn it!** ⇔ **Thank goodness!** Thank goodness! は「ああよかった・助かった」と安心を表す。Darn it! は「しまった」と悔しさを表す。見分け方：うまくいって安心なら Thank goodness、失敗して悔しいなら Darn it。

確認テスト５　会話表現｜日本語に合うように、空所に１語を書き込もう（答えは赤字）

0692　「コンサートは 6 時半に始まるよ」「何て？聞こえなかった」
“The concert starts at six thirty.” “ Come again? I couldn't hear you.”

0693　「何があったか話したい？」「よければ話したくないな」
“Do you want to talk about what happened?” “I'd rather not, if that's OK.”

0694　「つまり、まず事実を確かめるべきってこと？」「その通り。ネットの情報を全部信じちゃだめだよ」
“So you mean we should check the facts first?” “ Exactly . Don't believe everything online.”

0695　「どんな音楽が好き？」「最近はジャズにはまってるんだ」
“What kind of music do you like?” “I'm really into jazz these days.”

0696　「お店は割引してくれるかな？」「試してみる価値はあるよ」
“Do you think the store will give us a discount?” “It's worth a try.”

0697　「大きな決断だから、一晩考えて明日電話するよ」
“It's a big decision. Let me sleep on it and call you tomorrow.”

0698　「金曜日までにスライドを仕上げるよ」「よかった。頼りにしてるね」
“I'll finish the slides by Friday.” “Great. I'm counting on you.”

0699　「ギターを覚えるのは本当に大変」「続けてれば上手になるよ」
“Learning the guitar is so hard.” “Keep at it. You'll get better.”

0700　「ごめん、今日のランチ行けなくなった」「大丈夫。また来週にでも」
“Sorry, I can't make it to lunch today.” “No worries . Maybe next week.”

0701　「6 時まで勉強して、それからピザを食べよう」「それでいこう！」
“We'll study until six and then get some pizza.” “Sounds like a plan !”

0702　「雨はいつやむかな？」「私にも分からないよ」
“When will the rain stop?” “Your guess is as good as mine.”

0703　「家まで送ってくれてありがとう」「いつでもどうぞ。必要なときは電話して」
“Thanks for the ride home.” “ Anytime . Just call me when you need one.”

0704　「まず数を足して、それから 3 で割る。ついてきてる？」
“First, add the numbers, then divide by three. Are you with me?”

0705　「いらっしゃいませ。ご予約はされていますか」「はい、7 時に 2 名で」
“Good evening. Do you have a reservation ?” “Yes, for two at seven.”

0706　「火曜日の 3 時に会うのはどう？都合はいい？」
“How about meeting at three on Tuesday? Does that work for you?”

0707　「具合が悪いって聞いたからスープを持ってきたよ」「なんて優しいの！」
“I brought you some soup because you were sick.” “How kind of you!”

0708 「入試のことで本当にストレスがたまってるんだ」「分かるよ。つらい時期だよね」
"I'm so stressed about the entrance exams." "I ___hear___ you. It's a tough time."

0709 「本当にドアに鍵をかけた？」「絶対だよ。2 回確かめたから」
"Are you sure you locked the door?" "I'm ___positive___. I checked it twice."

0710 「終電はもう出ちゃったよ」「そんなはずない。まだ 10 時だよ！」
"The last train has already left." "It ___can't___ be. It's only ten o'clock!"

0711 「また遅刻？もう我慢の限界！あなたを置いて行くから」
"You're late again? That's the last ___straw___! I'm leaving without you."

0712 「コートを持っていったほうがいいかもね。夜は寒くなるから」
"You ___might___ want to bring a coat. It gets cold at night."

0713 「どんな音楽をかけようか？」「何でもいいよ。こだわりはないから」
"What kind of music should I play?" "___Anything___ will do. I'm not picky."

0714 「この靴は大きすぎます。これの小さいサイズはありますか」
"These shoes are too big. Do you have this in a ___smaller___ size?"

0715 「明日、試験の結果が分かるんだ」「うまくいくよう祈ってる！」
"I'll find out my exam results tomorrow." "___Fingers___ crossed!"

0716 「その重いかばん、手伝おうか？」「いえ、大丈夫。何とかなります」
"Do you need help with that heavy bag?" "No, thanks. I can ___manage___."

0717 「君がいなくなったら本当に寂しいよ。本気で言ってるんだ」
"I'll really miss you when you leave. I mean ___it___."

0718 「そのレシピは少し難しいよ」「大丈夫。やってみるよ」
"The recipe is a bit difficult." "That's OK. I'll give it a ___go___."

0719 「暗くなる前に出発した方がいいと思う」「それには賛成だよ」
"I think we should leave before it gets dark." "I'm ___with___ you on that."

0720 「T シャツにあんなにお金を払う人がいるなんて。私には理解できないよ」
"Why would anyone pay that much for a T-shirt? It's ___beyond___ me."

0721 「説明どおりにやればいいだけ。そんなに難しくないよ」
"Just follow the instructions. It's not ___rocket___ science."

0722 「急いで！時間がないよ。電車はあと 5 分で出るよ」
"Hurry up! Time is ___running___ out. The train leaves in five minutes."

0723 「ケン、授業のあと少し話せるかな」
"Can I have a ___word___ with you after class, Ken?"

0724 「申し出を考えて、月曜日までに返事をください」
"Think about the offer and get ___back___ to me by Monday."

0725 「オンライン授業は対面授業と同じくらい良いよ」「お言葉ですが、私はそう思いません」
"Online classes are just as good as real ones." "I beg to **differ** ."

0726 「顔が赤いよ。大丈夫？」「熱があって頭も痛いんだ」
"You look red. Are you OK?" "I have a **fever** and a headache."

0727 「今夜外食しようよ」「ごめん、給料日まで金欠なんだ」
"Let's eat out tonight." "Sorry, I'm **broke** until payday."

0728 「決勝のタダ券？考えるまでもないよ。もちろん行く！」
"Free tickets to the final? It's a **no-brainer** . Of course I'll go!"

0729 「くじけないで。すぐに状況は良くなるよ」
"Keep your **chin** up. Things will get better soon."

0730 「よし、全員そろったね。本題に入ろう」
"OK, everyone is here. Let's get down to **business** ."

0731 「お招きありがとうございました。夕食とてもおいしかったです」「またいつでも来てね！」
"Thanks for **having** me. The dinner was wonderful." "Come again anytime!"

0732 「冷たい湖で泳ぎたい人いる？」「私はパス。凍えちゃうよ」
"Who wants to go swimming in the cold lake?" "Count me **out** . It's freezing."

0733 「試合でミスばかりしちゃった」「そんなに自分を責めないで」
"I made so many mistakes in the game." "Don't be so **hard** on yourself."

0734 「試合見に行くからね。がっかりさせないでよ！」
"I'll be there to watch your game. Don't let me **down** !"

0735 「ケーキもう少しどう？」「やめておくよ、ありがとう。お腹いっぱい」
"Do you want some more cake?" "I'll **pass** , thanks. I'm full."

0736 「店長と話せますか」「少々お待ちください。おつなぎします」
"Could I speak to the manager?" "One moment, please. I'll put you **through** ."

0737 「このボタンを縫うの手伝ってくれる？」「ごめん、不器用なんだ」
"Can you help me sew this button?" "Sorry, I'm all **thumbs** ."

0738 「すみません、海岸へはこの道で合っていますか」
"Excuse me, is this the **right** way to the beach?"

0739 「あの俳優の名前、何だっけ？喉まで出かかってるんだけど」
"What's the name of that actor? It's on the tip of my **tongue** ."

0740 「休暇のあと、調子はどう？」「絶好調だよ！」
"How are you feeling after your vacation?" "Never been **better** !"

0741 「運転免許の試験、一回で受かったよ！」「本当に！おめでとう！」
"I passed the driving test on my first try!" "No **kidding** ! Congratulations!"

0742 「じゃあ、私に怒ってるの？」「そういうわけじゃないよ。ちょっとがっかりしてるだけ」
"So you're angry with me?" "Not **exactly** . I'm just a little disappointed."

0743 「今夜はピザを頼まない？」「それは悪くないね」
"Why don't we order pizza tonight?" "That's not a bad **idea** ."

0744 「なんでまた列に並ばなきゃいけないの？」「すみません、そういう決まりなんです」
"Why do I have to wait in line again?" "Sorry, that's the **way** it is."

0745 「やあジム！どうしてここに？」「友達とランチの約束なんだ」
"Hi, Jim! What **brings** you here?" "I'm meeting a friend for lunch."

0746 「すみません、10 ドル札をくずしてもらえますか」
"Excuse me, do you have **change** for a ten-dollar bill?"

0747 「やあアンナ。新しい学校はどう？」「いい感じだよ、ありがとう」
"Hi, Anna. How's **everything** at your new school?" "Great, thanks."

0748 「彼女をダンスに誘うべきかな？」「今しかないよ。パーティーはもうすぐ終わるよ」
"Should I ask her to dance?" "It's now or **never** . The party is almost over."

0749 「猫の方が犬よりいいペットだよ」「まあ、そこは意見が違うってことにしておこう」
"Cats are better pets than dogs." "Well, let's agree to **disagree** on that."

0750 「ここには楽しいことがたくさんあるよ」「例えば？」
"There are lots of fun things to do here." " **Like** what?"

0751 「君の正々堂々とした勝ちだよ。恨みっこなしだ」
"You won fair and square. No **hard** feelings."

0752 「ケン、いつもより静かじゃない？」「そう言われてみれば、静かだね」
"Isn't Ken quieter than usual?" "Now that you **mention** it, he does seem quiet."

0753 「パスポート、上着のポケットに入ってたよ」「ああよかった！すごく心配だったんだ」
"Your passport was in your jacket pocket." "Thank **goodness** ! I was so worried."

0754 「面接のこと心配しないで。きっとうまくいくから」
"Don't worry about the interview. Things will **work** out fine."

0755 「紅茶をもう少しいかがですか」「いいえ、結構です」
"Would you **care** for some more tea?" "No, thank you. I'm fine."

0756 「借りた本、返すの忘れちゃった」「気にしないで。来週持ってきて」
"I forgot to bring your book back." "Don't **sweat** it. Bring it next week."

0757 「ロンドンに着いたら連絡してね」「するよ！」
"Drop me a **line** when you get to London." "I will!"

0758 「パスタをお持ちしました。ごゆっくりどうぞ」「ありがとう。おいしそう」
"Here's your pasta. Enjoy your **meal** ." "Thank you. It looks delicious."

0759 「なんで授業が休講になったの？」「まったく見当もつかないよ」
"Why was the class canceled?" "I don't have the **slightest** idea."

0760 「コンサートのチケット取ってもらえる？」「何とかしてみるよ」
"Can you get me a ticket for the concert?" "I'll **see** what I can do."

0761 「もう少し待とう。雨が小降りになってきたよ」
"Let's wait a little longer. The rain is **letting** up."

0762 「その仕事の話、受けるべきかな？」「決めるのは君だよ、私じゃない」
"Do you think I should take the job offer?" "It's your **call**, not mine."

0763 「結婚するんだけど、今は人に言わないでね」
"I'm getting married, but please keep it to **yourself** for now."

0764 「彼女は今年もスピーチコンテストで優勝するよ」「間違いないね。すごいもん」
"She'll win the speech contest again this year." "No **doubt**. She's amazing."

0765 「旅行のたった１日に雨が降っちゃった」「まあ、そんなもんだよ」
"It rained on the only day of our trip." "Oh well, that's **life**."

0766 「あなたのためにクッキーを焼いたよ」「ありがとう！最高の日になったよ」
"I baked these cookies for you." "Thank you! You **made** my day."

0767 「チケットはまだありますか」「運がいいですね。２枚残っています」
"Do you have any tickets left?" "You're in **luck**. We have two."

0768 「金曜日までノートを貸していただけないでしょうか」
"Could you **possibly** lend me your notes until Friday?"

0769 「試験勉強に疲れたよ」「同じく。少し休憩しよう」
"I'm tired of studying for exams." "**Ditto**. Let's take a short break."

0770 「トムはすぐにお金を返してくれるかな？」「期待しない方がいいよ」
"Will Tom pay back the money soon?" "Don't hold your **breath**."

0771 「彼が私の絵を下手だって言ったの」「真に受けないで。冗談だよ」
"He said my drawing was ugly." "Don't take it to **heart**. He was just joking."

0772 「この仕事に飽きてるんでしょ」「とんでもない。大好きだよ」
"I guess you're bored with this job." "**Far** from it. I love it."

0773 「デザートはいかが？」「いえ、結構です。お腹いっぱいで」
"Would you like some dessert?" "No, thanks. I'm **stuffed**."

0774 「この列に１時間も並んでるんだよ！」「こっちも同じだよ」
"I've been waiting in this line for an hour!" "Join the **club**."

0775 「悪気はないんだけど、君の歌、ちょっと声が大きいよ」「気にしてないよ」
"No **offense**, but your singing is a little loud." "None taken."

0776 「明日までにこれを終わらせられる？」「楽勝だよ。今夜中に終わらせるね」
"Can you finish this by tomorrow?" "No ___sweat___. I'll have it done tonight."

0777 「申し訳ありません、彼女は別の電話に出ております。お待ちになりますか」
"I'm sorry, she's on ___another___ line. Would you like to hold?"

0778 「この店は町で一番おいしいラーメンを出すよ。本当だって」
"This restaurant has the best ramen in town. Take my ___word___ for it."

0779 「すみません、見覚えがあるのですが。同じ学校でしたっけ？」
"Excuse me, you look ___familiar___. Did we go to the same school?"

0780 「5 時までは出られないけど、7 時までには着くよ」「それでいいよ」
"We can't leave until five, but we'll get there by seven." "I can ___live___ with that."

0781 「マイクは本当にエイミーをデートに誘ったの？」「うん、誘ったよ」「やっぱりね！」
"Did Mike really ask Amy out?" "Yes, he did." "I ___knew___ it!"

0782 「ここで待ってて。ちょっと店に行ってくる。すぐ戻るから」
"Wait here. I'm just going to the store. I won't be ___long___."

0783 「差し支えなければ、おいくつですか」
"If you don't mind my ___asking___, how old are you?"

0784 「仕事の結果は来週分かるんだ」「頑張って。分かったら教えてね！」
"I'll hear about the job next week." "Good luck. Keep me ___posted___!"

0785 「この冬は一度も風邪をひいてないんだ。このまま続くといいけど」
"I haven't caught a cold all winter, knock on ___wood___."

0786 「新しい自転車貸してくれる？」「絶対だめ！」
"Will you lend me your new bike?" "Not a ___chance___!"

0787 「もう授業に行かなきゃ。またね！」
"I have to go to class now. See you ___around___!"

0788 「うちのおばあちゃん、何歳だと思う？当ててみて」「70 歳？」
"How old do you think my grandmother is? Take a ___guess___." "Seventy?"

0789 「新しい仕事といい部屋が見つかったよ。上向いてきた！」
"I found a new job and a nice apartment. Things are ___looking___ up!"

0790 「おかえり！カナダ旅行はどうだった？」
"Welcome ___back___! How was your trip to Canada?"

0791 「なんでそんな浮かない顔してるの？学校で何かあった？」
"Why the long ___face___? Did something bad happen at school?"

0792 「アイスを 3 つ食べたらお腹を壊した」「まあ、自業自得だね」
"I got sick after eating three ice creams." "Well, you ___asked___ for it."

0793 今日はすごく暑い。冷たい飲み物があるとありがたいな。
It's so hot today. I could really ___use___ a cold drink.

0794 夕食ができたよ。冷めないうちにみんなどうぞ食べて！
Dinner is ready, so everyone, please ___dig___ in before it gets cold!

0795 「迷惑かけてる？」「何言ってるの。喜んで手伝うよ」
"Am I bothering you?" "Don't be ___silly___. I'm happy to help."

0796 「テストのことで怒ってるのは分かるけど、私に八つ当たりしないで」
"I know you're upset about the test, but don't take it ___out___ on me."

0797 「今すぐ買おうよ！」「ちょっと待って。まず値段を比べよう」
"Let's buy it right now!" "Hold your ___horses___. Let's compare prices first."

0798 「ピザをもう一切れどう？」「じゃあ遠慮なくいただきます」
"Would you like another slice of pizza?" "I don't ___mind___ if I do."

0799 「この時計は本物の金で、たった 10 ドルだよ」「だまされないよ」
"This watch is real gold and costs only ten dollars." "I wasn't ___born___ yesterday."

0800 「自転車直してくれたの？ありがとう！」「大したことないよ。5 分で済んだし」
"You fixed my bike? Thank you!" "It was ___nothing___. It only took five minutes."

0801 「この中古自転車、たった 50 ドルだよ。ただみたいなもんだ！」
"This used bike is only fifty dollars. It's a ___steal___!"

0802 「スマホの画面割っちゃった！」「この世の終わりじゃないよ。直せるって」
"I broke my phone screen!" "It's not the ___end___ of the world. You can fix it."

0803 ごめん、前を見てなかった。
My ___bad___, I wasn't looking where I was going.

0804 「いつも玄関に靴を出しっぱなしにしてるよ」「ごもっとも。片付けるよ」
"You always leave your shoes in the hall." "Point ___taken___. I'll put them away."

0805 「あとで写真を送ってくれる？」「いいとも。今夜送るよ」
"Could you send me the photos later?" "Sure ___thing___. I'll do it tonight."

0806 「修学旅行は沖縄になるんだって」「本当？初耳だよ」
"The school trip is going to be in Okinawa." "Really? That's ___news___ to me."

0807 君にはすごい才能がある。努力を続ければ、可能性は無限大だ！
You've got so much talent. If you keep working hard, the ___sky___ is the limit!

0808 「仕事でひどい一日だったよ」「寝なよ。明日は明日の風が吹くさ」
"I had a terrible day at work." "Get some sleep. Tomorrow is ___another___ day."

0809 「君は試験に受からないと思う」「どうしてそんなこと言うの？」
"I don't think you'll pass the exam." "Why ___would___ you say that?"

0810 「給料がいいだけじゃなく、本当に好きな仕事がしたいんだ。分かる？」
"I want a job I really love, not just one that pays well. You know what I **mean** ?"

0811 「たぶんコンテストで負けるよ」「分からないよ。とにかくベストを尽くして」
"I'll probably lose the contest." "You **never** know. Just do your best."

0812 「何名様ですか」「2 名でお願いします」
"How many in your party?" "A **table** for two, please."

0813 「ハクション！」「お大事に。風邪？」「ただのアレルギーだよ」
"Achoo!" " **Bless** you. Do you have a cold?" "Just allergies."

0814 「今日は店長の機嫌が悪いから、自分のせいだと思わないで」
"The manager is in a bad mood today, so don't take it **personally** ."

0815 「昨日の会議に出られなかったんだ。何があったか教えてくれる？」
"I missed the meeting yesterday. Can you **fill** me in?"

0816 「南口じゃなくて北口で会おうね」「了解。北口ね」
"Meet me at the north exit, not the south one." " **Gotcha** . North exit."

0817 「旅行に他に何か要る？」「いや、準備万端だよ。ありがとう」
"Do you need anything else for the trip?" "No, I'm all **set** . Thanks."

0818 「新しい店はうまくいくかな？」「まだ何とも言えないね」
"Will the new store be successful?" "It's too soon to **tell** ."

0819 「春休みにハワイに行くんだ」「いいなあ！」
"I'm going to Hawaii for spring vacation." " **Lucky** you!"

0820 「しっかりして。泣いても何も解決しないよ」
"Pull yourself **together** . Crying won't solve anything."

0821 「私の見方では、このプロジェクトを終えるにはもっと時間が必要だね」
"The way I **see** it, we need more time to finish this project."

0822 大阪に引っ越すんだってね。新しい仕事、頑張ってね。
I heard you're moving to Osaka, so all the **best** with your new job.

0823 「こちらが父です」「初めまして。お会いできてうれしいです」
"This is my father." " **How** do you do? I'm glad to meet you."

0824 「今話せる？」「ごめん、今手が離せないんだ。あとでかけ直していい？」
"Can you talk now?" "Sorry, I'm **tied** up right now. Can I call you later?"

0825 一晩中勉強したのにテストに落ちた。でも仕方ないよ。
I failed the test even after studying all night, but it is **what** it is.

0826 「確認させて。朝 4 時に空港まで車で送ってほしいってこと？」
"Let me get this **straight** . You want me to drive you to the airport at four a.m.?"

0827 「はっきり言っておきます。テスト中はスマホ禁止です」
"Let me make myself ___clear___. Phones are not allowed during the test."

0828 「夜中まで起きててもいい？もうすぐ週末だし」「その手には乗らないよ。寝なさい」
"Can I stay up until midnight? It's almost the weekend." "Nice ___try___. Go to bed."

0829 「お母さんにうそをついたの？恥を知りなさい！」
"You lied to your mother? ___Shame___ on you!"

0830 「昨日のパーティー楽しかった？」「まあね。知り合いがあまりいなかったから」
"Did you enjoy the party last night?" "___Sort___ of. I didn't know many people."

0831 「この紙はポスターに十分な大きさ？」「うん、それでちょうどいいよ」
"Is this paper big enough for the poster?" "Yes, that ___will___ do nicely."

0832 「明日は 5 時に起きてジョギングするよ」「はいはい、どうだか」
"I'll get up at five tomorrow and go jogging." "Yeah, ___right___."

0833 「その映画、評判がすごくいいし、チケットも安いよ」「分かった、その気になったよ」
"The movie got great reviews, and the tickets are cheap." "OK, you ___convinced___ me."

0834 「明日が決勝なんだ」「あんなに練習したんだから。君なら大丈夫！」
"The final is tomorrow." "You've practiced so hard. You've ___got___ this!"

0835 「チームの勝利を祝おう。乾杯！」
"Let's celebrate our team's victory. ___Cheers___!"

0836 「このプリンター、どうやって直すの？」「私に聞かないで。機械は苦手なんだ」
"How do I fix this printer?" "Don't ___ask___ me. I'm terrible with machines."

0837 「先生、テストを中止してくれると思う？」「期待しない方がいいよ」
"Do you think the teacher will cancel the test?" "___Don't___ count on it."

0838 「みんなの前でコーチに怒鳴られたんだ」「そんなに気にしないで」
"The coach yelled at me in front of everyone." "Don't take it so ___hard___."

0839 「今週 3 回も授業を休んだでしょ。しっかりしなさい！」
"You missed class three times this week. Get your ___act___ together!"

0840 「弟と妹がテレビのことでけんかしてる。また始まった」
"My brother and sister are fighting about the TV. Here we ___go___ again."

0841 「君がチームで一番うまいよ」「そうとは言えないな。ケンの方がずっとうまいよ」
"You're the best player on the team." "I ___wouldn't___ say that. Ken's much better."

0842 「今夜出かけない？」「ごめん、くたくたなんだ。一日中働いたから」
"Want to go out tonight?" "Sorry, I'm ___beat___. I worked all day."

0843 「なんで片方しか靴を履いてないの？」「話せば長くなるんだ」
"Why are you wearing one shoe?" "It's a long ___story___."

0844 「出かけたい？それとも家にいる？」「私はどっちでもいいよ」
"Do you want to go out or stay in?" "It's all the **same** to me."

0845 「現実を見よう。もっと練習しないとこの試合は勝てないよ」
"Let's **face** it. We can't win this game without more practice."

0846 「謝るつもりはないよ」「分かった、勝手にすれば」
"I'm not going to apologize." "Fine, have it your **way**."

0847 「あの仕事どうしても欲しいんだ」「店長を知ってるから、口添えしておくよ」
"I really want that job." "I know the manager. I'll put in a good **word** for you."

0848 「この古い車でも楽に大阪まで行けるよ」「まあ、君がそう言うならね」
"This old car will easily get us to Osaka." "Well, if you **say** so."

0849 「疲れてるみたいだね」「長い一日だったよ。とにかく寝たい」
"You look tired." "It's been a **long** day. I just want to sleep."

0850 バスに乗り遅れ、コーヒーをこぼし、鍵を忘れた。今日はついてないな。
I missed the bus, spilled my coffee, and forgot my keys. It's not my **day**.

0851 「こう言えば分かるかな。勉強しなければ受からないよ」
"Let me **put** it this way: if you don't study, you won't pass."

0852 「明日、歴史の授業でテストある？」「私の知る限りではないよ」
"Is there a test in history class tomorrow?" "Not that I **know** of."

0853 「彼、ご飯に砂糖をかけるんだよ」「まあ、好みは人それぞれだね」
"He puts sugar on his rice." "Well, to **each** his own."

0854 「髪型変えたって教えてくれなかったじゃない！」「それが何なの？」
"You didn't tell me you changed your hair!" "What's the big **deal**?"

0855 失礼な隣人がやっと引っ越していった。正直せいせいした！
The rude neighbor finally moved away, and honestly, good **riddance**!

0856 こんなに暑い日には、このアイスコーヒーがまさに最高だ。
This iced coffee really hits the **spot** on such a hot day.

0857 「勝手に私の日記を読むなんて、よくもそんなことができるわね！」
"How **dare** you read my diary without asking!"

0858 「プロの歌手になるべきだよ」「ありがとう。光栄だよ」
"You should be a professional singer." "Thank you. I'm **flattered**."

0859 「このセーターの黒はありますか」「お調べしますね」
"Is this sweater available in black?" "Let me **check** that for you."

0860 「君はいつも遅刻するね！」「人のこと言えないでしょ！昨日遅刻したくせに」
"You're always late!" "Look who's **talking**! You were late yesterday."

0861 「パンケーキとコーヒーにします」「それを 2 つにしてください」
“I'll have the pancakes and coffee.” “Make that **two** , please.”

0862 プロジェクト全部を時間どおりに終わらせたの？完璧だね！
You finished the whole project on time? You **nailed** it!

0863 「ぶつかってしまってごめんなさい！」「大丈夫、何ともないですよ」
“Oh, I'm sorry I bumped into you!” “That's OK, no **harm** done.”

0864 「電車が遅れてるって」「またなの！今週 3 回目だよ」
“The train is delayed.” “Not **again** ! That's the third time this week.”

0865 「おっと！カーペットにジュースをこぼしちゃった」「大丈夫、タオル持ってくるね」
“ **Oops** ! I just spilled juice on the carpet.” “Don't worry, I'll get a towel.”

0866 「もう決めたの。引っ越しはしない、話はそれで終わり」
“I've **decided** . We're not moving, and that's that.”

0867 しまった、また台所のテーブルに家の鍵を置いてきた！
Darn it, I left my house keys on the kitchen table again!

CHAPTER 6

比喩のイディオムとことわざ

break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。 No.0868〜1240（373 問）

問題

0868 □□□

My grandfather often says that his eighty years have passed in the ———— of an eye.

① glance ② blink
③ sight ④ look

解答・解説（赤シートで隠せます）

② **in the blink of an eye 一瞬のうちに；あっという間に**

訳 祖父は、自分の 80 年はあっという間に過ぎたとよく言う。

解説 「瞬きする間に＝あっという間に」は in the blink of an eye で、名詞は blink に決まっている。glance は at a glance（一目で）の形で使い、in the glance of an eye とは言わない。sight（視界）や look（見ること）もこの決まった形には入らない。80 年が一瞬に感じられたという文意に合う。

区別 **in the blink of an eye ⇔ at a glance** at a glance は「一目見ただけで」で、見て分かる・判断する動作（recognize / tell）と組む。in the blink of an eye は出来事が起こる速さを表す。見分け方：見て分かる話なら at a glance、物事がすぐ終わる・消えるなら in the blink of an eye。

0869 □□□

They met at a summer camp and fell head over heels ———— love with each other.

① into ② in
③ on ④ at

② **head over heels (in love)**
（〜に）夢中で；ぞっこんで

訳 2 人はサマーキャンプで出会い、お互いにすっかり夢中になった。

解説 head over heels in love with ~ で「〜にぞっこん惚れて」。love の前は fall in love と同じく in で決まっている。into は動作の方向を表すが、fall into love とは言わない。on / at も love と組んでこの意味にならない。後ろの with each other が恋の相手を示している。

区別 **head over heels (in love) ⇔ fall for ~** fall for ~ も「〜に惚れる」だが、「〜にだまされる」（fall for a trick）の意味もある動詞句。head over heels は「夢中の度合い」を強める副詞句で、だます意味はない。見分け方：うそ・策略が目的語なら fall for。

0870 ☐☐☐

As soon as the teacher left the classroom, the students started chatting and throwing paper planes.

_____

① Barking dogs seldom bite.
② When the cat's away, the mice will play.
③ Let sleeping dogs lie.
④ Many hands make light work.

② When the cat's away, the mice will play.

猫がいないとネズミが遊ぶ；鬼の居ぬ間に洗濯

訳 先生が教室を出て行くとすぐに、生徒たちはおしゃべりをしたり紙飛行機を飛ばしたりし始めた。鬼の居ぬ間に洗濯だ。

解説 先生（見張り役）がいなくなった途端に生徒が騒ぎ出したので When the cat's away, the mice will play.。Barking dogs seldom bite. は「よくほえる者ほど実行しない」、Let sleeping dogs lie. は「余計な問題を蒸し返すな」、Many hands make light work. は「人手が多いと仕事が楽」で、監視がない間に羽目を外す場面を表せない。

区別 **When the cat's away, the mice will play. ⇔ Let sleeping dogs lie.** Let sleeping dogs lie. は「寝た子を起こすな＝わざわざ問題を蒸し返すな」という忠告。When the cat's away ... は監視がないと人が怠けるという観察。見分け方：見張りがいない間の行動なら cat's away、余計なことをするなという忠告なら sleeping dogs。

0871 ☐☐☐

Everyone knew the company was losing money, but nobody at the meeting mentioned it. It was _____.

① the elephant in the room
② the tip of the iceberg
③ a white elephant
④ a red herring

① the elephant in the room

誰もが気づいているのに触れない大問題

訳 会社が赤字だということは誰もが知っていたが、会議では誰もそれに触れなかった。それは誰もが気づいていながら口にしない大問題だった。

解説 誰もが知っているのに会議で誰も触れなかった問題なので the elephant in the room。a white elephant は「金ばかりかかる無用の長物」、the tip of the iceberg は「氷山の一角」、a red herring は「注意をそらすためのもの」で、皆が知りながら避けている話題を表せない。

区別 **the elephant in the room ⇔ a white elephant** a white elephant は「費用ばかりかかって役に立たない物（無用の長物）」で、巨大な建物・施設などに使う。the elephant in the room は避けられている話題。見分け方：誰も触れない問題なら in the room、役に立たない高価な物なら white elephant。

0872 ☐☐☐

The "free" trip turned out to require attending a three-hour sales talk. There's no such ＿＿＿＿ as a free lunch.

① thing　② case
③ matter　④ way

① There's no such thing as a free lunch.

ただの昼食などない；ただより高いものはない

訳 その「無料」旅行には、3 時間の販売説明会への参加が必要だと分かった。ただより高いものはない。

解説 「～などというものはない」は There's no such thing as ～ で、名詞は thing に決まっている。way / case / matter を入れても no such ～ as の決まった形にならない。無料の旅行に長い販売説明会が付いていたという、ただには裏があるという場面に合う。

区別 **There's no such thing as a free lunch. ⇔ You get what you pay for.** You get what you pay for. は「払った分だけのものが手に入る＝安物は安物」。free lunch は「無料に見えても実は代償がある」。見分け方：安さ・品質の関係なら You get what you pay for、無料・うまい話の裏なら free lunch。

0873 ☐☐☐

He cheated his business partners for years, and now he has been cheated out of all his money. ＿＿＿＿

① Time will tell.
② What goes around comes around.
③ The more, the merrier.
④ Better late than never.

② What goes around comes around.

行ったことは自分に返ってくる；因果応報

訳 彼は何年も仕事仲間をだましてきたが、今度は自分がお金を全部だまし取られた。因果応報だ。

解説 人をだましてきた人が今度は自分がだまされた、という報いの場面なので What goes around comes around.。Time will tell. は「時が経てば分かる」で結果がまだ出ていないときの言葉。The more, the merrier. は「多いほど楽しい」、Better late than never. は「遅くてもやらないよりまし」で、報いを表さない。

区別 **What goes around comes around. ⇔ Two wrongs don't make a right.** Two wrongs don't make a right. は「仕返しをしても正しくはならない」と報復を戒める言葉。What goes around comes around. は行いが自然に本人に返る、という観察。見分け方：仕返しを止めるなら two wrongs、報いが巡ってきたなら goes around。

0874 □□□

You want a high-paying job and plenty of free time? Sorry, but you can't have your cake and ———— it too.

① keep ② share
③ eat ④ bake

③ You can't have your cake and eat it (too).
ケーキを持っていて食べることはできない；二兎を追う者は一兎をも得ず

訳 高い給料と十分な自由時間の両方が欲しいって？ 悪いけど、そんなうまい話はないよ。

解説 決まった形は have your cake and eat it で、「取っておく（have）」と「食べる（eat）」が両立しないことを言う。keep にすると have と同じ「取っておく」で矛盾がなくなり、教訓にならない。share（分ける）や bake（焼く）も決まり文句ではない。高収入と自由時間の両立を求める相手をたしなめる場面に合う。

区別 **You can't have your cake and eat it (too). ⇔ If you run after two hares, you will catch neither.** two hares は「2 つを同時に追うと両方とも失敗する」で、努力が分散する失敗を言う。have your cake は「両立しないものを両方欲しがるのは無理」で、選択を迫る。見分け方：二つの目標を同時に追う失敗なら two hares、矛盾する欲張りなら cake。

0875 □□□

We missed the train, lost our tickets, and got caught in the rain. To make a long story ————, we never made it to the concert.

① brief ② short
③ shorter ④ small

② (to) make a long story short
かいつまんで言うと；要するに

訳 私たちは電車に乗り遅れ、チケットをなくし、雨にも降られた。かいつまんで言うと、結局コンサートには行けなかった。

解説 決まった形は make a long story short（make A B の B に形容詞 short）。brief も「短い」という意味だが、この決まり文句には使わない。比較級 shorter にすると形が崩れる。small は大きさを表し、話の長さには使わない。いろいろあった末の結末を言う前置きとして合う。

区別 **(to) make a long story short ⇔ in short** in short は「要するに」と前の内容をまとめ直す副詞句で、書き言葉でも普通に使う。make a long story short は長い経緯を話すのを途中でやめて結末だけ言う、くだけた語り口。見分け方：出来事の顛末を語る場面なら make a long story short。

0876 □□□

Winning the scholarship was a golden opportunity ———— her to study at a top university abroad.

① of ② to
③ at ④ for

④ a golden opportunity 絶好の機会

訳 奨学金を得たことは、彼女にとって海外の一流大学で学ぶ絶好の機会だった。

解説 不定詞 to study の意味上の主語（彼女が勉強する）は for で示すので、a golden opportunity for her to study。of を使うのは It is kind of you to ~ のように人の性格を評価する形容詞のとき。to her to study / at her は形にならない。留学の絶好の機会という文意に合う。

区別 **a golden opportunity ⇔ once-in-a-lifetime** once-in-a-lifetime は「一生に一度の」で、機会や経験の名詞の前に置く形容詞（a once-in-a-lifetime chance）。a golden opportunity は機会の価値の高さ。どちらも「逃すな」という文脈で使うが、once-in-a-lifetime は二度と来ない点を強調する。

0877 ☐☐☐

My mother told me to stop hanging around with those troublemakers. She said, '＿＿＿＿'

① A man is known by the company he keeps.
② Ignorance is bliss.
③ Patience is a virtue.
④ Variety is the spice of life.

① A man is known by the company he keeps.
人は付き合う仲間で分かる；類は友を呼ぶ

訳 母は私に、あの問題児たちとつるむのはやめなさいと言った。「人は付き合う仲間で分かるのよ」と。

解説 問題児たちと付き合うなという忠告なので、「付き合う仲間で人柄が判断される」の A man is known by the company he keeps.。Ignorance is bliss. は「知らぬが仏」、Patience is a virtue. は「忍耐は美徳」、Variety is the spice of life. は「変化は人生を楽しくする」で、交友関係への忠告にならない。

区別 **A man is known by the company he keeps. ⇔ Birds of a feather flock together.** Birds of a feather flock together. は「似た者同士が集まる（類は友を呼ぶ）」という事実の観察。A man is known by the company he keeps. は「仲間から本人の人柄が判断される」という評価の視点。見分け方：交友関係で人を判断する・忠告するなら known by。

0878 ☐☐☐

Writing a 20-page report by tomorrow morning is a ＿＿＿＿ order, but I'll do my best.

① heavy　② high
③ tall　④ deep

③ a tall order 無理な注文；難しい要求

訳 明日の朝までに 20 ページの報告書を書くのは無理な注文だが、最善を尽くします。

解説 「無理な注文」は a tall order で、形容詞は tall に決まっている。high は「高い」という意味では近いが、この決まり文句には使わない。heavy（重い）、deep（深い）も order と組んで難しい要求を表さない。後半の「でも最善を尽くす」が、難しい頼みだと認める流れに合う。

区別 **a tall order ⇔ out of order** out of order は「故障して・順番が狂って」で、order は「秩序・順番」。a tall order の order は「注文・要求」。見分け方：要求の難しさなら a tall order、機械の故障なら out of order。

0879 ☐☐☐

The poor test result was a ＿＿＿＿ for him; he started studying much harder the very next day.

① close call　② roll call
③ last call　④ wake-up call

④ a wake-up call 警鐘；目を覚まさせる出来事

訳 悪いテスト結果は彼にとって警鐘となり、まさに翌日から彼はずっと熱心に勉強し始めた。

解説 悪い成績が反省して勉強を始めるきっかけになったので a wake-up call（警鐘）。a close call は「危機一髪で助かったこと」で、悪い成績が実際に出た場面には合わない。roll call は「点呼」、last call は「（酒場の）ラストオーダー・最終案内」で文脈と無関係。

区別 **a wake-up call ⇔ a close call** a close call は「危機一髪・危ないところ」で、悪いことがすんでのところで起こらなかった場合。a wake-up call は悪いことが実際に起き、それで目が覚めた場合。見分け方：助かった話なら close call、反省のきっかけなら wake-up call。

0880 □□□

The friendly salesman turned out to be a wolf in _____ clothing; he had cheated dozens of elderly people.

① sheeps'　② sheep
③ sheep's　④ the sheep

③ a wolf in sheep's clothing
羊の皮をかぶった狼；優しそうに見えて危険な人

訳 その愛想のいいセールスマンは羊の皮をかぶった狼だと分かった。何十人ものお年寄りをだましていたのだ。

解説 決まった形は a wolf in sheep's clothing で、所有格 sheep's が clothing を修飾する。sheep は単数も複数も sheep なので sheeps' という形はない。所有格なしの sheep clothing や the sheep clothing も決まり文句ではない。親切そうな人がだましていたという場面に合う。

区別 **a wolf in sheep's clothing ⇔ a black sheep** a black sheep は「（家族・集団の）厄介者・はみ出し者」。a wolf in sheep's clothing は「善人を装った悪人」。見分け方：集団の中の困り者なら black sheep、正体を隠した危険人物なら wolf in sheep's clothing。

0881 □□□

He is a strong tennis player in almost every way, but his weak serve is his Achilles' _____.

① foot　② heel
③ toe　④ knee

② Achilles' heel （唯一の）弱点；アキレス腱

訳 彼はほとんどあらゆる点で強いテニス選手だが、弱いサーブが唯一の弱点だ。

解説 「唯一の弱点」は Achilles' heel で、体の部分は heel（かかと）に決まっている。アキレスが唯一水に浸からなかったかかとを射られた神話から来ている。foot / toe / knee では決まり文句にならない。ほかは強いがサーブだけが弱いという文意に合う。

区別 **Achilles' heel ⇔ weak point** weak point は一般的な「弱点」で、いくつあってもよい。Achilles' heel は全体として強い中で致命的な一点の弱さを言う。見分け方：唯一の急所を強調するなら Achilles' heel。

0882 □□□

His rude comment only added _____ to the fire, and the argument became even more heated.

① fuel　② water
③ salt　④ insult

① add fuel to the fire 火に油を注ぐ

訳 彼の失礼な発言は火に油を注いだだけで、口論はさらに激しくなった。

解説 「火に油を注ぐ（状況を悪化させる）」は add fuel to the fire。water を入れると火を消すことになり、口論が激しくなった結果と逆。salt は rub salt into the wound（傷口に塩を塗る）の形で使う。insult は add insult to injury の形で、to the fire とは組まない。

区別 **add fuel to the fire ⇔ add insult to injury** add insult to injury は「（傷ついた人を）さらに侮辱する・踏んだり蹴ったり」で、被害者が一人で不運や侮辱が重なる場面。add fuel to the fire は争い・怒りなどを激しくする。見分け方：口論・対立が激しくなるなら fuel to the fire。

0883 □□□

When Tom agreed to manage three big projects at once, he soon realized he was in over his ＿＿＿＿.

① heels　② head
③ shoulders　④ mind

② be in over one's head

手に負えない状況にある；お手上げだ

訳 大きなプロジェクトを 3 つ同時に管理することを引き受けたトムは、すぐに自分の手に負えないと気づいた。

解説 「手に負えない状況にある」は be in over one's head で、頭まで水に浸かった図から来ている。heels は head over heels（夢中で）と混同した誤り。shoulders や mind では決まり文句にならない。3 つの大きな仕事を抱え込んだという文脈に合う。

区別 **be in over one's head ⇔ over one's head** in のない (go) over one's head は「（話などが）理解できない・難しすぎる」（The lecture went over my head）。in over one's head は「状況・仕事が手に負えない」。見分け方：話の理解なら go over、抱えた問題なら be in over。

0884 □□□

My father still refuses to use a smartphone. I think he's a little behind the ＿＿＿＿.

① times　② time
③ age　④ date

① behind the times　時代遅れで

訳 父はいまだにスマートフォンを使おうとしない。少し時代遅れだと思う。

解説 「時代遅れで」は behind the times で、times は「時代」の意味の複数形。単数の time にすると behind time（予定より遅れて）と混同した形になり、the も付かない。age や date ではこの決まり文句にならない（out of date なら「時代遅れの」）。スマホを使わない父を評する文に合う。

区別 **behind the times ⇔ behind time** behind time（the なし・単数）は「定刻より遅れて」（The train is behind time）で、予定時刻の話。behind the times は流行・時代の流れから遅れている。見分け方：時刻表・締め切りなら behind time、考え方・技術なら behind the times。

0885 □□□

The new scholarship program aims to ＿＿＿＿ the gap between rich and poor students.

① build　② break
③ bridge　④ raise

③ bridge the gap (between A and B)

（A と B の）隔たりを埋める

訳 その新しい奨学金制度は、裕福な学生と貧しい学生の格差を埋めることを目指している。

解説 「隔たりを埋める」は bridge the gap で、2 つの間に橋を架ける発想。build the gap は「溝を作る」ことになり、奨学金の目的と逆。break は「壊す」で gap と組まない。raise は「上げる」で、差を縮める意味にならない。between rich and poor students と 2 者の差を示す形にも合う。

区別 **bridge the gap (between A and B) ⇔ fill the gap** fill the gap は「空いた穴・欠けた部分を埋める」（人手不足・空白期間など）で、1 つのものの欠けを補う。bridge the gap は 2 つの間の隔たりに橋を架けてつなぐ。見分け方：between A and B と 2 者が出てくるなら bridge が中心。

0886 □□□

He spends so much time on tiny details that he can't see the forest _____ the trees.

① from　② for
③ in　④ of

② can't see the forest for the trees　木を見て森を見ず

訳 彼はささいな細部に時間をかけすぎて、木を見て森を見ずになっている。

解説 決まった形は can't see the forest for the trees で、for は「木のせいで（原因）」。from は「森を木から見分けられない」と読めそうなひっかけだが、決まり文句ではない（tell A from B と混同）。of / in も原因を表さない。細部に時間をかけすぎるという前半と合う。

区別 **can't see the forest for the trees ⇔ see the big picture** see the big picture は「全体像をつかむ・大局を見る」で、ほめる・勧める表現。can't see the forest for the trees はその逆で、細部ばかり見る失敗。見分け方：肯定的に全体を見るなら big picture。

0887 □□□

A: What if the hotel is fully booked when we arrive? B: Let's cross that bridge when we _____ to it.

① will come　② would come
③ come　④ came

③ Cross that bridge when you come to it.
橋に着いてから渡ればよい；取り越し苦労をするな

訳 A：着いたときにホテルが満室だったらどうしよう？　B：その時になってから考えよう。

解説 when 節は時の副詞節なので、未来のことでも現在形 come を使う。will come は未来のことに引きずられたひっかけ。would come や came は過去・仮定の形で、これからの話に合わない。まだ起きていない問題を心配する相手に「その時に考えよう」と返す場面。

区別 **Cross that bridge when you come to it. ⇔ Don't count your chickens before they hatch.** count your chickens は「とらぬ狸の皮算用をするな」で、まだ手に入っていない利益を当てにすることを戒める。cross that bridge はまだ起きていない問題を心配することを戒める。見分け方：楽観しすぎなら chickens、心配しすぎなら bridge。

0888 □□□

Even our math teacher, who never makes mistakes, got a simple calculation wrong today. _____

① Still waters run deep.
② Out of sight, out of mind.
③ Practice makes perfect.
④ Even Homer sometimes nods.

④ Even Homer sometimes nods.
ホメロスでさえ居眠りすることがある；弘法も筆の誤り

訳 決して間違えない数学の先生でさえ、今日は簡単な計算を間違えた。弘法も筆の誤りだ。

解説 決して間違えない先生が簡単な計算を間違えたので「名人も失敗する」の Even Homer sometimes nods.。Still waters run deep. は「物静かな人ほど奥が深い」、Practice makes perfect. は「習うより慣れよ」、Out of sight, out of mind. は「去る者は日々に疎し」で、名人の珍しい失敗を表せない。

区別 **Even Homer sometimes nods. ⇔ To err is human, to forgive divine.** To err is human ... は「人は誰でも間違える。許すのは神のわざ」で、間違えた人を許すよう勧める。Even Homer sometimes nods. は名人・専門家の失敗に限って使う。見分け方：偉い人の珍しいミスなら Homer。

0889 □□□

You broke the window and lied about it, so now you'll have to face the _____.

① song　② music
③ noise　④ sound

② face the music
（自分の行いの）報いを受ける；批判を甘んじて受ける

訳 君は窓を割った上にうそもついたのだから、その報いを受けなければならないよ。

解説 「（自分の行いの）報いを受ける」は face the music で、名詞は music に決まっている。song / sound / noise に変えると決まり文句にならず、意味も通らない。窓を割ってうそもついたので罰を受けなければならない、という流れに合う。

区別 **face the music ⇔ face the facts** face the facts は「現実を直視する」で、罰の意味はない。face the music は自分の過ちの結果としての罰・叱責を受ける。見分け方：叱られる・罰を受けるなら music。

0890 □□□

Don't worry so much about every detail of the trip. Just _____ with the flow and enjoy yourself.

① run　② go
③ take　④ come

② go with the flow 流れに身を任せる；周りに合わせる

訳 旅行の細かいことをいちいちそんなに心配しないで。流れに身を任せて楽しめばいいよ。

解説 「流れに身を任せる」は go with the flow で、動詞は go に決まっている。run with ~ は「（考えなど）を推し進める」、come with ~ は「～が付いてくる」、take は他動詞で with the flow と組まない。細かいことを気にせず楽しんで、という文意に合う。

区別 **go with the flow ⇔ swim against the tide** swim against the tide / go against the flow は「時流に逆らう・大勢と違うことをする」で正反対。go with the flow は大勢・成り行きに合わせる。見分け方：周りに合わせるなら with、逆らうなら against。

0891 □□□

I have _____ feelings about moving abroad; I'm excited, but I'm also a little scared.

① mix　② mixing
③ mixed　④ mixture

③ have mixed feelings (about ~)
（～について）複雑な心境である

訳 海外への引っ越しについては複雑な気持ちだ。わくわくしているが、少し怖くもある。

解説 「複雑な（入り混じった）気持ち」は mixed feelings。気持ちは「混ぜられた」状態なので過去分詞 mixed が正しい。mixing は「混ぜている」と能動の意味になり不可。mix（動詞の原形）や mixture（名詞）は feelings の前に置いて形容詞の働きをしない。わくわくと不安が混ざるという後半と合う。

区別 **have mixed feelings (about ~) ⇔ be in two minds (about ~)** be in two minds は「（～するかどうか）決めかねている」で、決断の迷い。have mixed feelings は感情が入り混じっている状態で、決断とは限らない。見分け方：するかしないか迷っているなら two minds。

0892 □□□

It's getting late. We should hit the _____ if we want to get home before dark.

① way ② track
③ street ④ road

④ hit the road 出発する；旅に出る

訳 遅くなってきた。暗くなる前に家に着きたいなら、そろそろ出発した方がいい。

解説 「出発する」は hit the road で、名詞は road に決まっている。way は on one's way / make one's way の形で使い、hit the way とは言わない。hit the streets は「街に繰り出す・（商品が）出回る」で別の意味。track も決まり文句ではない。暗くなる前に帰るために出発する、という文意に合う。

区別 **hit the road ⇔ hit the books** hit the books は「猛勉強する」、hit the sack / hay は「寝る」。どれも hit ＋ the ＋ 名詞の口語表現。見分け方：出発なら road、勉強なら books、寝るなら sack。

0893 □□□

Don't try to prepare for the piano contest and the math exam at the same time. If you run after two hares, you will catch _____.

① either ② neither
③ none ④ both

②

If you run after two hares, you will catch neither.
二兎を追う者は一兎をも得ず

訳 ピアノのコンクールと数学の試験の準備を同時にしようとしてはいけない。二兎を追う者は一兎をも得ずだ。

解説 2 匹のウサギのうち「どちらも捕まえられない」なので neither。either は肯定文では「どちらか一方」となり教訓にならない。both では両方捕まえることになり意味が逆。none は 3 つ以上のものについて「1 つも～ない」と言う語で、2 つのものには neither を使う。

区別 **If you run after two hares, you will catch neither. ⇔ You can't have your cake and eat it (too).** cake は「両立しない 2 つを同時に欲しがるな」。two hares は「同時に追うと努力が分散してどちらも失敗する」。見分け方：結果として両方逃すという警告なら two hares。

0894 □□□

A: Should I tell her that the expensive bag she bought online is actually a fake? B: Why bother? She's happy with it. _____

① Honesty is the best policy.
② Knowledge is power.
③ Seeing is believing.
④ Ignorance is bliss.

④ Ignorance is bliss. 知らぬが仏

訳 A：ネットで買った高いバッグが実は偽物だって、彼女に教えるべきかな？ B：わざわざ言うことないよ。本人は満足しているんだから。知らぬが仏だよ。

解説 偽物と知らずに満足しているのだから、わざわざ教えない方がよいという意見なので Ignorance is bliss.（知らぬが仏）。Honesty is the best policy.（正直が一番）や Knowledge is power.（知識は力）は真実を伝えるべきだという逆の立場。Seeing is believing. は「百聞は一見にしかず」で文脈と無関係。

区別 **Ignorance is bliss. ⇔ Knowledge is power.** Knowledge is power. は「知識は力なり」で、知ることを勧める正反対の考え。Ignorance is bliss. は知らないことの気楽さ。見分け方：あえて知らせない・知らない方がいいなら ignorance。

0895 □□□

A: I'm sorry the present is so small. B: Don't worry about that. It's the thought that ＿＿＿＿.

① count　② counts
③ is counted　④ calculates

② It's the thought that counts. 大切なのは気持ちだ

訳 A：ささやかなプレゼントでごめんね。　B：そんなこと気にしないで。大切なのは気持ちだよ。

解説 強調構文 It is ~ that ... の that 以下の主語は the thought（単数）なので、自動詞 count に 3 人称単数の s を付けて counts。count は主語と数が合わない。is counted は「数えられる」という受け身で、「重要だ」の意味にならない。calculates は「計算する」で意味が合わない。

区別 **It's the thought that counts. ⇔ count on ~**　count on ~ は「～を当てにする」。It's the thought that counts. の count は前置詞を取らない自動詞で「重要である・価値がある」（Every vote counts. ＝1 票 1 票が大事）。見分け方：後ろに何も続かなければ「重要だ」。

0896 □□□

We had a big argument last year, but I think it's time to let bygones ＿＿＿＿ bygones.

① be　② being
③ are　④ to be

① Let bygones be bygones. 過ぎたことは水に流そう

訳 去年は大げんかをしたけれど、そろそろ過ぎたことは水に流す時だと思う。

解説 let は使役動詞で let ＋ 目的語 ＋ 原形の形を取るので be。are は時制を持つ形で let の後ろに置けない。being（現在分詞）も to be（不定詞）も let A の後ろには来ない（allow A to do と混同しやすい）。けんかを水に流そうと持ちかける場面。

区別 **Let bygones be bygones. ⇔ water under the bridge**　water under the bridge は「済んだこと・もう気にしていないこと」という名詞句で、It's (all) water under the bridge. の形で使う。Let bygones be bygones. は「水に流そう」と相手に呼びかける命令文。

0897 □□□

I know you're still angry about what happened, but don't bring it up at the meeting. Let sleeping dogs ＿＿＿＿.

① lay　② to lie
③ lying　④ lie

④ Let sleeping dogs lie.
寝た子を起こすな；やぶへびになるようなことはするな

訳 あの件でまだ怒っているのは分かるけど、会議では持ち出さないで。寝た子を起こすなよ。

解説 let ＋ 目的語 ＋ 原形の形で、犬が「寝そべっている」のは自動詞 lie なので lie。lay は他動詞「横たえる」の原形（または lie の過去形）で、目的語がなく形が合わない。lying（現在分詞）や to lie（不定詞）は let A の後ろに置けない。

区別 **Let sleeping dogs lie. ⇔ lay（他動詞）**　lie（横たわる）は自動詞で lie-lay-lain、lay（横たえる・置く）は他動詞で lay-laid-laid。犬が自分で寝そべっている状態なので自動詞の原形 lie。lay は lie の過去形と同じ形なので特に間違えやすい。

0898 □□□

If all twenty of us help clean up after the party, we'll be finished in ten minutes. ＿＿＿＿

① Too many cooks spoil the broth.
② Haste makes waste.
③ Many hands make light work.
④ Slow and steady wins the race.

③ Many hands make light work.
人手が多ければ仕事は楽になる

訳 20 人全員でパーティーの後片付けを手伝えば、10 分で終わるよ。人手が多ければ仕事は楽になるからね。

解説 20 人全員で片付ければ 10 分で終わる、と人手の多さの利点を言っているので Many hands make light work.。Too many cooks spoil the broth. は人が多すぎるとうまくいかないという逆の教訓。Haste makes waste. は「急いては事を仕損じる」、Slow and steady wins the race. は「急がば回れ」で、人数の話ではない。

区別 **Many hands make light work. ⇔ Too many cooks spoil the broth.** Too many cooks spoil the broth. は「指図する人が多すぎると物事がうまくいかない」で、口を出す人が多すぎる弊害。Many hands make light work. は手を動かす人が多いと作業が楽になる利点。見分け方：単純な作業を手伝う人なら hands、意見・指示を出す人なら cooks。

0899 □□□

First I lost my wallet, then my bike was stolen, and now I have the flu. Misfortunes never come ＿＿＿＿.

① single　② lonely
③ singly　④ one

③ Misfortunes never come singly.
不幸は単独では来ない；泣きっ面に蜂

訳 まず財布をなくし、次に自転車を盗まれ、今度はインフルエンザにかかった。不幸は重なるものだ。

解説 動詞 come を修飾するので副詞 singly（一つずつ・単独で）が入る。single は形容詞で、come の後ろで「単独で」の意味を表せない。lonely も形容詞で「寂しい」という気持ちを表す語。one は数詞で、come one とは言わない。不幸が重なった場面に合う。

区別 **Misfortunes never come singly. ⇔ It never rains but it pours.** 意味はほぼ同じだが、It never rains but it pours. は「降れば必ず土砂降り」で、よいことが一度に重なる場合にも使うことがある。Misfortunes never come singly. は不幸に限る。

0900 □□□

If students start arriving late, we need to nip the problem in the ＿＿＿＿ before it gets worse.

① root　② seed
③ head　④ bud

④ nip ~ in the bud ～を芽のうちに摘む；早いうちに防ぐ

訳 生徒たちが遅刻し始めたら、悪化する前にその問題を芽のうちに摘む必要がある。

解説 「芽のうちに摘む」は nip ~ in the bud で、名詞は bud（つぼみ）に決まっている。root は root out（根絶する）と混同した誤りで、in the root とは言わない。seed や head でも決まり文句にならない。問題が悪化する前に早めに手を打つ、という文意に合う。

区別 **nip ~ in the bud ⇔ root out ~** root out ~ は「～を根絶する」で、すでに広がった問題を根こそぎなくす。nip ~ in the bud は問題が小さいうちに早めに止める。見分け方：早い段階で止めるなら bud、根本から取り除くなら root out。

0901 □□□

The small startup is now on the cutting _____ of robot technology.

① edge　② end
③ point　④ side

① on the cutting edge (of ~)　（～の）最先端で

訳 その小さな新興企業は、今やロボット技術の最先端にいる。

解説 「最先端で」は on the cutting edge of ~ で、名詞は edge（刃）に決まっている。side（側面）、end（端・終わり）、point（先端・要点）はどれも先端に関係しそうなひっかけだが、cutting と組んだ決まり文句にはならない。

区別 **on the cutting edge (of ~) ⇔ have the edge (over ~)** have the edge over ~ は「～より優位に立っている」で、競争相手との比較。on the cutting edge は技術・分野の最先端にいること。見分け方：ライバルより強いなら have the edge、分野の一番前なら cutting edge。

0902 □□□

Seeing the northern lights in Iceland was a _____ experience for me.

① once in a while
② once-in-a-lifetime
③ all-at-once
④ once-upon-a-time

② once-in-a-lifetime　一生に一度の；またとない

訳 アイスランドでオーロラを見たことは、私にとって一生に一度の体験だった。

解説 名詞 experience の前に置いて「一生に一度の」となる形容詞は once-in-a-lifetime。once in a while は「時々」という副詞句で名詞を修飾できず、オーロラ体験の特別さとも合わない。once-upon-a-time は「昔々の」、all-at-once は「一斉の・突然の」で、貴重な体験を表さない。

区別 **once-in-a-lifetime ⇔ once in a while** once in a while は「時々・たまに」という副詞句で、名詞の前に置けない。once-in-a-lifetime は「一生に一度の」と非常にまれなことを表す形容詞。見分け方：a ___ experience の空所に入るのは once-in-a-lifetime。

0903 □□□

A good manager must be able to see the big _____ instead of worrying about every small detail.

① scene　② view
③ image　④ picture

④ see the big picture　全体像を把握する；大局を見る

訳 よい管理職は、細かいことをいちいち気にするのではなく、全体像を把握できなければならない。

解説 「全体像を把握する」は see the big picture で、名詞は picture に決まっている。scene（場面）、view（眺め・意見）、image（印象・像）はどれも「見えるもの」に関係するひっかけだが、big と組んで大局の意味にはならない。細部にこだわらないという後半と合う。

区別 **see the big picture ⇔ get the picture** get the picture は「状況・事情が分かる」（I get the picture.＝分かった）。see the big picture は細部ではなく全体を見る視点を持つこと。見分け方：事情をのみ込んだなら get the picture、大局的な見方なら big picture。

0904 □□□

The eldest son received the _____ share of his father's fortune, while his sisters got very little.

① tiger's ② wolf's
③ lion's ④ king's

③ the lion's share (of ~)

（～の）一番大きな分け前；大部分

訳 長男が父親の財産の大部分を受け継ぎ、姉妹たちはほとんど何ももらえなかった。

解説 「一番大きな分け前・大部分」は the lion's share で、動物は lion に決まっている。tiger's / wolf's は強い動物を連想させるひっかけだが、決まり文句ではない。king's share も「王の分」とは読めても慣用表現ではない。姉妹はほとんどもらえなかったという後半と合う。

区別 **the lion's share (of ~) ⇔ a fair share** a fair share / one's share は「公平な分け前・自分の分」。the lion's share は全体の大部分で、ほかの人より圧倒的に多い。見分け方：公平な取り分なら fair share、独り占めに近いなら lion's share。

0905 □□□

Ken complained loudly about his tiny office and was given a bigger one, while the quiet workers got nothing.

_____

① The squeaky wheel gets the grease.
② Still waters run deep.
③ Silence is golden.
④ Barking dogs seldom bite.

① The squeaky wheel gets the grease.

きしむ車輪が油をさされる；声を上げる者が得をする

訳 ケンは自分の狭い事務室に大声で文句を言ってもっと広い部屋をもらったが、物静かな社員たちは何ももらえなかった。声を上げる者が得をするのだ。

解説 大声で不満を言った人が広い部屋をもらい、黙っていた人は何も得られなかったので The squeaky wheel gets the grease.。Silence is golden. は黙っている方がよいという逆の教訓。Still waters run deep. は「物静かな人ほど奥が深い」、Barking dogs seldom bite. は「よくほえる者ほど実行しない」で、声を上げた人が得をする場面ではない。

区別 **The squeaky wheel gets the grease. ⇔ Silence is golden.** Silence is golden.（沈黙は金）は黙っている方がよいという逆の教訓。The squeaky wheel gets the grease. は声を上げる者が得をするという観察。見分け方：主張した人が得をしたなら squeaky wheel。

0906 □□□

He puts ketchup on everything, even on ice cream. Well, there's no accounting _____ taste.

① for ② to
③ with ④ of

① There's no accounting for taste.

好みは説明できない；たで食う虫も好き好き

訳 彼は何にでもケチャップをかける。アイスクリームにまでだ。まあ、たで食う虫も好き好きだ。

解説 account for ~ は「～を説明する」で、There's no accounting for taste.（好みは説明できない）は for に決まっている。account of ~ は名詞の account（説明・記述）で使う形で、動名詞 accounting の後ろには来ない。to / with も account と組んでこの意味にならない。

区別 **There's no accounting for taste. ⇔ Beauty is in the eye of the beholder.** Beauty is in the eye of the beholder. は「美しさの感じ方は人それぞれ」で、外見・美的な評価に限って使う。There's no accounting for taste. は食べ物・服・趣味など好み全般で、皮肉の色が強い。

0907 □□□

A: I'll start studying for the exam next week. B: Why not today? There's no time like the ＿＿＿＿.

① moment　② future
③ past　④ present

④ There's no time like the present.
今に勝る時はない；思い立ったが吉日

訳 A：試験勉強は来週から始めるよ。　B：今日から始めたら？思い立ったが吉日だよ。

解説 先延ばしにする相手に「今すぐやろう」と勧める決まり文句は There's no time like the present.。the present は「現在」。future（未来）や past（過去）では「今やれ」の意味にならない。moment は意味の近いひっかけだが、決まり文句には使わない。

区別 **There's no time like the present. ⇔ Strike while the iron is hot.** Strike while the iron is hot. は「鉄は熱いうちに打て＝好機を逃すな」で、条件がそろった今を生かせという意味。There's no time like the present. は特に好機でなくても先延ばしをやめて今始めよ、という意味。

0908 □□□

A: Do you think the new restaurant will succeed? B: It's hard to say. Only time will ＿＿＿＿.

① speak　② teach
③ tell　④ talk

③ Time will tell. 時が教えてくれる；時が経てば分かる

訳 A：あの新しいレストランは成功すると思う？　B：何とも言えないな。時が経てば分かるよ。

解説 「時が経てば分かる」は Time will tell. で、動詞は tell に決まっている。tell は目的語なしで「（真実を）明らかにする」の意味になる。speak / talk は「話す」で、時が答えを示す意味にならない。teach は「教える」だが、この決まり文句には使わない。

区別 **Time will tell. ⇔ Your guess is as good as mine.** Your guess is as good as mine. は「私にも分からない」と自分の知識のなさを言う。Time will tell. は「今は誰にも分からないが、いずれ分かる」と将来に結論を預ける。

0909 □□□

I like trying a different restaurant every weekend. After all, variety is the ＿＿＿＿ of life.

① salt　② spice
③ taste　④ sugar

② Variety is the spice of life. 変化は人生のスパイス

訳 私は週末ごとに違うレストランを試すのが好きだ。何しろ、変化は人生のスパイスだから。

解説 決まった形は Variety is the spice of life. で、名詞は spice（香辛料）。salt / sugar も味付けを連想させるひっかけだが、この決まり文句には使わない（the salt of the earth は「善良な人々」で別の表現）。taste（味・好み）も不可。毎週違う店を試すという前半と合う。

区別 **Variety is the spice of life. ⇔ for a change** for a change は「気分転換に・たまには」という副詞句で、1回の行動に添える。Variety is the spice of life. は変化を楽しむべきだという一般的な教訓。

0910 ☐☐☐

I bought the cheapest headphones I could find, and they broke after only a week. Oh well, ＿＿＿＿

① you get what you pay for.
② the early bird catches the worm.
③ money doesn't grow on trees.
④ better late than never.

① You get what you pay for.

払った分だけのものが手に入る；安物買いの銭失い

訳 見つけられる中で一番安いヘッドホンを買ったら、たった1週間で壊れた。まあ、安物買いの銭失いだね。

解説 一番安いヘッドホンがすぐ壊れたので「安物は安物」の you get what you pay for.。the early bird catches the worm は「早起きは三文の徳」、money doesn't grow on trees は「お金は簡単には手に入らない（無駄遣いするな）」、better late than never は「遅くてもやらないよりまし」で、安物で失敗した反省を表さない。

区別 **You get what you pay for. ⇔ There's no such thing as a free lunch.** free lunch は「無料に見えるものにも裏がある」。You get what you pay for. は「安い物は品質も低い・高い物は品質がよい」と値段と質の関係を言う。見分け方：安物が悪かったなら pay for、ただの話に裏があったなら free lunch。

0911 ☐☐☐

My grandmother started taking English lessons at the age of seventy. You're never too old ＿＿＿＿ learn.

① to　② that
③ so　④ for

① You're never too old to learn.

学ぶのに年を取りすぎていることはない；六十の手習い

訳 祖母は70歳で英語のレッスンを受け始めた。学ぶのに年を取りすぎているということはないのだ。

解説 too ~ to do（～すぎて…できない）の構文を never で否定した形なので to。for は too ~ for A（A には～すぎる）の形で名詞が続くので、原形 learn は続かない。that は so ~ that の構文で使う語で、too とは組まない。so も too と一緒には使えない。

区別 **You're never too old to learn. ⇔ You can't teach an old dog new tricks.** You can't teach an old dog new tricks. は「老犬に新しい芸は教えられない＝年を取ると新しいことは覚えにくい」で、正反対の考え。見分け方：年齢に関係なく挑戦を励ますなら never too old。

0912 ☐☐☐

After years of long, boring speeches, the new principal's short and funny talk was a breath of fresh ＿＿＿＿.

① wind　② water
③ air　④ breeze

③ a breath of fresh air

新鮮な存在；さわやかな人［物］

訳 何年も長くて退屈な話が続いた後だったので、新しい校長先生の短くて面白い話はとても新鮮だった。

解説 「新鮮な存在・さわやかなもの」は a breath of fresh air で、名詞は air に決まっている。breath（一息）で吸うのは空気なので air。wind（風）や breeze（そよ風）は意味が近いひっかけだが、この決まり文句には使わない。water（水）も合わない。

区別 **a breath of fresh air ⇔ out of breath** out of breath は「息を切らして」で、運動の後の状態。a breath of fresh air は人や物をほめる比喩。同じ breath でも意味は全く違う。

0913 ☐☐☐

The truck missed us by only a few inches. That was ＿＿＿＿!

① a wake-up call　② a tall order
③ a long shot　④ a close call

④ a close call 危機一髪；危ないところ

訳 トラックはほんの数インチのところで私たちをよけていった。危機一髪だった！

解説 トラックがほんの数インチのところでそれたので「危機一髪」の a close call。a wake-up call は実際に起きた悪い出来事が反省のきっかけになる場合。a tall order は「無理な注文」、a long shot は「見込みの薄いこと」で、間一髪で助かった場面を表せない。

区別 **a close call ⇔ a wake-up call** a wake-up call は悪いことが実際に起き、それで目が覚めた出来事。a close call は悪いことがすんでのところで起こらなかった場面。見分け方：助かったなら close call、反省のきっかけなら wake-up call。

0914 ☐☐☐

Our negotiations have reached a dead ＿＿＿＿; neither side is willing to compromise.

① line　② heat
③ end　④ center

③ a dead end 行き止まり；行き詰まり

訳 私たちの交渉は行き詰まった。どちらの側も歩み寄ろうとしない。

解説 「行き詰まり」は a dead end で、reach a dead end（行き詰まる）。line は deadline（締め切り）と混同したひっかけ。dead heat は「（競走の）同着」、dead center は「ど真ん中」で、交渉が進まない状況を表せない。どちらも譲らないという後半と合う。

区別 **a dead end ⇔ a deadline** a deadline は「締め切り」。a dead end は「行き止まり・行き詰まり」。似た形のひっかけに注意。見分け方：期限なら deadline、進めない状況なら dead end。

0915 ☐☐☐

Whether it's legal to fly drones over other people's land is still a ＿＿＿＿ area in many countries.

① white　② gray
③ black　④ blue

② a gray area どちらとも言えない領域；グレーゾーン

訳 他人の土地の上でドローンを飛ばすことが合法かどうかは、多くの国でまだグレーゾーンだ。

解説 合法かどうかまだはっきりしない「どちらとも言えない領域」は a gray area。white や black では「白か黒か」がはっきりしていることになり、still（まだ）と合わない。blue area は決まった表現ではない。

区別 **a gray area ⇔ black and white** in black and white は「書面で・はっきりと」、see things in black and white は「物事を白黒で割り切る」。a gray area はそのどちらにも決められない中間。

0916 □□□

After watching just one online video, he tried to fix the electrical wiring himself and started a fire. ＿＿＿＿

① A little knowledge is a dangerous thing.
② Practice makes perfect.
③ Knowledge is power.
④ Seeing is believing.

① A little knowledge is a dangerous thing.
生兵法は大けがのもと；生半可な知識は危険だ

訳 ネットの動画を１本見ただけで、彼は自分で電気の配線を直そうとして火事を起こした。生兵法は大けがのもとだ。

解説 動画を１本見ただけで電気工事をして火事を起こしたので「生半可な知識は危険だ」の A little knowledge is a dangerous thing.。Knowledge is power. は知識をほめる言葉で、失敗の場面と逆。Practice makes perfect. は「習うより慣れよ」、Seeing is believing. は「百聞は一見にしかず」で、中途半端な知識の危険を表さない。

区別 **A little knowledge is a dangerous thing. ⇔ Knowledge is power.** Knowledge is power. は知識を持つことをほめる。A little knowledge is a dangerous thing. は中途半端な知識の危うさを戒める。見分け方：少しの知識で失敗した話なら a little knowledge。

0917 □□□

Winning the lottery is a long ＿＿＿＿, but my father buys a ticket every week anyway.

① run　② shot
③ way　④ chance

② a long shot 勝ち目の薄いこと；大穴

訳 宝くじに当たる見込みは薄いが、それでも父は毎週くじを買う。

解説 「見込みの薄いこと」は a long shot。run は in the long run（長い目で見れば）、way は a long way（遠い・大いに）の形で使い、宝くじの当たりにくさを表せない。chance は意味の近いひっかけだが、a long chance とは言わない（a slim chance なら可）。

区別 **a long shot ⇔ in the long run** in the long run は「長い目で見れば・結局は」。a long shot は「見込みの薄いこと」。同じ long でも意味は全く違う。

0918 □□□

If an online seller asks you to pay only with gift cards, that's a red ＿＿＿＿. It's probably a scam.

① flag　② card
③ carpet　④ tape

① a red flag 危険信号；警告のサイン

訳 ネットの売り手がギフトカードでしか支払いを受け付けないと言ってきたら、それは危険信号だ。たぶん詐欺だろう。

解説 ギフトカードでの支払いを求められるのは怪しい兆候なので「危険信号」の a red flag。red carpet は「盛大な歓迎」、red card は「（サッカーの）退場」、red tape は「お役所仕事」で、詐欺の兆候を表さない。後ろの「たぶん詐欺だ」とつながる。

区別 **a red flag ⇔ red tape** red tape は「お役所仕事・面倒な手続き」。a red flag は「危険の兆候」。見分け方：手続きの煩わしさなら red tape、怪しい兆候なら red flag。

0919 ☐☐☐

The manager made the new employee a _____ for the failure of the project, even though it wasn't her fault.

① guinea pig　② dark horse
③ black sheep　④ scapegoat

④ a scapegoat 身代わり；責任を押しつけられる人

訳 彼女のせいではないのに、部長はプロジェクト失敗の責任をその新入社員に押しつけた。

解説 本人のせいではないのに失敗の責任を押しつけたので a scapegoat（身代わり）。guinea pig は「実験台」、dark horse は「予想外の実力者・穴馬」、black sheep は「（集団の）厄介者」で、どれも罪をかぶせられる人を表さない。

区別 **a scapegoat ⇔ a guinea pig** a guinea pig は「実験台・試される人」。a scapegoat は「責任を押しつけられる人」。見分け方：新しいことを試される人なら guinea pig、失敗の罪をかぶせられる人なら scapegoat。

0920 ☐☐☐

My boyfriend is working in Canada for a year, but I believe absence makes the heart grow _____.

① fond　② fondly
③ fonder　④ fondest

③ Absence makes the heart grow fonder.
離れていると愛情が深まる

訳 恋人は 1 年間カナダで働いているけれど、離れていると愛情が深まると私は信じている。

解説 決まった形は grow fonder で、比較級が「（離れる前より）ますます好きになる」という変化を表す。原級 fond では変化の比較が出ない。fondly は副詞で grow の補語にならない。最上級 fondest は比べる範囲がなく使えない。

区別 **Absence makes the heart grow fonder. ⇔ Out of sight, out of mind.** Out of sight, out of mind. は「見えなくなると忘れられる＝去る者は日々に疎し」で正反対の考え。見分け方：離れて愛情が深まるなら absence、離れて気持ちが冷めるなら out of sight。

0921 ☐☐☐

You've been studying for ten hours. Take a break! All work and no play _____ Jack a dull boy.

① make　② making
③ to make　④ makes

④ All work and no play makes Jack a dull boy.
よく学びよく遊べ；勉強ばかりで遊ばないと子どもはだめになる

訳 もう 10 時間も勉強しているじゃない。休憩しなさい！　よく学びよく遊べだよ。

解説 主語 All work and no play は「勉強ばかりで遊ばないこと」という 1 つの状態を表すので単数扱いで makes。and があるからと複数扱いにした make はひっかけ。making / to make は述語動詞にならず、文が完成しない。

区別 **All work and no play makes Jack a dull boy. ⇔ Work hard, play hard.** Work hard, play hard. は「よく働き、よく遊べ」と両方を全力でやる生き方を言う。All work and no play ... は遊ばないことの害を警告する。

0922 ☐☐☐

He said he would punish anyone who hurt his family in the same way. His idea of justice is "an eye for an eye, a tooth _____ a tooth."

① to　② for
③ by　④ with

② An eye for an eye, a tooth for a tooth.
目には目を、歯には歯を

訳 彼は家族を傷つけた者は誰であれ同じ方法で罰すると言った。彼の考える正義は「目には目を、歯には歯を」なのだ。

解説 決まった形は an eye for an eye, a tooth for a tooth で、for は「～と引き換えに（交換）」。前半の an eye for an eye と同じ形を繰り返す。to / with / by は交換を表さず、決まり文句にならない。同じやり方で罰するという前の文と合う。

区別 **An eye for an eye, a tooth for a tooth. ⇔ Two wrongs don't make a right.** Two wrongs don't make a right. は「仕返しをしても正しくはならない」と報復を戒める、反対の立場の言葉。An eye for an eye は同じだけ仕返しするという考えそのもの。

0923 ☐☐☐

Nobody expected the small high school team to win. They were clearly the _____ in the final.

① underdog　② top dog
③ big shot　④ favorite

① an underdog 負けそうな方；勝ち目の薄い者

訳 その小さな高校のチームが勝つとは誰も思っていなかった。決勝では明らかに彼らが劣勢だった。

解説 誰も勝つと思っていなかった、つまり「勝ち目の薄い方」なので underdog。favorite は「本命・優勝候補」、top dog は「最強の者・トップ」で、どちらも誰も勝つと思わなかったという前の文と矛盾する。big shot は「大物・有力者」で、試合の勝ち目を表さない。

区別 **an underdog ⇔ a dark horse** a dark horse は「実力が知られていない穴馬・予想外の有力候補」で、意外に勝ちそうな人。an underdog は弱いと見られている側。見分け方：弱いと思われている側なら underdog、正体不明の有力者なら dark horse。

0924 ☐☐☐

The two companies finally reached an agreement at the _____ hour, just before the deadline.

① twelfth　② tenth
③ first　④ eleventh

④ at the eleventh hour 土壇場で；ぎりぎりのところで

訳 2 社は締め切り直前の土壇場で、ようやく合意に達した。

解説 「土壇場で」は at the eleventh hour で、数は eleventh に決まっている。締め切り（12 時）の直前の 1 時間というイメージ。twelfth や tenth は数のひっかけで決まり文句にならない。first は「最初の時間」で、締め切り直前という文意と逆。

区別 **at the eleventh hour ⇔ at the last minute** 意味はほぼ同じだが、at the last minute は日常的な口語、at the eleventh hour はやや硬く、重大な決定・救済に使うことが多い。どちらも冠詞 the が必要。

0925 □□□

Don't be afraid of Mr. Tanaka. He shouts a lot, but he has never actually punished anyone. ———

① Let sleeping dogs lie.
② Barking dogs seldom bite.
③ Love me, love my dog.
④ Every dog has its day.

② Barking dogs seldom bite.

ほえる犬はめったにかまない；弱い犬ほどよくほえる

訳 田中先生を怖がらなくていいよ。よく怒鳴るけれど、実際に誰かを罰したことは一度もないんだ。弱い犬ほどよくほえるってやつさ。

解説 よく怒鳴るが実際に罰したことはない、つまり口うるさい人ほど何もしないので Barking dogs seldom bite.。Let sleeping dogs lie. は「寝た子を起こすな」、Every dog has its day. は「誰にでも一度は全盛期がある」、Love me, love my dog. は「私を愛するなら私のすべてを受け入れて」で、どれも場面に合わない。

区別 **Barking dogs seldom bite. ⇔ Let sleeping dogs lie.** Let sleeping dogs lie. は「寝た子を起こすな」と余計なことをするなという忠告。Barking dogs seldom bite. は脅す人は実際には害がないという観察。同じ dog でも教訓は全く違う。

0926 □□□

A: I don't understand why people pay millions for that painting. It's just a few lines. B: Well, beauty is in the eye of the ———.

① painter ② owner
③ beholder ④ buyer

③ Beauty is in the eye of the beholder.

美は見る人の目の中にある；たで食う虫も好き好き

訳 A：あの絵にどうして何百万も払う人がいるのか分からないよ。ただの数本の線じゃないか。 B：まあ、美しさの感じ方は人それぞれだからね。

解説 決まった形は Beauty is in the eye of the beholder.（美しさは見る人の目の中にある）で、beholder は「見る人」。painter（描いた人）、owner（持ち主）、buyer（買う人）は絵の話につられたひっかけで、決まり文句ではない。評価が人によって違うと答える場面に合う。

区別 **Beauty is in the eye of the beholder. ⇔ There's no accounting for taste.** There's no accounting for taste. は好み全般について「説明できない」と、少しあきれた皮肉を込める。Beauty is in the eye of the beholder. は美しさの感じ方の違いを肯定的に認める言い方が多い。

0927 □□□

My mother works full time as a nurse and brings home the ——— for our family of five.

① bread ② bacon
③ butter ④ meat

② bring home the bacon 生活費を稼ぐ；成功する

訳 母は看護師としてフルタイムで働き、5 人家族の生活費を稼いでいる。

解説 「生活費を稼ぐ」は bring home the bacon で、名詞は bacon に決まっている。bread は breadwinner（稼ぎ手）と混同したひっかけで、bring home the bread とは言わない。meat / butter も決まり文句ではない。看護師として働き 5 人家族を養う、という文意に合う。

区別 **bring home the bacon ⇔ breadwinner** breadwinner は「一家の稼ぎ手」という名詞。bring home the bacon は「稼いで家族を養う」という動詞句。パンとベーコンを混ぜて bring home the bread とは言わない。

0928 □□□

After ten years of not speaking to each other, the two brothers finally decided to bury the ＿＿＿＿.

① sword　② gun
③ hatchet　④ knife

③ bury the hatchet 仲直りする；和解する

訳 10 年間口をきかなかった後、2 人の兄弟はついに仲直りすることにした。

解説 「仲直りする」は bury the hatchet で、武器は hatchet（手おの）に決まっている。sword / gun / knife も武器を埋めるという発想のひっかけだが、決まり文句ではない。10 年間口をきかなかった兄弟の和解という文意に合う。

区別 **bury the hatchet ⇔ make up (with ~)** make up with ~ は日常のけんかの仲直りにも広く使う。bury the hatchet は長い間の深刻な対立を終わらせる、やや大げさな響きがある。

0929 □□□

The shoplifter was caught ＿＿＿＿ by a store clerk as he put a watch into his pocket.

① red-handed
② single-handed
③ second-hand
④ empty-handed

① catch A red-handed A を現行犯で捕まえる

訳 その万引き犯は、時計をポケットに入れたところを店員に現行犯で捕まった。

解説 時計をポケットに入れているところを捕まったので「現行犯で」の red-handed。empty-handed は「手ぶらで」、single-handed は「独力で」、second-hand は「中古の・又聞きの」で、犯行の最中に捕まる意味にならない。

区別 **catch A red-handed ⇔ empty-handed** empty-handed は「手ぶらで・何も得ずに」（come back empty-handed）。red-handed は「現行犯で」。同じ「～-handed」の形のひっかけに注意。

0930 □□□

He was going to ask her out on a date, but he chickened ＿＿＿＿ at the last minute.

① off　② away
③ down　④ out

④ chicken out (of ~) 怖気づいて（～を）やめる

訳 彼は彼女をデートに誘うつもりだったが、直前で怖気づいてやめてしまった。

解説 「怖気づいてやめる」は chicken out で、副詞は out に決まっている。off / away / down は chicken と組んで決まった句動詞を作らない。デートに誘うつもりが直前で怖くなってやめた、という場面に合う。

区別 **chicken out (of ~) ⇔ back out (of ~)** back out (of ~) は「（約束・契約から）手を引く」で、理由は怖さに限らない。chicken out は怖くてやめることに限られる。見分け方：怖気づいたのが理由なら chicken out。

0931 □□□

You want to buy an expensive car before you even get a driver's license?

① Strike while the iron is hot.
② The early bird catches the worm.
③ Don't put the cart before the horse.
④ Better late than never.

③ Don't put the cart before the horse.
馬の前に荷車をつけるな；本末転倒するな

訳 運転免許を取る前から高い車を買いたいって？　順序が逆だよ。

解説 免許も取らないうちに高い車を買おうとするのは順序が逆なので Don't put the cart before the horse.。Strike while the iron is hot. は「好機を逃すな」、The early bird catches the worm. は「早起きは三文の徳」で、どちらも急いで買うことを後押ししてしまう。Better late than never. は「遅くてもやらないよりまし」で文脈に合わない。

区別 **Don't put the cart before the horse. ⇔ Don't count your chickens before they hatch.** count your chickens は「まだ手に入っていない結果を当てにするな」。cart before the horse は「物事の順序を逆にするな」。見分け方：取らぬ狸の皮算用なら chickens、手順の逆転なら cart。

0932 □□□

I never understood why my parents told me to save money until I ran out of cash on my trip. ＿＿＿＿

① Ignorance is bliss.
② Time is money.
③ Experience is the best teacher.
④ Seeing is believing.

③ Experience is the best teacher.　経験は最良の教師

訳 旅行中にお金がなくなって初めて、なぜ親が貯金しなさいと言っていたのかが分かった。経験は最良の教師だ。

解説 親に言われても分からなかったことが、旅行でお金が尽きて初めて分かったので Experience is the best teacher.。Ignorance is bliss. は「知らぬが仏」、Time is money. は「時は金なり」、Seeing is believing. は「百聞は一見にしかず」で、自分の経験から学んだことを表さない。

区別 **Experience is the best teacher. ⇔ Practice makes perfect.** Practice makes perfect. は「繰り返し練習すれば上達する」で、反復練習の効果を言う。Experience is the best teacher. は実際に経験して（特に失敗して）学ぶことの価値を言う。

0933 □□□

The party was great, but who is going to ＿＿＿＿ the bill for all that food and drink?

① foot　② head
③ leg　④ hand

① foot the bill　（費用を）負担する；勘定を払う

訳 パーティーは最高だったけど、あの食べ物と飲み物の費用は全部誰が負担するの？

解説 「費用を負担する」は foot the bill で、体の部位 foot が動詞として使われる。hand は hand A B（A に B を手渡す）、head は head for ~（～へ向かう）で、bill を目的語にして支払う意味にならない。leg も動詞としてこの意味はない。

区別 **foot the bill ⇔ pick up the tab** pick up the tab も「（飲食代などを）払う・おごる」で、気前よく支払う場面が多い。foot the bill は大きな費用を負担する場面でも使い、しぶしぶ払わされる含みもある。

0934 ☐☐☐

You've been late for work every day this week. You really need to get your _____ together.

① acts ② act
③ actor ④ action

② get one's act together しっかりする；態勢を立て直す

訳 今週は毎日仕事に遅刻しているじゃないか。本当にしっかりしないとだめだよ。

解説 「しっかりする」は get one's act together で、act は単数に決まっている。acts と複数にすると決まり文句にならない。action（行動）や actor（俳優）も意味が近そうなひっかけだが使わない。毎日遅刻している人を注意する場面に合う。

区別 **get one's act together ⇔ pull oneself together** pull oneself together は「気を取り直す・落ち着く」で、動揺した気持ちを立て直す。get one's act together は生活・行動をきちんと整える。見分け方：感情を落ち着けるなら pull oneself together。

0935 ☐☐☐

A: Let's order pizza tonight. B: I was just about to say that! Great minds think _____.

① like ② likely
③ likewise ④ alike

④ Great minds think alike.

賢者は皆同じように考える；（冗談で）気が合うね

訳 A：今夜はピザを頼もうよ。 B：ちょうどそう言おうと思ってた！ 気が合うね。

解説 決まった形は Great minds think alike. で、alike は「同じように」と think を修飾する。like は前置詞・動詞で、目的語なしで文末に置いてこの意味にならない。likely は「ありそうな」、likewise は「同様に（私も）」で、決まり文句ではない。

区別 **Great minds think alike. ⇔ Birds of a feather flock together.** Birds of a feather flock together. は「似た者同士は集まる」で、性格・趣味の似た人が一緒にいることを言う。Great minds think alike. は同じ瞬間に同じ考えを持ったことを冗談でほめ合う。

0936 ☐☐☐

I'm trying to eat less sugar, but I have a weakness _____ chocolate cake.

① for ② of
③ to ④ in

① have a weakness for ~ ～に目がない；～が大好きだ

訳 砂糖を控えようとしているけれど、チョコレートケーキには目がないんだ。

解説 「～に目がない」は have a weakness for ~。in を使うと a weakness in ~（～の中の弱点）となり、好みの意味にならない。of / to も weakness と組んで「大好き」の意味を作らない。砂糖を控えたいがケーキは我慢できない、という文意に合う。

区別 **have a weakness for ~ ⇔ weakness in ~** weakness in ~ は「～の弱さ・弱点」（a weakness in his argument）。have a weakness for ~ は「～が大好き」。見分け方：for なら好み、in なら欠点。

0937 □□□

Don't give up just because you failed your first audition. If at first you don't ＿＿＿＿, try, try again.

① succeed　② successful
③ succeeding　④ success

① If at first you don't succeed, try, try again.
最初にうまくいかなくても何度でも挑戦せよ；七転び八起き

訳 最初のオーディションに落ちたからといってあきらめないで。最初にうまくいかなくても、何度でも挑戦すればいいんだ。

解説 don't の後ろには動詞の原形が来るので succeed（成功する）。success は名詞、successful は形容詞で、don't の後ろに置けない。succeeding は ~ing 形で、don't の直後には来ない。最初の失敗であきらめるな、という励ましの場面に合う。

区別 **If at first you don't succeed, try, try again. ⇔ Practice makes perfect.** Practice makes perfect. は練習の積み重ねで上達するという教訓。If at first you don't succeed ... は失敗してもあきらめずに再挑戦せよという励まし。

0938 □□□

The small company has been in the ＿＿＿＿ for three years and may soon go bankrupt.

① red　② pink
③ blue　④ black

① in the red　赤字で

訳 その小さな会社は 3 年間赤字が続いていて、近いうちに倒産するかもしれない。

解説 倒産しそうなので「赤字で」の in the red。in the black は「黒字で」で、倒産の心配と矛盾する。in the pink は「とても元気で」で会社の財政に使わない。in the blue は決まった表現ではない（out of the blue なら「突然」）。

区別 **in the red ⇔ in the black** in the black は「黒字で」で正反対。帳簿で損失を赤インクで書いたことから red ＝赤字、black ＝黒字。日本語の「赤字・黒字」と同じ色の発想。

0939 □□□

She had been working overtime for months, and one small complaint from her boss made her quit. It is the last ＿＿＿＿ that breaks the camel's back.

① stone　② straw
③ stick　④ step

②
It is the last straw that breaks the camel's back.
ラクダの背骨を折るのは最後のわら一本；限度を越えれば小さなことでも致命的

訳 彼女は何か月も残業を続けていて、上司からのささいな文句一つで辞めてしまった。限界に近いときは、ほんの小さなことが命取りになるのだ。

解説 決まった形は It is the last straw that breaks the camel's back.。軽いわら 1 本でも限界の状態では致命的になる、という意味なので straw。stone（石）や stick（棒）は重さで背を折る話になり、「小さなことが限界を超えさせる」教訓にならない。step も決まり文句ではない。

区別 **It is the last straw that breaks the camel's back. ⇔ That's the last straw.** That's the last straw. は会話で「もう我慢の限界だ」と怒りを表す決まり文句。ことわざ全体の形は、小さなことが限界を超えさせる仕組みを一般論として述べる。

0940 □□□

Don't blame only your brother for the fight. It takes two ＿＿＿ tango.

① for　② in
③ and　④ to

④ It takes two to tango.

タンゴは一人では踊れない；けんか両成敗

訳 けんかのことで弟ばかりを責めてはいけない。けんかは一人ではできないのだから。

解説 It takes A to do（〜するには A が必要だ）の構文なので to。tango はここでは動詞「タンゴを踊る」。for は名詞を続ける前置詞で、動詞 tango の前に置けない。in / and も構文に合わない。けんかは両方に責任があるという文意に合う。

区別 **It takes two to tango. ⇔ Two heads are better than one.** Two heads are better than one. は「二人で考えた方がよい知恵が出る（三人寄れば文殊の知恵）」と協力をほめる。It takes two to tango. は両者に責任があることを言う。

0941 □□□

My new boss is very ＿＿＿; he never gets angry even when we make small mistakes.

① lay-back　② laid-off
③ laid-back　④ back-laid

③ laid-back のんびりした；くつろいだ

訳 新しい上司はとてもおおらかで、私たちが小さなミスをしても決して怒らない。

解説 「のんびりした・おおらかな」は laid-back で、lay の過去分詞 laid を使う。lay-back という形容詞はない。laid-off は「解雇された」で、怒らない上司の性格を表せない。back-laid は語順が逆で存在しない。

区別 **laid-back ⇔ laid off** be laid off は「（一時）解雇される」。laid-back は「のんびりした」。lay を使った似た形のひっかけに注意。

0942 □□□

Whenever I feel down, I watch a comedy show and soon feel much better. ＿＿＿

① Laughter is the best medicine.
② Patience is a virtue.
③ Seeing is believing.
④ No news is good news.

① Laughter is the best medicine.

笑いは最良の薬；笑う門には福来る

訳 落ち込んだときはいつもお笑い番組を見ると、すぐにずっと気分がよくなる。笑いは最良の薬だ。

解説 落ち込んだときにお笑い番組を見ると元気になるので Laughter is the best medicine.。No news is good news. は「便りのないのはよい便り」、Patience is a virtue. は「忍耐は美徳」、Seeing is believing. は「百聞は一見にしかず」で、笑って元気が出る場面を表さない。

区別 **Laughter is the best medicine. ⇔ Time heals all wounds.** Time heals all wounds. は「時が経てば心の傷も癒える」で、時間の経過による回復。Laughter is the best medicine. は笑うことによる回復。見分け方：笑いが元気をくれたなら laughter。

0943 ☐☐☐

These early experiments laid the _____ for the development of modern genetics.

① background ② underground
③ ground floor ④ groundwork

④ lay the groundwork (for ~)
（～の）基礎を築く；下準備をする

訳 これらの初期の実験が、現代遺伝学の発展の基礎を築いた。

解説 「～の基礎を築く」は lay the groundwork for ~。background は「背景・経歴」で、lay と組んで基礎を築く意味にならない。underground（地下）や ground floor（1 階）は ground を含むひっかけで、比喩の「土台」を表さない。初期の実験が現代遺伝学の土台になった、という文意に合う。

区別 **lay the groundwork (for ~) ⇔ background** background は「背景・経歴」。groundwork は「基礎工事・下準備」。似た形のひっかけで、lay the background とは言わない。

0944 ☐☐☐

The police left no stone _____ in their search for the missing child.

① turned ② turning
③ unturned ④ unturning

③ leave no stone unturned あらゆる手を尽くす

訳 警察は行方不明の子どもを探すため、あらゆる手を尽くした。

解説 leave O C（O を C のままにする）の形で、「ひっくり返されていない石を一つも残さない」なので過去分詞 unturned。turned では「ひっくり返された石を残さない」となり意味が逆。turning / unturning は「石が自分で回る」という能動の意味になり不可。

区別 **leave no stone unturned ⇔ turn over a new leaf** turn over a new leaf は「心を入れ替える・生活を一新する」。leave no stone unturned は「徹底的に手を尽くす」。turn を使う似た表現のひっかけに注意。

0945 ☐☐☐

You want to finish the report quickly, but rushing will only cause careless mistakes. _____

① Strike while the iron is hot.
② Time is money.
③ Make haste slowly.
④ The early bird catches the worm.

③ Make haste slowly. ゆっくり急げ；急がば回れ

訳 報告書を早く仕上げたいのは分かるけれど、焦ると不注意なミスをするだけだよ。急がば回れだ。

解説 早く終えたいが焦るとミスをするので「急がば回れ」の Make haste slowly.。Strike while the iron is hot.（好機を逃すな）、Time is money.（時は金なり）、The early bird catches the worm.（早起きは三文の徳）は、どれも急ぐことを勧める方向で、慎重に進めよという忠告と逆。

区別 **Make haste slowly. ⇔ Haste makes waste.** Haste makes waste. は「急いては事を仕損じる」と、急ぐことの害を言う。Make haste slowly. は「急ぐにしても着実に」と進め方を教える。どちらも慎重さを勧めるが、語順と形が違う。

0946 □□□

He became a millionaire, but he lost all his friends and now feels lonely every day. ＿＿＿＿

① Money can't buy happiness.
② A penny saved is a penny earned.
③ You get what you pay for.
④ Time is money.

① Money can't buy happiness. お金で幸せは買えない

訳 彼は億万長者になったが、友人を一人残らず失い、今は毎日寂しく感じている。お金で幸せは買えないのだ。

解説 大金持ちになっても友人を失い毎日寂しいので「お金で幸せは買えない」の Money can't buy happiness.。Time is money. は「時は金なり」、A penny saved is a penny earned. は「節約は稼ぐことと同じ」、You get what you pay for. は「安物買いの銭失い」で、金持ちの孤独を表さない。

区別 **Money can't buy happiness. ⇔ Money talks.** Money talks. は「お金がものを言う（お金があれば何でも通る）」という逆の現実を言う。Money can't buy happiness. はお金で手に入らない大切なものがあるという教訓。

0947 □□□

A: Mom, can I have a new video game?
B: Another one? Money doesn't grow on ＿＿＿＿, you know.

① the tree　② plants
③ leaves　④ trees

④ Money doesn't grow on trees.
お金は木にならない；お金は簡単には手に入らない

訳 A：お母さん、新しいゲームを買ってもいい？　B：また？　お金は木になるわけじゃないのよ。

解説 決まった形は Money doesn't grow on trees. で、木一般を指す複数・無冠詞の trees。the tree にすると特定の 1 本の木になり、決まり文句ではない。plants（植物）や leaves（葉）も形のひっかけで使わない。ゲームをねだる子どもをたしなめる場面に合う。

区別 **Money doesn't grow on trees. ⇔ A penny saved is a penny earned.** A penny saved is a penny earned. は「節約したお金は稼いだお金と同じ」と節約を勧める。Money doesn't grow on trees. はお金を稼ぐ大変さを言って無駄遣いを戒める。

0948 □□□

My father retired five years ago, but he still wakes up at five every morning. Old habits die ＿＿＿＿.

① hard　② easily
③ harder　④ hardly

① Old habits die hard.
古い習慣はなかなかなくならない；三つ子の魂百まで

訳 父は 5 年前に退職したが、今でも毎朝 5 時に起きる。古い習慣はなかなか抜けないものだ。

解説 決まった形は Old habits die hard. で、hard は副詞「なかなか～しない」。hardly は「ほとんど～ない」で、「習慣はほとんど死なない」と読めそうなひっかけだが決まり文句ではない。easily は「簡単に」で意味が逆。比較級 harder は比べる相手がなく使えない。

区別 **Old habits die hard. ⇔ A leopard can't change its spots.** A leopard can't change its spots. は「人の本性・性格は変わらない」で、性格そのものを言い、悪い人について使うことが多い。Old habits die hard. は行動の習慣・癖がなかなか抜けないこと。

0949 □□□

Waiter: Since you had to wait so long, the dessert is on the _____, sir.

① shop ② store
③ house ④ restaurant

③ on the house 店のおごりで；無料で

訳 ウェイター：長くお待たせしてしまいましたので、デザートは店のサービスとさせていただきます。

解説 「店のおごりで（無料で）」は on the house で、名詞は house に決まっている。shop / store / restaurant はどれも「店」を表すので意味が通りそうなひっかけだが、決まり文句ではない。長く待たせたおわびにデザートを無料にする、という場面に合う。

区別 **on the house ⇔ on me** It's on me. は「私がおごる」で、払うのは話し手個人。on the house は店が負担する。見分け方：店員が言うなら on the house、客どうしなら on me。

0950 □□□

You've been late for class three times this week. You're skating on thin _____.

① ice ② water
③ glass ④ snow

① on thin ice 危ない状況で；危うい立場で

訳 今週はもう 3 回も授業に遅刻しているよ。危ない橋を渡っているね。

解説 「危ない立場にいる」は skate on thin ice で、名詞は ice に決まっている。snow（雪）、water（水）、glass（ガラス）はどれも割れそう・滑りそうなひっかけだが、決まり文句ではない。遅刻を重ねて危うい立場にいる、という警告の文に合う。

区別 **on thin ice ⇔ break the ice** break the ice は「（初対面の）緊張をほぐす・話のきっかけを作る」。on thin ice は「危ない立場で」。同じ ice でも意味は全く違う。

0951 □□□

After getting cheated by an online shop, my aunt now buys everything in stores. Once _____, twice shy.

① bit ② biting
③ bite ④ bitten

④ Once bitten, twice shy.
一度かまれると二度目は用心する；羹に懲りて膾を吹く

訳 ネットの店にだまされてから、叔母は今では何でも店頭で買っている。一度痛い目にあうと用心深くなるものだ。

解説 「一度かまれると」は受け身の意味なので bite の過去分詞 bitten（If you are once bitten の省略）。bit は過去形で受け身を作れない。biting は「かんでいる」と能動の意味になり、原形 bite も形が合わない。ネットでだまされて慎重になった叔母の場面に合う。

区別 **Once bitten, twice shy. ⇔ Look before you leap.** Look before you leap. は「跳ぶ前によく見よ」と事前の慎重さを勧める忠告。Once bitten, twice shy. は痛い経験の後で慎重になることの観察。見分け方：過去の失敗が理由なら once bitten。

0952 ☐☐☐

My brother loves horror movies, but they give me nightmares. One man's meat is another man's ＿＿＿＿.

① medicine　② poison
③ dessert　④ bread

② One man's meat is another man's poison.

甲の薬は乙の毒；たで食う虫も好き好き

訳 兄はホラー映画が大好きだが、私は見ると悪夢を見る。甲の薬は乙の毒だ。

解説 決まった形は One man's meat is another man's poison. で、meat（食べ物）と正反対の poison（毒）が対になる。medicine（薬）は日本語の「甲の薬は乙の毒」につられたひっかけ。bread / dessert は食べ物どうしで正反対の対にならない。兄が好きなホラー映画が自分には悪夢の原因、という場面に合う。

区別 **One man's meat is another man's poison. ⇔ There's no accounting for taste.** There's no accounting for taste. は相手の好みが理解できないとあきれる含みがある。One man's meat is another man's poison. は好き嫌いが人によって正反対になる、と中立的に違いを言う。

0953 ☐☐☐

He quit his job because his boss was too strict, but his new boss is even worse. It's out of the frying pan into the ＿＿＿＿.

① fire　② water
③ smoke　④ oven

① Out of the frying pan into the fire.

フライパンから火の中へ；一難去ってまた一難

訳 彼は上司が厳しすぎるので仕事を辞めたが、新しい上司はもっとひどい。一難去ってまた一難だ。

解説 決まった形は Out of the frying pan into the fire.（一難去ってまた一難）で、名詞は fire。oven（オーブン）や smoke（煙）は台所の連想によるひっかけで決まり文句ではない。water（水）では熱さから逃れて助かることになり、さらに悪くなった意味にならない。

区別 **Out of the frying pan into the fire. ⇔ Misfortunes never come singly.** Misfortunes never come singly. は不幸が続けて重なること。Out of the frying pan into the fire. は自分で悪い状況から逃げた結果、もっと悪くなったこと。見分け方：逃げ出した先がさらに悪いなら frying pan。

0954 ☐☐☐

A: When is the bus coming? I've been waiting for twenty minutes! B: Calm down. Patience is a ＿＿＿＿.

① value　② victory
③ virtue　④ vice

③ Patience is a virtue.　忍耐は美徳

訳 A：バスはいつ来るの？　もう 20 分も待っているんだよ！
B：落ち着いて。忍耐は美徳だよ。

解説 待たされていらいらしている相手に「忍耐は美徳」と落ち着くよう促すので virtue。vice は「悪徳」で正反対になる。value（価値）や victory（勝利）はつづりの似たひっかけで、決まり文句ではない。

区別 **Patience is a virtue. ⇔ Good things come to those who wait.** Good things come to those who wait. は「待てば海路の日和あり」と、待つことでよい結果が来ると励ます。Patience is a virtue. は我慢強さそのものを美徳としてたたえる。

0955 ☐☐☐

The new world record has _____ the bar for all future swimmers.

① risen ② rose
③ arisen ④ raised

④ raise the bar 基準［目標］を引き上げる

訳 その新しい世界記録は、今後のすべての水泳選手にとっての基準を引き上げた。

解説 後ろに目的語 the bar があるので他動詞 raise の過去分詞 raised。risen は自動詞 rise（上がる）の過去分詞で目的語を取れない。rose は rise の過去形で、has の後ろに置けない。arisen は「（問題が）生じた」という自動詞で意味も形も合わない。

区別 **raise the bar ⇔ rise** rise は自動詞「上がる」で目的語を取らない（rise-rose-risen）。the bar を目的語に取るのは他動詞 raise。見分け方：後ろに目的語があれば raise。

0956 ☐☐☐

After making a big mistake in front of everyone, he made up an excuse to save _____.

① face ② faces
③ the face ④ his face

① save face 面目を保つ

訳 皆の前で大きなミスをした後、彼は面目を保つために言い訳をこしらえた。

解説 「面目を保つ」は save face で、face に冠詞も所有格も付けない。his face / the face にすると文字どおりの「顔」の意味に近くなり、決まり文句ではない。faces と複数にもしない。皆の前で失敗して言い訳で体裁を守った、という場面に合う。

区別 **save face ⇔ lose face** lose face は「面目を失う・恥をかく」で正反対。どちらも face に冠詞・所有格を付けない。

0957 ☐☐☐

After years of practice, typing without looking at the keyboard has become second _____ to me.

① habit ② nature
③ skill ④ character

② second nature
第二の天性；習慣になって自然にできること

訳 何年も練習した結果、キーボードを見ずに打つことは私にとって自然にできることになった。

解説 「習慣になって自然にできること」は second nature で、名詞は nature（天性）に決まっている。habit / character / skill は意味の近いひっかけだが、second と組んだ決まり文句ではない。長年の練習でキーボードを見ずに打てるようになった、という文意に合う。

区別 **second nature ⇔ by nature** by nature は「生まれつき・本来」（She is shy by nature）。second nature は後天的に身についた習慣。見分け方：生まれつきなら by nature、練習で身についたなら second nature。

0958 ☐☐☐

When he heard the false rumor about himself, he saw ＿＿＿＿ and started shouting.

① red　② black
③ white　④ blue

① see red 激怒する；かっとなる

訳 自分についてのうそのうわさを聞いて、彼はかっとなって怒鳴り始めた。

解説 うそのうわさを聞いて怒鳴り始めたので「激怒する」の see red。blue は feel blue（憂うつだ）の形で使い、see blue とは言わない。black / white も see と組んで怒りを表さない。怒鳴り始めたという後半と合う。

区別 **see red ⇔ feel blue** feel blue は「気分が沈む・憂うつだ」。see red は「激怒する」。色を使った感情の表現の違いに注意。

0959 ☐☐☐

Ken rarely speaks in class, but his essays are full of amazing ideas. Still waters run ＿＿＿＿.

① deeply　② slow
③ dry　④ deep

④ Still waters run deep.

静かな水は深く流れる；能ある鷹は爪を隠す

訳 ケンは授業中めったに話さないが、彼の作文は驚くような考えでいっぱいだ。物静かな人ほど考えが深いのだ。

解説 決まった形は Still waters run deep.。run deep の deep は副詞として働く決まった形で、deeply（深く・心から）にはしない。slow では「ゆっくり流れる」となり奥深さの教訓にならない。run dry は「枯れる」で意味が逆。無口だが考えの深いケンの場面に合う。

区別 **Still waters run deep. ⇔ Empty vessels make the most noise.** Empty vessels make the most noise. は「空っぽの器ほど大きな音を立てる＝中身のない人ほどよくしゃべる」で、裏返しの教訓。Still waters run deep. は物静かな人の奥深さをほめる。

0960 ☐☐☐

Like his father, Ken is a talented pianist. The apple doesn't fall far ＿＿＿＿ the tree.

① of　② off
③ away　④ from

④ The apple doesn't fall far from the tree.

リンゴは木から遠くに落ちない；蛙の子は蛙

訳 父親と同じく、ケンは才能あるピアニストだ。蛙の子は蛙だ。

解説 「～から遠く」は far from ~ で、決まった形は The apple doesn't fall far from the tree.。of は far と組まない。off は「（木から）離れて」と読めそうなひっかけだが決まり文句ではない。away は far away from ~ の形なら可能だが、away だけでは後ろの名詞につながらない。

区別 **The apple doesn't fall far from the tree. ⇔ like two peas in a pod** like two peas in a pod は「瓜二つで」で、兄弟や友人など同じ立場の 2 人がそっくりなこと。The apple doesn't fall far from the tree. は親子が似ていること。

0961 □□□

After scoring the second goal, our team clearly had the upper ＿＿＿＿ for the rest of the game.

① arm　② hand
③ head　④ side

② the upper hand 優位；主導権

訳 2点目を入れた後、私たちのチームは残りの時間、明らかに試合を優位に進めた。

解説 「優位・主導権」は the upper hand で、名詞は hand に決まっている。arm / side / head は体の部分・位置のひっかけで、upper と組んで優位を表さない（upper side は単に「上側」）。2点目を入れて試合を有利に進めた、という文意に合う。

区別 **the upper hand ⇔ give A a hand** give A a hand は「A を手伝う」「A に拍手を送る」。the upper hand は「優位」。hand を使った表現のひっかけに注意。

0962 □□□

After dating for five years, Tom and Lisa finally tied the ＿＿＿＿ last June.

① knot　② ring
③ bond　④ rope

① tie the knot 結婚する

訳 5年間付き合った後、トムとリサはこの前の6月にとうとう結婚した。

解説 「結婚する」は tie the knot で、名詞は knot（結び目）に決まっている。rope（ロープ）は結ぶ物のひっかけ、ring（指輪）は結婚の連想によるひっかけ、bond（きずな）も意味が近いが、どれも tie と組んだ決まり文句ではない。5年交際した2人が結婚した、という文意に合う。

区別 **tie the knot ⇔ get engaged** get engaged (to ~) は「（～と）婚約する」で、結婚の前の段階。tie the knot は実際に結婚する。見分け方：結婚式・結婚の事実なら tie the knot。

0963 □□□

I was heartbroken when my dog died, but now I can smile when I think of him. ＿＿＿＿

① Time heals all wounds.
② Time will tell.
③ Better late than never.
④ Time is money.

① Time heals all wounds.
時はすべての傷を癒やす；時が解決してくれる

訳 飼い犬が死んだときは悲しくてたまらなかったが、今は思い出して笑えるようになった。時がすべての傷を癒やしてくれるのだ。

解説 犬が死んで悲しかったが、今は思い出して笑えるようになったので「時が傷を癒やす」の Time heals all wounds.。Time is money. は「時は金なり」、Time will tell. は「時が経てば分かる」で、悲しみが和らいだことを表さない。Better late than never. は「遅くてもやらないよりまし」で文脈に合わない。

区別 **Time heals all wounds. ⇔ Time will tell.** Time will tell. は「時が経てば（結果・真実が）分かる」。Time heals all wounds. は「時が経てば心の痛みが和らぐ」。どちらも時の経過を言うが、分かるか・癒えるかが違う。

0964 □□□

Please don't be so hard on him for one small mistake. To ＿＿＿＿ is human, to forgive divine.

① error　② errand
③ err　④ erring

③ To err is human, to forgive divine.

過ちは人の常、許すは神の業

訳 小さなミス一つでそんなに彼を責めないで。過ちは人の常、許すは神の業だよ。

解説 to forgive と対になる不定詞なので、to の後ろは動詞の原形 err（誤る）。error は名詞で to の後ろに置いて不定詞を作れない。errand は「使い走り・用事」でつづりのひっかけ。erring は ~ing 形で、to の後ろには来ない。

区別 **To err is human, to forgive divine.** ⇔ **Even Homer sometimes nods.** Even Homer sometimes nods. は「名人でも失敗する」と優れた人の失敗に限って使う。To err is human ... は誰でも間違えるという一般論で、許しを勧める後半がある。

0965 □□□

A: He broke my pencil, so I'm going to break his eraser. B: Don't do that. Two wrongs don't make a ＿＿＿＿.

① rights　② good
③ wrong　④ right

④ Two wrongs don't make a right.

悪事に悪事を重ねても正しくはならない

訳 A：あいつが私の鉛筆を折ったから、あいつの消しゴムを壊してやる。　B：やめなよ。仕返ししても正しいことにはならないよ。

解説 決まった形は Two wrongs don't make a right. で、right は「正しいこと」という名詞の単数。rights と複数にすると a と合わない（rights は「権利」の意味にもなる）。good は形容詞で a の後ろに単独で置けない。wrong では「悪事は重ねても悪にならない」となり意味が通らない。

区別 **Two wrongs don't make a right.** ⇔ **An eye for an eye, a tooth for a tooth.** An eye for an eye は同じだけ仕返しするという報復の考え。Two wrongs don't make a right. はその報復を否定する、反対の立場。

0966 □□□

The minister has come ＿＿＿＿ fire for his careless remarks about women.

① on　② under
③ with　④ in

② under fire　非難を浴びて；攻撃されて

訳 その大臣は女性についての軽率な発言で非難を浴びている。

解説 「非難を浴びる」は come under fire で、「～を受けて」の under（under attack と同じ）。on fire は「燃えて・絶好調で」で、軽率な発言を非難される意味にならない。in / with も fire と組んでこの意味を作らない。

区別 **under fire ⇔ on fire** on fire は「燃えて」、口語で「絶好調で」（The team is on fire）。under fire は「非難・攻撃を受けて」。見分け方：批判されているなら under、燃えている・好調なら on。

0967 □□□

Don't worry about the argument we had last year. It's all water _____ the bridge now.

① over ② on
③ under ④ across

③ water under the bridge 過ぎたこと；済んだこと

訳 去年の口論のことは気にしないで。もうすっかり済んだことだから。

解説 「済んだこと」は water under the bridge で、橋の下を流れていった水のイメージ。over は water over the dam（米）と混同したひっかけで、over the bridge とは言わない。on / across も決まり文句にならない。去年の口論はもう気にしていない、という文意に合う。

区別 **water under the bridge ⇔ Let bygones be bygones.** Let bygones be bygones. は「水に流そう」と相手に呼びかける命令文。water under the bridge は「それはもう済んだこと」と状態を言う名詞句。

0968 □□□

Let's spend enough time planning before we start the project. Well _____ is half done.

① begun ② beginning
③ begin ④ began

① Well begun is half done.
始めよければ半ば成功；始めが肝心

訳 プロジェクトを始める前に、計画に十分な時間をかけよう。始めが肝心だ。

解説 「うまく始められたことは半分終わったも同然」で、後ろの half done と対になる過去分詞 begun が入る。began は過去形で、主語の位置で受け身の意味を作れない。beginning は「始まり・始めること」で決まり文句ではない。原形 begin も主語にならない。

区別 **Well begun is half done. ⇔ Make haste slowly.** Make haste slowly. は「急がば回れ」と進め方の慎重さを言う。Well begun is half done. はスタートの大切さを言う。

0969 □□□

I failed to get into my first-choice university, but the second one turned out to be perfect for me. _____

① Once bitten, twice shy.
② Out of the frying pan into the fire.
③ The grass is always greener on the other side.
④ When one door closes, another opens.

④ When one door closes, another opens.
一つの扉が閉まれば、別の扉が開く；捨てる神あれば拾う神あり

訳 第一志望の大学には落ちたが、第二志望の大学が自分にぴったりだと分かった。捨てる神あれば拾う神ありだ。

解説 第一志望に落ちたが、別の大学が自分にぴったりだったので When one door closes, another opens.。Once bitten, twice shy. は「一度痛い目にあうと用心する」、Out of the frying pan into the fire. は「一難去ってまた一難」で状況が悪化した場合。The grass is always greener ... は「隣の芝生は青い」で、他人をうらやむ場面。

区別 **When one door closes, another opens. ⇔ Every cloud has a silver lining.** Every cloud has a silver lining. は「どんな悪いことにもよい面がある」と、悪い出来事そのもののよい面を見る。When one door closes ... は一つの機会を失っても別の機会が来ると言う。

0970 ☐☐☐

The hotel staff bent over ＿＿＿＿ to make our stay comfortable, even bringing us extra blankets at midnight.

① forwards　② sideways
③ upwards　④ backwards

④ bend over backwards
（人のために）精一杯努力する；最大限尽くす

訳 ホテルのスタッフは、真夜中に毛布を余分に持ってきてくれるなど、私たちが快適に過ごせるよう精一杯尽くしてくれた。

解説 「精一杯尽くす」は bend over backwards で、方向は backwards（後ろへ）に決まっている。forwards / sideways / upwards は方向のひっかけで、決まり文句ではない（bend forward は単に「前かがみになる」）。夜中に毛布まで持ってきてくれたという具体例と合う。

区別 **bend over backwards ⇔ go the extra mile** go the extra mile は「期待以上の努力をする」で、仕事・サービスの質を上げる努力。bend over backwards は相手の要望に応えようと無理をしてまで尽くす含みが強い。

0971 ☐☐☐

We ran all the way and caught the last train by the skin of our ＿＿＿＿.

① teeth　② nails
③ lips　④ tooth

① by the skin of one's teeth 間一髪で；かろうじて

訳 私たちはずっと走って、最終電車にかろうじて間に合った。

解説 「間一髪で」は by the skin of one's teeth で、teeth（複数形）に決まっている。単数 tooth は数のひっかけ。nails（つめ）や lips（唇）は体の部分のひっかけで、決まり文句ではない。走り続けて最終電車にぎりぎり間に合った、という文意に合う。

区別 **by the skin of one's teeth ⇔ a close call** a close call は「危機一髪の出来事」という名詞句で、That was a close call. のように使う。by the skin of one's teeth は動詞を修飾する副詞句で「かろうじて～した」。

0972 ☐☐☐

When one airline lowered its prices, the others soon followed ＿＿＿＿.

① suits　② the suit
③ a suit　④ suit

④ follow suit 人のまねをする；先例にならう

訳 1 社の航空会社が値下げすると、ほかの会社もすぐにそれにならった。

解説 「先例にならう」は follow suit で、suit に冠詞も複数形の s も付けない決まった形。suits / the suit / a suit にすると、服のスーツや特定の物を追いかける意味になってしまう。1 社の値下げに他社が続いた、という流れに合う。

区別 **follow suit ⇔ follow in A's footsteps** follow suit は直前の行動をすぐ「同じようにする」。follow in A's footsteps は「（親などの）跡を継ぐ・同じ道を歩む」と、人生の進路を表す。見分け方：1 回の行動のまねなら follow suit、職業や生き方をまねるなら footsteps。

0973 □□□

He has a _____ on his shoulder because he thinks everyone looks down on him for not going to college.

① chop　② chip
③ chin　④ cheek

② have a chip on one's shoulder
けんか腰である；（過去の不満から）恨みを抱いている

訳 大学に行かなかったことでみんなに見下されていると思っているので、彼はいつもけんか腰だ。

解説 大学に行かなかったことで見下されていると思い恨みを抱いているので have a chip on one's shoulder。chop（たたき切ること・切り身）は形の似たひっかけ。cheek（ほお）や chin（あご）は体の部分のひっかけで、肩に載る物ではなく決まり文句にもならない。

区別 **have a chip on one's shoulder ⇔ a weight off one's shoulders** a weight off one's shoulders は「肩の荷が下りること」で、ほっとした気持ち。a chip on one's shoulder は恨み・ひがみ。どちらも shoulder を使うが意味は全く違う。

0974 □□□

Instead of avoiding the problem any longer, she decided to take the bull by the _____ and talk to her boss.

① tail　② head
③ nose　④ horns

④ take the bull by the horns 困難に敢然と立ち向かう

訳 それ以上問題を避けるのはやめて、彼女は思い切って上司と話すことにした。

解説 「困難に正面から立ち向かう」は take the bull by the horns で、牛の角（horns）をつかむ。tail（しっぽ）をつかむのは後ろからで正面から立ち向かう図にならない。head / nose も決まり文句ではない。問題を避けるのをやめて上司と話す、という文意に合う。

区別 **take the bull by the horns ⇔ bite the bullet** bite the bullet は「（嫌なことを）歯を食いしばって我慢してやる」で、避けられない苦痛を受け入れる。take the bull by the horns は自分から積極的に困難に立ち向かう。

0975 □□□

Before you criticize him for being late so often, try to walk in his _____. He takes care of his sick mother every morning.

① feet　② shoes
③ legs　④ socks

② walk in A's shoes A の立場に立って考える

訳 彼がよく遅刻すると批判する前に、彼の立場に立って考えてみなさい。彼は毎朝病気の母親の世話をしているんだ。

解説 「彼の立場に立って考える」は walk in A's shoes で、名詞は shoes に決まっている。feet / legs は体の部分、socks（靴下）は身につける物のひっかけで、決まり文句ではない。毎朝病気の母の世話をしているという事情を想像せよ、という文意に合う。

区別 **walk in A's shoes ⇔ fill A's shoes** fill A's shoes は「A の後任を（立派に）務める」。walk in A's shoes は「A の立場で考える」。同じ shoes の比喩でも意味が違う。

0976 ☐☐☐

My grandfather is ninety years old, but he's still as fit as a ———— and walks five kilometers every day.

① fiddle　② drum
③ piano　④ flute

① (as) fit as a fiddle　とても健康で；ぴんぴんして

訳 祖父は 90 歳だが、今でもぴんぴんしていて毎日 5 キロ歩く。

解説 「ぴんぴんして」は (as) fit as a fiddle で、楽器は fiddle（バイオリン）に決まっている。flute / drum / piano は同じ楽器のひっかけで、決まり文句ではない。90 歳で毎日 5 キロ歩くという元気さに合う。

区別 **(as) fit as a fiddle ⇔ fit for ~** be fit for ~ は「～に適している・ふさわしい」（fit for the job）。fit as a fiddle は「とても健康」。同じ fit でも、後ろに for が来るかどうかで意味が変わる。

0977 ☐☐☐

The school festival will be held this Saturday, rain or ————, so please bring an umbrella just in case.

① sun　② sunny
③ shine　④ snow

③ (come) rain or shine
雨が降っても晴れても；どんなことがあっても

訳 文化祭は雨でも晴れでも今週の土曜日に行われますので、念のため傘を持ってきてください。

解説 「雨でも晴れでも」は rain or shine で、rain（雨が降る）と対になる動詞 shine（日が照る）。sun は名詞、sunny は形容詞で、rain と形がそろわない。snow では「雨でも雪でも」となり、晴れも含めた「どんな天気でも」にならない。

区別 **(come) rain or shine ⇔ weather permitting** weather permitting は「天気がよければ」で、天候次第で中止もありうる。rain or shine は「天候に関係なく必ず」。意味が反対方向なので、行事の案内で区別する。

0978 ☐☐☐

The twins wear the same clothes and have the same hairstyle. They look like two ———— in a pod.

① beans　② peas
③ seeds　④ nuts

② (like) two peas in a pod　瓜二つで；そっくりで

訳 その双子は同じ服を着て同じ髪型をしている。2 人は瓜二つに見える。

解説 「瓜二つ」は two peas in a pod で、名詞は peas（えんどう豆）に決まっている。beans / nuts / seeds はどれもさやや実を連想させるひっかけだが、決まり文句ではない。同じ服と髪型の双子がそっくりだ、という文意に合う。

区別 **(like) two peas in a pod ⇔ The apple doesn't fall far from the tree.** The apple doesn't fall far from the tree. は親子が似ていることを言う。two peas in a pod は同じ立場の 2 人（双子・友人）がそっくりなこと。

0979 ☐☐☐

I know it's true that our teacher is leaving. I heard it straight from the horse's ＿＿＿＿; she told me herself.

① ears　② head
③ lips　④ mouth

④ (straight) from the horse's mouth
本人［確かな筋］から直接に

訳 私たちの先生が辞めるのは本当だよ。本人から直接聞いたんだ。先生が自分で教えてくれたの。

解説 「本人から直接に」は (straight) from the horse's mouth で、名詞は mouth に決まっている。ears / head は体の部分のひっかけ、lips は「口」から連想されるひっかけで、どれも決まり文句ではない。先生本人から聞いたという後半と合う。

区別 **(straight) from the horse's mouth ⇔ through the grapevine** hear ~ through the grapevine は「うわさで聞く」で、又聞きの不確かな情報。from the horse's mouth は本人から直接の確かな情報。正反対の情報源。

0980 ☐☐☐

After months of hard treatment, the patient feels that she can finally see the light at the end of the ＿＿＿＿.

① road　② day
③ line　④ tunnel

④ (the) light at the end of the tunnel
（苦境の）先に見える希望の光

訳 何か月ものつらい治療の後、その患者はようやく希望の光が見えてきたと感じている。

解説 「苦境の先に見える希望の光」は the light at the end of the tunnel で、名詞は tunnel に決まっている。at the end of the day は「結局は」で別の決まり文句。road / line も決まり文句ではない。つらい治療の終わりが見えてきた、という文意に合う。

区別 **(the) light at the end of the tunnel ⇔ a silver lining** a silver lining は「（悪い状況の中の）よい面・希望の兆し」（Every cloud has a silver lining）。light at the end of the tunnel は苦境の「終わり」が見えてきたこと。

0981 ☐☐☐

The hotel was a far ＿＿＿＿ from what we had seen in the photos on its website.

① way　② cry
③ shout　④ call

② a far cry from ~ ～とはかけ離れたもの；～とは大違い

訳 そのホテルは、ウェブサイトの写真で見たものとは大違いだった。

解説 「～とは大違い」は a far cry from ~ で、名詞は cry に決まっている。shout / call は「叫び・呼び声」という意味の近いひっかけだが、決まり文句ではない。way は a long way from ~ の形なら近い意味になるが、a far way from とは言わない。

区別 **a far cry from ~ ⇔ far from ~** far from ~ は「決して～ではない」（＝ not at all）で、後ろに形容詞・名詞が来る（far from perfect）。a far cry from ~ は「～とは大違いのもの」という名詞句。冠詞 a と cry があるかどうかで形が違う。

0982 ☐☐☐

My uncle can fix cars, build furniture, cut hair, and cook. He's a real jack-of-all- ＿＿＿＿ .

① jobs　② works
③ trades　④ skills

③ a jack-of-all-trades 何でも屋；多芸な人

訳 叔父は車の修理も家具作りも散髪も料理もできる。本当に何でも屋だ。

解説 「何でも屋」は a jack-of-all-trades で、名詞は trades（職業・技能）に決まっている。jobs / works / skills はどれも意味の近いひっかけだが、決まり文句ではない。車の修理から料理まで何でもできる叔父の紹介に合う。

区別 **a jack-of-all-trades ⇔ a know-it-all** a know-it-all は「知ったかぶりをする人」で、悪い意味。a jack-of-all-trades は実際にいろいろなことができる人。

0983 ☐☐☐

He promised he would never lie to me again, but he lied the very next day. A leopard can't change its ＿＿＿＿ .

① spots　② skin
③ color　④ stripes

① A leopard can't change its spots.
ヒョウは斑点を変えられない；三つ子の魂百まで

訳 彼は二度と私にうそをつかないと約束したのに、まさにその翌日にうそをついた。人の本性は変わらないものだ。

解説 決まった形は A leopard can't change its spots. で、ヒョウの斑点（spots）。stripes（縞）は虎の模様で、ヒョウの話には合わない。skin（皮）や color（色）も決まり文句ではない。うそをつかないと約束した翌日にまたうそをついた、本性は変わらないという文意に合う。

区別 **A leopard can't change its spots. ⇔ Old habits die hard.** Old habits die hard. は行動の習慣・癖がなかなか抜けないこと。A leopard can't change its spots. は性格・本性そのものが変わらないことで、悪い人に対する非難の色が強い。

0984 ☐☐☐

The new rules are meant to create a level playing ＿＿＿＿ for small and large companies.

① field　② floor
③ stage　④ court

① a level playing field 公平な条件；対等な競争の場

訳 新しい規則は、中小企業と大企業にとって公平な条件を作ることを目的としている。

解説 「公平な条件」は a level playing field で、名詞は field（競技場）に決まっている。court（コート）、floor（床）、stage（舞台）はどれも競技・活動の場所を連想させるひっかけだが、決まり文句ではない。大企業と中小企業が同じ条件で競えるようにする、という文意に合う。

区別 **a level playing field ⇔ a win-win situation** a win-win situation は「双方が得をする状況」で、結果の話。a level playing field は競争の前提となる条件が公平なこと。

0985 □□□

I always turn off the lights when I leave a room. After all, a penny saved is a penny ＿＿＿＿.

① spent　② lost
③ paid　④ earned

④ A penny saved is a penny earned.
1 ペニーの節約は 1 ペニーのもうけ；節約は稼ぎと同じ

訳 私は部屋を出るときはいつも電気を消す。何しろ、節約は稼ぐのと同じだから。

解説 決まった形は A penny saved is a penny earned.（節約は稼ぐことと同じ）で、earned（稼がれた）。spent（使われた）、lost（失われた）、paid（支払われた）では、節約の価値をたたえる意味にならない。電気をこまめに消すという節約の場面に合う。

区別 **A penny saved is a penny earned. ⇔ Money doesn't grow on trees.** Money doesn't grow on trees. はお金を稼ぐ大変さを言って無駄遣いを戒める。A penny saved is a penny earned. は節約そのものに価値がある、と前向きに勧める。

0986 □□□

Our hotel was just a stone's ＿＿＿＿ from the beach, so we went swimming every morning.

① step　② walk
③ throw　④ cast

③ a stone's throw (from ~)　（～から）目と鼻の先

訳 私たちのホテルは海辺の目と鼻の先にあったので、毎朝泳ぎに行った。

解説 「目と鼻の先」は a stone's throw で、石を投げて届く距離を表す throw に決まっている。step（一歩）、walk（歩き）、cast（投げること）は意味の近いひっかけだが、決まり文句ではない。毎朝泳ぎに行けたという後半と合う。

区別 **a stone's throw (from ~) ⇔ a long way from ~** a long way from ~ は「～から遠い」で正反対。a stone's throw from ~ はすぐ近く。距離を名詞句で表す点は同じ。

0987 □□□

The address he gave us was wrong, so we went on a wild goose ＿＿＿＿ all afternoon.

① hunt　② chase
③ run　④ race

② a wild goose chase　無駄な追跡［探索］；骨折り損

訳 彼に教えられた住所が間違っていたので、私たちは午後中無駄に探し回った。

解説 「無駄な探索・骨折り損」は a wild goose chase で、名詞は chase（追跡）に決まっている。hunt（狩り）、race（競走）、run（走ること）は意味の近いひっかけだが、決まり文句ではない。間違った住所のせいで午後中探し回った、という文意に合う。

区別 **a wild goose chase ⇔ a waste of time** a waste of time は「時間の無駄」と広く使う一般的な表現。a wild goose chase は「見つかるはずのない物を探し回る」無駄に限られる。

0988 □□□

International trade is not a _____ game; both countries can benefit from it.

① win-win　② waiting
③ zero-sum　④ numbers

③ a zero-sum game

ゼロサムゲーム；一方が得をすれば他方が損をする状況

訳 国際貿易はゼロサムゲームではない。両国ともそこから利益を得ることができる。

解説 「両国とも利益を得られる」ので、それは「一方が得をすれば他方が損をする」ゼロサムゲームではない、という zero-sum。win-win を入れると「双方が得をするものではない。両国とも得をする」と矛盾する。a waiting game は「様子見の勝負」、a numbers game は「数の勝負」で、後半の理由とつながらない。

区別 **a zero-sum game ⇔ a win-win situation** a win-win situation は「双方が得をする状況」で、ゼロサムゲームの反対。zero-sum は一方の得が他方の損。見分け方：両者とも得をするなら win-win。

0989 □□□

The inventor's ideas were so far _____ of his time that nobody took them seriously.

① behind　② ahead
③ out　④ before

② ahead of one's time 時代の先を行って

訳 その発明家の考えはあまりにも時代の先を行っていたので、誰も真剣に受け取らなかった。

解説 誰にも真剣に受け取られなかったのは考えが「時代の先を行きすぎていた」からなので ahead of one's time。behind は behind the times（時代遅れで）の形で使い、behind of とは言わない。before は前置詞なので後ろに of を取らない。out of one's time も決まり文句ではない。

区別 **ahead of one's time ⇔ behind the times** behind the times は「時代遅れで」で正反対。ahead of one's time は時代より進んでいる。前置詞・語順も違うので注意（behind the times は the times、ahead of は one's time）。

0990 □□□

Summer vacation is already over? Oh well, all good things must come to an _____.

① end　② finish
③ close　④ stop

① All good things must come to an end.

良いことにもいつか終わりがある

訳 夏休みがもう終わり？　まあ、良いことにもいつか終わりがあるものだね。

解説 決まった形は All good things must come to an end.。冠詞が an なので母音で始まる end だけが入る。stop / close は come to a stop / a close なら「止まる・終わる」になるが、冠詞が a なので an とは合わない。finish は come to a finish とは普通言わない。

区別 **All good things must come to an end. ⇔ come to an end / put an end to ~** come to an end は主語が自然に「終わる」（自動詞的）。put an end to ~ は「～を終わらせる」と人が意図して止める。ことわざは自然に終わる come to an end を使う。

0991 □□□

Getting a flu shot every year is much easier than getting sick. An ounce of prevention is worth a pound of ＿＿＿＿.

① cure　② medicine
③ treatment　④ care

①

An ounce of prevention is worth a pound of cure.
1 オンスの予防は 1 ポンドの治療に値する；転ばぬ先の杖

訳 毎年インフルエンザの予防接種を受ける方が、病気になるよりずっと楽だ。転ばぬ先の杖だ。

解説 決まった形は An ounce of prevention is worth a pound of cure. で、prevention（予防）と対になる cure（治療）。care（世話・注意）はつづりの似たひっかけ。medicine（薬）や treatment（治療）は意味が近いが、決まり文句ではない。予防接種の方が病気になるより楽、という文意に合う。

区別 **An ounce of prevention is worth a pound of cure. ⇔ nip ~ in the bud** nip ~ in the bud は「（問題を）芽のうちに摘む」で、起き始めた問題を早めに止める行動。An ounce of prevention ... は問題が起きる前の予防の大切さを一般論として言う。

0992 □□□

The customers didn't like our new product design at all, so it's back to the drawing ＿＿＿＿.

① board　② desk
③ room　④ table

① **back to the drawing board　一から計画をやり直して**

訳 お客さんたちは私たちの新製品のデザインをまったく気に入らなかったので、一から計画をやり直しだ。

解説 「一から計画をやり直す」は back to the drawing board で、名詞は board（製図板）に決まっている。table / desk / room はどれも作業の場所を連想させるひっかけだが、決まり文句ではない（drawing room は「客間」という別の語）。デザインが不評で考え直す、という文意に合う。

区別 **back to the drawing board ⇔ start from scratch** start from scratch は「（何もない所から）一から始める」で、失敗の有無に関係なく使う。back to the drawing board は一度試した案が失敗して、計画段階に戻ること。

0993 □□□

Our new secretary is really on the ＿＿＿＿; she never forgets a meeting and always answers emails right away.

① spot　② go
③ dot　④ ball

④ **be on the ball　抜け目がない；機敏である**

訳 新しい秘書は本当に機敏だ。会議を決して忘れず、メールにはいつもすぐ返事をする。

解説 会議を忘れずメールにすぐ返事をするので「抜け目がない・機敏だ」の be on the ball。on the spot は「その場で」、on the go は「忙しく動き回って」、on the dot は「時間ぴったりに」で、人の有能さをほめる意味にならない。

区別 **be on the ball ⇔ on the go** be on the go は「忙しく動き回って」。be on the ball は「頭がよく働いて抜け目がない」。どちらも on the ＋ 名詞の口語表現だが意味が違う。

0994 □□□

A: This old umbrella is the only one left? B: Well, beggars can't be ＿＿＿＿. Take it, or you'll get wet.

① chosen　② choosers
③ choose　④ choices

② Beggars can't be choosers.

物乞いはえり好みできない；ぜいたくは言えない

訳 A：残っているのはこの古い傘だけ？　B：まあ、ぜいたくは言えないよ。持って行かないとぬれちゃうよ。

解説 決まった形は Beggars can't be choosers. で、chooser（選ぶ人）の複数形が主語 beggars と対になる。chosen だと「物乞いは選ばれない」となり意味が違う。choices（選択肢）は人ではないので主語の beggars と合わない。choose は be の後ろに原形動詞を置けない。

区別 **Beggars can't be choosers. ⇔ Don't look a gift horse in the mouth.** Don't look a gift horse in the mouth. は「もらい物にけちをつけるな」で、贈り物の欠点を探すなと戒める。Beggars can't be choosers. は選べる立場にないことを言う。

0995 □□□

I'm between a rock and a hard ＿＿＿＿: if I tell the truth, my friend will be angry, but if I don't, I'll feel guilty.

① place　② wall
③ spot　④ stone

① between a rock and a hard place

板挟みになって；進退きわまって

訳 私は板挟みになっている。本当のことを言えば友達が怒るし、言わなければ罪悪感を覚えるだろう。

解説 「板挟みになって」は between a rock and a hard place で、名詞は place に決まっている。stone（石）は rock と似た意味のひっかけ。wall（壁）や spot（場所）も挟まれる図を連想させるが、決まり文句ではない（in a tight spot なら「窮地に」）。本当のことを言っても言わなくても困る状況に合う。

区別 **between a rock and a hard place ⇔ in two minds** be in two minds は「（どちらにするか）決めかねている」で、迷っている気持ち。between a rock and a hard place は、どちらを選んでも悪い結果になる苦しい状況そのもの。

0996 □□□

When work gets stressful, my father goes running every evening to ＿＿＿＿ steam.

① hold back　② run out of
③ pick up　④ blow off

④ blow off steam

うっぷんを晴らす；ストレスを発散する

訳 仕事でストレスがたまると、父はうっぷんを晴らすために毎晩走りに行く。

解説 「ストレスを発散するために走る」なので blow off steam。run out of steam は「力尽きる」で、わざわざ走って力尽きることを目的にするのは文意に合わない。pick up steam は「勢いを増す」で物事が主語になる表現。hold back steam という決まった言い方はない。

区別 **blow off steam ⇔ run out of steam** 同じ steam でも run out of steam は「蒸気を使い果たす→力尽きる・勢いがなくなる」で、意図して発散するのではない。pick up steam は逆に「勢いを増す」。見分け方：ストレス解消が目的なら blow off、疲れてやる気がなくなったなら run out of。

0997 □□□

You want to complain about the boss who gave you a job when nobody else would? Don't bite the hand that ＿＿＿＿ you.

① feeds　② is fed
③ to feed　④ feed

① Don't bite the hand that feeds you.

養ってくれる人の手をかむな；恩をあだで返すな

訳 誰も雇ってくれなかったときに仕事をくれた上司の文句を言いたいって？　恩をあだで返すようなことはするな。

解説 that は主格の関係代名詞で、先行詞 the hand は単数なので feeds が正しい。feed は三単現の s がない。is fed は受け身で、後ろに you を目的語として置けない。to feed は関係代名詞 that の後ろに動詞として置けない。

注意 日本語の「恩をあだで返す」に当たる。

0998 □□□

Ken had quietly put up with his boss's insults for years, but yesterday he finally shouted back. As they say, even a worm will ＿＿＿＿.

① return　② turn
③ change　④ move

② Even a worm will turn.

虫けらでさえ反撃する；一寸の虫にも五分の魂

訳 ケンは何年も上司の侮辱に黙って耐えてきたが、昨日ついに言い返した。よく言うように、一寸の虫にも五分の魂だ。

解説 ことわざ Even a worm will turn. の turn は「向き直る→反撃する」。return は「戻る」で反撃の意味はない。change は「変わる」、move は「動く」で、いずれもことわざの形にならず、我慢していた人が反撃した場面とも合わない。

注意 日本語の「一寸の虫にも五分の魂」の英訳として出る。

0999 □□□

A: I failed the audition again. I'll never be an actor. B: Don't give up so easily.

＿＿＿＿

① Every dog has its day.
② You can't teach an old dog new tricks.
③ Let sleeping dogs lie.
④ Barking dogs seldom bite.

① Every dog has its day.

誰にでも全盛期［チャンス］は来る

訳 A：またオーディションに落ちた。僕は絶対に俳優になれないよ。　B：そんなに簡単にあきらめないで。誰にでもいつかチャンスは来るよ。

解説 落ち込む相手に「いつかチャンスは来る」と励ますので Every dog has its day.。Let sleeping dogs lie. は「済んだことを蒸し返すな」。You can't teach an old dog new tricks. は「年を取ると新しいことは覚えられない」で励ましにならない。Barking dogs seldom bite. は「よくほえる犬はかまない（口うるさい人は実害がない）」。

区別 **Every dog has its day. ⇔ Let sleeping dogs lie.** 同じ dog のことわざでも Let sleeping dogs lie. は「寝た子を起こすな＝済んだ問題を蒸し返すな」という忠告。Every dog has its day. は「いつかチャンスが来る」という励まし。見分け方：落ち込む人を励ますなら Every dog、余計な問題に触れるなと止めるなら Let sleeping dogs lie。

1000 □□□

Don't be afraid of making mistakes when you speak English. As the saying goes, failure ＿＿＿＿ success.

① learns　② is taught
③ teaches　④ studies

③ Failure teaches success.

失敗は成功を教える；失敗は成功のもと

訳 英語を話すとき、間違えることを恐れてはいけない。ことわざにあるように、失敗は成功のもとだ。

解説 「失敗は成功を教える＝失敗は成功のもと」で、失敗が主語・成功が目的語の teaches。learns / studies は「学ぶ」で、失敗が成功を学ぶことになり意味が通らない。is taught は受け身で、後ろに success を目的語として置けない。

注意 日本語のことわざの英訳として出る。

1001 □□□

A: And then the manager said the budget was cut, so we'll have to stop the project and start over. B: OK, I get the ＿＿＿＿. Let's start planning again.

① image　② picture
③ photo　④ view

② get the picture 状況を理解する；事情が分かる

訳 A：それで部長が予算が削られたと言ったから、計画をやめてやり直さなければならないんだ。 B：分かった、事情はのみ込めたよ。もう一度計画を立て始めよう。

解説 get the picture で「状況が分かる」。image / photo は「画像・写真」で、get the image / get the photo では「理解する」の意味にならない。view は「眺め・意見」で、get the view とも言わない（in my view なら「私の意見では」）。

区別 **get the picture ⇔ take a picture** take a picture は「写真を撮る」で文字どおりの意味。get the picture は the を付けて「状況が分かる」。見分け方：冠詞が the で、話の流れが理解なら get the picture。

1002 □□□

He said he missed the meeting because his train was delayed. I wasn't sure it was true, but I decided to give him the ＿＿＿＿ of the doubt.

① merit　② profit
③ advantage　④ benefit

④ give A the benefit of the doubt

（疑わしい点はあっても）A の言うことを信じてやる

訳 彼は電車が遅れたので会議に出られなかったと言った。本当かどうか分からなかったが、私は彼の言うことを信じてやることにした。

解説 決まった形は give A the benefit of the doubt（疑わしくても A を信じてやる）。profit / advantage / merit も「利益・利点」を表すが、この熟語では benefit しか使わない。特に advantage は take advantage of（〜を利用する）と混同しやすい。

注意 文構造（give A the benefit of the doubt）を整序問題で問われる。

1003 ☐☐☐

If the company goes bankrupt, all our hard work over the last five years will go _____ the drain.

① into ② through
③ down ④ off

③ go down the drain 水の泡になる；無駄になる

訳 会社が倒産したら、この 5 年間の私たちの努力がすべて水の泡になってしまう。

解説 「水の泡になる」は go down the drain。into / through / off the drain という決まった言い方はない。go through は「経験する」、go off は「爆発する・鳴る」など別の句動詞になり、文意にも合わない。

区別 **go down the drain ⇔ go up in smoke** go up in smoke も「（計画などが）煙と消える」で意味は近いが、火事で燃える文字どおりの意味もある。go down the drain は排水口に流れていく図で、注いだお金や努力が無駄になる場面に多い。見分け方：前置詞が down なら drain、up なら smoke。

1004 ☐☐☐

Don't be so impatient about the test results. Good things come to _____ who wait.

① those ② they
③ ones ④ them

① Good things come to those who wait.
待てば海路の日和あり

訳 試験の結果についてそんなに焦らないで。待っていればよいことがやって来るよ。

解説 「～する人々」は those who ~ で表す。them / they は人称代名詞で、関係代名詞 who の先行詞として「～する人々」の意味では使えない。ones は前に the や形容詞がないと使えず、ones who wait とは言わない。

注意 日本語の「待てば海路の日和あり」に当たる。

1005 ☐☐☐

The ending of the movie was so moving that it _____ me goose bumps.

① made ② gave
③ took ④ caught

② goose bumps 鳥肌

訳 その映画の結末はとても感動的で、私は鳥肌が立った。

解説 「A に鳥肌を立たせる」は give A goose bumps の SVOO。made me goose bumps は make が「人に物を作ってあげる」意味になり不自然。take / catch は目的語を 2 つ並べるこの形を取らない（catch a cold のように病気には catch を使うが、鳥肌には使わない）。

注意 感動にも恐怖にも使う。get / give A goose bumps の形。英国では goose pimples とも。

1006 ☐☐☐

Our rivals were celebrating after the first half, but we won the game in the end. He who laughs _____ laughs best.

① latest ② lastly
③ first ④ last

④ He who laughs last laughs best.
最後に笑う者が最もよく笑う

訳 ライバルたちは前半が終わったところで大喜びしていたが、最後は私たちが試合に勝った。最後に笑う者が最もよく笑うのだ。

解説 ことわざは He who laughs last laughs best. で、last は副詞「最後に」。latest は「最新の・一番遅い」で順番の最後を表さない。lastly は「最後に（列挙の締め）」で話の順序に使う語。first は「最初に」で意味が逆。

注意 He laughs best who laughs last. の語順もある。

1007 □□□

I heard it _____ the grapevine that our English teacher is leaving the school.

① through ② by
③ from ④ with

① hear ~ through the grapevine ～をうわさで聞く

訳 英語の先生が学校を辞めるというううわさを耳にした。

解説 「うわさで聞く」は hear ~ through the grapevine（on the grapevine も可）。by the grapevine という形はない。from は情報源の人に使い、from the grapevine とは言わない。with も grapevine と組まない。

区別 **hear ~ through the grapevine ⇔ hear from ~** hear from ~ は「～から便り・連絡がある」で、本人から直接連絡が来ること。hear through the grapevine は「うわさで（間接的に）聞く」。見分け方：本人からの連絡なら hear from、出どころの分からないうわさなら through the grapevine。

1008 □□□

After the scandal, the company's sales hit _____, but they have slowly been recovering since then.

① rock bottom ② the rock bottom
③ a rock bottom ④ rocky bottom

① hit rock bottom どん底に落ちる；最低の状態になる

訳 不祥事の後、その会社の売り上げはどん底まで落ちたが、それ以来少しずつ回復してきている。

解説 「どん底に落ちる」は hit rock bottom で、rock bottom に冠詞を付けないのが決まった形。the rock bottom / a rock bottom は冠詞が付いていて誤り。rocky bottom は「岩だらけの底」という文字どおりの意味で、熟語にならない。

注意 rock-bottom prices（底値）のように形容詞的にも使う。

1009 □□□

When my father found out that I had crashed his new car, he hit the _____.

① road ② hay
③ spot ④ roof

④ hit the roof かんかんに怒る

訳 私が新車をぶつけたことを知ると、父はかんかんに怒った。

解説 車をぶつけたと知った父の反応なので「激怒した」の hit the roof。hit the road は「出発する」、hit the hay は「寝る」、hit the spot は「（食べ物などが）まさに欲しかったものだ」で、いずれも怒りの場面に合わない。

区別 **hit the roof ⇔ hit the road / hit the hay** hit the road は「出発する」、hit the hay [sack] は「寝る」、hit the spot は「（飲食物が）申し分ない」。hit the roof だけが「激怒する」。見分け方：怒った場面なら roof（怒りで天井まで跳び上がる）。

1010 □□□

The typhoon may miss our town, but you never know. Hope for the best, prepare for the _____.

① worse ② bad
③ least ④ worst

④ Hope for the best, prepare for the worst.
最善を望み、最悪に備えよ

訳 台風はこの町をそれるかもしれないが、どうなるかは分からない。最善を望み、最悪に備えよ。

解説 the best と対になるのは最上級の the worst（最悪の事態）。worse は比較級で、the の後ろに単独で置いて「最悪のこと」の意味にはならない。bad は原級で the bad では対にならない。least は「最も少ない」で、best と反対の意味にはならない。

注意 best と worst の対比を覚える。

1011 □□□

I used to hate social media, but all my friends share news there, so I finally made an account. If you can't _____ them, join them.

① win ② lose
③ follow ④ beat

④ If you can't beat them, join them.

勝てないなら仲間になれ；長いものには巻かれろ

訳 私は以前は SNS が大嫌いだったが、友達はみんなそこでニュースを共有しているので、ついにアカウントを作った。勝てないなら仲間になれ、だ。

解説 ことわざは If you can't beat them, join them.（勝てないなら仲間になれ）。win は試合・賞などを目的語にし、相手の人を目的語にして「負かす」とは言わない。lose は意味が逆。follow は「従う」で、従えないなら加われ、では意味が通らない。

注意 If you can't beat 'em, join 'em. と縮めることも。

1012 □□□

He can fix cars, cook, and play the guitar, but he isn't really good at any of them. He's a jack of all _____.

① works ② trades
③ skills ④ jobs

② Jack of all trades, master of none.

何でもできる者は一つも極められない；多芸は無芸

訳 彼は車の修理も料理もギターもできるが、どれも本当に上手なわけではない。彼は何でも屋だ。

解説 決まった形は a jack of all trades（何でも屋）で、trade は「職業・技能」。works / jobs / skills も意味は近いが、この熟語では使わない。特に work は「仕事」の意味では数えられない名詞で、works にすると「作品・工場」の意味になる。

注意 日本語の「多芸は無芸」「器用貧乏」に当たる。

1013 □□□

After the scandal, the actor kept a low _____ and refused all interviews for several months.

① level ② position
③ shape ④ profile

④ keep a low profile

目立たないようにする；低姿勢を保つ

訳 不祥事の後、その俳優は数か月間目立たないようにして、取材をすべて断った。

解説 「目立たないようにする」は keep a low profile。position / shape / level は意味の上では「低い地位・状態・水準」にできそうに見えるが、この熟語にはならない。keep in shape（体型を保つ）など別の表現と混同しないこと。

注意 反対は keep a high profile。

1014 □□□

I lost all my photos when my phone broke. I learned the _____ way that you should always back up your data.

① difficult ② tough
③ painful ④ hard

④ learn ~ the hard way ～を痛い目にあって学ぶ

訳 携帯電話が壊れて写真を全部失った。データは常にバックアップすべきだと痛い目にあって学んだ。

解説 「痛い目にあって学ぶ」は learn ~ the hard way で、hard 以外の形容詞には置き換えない決まった形。difficult / tough / painful も意味は近いが、the difficult way などとは言わない。

注意 learn (that) ~ the hard way の形。

1015 □□□

Even when the customer started shouting at her, the clerk never lost her _____ and kept smiling.

① cold ② cool
③ heat ④ fever

② lose one's cool 冷静さを失う；かっとなる

訳 客が怒鳴り始めても、その店員は決して冷静さを失わず、笑顔を絶やさなかった。

解説 「冷静さを失う」は lose one's cool で、cool は名詞の「冷静さ」。cold は名詞だと「寒さ・風邪」で lose her cold は「風邪が治る」の方向になり文意に合わない。heat / fever を失うのは「熱が下がる」方向で、怒る意味にならない。

区別 **lose one's cool ⇔ lose one's mind** lose one's mind は「気が狂う・正気を失う」で、怒りではなく頭がおかしくなること。lose one's cool は「かっとなる」。見分け方：一時的に怒りで冷静さを失うなら cool / temper。

1016 □□□

Hundreds of people applied, but only a few of them made the _____ and were hired.

① mark ② score
③ grade ④ level

③ make the grade 基準に達する；合格する

訳 何百人もが応募したが、基準に達して採用されたのはそのうちのほんの数人だった。

解説 「基準に達する・合格する」は make the grade。make one's mark は「名を成す」、hit the mark は「的中する」で、make the mark とは言わない。score / level もこの形の熟語にはならない。

注意 ＝ succeed / meet the standard。

1017 □□□

You don't have to solve every problem by yourself. Ask your friends for help when you need it. After all, _____

① every man for himself.
② money talks.
③ no man is an island.
④ strike while the iron is hot.

③ No man is an island.
人は孤島ではない；人は一人では生きられない

訳 すべての問題を一人で解決する必要はない。必要なときは友達に助けを求めなさい。結局、人は一人では生きられないのだから。

解説 一人で抱え込まず友人に頼れという流れなので、「人は一人では生きられない」の No man is an island.。Every man for himself. は「各自自分の身は自分で守れ」で文意と逆。Money talks. は「金がものを言う」。Strike while the iron is hot. は「鉄は熱いうちに打て（好機を逃すな）」で、助けを求める話と合わない。

注意 ジョン・ダンの言葉として教養問題に出る。

1018 □□□

Take the job offer while you can. Opportunity knocks _____ once.

① not ② and
③ so ④ but

④ Opportunity knocks but once.
好機は一度しか訪れない

訳 できるうちにその仕事の話を受けなさい。好機は一度しか訪れないのだから。

解説 ことわざは Opportunity knocks but once. で、but は only と同じ「～だけ」の副詞。not once だと「一度もノックしない」になり、好機を逃すなという文意と合わない。and / so は接続詞で、後ろに once だけを置いても文にならない。

注意 but＝only（～だけ）の用法を問う。

1019 ☐☐☐

The patient is getting better, but the doctor says she is not out of the ＿＿＿＿ yet.

① forest　② trees
③ woods　④ jungle

③ out of the woods 危機を脱して

訳 その患者は快方に向かっているが、医者はまだ危機を脱したわけではないと言っている。

解説 「危機を脱して」は out of the woods。forest / trees / jungle も森を表すが、この熟語では使わない。not out of the woods yet（まだ安心できない）の形でよく出る。

注意 not out of the woods yet（まだ安心できない）の否定形が多い。

1020 ☐☐☐

His plan to become a millionaire within a year sounds like ＿＿＿＿ in the sky to me.

① pie　② castle
③ bird　④ cake

① pie in the sky 絵に描いた餅；実現しそうもない計画

訳 1 年以内に大金持ちになるという彼の計画は、私には絵に描いた餅のように聞こえる。

解説 「実現しそうもない計画」は pie in the sky。似た意味の表現は castles in the air で、castle in the sky という言い方は熟語にならない。cake / bird も sky と組んだ決まった表現はない。

区別 **pie in the sky ⇔ castles in the air** castles in the air（空中楼閣）も「実現しない空想・夢」で意味は近いが、build castles in the air（空想にふける）の形が多い。pie in the sky は計画・約束への批判に多い。見分け方：単語の組み合わせを確実に覚える（pie＋sky、castles＋air）。

1021 ☐☐☐

My father tells me not to eat junk food, but he eats it every day. He should practice ＿＿＿＿ he preaches.

① that　② which
③ what　④ how

③ Practice what you preach.
人に説くことは自分でも実行せよ；言行を一致させよ

訳 父は私にジャンクフードを食べるなと言うのに、自分は毎日食べている。人に説くことは自分でも実行すべきだ。

解説 「自分が説いていること」は先行詞を含む関係代名詞 what を使って what he preaches。that / which は前に先行詞が必要で、ここには先行詞がない。how he preaches は「説き方」で、説いた内容を実行するという意味にならない。

注意 practice は動詞で「実行する」。

1022 ☐☐☐

He was so sure he would win that he didn't even practice, and then he lost in the first round. Pride goes ＿＿＿＿ a fall.

① after　② with
③ against　④ before

④ Pride goes before a fall.
おごりは破滅に先立つ；おごれる者は久しからず

訳 彼は勝てると確信していたので練習すらしなかったが、1 回戦で負けてしまった。おごりは破滅に先立つのだ。

解説 ことわざは Pride goes [comes] before a fall.（おごりは破滅に先立つ）。after だと破滅の後におごりが来る逆の順になる。with / against では「おごりが転落を招く」という因果関係にならず、決まった形でもない。

注意 日本語の「おごれる者は久しからず」との対応。

1023 ☐☐☐

I really put my foot in my _____ when I asked her when her baby was due. She wasn't pregnant.

① shoe ② face
③ mouth ④ door

③ put one's foot in one's mouth うっかり失言する

訳 彼女に出産予定日はいつかと聞いて、本当にまずい失言をしてしまった。彼女は妊娠していなかったのだ。

解説 無神経な質問をして気まずくなったので「失言した」の put one's foot in one's mouth。get one's foot in the door は「足がかりをつかむ」で、失言の意味はない。shoe / face は foot と組んだ熟語にならない。

区別 **put one's foot in one's mouth ⇔ put one's foot down** put one's foot down は「断固とした態度をとる・きっぱり反対する」で、足を床に踏みしめる図。put one's foot in one's mouth は「失言する」。見分け方：言い過ぎて気まずくなったなら mouth、禁止・拒否するなら down。

1024 ☐☐☐

Everyone was upset after hearing the bad news, but he kept telling jokes. He really can't read the _____.

① air ② mood
③ room ④ atmosphere

③ read the room 場の空気を読む

訳 悪い知らせを聞いてみんなが落ち込んでいたのに、彼は冗談を言い続けた。彼は本当に場の空気が読めない。

解説 「場の空気を読む」は英語では read the room。read the air は日本語の直訳で英語の熟語ではない。mood / atmosphere も「雰囲気」の意味だが、read と組んで「空気を読む」の決まった形にはならない。

注意 日本語の「空気を読む」に当たる新しめの表現。

1025 ☐☐☐

Everything in the team is going smoothly right now, so please don't rock the _____ by complaining.

① boat ② cradle
③ chair ④ ship

① rock the boat 波風を立てる；事を荒立てる

訳 今チームの中は万事順調なので、文句を言って波風を立てないでください。

解説 「波風を立てる」は rock the boat。ship は意味が近くても熟語にならない。rock the cradle は「揺りかごを揺らす（子守りをする）」の文字どおりの意味。rock the chair も熟語ではない。

注意 Don't rock the boat. の否定の形が多い。

1026 ☐☐☐

I know things are hard for your family right now, but don't give up. The darkest hour is just _____ the dawn.

① after ② until
③ before ④ since

③ The darkest hour is just before the dawn.
夜明け前が一番暗い；苦しい時を越えれば希望が見える

訳 今あなたの家族が大変なのは分かっているけれど、あきらめないで。夜明け前が一番暗いのだから。

解説 ことわざは The darkest hour is just before the dawn.（夜明け前が一番暗い）。after だと夜明けの後になり、苦しさの後に希望が来るという意味にならない。until / since は「～まで（ずっと）」「～以来」で、時点を表す be 動詞の文と合わない。

注意 最上級 darkest の形を確認。

1027 ☐☐☐

The contract looks fine overall, but please read every line carefully. The devil is in the ＿＿＿＿.

① small　② parts
③ details　④ points

③ The devil is in the details.

悪魔は細部に宿る；細部にこそ落とし穴がある

訳 その契約書は全体的には問題なさそうだが、1行ずつ注意して読んでください。細部にこそ落とし穴があるのです。

解説 ことわざは The devil is in the details.（細部に落とし穴がある）。small は形容詞で、the の後ろに単独で置いて「細部」の意味にはならない。parts / points も「部分・点」だが、このことわざでは使わない。

注意 ビジネス・契約の文脈で使う。

1028 ☐☐☐

Some people believe that the end ＿＿＿＿ the means, but I think lying is always wrong.

① justify　② is justified by
③ justifying　④ justifies

④ The end justifies the means.

目的は手段を正当化する；うそも方便

訳 目的は手段を正当化すると考える人もいるが、私はうそをつくことは常に間違っていると思う。

解説 主語 the end は単数で、一般的な考えを述べるので現在形 justifies。justify は三単現の s がない。is justified by だと「目的が手段によって正当化される」と向きが逆になる。justifying は that 節の述語動詞にならない。

注意 means（手段）は単複同形。倫理を論じる長文で出る。

1029 ☐☐☐

I passed the entrance exam, and then I won a scholarship. That was the ＿＿＿＿ on the cake.

① icing　② sugar
③ candle　④ cream

① the icing on the cake

さらにうれしいおまけ；最後の仕上げ

訳 入学試験に合格し、それから奨学金ももらえた。それはさらにうれしいおまけだった。

解説 「さらにうれしいおまけ」は the icing on the cake（米では frosting も）。cream / sugar / candle もケーキに関係する語だが、この熟語では使わない。

注意 米国では the frosting on the cake とも。皮肉に「さらに悪いことに」の意味でも使う。

1030 ☐☐☐

A: My girlfriend broke up with me last night. B: Cheer up! There ＿＿＿＿ plenty of other fish in the sea.

① is　② are
③ have　④ has

② There are plenty of (other) fish in the sea.

海には魚がたくさんいる；相手は他にもいる

訳 A：昨日の夜、彼女に振られたんだ。　B：元気出して！　相手は他にもいくらでもいるよ。

解説 There is / are の後ろの主語は plenty of other fish で、fish は単複同形の名詞だがここでは「たくさんの魚」と複数なので are。is は単数扱いで合わない。has / have は There の後ろに置いて「～がいる」の意味にならない。

注意 失恋した人を慰める決まり文句。

1031 □□□

Since my father lost his job, all of us in the family have had to tighten our ＿＿＿＿.

① shoes　② ties
③ belts　④ caps

③ tighten one's belt 倹約する；財布のひもを締める

訳 父が失業してから、家族全員が倹約しなければならなくなった。

解説 「倹約する」は tighten one's belt で、主語が複数なので belts。shoes / ties / caps を締めても倹約の意味にはならない。日本語の「財布のひもを締める」に引かれて別の物を選ばないこと。

注意 belt-tightening（緊縮）という名詞も出る。

1032 □□□

Thanks to its loyal customers, the small company managed to ＿＿＿＿ the storm of the economic crisis.

① whether　② climate
③ season　④ weather

④ weather the storm 難局を乗り切る

訳 忠実な客のおかげで、その小さな会社は経済危機という難局を何とか乗り切った。

解説 「難局を乗り切る」は weather the storm で、weather は動詞。whether は接続詞「～かどうか」で、発音が同じでも動詞にならない。climate / season は名詞で、動詞として目的語を取れない。

注意 weather が動詞で使われる点が狙われる。＝ get through / survive。

1033 □□□

Losing that game was painful, but it taught you a lot. What doesn't kill you ＿＿＿＿ you stronger.

① make　② is made
③ makes　④ making

③ What doesn't kill you makes you stronger.
死なない程度の苦しみは人を強くする

訳 あの試合に負けたのはつらかったけれど、多くのことを学んだはずだ。死なない程度の苦しみは人を強くするんだよ。

解説 What doesn't kill you は関係代名詞 what が作る名詞節で単数扱いなので、述語動詞は makes。make は三単現の s がない。is made は受け身で、後ろに you stronger を置けない。making は述語動詞にならない。

注意 ニーチェの言葉として長文に出ることがある。

1034 □□□

A: Our band's popularity has dropped so fast since last year. B: Well, ＿＿＿＿ Nothing lasts forever.

① what goes up must come down.
② strike while the iron is hot.
③ all's well that ends well.
④ every cloud has a silver lining.

① What goes up must come down.
上がったものは必ず下がる；おごれる者は久しからず

訳 A：去年から僕たちのバンドの人気がすごい勢いで落ちているんだ。　B：まあ、上がったものは必ず下がるものだよ。永遠に続くものなんてないさ。

解説 人気が急に下がったことに「上がったものは必ず下がる、永遠に続くものはない」と続けるので What goes up must come down.。Every cloud has a silver lining. は「どんな不幸にも良い面がある」で Nothing lasts forever とつながらない。Strike while the iron is hot. は「好機を逃すな」。All's well that ends well. は「終わりよければすべてよし」。

注意 株価や人気の話題で使う。

1035 □□□

A: I can't stop thinking about the goal I missed in the final. B: ＿＿＿＿ Let's focus on the next game.

① What's done is done.
② Look before you leap.
③ Two heads are better than one.
④ Better late than never.

① What's done is done.

済んだことは済んだこと；覆水盆に返らず

訳 A：決勝で外したゴールのことが頭から離れないんだ。 B：済んだことは済んだことだよ。次の試合に集中しよう。

解説 過去の失敗を悔やむ相手に「済んだことは仕方ない、次に集中しよう」なので What's done is done.。Better late than never. は「遅れてもしないよりまし」。Look before you leap. は「転ばぬ先のつえ（よく考えてから行動せよ）」で、すでに済んだ失敗には遅い。Two heads are better than one. は「三人寄れば文殊の知恵」。

注意 It is no use crying over spilt milk. と同じ場面で使う。

1036 □□□

Everyone else was nervous before the final, but Mai was as cool as a ＿＿＿＿ and played perfectly.

① cucumber ② tomato
③ lemon ④ cabbage

① (as) cool as a cucumber

とても冷静な；落ち着き払った

訳 決勝の前、ほかのみんなは緊張していたが、マイはとても落ち着いていて、完ぺきに演奏した。

解説 「とても冷静な」は (as) cool as a cucumber。cabbage / tomato / lemon は cool と組んだ比喩表現にならない。as red as a tomato（真っ赤な）など別の比喩と混同しないこと。

注意 cool と cucumber の頭韻がポイント。＝ very calm。

1037 □□□

With only ten minutes left before the deadline, the students were racing ＿＿＿＿ the clock to finish their essays.

① around ② by
③ over ④ against

④ (race) against the clock

時間と戦って；時間に追われて

訳 締め切りまで 10 分しかなく、学生たちは時間と戦いながら作文を仕上げようとしていた。

解説 締め切りまで 10 分しかなく時間と戦っているので race against the clock。around the clock は「24 時間休みなく」で、残り 10 分という状況と合わない。by the clock は「時計どおりに」、over the clock という決まった言い方はない。

区別 **(race) against the clock ⇔ around the clock** around the clock は「24 時間休みなく・昼も夜も」で、急いでいるかどうかではなく途切れずに続くこと。against the clock は「締め切りまでの時間と戦って」。見分け方：残り時間との勝負なら against、休みなく続けるなら around。

1038 □□□

This convenience store is open _____, even on New Year's Day, so you can shop there at 3 a.m.

① on and off　② 24/7
③ all along　④ once in a while

② 24/7 年中無休で；いつも

訳 このコンビニは元日も含めて年中無休なので、午前 3 時でも買い物ができる。

解説 元日も含め、夜中の 3 時でも買い物ができるので「年中無休で・24 時間いつでも」の 24/7（twenty-four seven）。on and off は「断続的に・時々」で、いつでも開いている意味と逆。all along は「最初からずっと（知っていた等）」で、営業時間には使わない。once in a while は「たまに」で、3 時でも買えるという内容と合わない。

区別 **24/7 ⇔ around the clock** around the clock も「24 時間ずっと」だが、1 日の中で休みなくという意味が中心。24/7 は週 7 日まで含めて「年中無休」。見分け方：意味はほぼ重なるが、曜日も休まないなら 24/7 がぴったり。

1039 □□□

He said he lost the tennis match because of his old racket. Well, a bad workman always _____ his tools.

① blames for　② blames
③ is blamed　④ blames on

② A bad workman always blames his tools.
下手な職人ほど道具のせいにする；弘法筆を選ばず（の逆）

訳 彼はテニスの試合に負けたのは古いラケットのせいだと言った。まあ、下手な職人ほど道具のせいにするものだ。

解説 blame A で「A のせいにする」なので blames his tools。blames for は for の後ろに理由が来る形（blame A for B）で、for の直後に責める対象は置けない。blame A on B は「A（失敗）を B のせいにする」で、blames on his tools では A が欠けている。is blamed は受け身で、後ろの his tools とつながらない。

注意 日本語の「弘法筆を選ばず」を裏から言った形。always を省いて A bad workman blames his tools. とも。

1040 □□□

The popular video game series has been a cash _____ for the company for more than twenty years.

① bull　② horse
③ pig　④ cow

④ a cash cow 金のなる木；安定した収入源

訳 その人気ゲームシリーズは、20 年以上にわたってその会社の金のなる木となっている。

解説 「安定した収入源」は a cash cow。bull / horse / pig は cash と組んだ熟語にならない。貯金箱の piggy bank（豚の貯金箱）から pig を連想させる選択肢に注意。

注意 ビジネス系の長文に出る。日本語の「金のなる木」「ドル箱」に当たる。

1041 □□□

Smartphones were a real _____ changer for the way people communicate.

① rule　② game
③ match　④ play

② a game changer 状況を一変させるもの

訳 スマートフォンは、人々の意思疎通の仕方を一変させるものだった。

解説 「状況を一変させるもの」は a game changer。rule / play / match も試合に関係する語だが、changer と組んだ決まった表現は game だけ。

注意 新技術の説明文でよく出る。

1042 ☐☐☐

Driving fast on icy roads at night is a _____ for disaster.

① menu ② dish
③ course ④ recipe

④ a recipe for disaster 失敗のもと；災いを招く原因

訳 夜に凍った道路で速度を出して運転するのは、災いを招くもとだ。

解説 「失敗のもと」は a recipe for disaster。menu / dish / course も料理に関係する語だが、for disaster と組んで「災いを招く原因」の意味にはならない。

注意 a recipe for success（成功の秘訣）の形もある。

1043 ☐☐☐

Ten dollars for a small bottle of water? That's a _____!

① take-off ② pay-off
③ rip-off ④ turn-off

③ a rip-off ぼったくり；法外な値段

訳 小さなペットボトルの水が 10 ドル？ ぼったくりだ！

解説 高すぎる値段への不満なので「ぼったくり」の a rip-off。take-off は「離陸」、pay-off は「見返り・報酬」、turn-off は「興ざめなもの・脇道」で、どれも値段が高すぎる意味にはならない。

注意 動詞 rip A off（A からぼる）も。

1044 ☐☐☐

The politician seemed perfect, but reporters were sure he had a skeleton in the _____.

① kitchen ② garden
③ closet ④ attic

③ a skeleton in the closet
人に知られたくない秘密；隠された過去

訳 その政治家は完ぺきに見えたが、記者たちは彼に人に知られたくない秘密があると確信していた。

解説 「人に知られたくない秘密」は a skeleton in the closet（英では cupboard）。kitchen / garden / attic も家の中や周りの場所だが、この熟語では使わない。

注意 have a skeleton in the closet の形。

1045 ☐☐☐

Everyone wanted to go dancing after dinner, but Ken said it was too late. He's such a wet _____.

① towel ② blanket
③ cloth ④ sheet

② a wet blanket 座をしらけさせる人；興ざめな人

訳 夕食の後、みんなは踊りに行きたがったが、ケンはもう遅すぎると言った。彼は本当に座をしらけさせる人だ。

解説 「座をしらけさせる人」は a wet blanket。towel / sheet / cloth も布製品だが、wet と組んだこの意味の熟語にはならない。

注意 killjoy / party pooper と同意。

1046 □□□

Don't worry about the manager's threats to fire you. He's all bark and no ＿＿＿＿.

① teeth　② bite
③ claw　④ tail

② all bark and no bite

口先だけで実際は何もしない；虚勢を張るだけ

訳 君を首にするという部長の脅しは気にしなくていい。彼は口先だけで、実際には何もしないから。

解説 「口先だけで何もしない」は all bark and no bite で、ほえる（bark）とかむ（bite）が対になっている。teeth / tail / claw も動物の体の部分だが、bark と対になる動作ではなく熟語にならない。

区別 **all bark and no bite ⇔ all talk and no action** all talk and no action は「口ばかりで行動しない」で、約束や計画を実行しない人。all bark and no bite は脅し・威嚇だけで実害がない人。見分け方：脅しなら bark、やると言ってやらないなら talk。

1047 □□□

Volunteering at the refugee camp was a real ＿＿＿＿ for me. I learned how lucky I am.

① eye-opener　② eyesore
③ eyewitness　④ eye-catcher

① an eye-opener

目を見開かされる経験；目からうろこの出来事

訳 難民キャンプでのボランティアは、私にとってまさに目からうろこの経験だった。自分がどれほど恵まれているかを知った。

解説 自分がどれほど恵まれているか気づかされた経験なので an eye-opener。eye-catcher は「人目を引くもの」、eyesore は「目障りなもの」、eyewitness は「目撃者」で、気づきを与える経験の意味にならない。

区別 **an eye-opener ⇔ an eye-catcher** an eye-catcher は「人目を引くもの」で、見た目が目立つこと。an eye-opener は「物の見方を変えるような気づき」。見分け方：見た目の派手さなら catcher、考えが変わる経験なら opener。

1048 □□□

Without enough money or famous members, the small party faces an ＿＿＿＿ battle in the election.

① downhill　② upward
③ overhill　④ uphill

④ an uphill battle 苦しい戦い；困難な取り組み

訳 十分な資金も有名な議員もいないので、その小さな政党は選挙で苦しい戦いを強いられている。

解説 「苦しい戦い」は an uphill battle。downhill は「下り坂の」で、go downhill（悪化する）のように使い、battle と組んで苦戦の意味にならない。upward は「上向きの」で熟語にならず、overhill という語はない。

注意 an uphill struggle とも言う。

1049 □□□

After trying everything to stop the baby crying, the parents were _____ their wit's end.

① in　② by
③ on　④ at

④ at one's wit's end

途方に暮れて；どうしてよいか分からなくて

訳 赤ちゃんを泣きやませようとあらゆることを試した後、両親は途方に暮れていた。

解説 at one's wit's end で「途方に暮れて」。「知恵の終点という地点に」という意味なので地点の at。in / on / by はこの成句では使わない。あらゆることを試した後、という文脈が「打つ手がない」状態と合う。

区別 **at one's wit's end ⇔ at a loss**　at a loss も「途方に暮れて」だが、at a loss for words（言葉に詰まる）のように範囲が広く、軽い戸惑いにも使う。at one's wit's end は「もう打つ手がない」と追い詰められた強い困惑。

1050 □□□

He has never had to work for anything in his life. He was born with a silver _____ in his mouth.

① fork　② ring
③ spoon　④ coin

③ born with a silver spoon in one's mouth

裕福な家に生まれて

訳 彼はこれまでの人生で、何かのために働く必要がなかった。裕福な家に生まれたのだ。

解説 「裕福な家に生まれて」は born with a silver spoon in one's mouth。fork / ring / coin はこの熟語では使わない。銀という素材から coin や ring を連想させる選択肢に注意。

注意 be born with ~ の受け身の形。

1051 □□□

Teaching English is my bread and _____, but my real dream is to write novels.

① jam　② milk
③ butter　④ cheese

③ bread and butter　生計の手段；主な収入源

訳 英語を教えることが私の生計の手段だが、本当の夢は小説を書くことだ。

解説 「生計の手段」は bread and butter。jam / milk / cheese も食べ物だが、この熟語では使わない。and でつながる語の組み合わせが決まっている表現。

注意 one's bread and butter の形。bread-and-butter issue（生活に直結する問題）も。

1052 □□□

Even if you hate your boss, don't burn your _____ when you quit. You may need his help someday.

① houses　② roads
③ bridges　④ walls

③ burn one's bridges

退路を断つ；（関係などを）後戻りできないようにする

訳 たとえ上司が大嫌いでも、辞めるときに関係を断ち切るようなことはしてはいけない。いつか彼の助けが必要になるかもしれないから。

解説 「（関係などを）後戻りできないようにする」は burn one's bridges。houses / roads / walls はこの熟語では使わない。将来助けが必要になるかもしれないという後半が、関係を断つなという意味を支えている。

注意 burn one's boats とも。日本語の「背水の陣」と近い。

1053 ☐☐☐

I'll call a spade a ＿＿＿＿: your report is full of mistakes and has to be rewritten.

① shovel　② spoon
③ spade　④ heart

③ call a spade a spade

ありのままに言う；歯に衣着せずに言う

訳 はっきり言わせてもらうと、君の報告書は間違いだらけで、書き直さなければならない。

解説 「ありのままに言う」は call a spade a spade で、同じ語を 2 回繰り返すのが決まった形。shovel は意味が近い語だが、言い換えると熟語にならない。spoon / heart も使わない（heart はトランプのスペードからの連想を狙った選択肢）。

注意 ＝ speak frankly。

1054 ☐☐☐

Wear a suit to the interview. Clothes ＿＿＿＿ the man, you know.

① make　② made
③ are made　④ makes

① Clothes make the man.

馬子にも衣装；服装で人は判断される

訳 面接にはスーツを着ていきなさい。服装で人は判断されるものだからね。

解説 主語 clothes は常に複数扱いなので make。makes は三単現で合わない。made は過去形で、一般的な真理を述べることわざには現在形を使う。are made は受け身で、後ろの the man とつながらない。

区別 **Clothes make the man. ⇔ Don't judge a book by its cover.** Don't judge a book by its cover. は「見た目で中身を判断するな」で、Clothes make the man. とは反対の考え方。見分け方：外見が大事と言うなら Clothes make the man、外見で判断するなと言うなら judge a book。

1055 ☐☐☐

My brother is very thin, but he eats like a ＿＿＿＿. He had three bowls of rice tonight.

① bird　② horse
③ cat　④ fish

② eat like a horse　大食いする

訳 弟はとてもやせているのに大食いだ。今夜はご飯を 3 杯食べた。

解説 やせているのにご飯を 3 杯食べたので「大食いする」の eat like a horse。eat like a bird は「少食だ」で、後半の内容と矛盾する。fish / cat は eat like a ~ の決まった比喩にならない。

区別 **eat like a horse ⇔ eat like a bird** eat like a bird は「少食だ」で、eat like a horse の反対。見分け方：but などで「やせているのに」と対比されていれば horse、量が少ないなら bird。

1056 ☐☐☐

The job pays well, but I have to work every weekend. Well, every rose has ＿＿＿＿ thorn.

① it's　② its
③ her　④ their

② Every rose has its thorn.

どのバラにもとげがある；きれいなバラにはとげがある

訳 その仕事は給料はいいが、毎週末働かなければならない。まあ、きれいなバラにはとげがあるということだ。

解説 every rose を受ける所有格は its。it's は it is の短縮形で所有格ではない。their は複数を受ける所有格で、every ~ の単数とは合わない。her は人（女性）を受ける語で、rose には使わない。

注意 日本語の「きれいなバラにはとげがある」とほぼ同じ。

1057 ☐☐☐

At first he respected his boss, but after working with him for years, he stopped listening to him. Familiarity _____ contempt.

① breed ② bred
③ breeds ④ is bred

③ Familiarity breeds contempt.

親しみが過ぎると軽蔑を生む；親しき仲にも礼儀あり

訳 最初は上司を尊敬していたが、何年も一緒に働くうちに彼の言うことを聞かなくなった。親しみが過ぎると軽蔑を生むのだ。

解説 主語 familiarity は単数の抽象名詞で、ことわざは現在形で述べるので breeds。breed は三単現の s がない。bred は過去形で、一般的な真理を表すことわざの形にならない。is bred は受け身で、後ろの contempt とつながらない。

注意 breed（生む）、contempt（軽蔑）という語を確認。

1058 ☐☐☐

Don't be afraid to start your own business. Fortune favors the _____.

① boldly ② bold
③ bolder ④ boldness

② Fortune favors the bold.

幸運は勇者に味方する；虎穴に入らずんば虎子を得ず

訳 自分の会社を始めるのを恐れてはいけない。幸運は勇者に味方するのだから。

解説 the＋形容詞で「～な人々」を表すので the bold（大胆な人々）。boldly は副詞で the の後ろに置けない。boldness は名詞「大胆さ」で、幸運が「大胆さ」をひいきするでは人を指さない。bolder は比較級で、比べる相手がない。

注意 Fortune favors the brave. とも。

1059 ☐☐☐

The singer went from rags to _____ after her first song became a worldwide hit.

① rich ② richness
③ wealthy ④ riches

④ from rags to riches 貧乏から大金持ちへ

訳 その歌手は、最初の曲が世界的なヒットになり、貧乏から一躍大金持ちになった。

解説 「貧乏から大金持ちへ」は from rags to riches で、riches は名詞「富」の複数形。rich / wealthy は形容詞で、rags と対になる名詞の位置に置けない。richness は「豊かさ・濃厚さ」で、この熟語では使わない。

注意 a rags-to-riches story の形も多い。

1060 ☐☐☐

If you start studying for the entrance exam in your first year, you'll get a head _____ on the other students.

① begin ② lead
③ first ④ start

④ get a head start (on ~)

（～で）有利なスタートを切る；先に始めて有利になる

訳 1 年生のうちに入試の勉強を始めれば、ほかの生徒より有利なスタートを切れる。

解説 「先に始めて有利になる」は get a head start（on ~）。begin は動詞なので a head の後ろに名詞として置けない。lead は名詞で「リード」だが a head lead とは言わない。first も名詞の位置に置いて熟語にならない。

注意 have / get a head start の形。＝ get ahead early。

1061 □□□

A good marriage requires a lot of give and _____ from both partners.

① take ② receive
③ return ④ get

① give and take 持ちつ持たれつ；譲り合い

訳 よい結婚生活には、夫婦双方のたくさんの譲り合いが必要だ。

解説 「譲り合い・持ちつ持たれつ」は give and take。get / receive / return も「受け取る・返す」の意味を持つが、give と対になったこの決まった形では使わない。

注意 名詞で使う。日本語の「ギブアンドテイク」とほぼ同じ。

1062 □□□

After the new manager arrived, the restaurant began to go _____, and many regular customers stopped coming.

① uphill ② downstairs
③ downhill ④ downtown

③ go downhill 悪化する；衰える

訳 新しい店長が来てから、そのレストランは悪くなり始め、多くの常連客が来なくなった。

解説 常連客が来なくなったので「悪化する」の go downhill。go uphill という熟語はなく（an uphill battle は「苦しい戦い」）、go downstairs は「階下へ行く」、go downtown は「繁華街へ行く」で文字どおりの移動になる。

注意 ＝ get worse / decline。

1063 □□□

The campaign began as a small _____ movement led by local parents and later spread across the country.

① grassland ② grasshopper
③ grassroots ④ greenhouse

③ grassroots 草の根の；一般大衆の

訳 その運動は地元の親たちが率いる小さな草の根運動として始まり、後に全国へ広がった。

解説 地元の親たちが始めた市民運動なので「草の根の」の grassroots。grassland は「草原」、grasshopper は「バッタ」、greenhouse は「温室」で、どれも movement を修飾して市民運動の意味にならない。

注意 grassroots movement / campaign の形。

1064 □□□

He may look scary, but he has a heart of _____. He always helps people in trouble.

① stone ② gold
③ glass ④ iron

② have a heart of gold とても優しい心の持ち主である

訳 彼は怖そうに見えるかもしれないが、とても優しい心の持ち主だ。困っている人をいつも助けている。

解説 困った人をいつも助けるので「とても優しい」の have a heart of gold。heart of stone は「冷酷」で反対の意味。iron / glass は heart of ~ の決まった表現にならない。

区別 **have a heart of gold ⇔ have a heart of stone** have a heart of stone は「冷酷だ・情けがない」で、gold の反対。見分け方：優しさなら gold、冷たさなら stone。

1065 □□□

Don't work so hard that you get sick. Remember, health is ＿＿＿＿.

① wealthy　② rich
③ money　④ wealth

④ Health is wealth.

健康は富である；健康は何よりの財産

訳 病気になるほど働きすぎてはいけない。健康は何よりの財産だということを忘れないで。

解説 ことわざは Health is wealth.（健康は富である）で、wealth は名詞。wealthy / rich は形容詞で「健康は裕福だ」となり意味が通らない。money は Time is money. と混同させる選択肢。

注意 health と wealth の韻がポイント。

1066 □□□

I'm going to be away next week, but please keep me in the ＿＿＿＿ about any changes to the project.

① loop　② ring
③ line　④ circle

① in the loop （情報の）輪の中にいて；事情に通じて

訳 来週は不在にしますが、計画に変更があれば随時知らせてください。

解説 「随時情報を知らせる」は keep A in the loop。circle / ring も「輪」の意味だが、この熟語では使わない。line は hold the line（電話を切らずに待つ）などの別の表現で、情報の共有の意味にならない。

区別 **in the loop ⇔ out of the loop** out of the loop は「情報から外されて・蚊帳の外で」で、in the loop の反対。見分け方：知らされているなら in、知らされていないなら out of。

1067 □□□

My old car finally kicked the ＿＿＿＿ after twenty years, so I had to buy a new one.

① bucket　② box
③ can　④ basket

① kick the bucket 死ぬ；くたばる

訳 20 年乗った私の古い車がついにくたばって（壊れて）しまったので、新しいのを買わなければならなかった。

解説 「死ぬ・壊れる」のくだけた言い方は kick the bucket。basket / box はこの熟語では使わない。kick the can（down the road）は「問題を先送りする」という別の表現。

区別 **kick the bucket ⇔ pass away** pass away は「亡くなる」の丁寧で婉曲な言い方で、改まった場面で使う。kick the bucket はくだけた・冗談めいた言い方。見分け方：丁寧なら pass away、ふざけた口調なら kick the bucket。

1068 □□□

I forgot to do my homework, but the teacher let me ＿＿＿＿ the hook this time.

① off　② down
③ on　④ out

① let A off the hook

A を（責任・罰から）解放する；大目に見る

訳 宿題をやるのを忘れたが、先生は今回は大目に見てくれた。

解説 「責任や罰から解放する・大目に見る」は let A off the hook。let A out は「外に出す」、let A down は「がっかりさせる」で、the hook とつながらない。on the hook は「（責任を）負わされて」で、let me on the hook という形はない。

区別 **let A off the hook ⇔ let A down** let A down は「A をがっかりさせる・期待を裏切る」。let A off the hook は「A を許してやる」。見分け方：off the hook が付けば解放、down なら失望。

1069 □□□

The smell of fresh bread from the bakery made my mouth ＿＿＿＿.

① to water　② watered
③ water　④ watering

③ make A's mouth water

A のよだれが出そうにする；A を欲しがらせる

訳 パン屋から漂う焼きたてのパンの匂いに、よだれが出そうになった。

解説 使役の make は make O＋動詞の原形の形を取るので water。to water は make の後ろに置けない（受け身 be made to do の場合だけ to が付く）。watered / watering も make O の後ろの形として誤り。

注意 My mouth is watering.（よだれが出そう）の形も会話で使う。

1070 □□□

He has no experience, but he got a seat on the committee just because he donated a lot of money. ＿＿＿＿

① Time is money.
② Silence is golden.
③ Talk is cheap.
④ Money talks.

④ Money talks. 金がものを言う；地獄の沙汰も金次第

訳 彼には経験がないのに、多額の寄付をしたというだけで委員の座を得た。金がものを言うのだ。

解説 寄付のおかげで委員になれたので「金がものを言う」の Money talks.。Time is money. は「時は金なり（時間を大切に）」。Silence is golden. は「沈黙は金」。Talk is cheap. は「口先だけなら何とでも言える」で、お金の力を表さない。

区別 **Money talks. ⇔ Talk is cheap.** Talk is cheap. は「口では何とでも言える（行動が大事）」で、お金の力の話ではない。見分け方：お金で物事が動くなら Money talks、言葉より行動なら Talk is cheap。

1071 □□□

I can't tell you the exact number off the ＿＿＿＿ of my head, but it's about 500.

① tip　② top
③ end　④ front

② off the top of one's head

即座に；よく考えずに思いつくまま

訳 すぐには正確な数を言えないが、だいたい 500 だ。

解説 「即座に・考えずに」は off the top of one's head。tip は on the tip of one's tongue（喉まで出かかって）で使う語で、head とは組まない。front / end も off the ~ of one's head の形にならない。

区別 **off the top of one's head ⇔ on the tip of one's tongue** on the tip of one's tongue は「（名前などが）喉まで出かかって」で、思い出せそうで思い出せない状態。off the top of one's head は「考えずにすぐ」。見分け方：出かかっているなら tip of tongue、即答なら top of head。

1072 □□□

Don't ask him why he left his last job. You'll open a can of ＿＿＿＿.

① snakes ② beans
③ worms ④ bugs

③ open a can of worms
（余計な）厄介な問題を引き起こす；やぶへび

訳 彼になぜ前の仕事を辞めたのか聞いてはいけない。やぶへびになるよ。

解説 「厄介な問題を引き起こす」は open a can of worms。beans は spill the beans（秘密を漏らす）で使う語。snakes / bugs はこの熟語では使わない。日本語の「やぶへび」から snakes を選ばせる選択肢に注意。

区別 **open a can of worms ⇔ spill the beans** spill the beans は「秘密をうっかり漏らす」。open a can of worms は「厄介な問題を引き起こす」。見分け方：秘密を漏らすなら beans、面倒を招くなら worms。

1073 □□□

My kids think I'm over the ＿＿＿＿ just because I turned forty.

① hill ② top
③ mountain ④ moon

① over the hill 盛りを過ぎて；年を取って

訳 子どもたちは、私が 40 歳になったというだけで、盛りを過ぎたと思っている。

解説 40 歳になったことをからかわれているので「盛りを過ぎて」の over the hill。over the moon は「大喜びで」、over the top は「大げさな」で年齢の意味はない。mountain はこの熟語では使わない。

区別 **over the hill ⇔ over the moon** over the moon は「大喜びで」。over the top は「大げさな・やりすぎの」。over the hill は「盛りを過ぎた」。見分け方：年齢の話なら hill、喜びなら moon、度を越しているなら top。

1074 □□□

When my sister said she wanted to quit school, my father put his foot ＿＿＿＿ and said no.

① up ② in
③ down ④ out

③ put one's foot down
断固とした態度をとる；きっぱり反対する

訳 姉が学校を辞めたいと言ったとき、父は断固として反対した。

解説 学校を辞めることに「断固として反対した」ので put one's foot down。put one's feet up は「くつろぐ」（しかも feet と複数）。put one's foot in は in one's mouth が続かないと意味をなさない。put one's foot out という熟語はない。

区別 **put one's foot down ⇔ put one's feet up** put one's feet up は「足を上げて楽にする・くつろぐ」。put one's foot down は「断固反対する」。見分け方：休むなら feet up、禁止するなら foot down。

1075 □□□

This schedule isn't set in ＿＿＿＿, so we can change it if necessary.

① rock ② iron
③ stone ④ wood

③ set in stone 変更できない；確定して

訳 この日程は確定したものではないので、必要なら変更できる。

解説 「変更できない・確定した」は set in stone。rock / iron / wood は、硬さや素材から連想しやすいが、この熟語では使わない。

注意 否定文 not set in stone（変更の余地がある）が多い。

1076 ☐☐☐

He seemed friendly at first, but he showed his true _____ when he got some power.

① color ② colors
③ face ④ faces

② show one's true colors 本性を現す

訳 彼は最初は親しみやすく見えたが、少し権力を握ると本性を現した。

解説 「本性を現す」は show one's true colors で、colors は複数形。color は単数形で熟語にならない。face / faces は日本語の「本当の顔」に引かれた選択肢で、show one's true face は英語の決まった形ではない。

注意 = reveal one's true nature。

1077 ☐☐☐

The fact that he never apologized speaks _____ about his character.

① volumes ② pages
③ books ④ volume

① speak volumes (about ~) （～を）雄弁に物語る

訳 彼が一度も謝らなかったという事実が、彼の人柄を雄弁に物語っている。

解説 「雄弁に物語る」は speak volumes で、volumes は複数形。volume（単数）は「音量・量」の意味になり、熟語にならない。pages / books も「本」に関係する語だが、この熟語では使わない。

注意 主語は「行動・態度」。Actions speak louder than words. と関連づけて覚える。

1078 ☐☐☐

I trusted him completely, but he stabbed me in _____ back.

① my ② the
③ a ④ his

② stab A in the back A を裏切る

訳 私は彼を完全に信頼していたのに、彼は私を裏切った。

解説 「動詞＋人＋前置詞＋体の部位」の型では体の部位に the を付けるので in the back。my は刺された人をすでに me で示しているので重複になり、この型では使わない。his は刺した側の背中になり意味が変わる。a back では特定の背中を指せない。

注意 = betray。名詞 backstabber（裏切り者）も覚えておく。

1079 ☐☐☐

After years of thinking about it, she finally took the _____ and opened her own café.

① dive ② jump
③ fall ④ plunge

④ take the plunge 思い切ってやる；決断する

訳 何年も考えた末に、彼女はついに思い切って自分のカフェを開いた。

解説 「思い切ってやる」は take the plunge。take a dive は「わざと負ける・急落する」、take the fall は「罪をかぶる」で意味が違う。take the jump という決まった言い方はない。

区別 **take the plunge ⇔ take the fall** take the fall は「（他人の）罪をかぶる・責任を負う」。take the plunge は「思い切って決断する」。見分け方：責任の話なら fall、決断なら plunge。

1080 □□□

After her husband became sick, she had to work two jobs and became the _____ of the family.

① breadwinner ② winner
③ bread maker ④ bread and butter

① the breadwinner 一家の稼ぎ手

訳 夫が病気になってから、彼女は仕事を二つ掛け持ちしなければならず、一家の稼ぎ手になった。

解説 「一家の稼ぎ手」は the breadwinner。bread and butter は「生計の手段」で、人ではなく仕事や収入源を指す。winner だけでは「勝者」。bread maker は「パンを作る人・パン焼き機」。

注意 家族・労働の長文で出る。

1081 □□□

A: Do you think Tom will ever clean his room without being told? B: Sure, when pigs _____.

① swim ② sing
③ talk ④ fly

④ when pigs fly
（ありえないことのたとえ）絶対にありえない

訳 A：トムは言われなくても部屋を片付けることがあると思う？ B：ああ、豚が空を飛んだらね（絶対ありえないよ）。

解説 「絶対にありえない」の皮肉は when pigs fly。swim / sing / talk も豚がしそうにない動作だが、この決まった表現では使わない。豚は泳げるので swim ではありえないことの例にもならない。

注意 相手の発言への皮肉な返答として Yeah, when pigs fly. と使う。＝ never。

1082 □□□

My mother is always as busy as a _____. She works, cooks, and takes care of all of us.

① ant ② bird
③ horse ④ bee

④ (as) busy as a bee とても忙しい；せっせと働いている

訳 母はいつもとても忙しく働いている。仕事をし、料理をし、私たち全員の世話をしているのだ。

解説 「とても忙しい」は (as) busy as a bee。ant（アリ）も働き者のイメージがあるが、この比喩では使わない。bird / horse も busy と組んだ決まった比喩ではない（eat like a bird / horse は食べる量の比喩）。

注意 as ~ as の比喩表現の定番。a busy bee（働き者）とも言う。

1083 □□□

Finding my contact lens on the beach was like looking for a needle in a _____.

① hayfield ② sandbox
③ haystack ④ barn

③ (look for) a needle in a haystack
（干し草の中から針を探すような）ほとんど見つかる見込みのないもの

訳 浜辺でコンタクトレンズを探すのは、干し草の中から針を探すようなものだった。

解説 「ほとんど見つかる見込みのないもの」は a needle in a haystack。hayfield は「干し草畑」、sandbox は「砂場」、barn は「納屋」で、どれもこの熟語では使わない。浜辺の砂から sandbox を連想させる選択肢に注意。

注意 like looking for a needle in a haystack の形が多い。

1084 ☐☐☐

The government is using a carrot-and- _____ approach to get companies to cut their emissions.

① whip ② rod
③ candy ④ stick

④ (the) carrot and (the) stick あめとむち

訳 政府は企業に排出量を減らさせるため、あめとむちのやり方を用いている。

解説 「あめとむち」は carrot and stick。whip / rod も「むち・棒」の意味を持つが、この決まった表現では使わない。candy は日本語の「あめ」からの連想を狙った選択肢で、英語では carrot が「あめ」に当たる。

注意 日本語の「あめとむち」に当たる。carrot-and-stick approach の形も多い。

1085 ☐☐☐

Most of the police officers in this city are honest. There are just a few bad _____.

① apples ② grapes
③ lemons ④ oranges

① a bad apple
（集団の中の）悪い影響を与える人；厄介者

訳 この市の警察官のほとんどは正直だ。ほんの一部に不心得者がいるだけだ。

解説 「集団の中の悪影響を与える人」は a bad apple（複数 bad apples）。oranges / grapes / lemons は bad と組んだこの熟語にならない。

注意 a rotten apple とも言う。

1086 ☐☐☐

Some wild animals have adapted well to city life, and crows are a case _____ point.

① of ② on
③ at ④ in

④ a case in point 適切な例；好例

訳 都市の生活によく適応した野生動物もいて、カラスはその好例だ。

解説 a case in point で「好例」。in point は「問題になっている」という意味で、前置詞は in に決まっている。of / at / on は使わない。前半の一般論（都市生活に適応した動物）の具体例としてカラスを挙げている。

区別 **a case in point ⇔ for example** for example は文の中に挟む副詞句で、後ろに例を並べる。a case in point は名詞句で、be 動詞の補語として「X がその好例だ」と言う。見分け方：be 動詞の後ろに置くなら a case in point。

1087 ☐☐☐

Every member of the team must do their part. A chain is only as strong as its _____ link.

① weaker ② weakest
③ most weak ④ weak

② A chain is only as strong as its weakest link.
鎖の強さは一番弱い輪で決まる

訳 チームの全員が自分の役割を果たさなければならない。鎖の強さは一番弱い輪で決まるのだから。

解説 鎖の輪の中で「一番弱い」輪なので最上級 weakest。weaker は比較級で、二つのものを比べるときの形。weak は原級で、its weak link では一番弱いという意味にならない。most weak は weak の最上級として誤った形。

注意 チームワークや組織論の長文で出る。

1088 □□□

I don't want to be a ＿＿＿＿ pig for this new medicine until it's proven safe.

① test　② lab
③ guinea　④ farm

③ a guinea pig 実験台；モルモット

訳 安全だと証明されるまでは、この新薬の実験台にはなりたくない。

解説 「実験台」は a guinea pig。test / lab も実験に関係する語だが、pig と組んだ決まった表現にはならない（lab rat なら「実験用のネズミ」）。farm pig は「農場の豚」で文字どおりの意味。

注意 日本語の「モルモットにされる」と同じ。

1089 □□□

After winning the Olympic gold medal, she became a ＿＿＿＿ name in Japan.

① household　② family
③ house　④ home

① a household name 誰でも知っている名前；有名人

訳 オリンピックで金メダルを取った後、彼女は日本で誰もが知る名前になった。

解説 「誰でも知っている名前」は a household name。family name は「名字」で、有名になったという意味にならない。home / house は name と組んだ熟語にならない。

区別 **a household name ⇔ a family name** a family name は「名字（姓）」で、有名かどうかとは関係ない。a household name は「誰でも知っている名前」。見分け方：有名になる話なら household。

1090 □□□

My grandfather is a man of ＿＿＿＿ words, but when he speaks, everyone listens carefully.

① little　② a little
③ much　④ few

④ a man of few words 口数の少ない人；無口な人

訳 祖父は無口な人だが、話すときはみんなが注意深く耳を傾ける。

解説 words は数えられる名詞の複数形なので few（ほとんどない）を使い、a man of few words で「無口な人」。little / a little / much は数えられない名詞に使う。後半の「話すとみんなが聞く」は、普段は無口だという前半との対比になっている。

区別 **a man of few words ⇔ a man of his word** a man of few words は「無口な人」、a man of his word は「約束を守る人」（word＝約束）。見分け方：few があって複数の words なら口数、所有格＋単数の word なら約束。

1091 □□□

The detective realized the broken window was just a red ＿＿＿＿ to confuse the police.

① salmon　② flag
③ herring　④ card

③ a red herring 人の注意をそらすもの；おとりの情報

訳 刑事は、割れた窓が警察を混乱させるための目くらましにすぎないことに気づいた。

解説 「注意をそらすもの」は a red herring。red flag は「危険信号」、red card は「退場（警告）」で、どちらもそらす意味はない。salmon はこの熟語では使わない。

区別 **a red herring ⇔ a red flag** a red flag は「危険信号・警告のサイン」。a red herring は「注意をそらすもの」。見分け方：問題がある印なら flag、関係ないのに気を取られるものなら herring。

1092 □□□

I didn't know the answer to the quiz question, so I just took a shot in the _____.

① arm　② light
③ night　④ dark

④ a shot in the dark 当てずっぽう

訳 クイズの答えが分からなかったので、当てずっぽうで答えた。

解説 「当てずっぽう」は a shot in the dark。a shot in the arm は「元気づけるもの」で意味が違う。light / night もこの熟語では使わない。

区別 **a shot in the dark ⇔ a shot in the arm** a shot in the arm は「（注射のように）元気づけるもの・活力を与えるもの」。a shot in the dark は「当てずっぽう」。見分け方：景気や気分を盛り上げるものなら arm、推測なら dark。

1093 □□□

My grandmother seems to have a _____ sense. She always knows when something is wrong.

① sixth　② seventh
③ common　④ six

① a sixth sense 第六感；勘

訳 祖母には第六感があるようだ。何かがおかしいと、いつも分かるのだ。

解説 「第六感」は a sixth sense で、序数 sixth を使う。six は基数で「6 つの感覚」の意味になってしまう。seventh は「7 番目」。common sense は「常識」で冠詞 a を付けず、何かがおかしいと分かる勘の意味にもならない。

区別 **a sixth sense ⇔ common sense** common sense は「常識・良識」で、冠詞なしで使う。a sixth sense は「第六感」。見分け方：説明できない勘なら sixth、当たり前の判断力なら common。

1094 □□□

Stop checking your phone every minute for her reply. A watched pot never _____.

① boil　② boils
③ cooks　④ boiled

② A watched pot never boils.
見つめる鍋は煮え立たない；待つ身は長い

訳 彼女の返事を待って 1 分ごとに携帯を見るのはやめなさい。待つ身は長いものだよ。

解説 主語 a watched pot は単数で、ことわざは現在形で述べるので boils。boil は三単現の s がない。boiled は過去形で、一般的な真理の形にならない。cooks は「料理する・煮える」で、このことわざの語ではない。

注意 日本語の「待つ身は長い」に当たる。

1095 □□□

The huge new stadium has become a white _____. It is rarely used but costs millions to maintain.

① whale　② horse
③ elephant　④ lie

③ a white elephant
費用ばかりかかって役に立たないもの；無用の長物

訳 その巨大な新しいスタジアムは無用の長物になってしまった。ほとんど使われないのに、維持に何百万もかかる。

解説 「費用ばかりかかって役に立たないもの」は a white elephant。white lie は「罪のないうそ」で、建物の話に合わない。whale / horse は white と組んだこの熟語にならない。

区別 **a white elephant ⇔ a white lie** a white lie は「（相手を傷つけないための）罪のないうそ」。a white elephant は「金ばかりかかる無用の長物」。見分け方：うその話なら lie、建物や物の維持費の話なら elephant。

1096 □□□

Don't worry. Things are hard now, but after a storm ＿＿＿＿ a calm.

① come　② coming
③ is come　④ comes

④ After a storm comes a calm.

嵐の後には凪が来る；雨降って地固まる

訳 心配しないで。今は大変だけど、嵐の後には凪が来るものだよ。

解説 倒置で主語は後ろの a calm（単数）なので comes。come は複数主語の形。coming は述語動詞にならない。is come は現代英語では使わない形。

注意 倒置（comes a calm）の語順に注意。

1097 □□□

Study hard and make good use of your time while you're young.

＿＿＿＿

① Art is long, life is short.
② Easy come, easy go.
③ Ignorance is bliss.
④ Better late than never.

① Art is long, life is short.

芸術は長く人生は短し；少年老い易く学成り難し

訳 若いうちに一生懸命勉強し、時間を有効に使いなさい。少年老い易く学成り難しだ。

解説 若いうちに時間を大切にして学べ、という流れなので Art is long, life is short.。Better late than never. は「遅れてもしないよりまし」で、若いうちにという急ぎの話と逆。Easy come, easy go. は「悪銭身に付かず」。Ignorance is bliss. は「知らぬが仏」で、勉強を勧める文意と反対。

注意 art はもともと「技術・学問」の意味だった点に注意。

1098 □□□

I can't go out with you this week. I'm completely snowed ＿＿＿＿ with work.

① over　② in
③ under　④ down

③ be snowed under (with ~)

（仕事などに）忙殺されている

訳 今週は一緒に出かけられない。仕事に完全に忙殺されているんだ。

解説 「仕事に忙殺されている」は be snowed under with ~。be snowed in は「雪に閉じ込められる」で、with work とは組まない。snowed over / snowed down という熟語はない。

区別 **be snowed under (with ~) ⇔ be snowed in** be snowed in は「雪に閉じ込められる」で、文字どおりの大雪。be snowed under は「（仕事に）埋もれる」。見分け方：仕事の話なら under、大雪で外に出られないなら in。

1099 □□□

We've already decided not to go on the trip. Stop beating a dead ＿＿＿＿.

① horse　② cow
③ fish　④ dog

① beat a dead horse

済んだ話を蒸し返す；無駄な努力をする

訳 旅行には行かないともう決めたんだから、いつまでも蒸し返すのはやめて。

解説 「済んだ話を蒸し返す」は beat a dead horse。dog / cow / fish はこの熟語では使わない。

注意 英国では flog a dead horse。＝ waste one's time / go over old ground。

1100 ☐☐☐

We've been working for twelve hours straight. Let's call it ＿＿＿＿ for tonight.

① quits ② quitting
③ quite ④ quit

① call it quits　やめる；おしまいにする

訳 12 時間ぶっ通しで働いている。今夜はここまでにしよう。

解説 「やめる・おしまいにする」は call it quits で、quits は s の付いた形容詞。quit は動詞で、call it quit とは言わない。quitting も call it の後ろに置く形ではない。quite は副詞「かなり」で綴りの似た別語。

区別 **call it quits ⇔ call it a day**　call it a day は「（その日の仕事を）切り上げる」で、また明日続ける含み。call it quits は「（その日は）やめる」にも「（完全に）やめる」にも使う。見分け方：その日の作業の終わりならどちらも可、引退・離婚など完全にやめるなら quits。

1101 ☐☐☐

In this company, it's the president's son who really calls the ＿＿＿＿.

① shots ② games
③ plays ④ balls

① call the shots　采配を振るう；主導権を握る

訳 この会社で本当に采配を振るっているのは社長の息子だ。

解説 「主導権を握る」は call the shots。balls / games / plays はスポーツに関係する語だが、call the ~ の形でこの意味の熟語にならない。

注意 ＝ be in charge / be the boss。

1102 ☐☐☐

He just started working here last week, so cut him some ＿＿＿＿.

① space ② rest
③ ease ④ slack

④ cut A some slack　A を大目に見る；A に甘くする

訳 彼は先週ここで働き始めたばかりなんだから、大目に見てあげて。

解説 「大目に見る」は cut A some slack。space / rest / ease は cut A some ~ の形でこの意味にならない（give A some space なら「一人にしてあげる」）。

注意 米国の口語。＝ give A a break。

1103 ☐☐☐

Be kind to your classmates. Do unto others as you would have them ＿＿＿＿ unto you.

① to do ② doing
③ do ④ done

③

Do unto others as you would have them do unto you.
自分がしてもらいたいように人にもせよ；己の欲せざる所は人に施すことなかれ

訳 クラスメートに親切にしなさい。自分がしてもらいたいように人にもせよ。

解説 使役の have O＋動詞の原形（O に～してもらう）なので have them do。to do は have O の後ろに置けない。doing は have O ~ing で「～させておく」の意味になり、ことわざの形ではない。done は have O 過去分詞（O を～される）で、them が「される」側になってしまう。

注意 Treat others as you want to be treated. が現代の言い方。

1104 ☐☐☐

A: What? The school trip is canceled? B: Hey, don't shoot the ＿＿＿＿. I'm just telling you what the teacher said.

① message ② messenger
③ teller ④ speaker

② Don't shoot the messenger.

使者を撃つな；悪い知らせを伝える人を責めるな

訳 A：何だって？ 修学旅行が中止？ B：ちょっと、私を責めないでよ。先生の言ったことを伝えているだけなんだから。

解説 「悪い知らせを伝える人を責めるな」は Don't shoot the messenger.。message は「知らせ」そのもので人ではない。speaker / teller も話す人を表すが、この決まった表現では使わない。

注意 会話で冗談めかして使うことが多い。

1105 ☐☐☐

She eats like a ＿＿＿＿. She had only a few bites of her lunch and said she was full.

① horse ② pig
③ wolf ④ bird

④ eat like a bird 少食である

訳 彼女はとても少食だ。昼食を数口食べただけでお腹がいっぱいだと言った。

解説 数口しか食べないので「少食だ」の eat like a bird。eat like a horse は「大食いする」で逆。eat like a pig は「がつがつ食べる」、wolf は wolf down（がつがつ食べる）の動詞で使い、どれも少食の意味にならない。

区別 **eat like a bird ⇔ eat like a horse** eat like a horse は「大食いする」で反対の意味。見分け方：食べる量が少ない描写なら bird、多いなら horse。

1106 ☐☐☐

He said our team would lose badly, but we won. Now he'll have to eat his ＿＿＿＿.

① speech ② words
③ tongue ④ mouth

② eat one's words

前言を撤回する；自分の言葉が間違いだったと認める

訳 彼は私たちのチームがぼろ負けすると言ったが、私たちは勝った。今度は彼が前言を撤回しなければならないだろう。

解説 「前言を撤回する」は eat one's words。speech / mouth / tongue はこの熟語では使わない。hold one's tongue（黙っている）など、ほかの口・言葉の熟語と混同させる選択肢。

注意 ＝ take back what one said。

1107 ☐☐☐

A: I can only give two dollars to the charity. B: That's fine. Every little ＿＿＿＿.

① help ② helps
③ helped ④ helping

② Every little helps.

どんな小さなことも役に立つ；塵も積もれば山となる

訳 A：慈善団体に 2 ドルしか寄付できないんだ。 B：それで十分だよ。どんな小さなことも役に立つから。

解説 主語 every little は単数扱いで、一般的な真理を述べるので helps。help は三単現の s がない。helping は述語動詞にならない。helped は過去形で、ことわざの形にならない。

注意 日本語の「塵も積もれば山となる」に近い。little が名詞として使われている。

1108 ☐☐☐

Don't give up just because you failed once. Fall seven times, stand up ＿＿＿＿.

① seven　② eighth
③ eight　④ nine

③ Fall seven times, stand up eight. 七転び八起き

訳 一度失敗したくらいであきらめてはいけない。七転び八起きだ。

解説 七転び八起きの英訳は Fall seven times, stand up eight.。seven では転んだ回数と同じになり、表現の形が崩れる。eighth は序数「8 番目」で回数を表さない。nine は数が違う。

注意 日本由来であることが紹介される。

1109 ☐☐☐

His story sounds a little ＿＿＿＿. I don't believe he was really at home all night.

① fishy　② fished
③ fishery　④ fishing

① fishy うさんくさい；怪しい

訳 彼の話は少し怪しい。一晩中本当に家にいたとは思えない。

解説 「うさんくさい」は形容詞 fishy で、sound の後ろの補語になる。fishing は「釣り」、fishery は「漁業・漁場」で名詞。fished は過去形・過去分詞で、sounds fished では意味をなさない。

注意 something fishy の形が多い。＝ suspicious。smell a rat と同じ場面で使う。

1110 ☐☐☐

I need to get something off my ＿＿＿＿. I was the one who broke your vase last week.

① heart　② chest
③ shoulder　④ back

② get ~ off one's chest
（悩み・秘密を）打ち明けて胸のつかえを下ろす

訳 打ち明けておきたいことがあるんだ。先週君の花瓶を割ったのは僕なんだ。

解説 「打ち明けて胸のつかえを下ろす」は get ~ off one's chest。heart は日本語の「胸の内」に引かれた選択肢で、この熟語では使わない。get off one's back は「うるさく言うのをやめる」で別の表現。shoulder もこの熟語では使わない。

区別 **get ~ off one's chest ⇔ get off one's back** get off one's back は「（人に）うるさく言うのをやめる」（Get off my back!＝ほっといて）。get ~ off one's chest は「打ち明けてすっきりする」。見分け方：胸のつかえなら chest、干渉をやめさせるなら back。

1111 ☐☐☐

My new roommate and I got off on the ＿＿＿＿ foot, but now we're good friends.

① left　② other
③ wrong　④ false

③ get off on the wrong foot
出だしでつまずく；第一印象が悪いスタートを切る

訳 新しいルームメイトとは出だしでつまずいたが、今ではよい友達だ。

解説 「出だしでつまずく」は get off on the wrong foot。left は右・左の「左」で、この熟語では使わない（right foot の right は「正しい」の意味）。other / false も熟語にならない。

注意 反対は get off on the right foot。start off on the wrong foot とも言う。

1112 ☐☐☐

He didn't cut down slowly; he quit smoking cold ＿＿＿＿ on New Year's Day.

① chicken　② turkey
③ fish　④ duck

② go cold turkey （悪習を）いきなりきっぱりやめる

訳 彼は少しずつ減らしたのではなく、元日にいきなりきっぱりたばこをやめた。

解説 「いきなりきっぱりやめる」は cold turkey。chicken / duck / fish はこの熟語では使わない（chicken は「臆病者」、chicken out で「おじけづいてやめる」）。

区別 **go cold turkey ⇔ cut down on ～** cut down on は「（量を）徐々に減らす」。go cold turkey は「いきなり完全にやめる」。見分け方：少しずつなら cut down on、一気にゼロなら cold turkey。

1113 ☐☐☐

I'll go out on a ＿＿＿＿ and say that she will become the next prime minister.

① branch　② tree
③ leg　④ limb

④ go out on a limb 危険を冒す；思い切ったことを言う

訳 思い切って言うと、彼女が次の首相になるだろう。

解説 「思い切ったことを言う・危険を冒す」は go out on a limb。branch も「枝」だが、この熟語では使わない。tree / leg も熟語にならない（limb には「手足」の意味もあるので leg を選ばせる選択肢に注意）。

注意 ＝ take a risk / stick one's neck out。

1114 ☐☐☐

We didn't get the full raise we asked for, but we got something. Half a loaf is better than ＿＿＿＿ bread.

① any　② some
③ a　④ no

④ Half a loaf is better than no bread.
パン半分でもないよりまし；枯れ木も山のにぎわい

訳 要求した満額の昇給は得られなかったが、何かは得られた。少しでもないよりはましだ。

解説 「全くないよりはまし」なので no bread。any bread は否定文以外では「どんなパンでも」になり、比較の基準として意味をなさない。some bread は「いくらかのパン」で、半分と比べる対象にならない。bread は数えられない名詞なので a bread とは言わない。

注意 Half a loaf is better than none. とも。

1115 ☐☐☐

Our team was much stronger and won the game hands ＿＿＿＿.

① down　② off
③ over　④ up

① hands down 楽々と；文句なしに

訳 私たちのチームの方がはるかに強く、試合に楽勝した。

解説 「楽勝する」は win hands down。hands up は「手を挙げろ」、hands off は「手を触れるな」で、勝ち方を表さない。hands over という副詞句もない（hand over は「手渡す」）。

区別 **hands down ⇔ hands up** Hands up! は「手を挙げろ」「（賛成の人は）手を挙げて」。hands down は「楽々と・文句なしに」。見分け方：命令文なら up、勝ち方や評価なら down。

1116 ☐☐☐

I have a bone to ＿＿＿＿ with you. Why did you tell everyone my secret?

① break　② bite
③ pick　④ chew

③ have a bone to pick with A　A に言いたい文句がある

訳 君に言いたい文句がある。どうしてみんなに私の秘密をばらしたの？

解説 「言いたい文句がある」は have a bone to pick with A。break / bite / chew はどれも骨に対する動作として連想しやすいが、この熟語では使わない。

注意 話を切り出すときの定番表現。

1117 ☐☐☐

My mother has a green ＿＿＿＿. Her garden is full of beautiful flowers all year round.

① hand　② thumb
③ leaf　④ finger

② have a green thumb　園芸の才能がある

訳 母は園芸の才能がある。母の庭は一年中美しい花でいっぱいだ。

解説 「園芸の才能がある」は米国では have a green thumb。英国では have green fingers と複数形で言うので、a green finger（単数）は不可。hand / leaf もこの熟語では使わない。

注意 英国では have green fingers。

1118 ☐☐☐

He always has his head in the ＿＿＿＿ and forgets what he is supposed to be doing.

① clouds　② air
③ stars　④ sky

① have one's head in the clouds
空想にふけっている；現実離れしている

訳 彼はいつも空想にふけっていて、自分がすべきことを忘れてしまう。

解説 「空想にふけっている」は have one's head in the clouds。sky / air / stars も空に関係する語だが、この熟語では使わない。

区別 **have one's head in the clouds ⇔ be down to earth**　be down to earth は「現実的な・地に足のついた」で反対の意味。見分け方：夢見がちなら head in the clouds、現実的なら down to earth。

1119 ☐☐☐

Buy the concert tickets now before they sell out. He who ＿＿＿＿ is lost.

① hesitate　② hesitates
③ hesitating　④ hesitated

② He who hesitates is lost.　ためらう者は機会を逃す

訳 売り切れる前に今すぐコンサートのチケットを買いなさい。ためらう者は機会を逃すよ。

解説 関係代名詞 who の先行詞は he（三人称単数）で、ことわざは現在形なので hesitates。hesitate は三単現の s がない。hesitated は過去形で、一般的な真理を表す形にならない。hesitating は who の後ろの述語動詞にならない。

注意 He who ~ は「～する人は」の古い言い方。

1120 □□□

Our new coach didn't need any time to settle in; he hit the ground _____ and the team won its first five games.

① rolling　② running
③ breaking　④ standing

② hit the ground running

（最初から）全力で取りかかる；すぐに成果を出す

訳 新しいコーチは慣れる時間を必要としなかった。初日から全力で取りかかり、チームは最初の 5 試合に勝った。

解説 「慣れる時間も要らずすぐ結果を出した」ので hit the ground running。rolling は get the ball rolling（物事を始める）と混同させるひっかけで、hit the ground とは組まない。breaking は break ground（着工する）からのひっかけ。standing は「立ったまま」で全力で始める意味にならない。

区別 **hit the ground running ⇔ get off the ground** get off the ground は主語が計画・事業で「（計画が）軌道に乗る・始動する」。hit the ground running は主語が人で「初日から全力で動く」。見分け方：主語が人なら hit the ground running、プロジェクトなら get off the ground。

1121 □□□

A: Should we replace our old website with a completely new design? B: Why? It works perfectly and customers like it. _____

① Better late than never.
② Strike while the iron is hot.
③ The more, the merrier.
④ If it ain't broke, don't fix it.

④ If it ain't broke, don't fix it.

壊れていないなら直すな；余計なことはするな

訳 A：古いウェブサイトをまったく新しいデザインに変えるべきかな？　B：どうして？　問題なく動いているし、お客さんにも好評だよ。うまくいっているなら、いじる必要はないよ。

解説 B は「問題なく動き客にも好評」なので変える必要はないと言っている。If it ain't broke, don't fix it. が正解。Better late than never. は「遅れてもやらないよりまし」で変更を勧める側の言葉。Strike while the iron is hot. は「好機を逃すな」で今すぐ変えようという意味。The more, the merrier. は「多いほど楽しい」で文脈に無関係。

注意 文法的には If it isn't broken だが、くだけた形で定着している点に注意。

1122 □□□

I locked my keys in the car, and my phone is inside too. I'm really in a _____.

① pickle　② row
③ rut　④ flash

① in a pickle 困った状態で；窮地に陥って

訳 鍵を車の中に閉じ込めてしまい、電話も中にある。本当に困ったことになった。

解説 鍵も電話も車の中で困り果てているので in a pickle（窮地で）。in a row は「連続して」で困った状態ではない。in a rut は「型にはまって変化がない・マンネリで」と退屈な状態を表し、急なトラブルではない。in a flash は「一瞬で」という副詞句で、be 動詞の後ろで状態を表せない。

区別 **in a pickle ⇔ in hot water** in hot water は「（悪いことをして）叱られそうな・責められる立場で」と、誰かから非難される点が中心。in a pickle は理由を問わず単に「困った状況」。見分け方：叱る相手がいるなら in hot water。

1123 □□□

The shy actor never enjoyed being in the _____ and preferred a quiet life in the countryside.

① highlight ② headline
③ limelight ④ foreground

③ in the limelight 脚光を浴びて；注目の的で

訳 その内気な俳優は脚光を浴びることを決して好まず、田舎での静かな暮らしを好んだ。

解説 「注目を浴びるのが好きでなく静かな暮らしを好んだ」ので in the limelight。highlight は「見どころ・ハイライト」で、人が中に入る場所ではない。headline は新聞の見出しで、in the headlines と複数にすれば「報道されて」になるが単数では誤り。foreground は絵や写真の「前景」で、人の名声には使わない。

注意 in the spotlight と同意。

1124 □□□

The newspaper _____ the gun and reported the election result before all the votes had been counted.

① fired ② stuck
③ jumped ④ shot

③ jump the gun 早まったことをする；フライングする

訳 その新聞社は早まって、全部の票が数えられる前に選挙結果を報じてしまった。

解説 開票が終わる前に結果を報じた＝早まった行動なので jumped the gun。fired the gun / shot the gun は文字どおり「銃を撃った」で新聞社の行動にならない。stuck は stick to one's guns（自分の主張を曲げない）からのひっかけで、stick the gun という言い方はない。

区別 **jump the gun ⇔ jump to conclusions** jump to conclusions は「早合点する」と頭の中の判断が早すぎること。jump the gun は「行動」が早すぎること（正式発表前に言いふらす・合図前に動く）。見分け方：考え・判断なら conclusions、行動なら the gun。

1125 □□□

When my grandfather was young, his family was very poor and lived from hand _____ mouth.

① to ② by
③ for ④ in

① live from hand to mouth その日暮らしをする；かつかつの生活をする

訳 祖父が若いころ、家族はとても貧しく、その日暮らしをしていた。

解説 live from hand to mouth で「その日暮らしをする」。from A to B の形で、手に入ったものがすぐ口へ行く様子を表すので to。for / by / in はこの決まった言い方に入らない（hand in hand は「手をつないで」で別の表現）。

区別 **live from hand to mouth ⇔ make ends meet** live from hand to mouth は「蓄えがなくその日暮らし」と状態を表す。make ends meet は「収入と支出を合わせて何とかやりくりする」と努力に重点がある。見分け方：貯金がない苦しい生活の描写なら hand to mouth、何とか暮らしていけるかどうかなら make ends meet。

1126 ☐☐☐

He has some doubts about the new policy, but as a new employee, he doesn't want to make ＿＿＿＿.

① sense　② ends meet
③ do　④ waves

④ make waves 波風を立てる；騒ぎを起こす

訳 彼は新しい方針に多少疑問を持っているが、新入社員なので波風を立てたくない。

解説 新入社員なので疑問があっても「波風を立てたくない」＝make waves。make sense は「意味が通る」で、want to make sense では文脈に合わない。make ends meet は「家計をやりくりする」。make do は make do with ~（～で間に合わせる）の形で使い、ここでは意味が通らない。

区別 **make waves ⇔ make a scene** make a scene は「（人前で）大声を出したり泣いたりして騒ぐ」と感情的な騒ぎ。make waves は「（組織の中で）反対意見を出してもめごとを起こす」。見分け方：その場の感情的な騒ぎなら scene、組織の現状への異議なら waves。

1127 ☐☐☐

The minister agreed to talk to the reporter, but only off the ＿＿＿＿, so his name was not printed.

① air　② map
③ record　④ books

③ off the record 非公式に；オフレコで

訳 大臣は記者と話すことに同意したが、オフレコという条件付きだったので、名前は載らなかった。

解説 「名前が載らなかった」から公表しない前提で話す off the record。off the air は「放送されていない」で、新聞記者との会話には合わない。off the map は「へんぴな」。off the books は「帳簿に載せずに（不正に）」で、お金の取引について使う。

区別 **off the record ⇔ for the record** for the record は「念のため言っておくと・はっきりさせておくが」と、記録に残すつもりで強調する前置き。off the record は「記録に残さないで」。見分け方：公表しない約束なら off、自分の立場を明言するなら for。

1128 ☐☐☐

Our team is on a ＿＿＿＿: we've won seven games straight.

① row　② roll
③ rise　④ ride

② on a roll 波に乗って；絶好調で

訳 私たちのチームは絶好調だ。7 連勝している。

解説 7 連勝して「絶好調だ」なので on a roll。row は in a row（連続して）の形で使い、on a row とは言わない。rise は on the rise（上昇中で）と the を使い、on a rise とは言わない。ride は on a ride という決まった言い方がなく、絶好調の意味にならない。

区別 **on a roll ⇔ in a row** in a row は「連続して」という副詞句で、five games in a row のように数と一緒に使う。on a roll は「絶好調で」という状態。見分け方：回数を言うなら in a row、調子の良さなら on a roll。roll と row のつづり・発音の近さが問われる。

1129 □□□

Everyone in the waiting room was _____ edge as they waited for the doctor to come out.

① at ② in
③ over ④ on

④ on edge いらいらして；緊張して

訳 待合室の全員が、医者が出てくるのを待ちながら神経をとがらせていた。

解説 医者を待つ間「みんな神経をとがらせていた」ので on edge。at edge / in edge という言い方はない。over は over the edge（限界を超えて・正気を失って）と the が必要で、冠詞のない over edge は誤り。

区別 **on edge ⇔ on the edge of ~** on the edge of ~ は「～の端・縁に」「～の瀬戸際に」（on the edge of the cliff / of collapse）。on edge は冠詞なしで「神経が高ぶって」。見分け方：the と of があれば位置・瀬戸際、なければ気分。

1130 □□□

With three kids and a full-time job, Mary is always on the _____ and rarely has time to sit down.

① air ② rise
③ go ④ house

③ on the go 休む間もなく忙しく動き回って

訳 3 人の子どもと常勤の仕事を抱え、メアリーはいつも忙しく動き回っていて、座る暇もほとんどない。

解説 「子育てと仕事で座る暇もない」ので on the go（休む間もなく動いて）。on the air は「放送中で」。on the rise は「上昇中で」で物価や数に使う。on the house は「（店の）おごりで・無料で」。いずれも人が忙しい様子を表さない。

区別 **on the go ⇔ on the run** on the run は主に「（警察から）逃亡中で」。on the go は「忙しく動き回って」。見分け方：逃げている犯人なら on the run、働き者・忙しい人なら on the go。

1131 □□□

Hiring a band and renting a castle for a five-year-old's birthday party seemed a bit _____ the top.

① on ② at
③ off ④ over

④ over the top やりすぎで；大げさで

訳 5 歳児の誕生日パーティーにバンドを雇い城を借りるのは、少しやりすぎに思えた。

解説 5 歳の誕生会にバンドと城は「やりすぎ」なので over the top。on the top は「てっぺんに」と位置を表し、やりすぎの意味はない。at the top は「首位で・頂上で」。off the top は off the top of one's head（とっさに・ぱっと思いつきで）の形で使い、ここには合わない。

区別 **over the top ⇔ on top of ~** on top of ~ は「～に加えて」「～の上に」「～をしっかり把握して」。over the top は「度を越して」。見分け方：the があり「やりすぎ」なら over the top、何かを追加するなら on top of。

1132 □□□

Instead of taking responsibility for the mistake, the manager tried to pass the _____ to his assistant.

① buck ② ball
③ bill ④ hat

① pass the buck 責任を転嫁する

訳 その部長は失敗の責任を取らずに、アシスタントに責任を押しつけようとした。

解説 「責任を取らずに部下へ押しつけようとした」ので pass the buck。pass the ball は文字どおりボールをパスすること。pass the bill は「法案を可決する」、pass the hat は「（帽子を回して）寄付を集める」で、どちらも責任転嫁の意味にならない。

注意 The buck stops here. もセットで覚える。

1133 □□□

We had to pay _____ the nose for a hotel room because of the big festival in town.

① by ② through
③ under ④ down

② pay through the nose (for ~)
（～に）法外な金を払う；ぼったくられる

訳 町の大きな祭りのせいで、ホテルの部屋に法外な料金を払わなければならなかった。

解説 祭りでホテル代が高騰し「法外な金を払わされた」ので pay through the nose。pay by は pay by card（カードで払う）のように支払い方法、pay down は pay down a debt（借金を減らす）のように使い、the nose とは組まない。under the nose of ~ は「～の目の前で（気づかれずに）」で、pay under the nose とは言わない。

区別 **pay through the nose (for ~) ⇔ cost an arm and a leg** cost an arm and a leg は「（物が）とても高くつく」で主語は物・サービス。pay through the nose は「（人が）大金を払わされる」で主語は人。見分け方：主語が人なら pay、物なら cost。

1134 □□□

Lending money to that man is like playing _____ fire; he has never paid anyone back.

① by ② with
③ on ④ at

② play with fire 危ないことをする；火遊びをする

訳 あの男に金を貸すのは火遊びをするようなものだ。彼は誰にも金を返したことがない。

解説 「返済したことのない男に金を貸すのは危険な火遊び」なので play with fire。play by は play by the rules（ルールに従う）のように使い、fire とは組まない。play on は play on words（言葉遊び）や「演奏を続ける」、play at は「～ごっこをする」で、どれも危険を冒す意味にならない。

区別 **play with fire ⇔ play it safe** play it safe は「安全策を取る・無理をしない」で play with fire の反対。見分け方：危険を冒すなら with fire、慎重なら it safe。it は特定の物を指さない決まった形。

1135 □□□

If everyone _____ their weight, we can finish the project by Friday.

① throws ② loses
③ pulls ④ gains

③ pull one's weight
自分の役割を果たす；応分の働きをする

訳 全員が自分の役割を果たせば、金曜日までにプロジェクトを終えられる。

解説 「みんなが自分の分担を果たせば金曜に終わる」で pulls their weight。throw one's weight around は「威張り散らす」で、around がないうえ意味も逆。lose / gain one's weight は「体重が減る・増える」の意味にしかならず、仕事の完成と結びつかない。

区別 **pull one's weight ⇔ pull A's leg** pull A's leg は「A をからかう・担ぐ」。pull one's weight は「自分の役割を果たす」。見分け方：冗談でだますなら leg、責任分担なら weight。どちらも pull ＋体の一部や重さなので入れ替えのひっかけになる。

1136 ☐☐☐

Let me put my ＿＿＿＿ on the table: I can't accept this offer unless the salary is higher.

① hands　② chips
③ books　④ cards

④ put one's cards on the table

手の内を見せる；腹を割って話す

訳 腹を割って話しますと、給料がもっと高くなければ、この申し出は受けられません。

解説 条件を隠さず本音を言う前置きなので put one's cards on the table。hands を入れると文字どおり「手を机に置く」で本音を明かす意味にならない。chips は賭けのチップで put one's chips on ~ は「～に賭ける」系。books は本・帳簿で、手の内を見せる意味はない。

注意 lay one's cards on the table とも。

1137 ☐☐☐

When I saw the empty box and the chocolate on my brother's face, I put two and two ＿＿＿＿.

① up　② together
③ out　④ aside

② put two and two together

（情報をつなぎ合わせて）推測する；察しをつける

訳 空き箱と弟の顔に付いたチョコレートを見て、私は察しがついた。

解説 空き箱と弟の顔のチョコから「察しがついた」ので put two and two together。put up は「掲げる・泊める」、put out は「（火を）消す・出す」、put aside は「わきに置く・取っておく」で、どれも手がかりを組み合わせる意味にならない。

区別 **put two and two together ⇔ jump to conclusions** jump to conclusions は「（十分な根拠なしに）早合点する」と否定的。put two and two together は「手がかりから正しく推理する」と肯定的。見分け方：根拠をつないで当てたなら two and two、思い込みなら jump to conclusions。

1138 ☐☐☐

I hate to ＿＿＿＿ on your parade, but the beach party has been canceled because of the typhoon.

① rain　② walk
③ march　④ snow

① rain on A's parade

A の楽しみに水を差す；A の計画を台無しにする

訳 水を差すようで悪いけど、浜辺のパーティーは台風のせいで中止になったよ。

解説 楽しみにしていた浜辺のパーティー中止を伝える前置きなので rain on your parade。walk on ~ は「～の上を歩く」、march on ~ は「～へ向かって行進する」で、水を差す意味にならない。snow は rain の代わりには使えず、snow on A's parade という決まった言い方はない。

区別 **rain on A's parade ⇔ steal A's thunder** steal A's thunder は「A の手柄・注目を横取りする」。rain on A's parade は「A の楽しみを台無しにする・水を差す」。見分け方：注目を奪うなら thunder、楽しい気分を冷ますなら parade。

1139 □□□

Just when we thought we would lose the game, our goalkeeper saved ＿＿＿＿ with an amazing catch.

① the day　② the face
③ the date　④ the time

① save the day　窮地を救う；危機を救う

訳 負けると思ったちょうどそのとき、ゴールキーパーが見事なキャッチで窮地を救った。

解説 負けそうな試合をゴールキーパーが救ったので save the day。save face（面目を保つ）は冠詞を付けないうえ、意味も体面の話。save the date は「（招待状で）その日を空けておいて」。save time（時間を節約する）は the を付けず、ここでは意味も合わない。

区別 **save the day ⇔ save face**　save face は「面目を保つ・恥をかかずに済む」で、自分の体面の話。save the day は「みんなを窮地から救う」。見分け方：恥・体面なら face、試合や行事の危機を救うなら the day。face には冠詞が付かない。

1140 □□□

On my first day at the restaurant, one of the senior waiters ＿＿＿＿ me the ropes.

① learned　② explained
③ showed　④ told

③ show A the ropes　A に仕事のやり方を教える

訳 レストランでの初日、先輩のウェイターの一人が仕事のやり方を教えてくれた。

解説 先輩が新人の私に「仕事のやり方を教えた」のは show A the ropes。learn は覚える側の動詞で、人を目的語に二つ取れない。explain は SVOO を取らず explain me ~ は誤り（explain ~ to me なら可）。told も tell A B の形はあるが、the ropes とは組まない。

区別 **show A the ropes ⇔ learn the ropes**　learn the ropes は「（新人が）仕事のこつを覚える」で主語は新人。show A the ropes は主語が教える先輩。見分け方：教える側なら show A、覚える側なら learn。

1141 □□□

The famous actors gave good performances, but it was a ten-year-old girl who ＿＿＿＿ the show.

① robbed　② took
③ gave　④ stole

④ steal the show　人気をさらう；主役を食う

訳 有名な俳優たちも良い演技をしたが、人気をさらったのは 10 歳の女の子だった。

解説 有名俳優より 10 歳の少女が「人気をさらった」ので stole the show。rob は奪われる人・場所を目的語に取る動詞（rob a bank）で、rob the show という言い方はない。took the show は決まった言い方ではない。gave the show は「ショーを開いた」となり、注目を集める意味にならない。

区別 **steal the show ⇔ steal A's thunder**　steal A's thunder は「A が受けるはずだった注目・手柄を先回りして奪う」と特定の人から奪う。steal the show は「舞台・行事全体で一番注目を集める」。見分け方：特定の人の手柄なら thunder、場全体の主役なら show。

1142 ☐☐☐

The young singer's first album took the music world by _____ and sold ten million copies.

① storm ② force
③ heart ④ chance

① take ~ by storm ～を席巻する；～で一躍大評判になる

訳 その若い歌手のデビューアルバムは音楽界を席巻し、1000 万枚売れた。

解説 デビューアルバムが 1000 万枚売れて「音楽界を席巻した」ので take ~ by storm。by force は「力ずくで」で、アルバムが業界を力で奪う意味になってしまう。by heart は learn ~ by heart（暗記する）の形。by chance は「偶然に」で、take the music world by chance とは言わない。

区別 **take ~ by storm ⇔ take ~ by surprise** take ~ by surprise は「～を驚かせる・不意をつく」。take ~ by storm は「～を熱狂させる・席巻する」。見分け方：人気が爆発したなら storm、予想外で驚かせたなら surprise。

1143 ☐☐☐

During the war, people had to buy sugar and meat _____ the black market at very high prices.

① at ② by
③ for ④ on

④ the black market 闇市場；闇取引

訳 戦争中、人々は砂糖や肉を闇市場でとても高い値段で買わなければならなかった。

解説 「闇市場で」は on the black market。on the market（売りに出て）と同じく市場には on を使う。at the market は特定の市場（の建物）にいる場面で、闇取引という仕組みには使わない。by / for は the black market と組んで「闇で」の意味を作らない。

注意 on the black market の前置詞 on に注意。

1144 ☐☐☐

The office was strangely quiet on Monday morning, but it was only the _____ before the storm.

① eye ② center
③ calm ④ rain

③ the calm before the storm 嵐の前の静けさ

訳 月曜日の朝、職場は妙に静かだったが、それは嵐の前の静けさにすぎなかった。

解説 大騒ぎの前の不気味な静けさなので the calm before the storm。the eye of the storm は「台風の目」で before ではなく of と組む。center も the center of the storm（嵐の中心）になる。rain は嵐の前の静けさを表さず、決まった言い方ではない。

注意 日本語と一致するので覚えやすい。

1145 ☐☐☐

Tired of working twelve hours a day, he quit the _____ race and opened a small cafe by the sea.

① dog ② rat
③ horse ④ arms

② the rat race （出世・金のための）過酷な競争社会

訳 1 日 12 時間働くことに疲れ、彼は競争社会から抜け出し、海辺に小さなカフェを開いた。

解説 長時間労働に疲れて「競争社会から抜け出した」ので the rat race。the arms race は「軍備拡張競争」で、個人が quit するものではない。horse race / dog race は文字どおりの「競馬・ドッグレース」で、生き方の話にならない。

区別 **the rat race ⇔ dog-eat-dog** dog-eat-dog は「食うか食われるかの・情け容赦ない」と競争の厳しさを表す形容詞（a dog-eat-dog world）。the rat race は「抜け出したくなる毎日の競争生活」そのものを指す名詞。見分け方：形容詞なら dog-eat-dog、quit などの目的語なら the rat race。

1146 ☐☐☐

The champion was winning easily, but the young challenger turned the _____ on him in the final round.

① cards　② tables
③ chairs　④ page

② turn the tables (on A)　（A に対して）形勢を逆転する

訳 チャンピオンが楽勝していたが、若い挑戦者が最終ラウンドで形勢を逆転した。

解説 挑戦者が最終ラウンドで「形勢を逆転した」ので turn the tables on ~。turn the page は「（過去を忘れて）新しいページへ進む」で、on him は続かない。cards / chairs は turn the ~ で逆転の意味を作る決まった言い方がない。

区別 **turn the tables (on A) ⇔ turn the tide**　turn the tide は「流れ・形勢を変える」で、戦争・試合・社会の大きな流れに使い、on ~ を取らないのが普通。turn the tables (on A) は「（相手 A と）立場をひっくり返す」で、相手を on で示せる。

1147 ☐☐☐

The restaurant was fined for paying its workers _____ the table to avoid taxes.

① on　② below
③ over　④ under

④ under the table　内密に；不正に（裏金で）

訳 そのレストランは、税金逃れのため従業員に帳簿外で給料を払っていたとして罰金を科された。

解説 税金逃れのため従業員に「裏で（帳簿外で）」払ったので under the table。on the table は「議題に上って」で支払い方には使わない。below the table / over the table は決まった言い方ではない（above board「公明正大に」が under the table の反対）。

区別 **under the table ⇔ on the table**　on the table は「（提案・案が）議題に上って・検討中で」（The offer is still on the table.）。under the table は「裏で・不正に」。見分け方：公の場で検討中なら on、隠れた不正な金なら under。

1148 ☐☐☐

Local residents are up in _____ about the plan to build a new airport near their homes.

① arms　② the air
③ hands　④ legs

① up in arms　激怒して；猛反対して

訳 地元住民は、自宅の近くに新しい空港を建設する計画に激怒している。

解説 空港建設に住民が「激怒して反対している」ので up in arms。up in the air は「未定で」で、計画に対する住民の怒りを表さない。hands / legs は up in ~ で決まった意味を作らない。about the plan と怒りの対象が続く点も arms の手がかり。

区別 **up in arms ⇔ up in the air**　up in the air は「（計画などが）未定で・宙に浮いて」。up in arms は「激怒して反対している」。見分け方：決まっていないなら air、怒っているなら arms。

1149 ☐☐☐

After his son refused to listen to any advice, the father washed his hands ＿＿＿＿ the whole matter.

① of　② from
③ off　④ with

① wash one's hands of ~
～から手を引く；～と縁を切る

訳 息子がどんな忠告にも耳を貸そうとしないので、父親はこの件から一切手を引いた。

解説 息子が忠告を聞かないので父親は「この件から手を引いた」。wash one's hands of ~ と of を使う決まった形。from / off は「離れる」イメージからのひっかけだが、この熟語では使わない。with を入れると「～で手を洗った」の意味になり、関係を断つ意味にならない。

区別 **wash one's hands of ~ ⇔ have a hand in ~**　have a hand in ~ は「～に関わる・一枚かむ」で、wash one's hands of ~ のほぼ反対。見分け方：関与するなら have a hand in、関わりを断つなら wash one's hands of。

1150 ☐☐☐

Stop being such a ＿＿＿＿! You always buy exactly the same clothes as me.

① copycat　② copier
③ copyright　④ copywriter

① a copycat　まねばかりする人；模倣品

訳 まねばかりしないでよ！　いつも私とまったく同じ服を買うんだから。

解説 いつも同じ服を買う相手を「まねっこ」と責めているので copycat。copier は「コピー機」で人を責める言葉にならない。copyright は「著作権」。copywriter は「広告の文案を書く人」で、まねをする人ではない。

注意 copycat crime（模倣犯罪）のように形容詞的にも使う。

1151 ☐☐☐

Cheap souvenirs like these are a ＿＿＿＿ a dozen; you can find them in every shop near the station.

① nickel　② penny
③ dollar　④ dime

④ a dime a dozen　ありふれた；どこにでもある

訳 こういう安いお土産はありふれていて、駅の近くのどの店でも見つかる。

解説 どの店にもある「ありふれた」土産なので a dime a dozen。決まった形で、硬貨を入れ替えることはできない。nickel（5 セント）や dollar ではこの意味にならない。penny はイギリス式の ten a penny の形でなら使うが、a penny a dozen とは言わない。

注意 英国では ten a penny。＝ very common。

1152 ☐☐☐

Grandma Moses was a late ＿＿＿＿: she started painting in her seventies and became famous.

① riser　② sleeper
③ bloomer　④ comer

③ a late bloomer　大器晩成の人；遅咲きの人

訳 グランマ・モーゼスは遅咲きの人だった。70 代で絵を始め、有名になったのだ。

解説 70 代で絵を始めて有名になったので「遅咲きの人」＝ a late bloomer。a late riser は「朝寝坊の人」。late sleeper も「遅くまで寝ている人」で才能の話にならない。comer は latecomer（遅れて来た人）と一語で使い、a late comer では才能が遅れて開花した意味にならない。

注意 日本語の「大器晩成」に当たる。

1153 ☐☐☐

My biggest pet _____ is people who talk loudly on their phones on the train.

① project ② peeve
③ theory ④ peace

② a pet peeve
特に嫌いなもの；いつもいらいらさせられること

訳 私が特に腹立たしいのは、電車の中で大声で電話をする人だ。

解説 電車で大声で電話する人が「特に腹立たしいこと」なので pet peeve。pet project は「力を入れている企画」、pet theory は「持論」で、いらいらする対象を表さない。peace は「平和」で pet と組む言い方はない。

注意 one's pet peeve の形。

1154 ☐☐☐

The professor's ideas sound good in theory, but critics say he lives in an ivory _____ and knows nothing about real life.

① castle ② tower
③ palace ④ house

② an ivory tower 象牙の塔；現実離れした世界

訳 その教授の考えは理論上は良さそうだが、彼は象牙の塔にこもっていて現実の暮らしを何も知らない、と批判する人もいる。

解説 「現実を知らない学者」への批判なので live in an ivory tower。castle は castles in the air（空中楼閣・実現しない夢）からのひっかけで、ivory とは組まない。palace / house も ivory と組んだ決まった言い方ではない。

注意 学者や専門家を批判する文脈で出る。

1155 ☐☐☐

The man who robbed the bank is now behind _____ and will stay there for ten years.

① the bars ② bars
③ the scenes ④ the times

② behind bars 刑務所に入って；投獄されて

訳 銀行を襲った男は今刑務所にいて、10 年間そこにいることになる。

解説 銀行強盗が「服役中」なので behind bars（冠詞なし）。the bars と冠詞を付けると「その鉄格子の後ろ」で、決まった言い方にならない。behind the scenes は「舞台裏で」、behind the times は「時代遅れで」で、服役の意味にならない。

区別 **behind bars ⇔ behind the scenes** behind the scenes は「舞台裏で・ひそかに」。behind bars は「鉄格子の向こう＝刑務所で」。見分け方：隠れて働くなら the scenes、服役なら bars（冠詞なし）。

1156 ☐☐☐

We can afford a nice dinner tonight; one meal at that restaurant won't _____ the bank.

① rob ② break
③ hit ④ open

② break the bank 大金がかかる；破産させる

訳 今夜は少しぜいたくな夕食にしても大丈夫だよ。あのレストランで 1 回食事するくらい、大した出費にはならないから。

解説 「一回の食事くらいなら大金にはならない」なので won't break the bank。rob the bank は文字どおり「銀行強盗をする」。hit the bank / open the bank は決まった言い方ではなく、高いか安いかの意味を表さない。

区別 **break the bank ⇔ cost an arm and a leg** cost an arm and a leg は「とても高くつく」と肯定文でよく使う。break the bank は否定文「（それほど）高くない」で使うことが多い。見分け方：won't / doesn't が付いて安心させる文なら break the bank。

1157 □□□

Since you missed last week's meeting, Ms. Hill will bring you up ＿＿＿＿ speed on the project.

① at　② with
③ for　④ to

④ bring A up to speed　A に最新の情報を伝える

訳 先週の会議に出られなかったので、ヒルさんがプロジェクトについて最新の状況を教えてくれます。

解説 「（遅れた人に）最新の状況を伝える」は bring A up to speed。up to は「～まで」で、流れの速さまで引き上げる意味。at speed は「高速で」で、追いつかせる意味にならない。with / for は up と組んで speed とつながらない。

区別 **bring A up to speed ⇔ get up to speed**　get up to speed は主語が自分で「（状況に）追いつく・慣れる」。bring A up to speed は主語が教える側で「A を追いつかせる」。見分け方：人を目的語に取るなら bring A。

1158 □□□

The new manager does everything ＿＿＿＿ the book and never makes exceptions.

① in　② by
③ on　④ from

② by the book　規則どおりに；杓子定規に

訳 新しい部長は何でも規則どおりにやり、決して例外を作らない。

解説 「例外を作らず規則どおりにする」は by the book。by は「～に従って」の意味。in the book は「本の中に」と場所を表し、やり方の意味にならない。on the book / from the book も規則に従う意味の決まった言い方ではない。

区別 **by the book ⇔ bend the rules**　bend the rules は「（状況に合わせて）規則を曲げる・融通を利かせる」で by the book の反対。見分け方：例外を認めないなら by the book、例外を認めるなら bend the rules。

1159 □□□

Comparing a smartphone with a desktop computer is like comparing apples and ＿＿＿＿; they are made for completely different purposes.

① bananas　② lemons
③ oranges　④ grapes

③ compare apples and oranges
まったく性質の異なるものを比べる

訳 スマートフォンとデスクトップパソコンを比べるのは、比べようのないものを比べるようなものだ。まったく違う目的で作られているのだから。

解説 目的がまったく違うので比べられない、という意味の決まった形は compare apples and oranges。果物を入れ替えて bananas / lemons / grapes にすると決まり文句にならず、意味が伝わらない。

注意 apples and oranges 単独で「比べられないもの」の意味でも使う。

1160 □□□

Don't be fooled by his apology; he's just shedding ＿＿＿＿ tears.

① crocodile　② alligator
③ monkey　④ elephant

① crocodile tears　そら涙；うその涙

訳 彼の謝罪にだまされてはいけない。そら涙を流しているだけだ。

解説 「謝罪にだまされるな」から、偽りの涙＝ crocodile tears。ワニが獲物を食べながら泣くという言い伝えに基づく決まった形なので、同じワニ類の alligator でも言わない。monkey / elephant tears という表現もない。

注意 shed / cry crocodile tears の形。

1161 ☐☐☐

The company really _____ the ball when it failed to answer customer complaints for weeks.

① kept ② dropped
③ threw ④ carried

② drop the ball へまをする；（責任を果たさず）しくじる

訳 その会社は何週間も客の苦情に応じず、大きなへまをした。

解説 何週間も苦情に対応しなかったのは「へまをした」ので dropped the ball。kept the ball は keep the ball rolling（勢いを保つ）からのひっかけで rolling がない。threw the ball は文字どおり「ボールを投げた」。carry the ball は「責任を持って引き受ける」で、失敗の意味にならない。

区別 **drop the ball ⇔ get the ball rolling** get / start the ball rolling は「（物事を）始める・口火を切る」。drop the ball は「（任されたことで）へまをする」。見分け方：始めるなら rolling、しくじるなら drop。

1162 ☐☐☐

The doctor said the patient had a fifty-fifty _____ of recovering after the operation.

① half ② rate
③ part ④ chance

④ fifty-fifty 五分五分の；半々に

訳 医者は、その患者が手術後に回復する見込みは五分五分だと言った。

解説 「回復の見込みは五分五分」は a fifty-fifty chance of ~ing。half はそれ自体が「半分」で fifty-fifty と意味が重なり、of recovering とも組まない。rate は「割合・率」で a recovery rate とは言うが a fifty-fifty rate とは言わない。part は「部分」で可能性を表さない。

注意 split ~ fifty-fifty（半分ずつ分ける）の形も。

1163 ☐☐☐

My grandfather gets a _____ out of playing video games with his grandchildren.

① kick ② punch
③ hit ④ bang

① get a kick out of ~
～を大いに楽しむ；～が面白くてたまらない

訳 祖父は孫たちとテレビゲームをするのが楽しくてたまらない。

解説 「孫とゲームをするのがとても楽しい」は get a kick out of ~。punch / hit / bang はどれも get a ~ out of の形で「楽しむ」の決まった言い方にならない。kick だけが「快感・刺激」の意味を持つ。

注意 = enjoy ~ very much。

1164 ☐☐☐

The newspapers got _____ of the minister's secret plan before it was officially announced.

① air ② wind
③ rain ④ breath

② get wind of ~ ～を（うわさで）かぎつける

訳 新聞各社は、大臣の秘密の計画を公式発表の前に嗅ぎつけた。

解説 公式発表前に秘密の計画を「嗅ぎつけた」ので get wind of ~。air は be on the air（放送中）などの別表現で、get air of とは言わない。rain / breath も get ~ of の形で「嗅ぎつける」の意味にならない。

注意 = find out about ~ / hear about ~。

1165 □□□

I tell my son to clean his room every day, but it just goes in one ear and out ＿＿＿＿.

① the other ② another
③ other ④ the others

① go in one ear and out the other
右から左へ聞き流される；全然頭に残らない

訳 毎日息子に部屋を掃除しなさいと言っているが、右から左へ聞き流されるだけだ。

解説 耳は二つなので「一方（one）」に対する「もう一方」は the other。another は三つ以上あるうちの「別の一つ」なので使えない。other は単独では名詞として使えない。the others は「残り全部（複数）」で、耳が二つの場合には合わない。

注意 主語は言われた内容。日本語の「右から左」と方向は違うが同じ発想。

1166 □□□

It's just a small party, so don't go ＿＿＿＿ with the decorations.

① overseas ② overtime
③ overhead ④ overboard

④ go overboard やりすぎる；度を越す

訳 ちょっとしたパーティーなんだから、飾り付けをやりすぎないでね。

解説 小さなパーティーなので飾り付けを「やりすぎないで」は go overboard with ~。go overseas は「海外へ行く」、go overtime は「（時間を）超過する・延長戦になる」、overhead は「頭上に」で、どれもやりすぎの意味にならない。

区別 **go overboard ⇔ go too far** go too far は「（言動が）度を越す・行きすぎる」で、失礼・ひどい言動に使うことが多い。go overboard は「（買い物・飾り付け・熱意が）やりすぎ」で、悪意はないことが多い。

1167 □□□

The committee rejected the plan because it was a half- ＿＿＿＿ idea with no clear budget.

① baked ② hearted
③ time ④ way

① half-baked 生半可な；よく考えられていない

訳 その案は明確な予算もない生半可な考えだったので、委員会は却下した。

解説 予算も決まっていない「練られていない」案なので half-baked。half-hearted は「気乗りしない」で人の態度を表し、案の中身には使わない。half-time は「（試合の）前半終了・半日勤務」、halfway は「途中の」で、未熟な案の意味にならない。

区別 **half-baked ⇔ half-hearted** half-hearted は「気乗りしない・いい加減な」で、人の努力・態度に使う（a half-hearted attempt）。half-baked は「（計画・考えが）練られていない」。見分け方：やる気の問題なら hearted、中身の未熟さなら baked。

1168 □□□

I don't trust verbal promises. I want the agreement in ＿＿＿＿.

① white and black
② the black and white
③ black and white
④ black or white

③ in black and white 文書で；書面で

訳 口約束は信用しない。合意は書面にしてほしい。

解説 「口約束でなく書面で」は in black and white。語順は black and white で決まっていて、white and black とは言わない。the を付けた the black and white は誤り。black or white は「白か黒か」と二者択一の意味になり、書面の意味にならない。

区別 **in black and white ⇔ in the black** in the black は「黒字で」で the が付く。in black and white は「書面で」で冠詞なし。見分け方：会社の収支なら in the black、文書なら in black and white。

1169 ☐☐☐

By the time we arrived at nine, the party was already in full ＿＿＿＿.

① bloom　② swim
③ swing　④ play

③ in full swing　たけなわで；最高潮で

訳 私たちが 9 時に着いたときには、パーティーはもうたけなわだった。

解説 9 時に着いたらパーティーは「たけなわ」だったので in full swing。in full bloom は「（花が）満開で」で、パーティーには使わない。swim は in the swim（流行に乗って）という別の表現からのひっかけ。come into full play は「十分に発揮される」で、行事の盛り上がりではない。

注意 ＝ at its peak。

1170 ☐☐☐

We're leading 5-0 with only two minutes left. The game is in the ＿＿＿＿.

① bag　② air
③ box　④ dark

① in the bag　成功確実で；手に入ったも同然で

訳 残り 2 分で 5 対 0 で勝っている。この試合はもらったも同然だ。

解説 残り 2 分で 5 点差なので勝利は「確実」＝ in the bag。in the air は「（気配が）漂って」、in the dark は「何も知らされずに」で、勝利確実の意味にならない。in the box は文字どおり「箱の中に」。

区別 **in the bag ⇔ let the cat out of the bag**　let the cat out of the bag は「（うっかり）秘密を漏らす」。in the bag は「（勝利が）確実で」。同じ bag でも意味がまったく違う。見分け方：秘密なら cat、勝利・成功なら in the bag。

1171 ☐☐☐

After three years of losses, the company is finally back in the ＿＿＿＿.

① red　② black
③ blue　④ pink

② in the black　黒字で

訳 3 年間の赤字の後、その会社はようやく黒字に戻った。

解説 3 年間の赤字の後に「ようやく黒字に戻った」ので in the black。in the red は「赤字で」で、finally（ようやく）と合わない。in the pink は「とても元気で」、blue は in the blue という決まった言い方がなく、収支の意味にならない。

区別 **in the black ⇔ in the red**　in the red は「赤字で・借金して」。in the black は「黒字で」。日本語の「黒字・赤字」と色が同じなので覚えやすい。見分け方：利益が出ているなら black、損失なら red。

1172 ☐☐☐

He told the joke so seriously that I could hardly keep a _____ face.

① straight ② strict
③ still ④ stiff

① keep a straight face 笑いをこらえて真顔でいる

訳 彼があまりに真剣にその冗談を言うので、私は笑いをこらえるのに必死だった。

解説 真顔の冗談に「笑いをこらえきれなかった」ので keep a straight face。strict は「厳しい」で顔の表情に使う決まった言い方ではない。still は「動かない」だが a still face という言い方はしない。stiff は keep a stiff upper lip（弱音を吐かない）からのひっかけ。

区別 **keep a straight face ⇔ make a face** make a face は「顔をしかめる・変な顔をする」。keep a straight face は「表情を崩さない・真顔を保つ」。見分け方：表情を作るなら make、崩さないなら keep a straight。

1173 ☐☐☐

The teacher said, "I'm leaving the room for five minutes. No monkey _____ while I'm gone!"

① work ② job
③ business ④ trade

③ monkey business いたずら；ふざけた行為

訳 先生は「5 分間教室を離れます。私がいない間、悪ふざけはしないように！」と言った。

解説 「悪ふざけはなしだ」は No monkey business!。monkey business だけが「いたずら・ごまかし」の意味の決まった形で、work / job / trade に入れ替えるとこの意味にならない。

注意 「ふざけ」と「不正」の両方の意味がある。

1174 ☐☐☐

The two candidates are running neck and _____, so nobody knows who will win.

① head ② shoulder
③ face ④ neck

④ neck and neck 互角で；接戦で

訳 二人の候補者は互角の接戦を繰り広げているので、どちらが勝つか誰にも分からない。

解説 「互角の接戦で」は neck and neck と同じ語を繰り返す決まった形。head は head to head（直接対決で）からのひっかけで、neck and head とは言わない。shoulder は shoulder to shoulder（肩を並べて・協力して）、face は face to face（面と向かって）で、and でつないだこの形にはならない。

区別 **neck and neck ⇔ head to head** head to head は「（二者が）直接対決で・正面から」と、対戦の形を表す。neck and neck は「（差がなく）互角の接戦で」と、勝負の差の小ささを表す。

1175 ☐☐☐

Our teacher gives surprise quizzes to keep us on our _____.

① feet ② toes
③ heels ④ knees

② on one's toes 油断なく身構えて；気を張って

訳 先生は私たちを油断させないように抜き打ちの小テストをする。

解説 抜き打ちテストで「油断させない」は keep A on A's toes。on one's feet は「立って」「（病気から）回復して」で、油断しない意味にならない。on one's knees は「ひざまずいて」。heels は on one's heels の形で油断しない意味の決まった言い方はない。

区別 **on one's toes ⇔ step on A's toes** step on A's toes は「A の領分を侵して気分を害する」。on one's toes は「気を抜かず身構えて」。見分け方：step on があれば怒らせる、be / keep ~ on one's toes なら油断しない。

1176 ☐☐☐

My grandmother is one ＿＿＿＿ a million; she has helped everyone in our town.

① in　② of
③ from　④ among

① one in a million　百万に一人の；またとない

訳 私の祖母はめったにいないすばらしい人で、町じゅうの人を助けてきた。

解説 「百万に一人の（すばらしい人）」は one in a million。of は one of a kind（唯一無二）と混同させるひっかけで、one of a million とは言わない。from / among も a million と組んでこの決まった言い方を作らない。

区別 **one in a million ⇔ one of a kind** one of a kind は「唯一無二の・ほかにない」で前置詞 of。one in a million は「百万に一人の」で前置詞 in。意味は近いが前置詞が違うので取り違えが問われる。

1177 ☐☐☐

You have to try the chocolate cake at this cafe. It's out of this ＿＿＿＿!

① earth　② planet
③ world　④ place

③ out of this world
すばらしい；この世のものとは思えないほどの

訳 このカフェのチョコレートケーキは絶対に食べてみて。最高においしいんだから！

解説 「最高においしい」は out of this world。earth / planet / place に入れ替えても決まった言い方にならない（out of place は「場違いで」という別の意味）。

区別 **out of this world ⇔ out of the question** out of the question は「論外で・不可能で」と否定的。out of this world は「最高にすばらしい」と肯定的。見分け方：the question なら不可能、this world なら褒め言葉。

1178 ☐☐☐

After a busy month at work, I went to the mountains for a week to recharge my ＿＿＿＿.

① engines　② batteries
③ lights　④ tanks

② recharge one's batteries　英気を養う；充電する

訳 仕事で忙しい 1 か月を過ごした後、英気を養うために 1 週間山へ行った。

解説 「英気を養う」は recharge one's batteries。recharge は「充電する」なので電池（batteries）と組む。engines / lights は充電する物ではない。tanks は燃料を満たす（fill up）物で、recharge とは組まない。

注意 ＝ rest / relax。

1179 ☐☐☐

What started as a small argument quickly ＿＿＿＿ into a major conflict.

① snowed　② melted
③ froze　④ snowballed

④ snowball　（雪だるま式に）急速に大きくなる

訳 ちょっとした口論として始まったものが、あっという間に雪だるま式にふくらんで大きな対立になった。

解説 小さな口論が「急速にふくらんで」大きな対立になったので snowballed into ~。snowed は「雪が降った」で主語が It でないと使えない。melted は「溶けた」で小さくなる方向。froze は「凍りついた」で、ふくらむ意味にならない。

注意 動詞で使う。snowball effect（雪だるま効果）も。

1180 □□□

I've been doing the same job for ten years, and I feel stuck in a ＿＿＿＿.

① row　② roll
③ run　④ rut

④ stuck in a rut　マンネリに陥って；型にはまって

訳 10 年間同じ仕事をしていて、マンネリに陥っている気がする。

解説 10 年同じ仕事で「マンネリに陥っている」ので stuck in a rut。in a row は「連続して」、on a roll は「絶好調で」で、stuck in と組まない。run は in the long run（長い目で見れば）などの表現で、stuck in a run とは言わない。

区別 **stuck in a rut ⇔ in a jam**　in a jam は「（急なトラブルで）困った状況で」。stuck in a rut は「（変化がなく）退屈な繰り返しから抜け出せない」。見分け方：急な困りごとなら jam、単調な毎日なら rut。

1181 □□□

Before launching the product nationwide, the company decided to test the ＿＿＿＿ by selling it in one city.

① seas　② rivers
③ waters　④ oceans

③ test the waters　様子を探る；反応を確かめる

訳 製品を全国で発売する前に、その会社は一つの都市で販売して様子を探ることにした。

解説 全国発売の前に一都市で売って「反応を確かめる」ので test the waters。waters（水）の温度を確かめる比喩で、seas / rivers / oceans に入れ替えると決まった言い方にならない。

注意 ＝ see how people react。

1182 □□□

The famous music festival was the ＿＿＿＿ of a group of college students.

① brainstorm　② brainwash
③ brain drain　④ brainchild

④ the brainchild of A　A の発案；A の考え出したもの

訳 その有名な音楽祭は、大学生のグループの発案によるものだった。

解説 音楽祭が「大学生の発案」だったので the brainchild of ~。brainstorm は「（集団で）アイデアを出し合うこと・ひらめき」で、完成した企画を指さない。brainwash は「洗脳する」。brain drain は「頭脳流出」で、文脈に合わない。

注意 新聞・長文で「～の発案」の意味で出る。

1183 □□□

Our boss told us to spend as much as we need on the party. The sky's the ＿＿＿＿.

① end　② limit
③ top　④ line

② The sky's the limit.　可能性は無限だ；上限はない

訳 上司はパーティーに必要なだけお金を使っていいと言った。上限はないのだ。

解説 「必要なだけ使っていい」から予算に上限がない＝ The sky's the limit.。end / top / line に入れ替えると決まった言い方にならない（the bottom line は「要点・最終損益」という別の表現）。

注意 励ましの言葉として使う。

1184 ☐☐☐

The doctor says my father has turned a _____ and should be able to leave the hospital next week.

① corner ② leaf
③ hand ④ back

① turn a corner 峠を越す；好転する

訳 医者によると、父は峠を越したので来週には退院できるそうだ。

解説 来週には退院できるので「峠を越した」＝ turn a corner。turn a new leaf は「心を入れ替える」で new が必要、病状には使わない。turn a hand は「手を貸す（否定文）」、turn one's back は「背を向ける」で、回復の意味にならない。

区別 **turn a corner ⇔ take a turn for the worse** take a turn for the worse は「（容態・状況が）悪化する」で、turn a corner の反対。take a turn for the better なら「好転する」。見分け方：良くなり始めたなら turn a corner。

1185 ☐☐☐

The arrival of fresh troops _____ the tide of the battle.

① rolled ② turned
③ flowed ④ raised

② turn the tide 形勢を逆転させる

訳 新しい部隊の到着が、戦いの形勢を逆転させた。

解説 新しい部隊の到着で「形勢を逆転させた」は turn the tide。rolled は「転がした」、flowed は「流れた」という自動詞で目的語を取らない。raised は「上げた」で、tide と組んで逆転の意味にならない。

区別 **turn the tide ⇔ turn the tables (on A)** turn the tables (on A) は「（相手と）立場を入れ替える」と個人同士の逆転。turn the tide は「（戦争・世論・試合の）大きな流れを変える」。on ~ で相手を示すなら tables。

1186 ☐☐☐

Ever since the boss got angry, everyone in the office has been walking on _____.

① air ② clouds
③ eggshells ④ water

③ walk on eggshells
（人の機嫌を損ねないよう）気を遣う；腫れ物に触るように接する

訳 上司が怒って以来、職場の全員が腫れ物に触るように気を遣っている。

解説 上司が怒って以来「みんなが気を遣っている」ので walk on eggshells。walk on air は「有頂天になる」で正反対。clouds は on cloud nine（有頂天で）からのひっかけ。walk on water は「水の上を歩く（奇跡）」で、気を遣う意味にならない。

注意 進行形で使われることが多い。

1187 □□□

A: Come on, have one more piece of cake. B: Well, if you _____ my arm, I'll have just a small one.

① pull　② break
③ twist　④ bend

③ twist A's arm

A に無理強いする；説得して無理にやらせる

訳 A：さあ、ケーキをもう一切れどうぞ。 B：まあ、そこまで言われたら、小さいのを一つだけいただくよ。

解説 勧められて冗談で「そこまで言うなら」と受けるのは twist A's arm。pull は pull A's leg（からかう）と混同させるひっかけで、pull my arm ではこの意味にならない。break / bend my arm は文字どおり「腕を折る・曲げる」で、勧めを受ける言い方にならない。

区別 **twist A's arm ⇔ pull A's leg** pull A's leg は「A をからかう・担ぐ」。twist A's arm は「A に無理強いする・説得してやらせる」。見分け方：冗談でだますなら leg、無理にやらせるなら arm。

1188 □□□

You can't get a job without experience, but you can't get experience without a job. It's a _____.

① catch-22　② win-win
③ no-brainer　④ piece of cake

① a catch-22

どうにもならない矛盾した状況；八方ふさがり

訳 経験がないと仕事に就けないが、仕事がないと経験を積めない。どうにもならない矛盾だ。

解説 経験と仕事が互いを条件にしていて抜け出せないので a catch-22。win-win は「双方に得な」、no-brainer は「考えるまでもない簡単なこと」、piece of cake は「朝飯前」で、どれも八方塞がりの意味にならない。

区別 **a catch-22 ⇔ a vicious circle** a vicious circle は「悪循環」で、悪い結果がさらに悪い原因を生み続ける流れ。a catch-22 は「二つの条件が矛盾していて、どちらからも抜け出せない状況」。見分け方：同じことがぐるぐる悪化するなら circle、条件同士の矛盾なら catch-22。

1189 □□□

After a full check-up, the doctor gave me a clean _____ of health.

① bill　② sheet
③ record　④ paper

① a clean bill of health

健康証明；問題なしというお墨付き

訳 精密検査の後、医者から異常なしのお墨付きをもらった。

解説 「異常なしの診断」は a clean bill of health。a clean sheet は「白紙・無失点（サッカー）」、a clean record は「前科・違反歴なし」で、of health と組まない。paper も of health と組んだ決まった言い方ではない。

注意 機械や会社の検査で「問題なし」と言うときにも使う。

1190 □□□

When he lost all his money, he found out that most of his friends were just ＿＿＿＿ friends.

① close　② fair-weather
③ rainy-day　④ true

② a fair-weather friend　都合のいい時だけの友達

訳 全財産を失ったとき、彼は友達のほとんどが都合のいいときだけの友達にすぎなかったと分かった。

解説 お金を失って離れていった「都合のいい友達」なので fair-weather friends。close friends（親友）や true friends（真の友）は困ったときも離れない友達で、just（～にすぎない）と found out の流れに合わない。rainy-day は save for a rainy day（まさかの時に備える）からのひっかけで、friend とは組まない。

注意 ことわざ A friend in need is a friend indeed. と対比される。

1191 □□□

I can't go out this weekend; I'm up to my ＿＿＿＿ in homework.

① hands　② feet
③ ears　④ toes

③ be up to one's ears in ～
～に追われている；～に深くはまり込んでいる

訳 今週末は出かけられない。宿題に追われているんだ。

解説 宿題に「追われている」は be up to one's ears in ～。耳の高さまで埋まるほど量が多いという比喩なので、低い位置の feet / toes では意味にならない。hands も up to one's hands in ～ という決まった言い方はない（have one's hands full なら「手が塞がっている」）。

区別 **be up to one's ears in ～ ⇔ be all ears**　be all ears は「（話を）熱心に聞いている」。be up to one's ears in ～ は「～に追われて身動きが取れない」。同じ ears でも意味がまったく違う。見分け方：up to ～ in があれば忙しさ。

1192 □□□

In the interview, they asked me what skills I could bring ＿＿＿＿ the table.

① on　② to
③ at　④ under

② bring ～ to the table
（能力・案などを）提供する；もたらす

訳 面接で、私がどんな能力をもたらせるかと聞かれた。

解説 「（能力を）提供する・もたらす」は bring ～ to the table。bring は「持ってくる」なので行き先の to。on the table は be 動詞と組んで「検討中で」、under the table は「裏で・不正に」で、どちらも bring と組んで能力を差し出す意味にならない。at は方向を表さない。

区別 **bring ～ to the table ⇔ on the table**　be on the table は「（案・提案が）検討中で・議題に上って」と状態を表す。bring ～ to the table は「（自分の能力・案）を差し出す」と動作を表す。見分け方：bring と組むなら to、be 動詞なら on。

1193 ☐☐☐

The government can't keep burying its head in the _____ and ignoring climate change.

① ground ② clouds
③ water ④ sand

④ bury one's head in the sand
現実から目をそらす；問題を見ないふりをする

訳 政府はいつまでも現実から目をそらし、気候変動を無視し続けるわけにはいかない。

解説 気候変動から「目をそらす」は bury one's head in the sand。have one's head in the clouds は「空想にふけっている」でひっかけ、bury とは組まない。ground / water も bury one's head in the ~ の決まった形にならない。

区別 **bury one's head in the sand ⇔ turn a blind eye to ~** turn a blind eye to ~ は「（他人の不正・違反を）見て見ぬふりをして許す」。bury one's head in the sand は「（自分にとって不都合な問題・現実から）目をそらす」。見分け方：他人の悪事を黙認するなら blind eye、自分の問題を直視しないなら head in the sand。

1194 ☐☐☐

He's been _____ up the boss all week because he wants a pay raise.

① salting ② sugaring
③ peppering ④ buttering

④ butter A up A におべっかを使う；ごまをする

訳 彼は昇給して欲しいので、1 週間ずっと上司にごまをすっている。

解説 昇給目当てに上司に「ごまをする」は butter A up。salt / sugar / pepper は up と組んで「お世辞を言う」の意味にならない（sugarcoat は「（悪い知らせを）和らげて伝える」で別の語）。

注意 ＝ flatter A。日本語の「ごまをする」と食べ物どうしで対応。

1195 ☐☐☐

Let's bring both umbrellas and sunscreen to cover all the _____.

① plates ② gloves
③ bases ④ bats

③ cover one's bases
万全の準備をする；あらゆる事態に備える

訳 あらゆる事態に備えて、傘と日焼け止めの両方を持っていこう。

解説 雨にも晴れにも備えるので「万全の準備をする」＝ cover all the bases。同じ野球の言葉でも plates（ホームベース）・gloves・bats は cover と組んで備える意味にならない。

注意 cover all the bases とも。

1196 ☐☐☐

The fashion industry is a _____ world where only the strongest survive.

① dog-eats-dog ② dog-eat-dog
③ dog-ate-dog ④ eat-dog-dog

② dog-eat-dog 食うか食われるかの；生存競争の激しい

訳 ファッション業界は、最も強い者しか生き残れない食うか食われるかの世界だ。

解説 「食うか食われるかの世界」は a dog-eat-dog world。決まった形容詞で、eat は原形のまま。dog-eats-dog（三単現）や dog-ate-dog（過去形）と変化させることはない。eat-dog-dog は語順が崩れていて意味をなさない。

区別 **dog-eat-dog ⇔ the rat race** the rat race は「（終わりのない）出世・金のための競争生活」という名詞。dog-eat-dog は「（他人を蹴落としてでも）勝ち残ろうとする」競争の激しさを表す形容詞。

1197 □□□

A: Ken talks about his plans all the time, but he never actually does anything. B: Well, ———

① still waters run deep.
② the early bird catches the worm.
③ empty vessels make the most noise.
④ two heads are better than one.

③ Empty vessels make the most noise.

空の容器ほど大きな音を立てる；能ある鷹は爪を隠す（の裏）

訳 A：ケンはいつも自分の計画の話ばかりしているけど、実際には何もしないんだ。 B：まあ、中身のない人ほどよくしゃべるものだよ。

解説 口ばかりで何もしないケンを批判しているので Empty vessels make the most noise.。Still waters run deep. は「静かな人ほど深い」と無口な人を褒める言葉で、よくしゃべるケンには合わない。The early bird catches the worm. は「早起きは得」、Two heads are better than one. は「三人寄れば文殊の知恵」で無関係。

区別 **Empty vessels make the most noise. ⇔ Still waters run deep.** Still waters run deep. は「静かな人ほど考えが深い」と、口数の少ない人を評価することわざ。Empty vessels make the most noise. は口数の多い中身のない人を批判する。同じ「口数と中身」の関係を逆の側から言っている。

1198 □□□

When my neighbor parked in front of my garage again, I went out and gave him a piece of my ———.

① heart ② head
③ thought ④ mind

④ give A a piece of one's mind

A をきつく叱る；A に文句をはっきり言う

訳 隣人がまた私の車庫の前に車を止めたので、外に出て文句をはっきり言ってやった。

解説 腹を立てて「はっきり文句を言った」は give A a piece of one's mind。heart / head / thought に入れ替えるとこの決まった形にならない（a piece of my heart は歌詞などで「心の一部」の意味になる）。

区別 **give A a piece of one's mind ⇔ speak one's mind** speak one's mind は「思っていることを率直に言う」で、怒りとは限らない。give A a piece of one's mind は「A に怒って文句をぶつける」。見分け方：相手 A がいて腹を立てているなら give A ~。

1199 □□□

When the singer walked on stage, the crowd went ———.

① bananas ② banana
③ apples ④ oranges

① go bananas かんかんに怒る；興奮して大騒ぎする

訳 その歌手がステージに現れると、観客は大興奮した。

解説 「大興奮した・大騒ぎした」は go bananas で、bananas は複数形の決まった形。単数の banana では成り立たない。apples / oranges は go ~ の形で興奮を表す言い方がない（go nuts なら同じ意味）。

注意 go crazy / go nuts と同じ。bananas は複数形。

1200 ☐☐☐

My brother always has to have the _____ word in every argument.

① latest ② end
③ past ④ last

④ have the last word
（議論で）最後に発言する；最終決定権を持つ

訳 兄はどんな口論でも、いつも最後に言い返さないと気が済まない。

解説 口論で「最後に言い返す」は have the last word。latest は「最新の」で、順番の最後を表さない。end / past は名詞の前で word を修飾する言い方にならず、決まった形もない。

区別 **have the last word ⇔ the last word in ~** the last word in ~ は「～の最新型・最高のもの」（the last word in smartphones）。have the last word は「最後に言い返す・最終決定権を持つ」。見分け方：have が付けば議論、in ~ が続けば最新・最高。

1201 ☐☐☐

Her guess about who had sent the letter hit the _____; it was her old teacher.

① roof ② bull's-eye
③ road ④ sack

② hit the bull's-eye 的の中心を射る；図星をさす

訳 誰が手紙を送ったかについての彼女の推測は図星だった。昔の先生だったのだ。

解説 推測が「ずばり当たった」ので hit the bull's-eye。hit the roof は「激怒する」、hit the road は「出発する」、hit the sack は「寝る」で、どれも推測が当たる意味にならない。

区別 **hit the bull's-eye ⇔ miss the mark** miss the mark は「的を外す・見当違いだ」で hit the bull's-eye の反対。見分け方：推測や発言が当たったなら hit the bull's-eye、外れたなら miss the mark。

1202 ☐☐☐

He made a _____ on the stock market last year and bought a new house.

① killing ② kill
③ killer ④ kills

① make a killing 大もうけする

訳 彼は去年株式市場で大もうけして、新しい家を買った。

解説 「大もうけする」は make a killing（名詞 killing＝大もうけ）。kill は動詞で a の後ろに置けない（名詞の kill は「獲物」で、この熟語にはならない）。killer は「殺人者」、kills は a と数が合わない。

区別 **make a killing ⇔ make a fortune** make a fortune は「（時間をかけて）財産を築く」と大きな富全般。make a killing は「（株・取引などで）一気に大もうけする」と短期間・一発の利益の響き。どちらも「大金を得る」で、言い換えられる場面も多い。

1203 ☐☐☐

We stayed in a small village off the _____ track, far from the tourist crowds.

① beating ② beat
③ broken ④ beaten

④ off the beaten track
人のあまり行かない；へんぴな所に

訳 私たちは観光客の人混みから遠く離れた、人のあまり来ない小さな村に泊まった。

解説 「人のあまり行かない」は off the beaten track。track は「踏み固められた」側なので過去分詞 beaten。beating は「踏み固めている」と能動になり誤り。beat は原形・過去形で track を修飾できない。broken は「壊れた」で、決まった言い方ではない。

注意 旅行の話題で出る。

1204 □□□

We were on _____ and needles while waiting for the doctor's report.

① nails　② pins
③ knives　④ sticks

② on pins and needles
（不安で）はらはらして；気が気でなくて

訳 医者の報告を待つ間、私たちは気が気でなかった。

解説 「気が気でない」は on pins and needles の決まった形。nails / knives / sticks に入れ替えると成り立たない（nails は as hard as nails「冷酷な」などの別表現）。

注意 ＝ nervous / anxious。

1205 □□□

The meeting will start at nine o'clock on the _____, so don't be late.

① spot　② point
③ line　④ dot

④ on the dot 時間ぴったりに

訳 会議は 9 時きっかりに始まるので、遅れないように。

解説 「9 時きっかりに」は at nine on the dot。on the spot は「その場で・即座に」で、時刻の後ろで「ぴったり」の意味にならない。on the point of ~ は「今にも～しそうで」、on the line は「危険にさらされて」で、どれも時刻の正確さを表さない。

区別 **on the dot ⇔ on time** on time は「遅れずに・時間どおりに」と、遅刻しないことを表す。on the dot は「（その時刻に）きっかり」と正確さを強調し、時刻の後ろに置く。見分け方：時刻と一緒に「ぴったり」なら on the dot。

1206 □□□

He used to waste all his money, but he finally _____ the light and started saving.

① looked　② watched
③ found　④ saw

④ see the light （ようやく）理解する；悟る

訳 彼は昔はお金を全部無駄遣いしていたが、ようやく目が覚めて貯金を始めた。

解説 「ようやく目が覚めた」は see the light（過去形 saw）。looked は自動詞で look at が必要。watched は「（動く物を）じっと見る」で、この熟語にならない。found the light は「明かりを見つけた」と文字どおりの意味になる。

区別 **see the light ⇔ see the light of day** see the light of day は「（物・計画が）世に出る・日の目を見る」で、主語は物。see the light は「（人が）やっと分かる・目が覚める」。見分け方：of day が続き主語が物なら「世に出る」。

1207 □□□

When the 'free' prize required a credit card number, I began to smell a _____.

① rat　② mouse
③ fish　④ skunk

① smell a rat
うさんくさいと感じる；何かおかしいと気づく

訳 「無料」の景品なのにクレジットカードの番号が必要だと言われたとき、私はうさんくさいと感じ始めた。

解説 無料なのにカード番号を求められ「うさんくさい」と感じたので smell a rat。mouse / skunk に入れ替えるとこの決まった形にならない。fish は something fishy（うさんくさいこと）と混同させるひっかけで、smell a fish とは言わない。

区別 **smell a rat ⇔ get wind of ~** get wind of ~ は「（秘密・計画を）うわさで知る」と情報を手に入れること。smell a rat は「（何か）怪しいと感じる」と疑いを持つこと。見分け方：具体的な情報を知るなら get wind of、漠然とした不審さなら smell a rat。

1208 ☐☐☐

Nobody else supported the new employee, but the manager stuck his _____ out for her.

① head ② nose
③ neck ④ chin

③ stick one's neck out
（あえて）危険を冒す；自分の立場を危うくしてまで言う

訳 ほかに誰もその新入社員を支持しなかったが、部長は自分の立場を危うくしてまで彼女をかばった。

解説 誰も支持しない中であえて彼女をかばったので stick one's neck out for A。stick one's nose (into ~) は「口出しする」で、out for her とは組まない。head / chin も stick ~ out for A で「危険を冒してかばう」の決まった言い方にならない。

区別 **stick one's neck out ⇔ stick one's nose into ~** stick one's nose into ~ は「（他人のこと）に首を突っ込む・口出しする」。stick one's neck out は「（あえて）危険を冒す」。日本語の「首を突っ込む」は nose の方なので注意。

1209 ☐☐☐

The new bakery became the _____ of the town within a week of opening.

① talk ② speech
③ word ④ story

① the talk of the town 町中の評判；うわさの的

訳 その新しいパン屋は開店から 1 週間で町中の評判になった。

解説 「町中の評判」は the talk of the town。speech（演説）、word（言葉）、story（物語）に入れ替えても決まった言い方にならない（word は word of mouth「口コミ」という別の表現で使う）。

注意 become the talk of the town の形も。

1210 ☐☐☐

I'll touch _____ with you next week to discuss the details.

① base ② bases
③ the base ④ basic

① touch base (with A)
（A と）連絡を取る；打ち合わせる

訳 詳細を話し合うために、来週また連絡します。

解説 「連絡を取る」は touch base with ~ で、base は無冠詞・単数の決まった形。bases と複数にしたり the base と冠詞を付けたりしない（cover all the bases は「万全を期す」で別の表現）。basic は形容詞で名詞の位置に置けない。

区別 **touch base (with A) ⇔ keep in touch (with A)** keep in touch は「（離れていても）連絡を取り続ける」と長く付き合いを保つ。touch base は「（仕事で）状況確認のために短く連絡する」。見分け方：近況報告を続けるなら keep in touch、用件の確認なら touch base。

1211 ☐☐☐

Critics accused the government of trying to _____ the scandal.

① brainwash ② blackmail
③ wash up ④ whitewash

④ whitewash ~ ～（の不正・失敗）を隠蔽する；ごまかす

訳 批判する人たちは、政府がその不祥事を隠蔽しようとしていると非難した。

解説 不祥事を「隠蔽する」は whitewash。brainwash は「洗脳する」で、目的語は人。blackmail は「（人を）ゆする」で、the scandal を目的語にできない。wash up は「（食器を）洗う」で、隠蔽の意味にならない。

注意 名詞（隠蔽工作）・動詞の両方で使う。＝ cover up。

1212 □□□

Banning all smartphones at school would be a knee- _____ reaction to the problem.

① jerk　② jump
③ kick　④ shake

① a knee-jerk reaction

反射的な反応；よく考えない即座の反応

訳 学校でスマートフォンを全面禁止するのは、その問題への短絡的な反応だろう。

解説 よく考えずに全面禁止するのは「短絡的な反応」＝ a knee-jerk reaction。jerk は「急にぐいっと動くこと」で、ひざの反射を表す決まった形。jump / kick / shake に入れ替えるとこの言い方にならない。

注意 批判的な意味で使われることが多い。knee-jerk は形容詞として名詞の前に置く。

1213 □□□

It makes my blood _____ when people leave their trash on the beach.

① to boil　② boiling
③ boiled　④ boil

④ make A's blood boil　A を激怒させる

訳 人々がビーチにごみを置いていくと、本当に頭にくる。

解説 make ＋ O ＋ 原形不定詞の使役の形で、make my blood boil（激怒させる）。使役の make の後ろに to boil は置けない（受動態 be made to do の場合のみ to）。boiling / boiled も make my blood の後ろではこの決まった形にならない。ごみを捨てる人への怒りを表す文。

区別 **make A's blood boil ⇔ make A's blood run cold**　make A's blood run cold は「A をぞっとさせる・恐怖で凍りつかせる」。boil は怒りで血が煮えたぎる、run cold は恐怖で血が冷たくなる。見分け方：怒りなら boil、恐怖なら run cold。どちらも make ＋ O ＋ 原形。

1214 □□□

I was looking everywhere for my glasses, and they were right under my _____ the whole time.

① eyes　② nose
③ breath　④ face

② under A's nose

A の目の前で；A のすぐ近くで（気づかれずに）

訳 私はあちこち眼鏡を探していたが、眼鏡はずっと目の前にあった。

解説 すぐ目の前にあったのに気づかなかったのは (right) under one's nose。under my eyes は決まった言い方にならず、under my breath は「小声で」で物のありかを表せない。under my face も熟語にならない。ずっと目の前にあった眼鏡の話。

区別 **under A's nose ⇔ under one's breath**　under one's breath は「小声で・ひそひそと」（mutter under one's breath）。under A's nose は「A の目の前で」。見分け方：声の大きさなら breath、すぐ近くで気づかないなら nose。

1215 ☐☐☐

Because of the accident on the highway, traffic was moving _____ a snail's pace.

① in　② on
③ at　④ with

③ at a snail's pace　のろのろと；非常にゆっくり

訳 高速道路の事故のせいで、車の流れはのろのろとしか進んでいなかった。

解説 速さ・ペースを表す前置詞は at で、at a snail's pace（のろのろと）は at に決まっている。in / on は速度を表す名詞とは組まず、with も「～を持って」となり速さを表せない。at a high speed / at full speed と同じ at。

区別 **at a snail's pace ⇔ at full speed**　at full speed は「全速力で」で正反対。どちらも速さ・ペースを at で示す。見分け方：速いなら at full speed / at top speed、遅くていらいらするなら at a snail's pace。

1216 ☐☐☐

The instructions were written in such strange English that I couldn't make head or _____ of them.

① foot　② end
③ tail　④ toe

③ can't make head or tail of ～
～がさっぱり分からない

訳 説明書はとても奇妙な英語で書かれていたので、私には何が何だかさっぱり分からなかった。

解説 「～がさっぱり分からない」は can't make head or tail of ～で、head と対になるのは tail（コインの表と裏）。foot / end / toe を入れても決まった形にならない（head to foot / head to toe は「頭からつま先まで」で別の表現）。

区別 **can't make head or tail of ～ ⇔ make sense of ～**　make sense of は「～を理解する・～の意味をつかむ」で、肯定文でも否定文でも使える（I can't make sense of it / I finally made sense of it）。can't make head or tail of はほぼ否定文専用。見分け方：肯定文なら make sense of。

1217 ☐☐☐

The report is misleading because the author _____ data that supported his theory and ignored the rest.

① picked on
② cherry-picked
③ picked up
④ picked off

② cherry-pick ～
～を（都合のよいものだけ）選び取る；いいとこ取りする

訳 その報告書は誤解を招く。筆者は自説を支持するデータだけを選び取り、残りを無視したからだ。

解説 自説に合うデータだけを選び、ほかを無視したので cherry-picked（都合のよいものだけ選んだ）。picked on は「（人）をいじめた」で後ろは人、picked up は「拾った・身につけた」で「残りを無視した」との対比にならない。picked off は「（一人ずつ）狙い撃ちにした」で、データには合わない。

区別 **cherry-pick ～ ⇔ pick out ～**　pick out は「（多くの中から）～を選び出す・見分ける」で、悪い意味はない（pick out a dress）。cherry-pick は「自分に都合のよい物だけを選ぶ」という非難を含む。見分け方：公平さを欠いた選び方を批判しているなら cherry-pick。

1218 ☐☐☐

The residents fought tooth and _____ against the plan to build a factory near the school.

① hand　② bone
③ foot　④ nail

④ fight tooth and nail 必死に戦う

訳 住民たちは、学校の近くに工場を建てる計画に必死に反対した。

解説 「必死に戦う」は fight tooth and nail で、tooth と組むのは nail（爪）。hand / bone / foot を入れても決まった表現にならない（hand and foot は「手足を縛って・かいがいしく」など別の表現）。工場建設に住民が強く反対した、という内容。

区別 **fight tooth and nail ⇔ do one's best** do one's best は「最善を尽くす」で、戦い・抵抗の意味はない。fight tooth and nail は相手・困難に対して「死に物狂いで戦う」。見分け方：反対・抵抗する相手がいるなら tooth and nail。

1219 ☐☐☐

His habit of interrupting people in the middle of a sentence really gets _____ my skin.

① on　② under
③ into　④ through

② get under A's skin A をいらいらさせる

訳 文の途中で人の話をさえぎる彼の癖には、本当にいらいらさせられる。

解説 「（人を）いらいらさせる」は get under A's skin で、skin と組むのは under。on は get on A's nerves の形で nerves と組み、skin とは組まない。into / through も my skin と組んでいらだちの意味にならない。

区別 **get under A's skin ⇔ get on A's nerves** 意味はほぼ同じ「A をいらいらさせる」だが、前置詞は on で、nerves は複数。get under A's skin は under と skin（単数）。見分け方：名詞が skin なら under、nerves なら on。

1220 ☐☐☐

Ken is always rude to others, so someone should give him a taste of his own _____.

① medicine　② pill
③ drug　④ cure

① give A a taste of A's own medicine A に同じ仕返しをする

訳 ケンはいつも人に失礼な態度をとるので、誰かが同じ目にあわせて思い知らせるべきだ。

解説 「同じ仕打ちで仕返しする」は give A a taste of A's own medicine で、medicine に決まっている。pill / drug / cure を入れても決まった表現にならない。いつも失礼なケンに、同じ目にあわせるべきだという内容。

区別 **give A a taste of A's own medicine ⇔ get even with ~** get even with ~ は「～に仕返しをする」で、方法は問わない。give A a taste of A's own medicine は「A と同じやり方で」仕返しする点が特徴。見分け方：同じ手口でやり返すなら own medicine。

1221 □□□

As the newest member of the team, I'm at the bottom of the _____, so I have to make the tea.

① red tape　② small talk
③ pecking order　④ rat race

③ pecking order 序列；上下関係

訳 私はチームで一番の新入りなので序列の最下位にいて、お茶をいれなければならない。

解説 チームの新人で一番下だからお茶をいれる、という集団内の順位の話なので pecking order（序列）。red tape は「お役所的な面倒な手続き」、small talk は「世間話」、rat race は「激しい出世競争」で、at the bottom of と組んで「序列の最下位」の意味にならない。

区別 **pecking order ⇔ rat race** rat race は「（都会の会社員などの）出世競争・せわしない生存競争」。pecking order は集団内の「上下の順番」。見分け方：競争の激しさ・むなしさなら rat race、誰が上で誰が下かの順位なら pecking order。

1222 □□□

You've been a teacher for years. Can I pick your _____ about how to give a good presentation?

① mind　② head
③ brain　④ thought

③ pick A's brain A の知恵を借りる；A に意見を聞く

訳 あなたは長年先生をしていますよね。上手な発表のしかたについて、知恵を貸してもらえますか。

解説 「（詳しい人の）知恵を借りる」は pick A's brain(s) で、brain に決まっている。mind / head / thought を入れても決まった表現にならない（pick one's thoughts とは言わない）。長年の経験がある先生に助言を求める場面。

区別 **pick A's brain ⇔ rack one's brain(s)** rack one's brain(s) は「（自分が）知恵を絞る・頭をひねる」。pick A's brain は「（他人の）知恵を借りる」。見分け方：所有格が自分なら rack、相手なら pick。

1223 □□□

You can't lie to me, Tom. I've known you for twenty years. I can read you like a _____.

① book　② letter
③ map　④ sign

① read A like a book A の考えていることを見抜く

訳 トム、私にうそはつけないよ。20 年の付き合いだもの。あなたの考えていることはお見通しだよ。

解説 「相手の考えを見抜く」は read A like a book で、book に決まっている。letter / map / sign も読む物だが、決まった表現にならない。20 年の付き合いだからうそはお見通し、という内容。

区別 **read A like a book ⇔ read between the lines** read between the lines は「行間を読む・言外の意味をくみ取る」で、対象は文章や発言。read A like a book は人の気持ち・考えを見抜く。見分け方：手紙・発言の隠れた意味なら between the lines、人の内心なら like a book。

1224 ☐☐☐

The city rolled out the red _____ for the visiting president, with a parade and fireworks.

① tape ② flag
③ carpet ④ line

③ roll out the red carpet (for A)

（A を）盛大に歓迎する

訳 市はパレードと花火で、来訪した大統領を盛大に歓迎した。

解説 「盛大に歓迎する」は roll out the red carpet で、carpet に決まっている。red tape は「お役所仕事」、red flag は「危険信号」、red line は「越えてはならない一線」で、どれも roll out と組んで歓迎の意味にならない。パレードと花火という盛大さとも合う。

区別 **roll out the red carpet (for A) ⇔ red tape** 同じ red でも red tape は「お役所的な面倒な手続き」で、歓迎とは無関係。roll out the red carpet は「盛大に歓迎する」。見分け方：手続き・書類の煩わしさなら tape、もてなしなら carpet。

1225 ☐☐☐

Don't _____ the truth, doctor. Just tell me honestly how serious my illness is.

① spell out ② sugarcoat
③ face ④ sort out

② sugarcoat ~

～を体裁よく見せかける；（悪い話を）オブラートに包む

訳 先生、本当のことをオブラートに包まないでください。私の病気がどれほど重いのか、正直に教えてください。

解説 正直に言ってほしいので「（真実を）体裁よくごまかさないで」の sugarcoat。spell out は「はっきり説明する」で、Don't を付けると「はっきり言わないで」になり後半と矛盾する。face は「直視する」、sort out は「整理・解決する」で、Don't と組んで文意が通らない。

区別 **sugarcoat ~ ⇔ spell out ~** spell out は「～を詳しく・はっきり説明する」で、sugarcoat の反対方向。見分け方：ごまかしてよく見せるなら sugarcoat、包み隠さず明確に言うなら spell out。

1226 ☐☐☐

When I joined the company, an experienced engineer took me under _____ wing and taught me everything.

① my ② its
③ a ④ his

④ take A under one's wing

A を保護する；A の面倒を見る

訳 私が入社したとき、経験豊かな技術者が私の面倒を見て、何もかも教えてくれた。

解説 take A under one's wing の one's は守る側（主語）の所有格なので、an experienced engineer を受ける his。my にすると「私の翼の下に」となり、守る人と守られる人が逆になる。its は人を受けない。a wing では決まった表現にならない。

区別 **take A under one's wing ⇔ look after ~** look after は「～の世話をする」で、子ども・病人・ペットなど広く使う。take A under one's wing は経験の浅い人を「守りながら指導する」比喩的な表現。見分け方：職場の新人を育てるなら under one's wing。

1227 ☐☐☐

My grandmother thinks smartphones are the best thing since ＿＿＿＿ bread.

① slicing　② slice
③ sliced　④ slices

③ the best thing since sliced bread
画期的なもの；最高の発明

訳 祖母はスマートフォンを最高の発明だと思っている。

解説 「最高の発明」は the best thing since sliced bread。パンは「スライスされた」側なので過去分詞 sliced で bread を修飾する。slicing だと「スライスする（パン）」になり意味が逆、slice / slices は名詞・動詞の形で bread の前に置いて決まった形にならない。

区別 **the best thing since sliced bread ⇔ the last straw** the last straw は「我慢の限界を超える最後の一押し」で、悪い意味。the best thing since sliced bread は「最高の物」というほめ言葉。見分け方：もう耐えられないなら last straw、すごい発明なら sliced bread。

1228 ☐☐☐

The plan worked ＿＿＿＿ a T, and we finished the project two days early.

① at　② by
③ to　④ in

③ to a T 完璧に；ぴったりと

訳 計画は完璧にうまくいき、私たちはプロジェクトを 2 日早く終えた。

解説 「完璧に・寸分たがわず」は to a T で、前置詞は to に決まっている。at / by / in は a T と組んで決まった表現にならない。2 日早く終わったという後半から、計画が完璧に進んだことが分かる。

区別 **to a T ⇔ to the letter** to the letter は「（指示・規則を）文字どおりに・正確に」で、follow the instructions to the letter のように使う。to a T は「ぴったり・完璧に」で、服が合う・特徴を言い当てる場面にも使える。見分け方：指示に忠実に従うなら to the letter。

1229 ☐☐☐

When the famous actor spoke to me, I got completely ＿＿＿＿ and couldn't say a word.

① tongue-tied　② tied-tongue
③ tongue-tying　④ tied up

① tongue-tied （緊張して）口ごもった；言葉が出ない

訳 その有名な俳優に話しかけられたとき、私はすっかり口ごもってしまい、一言も話せなかった。

解説 緊張して「言葉が出ない」は形容詞 tongue-tied（舌が縛られた）。tied-tongue は語順が逆で形容詞にならない。tongue-tying は「（人を）口ごもらせるような」という能動の形で、自分の状態を表せない。tied up は「忙しくて手が離せない」で、一言も話せない理由にならない。

区別 **tongue-tied ⇔ be at a loss for words** be at a loss for words は「（驚き・感動で）何と言っていいか分からない」。tongue-tied は「緊張・照れで言葉がうまく出ない」。どちらも言葉に詰まるが、tongue-tied は緊張・内気が原因であることが多い。

1230 ☐☐☐

My son turns up his nose _____ vegetables, but he loves fruit.

① at ② to
③ on ④ for

① turn up one's nose at ~
～を鼻であしらう；ばかにして相手にしない

訳 息子は野菜を嫌がって見向きもしないが、果物は大好きだ。

解説 「～を鼻であしらう・ばかにして相手にしない」は turn up one's nose at ~。at は嫌悪・反応の対象を示す。to / on / for はこの表現と組まない。野菜は嫌うが果物は好き、という対比になっている。

区別 **turn up one's nose at ~ ⇔ look down on ~** look down on は「（人）を見下す・軽蔑する」で、主に人が対象。turn up one's nose at は物・申し出を「鼻であしらって拒む」行動。見分け方：人を見下すなら look down on、物・提案を相手にしないなら turn up one's nose at。

1231 ☐☐☐

Our dog looks scary because he's so big, but he wouldn't hurt a _____.

① mouse ② fly
③ fish ④ bird

② wouldn't hurt a fly 虫も殺さない；とても優しい

訳 うちの犬は体が大きいので怖そうに見えるが、虫も殺さないほどおとなしい。

解説 「虫も殺さない・とても優しい」は wouldn't hurt a fly で、fly（ハエ）に決まっている。mouse / fish / bird に変えると「ネズミ（魚・鳥）を傷つけないだろう」という文字どおりの意味になり、優しさを表す決まった表現にならない。

区別 **wouldn't hurt a fly ⇔ be all bark and no bite** be all bark and no bite は「口先だけで実際には何もしない（怖くない）」。wouldn't hurt a fly は「本当に優しくて誰も傷つけない」。見分け方：言葉は強いが行動しない人なら all bark、もともと穏やかな性格なら wouldn't hurt a fly。

1232 ☐☐☐

The company was _____ by the government for repeatedly breaking safety rules.

① blackmailed ② blacklisted
③ blacked out ④ whitewashed

② blacklist ~
～をブラックリストに載せる；要注意人物とする

訳 その会社は安全規則に何度も違反したため、政府からブラックリストに載せられた。

解説 規則違反を繰り返した会社が政府の「要注意リストに載せられた」は blacklisted。blackmailed は「ゆすられた」で、政府が会社を脅迫する意味になり文脈に合わない。blacked out は「停電した・気を失った・（情報が）伏せられた」、whitewashed は「（不正を）ごまかされた」で、違反への処分にならない。

区別 **blacklist ~ ⇔ blackmail ~** blackmail は「（秘密をばらすと言って）～をゆする・脅迫する」。blacklist は「要注意リストに載せる」。見分け方：金を脅し取るなら blackmail、取引・入場を断るためのリストなら blacklist。

1233 ☐☐☐

The police said that the victim had been killed _____ cold blood.

① by ② with
③ in ④ at

③ in cold blood 冷酷に；平然と

訳 警察によると、被害者は冷酷に殺害されたということだった。

解説 「冷酷に・平然と」は in cold blood で、前置詞は in（in anger / in a hurry と同じ状態の in）。with / by / at は cold blood と組まない。with を使うなら with cruelty のように別の名詞になる。

区別 **in cold blood ⇔ in the heat of the moment** in the heat of the moment は「その場の勢いで・かっとなって」で、計画性のなさを表す。in cold blood は「冷静に計画して・冷酷に」。見分け方：感情に任せたなら heat of the moment、冷たく平然となら cold blood。

1234 ☐☐☐

The kitchen drawer was full of _____ like old keys, pencils, and rubber bands.

① pros and cons ② ups and downs
③ odds and ends ④ ins and outs

③ odds and ends がらくた；こまごました物［用事］

訳 台所の引き出しは、古い鍵や鉛筆、輪ゴムなどのこまごました物でいっぱいだった。

解説 古い鍵・鉛筆・輪ゴムなどの「こまごました物」は odds and ends。ups and downs は「浮き沈み」、pros and cons は「賛否・利点と欠点」、ins and outs は「詳しい事情」で、どれも引き出しに入っている小物を表せない。

区別 **odds and ends ⇔ pros and cons** pros and cons は「賛否・利点と欠点」で、物事を検討するときに使う（weigh the pros and cons）。odds and ends は「こまごました物・雑用」。見分け方：議論・判断の材料なら pros and cons、小物や雑事なら odds and ends。

1235 ☐☐☐

I racked my _____ for an hour, but I couldn't remember where I had put the key.

① nerves ② head
③ heart ④ brain

④ rack one's brain(s) 知恵を絞る；頭をひねる

訳 1 時間必死に考えたが、鍵をどこに置いたのか思い出せなかった。

解説 「知恵を絞る・必死に思い出そうとする」は rack one's brain(s) で、brain に決まっている。head / heart / nerves を入れても決まった表現にならない（get on one's nerves は「いらいらさせる」で別）。鍵の置き場所を必死に思い出そうとした、という内容。

区別 **rack one's brain(s) ⇔ pick A's brain** pick A's brain は「（詳しい人の）知恵を借りる」で、A は相手。rack one's brain は「（自分が）知恵を絞る」。見分け方：所有格が自分なら rack、相手なら pick。

1236 ☐☐☐

After graduating from high school, she moved to Tokyo to spread her _____.

① arms　② wings
③ legs　④ feathers

② spread one's wings　自立する；新しいことに挑戦する

訳 高校卒業後、彼女は自分の力を試すために東京に移った。

解説 「自立する・新しいことに挑戦する」は spread one's wings で、wings（翼・複数）に決まっている。spread her arms / legs は「腕・脚を広げる」という文字どおりの動作で、東京へ移る目的にならない。feathers も決まった表現ではない。

区別 **spread one's wings ⇔ leave the nest**　leave the nest は「（子が）親元を離れる・巣立つ」で、家を出ることに重点。spread one's wings は「（新しい環境で）自分の力を試す・羽ばたく」で、挑戦や成長に重点。どちらも鳥の比喩。

1237 ☐☐☐

That's really Ken's job, so I don't want to step on his _____. I'll ask him first.

① feet　② toes
③ heels　④ shoes

② step on A's toes　A の領分を侵す；A の気分を害する

訳 それは本来ケンの仕事だから、彼の領分を侵したくない。まず彼に聞いてみるよ。

解説 「（人の）領分を侵す・でしゃばって気分を害する」は step on A's toes。step on his feet は文字どおり「足を踏む」で比喩の決まった形にならない。heels は「かかと」（on A's heels は「すぐ後ろに」で別の表現）、shoes も決まった形ではない（in A's shoes は「A の立場で」）。

区別 **step on A's toes ⇔ get under A's skin**　get under A's skin は「A をいらいらさせる」で、相手の癖などが原因。step on A's toes は「（自分が）相手の縄張りに踏み込んで不快にさせる」。見分け方：担当・権限を侵すなら step on toes。

1238 ☐☐☐

Ken has been late for every meeting this month. _____ he'll be late again today.

① One in ten　② One by one
③ One to ten　④ Ten to one

④ ten to one　十中八九；きっと

訳 ケンは今月のすべての会議に遅刻している。十中八九、今日もまた遅刻するだろう。

解説 毎回遅刻しているので「十中八九〜だろう」の Ten to one。One by one は「一つずつ・一人ずつ」、One in ten は「10 に 1 つ」の割合で、文頭で推測を表す副詞にならない。One to ten は数字の範囲で、決まった表現ではない。

区別 **ten to one ⇔ one in ten**　one in ten は「10 人［個］に 1 人［1 個］」という割合の名詞句（One in ten students ~）。ten to one は「十中八九」という確信の副詞句。見分け方：割合・人数なら one in ten、推測の強さなら ten to one。

1239 ☐☐☐

He was so hungry after soccer practice that he wolfed ＿＿＿＿ his lunch in two minutes.

① off　② out
③ down　④ over

③ wolf down ~ ～をがつがつ食べる

訳 彼はサッカーの練習の後とてもおなかがすいていたので、昼食を 2 分でがつがつ平らげた。

解説 「がつがつ食べる」は wolf down（down は飲み込む方向）。wolf out / wolf off / wolf over は熟語にならない。とても空腹で 2 分で食べたという内容と合う。

区別 **wolf down ~ ⇔ pick at ~** pick at は「（食欲がなく）～を少しずつつまむ・つつく」で正反対の食べ方。wolf down は「がつがつ食べる」。見分け方：一気に食べるなら wolf down、食欲がないなら pick at。

1240 ☐☐☐

Many young artists have to work for ＿＿＿＿ before they become famous.

① peanuts　② beans
③ nuts　④ cookies

① work for peanuts わずかな給料で働く

訳 多くの若い芸術家は、有名になるまでわずかな給料で働かなければならない。

解説 「わずかな給料で働く」は work for peanuts で、peanuts に決まっている。beans は not know beans（何も知らない）などで使い、for beans ではこの意味にならない。nuts は「ばかげた・夢中な」の意味の形容詞としても使い、cookies も決まった表現にならない。

区別 **work for peanuts ⇔ work for nothing** work for nothing / work for free は「無報酬で働く」。work for peanuts は「（少しはもらえるが）ごくわずかな給料で働く」。見分け方：報酬ゼロなら nothing / free、安すぎるなら peanuts。

確認テスト6　イディオム・ことわざ｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0868 夏休みはあっという間に終わった。
The summer vacation was over in the **blink** of an eye.

0869 彼は初めて会ったときに彼女に夢中になった。
He fell head over **heels** in love with her the first time they met.

0870 先生が教室を出ると生徒たちは騒ぎ出した。鬼の居ぬ間に洗濯だ。
The teacher left the room and the students got loud. When the cat's away, the **mice** will play.

0871 誰も予算削減に触れなかったが、それは皆が気づいている大問題だった。
Nobody mentioned the budget cut, but it was the **elephant** in the room.

0872 そのアプリは無料だがデータを売っている。ただより高いものはない。
The app is free, but it sells your data. There's no such thing as a free **lunch** .

0873 彼は皆に失礼だったので、今は誰も助けてくれない。因果応報だ。
He was rude to everyone, and now nobody helps him. What goes around **comes** around.

0874 貯金もしたいし新車も買いたい？両方は無理だよ。
You want to save money and buy a new car? You can't have your **cake** and eat it.

0875 かいつまんで言うと、飛行機に乗り遅れたんだ。
To make a long **story** short, we missed the flight.

0876 留学は他の文化を学ぶ絶好の機会だ。
Studying abroad is a **golden** opportunity to learn about other cultures.

0877 友達は選びなさい。人は付き合う仲間で判断されるのだから。
Be careful who your friends are. A man is known by the **company** he keeps.

0878 金曜日までにプロジェクト全体を仕上げるのは難しい注文だ。
Finishing the whole project by Friday is a **tall** order.

0879 テストの悪い点数は、私にとって目を覚まさせる出来事だった。
The bad test score was a **wake-up** call for me.

0880 彼には気をつけて。優しそうだけど、羊の皮をかぶった狼だよ。
Be careful of him. He seems kind, but he's a wolf in sheep's **clothing** .

0881 英語のテストでは、つづりがずっと私の弱点だ。
Spelling has always been my Achilles' **heel** in English tests.

0882 彼に怒鳴ったら、火に油を注ぐだけだよ。
Shouting at him will only add **fuel** to the fire.

0883 上級の数学クラスに入ったが、すぐに手に負えないと気づいた。
I joined the advanced math class, but I soon realized I was in **over** my head.

0884 女性についての祖父の考えは少し時代遅れだ。
My grandfather's views on women are a bit **behind** the times.

0885 その計画は、裕福な生徒と貧しい生徒の格差を埋めることを目指している。
The program aims to bridge the **gap** between rich and poor students.

0886 彼は句読点一つ一つにこだわって、木を見て森を見ずになっている。
He worries about every comma and can't see the **forest** for the trees.

0887 雨が降ったらどうするか分からないけど、そのときになってから考えよう。
I don't know what we'll do if it rains, but let's cross that **bridge** when we come to it.

0888 数学の先生が黒板で間違えた。弘法も筆の誤りだ。
Our math teacher made a mistake on the board. Even **Homer** sometimes nods.

0889 彼が窓を割ったのだから、ちゃんと叱られなければならない。
He broke the window, so now he has to face the **music** .

0890 旅行に特別な計画はない。成り行きに任せるよ。
I don't have any special plans for the trip. I'll just go with the **flow** .

0891 新しい街に引っ越すことについて、複雑な気持ちだ。
I have **mixed** feelings about moving to a new city.

0892 遅くなってきた。そろそろ出発しよう。
It's getting late. We should hit the **road** .

0893 部活は一つに集中しなさい。二兎を追う者は一兎をも得ずだよ。
Focus on one club. If you run after two **hares** , you will catch neither.

0894 そのレストランの厨房が汚いなんて知らなかった。知らぬが仏だね。
I didn't know the restaurant's kitchen was dirty. Ignorance is **bliss** .

0895 ケーキの見た目はいまいちだったけど、大切なのは気持ちだよ。
The cake didn't look great, but it's the **thought** that counts.

0896 長い言い争いの後、父はほほえんで「過ぎたことは水に流そう」と言った。
After our long argument, my father smiled and said, " **Let** bygones be bygones."

0897 昔の言い争いのことを彼に聞かないで。寝た子を起こすなだよ。
Don't ask him about the old argument. Let **sleeping** dogs lie.

0898 みんなで一緒に教室を掃除しよう。人手が多ければ楽になるよ。
Let's all clean the classroom together. Many hands make **light** work.

0899 自転車が壊れたと思ったら風邪をひいた。泣きっ面に蜂だ。
First my bike broke, then I caught a cold. Misfortunes never come **singly** .

0900 先生たちはいじめを芽のうちに摘み取ろうとする。
Teachers try to nip bullying in the **bud** .

0901 この研究所はがん研究の最先端にある。
This lab is on the **cutting** edge of cancer research.

0902 オーロラを見たのは一生に一度の経験だった。
Seeing the northern lights was a **once-in-a-lifetime** experience.

0903 良いリーダーは細部だけでなく、大局を見ることができる。
A good leader can see the big **picture**, not just the details.

0904 予算の大部分は新しい図書館に使われる。
The **lion's** share of the budget goes to the new library.

0905 返金のことで会社にメールし続けなさい。声を上げた者が得をするんだから。
Keep emailing the company about the refund. The squeaky wheel gets the **grease**.

0906 彼はあの変な上着が大好きだ。まあ、たで食う虫も好き好きだ。
He loves that ugly jacket. Well, there's no **accounting** for taste.

0907 走り始めたいの？思い立ったが吉日だよ。
You want to start running? There's no time like the **present**.

0908 新しいコーチが優秀かどうか誰にも分からない。時が経てば分かるさ。
Nobody knows if the new coach is good. Time will **tell**.

0909 毎週新しいレストランを試している。変化は人生のスパイスだ。
I try a new restaurant every week. Variety is the **spice** of life.

0910 安い靴が 1 週間で壊れた。安物買いの銭失いだ。
My cheap shoes broke in a week. You get what you **pay** for.

0911 祖母は 70 歳で英語を始めた。学ぶのに遅すぎることはない。
My grandmother started English at seventy. You're never too old to **learn**.

0912 新しい先生の活気ある授業は、新風を吹き込むものだった。
The new teacher's lively lessons were a **breath** of fresh air.

0913 車にひかれそうになった。危機一髪だったよ！
The car almost hit me. That was a **close** call!

0914 警察の捜査は行き詰まった。
The police investigation reached a **dead** end.

0915 AI を使って宿題を書くことは、多くの学校でまだグレーゾーンだ。
Using AI to write homework is still a gray **area** at many schools.

0916 彼は動画を 1 本見ただけでテレビを直そうとした。生兵法は大けがのもとだ。
He tried to fix the TV after watching one video. A little **knowledge** is a dangerous thing.

0917 宝くじに当たる見込みは薄いが、おじは毎週買っている。
Winning the lottery is a long **shot**, but my uncle buys a ticket every week.

0918 ウェブサイトがメールでパスワードを求めてきたら、それは危険信号だ。
If a website asks for your password by email, that's a red **flag** .

0919 部長はチームの失敗の責任を彼女に押しつけた。
The manager made her the **scapegoat** for the team's failure.

0920 姉は留学中だが、今の方が仲がいい。離れていると愛情が深まるものだ。
My sister studies abroad, and we're closer now. Absence makes the heart grow **fonder** .

0921 休憩して友達と出かけなよ。よく学びよく遊べだよ。
Take a break and go out with friends. All work and no play makes Jack a **dull** boy.

0922 目には目を、歯には歯をと考える人もいるが、復讐では何も解決しない。
Some people believe in an eye for an eye, a tooth for a tooth, but **revenge** solves nothing.

0923 勝ち目が薄いと思われたチームが優勝するのを見るのは、誰でも好きだ。
Everyone loves to see the **underdog** win the championship.

0924 その取引は土壇場で救われた。
The deal was saved at the **eleventh** hour.

0925 彼の怒鳴り声は気にしないで。弱い犬ほどよくほえるものだよ。
Don't worry about his angry words. Barking dogs **seldom** bite.

0926 私はその絵を美しいと思わないけど、美の基準は人それぞれだ。
I think the painting is ugly, but beauty is in the eye of the **beholder** .

0927 両親ともに生活費を稼ぐために働いている。
Both of my parents work to bring home the **bacon** .

0928 何年も口をきかなかった二人の兄弟は、ついに仲直りした。
After years of not speaking, the two brothers finally buried the **hatchet** .

0929 店主はお菓子を盗んでいる少年を現行犯で捕まえた。
The shop owner caught the boy **red-handed** stealing candy.

0930 ジェットコースターに乗るつもりだったが、怖くなってやめた。
I was going to ride the roller coaster, but I **chickened** out.

0931 どこでキャンプするか決める前にテントを買うな。本末転倒だよ。
Don't buy the tent before deciding where to camp. Don't put the **cart** before the horse.

0932 アルバイトをすればもっと学べるよ。経験は最良の教師だから。
You'll learn more by working part-time. **Experience** is the best teacher.

0933 部の大会遠征費は学校が負担する。
The school will **foot** the bill for the club's trip to the tournament.

0934 試験に受かりたいなら、しっかりしなきゃだめだよ。
You need to get your **act** together if you want to pass the exam.

0935 私と同じピザを頼んだの？気が合うね！
You ordered the same pizza as me? Great minds think **alike** !

0936 私はチョコアイスに目がない。
I have a **weakness** for chocolate ice cream.

0937 最初は自転車に乗れなかったが、うまくいかなくても何度でも挑戦することだ。
I couldn't ride a bike at first, but if at first you don't **succeed** , try, try again.

0938 その小さな店は 3 年間赤字が続いている。
The small shop has been in the **red** for three years.

0939 彼はもう疲れていて、失礼な一言で辞めてしまった。最後のわら一本がラクダの背を折るのだ。
He was already tired, and one rude comment made him quit. It is the last straw that breaks the **camel's** back.

0940 けんかを彼女だけのせいにしないで。けんかは一人ではできないよ。
Don't blame only her for the fight. It takes two to **tango** .

0941 島での生活はとてものんびりしている。
Life on the island is very **laid-back** .

0942 落ち込んだらコメディを見なよ。笑いは最良の薬だよ。
When you're feeling down, watch a comedy. Laughter is the best **medicine** .

0943 こうした初期の実験が現代医学の基礎を築いた。
These early experiments laid the **groundwork** for modern medicine.

0944 警察は行方不明の子どもの捜索にあらゆる手を尽くした。
The police left no stone **unturned** in their search for the missing child.

0945 早く終わらせたいだろうけど、急がば回れだよ。でないとミスをする。
You want to finish fast, but make **haste** slowly or you'll make mistakes.

0946 彼は大金持ちだが孤独だ。お金で幸せは買えない。
He's very rich but lonely. Money can't buy **happiness** .

0947 新しいスマホは買ってあげられないよ。お金は木になるわけじゃないんだから。
I can't buy you a new phone. Money doesn't grow on **trees** .

0948 週末でも 6 時に目が覚めてしまう。古い習慣はなかなか抜けない。
I still wake up at six on weekends. Old **habits** die hard.

0949 お誕生日なので、デザートは店のサービスです。
The dessert is on the **house** because it's your birthday.

0950 3 回も遅刻したから、先生に対して危うい立場だよ。
You're on **thin** ice with the teacher after being late three times.

0951 ネットでだまされて以来、彼女は知らないサイトで買い物をしない。羹に懲りて膾を吹くだ。
After being cheated online, she never shops on unknown sites. Once **bitten** , twice shy.

0952 私は辛い料理が大好きだが、弟は大嫌いだ。人の好みはさまざまだ。
I love spicy food, but my brother hates it. One man's meat is another man's **poison** .

0953 ストレスの多い仕事を辞めたが、新しい上司はもっとひどい。一難去ってまた一難だ。
I quit my stressful job, but my new boss is worse. Out of the **frying** pan into the fire.

0954 料理はもうすぐできるよ。忍耐は美徳だからね。
Your food will be ready soon. Patience is a **virtue** .

0955 その新しいスマホは、他社にとっての基準を引き上げた。
The new smartphone has raised the **bar** for other companies.

0956 彼は試合に負けた後、面目を保つために言い訳をした。
He made an excuse to **save** face after losing the game.

0957 何年も練習して、画面を見ずに打つのが自然にできるようになった。
After years of practice, typing without looking became second **nature** to me.

0958 新車の傷を見て、父はかっとなった。
My father **saw** red when he found the scratch on his new car.

0959 彼女は授業中めったに発言しないが、作文はすばらしい。能ある鷹は爪を隠すだ。
She rarely speaks in class, but her essays are amazing. **Still** waters run deep.

0960 彼女のお母さんも歌がうまい。蛙の子は蛙だ。
Her mother is a great singer too. The **apple** doesn't fall far from the tree.

0961 うちのチームは後半に優位に立った。
Our team gained the **upper** hand in the second half.

0962 姉と彼氏は来年の春に結婚する。
My sister and her boyfriend are going to tie the **knot** next spring.

0963 今はつらいだろうけど、時が解決してくれるよ。
You're upset now, but time **heals** all wounds.

0964 彼にきつく当たらないで。過ちは人の常、許すは神の業だよ。
Don't be too hard on him. To **err** is human, to forgive divine.

0965 彼が君のペンを壊したからといって、彼のを壊すな。仕返ししても正しくはならない。
He broke your pen, but don't break his. Two **wrongs** don't make a right.

0966 大臣は軽率な発言で非難を浴びた。
The minister came under **fire** for his careless remarks.

0967 去年けんかしたけど、それはもう過ぎたことだ。
We had a fight last year, but that's water under the **bridge** now.

0968 まず作文の構成をしっかり考えなさい。始めよければ半分終わったようなものだ。
Plan your essay carefully first. Well **begun** is half done.

0969 その仕事はだめだったけど、捨てる神あれば拾う神ありだよ。
You didn't get that job, but when one **door** closes, another opens.

0970 ホテルのスタッフは、私たちが快適に過ごせるよう精一杯尽くしてくれた。
The hotel staff bent over **backwards** to make our stay comfortable.

0971 かろうじて終電に間に合った。
I caught the last train by the **skin** of my teeth.

0972 1社の航空会社が値上げすると、ほかの会社もすぐそれにならった。
When one airline raised its prices, the others soon followed **suit** .

0973 彼はチームに選ばれなかったので、ずっとけんか腰だ。
He has a **chip** on his shoulder because he wasn't chosen for the team.

0974 彼女は思い切って困難に立ち向かい、自分の会社を立ち上げた。
She took the **bull** by the horns and started her own company.

0975 彼女の決断を批判する前に、彼女の立場になって考えてみなさい。
Try to walk in her **shoes** before you criticize her decision.

0976 祖母は 90 歳だが、ぴんぴんしている。
My grandmother is ninety, but she's as fit as a **fiddle** .

0977 祖父は雨の日も晴れの日も、毎朝犬の散歩をする。
My grandfather walks his dog every morning, rain or **shine** .

0978 その双子は瓜二つだ。
The twins are like two **peas** in a pod.

0979 本人から直接聞いたんだ。先生が辞めるって。
I heard it straight from the horse's **mouth** : the teacher is leaving.

0980 何か月も頑張って、やっと先に希望の光が見えてきた。
After months of hard work, we can finally see the light at the end of the **tunnel** .

0981 大都会の生活は、故郷の生活とはかけ離れている。
Life in a big city is a far **cry** from life in my hometown.

0982 父は何でも屋で、車の修理も料理もペンキ塗りもできる。
My father is a **jack-of-all-trades** ; he can fix cars, cook, and paint.

0983 彼は嘘をやめると約束したが、人の本性は変わらないものだ。
He promised to stop lying, but a leopard can't change its **spots** .

0984 新しい規則は、すべての生徒に公平な条件を作ることを目指している。
The new rules aim to create a **level** playing field for all students.

0985 毎日弁当を持参している。節約は稼ぐのと同じだからね。
I bring my own lunch every day. A penny **saved** is a penny earned.

0986 私の学校は駅から目と鼻の先だ。
My school is just a stone's **throw** from the station.

0987 お祭りの期間中に安いホテルを探すのは無駄骨だった。
Looking for a cheap hotel during the festival was a wild **goose** chase.

0988 国同士の貿易は、必ずしも一方が得をして他方が損をするものではない。
Trade between countries does not have to be a **zero-sum** game.

0989 レオナルド・ダ・ヴィンチは時代のはるか先を行く芸術家だった。
Leonardo da Vinci was an artist far **ahead** of his time.

0990 夏休みが終わった。楽しいことにもいつか終わりがあるものだ。
Summer vacation is over. All good things must come to an **end** .

0991 こまめに手を洗いなさい。予防は治療に勝るよ。
Wash your hands often. An **ounce** of prevention is worth a pound of cure.

0992 ロボットは動かなかったので、設計から一からやり直しだ。
The robot didn't work, so it's back to the **drawing** board.

0993 新しい部長はとても機敏で、問題をすぐに解決する。
Our new manager is really on the **ball** and solves problems quickly.

0994 残っていた席はドアのそばだけだったが、ぜいたくは言えない。
The only seat left was by the door, but beggars can't be **choosers** .

0995 板挟みだ。同じ日に試験が 2 つある。
I'm between a **rock** and a hard place: I have two exams on the same day.

0996 放課後はストレス発散のためにランニングをする。
I go running after school to blow off **steam** .

0997 ネットで上司の悪口を書くな。恩をあだで返してはいけないよ。
Don't complain about your boss online. Don't bite the hand that **feeds** you.

0998 何年もからかわれた末に、彼はついに言い返した。一寸の虫にも五分の魂だ。
He finally argued back after years of teasing. Even a **worm** will turn.

0999 あきらめないで。誰にでもチャンスは巡ってくるよ。
Don't give up. Every **dog** has its day.

1000 一度の悪い結果であきらめるな。失敗は成功のもとだ。
Don't give up after one bad result. **Failure** teaches success.

1001 これ以上詳しく話さなくていいよ。事情は分かった。
I don't need more details. I get the **picture** .

1002 彼がバスが遅れたと言うので、信じてやることにした。
He said the bus was late, so I gave him the **benefit** of the doubt.

1003 ファイルの保存を忘れて、作業が全部水の泡になった。
All my work went down the **drain** when I forgot to save the file.

1004 新しいスマホは今は売り切れだけど、待てば海路の日和ありだよ。
The new phone is sold out now, but good things come to those who **wait** .

1005 彼女の美しい歌声に鳥肌が立った。
Her beautiful voice gave me **goose** bumps.

1006 皆私の案をばかにしたけど、最後に笑う者が一番よく笑うのさ。
They made fun of my idea, but he who laughs **last** laughs best.

1007 先生が結婚するというううわさを聞いた。
I heard through the **grapevine** that our teacher is getting married.

1008 仕事と家を失い、彼はどん底に落ちたと感じた。
After he lost his job and his home, he felt he had hit **rock** bottom.

1009 通知表を見て、父はかんかんに怒った。
My dad hit the **roof** when he saw my report card.

1010 旅行中は天気が悪いかもしれない。最善を望みつつ最悪に備えよう。
The weather might be bad on the trip. Hope for the best, prepare for the **worst** .

1011 友達はみなそのアプリを使っている。長いものには巻かれろだ。
All my friends use that app now. If you can't **beat** them, join them.

1012 彼はいろいろな趣味に手を出したが、どれも極められなかった。多芸は無芸だ。
He tried many hobbies but mastered none. Jack of all trades, **master** of none.

1013 スキャンダルの後、その俳優はしばらく目立たないようにしていた。
After the scandal, the actor kept a low **profile** for a while.

1014 ファイルは必ずバックアップを取るべきだと痛い目にあって学んだ。
I learned the **hard** way that you should always back up your files.

1015 監督は私たちが負けても決して冷静さを失わない。
The coach never loses his **cool** , even when we lose.

1016 代表チームの基準に達する選手はほんのわずかだ。
Only a few players make the **grade** for the national team.

1017 必要なときは助けを求めなさい。人は一人では生きられないのだから。
Ask for help when you need it. No man is an **island** .

1018 奨学金を受けなさい。チャンスは一度しか来ないよ。
Take the scholarship. Opportunity **knocks** but once.

1019 患者は回復してきているが、まだ危機を脱したわけではない。
The patient is getting better, but she's not out of the **woods** yet.

1020 来年までに億万長者になるという彼の計画は、絵に描いた餅だ。
His plan to become a millionaire by next year is just **pie** in the sky.

1021 父は私に野菜を食べろと言うが、自分は食べない。言行を一致させるべきだ。
Dad tells me to eat vegetables, but he never does. He should practice what he **preaches** .

1022 彼は楽勝すると言っていたが負けた。おごれる者は久しからずだ。
He said he would win easily, but he lost. **Pride** goes before a fall.

1023 彼女に妊娠しているのか聞いて、本当に失言してしまった。
I really put my **foot** in my mouth when I asked if she was pregnant.

1024 彼は葬式で冗談を言った。本当に空気が読めない。
He told a joke at the funeral; he really can't read the **room** .

1025 何もかもうまくいっているんだから、事を荒立てないでおこう。
Everything is going well, so let's not rock the **boat** .

1026 つらくても勉強を続けなさい。夜明け前が一番暗いのだから。
Keep studying even if it's hard. The darkest hour is just before the **dawn** .

1027 計画は良さそうだが、細部にこそ落とし穴があるものだ。
The plan sounds good, but the devil is in the **details** .

1028 彼は勝つためにずるをして、目的のためなら手段は選ばないと言ったが、私は賛成できない。
He cheated to win and said the end justifies the **means** , but I disagree.

1029 試合に勝ったのは最高だったし、選手に会えたのはさらにうれしいおまけだった。
Winning the game was great, and meeting the players was the **icing** on the cake.

1030 彼のことで泣かないで。相手は他にもいるよ。
Don't cry over him. There are **plenty** of fish in the sea.

1031 物価が上がっているので、倹約しなければならない。
Prices are going up, so we have to tighten our **belts** .

1032 その小さな会社は不況の難局を何とか乗り切った。
The small company managed to weather the **storm** during the recession.

1033 あの試験に落ちたのはつらかったが、苦しみは人を強くする。
Failing that exam was hard, but what doesn't kill you makes you **stronger** .

1034 今は物価が高いが、上がったものは必ず下がる。
Prices are high now, but what goes up **must** come down.

1035 もうミスのことは気にするな。済んだことは仕方ない。
Don't worry about the mistake anymore. **What's** done is done.

1036 決勝でも、ゴールキーパーは落ち着き払っていた。
Even in the final, the goalkeeper stayed as cool as a **cucumber** .

1037 文化祭用の動画を完成させるため、時間と戦いながら作業した。
We were working against the **clock** to finish the video for the festival.

1038 このコンビニは 24 時間年中無休だ。
This convenience store is **open** 24/7.

1039 彼はラケットが悪いと言ったが、下手な職人ほど道具のせいにするものだ。
He said his racket was the problem, but a bad workman always blames his **tools** .

1040 その人気ゲームは何年もの間、会社のドル箱になっている。
That popular game has been a cash **cow** for the company for years.

1041 スマートフォンは私たちのコミュニケーションの仕方を一変させた。
The smartphone was a game **changer** for the way we communicate.

1042 ひどく疲れているときの運転は事故のもとだ。
Driving when you are very tired is a **recipe** for disaster.

1043 水 1 本で 10 ドル？ぼったくりだ！
Ten dollars for a bottle of water? That's a **rip-off** !

1044 どの家族にも人に言えない秘密がある。
Every family has a **skeleton** in the closet.

1045 しらけさせないで。一緒に踊ろうよ！
Don't be a wet **blanket** . Come and dance with us!

1046 コーチを怖がらなくていいよ。口うるさいだけで何もしないから。
Don't be afraid of the coach. He's all **bark** and no bite.

1047 病院でのボランティアは私にとって本当に目からうろこの経験だった。
Volunteering at the hospital was a **real** eye-opener for me.

1048 大人になってから新しい言語を学ぶのは苦しい戦いになることがある。
Learning a new language as an adult can be an **uphill** battle.

1049 お金も電話もなく、私は外国の町で途方に暮れた。
With no money and no phone, I was at my wit's **end** in the foreign city.

1050 彼は裕福な家に生まれ、働く必要がまったくなかった。
He was born with a silver **spoon** in his mouth and never had to work.

1051 ピアノを教えることが彼女の生計の手段だ。
Teaching piano is her **bread** and butter.

1052 仕事を辞めるときは礼儀正しく。後戻りできないようなことはするな。
Be polite when you quit your job; don't **burn** your bridges.

1053 はっきり言うけど、君の作文はかなり手直しが必要だ。
I'll **call** a spade a spade: your essay needs a lot of work.

1054 面接にはスーツを着ていきなさい。服装で人は判断されるからね。
Wear a suit to the interview. **Clothes** make the man.

1055 弟はサッカーの練習の後、ものすごい量を食べる。
My brother eats like a **horse** after soccer practice.

1056 都会の生活は刺激的だが、どんな良いものにも欠点はある。
City life is exciting, but every rose has its **thorn** .

1057 親しい友達にも礼儀正しく。慣れすぎると相手を軽く見るようになる。
Be polite even to close friends. Familiarity breeds **contempt** .

1058 彼女をダンスに誘いなよ！幸運は勇気ある者に味方するんだから。
Ask her to dance! Fortune favors the **bold** .

1059 その歌手の人生は、貧しさから大成功への物語だった。
The singer's life story went from **rags** to riches.

1060 試験準備で一歩先んじるために、4 月から勉強を始めた。
I started studying in April to get a head **start** on my exam preparation.

1061 良い友情には多少の譲り合いが必要だ。
A good friendship needs some give and **take** .

1062 新しいオーナーが来てから、そのレストランのサービスは悪くなった。
After the new owner arrived, the restaurant's service went **downhill** .

1063 その運動は地元の学生による草の根の活動として始まった。
The movement started as a **grassroots** campaign by local students.

1064 祖母は厳しそうに見えるが、本当に優しい人だ。
My grandmother looks strict, but she has a heart of **gold** .

1065 勉強のために食事を抜かないで。健康は何よりの財産だよ。
Don't skip meals to study. Remember, health is **wealth** .

1066 イベントの計画について、私にも情報を回してね。
Please keep me in the **loop** about the event plans.

1067 古いパソコンが先週ついに壊れた。
My old computer finally kicked the **bucket** last week.

1068 先生は今回は大目に見てくれたが、これからは時間を守らなければならない。
The teacher let me off the **hook** this time, but I must be on time from now on.

1069 焼きたてパンのにおいによだれが出そうになった。
The smell of fresh bread made my mouth **water** .

1070 彼は一番お金を払ったので最高の席を取れた。金がものを言うのだ。
He got the best seat because he paid the most. Money **talks** .

1071 ぱっと思いつく限りでは、50 人くらい来たと思う。
Off the **top** of my head, I'd say about fifty people came.

1072 彼の家族について聞くのは、やぶへびになるかもしれない。
Asking about his family might open a can of **worms** .

1073 プロのスポーツ選手は 35 歳で盛りを過ぎていると考える人もいる。
Some people think a pro athlete is over the **hill** at thirty-five.

1074 弟が 4 本目のゲームを欲しがったとき、母はついにきっぱりと断った。
When my brother wanted a fourth video game, my mom finally put her foot **down** .

1075 パーティーの日にちはまだ確定していない。
The date of the party isn't set in **stone** yet.

1076 彼は最初は親切そうだったが、後で本性を現した。
He seemed friendly at first, but he showed his true **colors** later.

1077 彼の沈黙は、彼の本当の気持ちを雄弁に物語っていた。
His silence spoke **volumes** about how he really felt.

1078 彼を信じて秘密を話したのに、裏切られた。
I trusted him with my secret, but he **stabbed** me in the back.

1079 何年も考えた末、彼女は思い切って海外に移住した。
After years of thinking about it, she took the **plunge** and moved abroad.

1080 父が病気になってから、彼女が一家の稼ぎ手になった。
After her father got sick, she became the **breadwinner** of the family.

1081 弟が自分の部屋を掃除するなんて、絶対ありえない。
My brother will clean his room when **pigs** fly.

1082 母はお正月の準備でとても忙しくしていた。
Mom was as busy as a **bee** preparing for the New Year.

1083 浜辺でなくしたイヤリングを探すのは、干し草の山から針を探すようなものだ。
Finding my lost earring at the beach is like looking for a **needle** in a haystack.

1084 監督は選手のやる気を引き出すのに、あめとむちのやり方を使った。
The coach used a **carrot-and-stick** approach to motivate the players.

1085 一人の問題児がクラス全体の雰囲気を台無しにすることがある。
One bad **apple** can ruin the atmosphere of the whole class.

1086 古い建物の多くが取り壊されているが、町の図書館がその好例だ。
Many old buildings are being torn down, and the town library is a **case** in point.

1087 遅いランナーを助けよう。鎖の強さは一番弱い輪で決まるのだから。
Help the slower runners, because a chain is only as strong as its weakest **link** .

1088 私は姉の新しいケーキのレシピの実験台になった。
I was the **guinea** pig for my sister's new cake recipe.

1089 オリンピックの後、その若いスケーターは誰もが知る名前になった。
After the Olympics, the young skater became a **household** name.

1090 祖父は口数が少ないが、とても優しい。
My grandfather is a man of **few** words, but he is very kind.

1091 そのミステリー小説では、盗まれた指輪は読者の注意をそらすためのものにすぎなかった。
In the mystery novel, the stolen ring was just a red **herring** .

1092 答えが分からなかったので、ただの当てずっぽうだった。
I didn't know the answer, so it was just a shot in the **dark** .

1093 彼女は人が嘘をついているのを見抜く勘が鋭い。
She has a **sixth** sense for knowing when someone is lying.

1094 結果を見ようとスマホばかり見ないで。待つ身は長いものだよ。
Stop checking your phone for the results. A watched **pot** never boils.

1095 巨大なスタジアムは、オリンピック後には無用の長物になった。
The huge stadium became a white **elephant** after the Olympics.

1096 よく言い争ったが、今では仲良しだ。雨降って地固まるだね。
We argued a lot, but now we're good friends. After a storm comes a **calm** .

1097 図書館の本を全部読みたいが、学ぶべきことは多く人生は短い。
I want to read every book in the library, but art is long, life is **short** .

1098 今週末は宿題に埋もれている。
I'm **snowed** under with homework this weekend.

1099 旅行はもう決まったんだから、蒸し返すのはやめて。
We've already decided on the trip, so stop beating a **dead** horse.

1100 バンドを 10 年続けた後、彼らは解散することにした。
After ten years in the band, they decided to call it **quits** .

1101 うちの家族では、母が主導権を握っている。
In our family, my mother calls the **shots** .

1102 大目に見てあげなよ。彼女は今日が仕事初日なんだから。
Cut her some **slack** ; it's her first day at work.

1103 転校生に親切にしなさい。自分がされたいように人にもしなさい。
Be kind to the new student. Do unto **others** as you would have them do unto you.

1104 テストの日が変わったと伝えただけだよ。私を責めないで！
I'm just telling you the test was moved. Don't shoot the **messenger** !

1105 彼女は少食なので、昼食はおにぎり１個で十分だ。
She eats like a **bird**, so one rice ball is enough for her lunch.

1106 彼は私には勝てないと言ったが、今では前言を撤回せざるをえない。
He said I couldn't win, but now he has to eat his **words**.

1107 少ししか寄付できないけど、少しでも役に立つよね。
I can only donate a little, but every little **helps**.

1108 またテストに落ちたけど、七転び八起きだ。
I failed the test again, but fall **seven** times, stand up eight.

1109 あの安いネットショップは何かうさんくさい。
There's something **fishy** about that cheap online shop.

1110 悩みを打ち明けたら、ずっと気が楽になった。
I felt much better after I got my worries off my **chest**.

1111 私たちは出会いこそうまくいかなかったが、今では仲良しだ。
We got off on the **wrong** foot, but now we are good friends.

1112 父は去年、たばこをきっぱりとやめた。
My father quit smoking cold **turkey** last year.

1113 思い切って言うけど、うちのチームが優勝するよ。
I'll go out on a **limb** and say that our team will win the championship.

1114 劇ではちょい役しかもらえなかったが、ないよりはましだ。
I only got a small part in the play, but half a **loaf** is better than no bread.

1115 これは間違いなく、今まで食べた中で一番おいしいピザだ。
This is **hands** down the best pizza I have ever eaten.

1116 君に言いたいことがある。どうして私の日記を読んだの？
I have a **bone** to pick with you. Why did you read my diary?

1117 祖母は園芸の才能があって、育てる植物はどれも見事に育つ。
My grandmother has a green **thumb**; all her plants grow beautifully.

1118 彼はいつもぼんやり空想していて宿題を忘れる。
He always has his head in the **clouds** and forgets his homework.

1119 今チケットを買いなよ！ためらうとチャンスを逃すよ。
Buy the tickets now! He who **hesitates** is lost.

1120 新加入の選手はいきなり全力を発揮し、初試合で得点した。
The new player hit the ground **running** and scored in his first game.

1121 古いシステムで問題なく動いている。余計な手を加えるな。
The old system works fine. If it ain't **broke**, don't fix it.

1122 財布を家に忘れて困っている。
I'm in a **pickle** because I left my wallet at home.

1123 受賞後、その若い作家は突然脚光を浴びた。
After winning the award, the young writer was suddenly in the **limelight** .

1124 彼は早まって、公式発表の前に皆にそのニュースを話してしまった。
He jumped the **gun** and told everyone the news before it was official.

1125 失業した後、彼はしばらくその日暮らしをしなければならなかった。
After losing his job, he had to live from hand to **mouth** for a while.

1126 彼は波風を立てるのを好まない、静かな働き者だ。
He's a quiet worker who doesn't like to make **waves** .

1127 オフレコだが、監督は来年引退するかもしれないと言った。
Off the **record** , the coach said he might retire next year.

1128 うちのチームは波に乗っていて、5 連勝中だ。
Our team is on a **roll** ; we've won five games in a row.

1129 試験の結果を待つ間、皆ぴりぴりしていた。
Everyone was on **edge** while waiting for the exam results.

1130 母は仕事に私たちの世話にと、いつも忙しく動き回っている。
My mother is always on the **go** , working and taking care of us.

1131 小さなミスへの彼女の反応は少し大げさだった。
Her reaction to the small mistake was a little over the **top** .

1132 責任を押しつけるのはやめて、自分のミスだと認めなさい。
Stop passing the **buck** and admit it was your mistake.

1133 ネットの転売業者からコンサートのチケットをべらぼうな値段で買った。
We paid through the **nose** for concert tickets from an online reseller.

1134 凍った道であんなにスピードを出すなんて、危ないまねだ。
Driving that fast on icy roads is playing with **fire** .

1135 プロジェクトを終えるには、グループの全員が自分の役割を果たさなければならない。
Everyone in the group must pull their **weight** to finish the project.

1136 正直に言うね。チームを辞めたいんだ。
Let me put my **cards** on the table: I want to quit the team.

1137 空のクッキー瓶と姉の笑顔を見て、ぴんときた。
I saw the empty cookie jar and my sister's smile, and put two and two **together** .

1138 水を差したくはないけど、コンサートは中止になったよ。
I don't want to rain on your **parade** , but the concert has been cancelled.

1139 ゴールキーパーが見事なキャッチでチームを救った。
Our goalkeeper **saved** the day with an amazing catch.

1140 初日に先輩が仕事のやり方を教えてくれた。
My senior colleague showed me the **ropes** on my first day.

1141 お祭りでは、その小さな女の子のダンスが人気をさらった。
The little girl's dance stole the **show** at the festival.

1142 その若い歌手は音楽界を一気に席巻した。
The young singer took the music world by **storm** .

1143 コンサートのチケットが闇市場で高値で売られていた。
The concert tickets were being sold on the black **market** for high prices.

1144 朝の事務所は静かだったが、それは嵐の前の静けさだった。
The office was quiet in the morning, but it was the **calm** before the storm.

1145 彼は東京の競争社会から抜け出し、小さな島に移り住んだ。
He quit the **rat** race in Tokyo and moved to a small island.

1146 2 対 0 で負けていたが、後半に形勢を逆転した。
We were losing 2-0, but we turned the **tables** in the second half.

1147 彼は裏で給料を受け取っていたので、税金を払っていなかった。
He was paid under the **table** , so he didn't pay any taxes.

1148 保護者たちは新しい校則に猛反発している。
Parents are up in **arms** about the new school rules.

1149 さんざん言い争った後、私はそのプロジェクトから手を引いた。
I've washed my **hands** of the project after all the arguments.

1150 人のまねばかりしないで、自分のアイデアを考えなさい。
Stop being a **copycat** and come up with your own ideas.

1151 こういう安い傘はどこにでもある。
Cheap umbrellas like this are a **dime** a dozen.

1152 おじは遅咲きで、50 歳で有名な作家になった。
My uncle was a late **bloomer** who became a famous writer at fifty.

1153 私が特に嫌なのは、電車で大声で話す人だ。
My pet **peeve** is people who talk loudly on the train.

1154 その政策は現実を知らない専門家が作ったものだ、と批判する人もいる。
Critics say the policy was made by experts in an **ivory** tower.

1155 その泥棒はこれから 5 年間刑務所で過ごす。
The thief will spend the next five years behind **bars** .

1156 二人で素敵な夕食をとっても、大金はかからないよ。
A nice dinner for two won't break the **bank** .

1157 会議で何があったか、最新の状況を教えてくれる？
Can you bring me up to **speed** on what happened at the meeting?

1158 新しい審判は何でも規則どおりにやる。
Our new referee does everything by the **book** .

1159 都会の生活と田舎の生活を比べるのは、まったく違うものを比べるようなものだ。
Comparing city life and country life is like comparing apples and **oranges** .

1160 彼は負けてそら涙を流したが、本当は気にしていなかった。
He cried **crocodile** tears when he lost, but he didn't really care.

1161 レストランの予約を忘れて、本当にしくじった。
I really **dropped** the ball by forgetting to book the restaurant.

1162 明日雨が降る確率は五分五分だ。
There's a fifty-fifty **chance** it will rain tomorrow.

1163 祖父は私とテレビゲームをするのが楽しくてたまらないらしい。
My grandfather gets a **kick** out of playing video games with me.

1164 マスコミはその歌手の極秘結婚をかぎつけた。
The press got **wind** of the singer's secret wedding.

1165 弟に何を言っても右から左へ抜けていく。
Whatever I tell my little brother goes in one ear and out the **other** .

1166 飾り付けをやりすぎないでね。部屋が狭いから。
Don't go **overboard** with decorations; the room is small.

1167 彼の生半可な起業計画はすぐに失敗した。
His **half-baked** plan to start a business failed quickly.

1168 申し込む前に、その約束を書面でもらいたい。
I want the agreement in black and **white** before I sign up.

1169 私たちが着いたとき、パーティーは盛り上がりの真っ最中だった。
When we arrived, the party was in full **swing** .

1170 10 点リードしているから、試合はもらったも同然だ。
We're leading by ten points, so the game is in the **bag** .

1171 苦しい何年もを経て、会社はついに黒字になった。
After many hard years, the company is finally in the **black** .

1172 先生のかつらがずれたとき、真顔でいるのは大変だった。
It was hard to keep a **straight** face when the teacher's wig slipped.

1173 私が出かけている間、いたずらはなしだよ、いい？
No **monkey** business while I'm out, okay?

1174 二人のランナーは最後の 1 メートルまで互角だった。
The two runners were neck **and** neck until the final meter.

1175 抜き打ちの小テストで、生徒は気を抜けない。
Surprise quizzes keep the students on their **toes** .

1176 助けてくれてありがとう。君は本当に最高の人だ。
Thank you for helping me. You're one in a **million** .

1177 このカフェのチョコレートケーキは最高だ。
The chocolate cake at this cafe is out of this **world** .

1178 田舎で静かな週末を過ごして英気を養った。
I spent a quiet weekend in the countryside to recharge my **batteries** .

1179 小さな問題として始まったことが、雪だるま式に危機へと発展した。
What started as a small problem **snowballed** into a crisis.

1180 マンネリ気味だったので、新しい趣味を始めた。
I felt stuck in a **rut** , so I started a new hobby.

1181 その会社は反応を確かめるため、少数の商品を発売した。
The company released a small number of products to **test** the waters.

1182 文化祭の新しい企画は、1 年生 2 人の発案だった。
The school festival's new event was the **brainchild** of two first-year students.

1183 努力すれば、可能性は無限大だ。
If you work hard, the **sky's** the limit.

1184 医者によると、祖父は峠を越したそうだ。
The doctor says my grandfather has turned a **corner** .

1185 後半の彼女のゴールが試合の流れを変えた。
Her goal in the second half turned the **tide** of the game.

1186 負けた後、皆コーチの機嫌を損ねないようにびくびくしている。
Everyone is walking on **eggshells** around the coach after the loss.

1187 コンサートには行きたくなかったが、友達に押し切られた。
I didn't want to go to the concert, but my friend twisted my **arm** .

1188 八方ふさがりだ。仕事に就くには経験が必要だが、経験を積むには仕事が必要だ。
It's a **catch-22** : you need experience to get a job, but you need a job to get experience.

1189 健康診断の後、医師は祖父に健康上の問題はないと言った。
After the checkup, the doctor gave my grandfather a clean **bill** of health.

1190 私が病気になったら、彼は連絡してこなくなった。調子のいい時だけの友達だ。
He stopped calling me when I got sick. He's just a **fair-weather** friend.

1191 今週は宿題に追われて首が回らない。
I'm up to my **ears** in homework this week.

1192 あなたはどんな能力を提供できますか？
What skills can you bring to the **table** ?

1193 現実から目をそらして、問題が消えるのを待つわけにはいかない。
You can't bury your head in the **sand** and hope the problem disappears.

1194 彼は新しい自転車が欲しくて、お母さんにごまをすっている。
He's **buttering** up his mom because he wants a new bike.

1195 万全を期して、傘と日焼け止めを持ってきた。
I brought an umbrella and sunscreen to cover my **bases** .

1196 音楽業界は食うか食われるかの世界だ。
The music business is a dog-eat-dog **world** .

1197 彼は何でも大声で話すが、空き樽は音が高いものだ。
He talks loudly about everything, but empty **vessels** make the most noise.

1198 彼が列に割り込んだので、ガツンと言ってやった。
When he cut in line, I gave him a **piece** of my mind.

1199 チームが決勝ゴールを決めると、ファンは大興奮した。
The fans went **bananas** when their team scored the winning goal.

1200 姉はどんな言い争いでも、いつも最後に言い返さないと気がすまない。
My sister always has to have the **last** word in every argument.

1201 あなたの推測は図星だよ。まさにその通りのことが起きたんだ。
Your guess hit the **bull's-eye** ; that's exactly what happened.

1202 彼は雨の日に傘を売って大もうけした。
He made a **killing** by selling umbrellas on a rainy day.

1203 私たちは観光客があまり行かない小さな村に泊まった。
We stayed in a small village off the **beaten** track.

1204 試験の結果を待つ間、気が気でなかった。
I was on pins and **needles** waiting for the exam results.

1205 電車は 9 時ちょうどに出発した。
The train left at nine o'clock on the **dot** .

1206 何度も言い争った末、父はようやく理解して留学を許してくれた。
After many arguments, my father finally saw the **light** and let me study abroad.

1207 値段があまりにも安かったので、何か怪しいと感じ始めた。
When the price was so low, I started to smell a **rat** .

1208 彼女は先生の前で、危険を承知でクラスメートをかばった。
She stuck her **neck** out to defend her classmate in front of the teacher.

1209 新しいラーメン屋は町中の評判だ。
The new ramen shop is the talk of the **town** .

1210 計画について話すために、来週連絡を取り合おう。
Let's touch **base** next week to talk about the plan.

1211 政府はスキャンダルを隠蔽しようとしたと非難された。
The government was accused of trying to **whitewash** the scandal.

1212 新しい案に何でも反対するのは、ただの反射的な反応だ。
Saying no to every new idea is just a knee-jerk **reaction** .

1213 浜辺にゴミを捨てる人を見ると、はらわたが煮えくり返る。
Seeing people throw trash on the beach makes my blood **boil** .

1214 鍵をあちこち探したが、すぐ目の前にあった。
I searched everywhere for my keys, but they were right **under** my nose.

1215 事故のせいで車はのろのろとしか進まなかった。
The traffic moved at a **snail's** pace because of the accident.

1216 この説明書はさっぱり訳が分からない。
I can't make head or **tail** of these instructions.

1217 その報告書は結論を裏付けるために都合のよいデータだけを選んでいた。
The report **cherry-picked** data to support its conclusion.

1218 村人たちは学校を守るために必死に戦った。
The villagers fought **tooth** and nail to save their school.

1219 彼の絶え間ない愚痴に本当にいらいらする。
His constant complaining really gets under my **skin** .

1220 彼がいつも私を無視するので、同じように仕返ししてやった。
He always ignores me, so I gave him a taste of his own **medicine** .

1221 1年生の私は序列の一番下だ。
As a first-year student, I'm at the bottom of the **pecking** order.

1222 どの大学を選ぶべきか、知恵を貸してもらえる？
Can I pick your **brain** about which university to choose?

1223 母は私の考えをすっかり見抜いてしまう。何も隠せない。
My mother can read me like a **book** ; I can't hide anything from her.

1224 町はオリンピックの金メダリストを盛大に歓迎した。
The town rolled out the red **carpet** for the Olympic champion.

1225 取りつくろわないで。テストの結果について本当のことを言って。
Don't **sugarcoat** it. Tell me the truth about my test results.

1226 部に入ったとき、先輩が私の面倒を見てくれた。
A senior student took me under her **wing** when I joined the club.

1227 祖母はスマホを画期的な最高の発明だと思っている。
My grandmother thinks smartphones are the best thing since **sliced** bread.

1228 新しいドレスは彼女にぴったりだ。
The new dress fits her to a **T** .

1229 大好きな歌手に会ったとき、緊張して言葉が出なかった。
I got tongue-**tied** when I met my favorite singer.

1230 うちの猫は安いえさには見向きもしない。
My cat turns up her **nose** at cheap food.

1231 うちの大きな犬は怖そうに見えるけど、虫も殺さないほど大人しい。
Our big dog looks scary, but he wouldn't hurt a **fly** .

1232 その会社は偽物を売ったため、取引禁止リストに載せられた。
The company was **blacklisted** for selling fake products.

1233 その小説は、冷酷に罪を犯した男の話だ。
The novel is about a man who committed a crime in cold **blood** .

1234 午後は家のこまごました用事をして過ごした。
I spent the afternoon doing **odds** and ends around the house.

1235 頭をひねったが、彼の電話番号を思い出せなかった。
I **racked** my brain, but I couldn't remember his phone number.

1236 高校卒業後は、自立して留学したい。
After high school, I want to spread my **wings** and study abroad.

1237 誰かの領分を侵すつもりはないけど、企画について案があるんだ。
I don't want to step on anyone's **toes** , but I have an idea for the project.

1238 十中八九、彼は明日もまた遅刻するよ。
Ten to **one** , he'll be late again tomorrow.

1239 彼は昼食をがつがつ平らげ、サッカーをしに飛び出していった。
He **wolfed** down his lunch and ran out to play soccer.

1240 彼女は学生時代、パン屋でわずかな給料で働いていた。
She worked for **peanuts** at the bakery when she was a student.

CHAPTER 7

口語・スラング（原田英語 用語集）

海外ドラマや SNS で毎日のように使われる口語。入試の会話文や長文に出るものだけを選んでいます。 No.1241〜1255（15 問）

問題

1241 □□□

My father works _____, so we hardly ever see him at home, even on weekends.

① once in a blue moon
② at a loss
③ behind the times
④ twenty-four seven

解答・解説（赤シートで隠せます）

④ twenty-four seven 24時間365日；いつも（24/7）

訳 父は四六時中働いているので、週末でさえ家で父に会うことはめったにない。

解説 週末でも家でほとんど会えないのは、父が「四六時中」働いているからなので twenty-four seven。once in a blue moon は「ごくまれに」で、めったに働かないことになり逆。at a loss は「途方に暮れて」、behind the times は「時代遅れで」で、会えない理由にならない。

区別 **twenty-four seven ⇔ around the clock** around the clock も「24 時間ぶっ通しで」で、主に作業・営業が休みなく続くこと。twenty-four seven は「毎日いつでも」とより口語的で、人の習慣の誇張にもよく使う。

1242 □□□

A: I got two tickets for the concert tonight! Do you want to come? B: _____ I'd love to!

① Awful!
② Too bad!
③ Awesome!
④ Never mind!

③ awesome すごい；最高の

訳 A：今夜のコンサートのチケットが 2 枚取れたんだ！ 一緒に来る？ B：最高！ ぜひ行きたい！

解説 誘いを喜んで受けるので「最高！」の Awesome!。Awful! は「ひどい！」で喜びの返事にならない。Too bad! は「残念！」、Never mind! は「気にしないで」で、どちらも I'd love to! とつながらない。

区別 **awesome ⇔ awful** awful も awe から来た語だが、今は「ひどい・最悪の」の意味。awesome は「最高の」。見分け方：ほめるなら awesome、けなすなら awful。

1243 □□□

Look at those puppies! They're absolutely _____.

① admirable
② adorable
③ available
④ affordable

② adorable とてもかわいい；愛らしい

訳 あの子犬たちを見て！ 本当にかわいいね。

解説 子犬を見て「かわいい」と言っているので adorable。admirable は「称賛に値する」で、行いや努力に使い、子犬の見た目には合わない。available は「手に入る・空いている」、affordable は「手ごろな値段の」で、かわいさを表さない。

区別 **adorable ⇔ admirable** admirable は「称賛に値する・立派な」で、行い・努力などに使う。adorable は「（見た目が）とてもかわいい」。見分け方：かわいらしさなら adorable、行いの立派さなら admirable。

1244 □□□

Tom Baker, _____ "The Rocket," was the fastest runner on our team.

① etc.　② P.S.
③ aka　④ RSVP

③ aka 別名～；またの名を～

訳 「ロケット」の異名を持つトム・ベイカーは、私たちのチームで一番速い走者だった。

解説 本名の後にあだ名を続けて「別名～」とするのは aka（also known as）。etc. は「～など」で、列挙の最後に置く。P.S. は手紙の「追伸」。RSVP は招待状の「お返事ください」で、どれも名前の言い換えに使えない。

注意 新聞や記事でも使われる一般的な略語。a.k.a. と点を打つこともある。

1245 □□□

The experiment failed, so we're back to square _____.

① one　② first
③ zero　④ start

① back to square one
振り出しに戻って；一からやり直しで

訳 実験は失敗したので、振り出しに戻ってしまった。

解説 「振り出しに戻って」は back to square one の決まった形。first / zero / start に入れ替えると成り立たない（序数の first なら the first square になる）。

区別 **back to square one ⇔ start from scratch** start from scratch は「（何もない状態から）ゼロから始める」と新しく始めること。back to square one は「（進めていたのに）振り出しに戻る」と後退を強調する。

1246 □□□

A: The concert was canceled because of the rain. B: What a _____! I was really looking forward to it.

① relief　② bummer
③ coincidence　④ bargain

② bummer がっかりなこと；残念なこと

訳 A：雨でコンサートが中止になったよ。 B：それは残念！ 本当に楽しみにしていたのに。

解説 楽しみにしていたコンサートの中止に「残念！」と言っているので What a bummer!。What a relief! は「ほっとした」で後半と矛盾する。What a coincidence! は「なんて偶然！」、What a bargain! は「お買い得！」で、残念な知らせへの相づちにならない。

区別 **bummer ⇔ What a relief!** What a relief! は「ああ、よかった・ほっとした」と安心を表す。What a bummer! は「がっかりだ」。同じ What a ~! の形で感情が正反対になるので会話問題のひっかけになる。

1247 □□□

A: What are you doing this weekend? B: Nothing much. I'm just going to _____ at home and watch movies.

① chilly　② chills
③ chill　④ chilled

③ chill くつろぐ；のんびりする

訳 A：今週末は何をするの？ B：特に何も。家でのんびりして映画を見るつもり。

解説 be going to の後ろは動詞の原形なので chill（くつろぐ）。chilly は形容詞「肌寒い」で、動詞の位置に置けない。chills は三単現または名詞の複数、chilled は過去形・過去分詞で、to の後ろの原形の位置に合わない。

注意 動詞（chill at home）、形容詞（He's so chill.＝気楽な人だ）で使う定番の口語。I'm chill with that.（それでいいよ）の意味もある。

1248 □□□

I spent the whole weekend without my smartphone. It was a kind of digital ＿＿＿＿, and I felt much more relaxed afterward.

① divide　② native
③ detox　④ footprint

③ detox
（心身をリフレッシュするために）何かを断つこと；解毒

訳 私は週末ずっとスマートフォンなしで過ごした。一種のデジタルデトックス（デジタル断ち）で、その後は気持ちがずっと楽になった。

解説 スマホなしで週末を過ごし、すっきりしたという流れなので digital detox（デジタル断ち）。digital divide は「情報格差」、digital native は「生まれたときからデジタル機器に囲まれて育った世代の人」、digital footprint は「ネット上に残る利用の痕跡」で、どれも自分が端末を断つ行為を表せない。

区別 **detox ⇔ digital divide** 同じ digital ＋ 名詞でも digital divide は「情報格差（IT を使える人と使えない人の差）」という社会問題を表す。digital detox は個人がスマホなどを断つ行動。見分け方：個人が端末から離れてすっきりする話なら detox、地域・世代による格差の話なら divide。

1249 □□□

If a job offer asks you to pay money in advance, that's a ＿＿＿＿. It may well be a scam.

① red flag　② red tape
③ green light　④ white lie

① red flag　危険信号；（相手の）要注意な点

訳 求人で前もってお金を払うよう求められたら、それは危険信号だ。詐欺の可能性が十分にある。

解説 前払いを求める求人は「危険信号」なので red flag。red tape は「お役所的な面倒な手続き」、green light は「許可・ゴーサイン」で詐欺の兆しとは逆、white lie は「（悪意のない）方便のうそ」で、どれも怪しさの警告を表せない。

区別 **red flag ⇔ red tape** red tape は「お役所仕事・面倒な手続き」。red flag は「危険信号」。見分け方：書類・許可に時間がかかる話なら red tape、怪しさ・危険の兆しなら red flag。

1250 □□□

I really screwed ＿＿＿＿ the interview; I couldn't answer a single question properly.

① down　② off
③ out　④ up

④ screw up　（大きな）ミスをする；台無しにする

訳 面接は本当に大失敗だった。質問に一つもまともに答えられなかった。

解説 「（面接を）台無しにした・大失敗した」は screw up。screw down は「ねじで固定する」という文字どおりの意味、screw off / screw out は失敗の意味の熟語にならない。一つも質問にまともに答えられなかったという後半と合う。

区別 **screw up ⇔ mess up** mess up も「台無しにする・散らかす」でほぼ同じ意味だが、screw up より柔らかい。mess up は部屋などを「散らかす」にも使える。見分け方：意味の差は小さく、くだけ方の度合い（screw up の方が強い）。

1251 ☐☐☐

I worked twelve hours at the restaurant today. I'm completely _____.

① to beat　② beating
③ beats　④ beat

④ beat　へとへとに疲れて

訳 今日はレストランで 12 時間働いた。もうへとへとだ。

解説 くだけた会話で「へとへとに疲れて」は形容詞の beat（I'm beat.）。beating にすると進行形「（誰かを）打っている」になり目的語も足りない。beats は動詞の三単現で be 動詞の後ろに置けない。to beat も補語として疲れの意味にならない。

区別 **beat ⇔ exhausted / worn out**　exhausted は「疲れ果てた」の標準的な言い方で書き言葉でも使える。worn out も「くたくたの」。beat は友人どうしの会話向けのくだけた語。意味はほぼ同じで、使う場面のくだけ方が違う。

1252 ☐☐☐

I was only three when we lived in Paris, so I remember only _____ of our life there.

① odds and evens　② ups and downs
③ bits and pieces　④ ins and outs

③ bits and pieces　断片；こまごましたもの

訳 パリに住んでいたとき私はまだ 3 歳だったので、そこでの生活は断片的にしか覚えていない。

解説 幼かったので「断片的にしか覚えていない」は bits and pieces（断片）。ups and downs は「浮き沈み」、ins and outs は the を付けて「詳しい事情」で、only と組んで断片的な記憶を表せない。odds and evens は「奇数と偶数」で熟語にならない。

区別 **bits and pieces ⇔ ins and outs**　the ins and outs (of ~) は「（物事の）詳しい事情・細かい点・裏表」で、the を付ける。bits and pieces は「断片・こまごました物」。見分け方：仕組みの詳細を知り尽くすなら ins and outs、断片的にしか覚えていない・小物なら bits and pieces。

1253 ☐☐☐

We tried to negotiate with the company for months, but we hit a _____ every time.

① red flag　② brick wall
③ green light　④ blind spot

② brick wall　（越えられない）壁；行き詰まり

訳 私たちは何か月もその会社と交渉しようとしたが、毎回行き詰まった。

解説 交渉が進まず「壁にぶつかった・行き詰まった」は hit a brick wall。red flag は「危険信号」、green light は「許可」で交渉がうまくいく方向、blind spot は「死角・盲点」で、hit と組んで行き詰まりを表す決まった形にならない。

区別 **brick wall ⇔ red flag**　red flag は「危険信号・要注意の兆候」。brick wall は「行き詰まり・どうにもならない障害」。見分け方：怪しさの警告なら red flag、交渉・作業が進まないなら brick wall。

1254 ☐☐☐

A: Sorry, I forgot to bring the book you lent me. B: ＿＿＿＿ You can bring it tomorrow.

① No biggie.　② No way.
③ No kidding.　④ No doubt.

① No biggie. 大したことないよ；気にしないで

訳 A：ごめん、借りていた本を持ってくるのを忘れた。 B：大したことないよ。明日持ってきてくれればいいから。

解説 本を忘れたと謝られて「大したことないよ」と許すのは No biggie.。No way. は「とんでもない・絶対いやだ」で、明日でいいという後半と合わない。No kidding. は「まさか・本当に？」、No doubt. は「きっと・間違いなく」で、謝罪への返事にならない。

区別 **No biggie. ⇔ No kidding.** No kidding. は「まさか・本当？」「（皮肉で）そんなの分かってるよ」。No biggie. は「大したことない」と相手の謝罪・お礼を軽く受け流す。見分け方：驚き・皮肉なら kidding、許す・遠慮しないでなら biggie。

1255 ☐☐☐

I thought I knew who the killer was, but the movie had a surprising ＿＿＿＿ at the end.

① brick wall　② red flag
③ plot twist　④ small talk

③ plot twist どんでん返し；予想外の展開

訳 私は犯人が誰か分かったつもりだったが、その映画は最後に驚くようなどんでん返しがあった。

解説 犯人の予想が外れる「どんでん返し」は plot twist。red flag は「危険信号」、brick wall は「行き詰まり」、small talk は「世間話」で、映画の最後の意外な展開を表せない。

区別 **plot twist ⇔ punch line** punch line は「（冗談・笑い話の）落ち」。plot twist は「（物語の筋の）意外な展開」。見分け方：笑いの落ちなら punch line、ストーリーのどんでん返しなら plot twist。

確認テスト 7　口語・スラング｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

1241 このコンビニは24時間年中無休だ。
This convenience store is open twenty-four ___seven___ .

1242 山頂からの眺めは本当に最高だった。
The view from the top of the mountain was absolutely ___awesome___ .

1243 窓際のあの子犬、本当にかわいい！
That puppy in the window is absolutely ___adorable___ !

1244 ロバート・ダウニー・ジュニア、またの名をアイアンマンは、私の大好きな俳優の一人だ。
Robert Downey Jr., ___aka___ Iron Man, is one of my favorite actors.

1245 顧客に提案を却下されたので、振り出しに戻った。
The client rejected our proposal, so we're back to ___square___ one.

1246 雨でコンサートに行けなかったのは本当に残念だった。
Missing the concert because of the rain was a real ___bummer___ .

1247 今夜は家でのんびりして映画でも見ようよ。
Let's just ___chill___ at home tonight and watch a movie.

1248 一日中スマホを見てるね。デジタルデトックスが必要だよ。
You've been on your phone all day, so you need a digital ___detox___ .

1249 元カノ全員おかしいって言ってた。それは大きな危険信号だよ。
He said all his exes were crazy. That's a huge red ___flag___ .

1250 メモを忘れたせいで、今日のプレゼンを完全にやらかした。
I really ___screwed___ up my presentation today because I forgot my notes.

1251 マラソンを走った後、私は完全にへとへとだった。
After running the marathon, I was completely ___beat___ .

1252 昨夜見た夢は、断片的にしか覚えていない。
I remember only bits and ___pieces___ of the dream I had last night.

1253 重要な証人が姿を消して、捜査は行き詰まった。
The investigation hit a ___brick___ wall when the key witness disappeared.

1254 あ、水こぼした？大したことないよ、私が拭くから。
Oh, you spilled some water? No ___biggie___ , I'll clean it up.

1255 まさかの展開：愚痴を言ってた本人が真後ろに立っていた。
Plot ___twist___ : the person I was complaining about was standing right behind me.

索引 熟語（be・one's などを除いた最初の語のアルファベット順）→ 問題番号

~, when ... 0655
24/7 1038

A

Absence makes the heart grow fonder. 0920
abstain from ~ 0401
accept A as B 0230
be accessible to ~ 0518
accustom oneself to ~ 0384
Achilles' heel 0881
acquaint A with B 0254
act on ~ 0299
add fuel to the fire 0882
add up 0002
adhere to ~ 0275
admit A to B 0255
adorable 1243
After a storm comes a calm. 1096
(race) against the clock 1037
ahead of one's time 0989
aka 1244
all along 0533
all bark and no bite 1046
all but ~ 0543
All good things must come to an end. 0990
all in all 0618
All the best. 0822
all the same 0534
all things considered 0633
All work and no play makes Jack a dull boy. 0921
be allergic to ~ 0527
be amazed at ~ 0474
among other things 0634
An eye for an eye, a tooth for a tooth. 0922
an eye-opener 1047
an ivory tower 1154
An ounce of prevention is worth a pound of cure. 0991
an underdog 0923
an uphill battle 1048
and that 0613
~ and the like 0654
be annoyed with ~ 0500
answer for ~ 0015
Anything will do. 0713
Anytime. 0703
appeal to A for B 0276
apply oneself to ~ 0417
Are you with me? 0704
arrest A for B 0256
Art is long, life is short. 1097
as ever 0656
as follows 0544
as good as ~ 0545
be as good as one's word 0501
as it is 0619
as it were 0588
as many as ~ 0546
as much as ~ 0562
as of ~ 0657
as often as not 0688
as opposed to ~ 0563
ascribe A to B 0402
aside from ~ 0535
ask A out 0007
ask after ~ 0186
assign A to B 0243
assist A in B 0231
at (the) best 0564
at a glance 0547
at a snail's pace 1215
at any rate 0548
be at ease 0502
at hand 0565
at heart 0620
at large 0635
at length 0621
be at one's best 0519
at one's convenience 0614
at one's disposal 0658
at one's wit's end 1049
at peace (with ~) 0684
at stake 0589
at the eleventh hour 0924
at the mercy of ~ 0615
at the risk of ~ 0549
awesome 1242

B

back and forth 0590
back down 0038
back out of ~ 0069
back to square one 1245
back to the drawing board 0992
a bad apple 1085
A bad workman always blames his tools. 1039
be badly off 0503
bar A from ~ing 0277
Barking dogs seldom bite. 0925
bear a resemblance to ~ 0332
bear on ~ 0169
bear with ~ 0017
beat 1251
beat a dead horse 1099
Beauty is in the eye of the beholder. 0926
Beggars can't be choosers. 0994
be behind ~ 0167
behind bars 1155
behind the times 0884
bend over backwards 0970
be beneficial to ~ 0461
be bent on ~ 0520
between a rock and a hard place 0995
beware of ~ 0300
beyond words 0689
bits and pieces 1252
blacklist ~ 1232
Bless you. 0813
be blessed with ~ 0450
be blind to ~ 0521
blow off steam 0996
blow out ~ 0136
blow over 0188
boil down to ~ 0039
born with a silver spoon in one's mouth 1050
be bound for ~ 0446
bread and butter 1051
break away from ~ 0040
break out in ~ 0170
break the bank 1156
break the news (to ~) 0418
break through ~ 0009
break with ~ 0171
a breath of fresh air 0912
brick wall 1253
bridge the gap (between A and B) 0885
bring ~ to the table 1192
bring A up to speed 1157
bring down ~ 0041
bring forward ~ 0137
bring home the bacon 0927
bring in ~ 0018
bring on ~ 0072
bring together ~ 0138
brush aside ~ 0189
build on ~ 0073
bummer 1246
burn one's bridges 1052
burn out 0019
bury one's head in the sand 1193
bury the hatchet 0928
(as) busy as a bee 1082
butter A up 1194
by and large 0566
by birth 0636
by choice 0685

by degrees 0659
by name 0660
by the book 1158
by the skin of one's teeth 0971
by trial and error 0567
by virtue of ~ 0661
by way of ~ 0568

C

call A names 0368
call a spade a spade 1053
call in ~ 0074
call it quits 1100
call out 0139
call the shots 1101
Can I have a word with you? 0723
can't make head or tail of ~ 1216
can't see the forest for the trees 0886
cannot possibly do 0662
be careful of ~ 0491
be carried away 0016
(the) carrot and (the) stick 1084
carry off ~ 0190
carry through ~ 0172
a case in point 1086
a cash cow 1040
cast doubt on ~ 0301
catch A red-handed 0929
catch one's breath 0419
catch up on ~ 0010
a catch-22 1188
be cautious about ~ 0492
be certain of ~ 0447
A chain is only as strong as its weakest link. 1087
change hands 0278
be characteristic of ~ 0475
be charged with ~ 0516
check up on ~ 0075
cheer on ~ 0191
Cheers! 0835
cherry-pick ~ 1217
chicken out (of ~) 0930
chill 1247
classify A as B 0302
a clean bill of health 1189
clear away ~ 0192
cling to ~ 0257
a close call 0913
Clothes make the man. 1054
coincide with ~ 0279
collaborate with ~ 0244
collide with ~ 0333
come across as ~ 0020
Come again? 0692
come along 0021
come around 0042
come close to ~ing 0303
come down 0115
come down to ~ 0022
come first 0385
come forward 0043
come into ~ 0076
come into play 0420
come into view 0421
come near (to) ~ing 0232
come of ~ 0173
come of age 0386
come off 0077
come on 0054
come through 0078
come to 0003
come to a stop 0422
come to life 0423
come to one's senses 0424
come together 0193
come under ~ 0140
come up against ~ 0141
come up to ~ 0055
come upon ~ 0194
be common to ~ 0504
compare apples and oranges 1159
compensate A for B 0280
compliment A on B 0245
confine A to B 0281
be confined to ~ 0522
conflict with ~ 0258
be confronted with ~ 0454
consent to ~ 0233
be considerate of ~ 0517
be consistent with ~ 0462
be contrary to ~ 0455
(as) cool as a cucumber 1036
cool down 0142
a copycat 1150
correspond with ~ 0442
could do with ~ 0023
could use ~ 0793
Could you possibly ~? 0768
count for ~ 0195
Count me out. 0732
cover one's bases 1195
crack down on ~ 0024
credit A with B 0304
be critical of ~ 0463
crocodile tears 1160
Cross that bridge when you come to it. 0887
cry for ~ 0143
cut A into B 0259
cut A some slack 1102
cut in 0025
cut out ~ 0011
be cut out for ~ 0070

D

Darn it! 0867
dawn on ~ 0004
day by day 0591
a dead end 0914
decorate A with B 0334
be dedicated to ~ 0464
be delighted with ~ 0476
demand A of B 0282
depart from ~ 0260
deter A from ~ing 0403
detox 1248
diagnose A as B 0305
Dig in. 0794
dig up ~ 0144
a dime a dozen 1151
direct A to B 0261
disapprove of ~ 0262
dismiss A as B 0404
dispense with ~ 0405
Ditto. 0769
do business with ~ 0387
do one's part 0335
do the shopping 0425
Do unto others as you would have them do unto you. 1103
Do you have a reservation? 0705
Do you have change for ~? 0746
Do you have this in a smaller size? 0714
Does that work for you? 0706
dog-eat-dog 1196
Don't ask me. 0836
Don't be silly. 0795
Don't be so hard on yourself. 0733
Don't bite the hand that feeds you. 0997
Don't count on it. 0837
Don't hold your breath. 0770
Don't let me down. 0734
Don't put the cart before the horse. 0931
Don't shoot the messenger. 1104
Don't sweat it. 0756
Don't take it out on me. 0796
Don't take it personally. 0814
Don't take it so hard. 0838
Don't take it to heart. 0771
be done with ~ 0523
doze off 0079
draw on ~ 0044
draw out ~ 0001
draw up ~ 0026
drive away ~ 0145
drive up ~ 0174
Drop me a line. 0757
drop the ball 1161

dwell on ~ 0306

E

be eager for ~ 0448
eat away at ~ 0175
eat like a bird 1105
eat like a horse 1055
eat one's words 1106
eat up ~ 0146
elaborate on ~ 0406
Empty vessels make the most noise. 1197
engage A in B 0234
be engaged to ~ 0505
Enjoy your meal. 0758
be enthusiastic about ~ 0456
be entitled to ~ 0506
entrust B to A 0407
be envious of ~ 0465
be equivalent to ~ 0477
Even a worm will turn. 0998
Even Homer sometimes nods. 0888
even so 0569
Every dog has its day. 0999
Every little helps. 1107
Every rose has its thorn. 1056
every time ~ 0550
Exactly. 0694
excel in ~ 0283
Experience is the best teacher. 0932
experiment with ~ 0307

F

face the music 0889
fail in ~ 0006
Failure teaches success. 1000
a fair-weather friend 1190
be faithful to ~ 0493
fall down 0080
fall for ~ 0005
fall into ~ 0147
fall off 0081
fall on ~ 0027
Fall seven times, stand up eight. 1108
fall victim to ~ 0388
Familiarity breeds contempt. 1057
familiarize A with B 0408
a far cry from ~ 0981
Far from it. 0772
feed on ~ 0284
feel up to ~ 0148
fifty-fifty 1162
fight tooth and nail 1218
fill in for ~ 0082
Fill me in. 0815
find one's way to ~ 0235
fine A for B 0409
Fingers crossed. 0715
fishy 1109
(as) fit as a fiddle 0976
be fit for ~ 0457
fit in with ~ 0083
fit into ~ 0149
follow suit 0972
follow through (on ~) 0084
foot the bill 0933
for a change 0570
for ages 0622
for certain 0571
for lack of ~ 0572
for once 0623
for one thing 0592
for one's age 0663
for the better 0664
for the moment 0573
force A on B 0285
Fortune favors the bold. 1058
frankly speaking 0536
be free of ~ 0451
be frightened of ~ 0478
from rags to riches 1059
(straight) from the horse's mouth 0979
furnish A with B 0263

G

a game changer 1041
get ~ off one's chest 1110
get ~ wrong 0369
get a head start (on ~) 1060
get a kick out of ~ 1163
get A out of B 0286
get ahead 0028
get along 0085
get around 0045
get around to ~ 0086
get at ~ 0012
get away 0046
Get back to me. 0724
get down 0150
get dressed 0370
get hold of ~ 0308
get in 0087
get off on the wrong foot 1111
get on one's nerves 0309
get one's act together 0934
get the hang of ~ 0426
get the most out of ~ 0389
get the picture 1001
get to the point 0390
get under A's skin 1219
get wind of ~ 1164
Get your act together. 0839
be gifted with ~ 0444
give A a break 0427
give A a chance 0371
give A a piece of one's mind 1198
give A a taste of A's own medicine 1220
give A one's word 0391
give a party 0428
give A the benefit of the doubt 1002
give an account of ~ 0336
give and take 1061
give back ~ 0047
give one's regards to ~ 0310
give some thought to ~ 0392
given (that) ~ 0574
go a long way 0429
go about ~ 0029
go after ~ 0196
go against ~ 0030
go around 0048
go astray 0031
go back 0088
go back on ~ 0176
go bananas 1199
go beyond ~ 0049
go cold turkey 1112
go down 0050
go down the drain 1003
go downhill 1062
go from bad to worse 0311
go in for ~ 0032
go in one ear and out the other 1165
go into ~ 0013
go into detail 0393
go out of fashion 0337
go out on a limb 1113
go overboard 1166
go through with ~ 0197
go to great lengths to do 0430
go to sleep 0355
go too far 0338
go under 0177
go up 0051
go with the flow 0890
a golden opportunity 0876
Good riddance. 0855
Good things come to those who wait. 1004
be good with ~ 0507
goose bumps 1005
Gotcha. 0816
grassroots 1063
a gray area 0915
Great minds think alike. 0935
grow on ~ 0178
grow out of ~ 0014
guard A against B 0312
a guinea pig 1088

H

Half a loaf is better than no bread. 1114
half-baked 1167
hands down 1115
hang around 0089
hang on to ~ 0090
be hard on ~ 0494
have a bone to pick with A 1116
have a chip on one's shoulder 0973
have a green thumb 1117
have a heart of gold 1064
have a say in ~ 0431
have a weakness for ~ 0936
have an eye for ~ 0372
have every reason to do 0432
have faith in ~ 0313
have got to do 0356
Have it your way. 0846
have mixed feelings (about ~) 0891
have no intention of ~ing 0339
have one's head in the clouds 1118
have one's own way 0373
have second thoughts (about ~) 0340
have the courage to do 0374
have the last word 1200
He who hesitates is lost. 1119
He who laughs last laughs best. 1006
head over heels (in love) 0869
Health is wealth. 1065
hear ~ through the grapevine 1007
hear about ~ 0033
be here to stay 0354
Here we go again. 0840
be hesitant to do 0524
hinder A from ~ing 0246
hit rock bottom 1008
hit the bull's-eye 1201
hit the ground running 1120
hit the road 0892
hit the roof 1009
hit the spot 0856
hold off 0151
hold one's breath 0341
hold out 0034
hold true 0314
Hold your horses. 0797
Hope for the best, prepare for the worst. 1010
a household name 1089
How dare you! 0857
How do you do? 0823
How kind of you! 0707
How's everything? 0747

I

I beg to differ. 0725
I can live with that. 0780
I can manage. 0716
I don't have the slightest idea. 0759
I don't mind if I do. 0798
I have a fever. 0726
I hear you. 0708
I knew it! 0781
I mean it. 0717
I wasn't born yesterday. 0799
I won't be long. 0782
I wouldn't say that. 0841
I'd rather not. 0693
I'll give it a go. 0718
I'll pass. 0735
I'll put in a good word for you. 0847
I'll put you through. 0736
I'll see what I can do. 0760
I'm all set. 0817
I'm all thumbs. 0737
I'm beat. 0842
I'm broke. 0727
I'm counting on you. 0698
I'm flattered. 0858
I'm into ~. 0695
I'm positive. 0709
I'm stuffed. 0773
I'm tied up right now. 0824
I'm with you. 0719
be identical to ~ 0466
identify A with B 0287
identify with ~ 0288
if ~ at all 0665
if any 0593
If at first you don't succeed, try, try again. 0937
If it ain't broke, don't fix it. 1121
if it had not been for ~ 0537
if necessary 0575
If you can't beat them, join them. 1011
If you don't mind my asking, ~? 0783
If you run after two hares, you will catch neither. 0893
If you say so. 0848
Ignorance is bliss. 0894
be impatient to do 0508
impress A with B 0236
in ~ing 0666
be in a good mood 0479
in a pickle 1122
in a word 0594
in black and white 1168
in cold blood 1233
in common with ~ 0551
in connection with ~ 0595
in earnest 0667
in effect 0576
in essence 0668
be in for ~ 0187
in full 0624
in full swing 1169
be in good shape 0480
in harmony with ~ 0596
in haste 0691
in itself 0669
in line with ~ 0597
be in over one's head 0883
in preparation (for ~) 0670
in principle 0598
in private 0538
in progress 0552
in proportion to ~ 0637
in pursuit of ~ 0625
in relation to ~ 0577
in sight 0681
in stock 0638
in store (for ~) 0682
in succession 0671
in sum 0639
in tears 0672
in that ~ 0539
in the absence of ~ 0599
in the bag 1170
in the black 1171
in the blink of an eye 0868
in the company of ~ 0683
in the course of ~ 0553
in the dark 0626
in the event of ~ 0578
in the hope of ~ing 0600
in the limelight 1123
in the loop 1066
in the midst of ~ 0640
in the name of ~ 0641
in the presence of ~ 0579
in the red 0938
in the short run 0627
in the way 0580
in theory 0554
in use 0601
incorporate A into B 0410
indulge in ~ 0264
inquire about ~ 0289
inquire into ~ 0375
inside out 0642
integrate A into B 0411
interfere in ~ 0241
intervene in ~ 0342
be into ~ 0008
irrespective of ~ 0673
A is one thing, B is another 0612
Is this the right way to ~? 0738
It can't be. 0710

It is the last straw that breaks the camel's back. 0939
It is what it is. 0825
It stands to reason that ~ 0290
It takes two to tango. 0940
It was nothing. 0800
It's a long story. 0843
It's a no-brainer. 0728
It's a steal. 0801
It's all the same to me. 0844
It's been a long day. 0849
It's beyond me. 0720
It's letting up. 0761
It's not my day. 0850
It's not rocket science. 0721
It's not the end of the world. 0802
It's now or never. 0748
It's on the tip of my tongue. 0739
It's the thought that counts. 0895
It's too soon to tell. 0818
It's worth a try. 0696
It's your call. 0762

J

Jack of all trades, master of none. 1012
a jack-of-all-trades 0982
Join the club. 0774
jump the gun 1124
just about 0643

K

be keen to do 0449
keep A company 0376
keep a diary 0394
keep A from B 0291
keep a low profile 1013
keep A out of B 0292
keep a secret 0343
keep a straight face 1172
keep abreast of ~ 0377
keep at ~ 0053
Keep at it. 0699
keep back ~ 0056
keep in ~ 0116
Keep it to yourself. 0763
Keep me posted. 0784
keep to oneself 0091
Keep your chin up. 0729
kick back 0198
kick in 0057
kick the bucket 1067
kill time 0378
a knee-jerk reaction 1212
knock off (~) 0179
Knock on wood. 0785
knock over ~ 0036
know of ~ 0293
be known by ~ 0445

L

laid-back 0941
last but not least 0602
a late bloomer 1152
laugh off ~ 0058
Laughter is the best medicine. 0942
lay aside ~ 0059
lay the groundwork (for ~) 0943
lead up to ~ 0037
learn ~ the hard way 1014
leave much to be desired 0344
leave no stone unturned 0944
leave nothing to be desired 0315
leave off (~) 0180
leave on ~ 0199
be left over 0071
A leopard can't change its spots. 0983
let A off the hook 1068
Let bygones be bygones. 0896
Let me check that for you. 0859
Let me get this straight. 0826
Let me make myself clear. 0827
Let me put it this way. 0851
Let me sleep on it. 0697
let off ~ 0092
Let sleeping dogs lie. 0897
let up 0060
Let's agree to disagree. 0749
Let's face it. 0845
Let's get down to business. 0730
a level playing field 0984
lie behind ~ 0093
(the) light at the end of the tunnel 0980
Like what? 0750
liken A to B 0345
be limited to ~ 0481
A little knowledge is a dangerous thing. 0916
live by ~ 0117
live for ~ 0152
live from hand to mouth 1125
live out ~ 0200
live through ~ 0094
lock out ~ 0118
lock up (~) 0153
a long shot 0917
look ahead 0154
look in on ~ 0119
look out on ~ 0120
look to ~ 0095
Look who's talking! 0860
lose face 0433
lose heart 0379
lose no time (in) ~ing 0316
lose one's balance 0434
lose one's cool 1015
lose one's life 0346
lose oneself in ~ 0317
be lost in ~ 0458
be loyal to ~ 0509
Lucky you! 0819

M

make a complaint (about ~) 0395
make a fortune 0318
make a fuss (about ~) 0412
make a killing 1202
(to) make a long story short 0875
make a mess (of ~) 0396
make a name for oneself 0435
make a noise 0357
make A of B 0319
make A out of B 0294
make A's blood boil 1213
make A's mouth water 1069
make allowances for ~ 0380
make do with ~ 0347
Make haste slowly. 0945
make it up to A 0201
make much of ~ 0358
make off (with ~) 0121
Make that two. 0861
make the grade 1016
make waves 1126
make way for ~ 0348
A man is known by the company he keeps. 0877
a man of few words 1090
Many hands make light work. 0898
mess around 0202
mind one's own business 0359
Misfortunes never come singly. 0899
mix A with B 0237
Money can't buy happiness. 0946
Money doesn't grow on trees. 0947
Money talks. 1070
monkey business 1173
move away 0096
move out 0097
move up (~) 0203
much less ~ 0674
My bad. 0803

N

Nailed it. 0862
neck and neck 1174
(look for) a needle in a haystack 1083
negotiate with ~ 0265
Never been better. 0740
be new to ~ 0495
Nice try. 0828
nip ~ in the bud 0900
No biggie. 1254

No doubt. 0764
No hard feelings. 0751
No harm done. 0863
No kidding. 0741
No man is an island. 1017
be no match for ~ 0467
no more A than B 0540
No offense. 0775
No sweat. 0776
No worries. 0700
none the + 比較級 (for ~) 0644
Not a chance. 0786
not a few ~ 0690
Not again! 0864
Not exactly. 0742
not more than ~ 0555
Not that I know of. 0852
not to speak of ~ 0645
not until ~ 0556
be noted for ~ 0482
notify A of B 0247
be notorious for ~ 0459
Now that you mention it, ~. 0752

O

be obsessed with ~ 0483
be occupied with ~ 0525
odds and ends 1234
of one's own accord 0581
of use 0557
off the beaten track 1203
off the record 1127
off the top of one's head 1071
Old habits die hard. 0948
on (one's) guard 0646
on a ~ scale 0603
be on a diet 0484
on a roll 1128
on display 0628
on edge 1129
on end 0647
on hand 0675
on one's toes 1175
on pins and needles 1204
on second thought 0648
on strike 0649
on the air 0676
be on the ball 0993
on the brink of ~ 0677
on the cutting edge (of ~) 0901
on the dot 1205
on the go 1130
on the grounds that ~ 0604
on the house 0949
on the part of ~ 0605
on the phone 0629
on the rise 0606
on the spot 0582
on thin ice 0950
once and for all 0583
Once bitten, twice shy. 0951
once-in-a-lifetime 0902
one in a million 1176
One man's meat is another man's poison. 0952
only if ~ 0630
Oops! 0865
open a can of worms 1072
be open to ~ 0496
operate on ~ 0349
Opportunity knocks but once. 1018
be opposite to ~ 0468
be optimistic about ~ 0469
other than ~ 0541
be out 0134
out of ~（動機・原因） 0558
out of breath 0584
out of place 0607
out of stock 0608
Out of the frying pan into the fire. 0953
out of the way 0650
out of the woods 1019
out of this world 1177
out of work 0559
over and over (again) 0560
over the hill 1073
over the top 1131

P

be packed with ~ 0528
part with ~ 0248
pass around ~ 0204
pass for ~ 0205
pass over ~ 0181
pass the buck 1132
pass through ~ 0061
pass up ~ 0206
Patience is a virtue. 0954
be patient with ~ 0497
pay A a compliment 0436
pay the price (for ~) 0397
pay through the nose (for ~) 1133
pecking order 1221
A penny saved is a penny earned. 0985
per capita 0678
perceive A as B 0266
a pet peeve 1153
pick A's brain 1222
pie in the sky 1020
play a joke on ~ 0360
play it safe 0398
play up ~ 0062
play with fire 1134
plot twist 1255
Point taken. 0804
Practice what you preach. 1021
present B to A 0267
be pressed for time 0470
Pride goes before a fall. 1022
proceed with ~ 0295
profit from ~ 0249
be prone to ~ 0471
provided (that) ~ 0532
pull down ~ 0155
pull one's weight 1135
pull out (of ~) 0098
pull through 0063
pull together 0122
Pull yourself together. 0820
push back ~ 0156
push for ~ 0064
put ~ in order 0399
put ~ to use 0361
put across ~ 0065
put back ~ 0099
put by ~ 0207
put in ~ 0157
put one's cards on the table 1136
put one's foot down 1074
put one's foot in one's mouth 1023
put one's heart into ~ 0437
put two and two together 1137

Q

be qualified for ~ 0510
qualify for ~ 0250
quarrel with ~ 0296
be quick to do 0485

R

rack one's brain(s) 1235
rain on A's parade 1138
(come) rain or shine 0977
raise the bar 0955
reach for ~ 0100
read A like a book 1223
read out ~ 0101
read over ~ 0208
read the room 1024
read through ~ 0066
rebel against ~ 0297
recharge one's batteries 1178
a recipe for disaster 1042
a red flag 0918
red flag 1249
a red herring 1091
relate A to B 0238
release A from B 0268
relieve A of B 0298
be resistant to ~ 0529
rest on ~ 0350
restrict A to B 0251

retire from ~ 0320
reward A for B 0269
reward A with B 0239
ring back ~ 0209
ring up ~ 0210
a rip-off 1043
rock the boat 1025
roll out the red carpet (for A) 1224
roughly speaking 0651
round up ~ 0052
run late 0438
run off (~) 0211
run on ~ 0212
run through ~ 0102
run up ~ 0213

S

be safe from ~ 0511
save face 0956
save the day 1139
a scapegoat 0919
screw up 1250
seat oneself 0362
second nature 0957
see about ~ 0123
see red 0958
see the big picture 0903
see the light 1206
see the sights (of ~) 0363
see the sights of ~ 0413
See you around. 0787
sell off ~ 0214
send back ~ 0124
send in ~ 0067
send off ~ 0158
send out ~ 0103
be senior to ~ 0530
be serious about ~ 0498
set a record 0364
set apart ~ 0125
set down ~ 0215
set foot in ~ 0321
set in stone 1075
set the stage for ~ 0439
set the table 0440
settle in 0216
settle on ~ 0217
Shame on you. 0829
She's on another line. 0777
shield A from B 0414
be shocked at ~ 0472
a shot in the dark 1092
show A around (~) 0104
show A the ropes 1140
show one's true colors 1076
shut off ~ 0182
shut out ~ 0126
shut up (~) 0105
shy away (from ~) 0035
be sick and tired of ~ 0499
side with ~ 0381
sit back 0127
sit up 0159
a sixth sense 1093
a skeleton in the closet 1044
be skilled in ~ 0512
sleep in 0218
sleep over 0219
smell a rat 1207
snowball 1179
be snowed under (with ~) 1098
sort A into B 0322
Sort of. 0830
be sound asleep 0513
Sounds like a plan. 0701
speak for ~ 0160
speak volumes (about ~) 1077
be specific to ~ 0452
split A into B 0270
spread one's wings 1236
stab A in the back 1078
stand a chance (of ~ing) 0323
stand back 0220
stand in for ~ 0128
stand to reason 0324
stand up (~) 0106
start out 0129
start over 0161
start up (~) 0183
stay in 0130
steal the show 1141
step in 0107
step on A's toes 1237
stick one's neck out 1208
stick out (~) 0108
stick up for ~ 0221
stick with ~ 0162
Still waters run deep. 0959
a stone's throw (from ~) 0986
strike A as B 0252
strip A of B 0271
be stuck in ~ 0486
stuck in a rut 1180
submit to ~ 0253
subscribe to ~ 0325
succeed to ~ 0242
sugarcoat ~ 1225
suppose (that) ~ 0609
Sure thing. 0805
be suspicious of ~ 0453
be sympathetic to ~ 0514

T

A table for two, please. 0812
take ~ by storm 1142
take ~ by surprise 0326
take ~ to heart 0415
take a deep breath 0365
Take a guess. 0788
take a nap 0366
take a seat 0327
take A under one's wing 1226
take apart ~ 0163
take heart 0443
Take my word for it. 0778
take root 0441
take shape 0416
take sides (with ~) 0367
take the bull by the horns 0974
take the initiative 0351
take the lead 0382
take the plunge 1079
be taken aback 0135
talk back (to ~) 0164
a tall order 0878
tear down ~ 0109
tear up ~ 0131
ten to one 1238
test the waters 1181
Thank goodness. 0753
Thanks for having me. 0731
That will do. 0831
That's life. 0765
That's news to me. 0806
That's not a bad idea. 0743
That's that. 0866
That's the last straw. 0711
That's the way it is. 0744
The apple doesn't fall far from the tree. 0960
the best thing since sliced bread 1227
the black market 1143
the brainchild of A 1182
the breadwinner 1080
the calm before the storm 1144
The darkest hour is just before the dawn. 1026
The devil is in the details. 1027
the elephant in the room 0871
The end justifies the means. 1028
the icing on the cake 1029
the last ~ to ... 0561
the lion's share (of ~) 0904
the moment ~ 0542
the rat race 1145
The sky is the limit. 0807
The sky's the limit. 1183
The squeaky wheel gets the grease. 0905
the talk of the town 1209
the upper hand 0961
The way I see it, ~. 0821

There are plenty of (other) fish in the sea. 1030
There's no accounting for taste. 0906
There's no such thing as a free lunch. 0872
There's no time like the present. 0907
Things are looking up. 0789
Things will work out. 0754
think back on ~ 0222
think better of ~ 0328
think through ~ 0132
think up ~ 0165
threaten A with B 0272
be through with ~ 0487
throw oneself into ~ 0329
throw out ~ 0110
throw up (~) 0111
tie the knot 0962
tie up ~ 0112
be tied up with ~ 0531
tighten one's belt 1031
Time heals all wounds. 0963
Time is running out. 0722
Time will tell. 0908
to a T 1228
to be sure 0585
~ to come 0617
To each his own. 0853
To err is human, to forgive divine. 0964
to one's face 0586
to one's heart's content 0686
to one's taste 0652
to oneself 0610
to the full 0679
to the fullest 0616
Tomorrow is another day. 0808
tongue-tied 1229
touch base (with A) 1210
touch on ~ 0383
trade A for B 0240
transfer A to B 0273
trick A into ~ing 0330
be true to ~ 0488
turn a corner 1184
turn a deaf ear to ~ 0352
turn against ~ 0223
turn around (~) 0113
turn away ~ 0166
turn back 0068
turn one's back on ~ 0400
turn the tables (on A) 1146
turn the tide 1185
turn up one's nose at ~ 1230
twenty-four seven 1241
twist A's arm 1187
(like) two peas in a pod 0978
Two wrongs don't make a right. 0965

U

under A's nose 1214
under fire 0966
under no circumstances 0587
under the table 1147
be up against ~ 0168
up in arms 1148
be up to one's ears in ~ 1191
be upset about ~ 0489
upside down 0631

V

Variety is the spice of life. 0909
be vital to ~ 0460
vote for ~ 0274
be vulnerable to ~ 0473

W

wait up (for ~) 0224
a wake-up call 0879
walk in A's shoes 0975
walk on eggshells 1186
wash away ~ 0133
wash one's hands of ~ 1149
wash up (~) 0184
watch over ~ 0225
A watched pot never boils. 1094
water under the bridge 0967
wear down ~ 0185
weather permitting 0611
weather the storm 1032
Welcome back. 0790
Well begun is half done. 0968
a wet blanket 1045
What brings you here? 0745
What doesn't kill you makes you stronger. 1033
What goes around comes around. 0873
What goes up must come down. 1034
what little ~ 0687
What's done is done. 1035
What's the big deal? 0854
When one door closes, another opens. 0969
when pigs fly 1081
When the cat's away, the mice will play. 0870
a white elephant 1095
whitewash ~ 1211
Why the long face? 0791
Why would you say that? 0809
be wide awake 0526
a wild goose chase 0987
wind down 0226
wind up (~) 0114
wish for ~ 0331
with all ~ 0653
with care 0680
withdraw from ~ 0353
wolf down ~ 1239
a wolf in sheep's clothing 0880
work for peanuts 1240
work up ~ 0227
be worse off 0490
be worthwhile ~ing 0515
Would you care for ~? 0755
wouldn't hurt a fly 1231
write back 0228
write off ~ 0229

Y

Yeah, right. 0832
You asked for it. 0792
You can't have your cake and eat it (too). 0874
You convinced me. 0833
You get what you pay for. 0910
You know what I mean? 0810
You look familiar. 0779
You made my day. 0766
You might want to ~. 0712
You never know. 0811
You're in luck. 0767
You're never too old to learn. 0911
You've got this. 0834
Your guess is as good as mine. 0702

Z

a zero-sum game 0988
形容詞 + as S V 0632

原田英語の英熟語・イディオム問題集　Vol.3 難関編（ADVANCED）

1255 問（4 択）＋ 1255 問（書き込み式）

2026 年 11 月　初版

著者・発行：原田英語　https://www.haradaeigo.com/eijukugo/

この PDF は個人の学習・学校の授業で自由に印刷して使えます。無断での転載・再配布・販売はできません。

問題・例文・解説はすべてオリジナルです。誤りを見つけたら、サイトからお知らせください。